
東松山市

山王裏／上川入／西浦
野本氏館跡

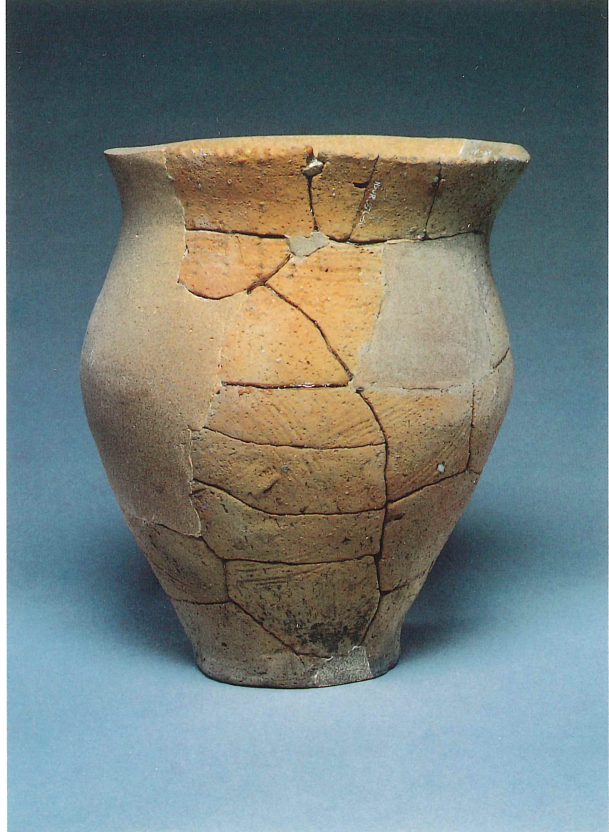
一般国道407号線埋蔵文化財発掘調査報告

1997

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団



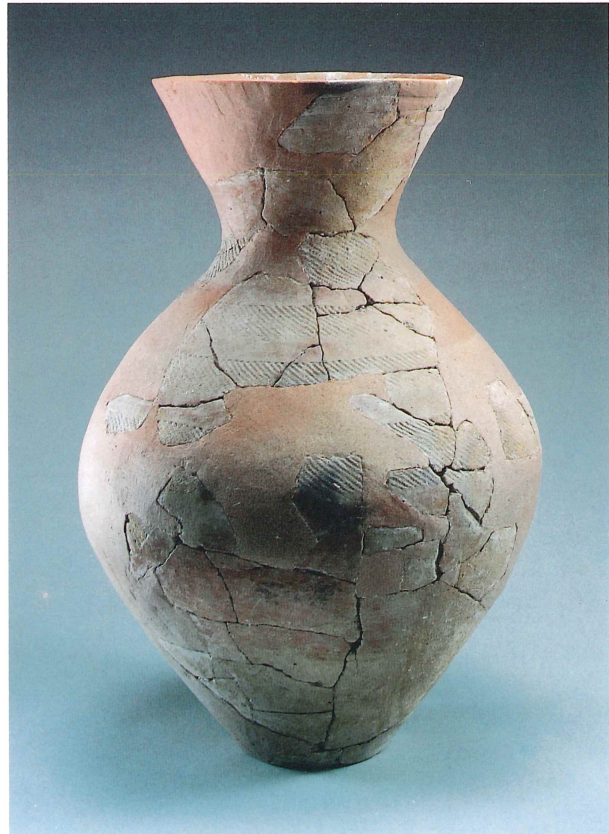
西浦遺跡第7号住居跡出土土器



西浦遺跡第16号住居跡出土土器



西浦遺跡第2号方形周溝墓出土土器



西浦遺跡CF-6 グリッド出土土器



西浦遺跡第56号溝出土円面硯



西浦遺跡第57号溝出土土器

序

埼玉県内における道路網は、東西交通の活発化と交通量の増大とともに、一般国道・県道の拡充・整備が急務となっております。

県の5か年計画の中にも、県内一時間道路網構想を目指した道路網の整備を推進するための施策として国道の整備が盛り込まれ、国道のバイパス整備などによる4車線化が進められております。この計画の一つとして、一般国道407号の改良工事も進められており、東松山市高坂地内ではすでに一部が開通しております。

埼玉県の中央に位置する比企地方は、比企丘陵の豊かな自然に恵まれ、森林公園や自然遊歩道が建設され、スリーデーマーチ等の各種イベントが広く県民に親しまれている地域です。また、豊かな自然だけでなく、原始・古代から人々の生活が営まれており、県指定史跡「野本將軍塚古墳」や古墳時代前期の重要遺跡である五領遺跡など、数多くの遺跡が残されています。

一般国道407号線改良工事予定地内にも多くの埋蔵文化財が存在しており、これら埋蔵文化財の取り扱いについては、関係機関が慎重に協議を重ねてまいりましたが、やむを得ず記録保存の措置が講じられることとなり、当事業団が埼玉県の委託を受け、山王裏遺跡・上川入遺跡・西浦遺跡・野本氏館跡の発掘調査を平成3年度から平成6年度にかけて実施いたしました。

これらのうち、上川入遺跡の調査では、この地域では発見例の少ない旧石器や、さらに弥生時代から中世にかけての貴重な資料を得ることができました。また、以前調査された山王裏遺跡の奈良時代の寺院に関連する地割り溝の一部が確認されました。

とりわけ西浦遺跡では、「比」の墨書土器、「企」の朱墨書土器をはじめ、奈良時代の官衙関係遺跡及び寺院跡から出土する例の多い円面硯が10点も発見され、大変注目されました。

これらの成果をまとめた本書が、今後、埋蔵文化財の保護、教育普及さらに学術研究の資料として広く活用していただければ幸いです。

最後になりましたが、本書の刊行にあたり、発掘調査から本書の刊行に至るまで多大な御指導・御協力をいただきました、埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課をはじめ、埼玉県土木部道路建設課、同東松山土木事務所、さらに東松山市教育委員会、並びに地元関係各位に対しまして厚くお礼申し上げます。

平成9年3月

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
理事長 荒井 桂

例言

1. 本書は、埼玉県東松山市に所在する4遺跡の発掘調査報告書である。
2. 各遺跡の略号と代表地番及び発掘調査に対する指示通知は以下のとおりである。
 - 山王裏遺跡 (No.34-160 SNNUR)
 - 東松山市大字下野本字久保原2,183
 - 平成5年3月16日付け 委保第5の1650号
 - 平成6年1月24日付け 教文第2-182号
 - 東松山市大字下野本字久保原2,183
 - 平成6年6月20日付け 教文第2-46号
 - 上川入遺跡 (No.34-338 KMKWIR)
 - 東松山市大字下野本字久保原2,231-2
 - 平成4年4月13日付け 委保第5の191号
 - 平成4年6月10日付け 委保第5の641号
 - 西浦遺跡 (No.34-168 NSUR)
 - 東松山市大字下野本字清水堂708
 - 平成5年1月14日付け 委保第5の1346号
 - 東松山市大字下野本663
 - 平成5年10月4日付け 委保第5の1119号
 - 東松山市大字下野本字後排1717
 - 平成6年6月20日付け 教文第2-45号
 - 東松山市大字下野本字後排1716-1
 - 平成7年4月11日付け 教文第2-202号
 - 野本氏館跡 (No.34-163 NMTS)
 - 東松山市同市大字下野本字下野本663-2
 - 平成5年10月4日付け 委保第5の1119号
3. 発掘調査は、一般国道407号線建設に伴うもので、埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課が調整し、埼玉県土木部道路建設課の委託を受け、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団が実施した。
4. 本事業は、I-3の組織により実施した。本事業のうち発掘調査については、濱野美代子、山本禎、高崎光司(現 越谷高等学校)、三浦佳代が担当し、平成3年12月1日から平成6年3月31日まで実施した。整理・報告書作成事業は山本が担当し、桜井元子の協力を得て、平成7年10月1日から平成9年3月31日まで実施した。
5. 遺跡の基準点測量、空中写真撮影・測量は、株式会社パスコに委託した。また、土器の胎土分析は、パリノサーベイ株式会社、遺物の巻頭カラー写真撮影は小川忠博氏に委託した。
6. 発掘調査時の遺構写真撮影は、濱野・山本・高崎・三浦が行い、遺物写真の撮影は山本が行った。

本書の執筆は、I-1を埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課が、IV-2(1)を西井が、付編を三辻利一が行い、そのほかを山本が行った。
8. 本書の編集は、山本があたった。
9. 本書に掲載した資料は、平成9年度以降、埼玉県立埋蔵文化財センターが管理・保管し、情報提供する。
10. 本書の作成にあたり、下記の方々から御教示・御協力を賜った。記して謝意を表します。(敬称略)
 - 浅田員由・江原昌俊・菊地伸之・柴垣勇夫
 - 西口正純・宮島秀夫・山路直充・渡辺博人
 - 東松山市教育委員会・愛知県陶磁資料館
 - 各務原市埋蔵文化財調査センター

凡例

- 遺跡全体におけるX・Yの数値は、国土標準平面直角座標点第IX系（原点：北緯36度00分00秒、東経139度50分00秒）に基づく各座標値を示す。また、各挿図における方位指示は、すべて座標北を表す。
- グリッドは10m×10m方眼で設定し、グリッドの呼称は、北西隅の杭番号(A-1…)で代表させた。
- 本書の挿図における遺構の略号は、下記のとおりである。

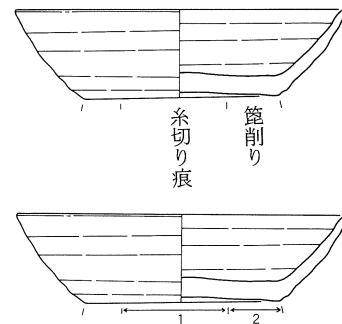
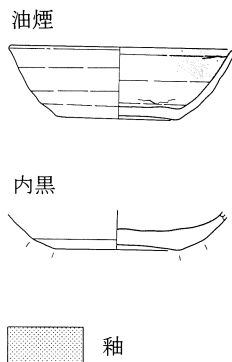
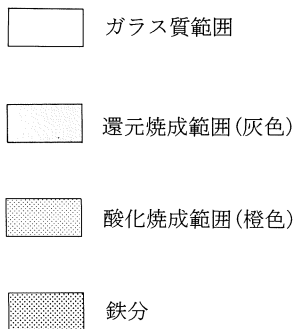
S B…掘立柱建物跡	S D…溝
S E…井戸跡	S J…住居跡
S X…その他の遺構	S K…土坑
- 各遺構の番号については、整理の都合で変更している。従って、調査時の遺構番号及び遺物注記と対照する際には、第VI章末の一覧表を参照されたい。
- 遺構挿図の縮尺は、遺跡全測図1/400、住居跡・土坑・井戸跡1/60、カマド1/30、溝平面1/200、溝断面1/60を原則とした。例外的なものは、スケールで示した。
- 土層の断面図のレベル数値は、海拔標高 (m) を示す。
- 遺物挿図の縮尺は、原則として次のとおりである。例外的なものについてはスケールで示している。

縄文土器・弥生土器拓影図…1/3
土器実測図・石器実測図・鉄器実測図…1/4
須恵器・瓦拓影図…1/4

- 土器観察表は次のとおりである。
 - 口径・器高・底径は、cmを単位とする。推定数値は()内に記した。
 - 胎土は、肉眼観察による混入物を記した。Aは白色針状物質、Bは白色粒子、Cは石英、Dは長石、Eは角閃石、Fは雲母、Gは赤色粒子、Hは黒色粒子、Jは輝石、Kは橙色土粒子、Rは小礫、Sは砂粒を示す。
 - 焼成は、相対的な3段階で記す。Iは良好、IIは普通、IIIは不良を示す。
 - 色調は、農林省農林水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖』1976年版による。
- 瓦観察表は次のとおりである。
 - 模骨痕幅・厚さは、cmを単位とする。
 - 胎土・焼成・色調は、土器観察表に準ずる。
 - 布目の本数は、3×3cm方眼内での本数を記す。
- 須恵器の観察の略号

ロクロ回転方向	R=右	L=左
底部切り離しと調整の分類		
全面篋削り	A	
周辺篋削り	B	1 < 2 → a
		1 ≥ 2 → b
糸切り離し	C	
- 挿図中のスクリントーンは下図のとおりである。

羽口



目次

序

例言

凡例

I 調査の概要	1	(3)土坑	197
1 発掘調査に至るまでの経過	1	(4)井戸跡	251
2 発掘調査・整理・報告書作成の経過	2	4 その他の遺構と遺物	256
3 発掘調査・整理・報告書刊行の組織	3	(1)溝	256
II 遺跡の立地と環境	4	(2)竪穴状遺構	292
1 遺跡の立地	4	(3)地下式壙	296
2 歴史的環境	5	(4)火葬墓	298
III 山王裏遺跡の調査	9	(5)ピット	298
1 遺跡の概要	9	(6)グリッド出土の遺物	299
2 検出された遺構と遺物	14	VI 野本氏館跡の調査	334
(1)古墳	14	1 遺跡の概要	334
(2)土坑	16	2 検出された遺構と遺物	334
(3)溝	26	(1)土坑	334
(4)その他の遺構	39	(2)井戸跡	342
IV 上川入遺跡の調査	40	(3)堀跡・溝	343
1 遺跡の概要	40	(4)竪穴状遺構	352
2 検出された遺構と遺物	43	(5)グリッド出土の遺物	353
(1)先土器時代	43	VII 結語	360
(2)住居跡	46	付編	365
(3)土坑	62		
(4)井戸跡	82		
(5)溝	87		
V 西浦遺跡の調査	102		
1 遺跡の概要	102		
2 弥生～古墳時代の遺構と遺物	109		
(1)住居跡	109		
(2)方形周溝墓	127		
(3)土坑	130		
3 奈良・平安時代以降の遺構と遺物	137		
(1)住居跡	137		
(2)掘立柱建物跡	193		

挿 図 目 次

第1図	埼玉県の地形図	4	第31図	上川入遺跡全測図(2)	42
第2図	弥生・古墳時代の周辺遺跡分布図	6	第32図	先土器時代調査区・遺物分布図	44
第3図	奈良・平安時代の周辺遺跡分布図	7	第33図	出土石器	45
第4図	遺跡周辺の地形図	8	第34図	第1号住居跡遺物分布図	46
【山王裏遺跡】					
第5図	山王裏遺跡全測図(1)	10	第35図	第1号住居跡	47
第6図	山王裏遺跡全測図(2)	11	第36図	第1号住居跡北カマド・東カマド	48
第7図	山王裏遺跡全測図(3)	12	第37図	第1号住居跡出土遺物(1)	49
第8図	山王裏遺跡全測図(4)	13	第38図	第1号住居跡出土遺物(2)	50
第9図	久保原古墳出土遺物	14	第39図	第2号住居跡	51
第10図	久保原古墳	15	第40図	第2号住居跡遺物分布図	52
第11図	土坑(1)	17	第41図	第2号住居跡カマド	53
第12図	土坑(2)	19	第42図	第2号住居跡出土遺物	54
第13図	土坑(3)	20	第43図	第3号住居跡	55
第14図	土坑(4)	21	第44図	第4号住居跡	56
第15図	土坑(5)	23	第45図	第4号住居跡出土遺物	57
第16図	土坑(6)	24	第46図	第5号住居跡	58
第17図	土坑(7)	25	第47図	第6号住居跡	59
第18図	第1号・第2号溝	27	第48図	第7号住居跡	61
第19図	第3号～第5号溝	27	第49図	土坑(1)	63
第20図	第6号～第19号溝(1)	29	第50図	土坑(2)	64
第21図	第6号～第19号溝(2)	30	第51図	土坑(3)	66
第22図	第20号・第21号溝(1)	31	第52図	土坑(4)	68
第23図	第20号・第21号溝(2)	32	第53図	土坑出土遺物	69
第24図	第20号溝出土遺物	34	第54図	土坑(5)	70
第25図	第20号・第21号出土遺物	35	第55図	土坑(6)	72
第26図	第22号～第24号溝	36	第56図	第68号土坑出土瓦(1)	73
第27図	第25号～第30号溝	37	第57図	第68号土坑出土瓦(2)	74
第28図	第25号溝出土・表採遺物	38	第58図	第68号土坑出土瓦(3)	75
第29図	第1号竪穴状遺構	39	第59図	第68号土坑出土瓦(4)	76
【上川入遺跡】					
第30図	上川入遺跡全測図(1)	41	第60図	第68号土坑出土瓦(5)	77
			第61図	第68号土坑出土瓦(6)	78
			第62図	土坑(7)	81
			第63図	井戸跡	83
			第64図	第3号井戸跡出土遺物	84

第65図	第1・3・10号井戸跡出土遺物	85
第66図	第3号井戸跡出土瓦	86
第67図	第1・2号溝	88
第68図	第1号溝出土遺物(1)	89
第69図	第1号溝出土遺物(2)	90
第70図	第3号～第5号溝	90
第71図	第6号～第9号溝	91
第72図	第10号～第12号溝	92
第73図	第13号～第15号溝	93
第74図	第13号溝出土遺物(1)	94
第75図	第13号溝出土遺物(2)	95
第76図	第16号～第19号・第22号溝	97
第77図	第20号・第21号溝	98
第78図	第23号～第28号溝	99
第79図	溝出土遺物	100

【西浦遺跡】

第80図	西浦遺跡A区全測図(1)	103
第81図	西浦遺跡A区全測図(2)	104
第82図	西浦遺跡B区全測図(1)	105
第83図	西浦遺跡B区全測図(2)	106
第84図	西浦遺跡C区全測図(1)	107
第85図	西浦遺跡C区全測図(2)	108
第86図	第7号住居跡	110
第87図	第7号住居跡出土遺物	111
第88図	第9・10号住居跡炉跡	112
第89図	第11号住居跡	112
第90図	第12号住居跡	113
第91図	第12号住居跡出土遺物	113
第92図	第16号住居跡	114
第93図	第16号住居跡遺物分布図	115
第94図	第16号住居跡炉跡	115
第95図	第16号住居跡出土遺物(1)	116
第96図	第16号住居跡出土遺物(2)	117
第97図	第16号住居跡出土遺物(3)	118
第98図	第16号住居跡出土遺物(4)	119
第99図	第17号住居跡	120

第100図	第17号住居跡出土遺物	120
第101図	第18号住居跡	121
第102図	第18号住居跡出土遺物	121
第103図	第19号住居跡	122
第104図	第19号住居跡出土遺物	122
第105図	第26号住居跡	123
第106図	第26号住居跡遺物分布図	124
第107図	第26号住居跡出土遺物	125
第108図	第1号方形周溝墓	126
第109図	第2号方形周溝墓	127
第110図	第3号方形周溝墓	128
第111図	第1・2・3号方形周溝墓出土遺物	129
第112図	土坑(1)	131
第113図	第197号土坑出土遺物(1)	132
第114図	第197号土坑出土遺物(2)	133
第115図	第198号土坑出土遺物	133
第116図	土坑出土遺物(1)	134
第117図	土坑(2)	135
第118図	土坑出土遺物(2)	136
第119図	第1号住居跡	138
第120図	第2号住居跡	139
第121図	第3号住居跡	139
第122図	第4号住居跡	140
第123図	第1・4号住居跡出土遺物	140
第124図	第5号住居跡	141
第125図	第6号住居跡カマド	141
第126図	第6号住居跡	142
第127図	第6号住居跡出土遺物	143
第128図	第13号住居跡	144
第129図	第13号住居跡カマド	145
第130図	第13号住居跡出土遺物	145
第131図	第14号住居跡	146
第132図	第14号住居跡出土遺物	147
第133図	第15号住居跡	148
第134図	第15号住居跡出土遺物	149
第135図	第20号住居跡	150
第136図	第20号住居跡出土遺物	151

第137図	第21号住居跡……………	152	第174図	第42号住居跡……………	183
第138図	第21号住居跡出土遺物……………	153	第175図	第42号住居跡出土遺物……………	183
第139図	第22号住居跡カマド……………	154	第176図	第43号住居跡……………	184
第140図	第22号住居跡……………	155	第177図	第43号住居跡出土遺物……………	185
第141図	第22号住居跡出土遺物(1)……………	156	第178図	第44号住居跡カマド……………	185
第142図	第22号住居跡出土遺物(2)……………	157	第179図	第44号住居跡出土遺物……………	186
第143図	第23号住居跡……………	158	第180図	第45号住居跡……………	187
第144図	第23号住居跡出土遺物……………	159	第181図	第45号住居跡カマド……………	188
第145図	第24号住居跡……………	160	第182図	第45号住居跡出土遺物……………	188
第146図	第24号住居跡出土遺物……………	161	第183図	第46号住居跡……………	189
第147図	第25号住居跡……………	161	第184図	第46号住居跡出土遺物(1)……………	190
第148図	第27号住居跡……………	162	第185図	第46号住居跡出土遺物(2)……………	191
第149図	第27号住居跡出土遺物……………	162	第186図	第46号住居跡出土遺物(3)……………	192
第150図	第28号住居跡……………	163	第187図	第1号掘立柱建物跡……………	194
第151図	第29号住居跡……………	165	第188図	第1号掘立柱建物跡出土遺物……………	195
第152図	第29号住居跡出土遺物……………	166	第189図	第2号掘立柱建物跡……………	196
第153図	第30号住居跡……………	167	第190図	A区土坑(1)……………	198
第154図	第30号住居跡……………	168	第191図	A区土坑(2)……………	200
第155図	第30号住居跡出土遺物……………	168	第192図	A区土坑(3)……………	201
第156図	第30・31号住居跡……………	169	第193図	A区土坑(4)……………	202
第157図	第31号住居跡出土遺物……………	169	第194図	A区土坑出土遺物……………	203
第158図	第33号住居跡……………	170	第195図	B区土坑(1)……………	205
第159図	第34号住居跡……………	171	第196図	B区土坑(2)……………	206
第160図	第35号住居跡……………	172	第197図	B区土坑(3)……………	208
第161図	第35号住居跡出土遺物……………	172	第198図	B区土坑(4)……………	211
第162図	第36号住居跡……………	173	第199図	B区土坑(5)……………	212
第163図	第36号住居跡カマド……………	174	第200図	B区土坑(6)……………	213
第164図	第36号住居跡出土遺物……………	175	第201図	B区土坑出土遺物(1)……………	214
第165図	第37号住居跡……………	176	第202図	B区土坑(7)……………	216
第166図	第37号住居跡カマド……………	177	第203図	B区土坑(8)……………	217
第167図	第37号住居跡出土遺物……………	177	第204図	B区土坑(9)……………	219
第168図	第38号住居跡……………	178	第205図	B区土坑(10)……………	221
第169図	第39号住居跡……………	179	第206図	B区土坑(11)……………	223
第170図	第39号住居跡出土遺物……………	179	第207図	B区土坑(12)……………	226
第171図	第40号住居跡……………	180	第208図	B区土坑(13)……………	227
第172図	第40号住居跡出土遺物……………	181	第209図	B区土坑出土遺物(2)……………	228
第173図	第41号住居跡……………	182	第210図	C区土坑(1)……………	230

第211図	C区土坑(2)……………	233	第248図	第56・57号溝出土遺物(4)……………	282
第212図	C区土坑(3)……………	234	第249図	第56・57号溝出土遺物(5)……………	283
第213図	C区土坑(4)……………	237	第250図	第56・57号溝出土遺物(6)……………	284
第214図	C区土坑(5)……………	240	第251図	第56・57号溝出土遺物(7)……………	285
第215図	C区土坑(6)……………	241	第252図	第56・57号溝出土遺物(8)……………	287
第216図	C区土坑(7)……………	242	第253図	第56・57号溝出土遺物(9)……………	289
第217図	C区土坑(8)……………	244	第254図	第56・57号溝出土遺物(10)……………	290
第218図	C区土坑(9)……………	245	第255図	C区溝(5)……………	291
第219図	C区土坑出土遺物(1)……………	247	第256図	第1・2号竪穴状遺構……………	292
第220図	C区土坑出土遺物(2)……………	248	第257図	第1・2号竪穴状遺構出土遺物……………	293
第221図	C区土坑出土遺物(3)……………	249	第258図	第3・4・5号竪穴状遺構……………	294
第222図	井戸跡(1)……………	252	第259図	第3・4・5号竪穴状遺構出土遺物……………	295
第223図	井戸跡(2)……………	253	第260図	第1号地下式壙出土遺物……………	297
第224図	井戸跡(3)……………	254	第261図	第1号地下式壙……………	298
第225図	井戸跡出土遺物……………	255	第262図	火葬墓……………	298
第226図	A区溝(1)……………	257	第263図	ピット……………	299
第227図	A区溝(2)……………	258	第264図	グリッド出土遺物……………	300
第228図	A区溝(3)……………	260	第265図	CDグリッド出土遺物……………	301
第229図	A区溝(4)……………	261	第266図	CE-5グリッド出土遺物……………	302
第230図	A区溝(5)……………	262	第267図	CE-6グリッド出土遺物……………	303
第231図	B区溝(1)……………	263	第268図	CE-7グリッド出土遺物……………	304
第232図	B区溝(2)……………	264	第269図	CE-8グリッド出土遺物……………	305
第233図	B区溝(3)……………	265	第270図	CF-5グリッド出土遺物(1)……………	306
第234図	B区溝(4)……………	266	第271図	CF-5グリッド出土遺物(2)……………	307
第235図	第28号溝出土板碑……………	267	第272図	CF-6グリッド出土遺物(1)……………	308
第236図	B区溝(5)……………	268	第273図	CF-6グリッド出土遺物(2)……………	310
第237図	B区溝(6)……………	269	第274図	CF-6グリッド出土遺物(3)……………	311
第238図	C区溝(1)……………	270	第275図	CF-7グリッド出土遺物(1)……………	311
第239図	C区溝(2)……………	271	第276図	CF-7グリッド出土遺物(2)……………	313
第240図	C区溝(3)……………	272	第277図	CF-8グリッド出土遺物……………	314
第241図	C区溝(4)……………	273	第278図	CG-6グリッド出土遺物(1)……………	315
第242図	溝出土遺物……………	274	第279図	CG-6グリッド出土遺物(2)……………	316
第243図	第53・54号溝出土遺物……………	275	第280図	CG-6グリッド出土遺物(3)……………	317
第244図	第56・57号溝……………	278	第281図	CG-6グリッド出土遺物(4)……………	318
第245図	第56・57号溝出土遺物(1)……………	279	第282図	CG-7グリッド出土遺物(1)……………	321
第246図	第56・57号溝出土遺物(2)……………	280	第283図	CG-7グリッド出土遺物(2)……………	322
第247図	第56・57号溝出土遺物(3)……………	281	第284図	CG-7グリッド出土遺物(3)……………	323

第285図	CH-5・6グリッド出土遺物(1)	324
第286図	CH-6グリッド出土遺物(2)	325
第287図	CH-6グリッド出土遺物(3)	326
第288図	CH-7グリッド出土遺物(1)	327
第289図	CH-7グリッド出土遺物(2)	328
第290図	CH-7グリッド出土遺物(3)	329
第291図	CH-7グリッド出土遺物(4)	331
第292図	CH-7グリッド出土遺物(5)	332
第293図	C-III区出土遺物	333

【野本氏館跡】

第294図	野本氏館跡全測図	335
第295図	土坑(1)	336
第296図	土坑(2)	339
第297図	土坑(3)	340
第298図	土坑(4)	341
第299図	第1号井戸跡	342
第300図	溝(1)・堀跡	344

第301図	溝(2)・堀跡	345
第302図	溝(3)	346
第303図	堀跡・溝出土遺物	347
第304図	溝出土遺物	348
第305図	溝(4)	349
第306図	溝(5)	350
第307図	第18号溝出土遺物	351
第308図	第1号竪穴状遺構	352
第309図	グリッド出土遺物(1)	353
第310図	グリッド出土遺物(2)	354
第311図	寺院跡関連遺構分布図	360
第312図	円面硯分類図	364

【付編】

第1図	Rb-Sr分布図	366
第2図	K-Ca分布図	366
第3図	Rb-Sr分布図	366
第4図	K-Ca分布図	366

表 目 次

第1表	山王裏遺跡遺構番号新旧対照表	355
第2表	上川入遺跡遺構番号新旧対照表	355
第3表	西浦遺跡遺構番号新旧対照表	356

第4表	野本氏館跡遺構番号新旧対照表	359
第5表	円面硯出土遺跡一覧	362

図版目次

【山王裏遺跡】

- 図版1 B区全景 第8・9・10号溝
図版2 C-I区全景 第20号溝
図版3 C-III区全景 C-IV区全景
図版4 第20号溝出土土器
第20号溝出土瓦
図版5 第25号溝出土土瓦

【上川入遺跡】

- 図版6 遺跡全景
図版7 先土器時代遺物出土状況
第1号住居跡
図版8 第2号住居跡 第2号住居跡床下土坑
図版9 第3号住居跡 第4号住居跡
図版10 第6号住居跡
第68号土坑遺物出土状況
図版11 第1号溝 第13・15号溝
図版12 第1号住居跡出土遺物
図版13 第1号住居跡出土遺物
第2号住居跡出土遺物
図版14 第4号住居跡出土遺物
第6号住居跡出土遺物
第7号住居跡出土遺物
第33号土坑出土遺物

【西浦遺跡】

- 図版15 A区全景 第4号住居跡
図版16 第32号土坑遺物出土状況・第33号土坑
第14・15・21・22号溝
図版17 B区北部 B区南部
図版18 第6号住居跡遺物出土状況 第6号住居跡
図版19 B区土坑群
図版20 C-I区全景 C-II区全景
図版21 第7号住居跡ピット9遺物出土状況

第16号住居跡

- 図版22 第16号住居跡炉跡 第16～19号住居跡
図版23 第20号住居跡 第26号住居跡
図版24 C-III区全景 第1号方形周溝墓
図版25 第2号方形周溝墓 第3号方形周溝墓
図版26 第197号土坑遺物出土状況
第198号土坑遺物出土状況
図版27 第198号土坑 第315号土坑遺物出土状況
図版28 第196号土坑遺物出土状況 第196号土坑
図版29 第235号土坑 第235号土坑遺物出土状況
図版30 第239・240号土坑
第249号土坑遺物出土状況
図版31 第13号住居跡 第14・15号住居跡
図版32 第21号住居跡 第22号住居跡
図版33 第23号住居跡 第24号住居跡
図版34 第27号住居跡
第28号住居跡カマド遺物出土状況
図版35 第28号住居跡 第29号住居跡
図版36 第30号住居跡 第31～33号住居跡
図版37 第34号住居跡 第35号住居跡
図版38 第37号住居跡 第39号住居跡
図版39 第41・42号住居跡 第44号住居跡カマド
図版40 第45号住居跡 第46号住居跡遺物出土状況
図版41 第1号掘立柱建物跡 第2号掘立柱建物跡
図版42 第237号土坑遺物出土状況 第238号土坑
図版43 第244号土坑 第252号土坑
図版44 第273号土坑 第287号土坑
図版45 第302号土坑 第303号土坑遺物出土状況
図版46 第316号土坑遺物出土状況 第39・40号溝
図版47 第28号溝板碑出土状況 火葬墓
図版48 第7号住居跡出土遺物
第16号住居跡出土遺物
図版49 第16号住居跡出土土器
図版50 第16号住居跡出土土器

- 第17号住居跡出土遺物
第18号住居跡出土遺物
図版51 第18号住居跡出土遺物
第26号住居跡出土土器
図版52 第2号方形周溝簿出土遺物
第196号土坑出土遺物
第197号土坑出土土器
図版53 第197号土坑出土土器
図版54 第211号土坑出土遺物
第249号土坑出土遺物
第6号住居跡出土遺物
図版55 第6号住居跡出土遺物
図版56 第13号住居跡出土遺物
第14号住居跡出土遺物
第15号住居跡出土遺物
第20号住居跡出土遺物
図版57 第21号住居跡出土遺物
第22号住居跡出土遺物
図版58 第23号住居跡出土遺物
第25号住居跡出土遺物
第27号住居跡出土遺物
第28号住居跡出土遺物
第29号住居跡出土遺物
図版59 第29号住居跡出土遺物
第30号住居跡出土遺物
第36号住居跡出土遺物
図版60 第37号住居跡出土遺物
第39号住居跡出土遺物
第40号住居跡出土遺物
図版61 第43号住居跡出土遺物
第44号住居跡出土遺物
第46号住居跡出土遺物
図版62 第46号住居跡出土遺物
図版63 第32号土坑出土遺物
第70号土坑出土遺物
第157号土坑出土遺物
第237号土坑出土遺物
- 第244号土坑出土遺物
第265号土坑出土遺物
第270号土坑出土遺物
第4号井戸跡出土遺物
図版64 第4号井戸跡出土遺物
第7号井戸跡出土遺物
第9号井戸跡出土遺物
第56・57号溝出土遺物
図版65 第28号溝出土板碑
第56・57号溝出土遺物
図版66 第56・57号溝出土遺物
図版67 第56・57号溝出土遺物
第3号竪穴状遺構出土遺物
図版68 第4号竪穴状遺構出土遺物
CA-9グリッド出土遺物
CE-7グリッド出土土器
図版69 CE-8グリッド出土遺物
CF-5グリッド出土遺物
図版70 CE-8グリッド出土遺物
CF-6・7グリッド出土遺物
CG-6グリッド出土遺物
図版71 CF-6グリッド出土土器
図版72 CG-6・7グリッド出土遺物
図版73 CG-7グリッド出土遺物
CH-6・7グリッド出土遺物
図版74 CH-7グリッド出土土器
図版75 C-III区出土土器 鉄製品
- 【野本氏館跡】
図版76 全景 土坑群
図版77 堀跡・第1～6号溝 第18号溝
図版78 第1号井戸跡 第1号竪穴状遺構
図版79 第18号溝出土土器
BD-15グリッド出土瓦

I 調査の概要

1 発掘調査に至るまでの経過

埼玉県では、増大する交通量に対処するため、各地で道路建設事業が進められている。一般国道407号線については、交通量の増加に伴う慢性的な交通渋滞の打開と、埼玉県中央部における幹線交通網の整備を目的として、埼玉県土木部により建設事業が計画された。

県教育局生涯学習部文化財保護課では、こうした開発事業地に所在する埋蔵文化財の保護について、日頃関係各部署と協議を重ね、また定期的な調整会議をもって調整を図っている。

平成2年度に、県土木部道路建設課長から東松山市下野本地内に計画された一般国道407号線の建設予定地における埋蔵文化財の所在及び取り扱いについて照会があった。

工事予定地内には、周知の埋蔵文化財包蔵地である山王裏遺跡(34-160)、野本氏館跡(34-163)、上川入遺跡(34-338)が所在するため、文化財保護課では、東松山市教育委員会の協力を得て、平成3年2月26・27日にかけて現地で遺跡確認調査を実施した。その結果、上記の3遺跡のほか、上川入遺跡の南側で新たに奈良～平安時代の竪穴住居跡等の遺構が確認された。これを「西浦遺跡」(34-168)として新規登録した。

以上の結果に基づき、道路建設課長あて以下の旨回答した。

- 1 工事予定地内には、周知の埋蔵文化財包蔵地「山王裏遺跡」、「野本氏館跡」、「上川入遺跡」、「西浦遺跡」が所在する。
- 2 この埋蔵文化財包蔵地の取り扱いは、できるだけ現状保存することが望ましい。
- 3 工事計画上やむを得ず現状変更する場合は、文化財保護法の規定による手続きをとり、事前に記録保存のための発掘調査を実施すること。

その後、事業の計画変更は不可能と判断されたため、平成3年度から発掘調査を実施することとなった。

発掘調査については、実施機関である財団法人埼玉

県埋蔵文化財調査事業団と道路建設課、文化財保護課の三者で調整した。その結果、平成4年1月から上川入遺跡の調査に着手することとし、道路建設課において調査に要する経費が予算措置された。

各遺跡の発掘調査の実施に先立ち、埼玉県知事から文化財保護法第57条の3第1項の規定に基づく埋蔵文化財発掘通知が、また財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団から、同法第57条第1項による埋蔵文化財発掘調査届けが提出された。

発掘調査は、上川入遺跡を最初に、平成4年1月4日から開始された。

なお、発掘調査届けに対する文化庁及び埼玉県教育委員会からの指示通知は以下のとおりである。

上川入遺跡

平成4年4月13日付け 委保第5の191号

平成4年6月10日付け 委保第5の641号

西浦遺跡

平成5年1月14日付け 委保第5の1346号

平成5年10月4日付け 委保第5の1119号

平成6年6月20日付け 教文第2-45号

平成7年4月11日付け 教文第2-202号

山王裏遺跡

平成5年3月16日付け 委保第5の1650号

平成6年1月24日付け 教文第2-182号

平成6年6月20日付け 教文第2-46号

野本氏館跡

平成5年10月4日付け 委保第5の1119号

(文化財保護課)

2 発掘調査・整理・報告書作成の経過

(1) 発掘調査

一般国道407号線建設に伴う東松山市山王裏遺跡・上川入遺跡・西浦遺跡・野本氏館跡の発掘調査は、平成3年度～6年度に実施した。各遺跡の調査経過は以下のとおりであるが、調査が複次にわたっているのは用地取得及び上物物件の撤去の完了を待って区画ごとに調査を進めたためである。

山王裏遺跡

第1次：平成4年9月20日から平成5年2月20日
遺跡の北端寄りの地区で谷状地形の範囲では時期不詳の土坑11基・溝17条を検出した。南に隣接する地区は台地上平坦部で、奈良時代の南北に延びる溝1条と時期不詳の土坑33基を検出した。

第2次：平成5年12月1日から平成6年3月31日
前年度の南側の調査で、北から連続する奈良時代の溝1条と時期不詳の溝1条・土坑3基を検出した。

第3次：平成6年6月1日から6月30日
遺跡北端の地区で第1次の北側に隣接し、L字型に並走する時期不詳の溝2条を検出した。

第4次：平成6年12月1日から平成7年1月31日
遺跡南端の一般国道254号線用地を挟んでの北と南の2地区の調査を行った。北側地区では第1次・第2次で検出した奈良時代の溝がさらに南に続き検出できたほか、国道254号用地の調査の際に検出した久保原古墳の周溝北側が検出された。ほかに、時期不詳の土坑8基・溝3条も検出された。南側の地区では、前述の連なる溝とは異なる奈良時代の溝1条、平安時代の溝2条の他、時期不詳の土坑3基・溝3条を検出した。

上川入遺跡

平成4年1月4日から平成4年8月31日
台地肩部からは先土器時代の遺物と奈良時代の住居跡1軒と溝1条を検出した。ほかに奈良時代の住居跡2軒、平安時代の住居跡3軒と時期不詳の土坑82基・井戸跡10基・溝27条を検出した。

西浦遺跡

第1次：平成4年9月1日から9月19日

平成5年2月21日から3月31日

平成4年1月に遺跡北端A区の表土除去と遺構確認を行ったが、湧水が激しく調査を中断し、2度に分けての調査となった。A区北半では平安時代の住居跡1軒、中世の溝2条、時期不詳の土坑22基・井戸跡1基・溝18条を検出した。

第2次：平成5年12月1日から平成6年3月31日

B区の調査を行い、平安時代の住居跡2軒・中世の土壙53基、溝2条と時期不詳の土坑100基・溝13条・井戸跡4基が検出された。さらに、C区北端の調査を行い、弥生時代の住居跡2軒・炉跡3基・土坑2基、古墳時代の住居跡1軒・土坑7基、平安時代の住居跡3軒の他、時期不詳の土坑16基・井戸跡1基・溝5条を検出した。さらにA区の南半の調査に着手し、平安時代の住居跡3軒・土坑1基、その他土坑19基・溝4条を検出した。

第3次：平成6年6月1日から平成7年3月31日

前年度調査を行ったC区の南側の調査を行った。弥生時代の土坑5基、古墳時代の住居跡4軒・土坑6基、平安時代の住居跡27軒・土坑21基、中世の地下式壙1基の他土坑71基・溝20条を検出した。

野本氏館跡

平成5年6月1日から平成6年3月31日

弥生時代の溝1条と中世の土坑40基・溝22条・堀跡1条と時期不詳の竪穴状遺構1基を検出した。

(2) 整理・報告書作成

整理・報告書作成作業は、平成7年10月1日から平成9年3月31日まで実施した。

遺物の接合と図面整理は、10月から翌7月にかけて並行して行った。遺物の実測は翌年8月までに終了し、遺物及び遺構のトレースは平成8年6月から9月にかけて行った。図版作成は8月から11月まで行った。12月に遺物撮影を行い、平成9年1月にかけて原稿を執筆しながら本文の割付を行った。報告書印刷に入り3月末を持って発掘調査報告書を刊行した。

3 発掘調査・整理・報告書刊行の組織

主体者 財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団

(1) 発掘調査 (平成3～6年度)

理事長 荒井修二 (H3・4)
 荒井桂 (H5・6)
 副理事長 早川智明 (H3・4)
 富田真也 (H5・6)
 専務理事 横川好富 (H5)
 枋原嗣雄 (H6)
 常務理事兼
 管理部長 倉持悦夫 (H3・4)
 柴崎光生 (H5)
 加藤敏昭 (H6)
 理事兼調査部長 栗原文蔵 (H3・4)
 中島利治 (H5)
 小川良祐 (H6)
 管理部
 庶務課長 高田弘義 (H3)
 萩原和夫 (H4・5)
 及川孝之 (H6)
 主査 松本晋 (H3)
 贄田清 (H4・5)
 市川有三 (H6)
 主事 長滝美智子 (H3・6)
 菊池久 (H4～6)
 経理課長 関野栄一 (H3～6)
 主任 江田和美 (H3～6)
 主事 長滝美智子 (H4・5)
 福田昭美 (H3～6)
 腰塚雄二 (H3～6)
 菊池久 (H3)
 調査部
 副部長 梅沢太久夫 (H3・4)
 高橋一夫 (H5・6)
 調査第三課長 宮崎朝雄 (H3)
 調査第一課長 宮崎朝雄 (H4)
 調査第二課長 大和修 (H5・6)

主査 濱野美代子 (H6)
 主任調査員 利根川彰彦 (H3)
 山本禎
 高崎光司 (H5)
 調査員 三浦佳代 (H4)

(2) 整理・報告書作成 (平成7・8年度)

理事長 荒井桂
 副理事長 富田真也
 専務理事 吉川國男
 常務理事兼
 管理部長 新井秀直 (H7)
 秋葉文夫 (H8)
 理事兼調査部長 小川良祐
 管理部
 庶務課長 及川孝之 (H7)
 依田透 (H8)
 主査 市川有三 (H7)
 西沢信行 (H8)
 主任 長滝美智子
 主事 菊池久
 専門調査員兼
 経理課長 関野栄一
 主任 江田和美
 福田昭美
 腰塚雄二
 資料部
 資料部長 塩野博 (H7)
 梅沢太久夫 (H8)
 主幹兼
 資料部副部長 谷井彪
 専門調査員兼
 資料整理第二課長 宮崎朝雄 (H7)
 鈴木敏昭 (H8)
 主任調査員 山本禎

II 遺跡の立地と環境

1. 遺跡の立地

山王裏遺跡・上川入遺跡・西浦遺跡・野本氏館跡は、埼玉県東松山市下野本に所在し、東武東上線「東松山駅」から南東約2kmに位置する。4遺跡とも北から南へ約1kmにわたり連なっている。

遺跡が所在する東松山台地は北は市野川、南は都幾川に挟まれ、菅谷台地から東へ延び更に南東へ細長く延びる台地である。北側は市野川に向かって緩やかに傾斜し、南側は一段台地が降り、その先に沖積地とほとんど比高差がない低台地が広がり、都幾川の沖積地に面している。東松山台地は、北は比企丘陵、南は岩殿丘陵・高坂台地に挟まれ、西は秩父山地、東は荒川低地に面している。

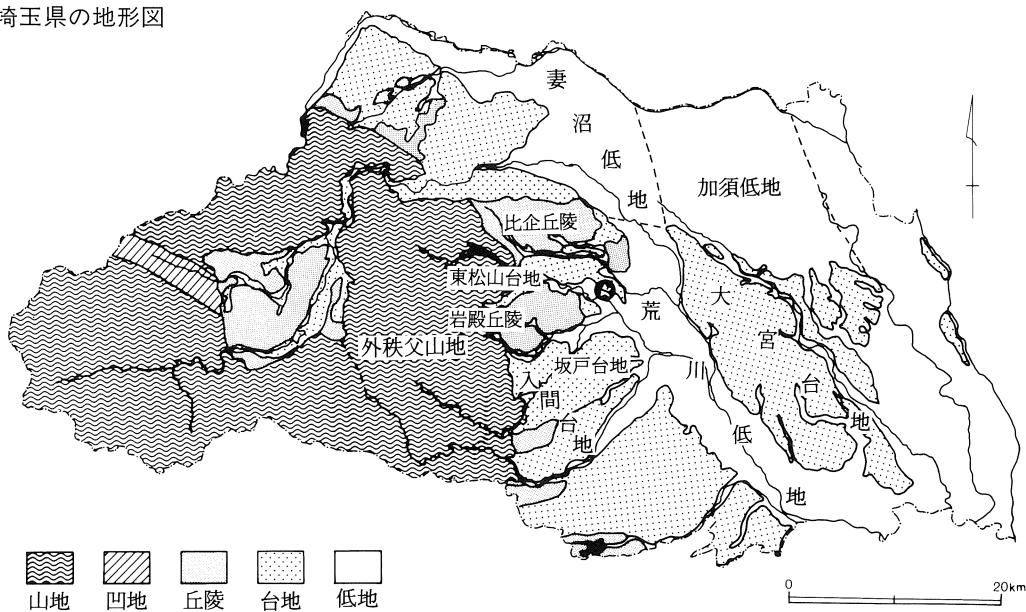
台地上は比較的平坦であるが、遺跡の立地する付近の台地上の平坦部の幅は南北約300mと狭く、すぐ北側は市野川に向かい緩やかに傾斜している。山王裏遺跡はほぼ台地上の平坦部に位置するが、南東部は斜面部を含む。調査区は平坦部のみで南側は急傾斜で台地が下っている。標高は、一部を除き平均30.5m前後である。

上川入遺跡は、山王裏遺跡の南に隣接し、主体は低台地の平坦部をしめる。調査区は台地の肩部から斜面、そして台地裾部の低台地にあり、台地肩部は標高30.5m、裾部は23.5mで、以南は平坦ではなく南へ僅かに傾斜し、もっとも低い南端で標高21.5mである。

西浦遺跡は上川入遺跡の南に隣接し、南端は都幾川の沖積地に面する低台地上の遺跡である。遺跡の北半はほぼ平坦であるが、南側は沖積地に向かい徐々に傾斜し、南東方向から入ってきている谷状のもっとも低いところで標高18.0m、また南端ではローム台地が残っており標高18.4mである。

野本氏館跡は都幾川の沖積地に向かう平坦な低台地縁辺にあり、標高は22.0m前後である。南東隅には低台地縁辺に沖積地を望むようにして、前方後円墳の將軍塚古墳が位置している。

第1図 埼玉県の地形図



2. 歴史的環境

今回の発掘調査では、上川入遺跡で先土器時代の遺物、山王裏遺跡・野本氏館跡で縄文時代中期・後期の遺物、西浦遺跡・野本氏館跡では弥生時代、西浦遺跡では古墳時代、山王裏遺跡・上川入遺跡・西浦遺跡では奈良・平安時代、西浦遺跡・野本氏館跡では中世の遺構・遺物が検出された。ここでは、遺構・遺物のほとんどを占める奈良・平安時代の他に弥生時代を中心に周辺の状況を概観する。

弥生時代

弥生時代中期後半の遺跡は、坂戸台地の越辺川右岸の附島遺跡のほか入間川左岸台地上の霞ヶ関遺跡、小畦川流域の台地上の登戸遺跡・猫田遺跡などが宮の台式土器の分布圏の北限とされてきた。しかし、霞ヶ関遺跡は宮の台期ではあるが、櫛描文系土器が主体となっている。

比企丘陵では岩鼻遺跡出土の櫛描文系土器を標識とした岩鼻式土器があり、雉山遺跡・附川遺跡と坂戸台地では相撲場遺跡で出土している。東松山台地と都幾川の沖積地を挟んで対峙する高坂台地では代正寺・大西遺跡では、宮の台式土器が主体となっている。

後期としては、比企丘陵では吉ヶ谷遺跡出土の縄文系土器を標識とした吉ヶ谷式土器があり、ほかに大谷遺跡・屋田遺跡などがある。岩殿丘陵には駒堀遺跡・根平遺跡・桜山遺跡、高坂台地には杉の木遺跡がある。桜山遺跡では細縄文とS字状結節文を施文した大型壺が出土しており、土器は吉ヶ谷式土器と前野町式が出土している。坂戸台地の高麗川右岸の花影遺跡では、宮の台期に特徴的な四隅が切れた方形周溝墓から吉ヶ谷式土器が出土している。霞ヶ関遺跡では、吉ヶ谷式土器と岩鼻式土器をそれぞれ出土する集落が近接して存在している。

奈良・平安時代

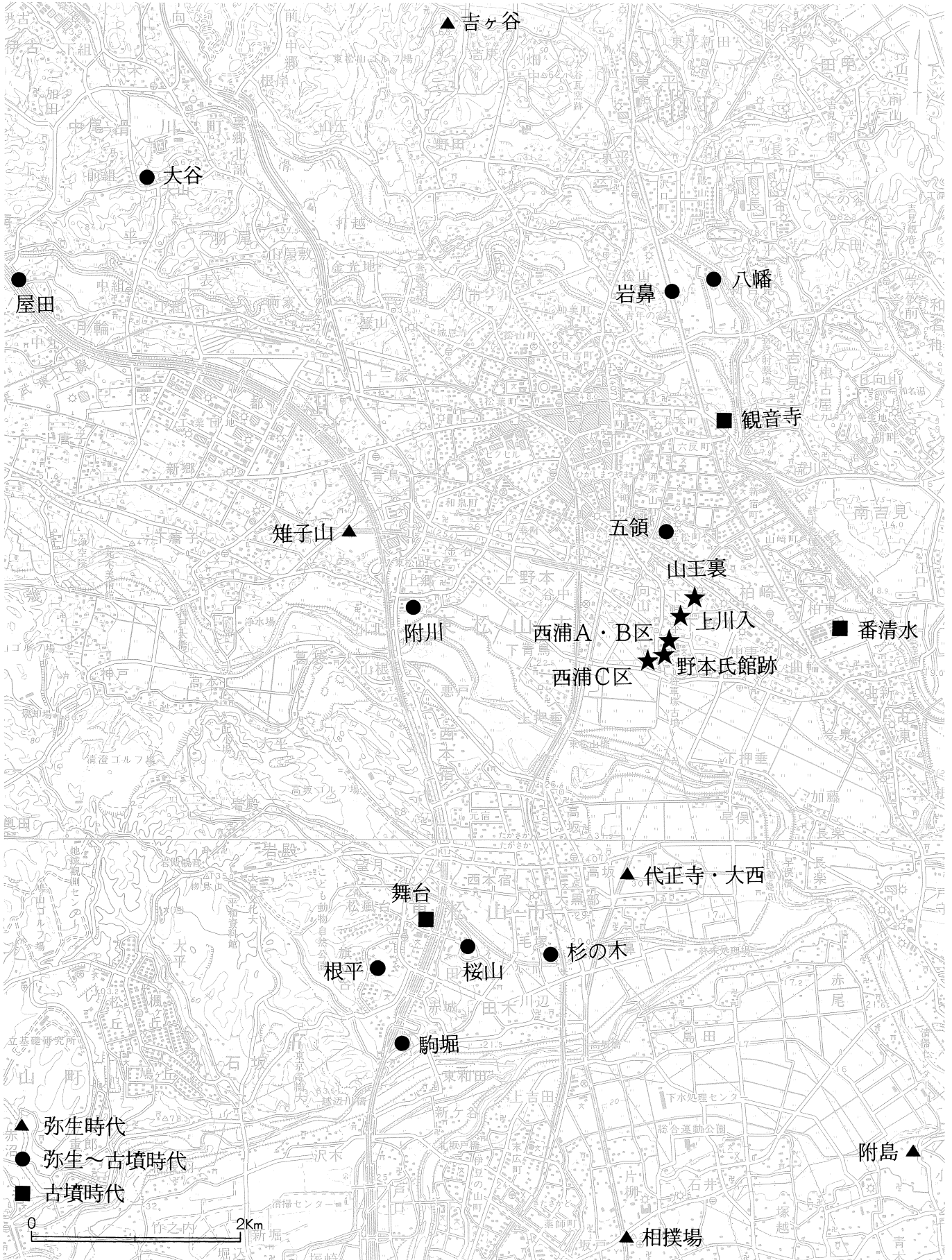
奈良時代の集落は岩殿丘陵、物見山から派生する支丘上に大塚原遺跡・立野遺跡・緑山遺跡などがあり、立野遺跡からは埴・円面硯・須恵質陶棺形土製品が出土している。奈良時代から平安時代にかけての集落は、

比企丘陵東端の沢口遺跡、東松山台地には番清水遺跡・下山遺跡があり、下山遺跡では古墳の周溝出土であるが佐波理を忠実に模した9世紀前半の在地産の須恵器浄瓶や鉄鉢・鉄斧、文字が線刻された滑石製紡錘車等が出土している。平安時代の集落は、東松山台地には岩の上遺跡・岩鼻遺跡があり、岩の上遺跡からは鎌・斧・鉸具等の鉄製品が出土している。比企丘陵東端の沢口遺跡では、底面に「佐太人」と刻まれている滑石製の紡錘車が出土した。

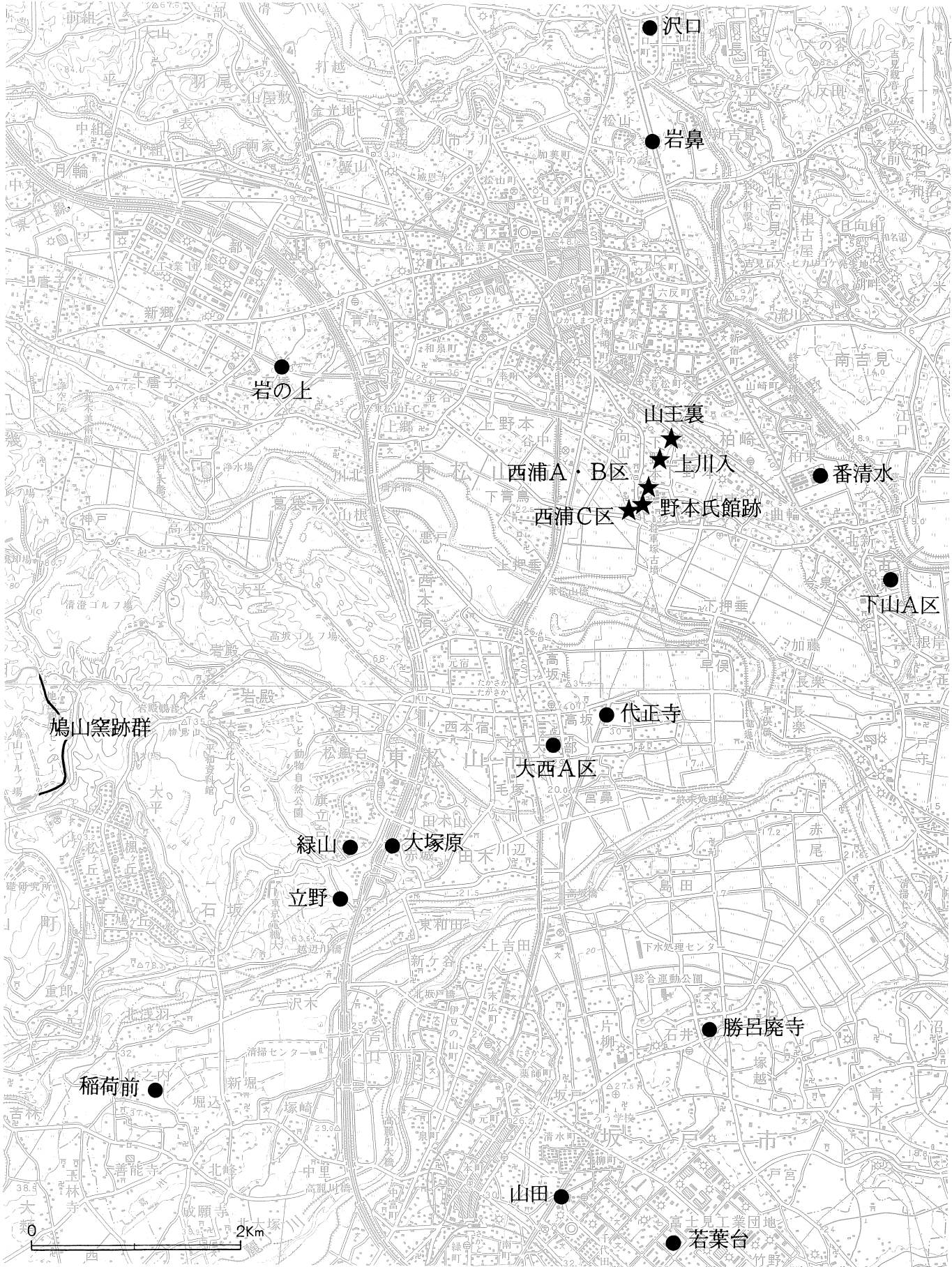
坂戸台地には奈良時代から平安時代の集落として、若葉台遺跡・山田遺跡・脚折遺跡群がある。若葉台遺跡では、竪穴住居跡だけでなく掘立柱建物跡も多数検出され、墨書土器・朱墨書土器の他に円面硯・奈良三彩・帯金具・銅鈴等が出土している。若葉台遺跡の周辺遺跡である山田遺跡では、奈良三彩の獣脚付香炉が出土している。また、脚折遺跡群からは竪穴住居跡のほか掘立柱建物跡が検出され、墨書土器が多数出土した。毛呂台地の北東部先端に稲荷前遺跡があり、古墳時代から平安時代にかけての集落である。奈良時代の住居跡から円面硯が出土している。

南比企丘陵（岩殿丘陵）には奈良時代から平安時代の東国における一大窯跡群であった南比企窯跡群があり、この窯跡群の製品の分布範囲は比企郡・入間郡にとどまらず、広範囲に広がっている。この窯跡群の一支群である鳩山窯跡群に含まれる県指定史跡の「赤沼国分寺窯跡」からは勝呂廃寺の創建期の瓦が出土しているだけでなく、山王裏遺跡・上川入遺跡からも赤沼国分寺窯跡の斜面下から採集した瓦と同様の瓦が出土している。

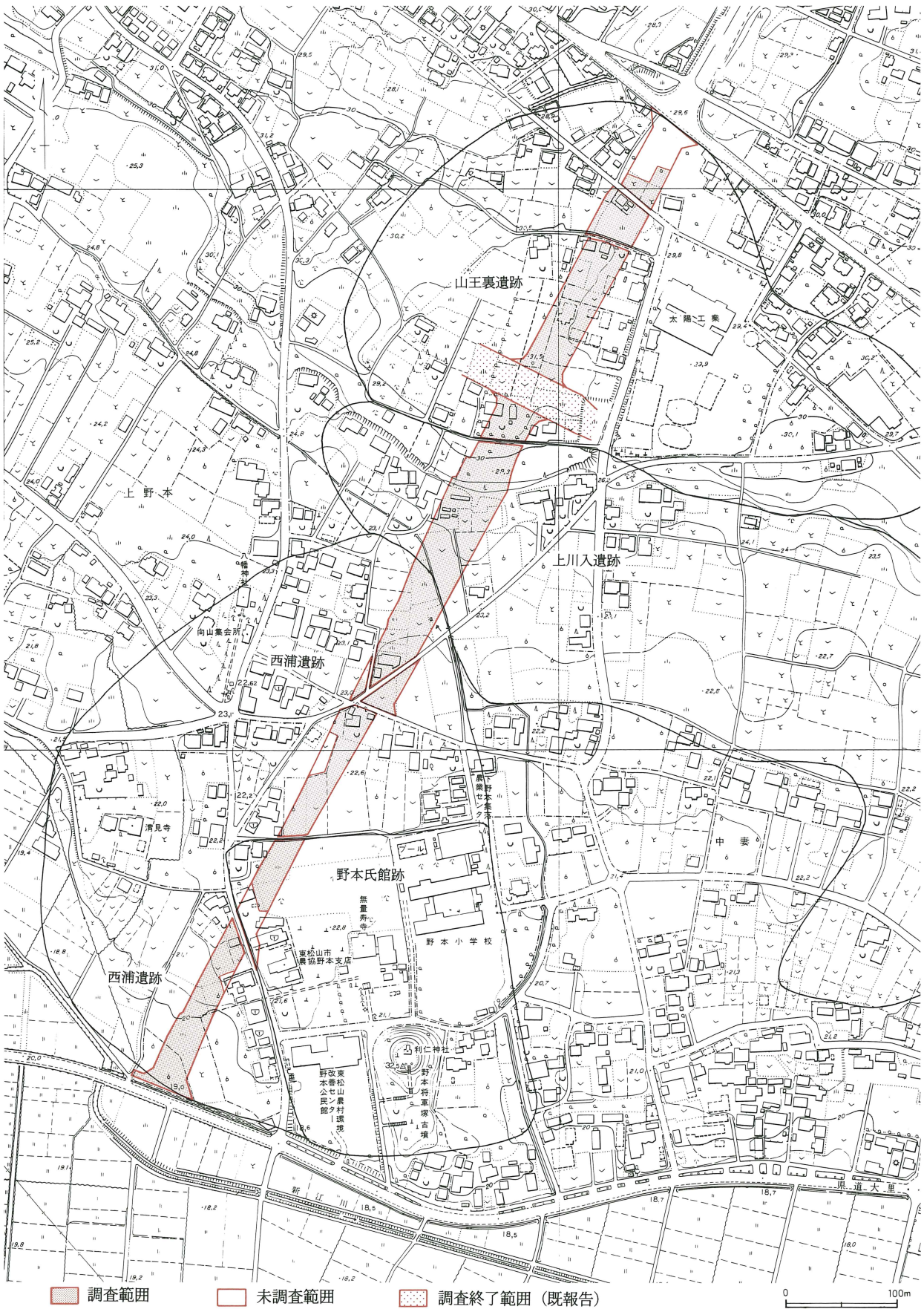
第2図 弥生・古墳時代の周辺遺跡分布図



第3図 奈良・平安時代の周辺遺跡分布図



第4図 遺跡周辺の地形図



III 山王裏遺跡の調査

1 遺跡の概要

山王裏遺跡は、東松山台地南縁、都幾川の沖積地を挟み高坂台地・岩殿丘陵を望むところに位置する。遺跡は台地上の平坦部にあり、南東部の一部が斜面にかかっている。台地と沖積地の間には低台地が広がり、沖積地に面して野本將軍塚古墳が占地している。

遺跡はこれまでの調査で、古墳時代後期の円墳2基、奈良時代の基壇と地割り溝、ローム採掘坑、奈良・平安時代の集落が検出されている。

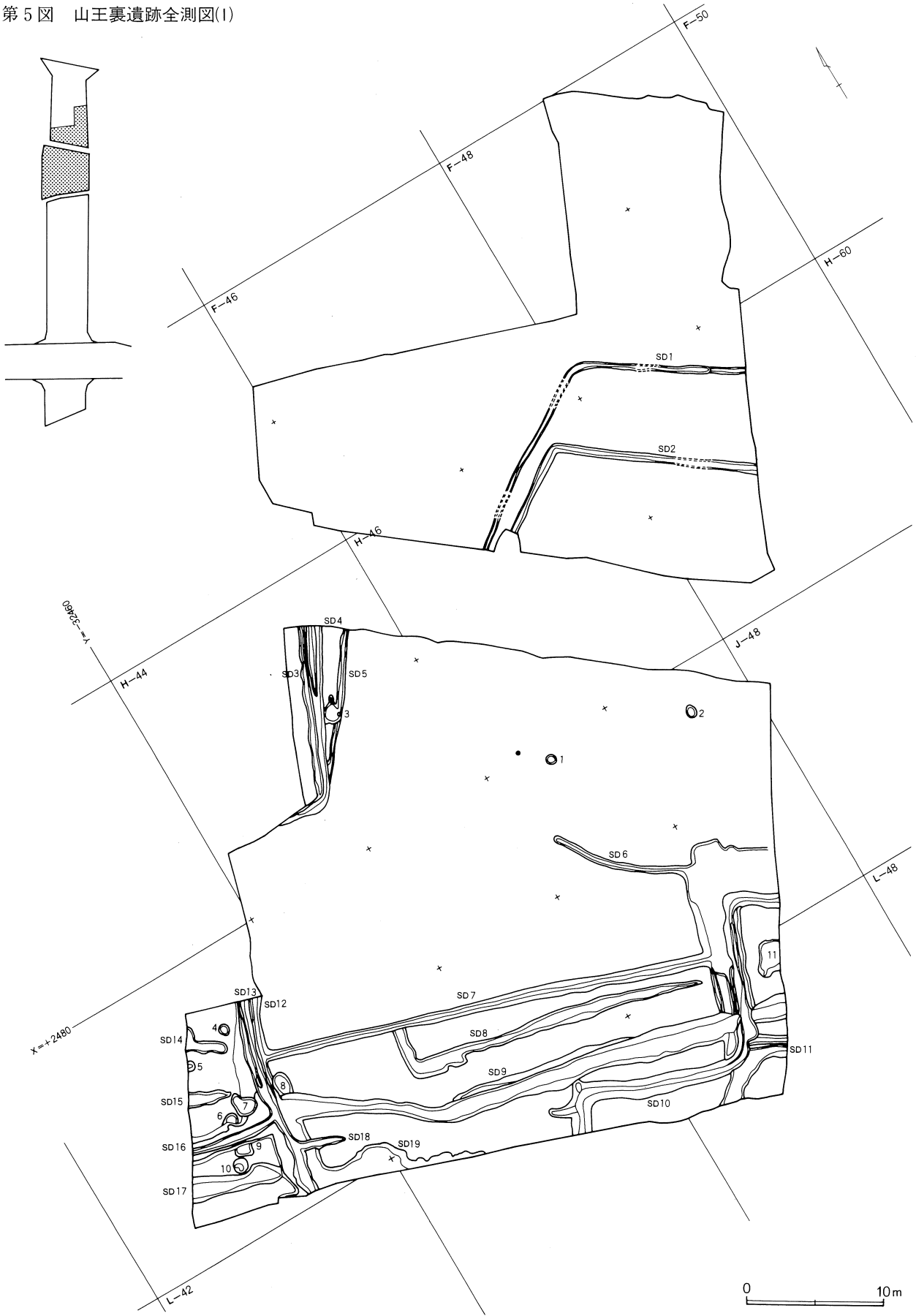
古墳は径32mの円墳で、立地としては低台地の野本將軍塚古墳と異なり台地上の南縁で、まさに沖積地を見下ろし、対岸の高坂台地・岩殿丘陵を望む位置を占めている。墳丘は確認されなかったが今回の調査でも北側の周溝の一部が調査され、周溝は全周せず数カ所がブリッジ状に残る。内部構造は凝灰岩の切石を用いた横穴式石室である。削平されており詳細は不明であるが、周溝から石室まで墓道が掘り込まれていた。玄室より大小の耳環各1個、墓道からは祭祀に関すると考えられる須恵器片が検出された。もう1基の古墳も円墳で斜面部に位置し、山寄せ式の古墳である。径は22mで墳丘は確認されず、周溝は数カ所でブリッジ状に残る。内部構造は凝灰岩切石切り組み積みの胴張りの横穴式石室で玄門部より前は崖状となり確認されなかった。副葬品は耳環2個・土製の玉類・刀子が検出された。石室構築材として凝灰岩を用いる点は、当地域の特色である。2基の古墳の間は約230m離れており占地や規模からして、若干の時期差をもって、単独墳として存在していたものであろう。

奈良時代にはいと、古墳とは異なる場所の台地上に、掘り込み地業による基壇が築かれ、今回の調査で東辺の地割りとみられる溝が確認された。溝の断面は箱薬研堀で南北方向に延びているのが確認された。西辺の地割りと考えられる溝は、やや西に偏するがやはり箱薬研堀で、基壇を中心とした寺域を画する東西の堀と考えられる。しかし、基壇上にも周辺にも礎石及

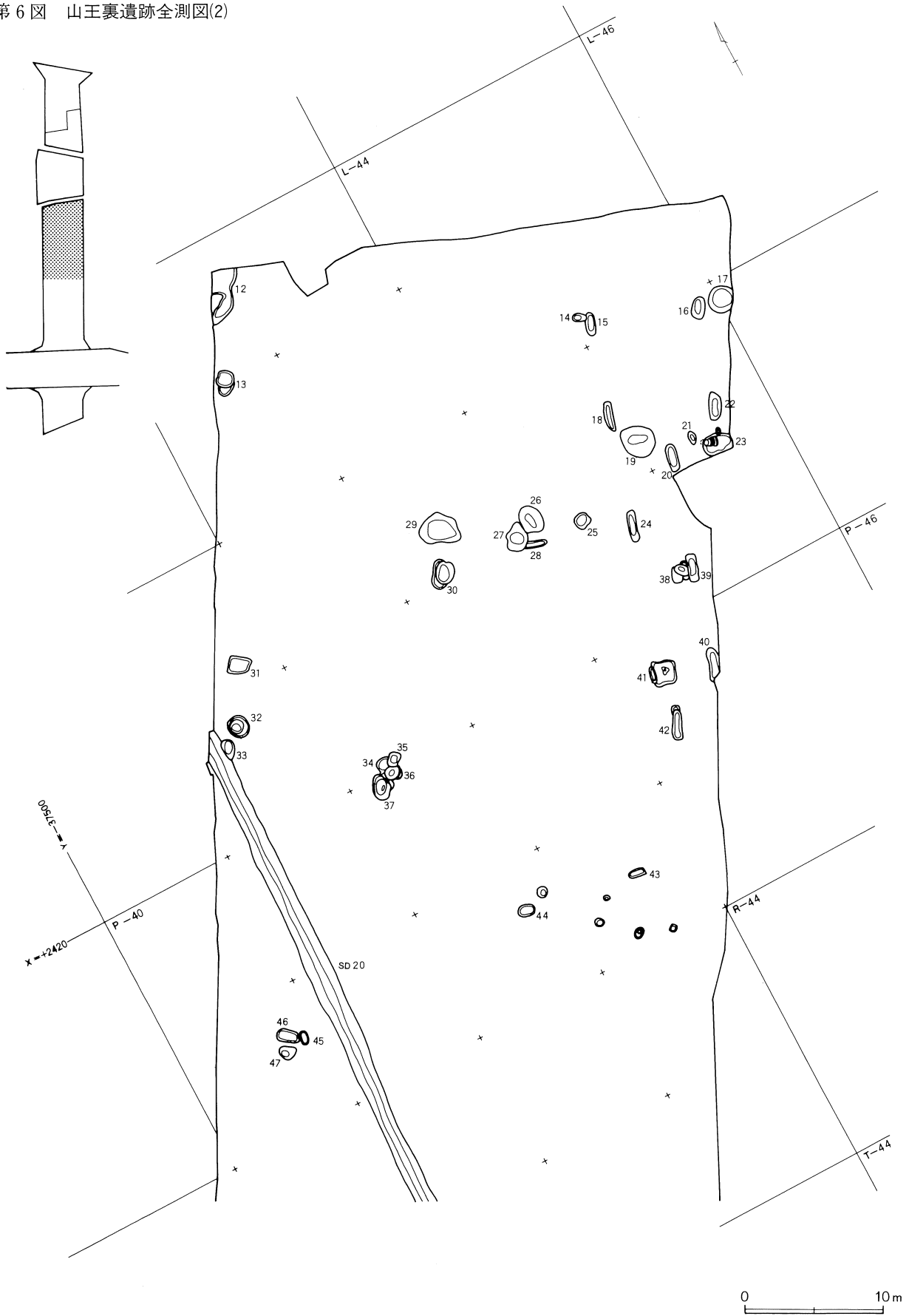
び柱穴などの建物跡は調査区では確認されていない。更に、基壇のすぐ西に隣接して竪穴状の遺構が確認され、覆土上層で瓦が検出された。瓦の投棄は建物の廃絶によって行われると考えられることから、基壇の建物と竪穴状遺構が同時に存在したと推定される。竪穴状遺構の瓦を出土した覆土上層の締まった黒色土は、基壇の周辺にもあり、基壇は黒色土を掘り込んで構築しており、基壇構築の整地面の様相を呈している。また、東辺の溝の覆土上層にも同様の土が確認されている。これらのことから判断して、基壇は構築したものの何らかの原因で寺院築造を中止したとも考えられる。

集落は奈良時代から平安時代かけて続き、奈良時代の中頃、つまり武蔵国分寺創建期前後を中心とし、古墳と古墳の間に限られ、斜面から北の台地の平坦部にかけて広がるが、東及び西には広がっていない。

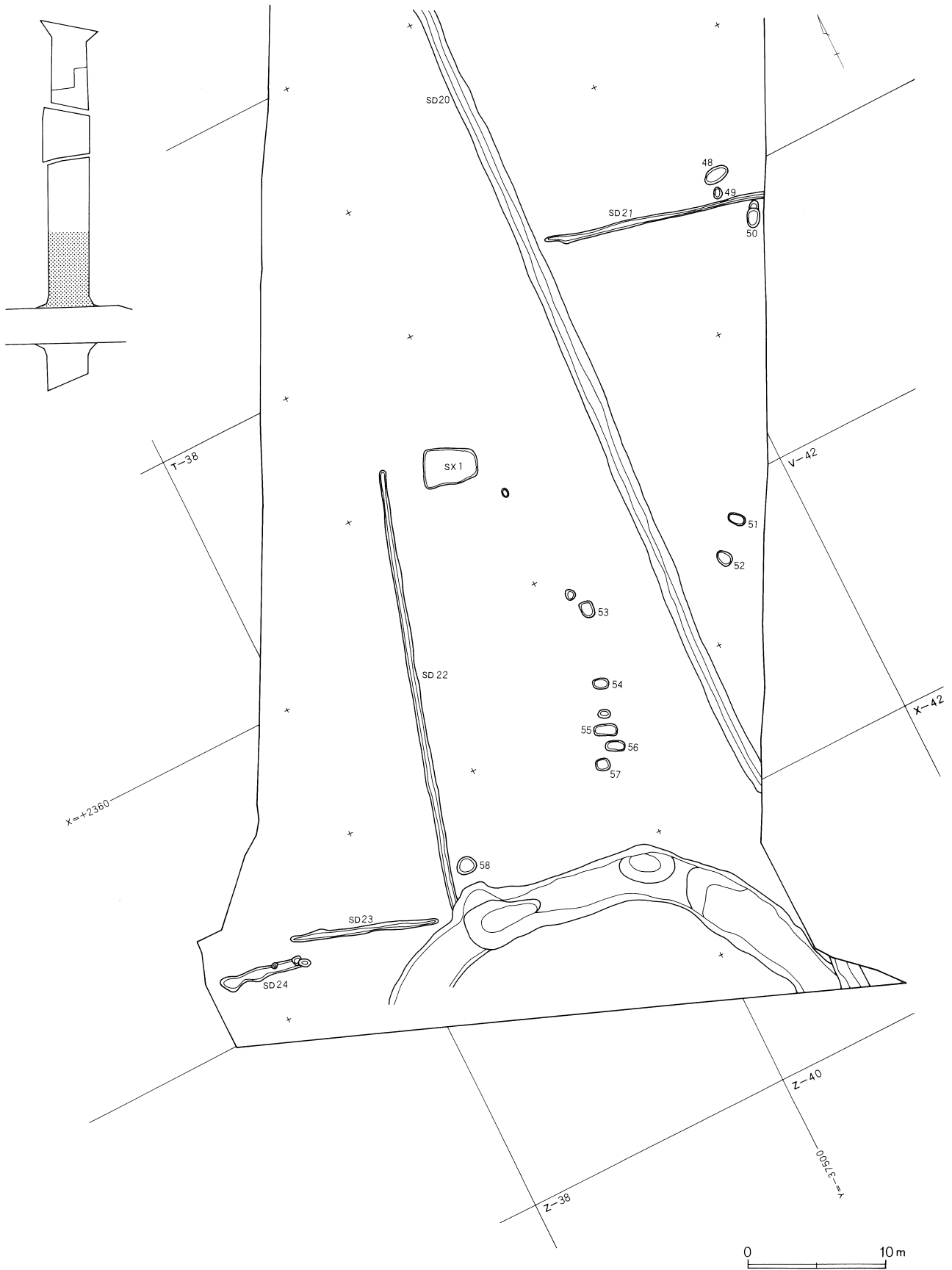
第5図 山王裏遺跡全測図(I)



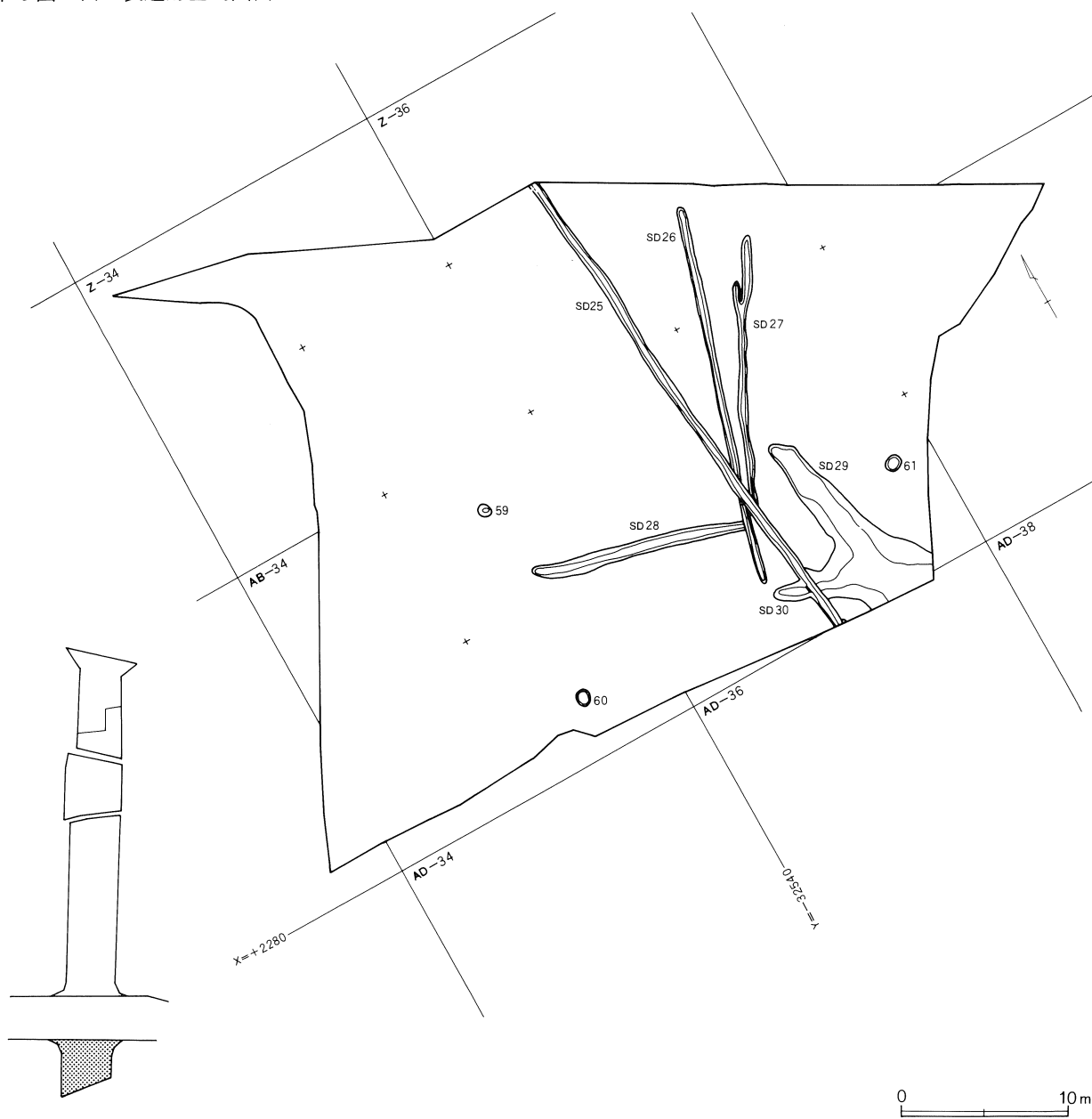
第 6 図 山王裏遺跡全測図(2)



第 7 図 山王裏遺跡全測図(3)



第 8 図 山王裏遺跡全測図(4)



2 検出された遺構と遺物

(1) 古墳

久保原古墳(第9・10図)

W-38・39、X-37~40、Y-40グリッドに位置し、円墳の周溝の一部である。

古墳の主要部は既に調査・報告(山本 1991)されている。

概要は、墳丘及び主体部の石室の棺床面まで削平されており、墳形は円墳で周溝内径は32mを測る。周溝は全周せず東側と西側、北北西側にブリッジ状を呈し、石室前でもやや浅くなっている。周溝幅は4~5m、深さは0.95~1.3mで、外周は立ち上がりが急であるが内周は比較的緩やかである。また、西側の周溝外周側に焼土を含む層が堆積していた。

石室は凝灰岩切石を用いた横穴式石室である。石室規模は、玄室左壁と礫床残存範囲より推定し、全長4.5~5.5m、玄室長3.8m、玄室最大幅2.2mと推定され、胴張りと考えられる。また、石室前庭部より周溝まで墓道が付設されており、地山を掘り込んだもので、規模は長さ8.5m、幅2.1~3.0m、深さ0.4mを測る。

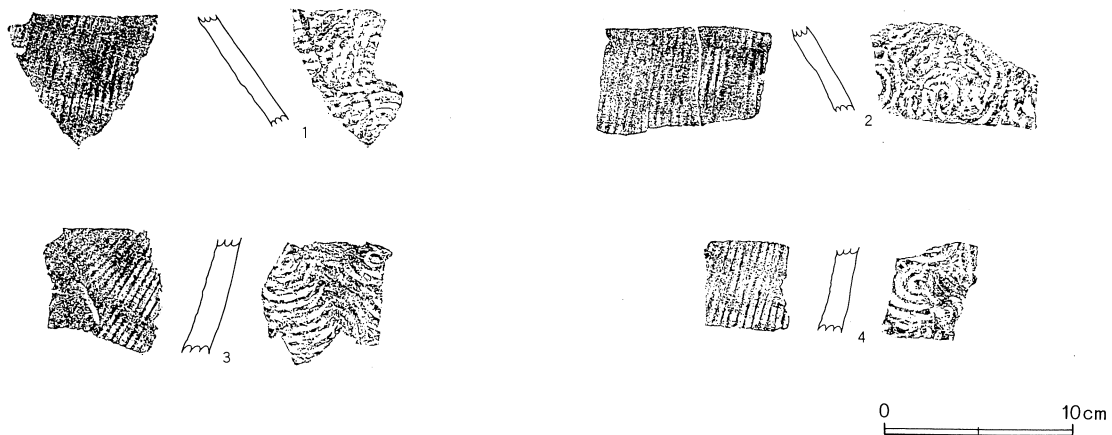
出土遺物は、副葬品が玄室より大小の耳環が1点ずつ、鉄製品が2点のみである。その他、墓道より小型

壺や甕、墓道前の周溝より横瓶が出土した。

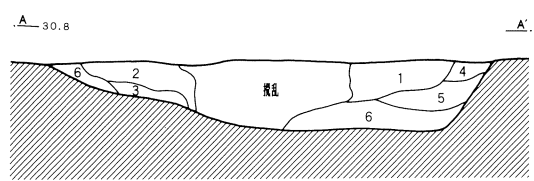
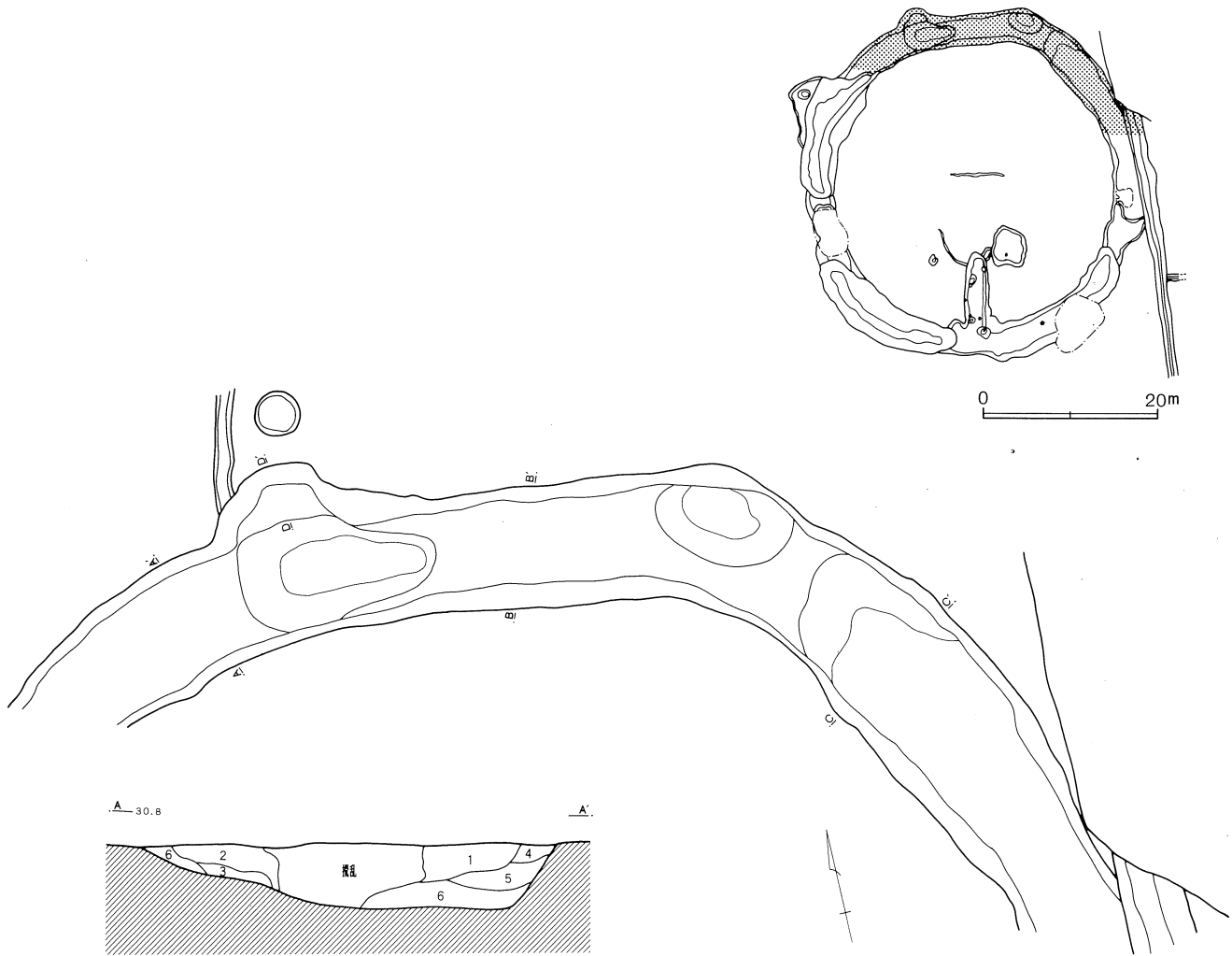
今回調査の古墳北側の周溝の幅は3.5~4.3m、深さは40~60cmで、断面形は内側は比較的緩やかであるが外側は立ち上がりが急な台形状である。また外周沿いの一部に焼土を多く含む層がみられ、以前調査した西側周溝と同じ状況が見られた。

出土遺物は、周溝覆土より須恵器甕胴部の破片が検出され、外面は平行叩き、内面は同心円文当て具痕がみられる。

第9図 久保原古墳出土遺物

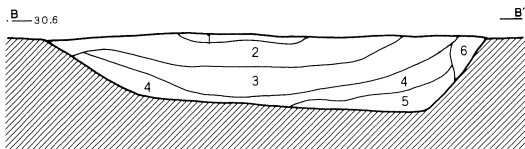


第10図 久保原古墳

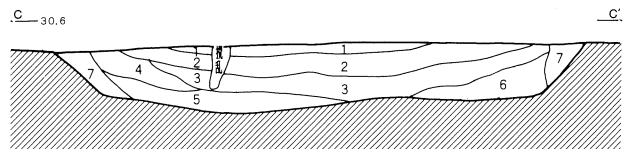


- 1 黒褐色土 黄褐色土粒子微量含む
- 2 黒褐色土 褐色土・黄褐色土粒子含む
- 3 褐色土 ロームブロック多く含む
- 4 黒褐色土 黄褐色土粒子微量含む 締まりなし
- 5 暗赤褐色土 ロームブロック含む
- 6 鈍い赤褐色土

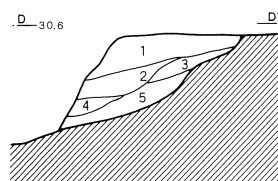
0 5m



- 1 黒褐色土 褐色土含む
- 2 黒褐色土 黄褐色土粒子微量含む 締まりあり
- 3 黒褐色土 褐色土・黄褐色土粒子多く含む 締まりあり
- 4 暗赤褐色土 褐色土粒子多く含む
- 5 暗赤褐色土 褐色土粒子若干含む
- 6 暗赤褐色土 ロームブロック含む 締まりなし



- 1 黒褐色土 橙色土粒子微量含む 締まり強い
- 2 黒褐色土 黄褐色土粒子微量含む やや締まり強い
- 3 黒褐色土 黄褐色土粒子若干含む
- 4 暗赤褐色土 黄褐色土粒子多く含む やや締まり強い
- 5 暗赤褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 6 暗赤褐色土 黄褐色土粒子極多く含む
- 7 鈍い赤褐色土 ロームブロック含む



- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む 締まりあり
- 2 暗褐色土 焼土多く含む
- 3 極暗赤褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 4 極暗褐色土 焼土若干含む
- 5 褐色土 焼土極多く含む 粗粒

0 2m

(2) 土 坑

第1号土坑(第11図)

J-46グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は直径0.72m、深さ7cmを測る。

第2号土坑(第11図)

J-47グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.87m、短径0.85m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-22°-Wを指す。覆土中より土師器坏の他、須恵器片が出土した。坏は体部下半は指押さえによる整形で、口唇部には油煙が付着している。

第3号土坑

H・I-45グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.30m以上、短軸1.25m以上、深さ11cmを測る。主軸方位はN-29°-Eを指す。第4・5号溝と重複している。

第4号土坑(第11図)

J-43グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.86m、短径0.76m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-17°-Wを指す。

第5号土坑

J-43グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.68m、短軸0.49m以上、深さ14cmを測る。主軸方位はN-78°-Wを指す。

第6号土坑(第11図)

K-43グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈すると推定され、規模は長軸1.40m、短軸0.90m、深さ31cmを測る。主軸方位はN-45°-Eを指す。第9号土坑・第16号溝を切っている。

第7号土坑

K-43グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.62m以上、短軸1.38m以上、深さ15cmを測る。主軸方位はN-20°-Wを指す。第16号溝に切られている。

第8号土坑

K-43グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.62m以上、短軸1.03m以上、深さ20cmを測る。主軸方位はN-3°-Wを指す。第9・12号溝

と重複し、第12号溝に切られている。

第9号土坑(第11図)

K-43グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.22m、短軸0.81m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-73°-Wを指す。第16号溝を切り、第6号土坑には切られている。

第10号土坑(第11図)

K-42・43グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.15m、短軸1.03m、深さ38cmを測る。主軸方位はN-61°-Eを指す。

第11号土坑

L-46・47グリッドに位置する。東半は調査区外であるが、平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.65m、短軸1.60m以上、深さ12cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

第12号土坑(第11図)

L-42・43グリッドに位置する。北側と西側は調査区外で、平面形は不整形を呈し、規模は長軸3.65m、短軸1.47m、深さ98cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

第13号土坑(第11図)

L・M-42グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.79m、短軸1.18m、深さ50cmを測る。主軸方位はN-31°-Eを指す。

第14号土坑(第11図)

M-45グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.90m、短軸0.54m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-72°-Wを指す。第15号土坑と重複している。

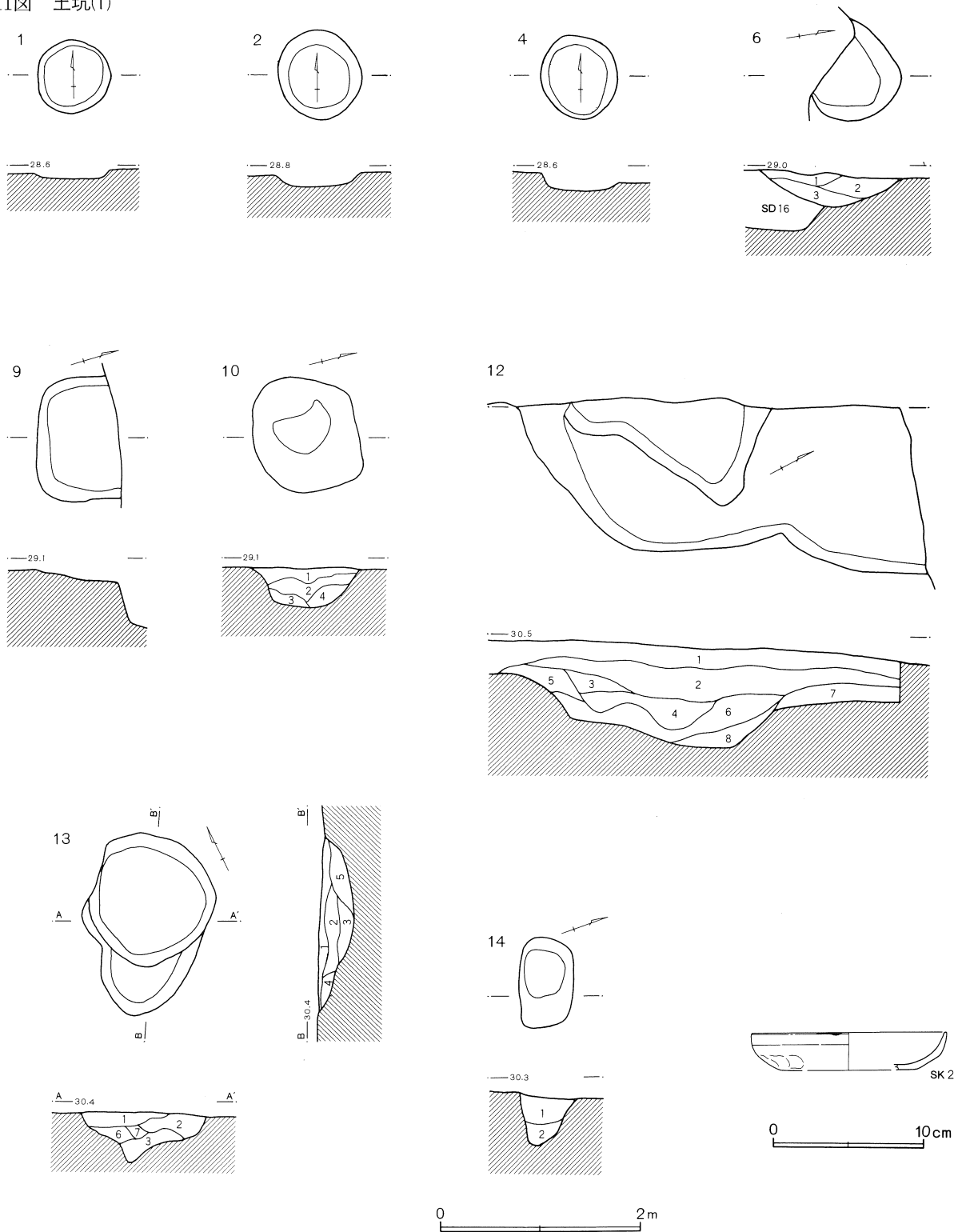
第15号土坑(第12図)

M-45グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.63m、短軸0.61m、深さ52cmを測る。主軸方位はN-21°-Eを指す。第14号土坑と重複している。

第16号土坑(第12図)

N-45グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を

第11図 土坑(I)



SK 6

- 1 褐色土 ローム粒子若干含む
- 2 鈍い黄褐色 ローム粒子若干含む
- 3 褐色土 ロームブロック含む

SK 10

- 1 暗褐色土 ロームブロック少し含む
- 2 褐色土 ローム粒子多く含む
- 3 褐色土 やや締まる
- 4 黄褐色土 粗粒

SK 12

- 1 暗褐色土 ローム粒子若干含む
- 2 暗褐色土 ロームブロック・黒色土多く含む
- 3 褐色土 ロームブロック・ローム粒子・黒色土含む
- 4 暗褐色土 ロームブロック多量、同粒子・黒色土含む やや締まる
- 5 暗褐色土 ローム粒子若干含む
- 6 褐色土 ローム粒子・ブロック・黒色土多量含む
- 7 暗褐色土 ロームブロック含む
- 8 黒褐色土 ロームブロック少量含む

SK 13

- 1 暗褐色土 締まりややあり
- 2 褐色土 淡黒褐色土含む
- 3 淡黒褐色土
- 4 淡褐色土
- 5 黄褐色土
- 6 褐色土 粗粒 締まりなし
- 7 ロームブロック

SK 14

- 1 暗褐色土 ロームブロック含む
- 2 暗褐色土 ローム粒子若干含む

呈し、規模は長軸1.57m、短軸0.85m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-39°-Eを指す。

第17号土坑(第12図)

N-45・46グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は直径1.83m、深さ27cmを測る。

第18号土坑(第12図)

N-44グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.19m、短軸0.59m、深さ46cmを測る。主軸方位はN-17°-Eを指す。

第19号土坑(第12図)

N-44・45グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.59m、短軸2.10m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-36°-Wを指す。

第20号土坑(第12図)

N・O-45グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.00m、短軸0.67m、深さ65cmを測る。主軸方位はN-16°-Eを指す。

第21号土坑(第13図)

N-45グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径0.89m、短径0.63m、深さ35cmを測る。主軸方位はN-5°-Eを指す。

第22号土坑(第13図)

N-45グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.98m、短軸0.83m、深さ65cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

第23号土坑(第13図)

N・O-45グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸2.13m、短軸1.43m、深さ37cmを測る。主軸方位はN-73°-Wを指す。

第24号土坑(第13図)

O-44グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.18m、短軸0.63m、深さ73cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。覆土中より須恵器片が出土している。

第25号土坑(第13図)

O-44グリッドに位置する。平面形は不整円形を呈し、規模は長径1.21m、短径0.98m、深さ9cmを測る。

主軸方位はN-66°-Eを指す。

第26号土坑(第13図)

N-43・44グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.12m、短軸1.66m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-5°-Wを指す。第27号と重複している。覆土中より須恵器片が出土した。

第27号土坑(第13図)

N・O-43グリッドに位置する。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸1.98m、短軸1.54m、深さ52cmを測る。主軸方位はN-31°-Eを指す。第26号・第28号土坑と重複し、第28号土坑を切っている。

第28号土坑(第13図)

O-43・44グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.62m以上、短軸0.39m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-73°-Wを指す。第27号土坑に切られている。

第29号土坑(第14図)

N-43グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸3.06m、短軸1.97m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-52°-Wを指す。

第30号土坑(第14図)

N・O-43グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.00m、短軸1.45m、深さ27cmを測る。主軸方位はN-49°-Eを指す。

第31号土坑(第14図)

N-41グリッドに位置する。平面形は不整隅丸方形を呈し、規模は長軸1.56m、短軸1.12m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-58°-Wを指す。

第32号土坑(第14図)

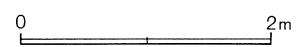
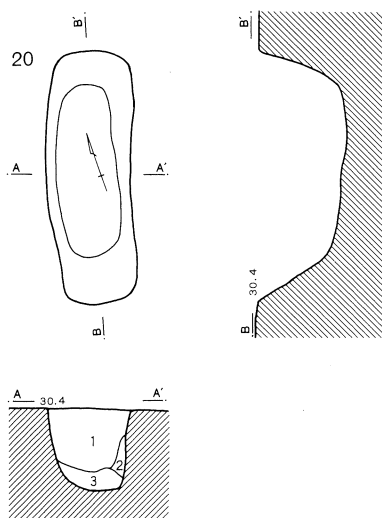
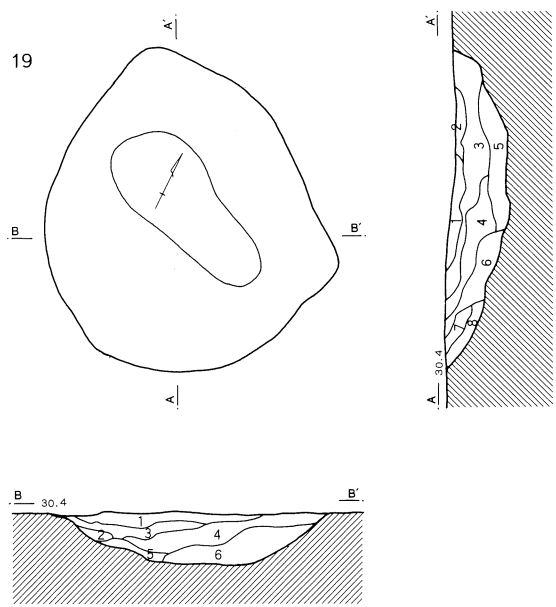
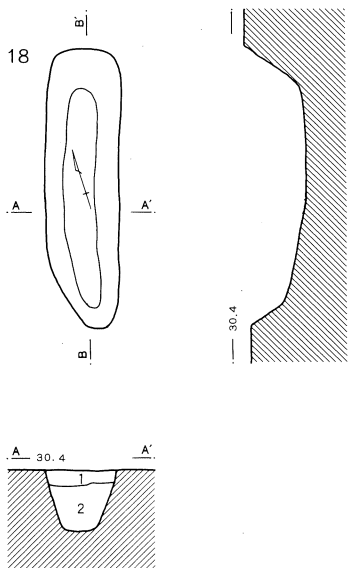
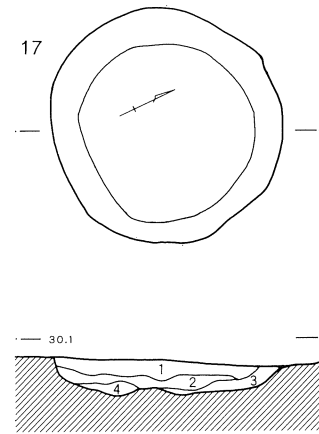
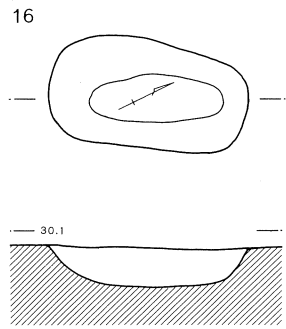
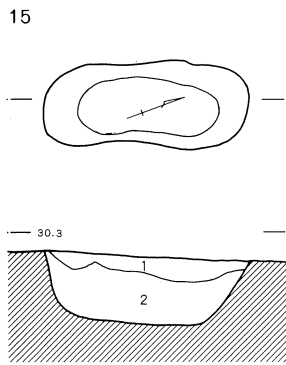
O-41グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は径1.55m、深さ42cmを測る。

第33号土坑(第14図)

O-41グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.36m、短軸0.82m以上、深さ22cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。第20号溝と重複し、溝を切っている。

第34号土坑(第15図)

第12図 土坑(2)



SK 1 5
 1 暗褐色土 ローム粒子若干含む
 2 暗褐色土 ローム粒子・ブロック含む

SK 1 6
 褐色土 ロームブロック若干含む 締まり弱い

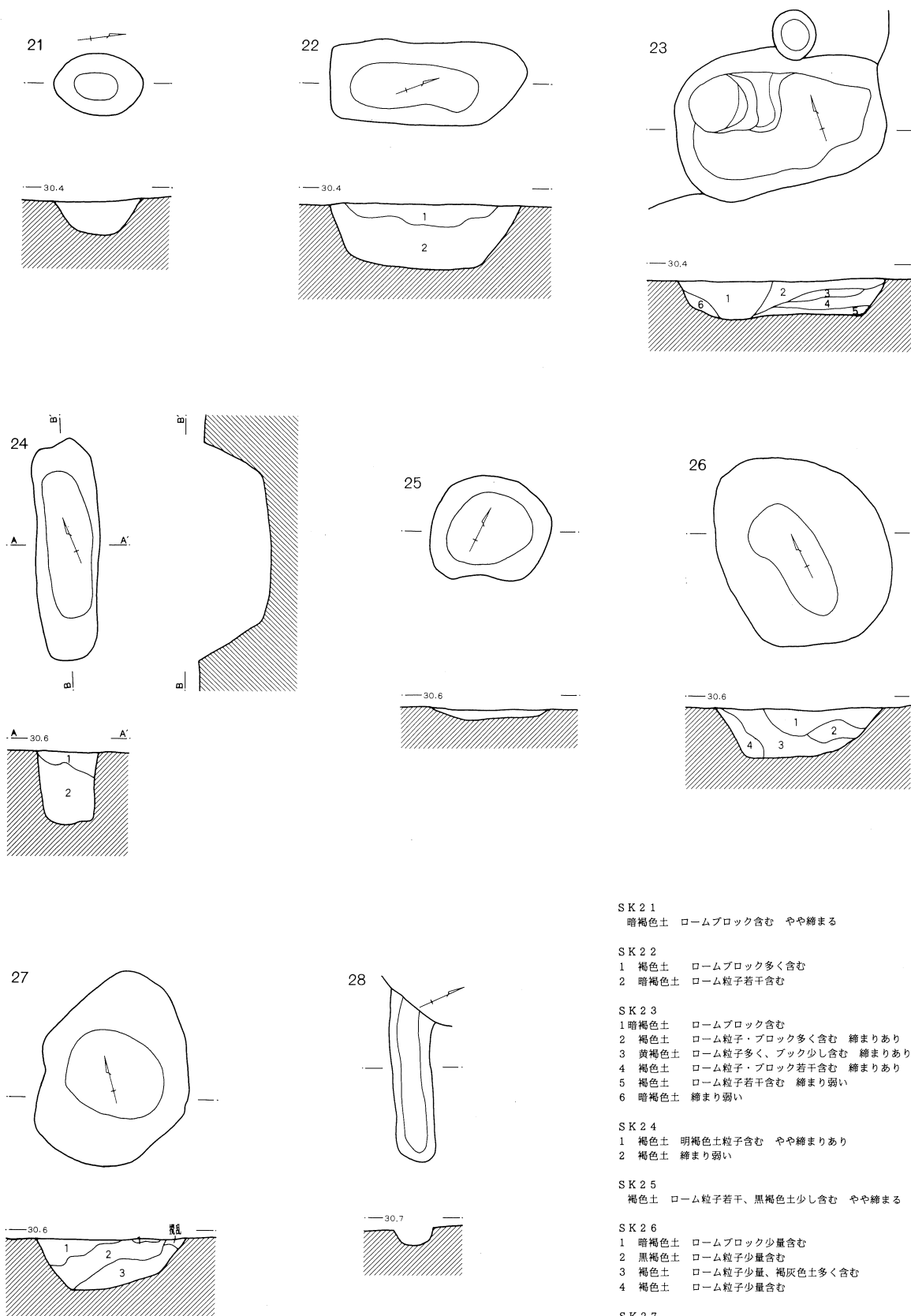
SK 1 7
 1 褐色土 ローム粒子多く含む
 2 褐色土 ローム粒子少し含む
 3 褐色土 ロームブロック含む
 4 褐色土 ローム含む

SK 1 8
 1 暗褐色土 ローム粒子含む
 2 極暗褐色土 ロームブロック含む

SK 1 9
 1 暗褐色土 ローム粒子含む
 2 暗褐色土
 3 暗褐色土 ロームブロック含む
 4 暗褐色土 ロームブロック・黒色土含む
 5 黒色土 ロームブロック含む よく締まる
 6 暗褐色土 ロームブロック多く含む
 7 黒褐色土 ローム粒子含む
 8 褐色土

SK 2 0
 1 暗褐色土 ロームブロック多く、炭化材・
 焼土粒若干含む
 2 暗褐色土 締まりなし
 3 暗褐色土 ロームブロック多く含む

第13図 土坑(3)



SK 2 1
暗褐色土 ロームブロック含む やや締まる

SK 2 2
1 褐色土 ロームブロック多く含む
2 暗褐色土 ローム粒子若干含む

SK 2 3
1 暗褐色土 ロームブロック含む
2 褐色土 ローム粒子・ブロック多く含む 締まりあり
3 黄褐色土 ローム粒子多く、ブロック少し含む 締まりあり
4 褐色土 ローム粒子・ブロック若干含む 締まりあり
5 褐色土 ローム粒子若干含む 締まり弱い
6 暗褐色土 締まり弱い

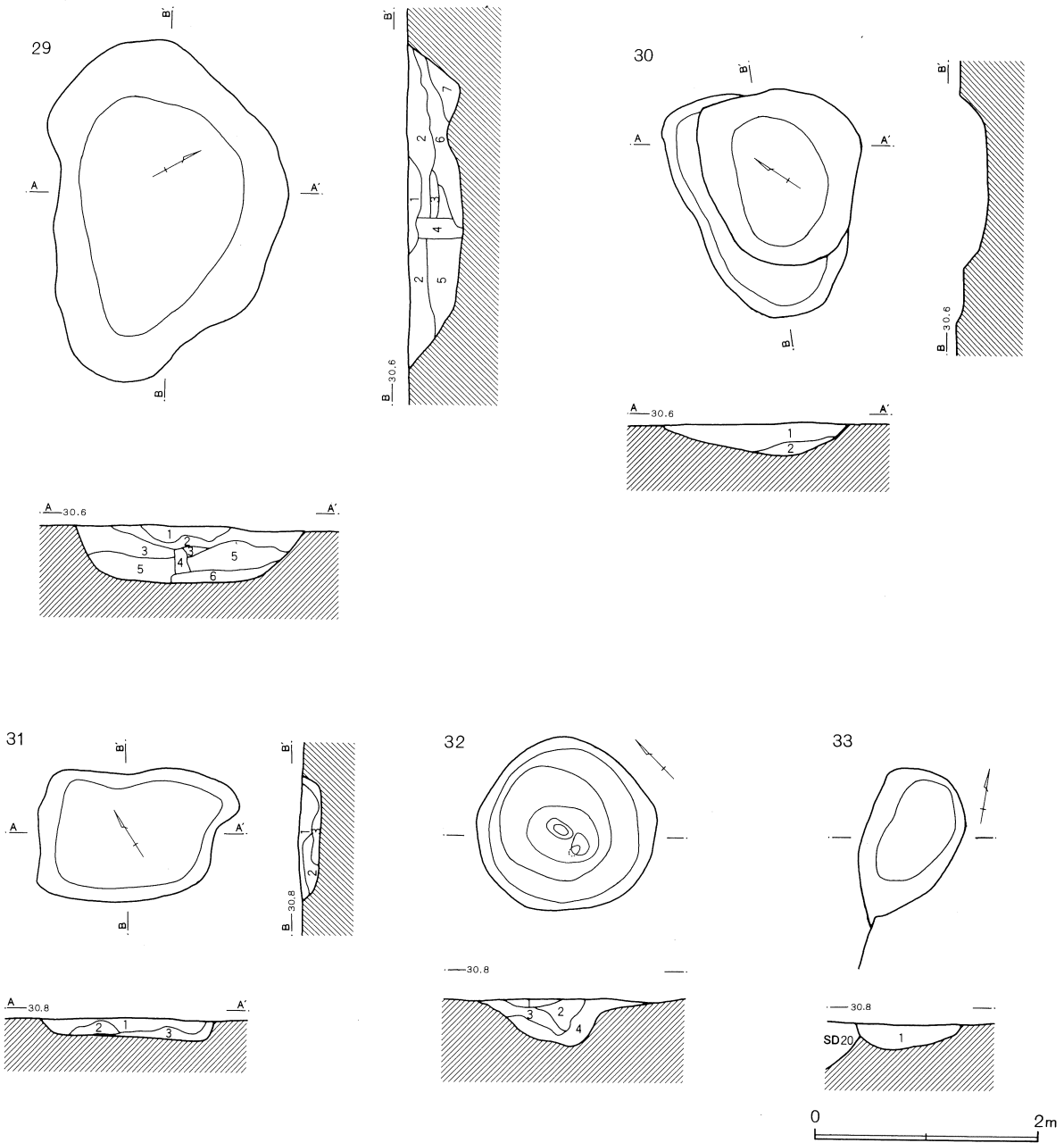
SK 2 4
1 褐色土 明褐色土粒子含む やや締まりあり
2 褐色土 締まり弱い

SK 2 5
褐色土 ローム粒子若干、黒褐色土少し含む やや締まる

SK 2 6
1 暗褐色土 ロームブロック少量含む
2 黒褐色土 ローム粒子少量含む
3 褐色土 ローム粒子少量、褐色土多く含む
4 褐色土 ローム粒子少量含む

SK 2 7
1 鈍い黄褐色土 ロームブロック少し含む
2 鈍い黄褐色土 ロームブロック・粒子・黒色土多く含む
3 黄褐色土 ロームブロック多く含む

第14図 土坑(4)



- SK 29
- 1 黄褐色土 ローム粒子多量、ブロック少し含む
 - 2 鈍い黄褐色土 ロームブロック含む 粗粒
 - 3 黄褐色土 ローム粒子少し含む
 - 4 褐色土
 - 5 黄褐色土 ローム粒子多量含む
 - 6 鈍い黄褐色土
 - 7 明黄褐色土 鈍い黄褐色土多量含む

- SK 30
- 1 鈍い黄褐色土 ロームブロック少し含む
 - 2 灰黄褐色土 ロームブロック・黒色土多く含む
- SK 31
- 1 褐灰色土 鈍い黄褐色土粒子含む
 - 2 明黄褐色土 褐灰色土少量含む
 - 3 鈍い黄褐色土 褐灰色土少量含む

- SK 32
- 1 鈍い黄褐色土
 - 2 暗褐色土 ロームブロック少し含む 粗粒
 - 3 褐色土 ロームブロック多く含む 粗粒
 - 4 褐色土 ローム粒子含む 粗粒
- SK 33 黒褐色土

○-42グリッドに位置する。平面形は不明であるが、規模は長軸1.19m、短軸0.94m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-50°-Eを指す。第35・36号土坑に切られている。

第35号土坑(第15図)

○-42グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.97m以上、短軸0.84m以上、深さ33cmを測る。主軸方位はN-54°-Eを指す。第34号・第36号土坑と重複し、第34号土坑を切っている。

第36号土坑(第15図)

○・P-42グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.26m、短軸0.92m、深さ59cmを測る。主軸方位はN-84°-Eを指す。第34・35・37号土坑と重複し、第34号土坑を切っている。

第37号土坑(第15図)

○・P-42グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.73m、短軸1.59m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-12°-Eを指す。第36号土坑と重複している。

第38号土坑(第15図)

○-44グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.40m以上、短軸1.28m以上、深さ27cmを測る。主軸方位はN-83°-Eを指す。第39号土坑に切られている。

第39号土坑(第15図)

○-44グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.90m、短軸0.63m、深さ63cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。第38号土坑を切っている。

第40号土坑(第15図)

P-44グリッドに位置する。南東端が調査区外であるが、平面形は長楕円形を呈し、規模は長軸2.50m以上、短軸0.67m、深さ65cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。

第41号土坑(第15図)

P-44グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.79m、短軸1.62m、深さ45cmを測る。

主軸方位はN-22°-Eを指す。

第42号土坑(第16図)

P-44グリッドに位置する。平面形は長楕円形を呈し、規模は長軸2.53m、短軸0.69m、深さ65cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

第43号土坑(第16図)

Q-43グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.25m、短軸0.55m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-80°-Wを指す。

第44号土坑(第16図)

Q-42グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.25m、短軸0.85m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-82°-Wを指す。

第45号土坑(第16図)

Q-40グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.87m、短軸0.52m、深さ6cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

第46号土坑(第16図)

Q-40グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.52m、短軸0.81m、深さ5cmを測る。主軸方位はN-55°-Wを指す。

第47号土坑(第16図)

Q-40グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.24m、短軸0.99m、深さ29cmを測る。主軸方位はN-84°-Wを指す。

第48号土坑(第16図)

S・T-42グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.02m、短軸1.18m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-85°-Eを指す。

第49号土坑(第16図)

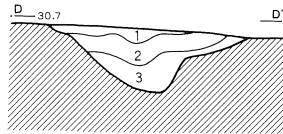
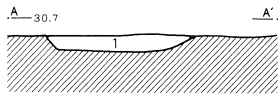
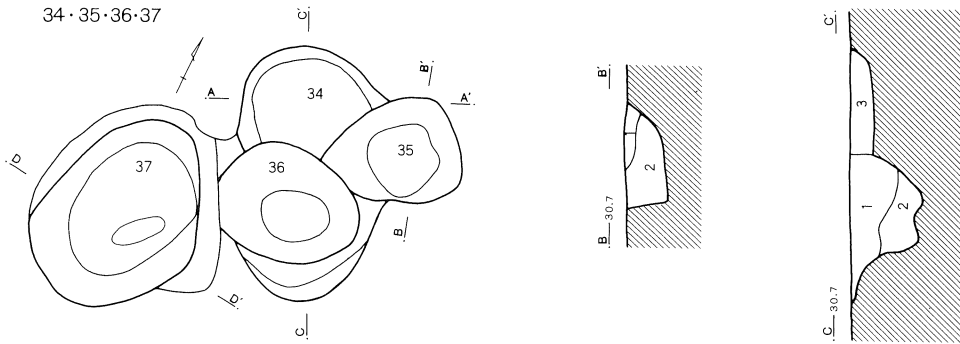
T-42グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.86m、短軸0.64m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-12°-Eを指す。

第50号土坑(第16図)

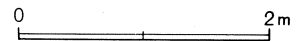
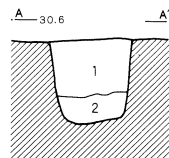
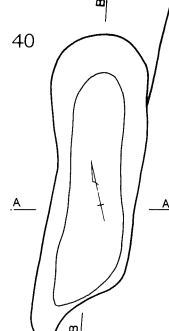
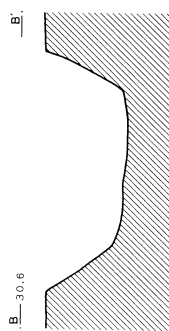
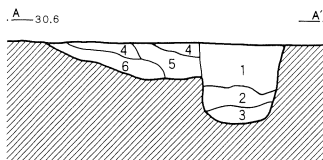
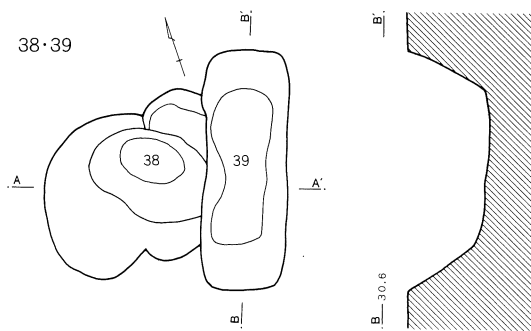
T-42グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.02m、短軸1.09m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。

第15図 土坑(5)

34・35・36・37



38・39



SK34~37

A-A'
黒褐色土 灰黄褐色土・ローム多く含む

B-B'
1 鈍い黄褐色土 ローム粒子・褐灰色土・ロームブロック含む 粗粒
2 褐灰色土 ローム・ロームブロック多く含む 粗粒

C-C'
1 鈍い黄褐色土 ローム粒子・ブロック、灰色多く含む
2 褐灰色土 ローム・ブロック多く含む 粗粒
3 黒褐色土 灰黄褐色土・ローム多く含む

D-D'
1 鈍い黄褐色土 ローム微粒子若干含む
2 鈍い黄褐色土 ロームブロック・ロームブロック粒・黒色土含む
3 鈍い黄褐色土 ロームブロック多く含む締まり弱い 粗粒

SK39・SK38

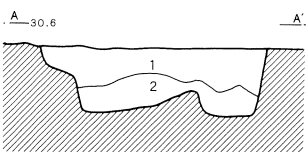
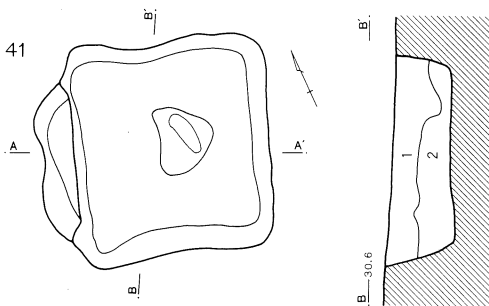
1 暗褐色土 明褐色ブロック含む やや締まりあり
2 暗褐色土 締まり弱い
3 明褐色土
4 暗褐色土
5 褐色土 明褐色土含む
6 極暗褐色土

SK40

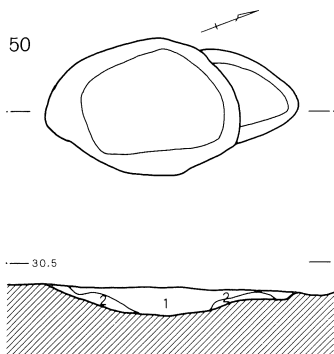
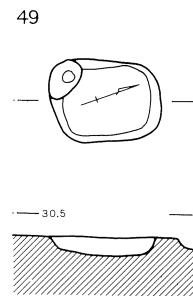
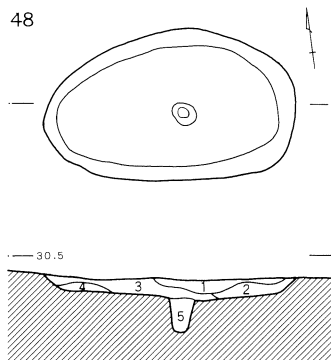
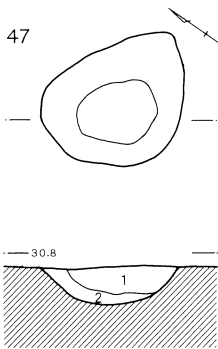
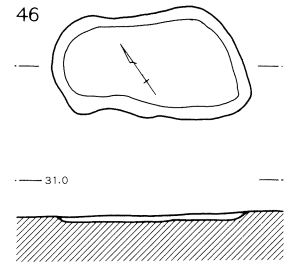
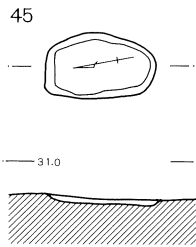
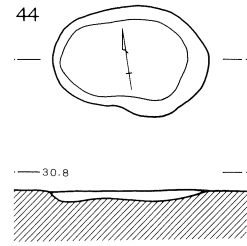
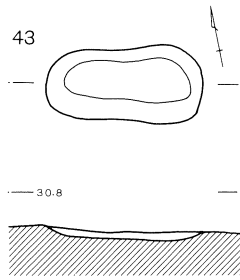
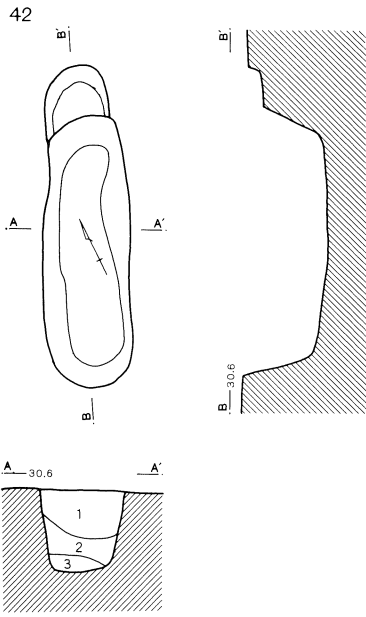
1 暗褐色土 ロームブロック含む やや締まる
2 ロームブロック土

SK41

1 暗褐色土 明褐色ブロック多く含む
2 明褐色土



第16図 土坑(6)

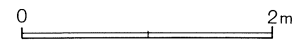


- SK 4 2
 1 極暗褐色土 ローム粒若干含む
 2 暗褐色土 ロームブロック若干含む
 3 黒褐色土 ロームブロック多量含む
- SK 4 3
 黒褐色土 ソフトローム含む 粗粒 締まり弱い
- SK 4 4
 暗褐色土 ローム微粒子多く含む 粗粒 締まり弱い
- SK 4 5
 鈍い黄褐色土 ローム微粒子含む 締まり弱い 粗粒
- SK 4 6
 暗褐色土 ソフトローム含む 締まり弱い 粗粒
- SK 4 7
 1 暗褐色土
 2 暗褐色土 やや締まりあり

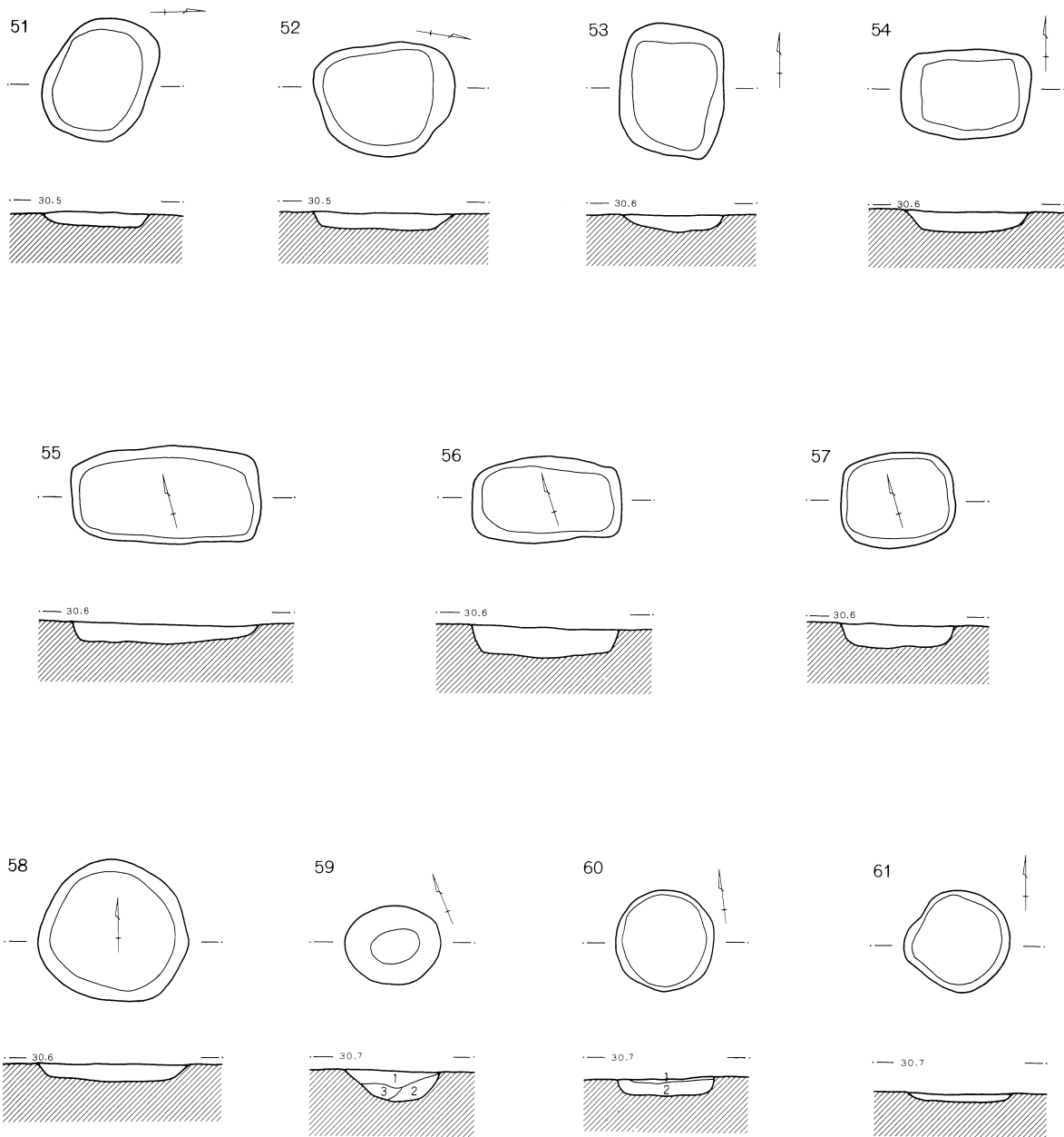
- SK 4 8
 1 暗褐色土 締まり弱い 粗粒
 2 褐色土 ローム粒子多く含む やや締まる
 3 暗褐色土 締まり弱い
 4 黄褐色土 ローム多く含む やや締まっている
 5 黄褐色土 ロームブロック・暗褐色土ブロック多く含む やや締まる 粗粒

- SK 4 9
 暗褐色土 ロームブロック含む 締まり弱い

- SK 5 0
 1 暗褐色土 ロームブロック・黒褐色土粒子含む やや締まる
 2 黄褐色土 ロームブロック含む



第17図 土坑(7)



SK 51 褐色土 黄褐色土多く含む 締まり強い

SK 52 暗褐色土 ロームブロック含む 締まり強い

SK 53 褐色土 締まりなし

SK 54 暗褐色土 黄褐色土粒子微量含む

SK 55 褐色土 黄褐色土粒子微量含む

SK 56 褐色土 黄褐色土粒子若干含む

SK 57 褐色土

SK 58 褐色土炭化材粒子・黄褐色土・焼土若干含む

SK 59

1 黒褐色土 ローム粒子僅かに含む 炭化物粒子多い

2 暗褐色土 炭化物僅かに含む 締まり強い

3 褐色土 ローム粒子多く・炭化物僅かに含む

SK 60

1 黒褐色土 ローム粒子多く、炭化物若干含む

2 黒褐色土 ローム粒子・炭化物多く含む

SK 61

1 黒褐色土 ローム粒子多量、炭化物僅かに含む

第51号土坑(第17図)

V-41グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.08m、短軸0.87m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-71°-Wを指す。

第52号土坑(第17図)

V-41グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.24m、短径0.99m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-9°-Wを指す。

第53号土坑(第17図)

V-40グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.13m、短軸0.91m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。

第54号土坑(第17図)

V-40グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.13m、短軸0.77m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-88°-Wを指す。

第55号土坑(第17図)

W-39・40グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.64m、短軸0.85m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-75°-Wを指す。

第56号土坑(第17図)

W-39・40グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.30m、短軸0.74m、深さ27cmを測る。主軸方位はN-70°-Wを指す。

第57号土坑(第17図)

W-39グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.01m、短軸0.82m、深さ19cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。

第58号土坑(第17図)

W-38グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.30m、短径1.22m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-83°-Eを指す。

第59号土坑(第17図)

AB-35グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.82m、短径0.70m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-89°-Wを指す。

第60号土坑(第17図)

AC-35グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.88m、短径0.84m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第61号土坑(第17図)

AC-37グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.92m、短径0.88m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-81°-Eを指す。

(3)溝

第1号溝(第18図)

G-47・48、H-46~49グリッドに位置する。東西方向から南北方向に鈍角に屈曲し、第2号溝とほぼ平行している。確認できた長さは約27m、幅約0.3m、深さ約10cmを測る。断面形は皿状である。

第2号溝(第18図)

H-47・48、I-48グリッドに位置する。第1号溝と同様に東西方向から南北方向に鈍角に屈曲し、第1号溝とほぼ平行している。確認できた長さは約22m、幅約0.5~0.7m、深さ約30~60cmを測る。断面形は逆台形である。

覆土中より近世陶器が出土した。

第3号溝(第19図)

H-45、I-44・45グリッドに位置する。確認できた長さは約12.5m、幅約0.3~0.4m、深さ約15cmを測る。溝はN-25°-Eの方向に延び、北端は調査区域外に延びている。第4号溝と重複し、第4号溝に切られている。

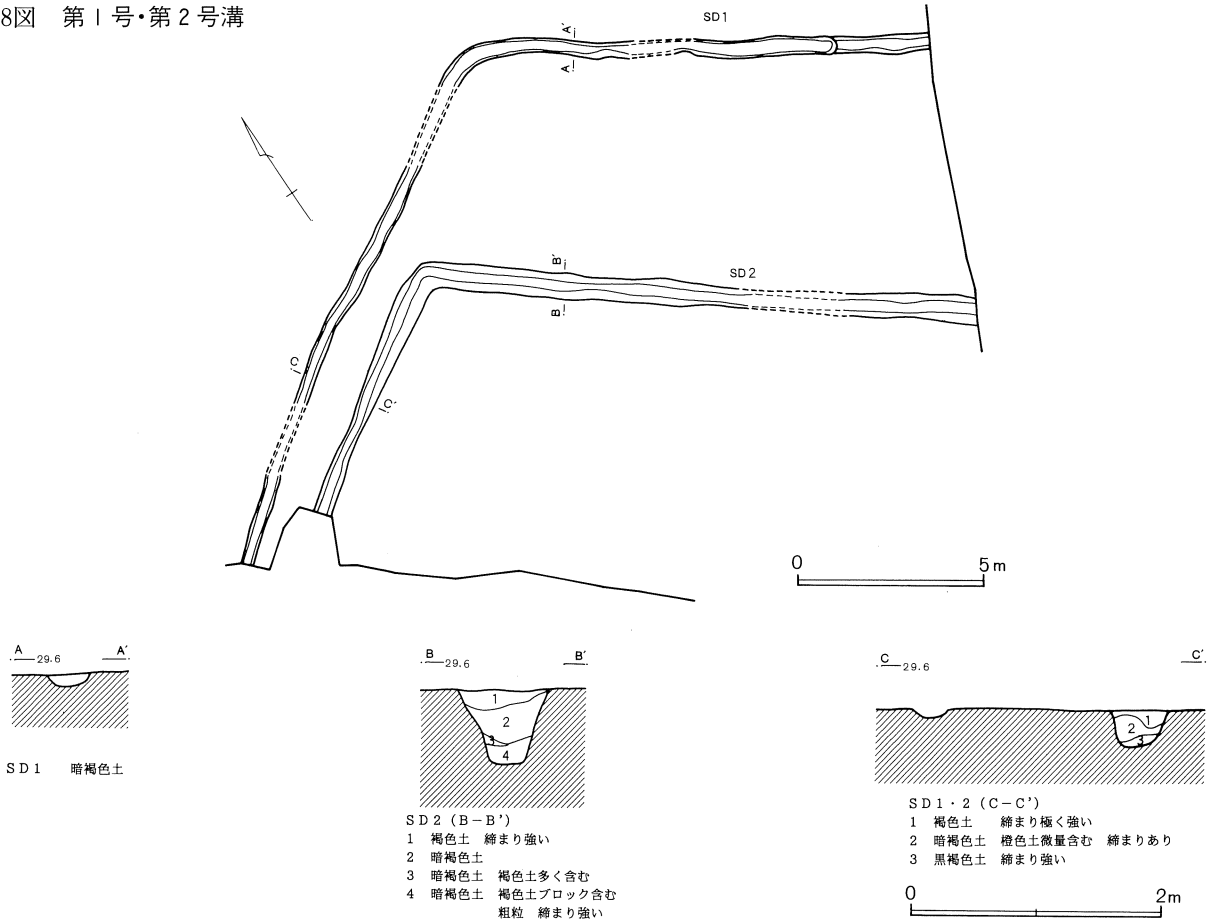
第4号溝(第19図)

H-45・I-45・46グリッドに位置し、第3・5号溝、第3号土坑と重複している。確認できた長さは約16m、幅約0.5~0.8m、深さ約30cmを測る。南端で西に屈曲し、北端と西端は調査区域外に延びている。断面形は逆台形である。第3号溝と南北方向では並行し、第3・5号溝を切っている。

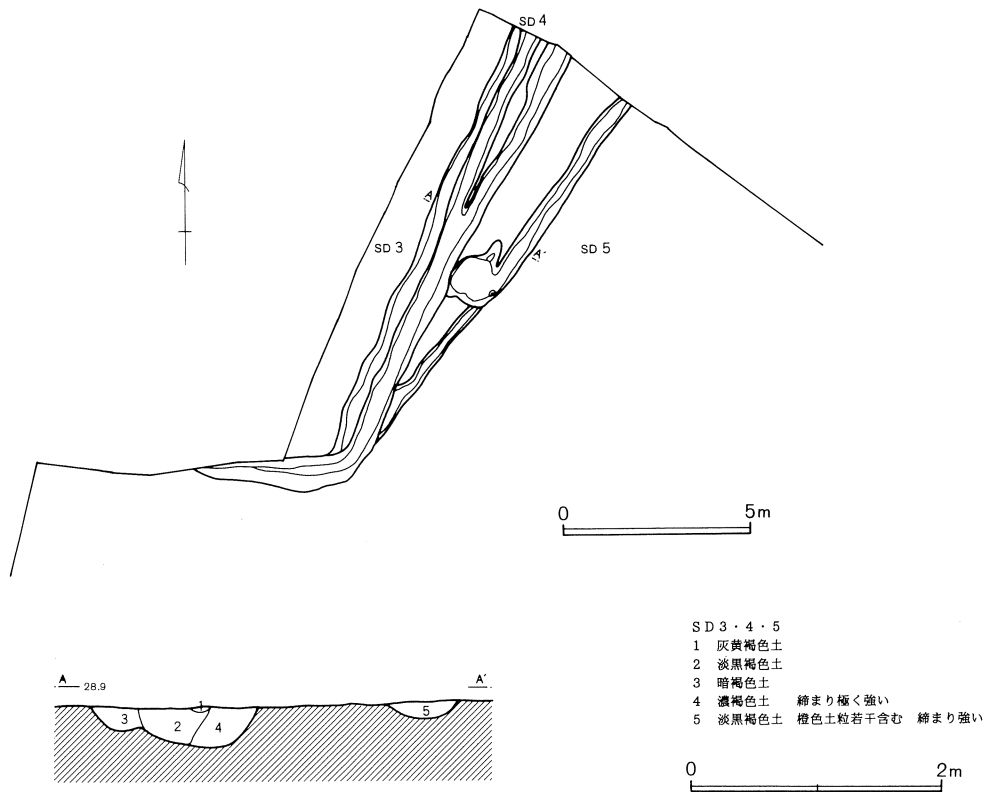
第5号溝(第19図)

H・I-45グリッドに位置し、第4号溝・第3号土

第18図 第1号・第2号溝



第19図 第3号～第5号溝



坑と重複している。溝北端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約10.5m、幅約0.4~0.5m、深さ約14cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-38°-Eの方向に延びる。第4号溝に切られている。

第6号溝(第20図)

J・K-46グリッドに位置している。第10号溝の北端から、N-40°-Wの方向にやや湾曲しながら延びている。確認できた長さは約9.5m、幅約0.4m、深さ約6~10cmを測る。断面形は逆台形である。

第7号溝(第20・21図)

J-43、K-43~46グリッドに位置している。溝西端は第12号溝と、東端は第10号溝とつながっている。溝中央付近で第8号溝と合流する。確認できた長さは約33m、幅約0.7~0.9m、深さ約30cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-70°-Wの方向に延びる。

第8号溝(第20・21図)

K-44~46、L-46グリッドに位置している。第7号溝と平行に約22m延び、ほぼ直角に北へ屈曲し第7号溝に合流している。幅約0.8~1.4m、深さ約16cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-75°-Wの方向に延びる。

第9号溝(第20・21図)

K-43~45、L-44~46グリッドに位置している。溝西端は第12号溝とつながり、東端寄り第10号溝と重複している。第8号溝と平行して延び、第8号溝が北へ直角に曲がる位置付近で鈍角に北へ曲がっている。確認できた長さは約38m、幅約0.9~2.0m、深さ約20~60cmである。断面形は逆台形である。溝西半でN-53°-W、東半でN-75°-Wの方向に延びる。

第10号溝(第20図)

K-46・47、L-45・46グリッドに位置している。第6号・7号溝と合流し、第9号・第11号溝と重複し、第9号溝を切っている。溝南端及び東端は調査区域外に延びている。クランク状に3カ所でそれぞれほぼ直角に屈曲している。幅は約1.3~4m、深さ約20~60cmである。

第11号溝(第20図)

L-46グリッドに位置する。溝中央付近で鈍角に屈曲し、そこで第10号溝に重複している。溝南端及び東端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約6m、幅約1.2~1.6m、深さ約45~60cmである。断面形は逆台形である。

第12号溝(第20・21図)

J・K-43グリッドに位置する。溝北端は調査区域外に延びている。第13号溝・第8号土坑と重複し、第7号溝と合流している。確認できた長さは約7m、幅約0.5m、深さ約12cmである。断面形は逆台形である。溝はN-12°-Eの方向に延びる。

第13号溝(第20・21図)

J・K-43グリッドに位置する。溝北端及び南端は調査区域外に延びている。第12号溝と重複している。確認できた長さは約14m、幅約2.8m、深さ約48cmである。断面形は逆台形である。溝はN-12°-Eの方向に延びる。

第14号溝(第20図)

J-43グリッドに位置する。溝西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約3m、幅約0.6~1.7m、深さ約17~25cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-60°-Wの方向に延びる。

第15号溝(第20図)

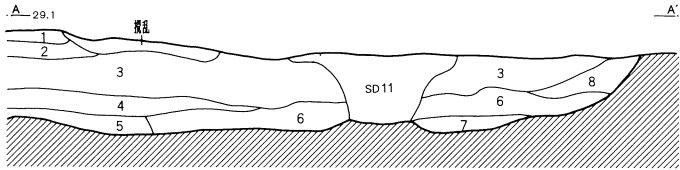
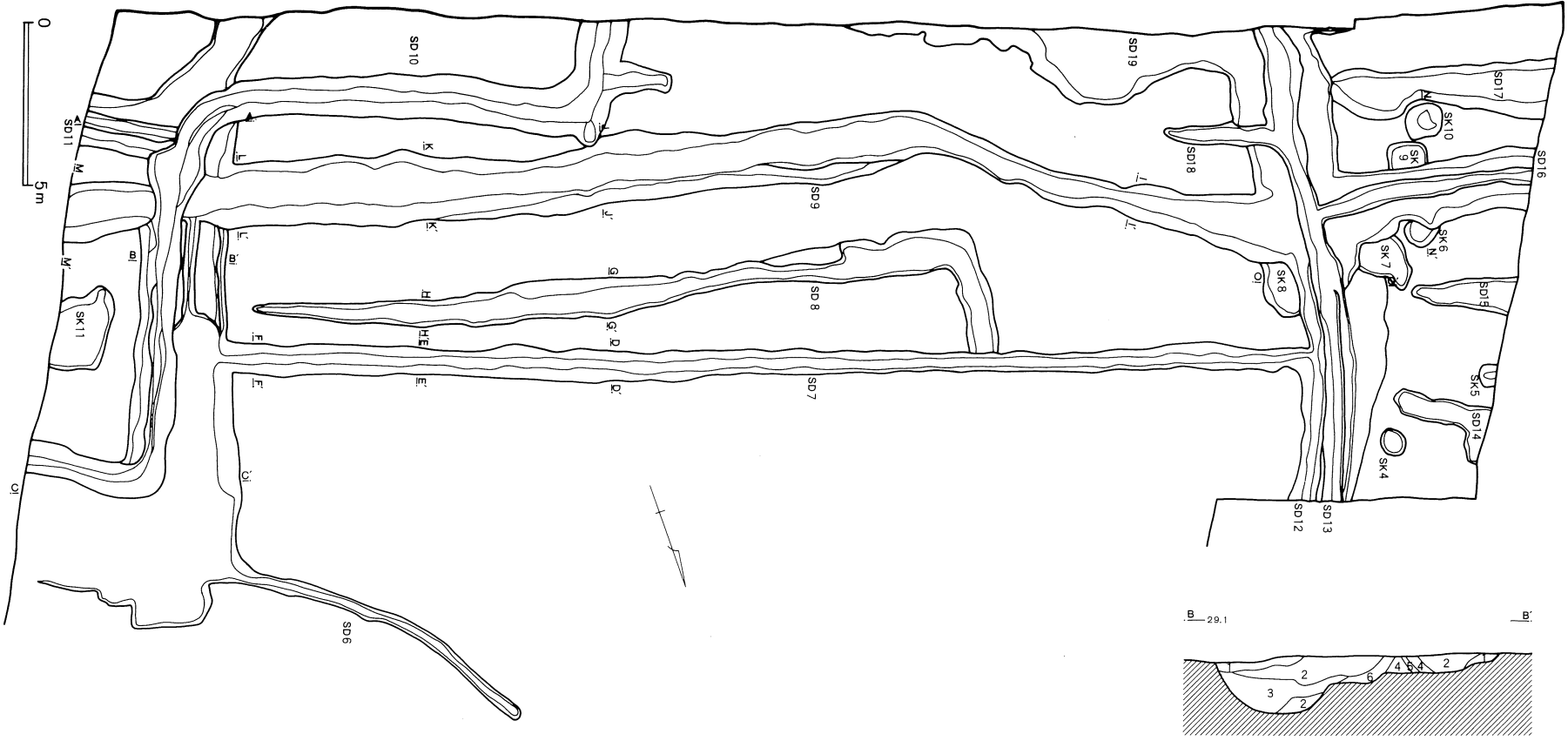
J-42・43グリッドに位置する。溝西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約3m、幅約1.1m、深さ約10cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-60°-Wの方向に延びる。

第16号溝(第20・21図)

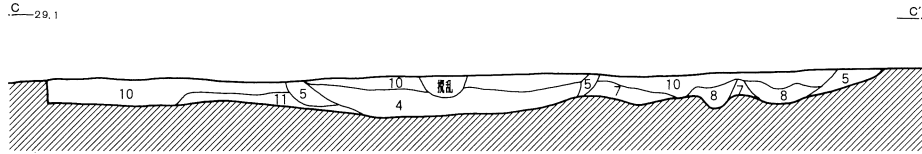
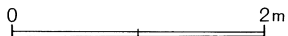
K-42・43グリッドに位置する。溝西端は調査区域外に延び、東端は第13号溝と直交し合流している。また第6号・第9号土坑と重複し、両土坑に切られている。確認できた長さは約6m、幅約1.8m、深さ約52cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-80°-Wの方向に延びる。

第17号溝(第20図)

K-42・43グリッドに位置する。溝西端は調査区域

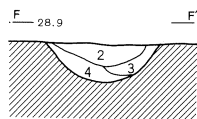
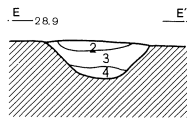
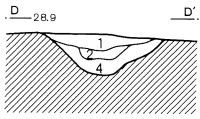


- SD10 (A-A')
- 1 淡黒褐色土
 - 2 暗褐色土 ロームブロック含む
 - 3 暗褐色土
 - 4 濃褐色土 黄褐色土・黄褐色土粒子若干含む
 - 5 淡黒褐色土 黄褐色土粒子若干含む 締まり強い
 - 6 淡黒褐色土 黄褐色土粒子多く、カーボン粒子若干含む
 - 7 灰黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり極く強い
 - 8 暗褐色土

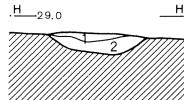
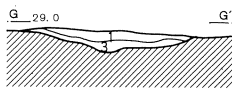


- SD10 (B-B'・C-C')
- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 黄褐色土 | 7 暗黄褐色土 |
| 2 暗褐色土 黄褐色土含む | 8 褐色土 橙色土若干含む 締まりややあり |
| 3 ローム崩落土 暗褐色土含む | 9 淡黒褐色土 褐色土含む |
| 4 淡黒褐色土 橙色土若干含む 締まり強い | 10 淡黒褐色土 褐色土含む 締まりややあり |
| 5 暗褐色土 黄褐色土極多量含む | 11 暗赤褐色土 |
| 6 暗褐色土 黄褐色土粒子多量含む | |

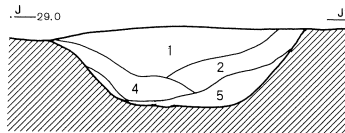
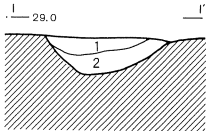
第21図 第6号～第19号溝(2)



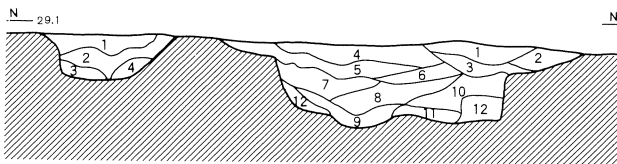
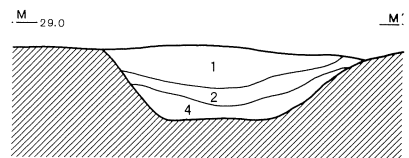
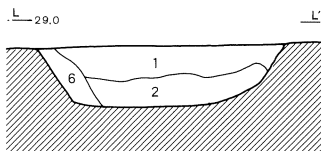
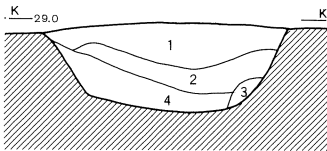
- SD 7 (D-D'・E-E'・F-F')
- 1 黒褐色土 鈍い灰褐色土と混合土
 - 2 黒褐色土 黄褐色土を僅かに含む
 - 3 暗褐色土 黄褐色土を少し含む やや締まりあり
 - 4 黒褐色土 粘質



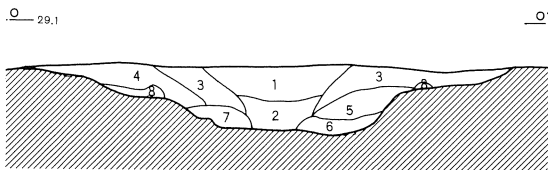
- SD 8 (G-G'・H-H')
- 1 黒色土 黄褐色土粒子僅かに含む 粗粒
 - 2 灰黄褐色土 黒色土少量含む
 - 3 黒色土 ローム含む やや締まりあり



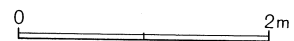
- SD 9 (I-I'・J-J'・K-K'・L-L'・M-M')
- 1 黒褐色土 ローム粒子含む 粗粒 砂質
 - 2 暗褐色土 ローム粒多く含む 粗粒
 - 3 暗黄褐色土 締まり強い
 - 4 暗黄褐色土 ローム粒子多く含む 粗粒
 - 5 暗黄褐色土 締まり強い
 - 6 黄褐色土

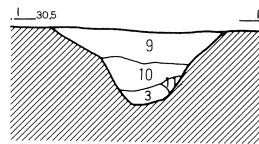
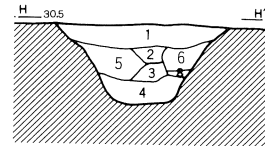
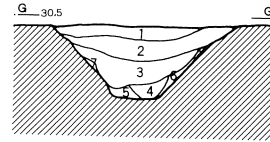
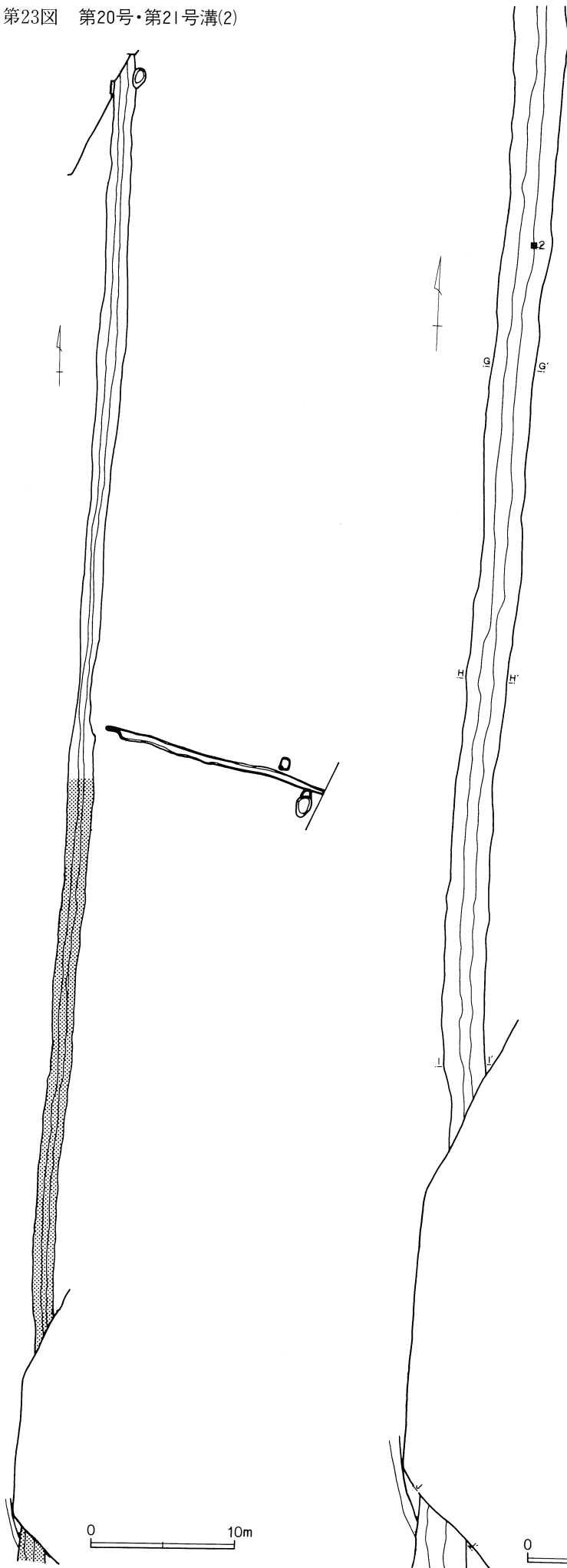


- SD 9・16・SK 9・10・6 (N-N')
- 1 褐色土 ローム粒子若干含む
 - 2 鈍黄褐色土 ローム粒子若干含む
 - 3 褐色土 ロームブロック含む
 - 4 鈍黄褐色土 ロームブロック・炭化物若干含む
 - 5 褐色土 ローム粒子若干含む
 - 6 褐色土 ローム粒子若干含む
 - 7 黄褐色土 ローム粒子若干含む 粗粒
 - 8 褐色土 ロームブロック含む
 - 9 鈍黄褐色土 ロームブロック含む
 - 10 褐色土 ロームブロックを含む
 - 11 暗褐色土 やや粘質 締まりあり
 - 12 褐色土 やや粘質 締まりあり



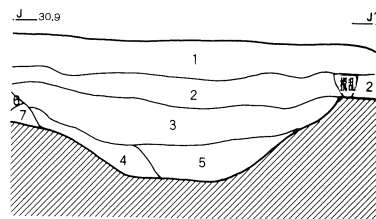
- SD 12・13・SK 8 (O-O')
- 1 暗褐色土 締まり弱い
 - 2 暗褐色土 ローム粒子微量含む 締まり若干あり
 - 3 暗褐色土 ローム粒子若干含む 粗粒
 - 4 極暗褐色土 ローム粒子・ローム多く含む 締まりやや強い
 - 5 暗褐色土 黒褐色土・ロームブロック含む
 - 6 褐色土 極く締まり強い
 - 7 褐色土 ローム粒子多く含む
 - 8 褐色土





SD 20 (G-G'・H-H'・I-I')

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子微量含む
- 2 極暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む やや締まりあり
- 3 極暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む 粗粒
- 4 暗褐色土 黄褐色土粒子微量含む
- 5 暗赤褐色土 締まりなし
- 6 褐色土
- 7 暗褐色土
- 8 暗褐色土 締まりなし
- 9 暗褐色土 黄褐色土多く含む 締まり強い
- 10 暗褐色土 締まりなし
- 11 黒褐色土 締まり強い



SD 20 (J-J')

- 1 褐色土
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 3 暗褐色土 黄褐色土粒子極多く含む 締まり強い
- 4 褐色土 黄褐色土粒子若干、ロームブロック多く含む
- 5 褐色土 黄褐色土ブロック極多く含む 締まり極強い
- 6 褐色土 黄褐色土粒子若干含む 締まり強い
- 7 褐色土 ロームブロック多く含む



外に延び、東端は13号溝と接している。確認できた長さは約6.5m、幅約1.0~1.8m、深さ約6cmを測る。断面形は逆台形である。

第18号溝(第20図)

K-43グリッドに位置する。溝東端は第13号溝と合流している。確認できた長さは約3m、幅約0.6m、深さ約26cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-70°-Wの方向に延びる。

第19号溝(第20図)

K・L-43・44グリッドに位置する。溝南半分が調査区域外にかかり、西端は第13号溝と重複している。確認できた長さは約12m、幅約2.2m以上、深さ約15cmを測る。

第20号溝(第22・23図)

O~U-41、S~X-40グリッドにわたって位置する。溝北端は調査区域外に延び、南は国道254号線建設用地内で検出された溝に続いている。確認できた長さは約89m、幅約1.3m、深さ約60cmを測る。断面形は箱葉研堀である。溝はN-3°-Eの方向に延びる。

出土遺物(第24・25図)

覆土中より平瓦3点の他、縄文土器片、黒耀石が出土している。瓦は覆土中層付近からの出土である。縄文土器はS-41グリッド北西隅に多い。またT-41グリッド北東隅の2カ所に集中し、溝覆土の上層から中層にかけて出土した。

縄文土器(第24図)

1~3は、緩やかな波状口縁で、地文に縄文を施文し、微隆起線文により口縁部との無文帯を区画する。

3は細く浅い沈線が斜めに垂下し、区画内には縄文を施文する。

4は口縁に平行する沈線文が口縁部の無文帯を区画する。垂下する沈線文と逆U字状沈線文を描出し、区画内に縄文を施文する。

5~8は胴部の破片で細い沈線文が垂下し、縄文LRを施文する。6・8は胴部文様に磨り消し部を持つ。

9は底部の破片で木葉痕がみられる。

第21号溝(第22・25図)

S-41、T-41・42グリッドに位置する。溝東端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約16m、幅約0.6m、深さ約12cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-78°-Wの方向に延びる。

覆土中より瓦1点が出土した。

第22号溝(第26図)

T-39、U・V-38・39、W-38グリッドに位置する。溝南端は久保原古墳を切る。確認できた長さは約32m、幅約0.5m、深さ約20cmを測る。溝はN-17°-Eの方向に延びる。

覆土中より須恵器甕の破片が出土した。

第23号溝(第26図)

W-37・38グリッドに位置する。規模は長さ約10.5m、幅約0.4m、深さ約14cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-70°-Wの方向に延びる。

第24号溝(第26図)

W-36・37グリッドに位置する。規模は長さ約6m、幅約0.6m、深さ約14cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-85°-Wの方向に延びる。

第25号溝(第27図)

Z・AA・AB-36、AC-36・37グリッドにわたって位置する。溝北端及び南端は調査区域外に延びている。第26号・第27号・第30号溝と重複している。確認できた長さは約31.5m、幅約0.5m、深さ約24cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-5°-Wの方向に延びる。

出土遺物(第28図)

覆土中より瓦7点の他、須恵器甕の破片が出土した。

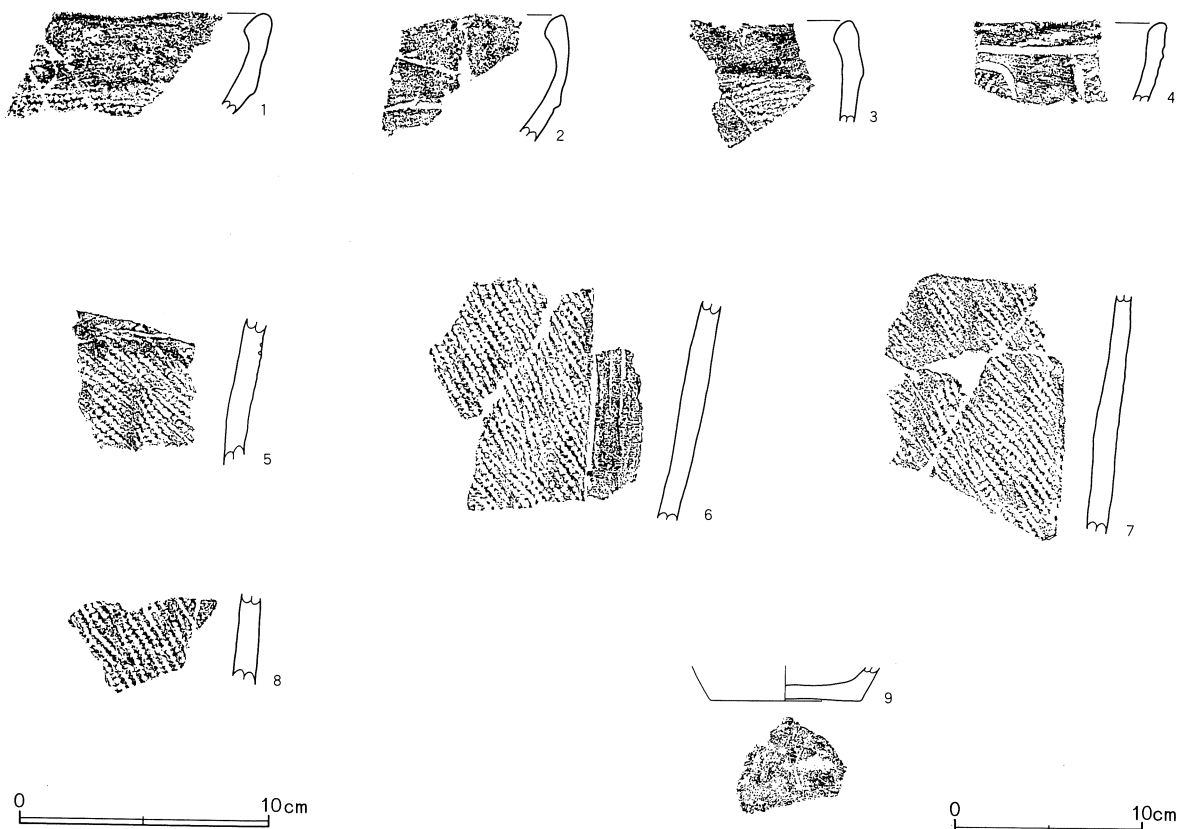
第26号溝(第27図)

AA・AB-37、AB・AC-36グリッドにわたって位置する。第25号・第28号溝重複している。規模は長さ約23m、幅約0.4m、深さ約14cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-18°-Eの方向に延びる。

第27号溝(第27図)

AA-37、AB-36・37、AC-36グリッドにわたって位置する。第25号溝に合流している。規模は長さ約

第24図 第20号溝出土遺物



16m、幅約0.4m、深さ約5cmを測る。溝北端が二方向に分かれている。断面形は皿状である。溝はN-26°-Eの方向に延びる。

第28号溝(第27図)

AB-35・36、AC-35・36グリッドに位置する。第26号溝にほぼ直角に合流している。規模は長さ約13m、幅約0.9m、深さ約20cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-75°-Wの方向に延びている。

第29号溝(第27図)

AB・AC-37グリッドに位置する。溝南端は調査区域外に延びている。第30号溝と重複している。確認できた長さは約12m、幅約2m、第30号溝と重複しているところでは幅約4m、深さ約24cmを測る。溝はN-8°-Wの方向に延びている。

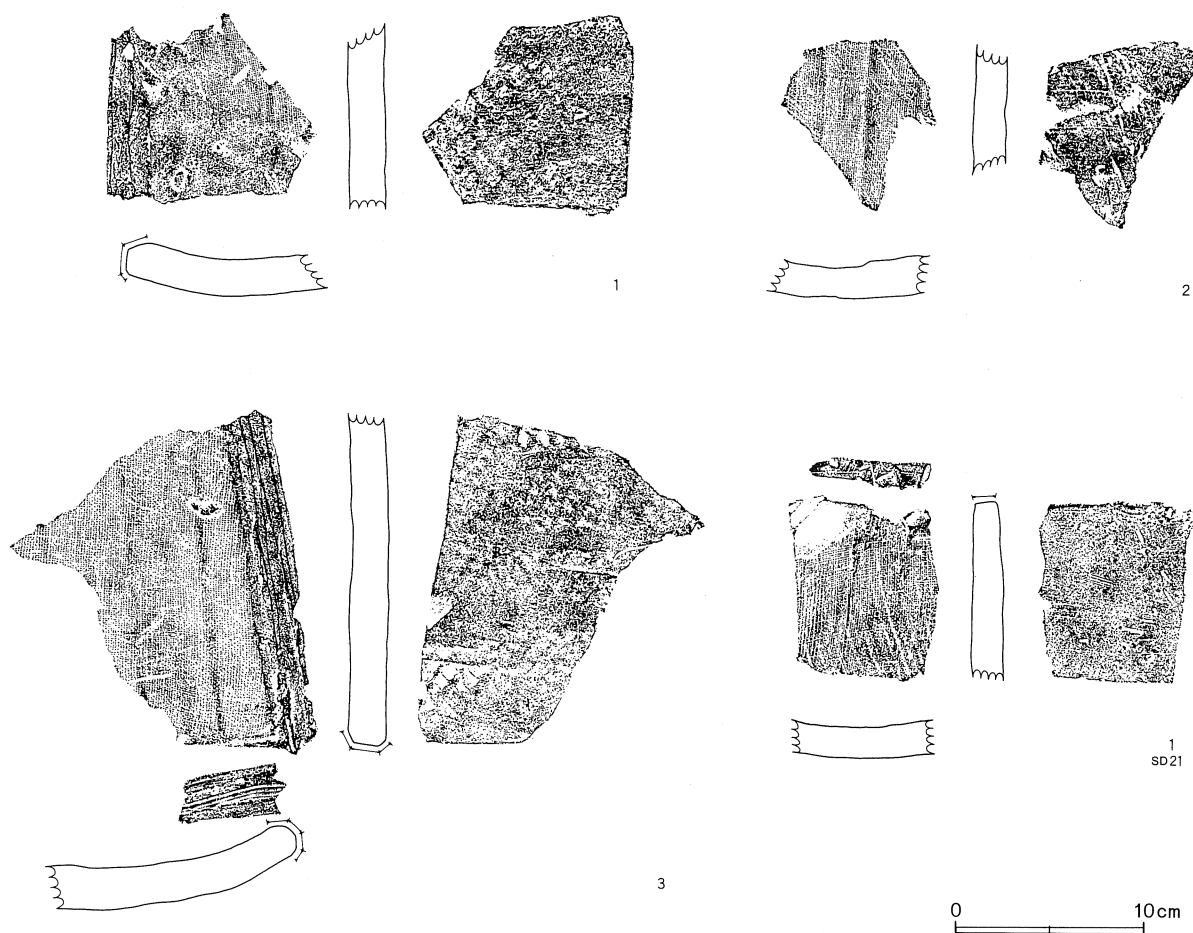
覆土中より須恵器坏・高台付鉢・甕、土師器甕の破片が出土した。

第30号溝(第27図)

AC-36・37グリッドに位置する。溝南端は調査区域外に延びている。第25号・第29号溝と重複している。確認できた長さは約5m、幅約1m、深さ約32cmを測る。溝はN-75°-Wの方向に延びている。

覆土中より須恵器坏の破片が出土した。

第25図 第20号・第21号出土遺物



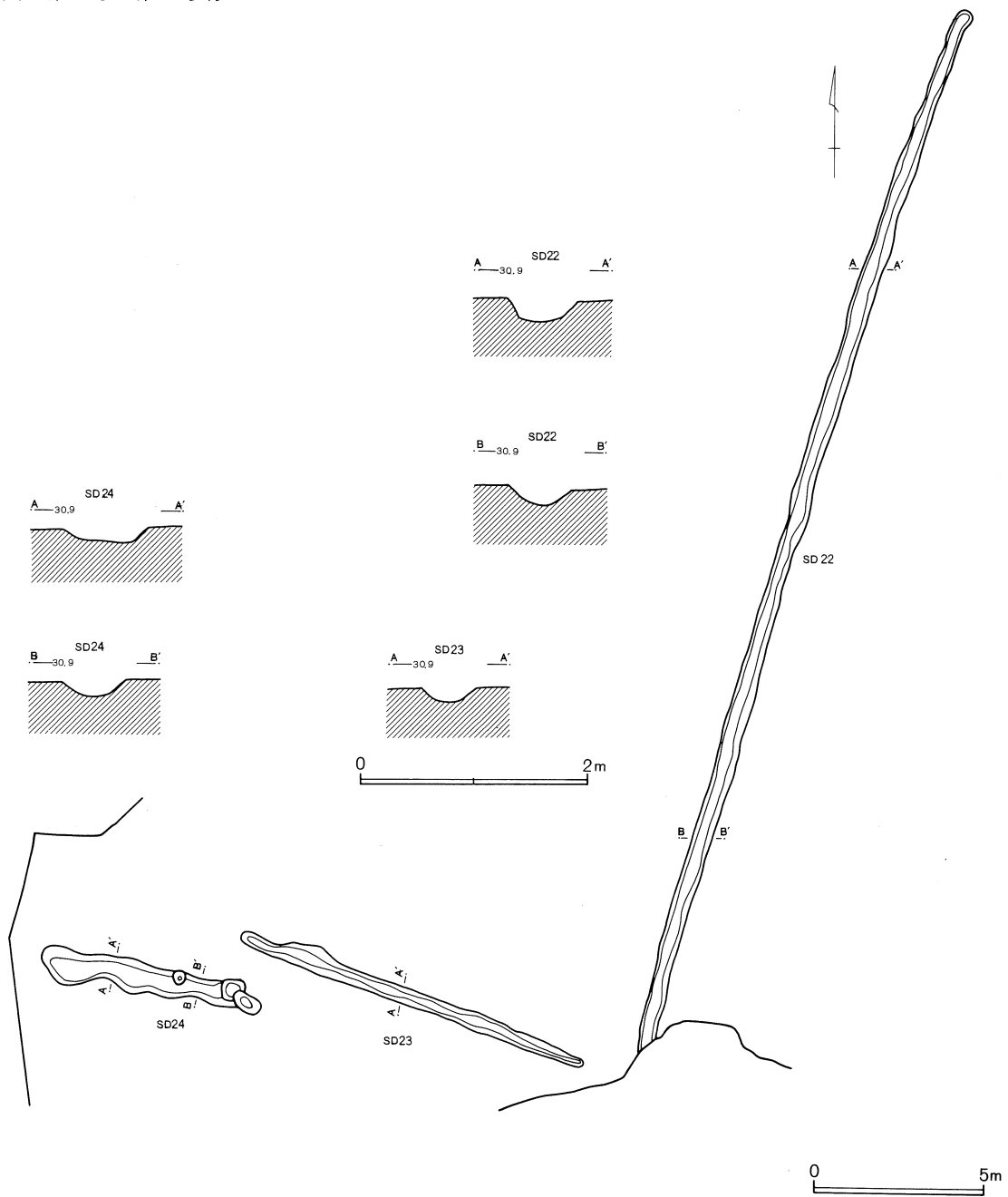
第20号溝出土瓦観察表(第25図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
1	23×25	4.0	布目痕	格子叩き	格子叩き後横方向ナデ	ヘラ整形 両面面取り	1.9	S	I	鈍い黄橙
2	28×33	2.4	布目痕	平行叩き	平行叩き後斜方向ナデ		1.9	S	I	黄橙
3	23×28	3.7	布目痕 側端際ヘラ整形	格子叩き	格子叩き後横方向ナデ	ヘラ整形 両面面取り	2.3	S	I	黄灰

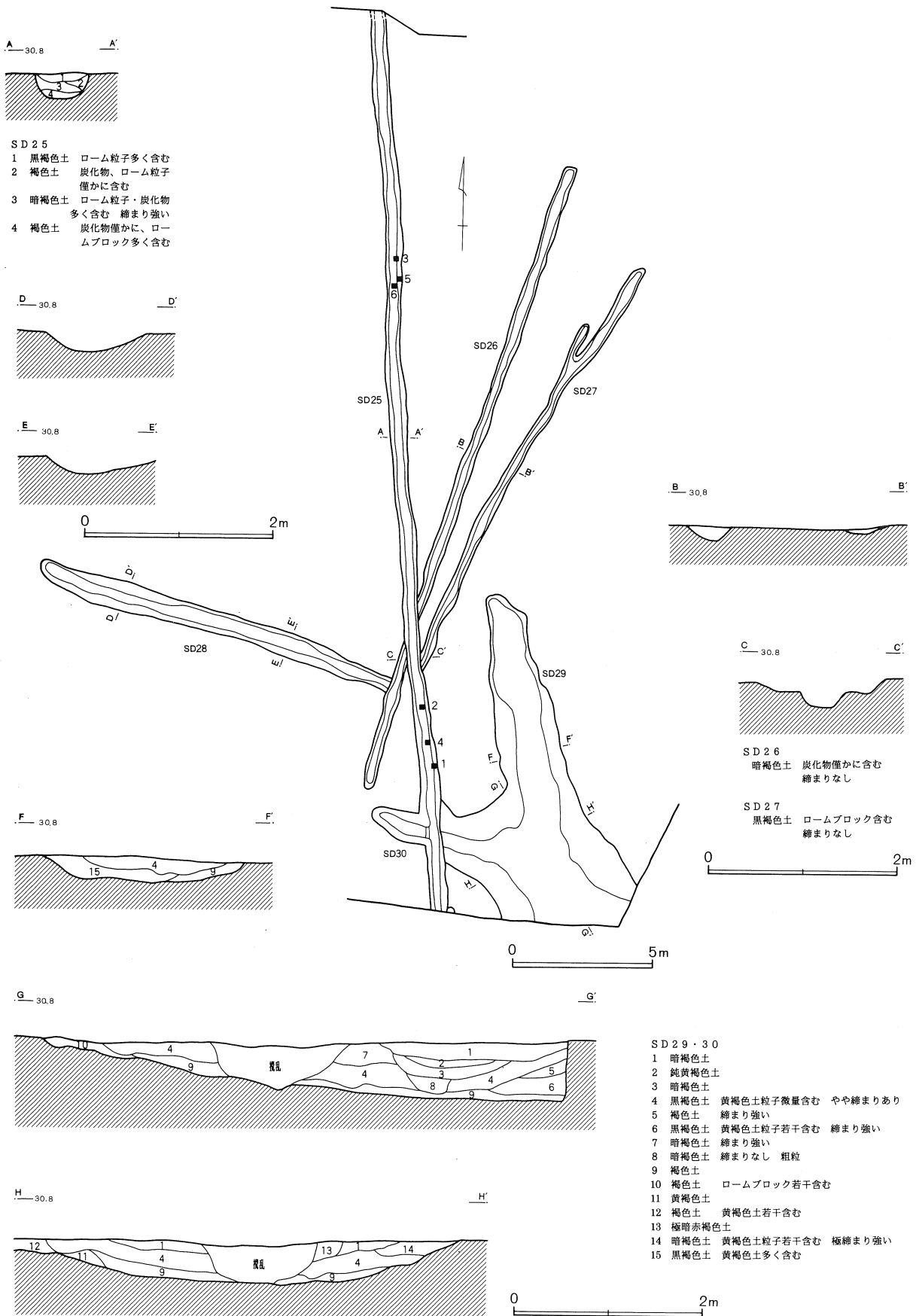
第21号溝出土瓦観察表(第25図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
1	24×29	2.5	布目痕 糸切り痕		横方向ナデ	ヘラ整形	1.7	AS	I	鈍い黄橙

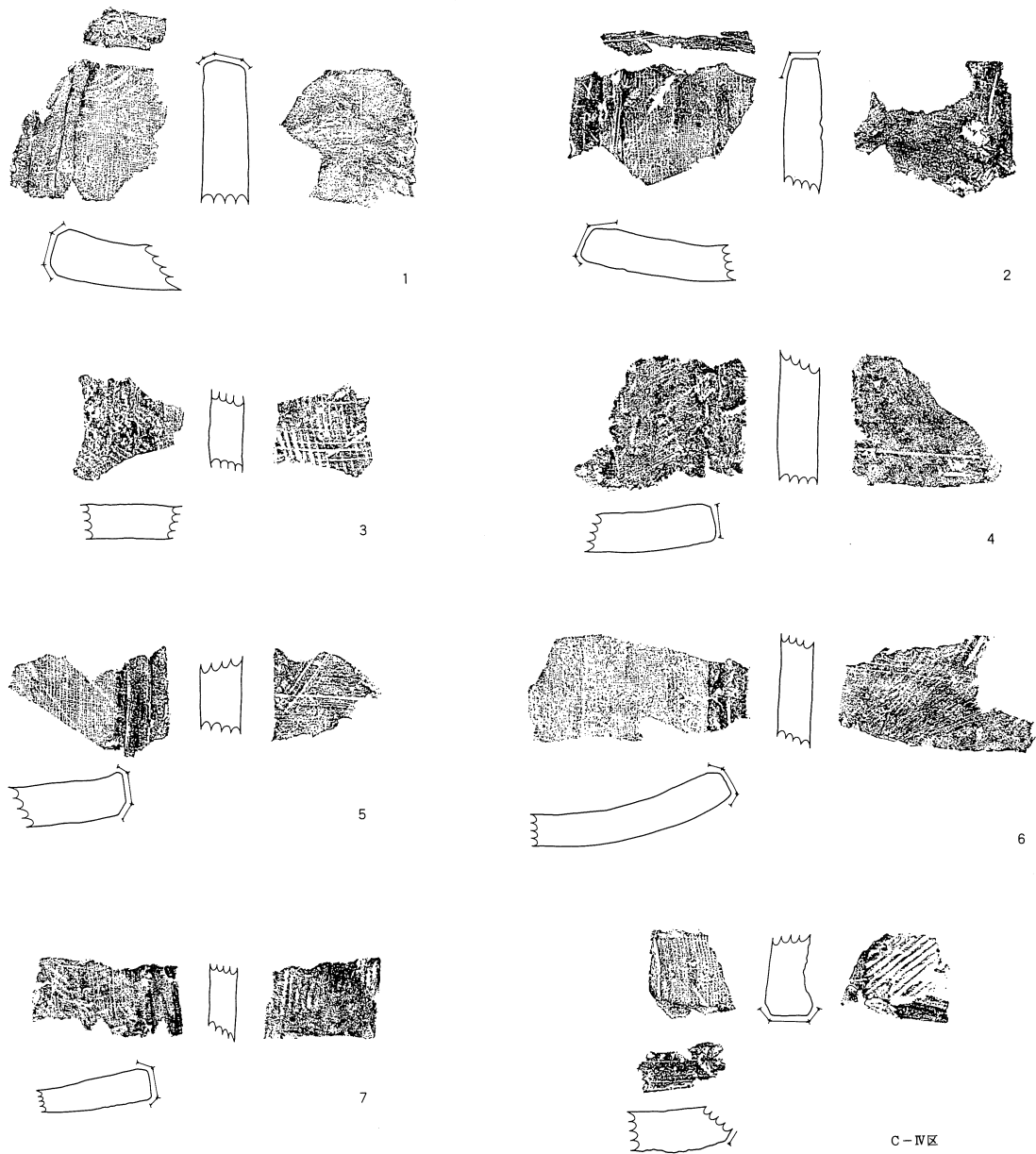
第26図 第22号～第24号溝



第27図 第25号～第30号溝



第28図 第25号溝出土・表採遺物



第25号溝出土瓦観察表(第28図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
1	26×28	3.5	布目痕 一部糸切り痕	格子叩き	格子叩き後横方向ナデ	ヘラ整形 両面面取り	2.6	S	I	灰黄褐
2	29×31	4.0	布目痕 側端際横・縦方向ナデ 縦位指ナデ		横方向籠ナデ	ヘラ整形	2.1	AS	I	鈍い黄橙
3			糸切り痕・布目痕	平行叩き 1.6/5本	平行叩き後横方向ナデ		1.9	ABS	I	橙
4			布目痕・糸切り痕	平行叩き	平行叩き後横方向ナデ	ヘラ整形	2.2	ABS	II	鈍い黄橙
5	28×35	2.5	布目痕・糸切り痕		横方向籠ナデ	ヘラ整形 両面面取り	2.3	ABS	I	橙
6	25×30	2.8	布目痕	平行叩き	平行叩き後横・斜方向ナデ	ヘラ整形 両面面取り	2.0	BS	I	鈍い黄橙
7		2.8	布目痕	平行叩き 1.6/5本	平行叩き後横方向ナデ	ヘラ整形 両面面取り	1.8	AS	II	浅黄

C - IV区出土瓦観察表(第28図)

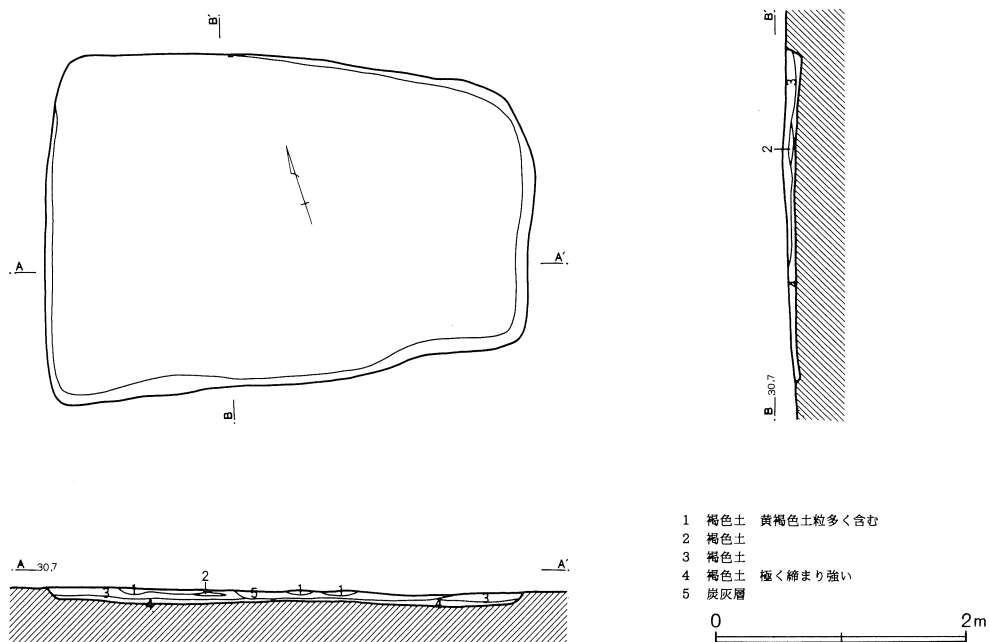
番号	凹面		凸面		短面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調	
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き						特徴
1	27×35		布目痕 縦方向ナデ	平行叩き 1.8/5本	平行叩き後ナデ	へら整形 両面面取り	2.2	AS	I	浅黄橙

(4) その他の遺構

第1号竪穴状遺構(第29図)

T-39・40、U-39・40グリッドに位置する。長軸3.88m、西壁辺2.80m、東壁辺2.1mの台形をしている。深さは4～13cmを測る。主軸はN-73°-Wを指す。

第29図 第1号竪穴状遺構



IV 上川入遺跡の調査

1 遺跡の概要

上川入遺跡は、東松山台地が東に延び更に細くなり南東方向へ延びる南縁、都幾川の沖積地を挟み高坂台地・岩殿丘陵を望むところに位置する。台地は北側を吉見丘陵との間を市野川によって開析され、南側は蛇行して流れる都幾川の沖積地が広がっている。

台地は直接沖積地に面するのではなく、台地と沖積地との間に低台地が広がっている。

遺跡は台地の肩部から、低台地に下りる斜面部と低台地部に広がり、南端は台地から沖積地に注ぐ雨水の流路となっている。標高は台地肩部が30.5m、肩部から南50mほどで斜面の裾となり標高23.5m、南端で標高21.5mとなり、西浦遺跡との境となっている流路が最も低くなっており平坦ではなく徐々に南に向かって下っている。

遺跡は低台地のほぼ平坦な部分を東西に延びて広がっており、今回の調査は遺跡の西端を南北に横断するような調査区である。北には山王裏遺跡、南には西浦遺跡が接しており、両遺跡に挟まれている。

調査では、先土器時代、奈良・平安時代、そして中世以降の遺構・遺物が検出された。

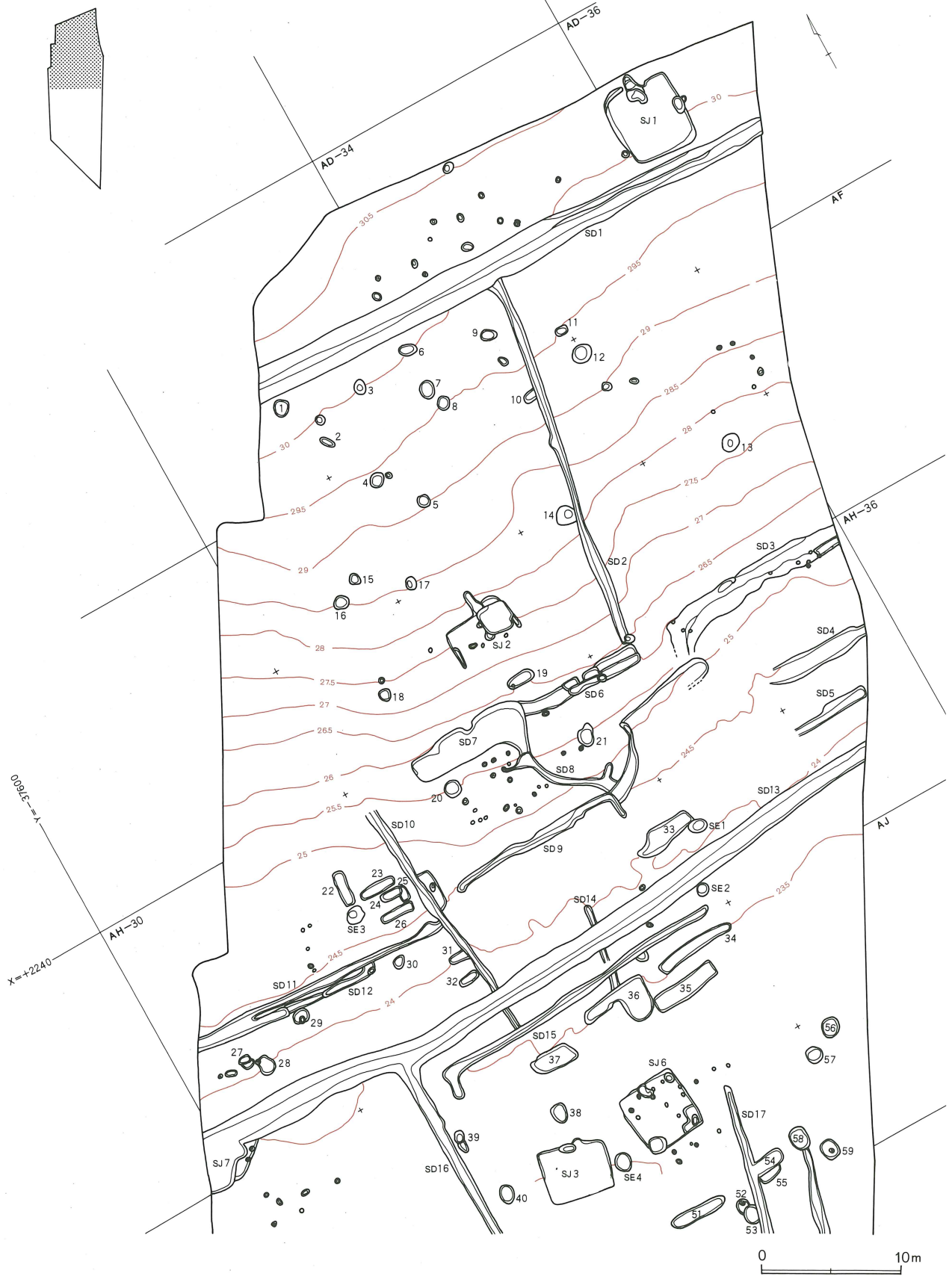
先土器時代は、台地の肩部で確認され、石器の集中区という状況ではなく非常に疎らではあるが、ナイフ形石器・石錐・剝片・磨石・礫器が出土した。

奈良時代は住居跡3軒、奈良時代の瓦が多数出土している土坑1基の他に、同種の瓦を出土する台地の肩部をほぼ東西に延びる溝が検出されている。奈良時代の住居跡は、北と東にカマドをもつ第1号住居跡が台地の肩部にあるほかは低台地に位置する。第68号土坑は低台地部の南部に位置し、山王裏遺跡で以前調査された寺院跡から出土した瓦と同種類の奈良時代の平瓦片多数と丸瓦片1点を出土した。また、台地肩部の溝は、山王裏遺跡で検出された南北に延びる溝と直交するように延びており、基壇を囲む南辺の地割り溝と推定される。

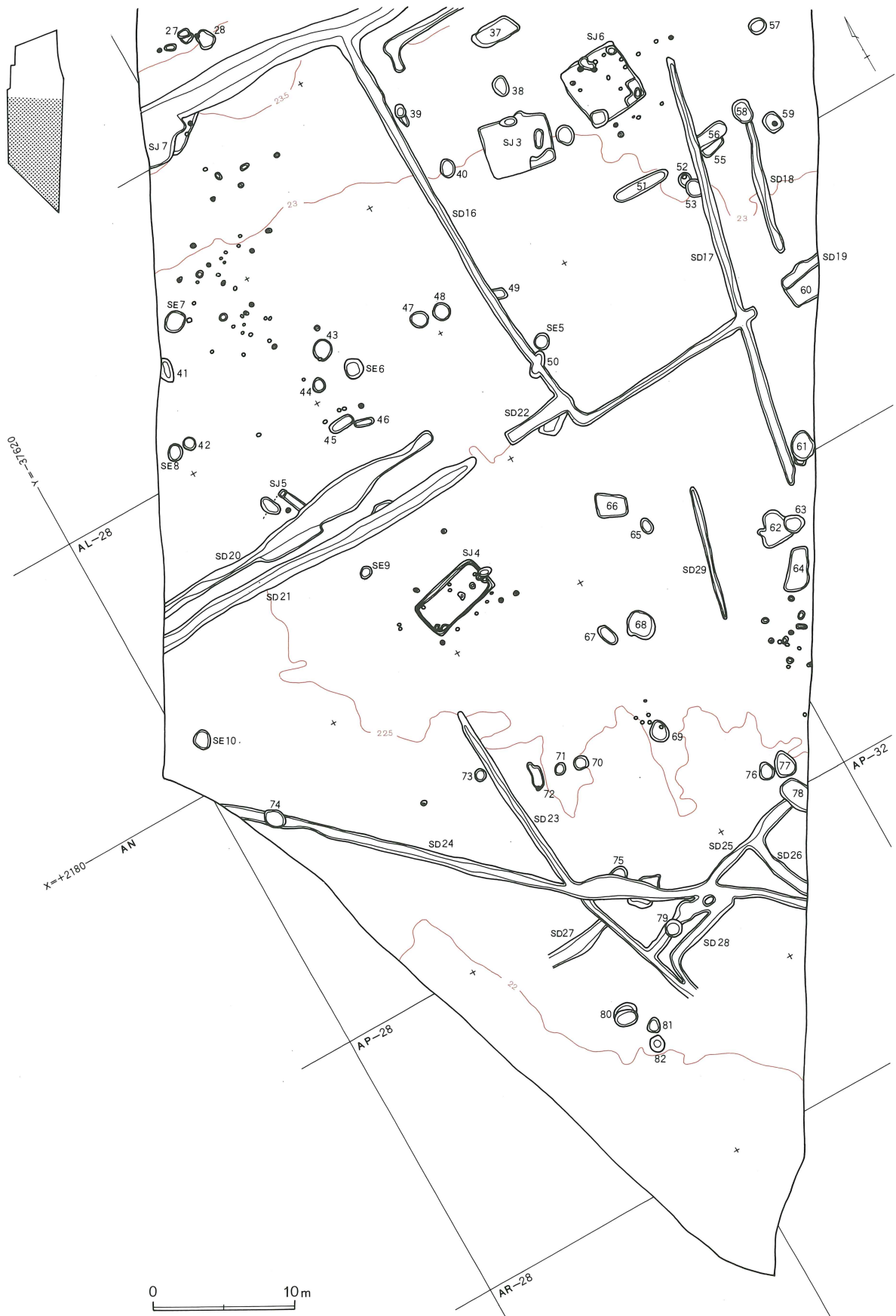
平安時代の住居跡は4軒で、1軒は斜面に位置し南壁が確認できなかつたが、住居跡北東隅に床下土坑が検出された。第3号住居跡は唯一平面形は長方形で、東壁にカマドを持ち、住居跡の中で最も新しい時期のものである。第13号溝西端の第7号住居跡は貼り床の一部の検出であるが、出土した土師器甕は、胎土に雲母を多量に含むものと、白色小礫を多く含むものがあり、他の甕との違いは顕著で異質のものである。

溝は各時代の遺物が混入しており時期が確定できるものは少なく、台地上の東西に延びる溝が奈良時代、第7号住居跡と重複している第13号溝は東西方向からやや偏して延びており、瓦片も出土し奈良時代から中世の土器を出土しており、台地上の溝との関連は不明である。

第30図 上川入遺跡全測図(1)



第31図 上川入遺跡全測図(2)



2 検出された遺構と遺物

(1) 先土器時代

先土器時代の遺物は、調査区北端の台地の肩部から斜面にかかる範囲で出土した。

各グリッドに5×5mの深掘部を市松模様状に設定し、遺物が出土した深掘部は周囲を拡張して調査を行った。石器は集中して検出されたものではなく、ある程度まとまってはいるが、散布しているような出土状況であった。

比較的まとまっているのは、AD-33グリッドの南東隅から、AD-35グリッド南西隅である。

地形的には、東松山台地上で、台地の南縁の南斜面の肩部にあたる。標高は29.5～30.3mの間で南側に大きく傾斜している。

基本土層は、表土は30cm程で、1層は部分的なハードロームで、2層から3層は厚さ60cm前後でソフトローム層が堆積する。4層はハードロームが30cmの厚さで堆積する。5層もハードローム層である。

石器は3層のソフトローム層下部の層位から出土し、4層以下のハードローム層中からは出土しなかった。石器類は、ナイフ形石器・石錐・剥片・礫器・磨石が出土した。

石器(第33図)

ナイフ形石器(1)

外形は砲弾状に近く、左右対象である。最大幅が基部中程にあり、基端部までそれほど幅を減じない。素

材剥片は、基端面に単剥離の打面を残す縦長剥片で、主要剥離と正面の剥離面の剥離方向はほぼ同じである。調整加工は、左側縁下半部に微細な剥離が施されている。

石錐(2)

石材はあまり良質でないチャートが用いられており、縄文時代の石器かとも思われるが、出土地点が礫器・磨石・剥片類と近接しており、先土器時代の蓋然性が高い。

左側縁の一部を欠損する。外形は基端が尖り尖頭器状をしている。素材剥片は、横長剥片の打面部側を裏面から折断している。調整加工は右側縁に比較的平坦な剥離が規則的に施され、先端付近に細かい剥離加工が見られる。また、先端付近の裏面に細かい平坦剥離が観察できる。

剥片(3～6)

4の黒耀石製を除くと、他はガラス質黒色安山岩製である。いずれも縦長剥片で、打面は残存している3と4は原石面を直接用いている。

礫器(7)

厚手の扁平礫を二つに分割するように、裏面から剥離が施されている。石核の可能性もあるが、ここでは片刃礫器としておく。

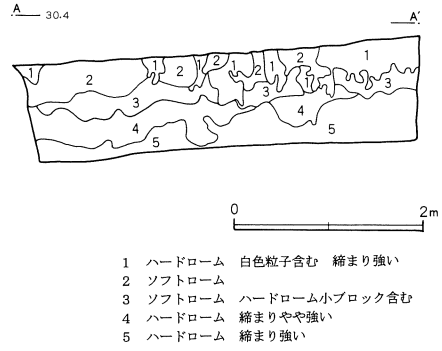
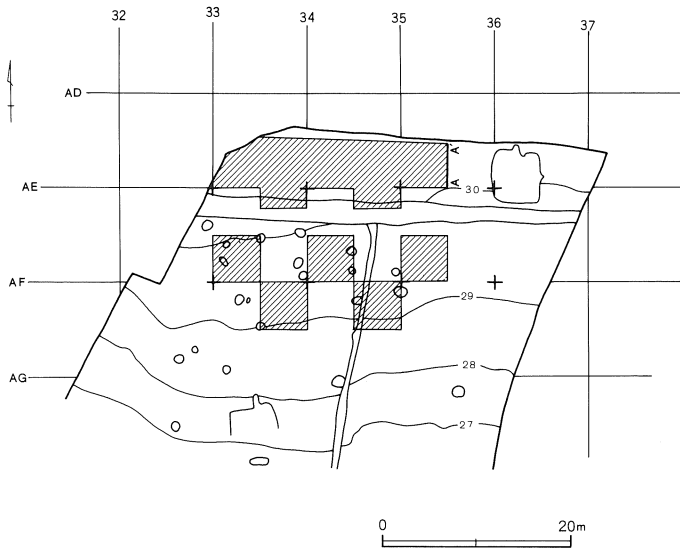
磨石(8)

拳大の礫の正面に摩耗痕が観察できる。

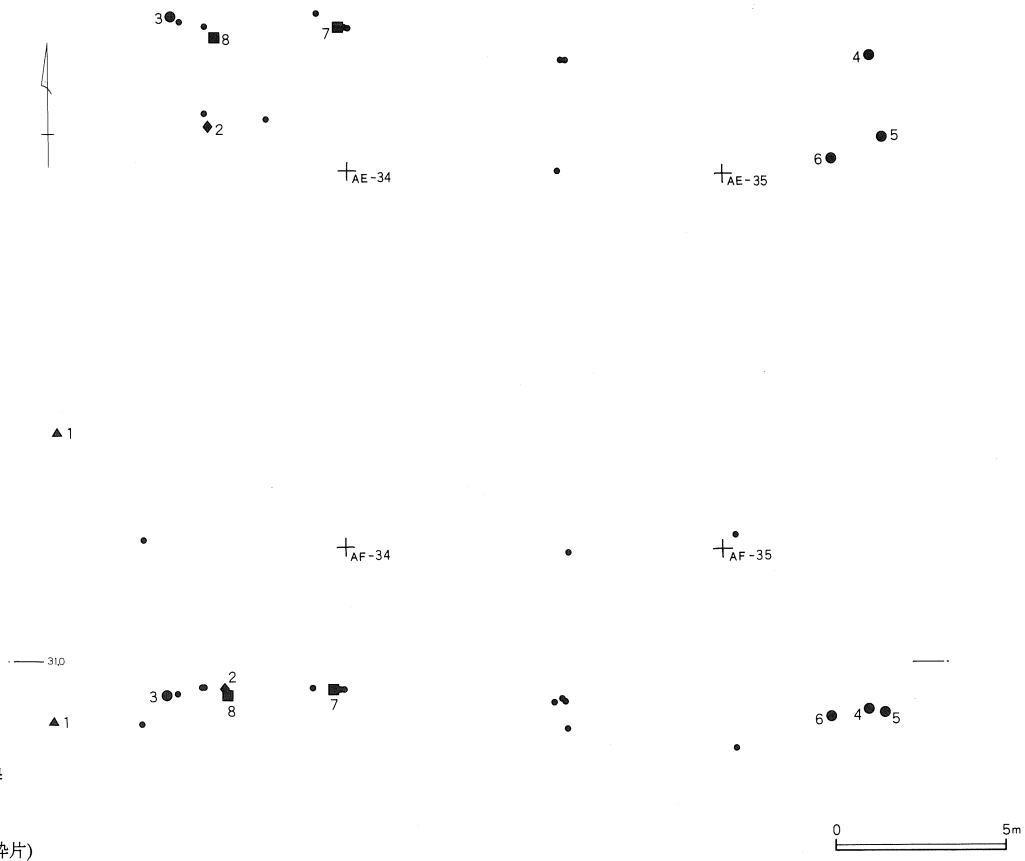
先土器時代出土石器観察表(第33図)

番号	グリッド	北-南(cm)	西-東(cm)	標高(m)	器種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石材・母岩
1	AE-33	703	238	29.420	ナイフ形石器	3.05	1.63	1.79	2.23	チャート
2	AD-33	880	634	30.279	石錐	4.33	1.76	0.65	3.24	チャート
3	AD-33	594	529	30.128	剥片	5.26	2.08	0.95	7.78	ガラス質黒色安山岩
4	AD-35	687	391	29.810	剥片	4.21	1.29	0.68	2.55	黒耀石
5	AD-35	898	425	29.712	剥片	4.28	2.47	1.44	13.33	ガラス質黒色安山岩
6	AD-35	960	290	29.596	剥片	4.40	2.24	1.03	8.96	ガラス質黒色安山岩
7	AD-33	623	980	30.285	礫器	6.42	8.43	4.40	321.84	ホルンフェルス
8	AD-33	645	642	30.133	磨石	8.46	4.89	4.30	218.11	安山岩

第32図 先土器時代調査区・遺物分布図

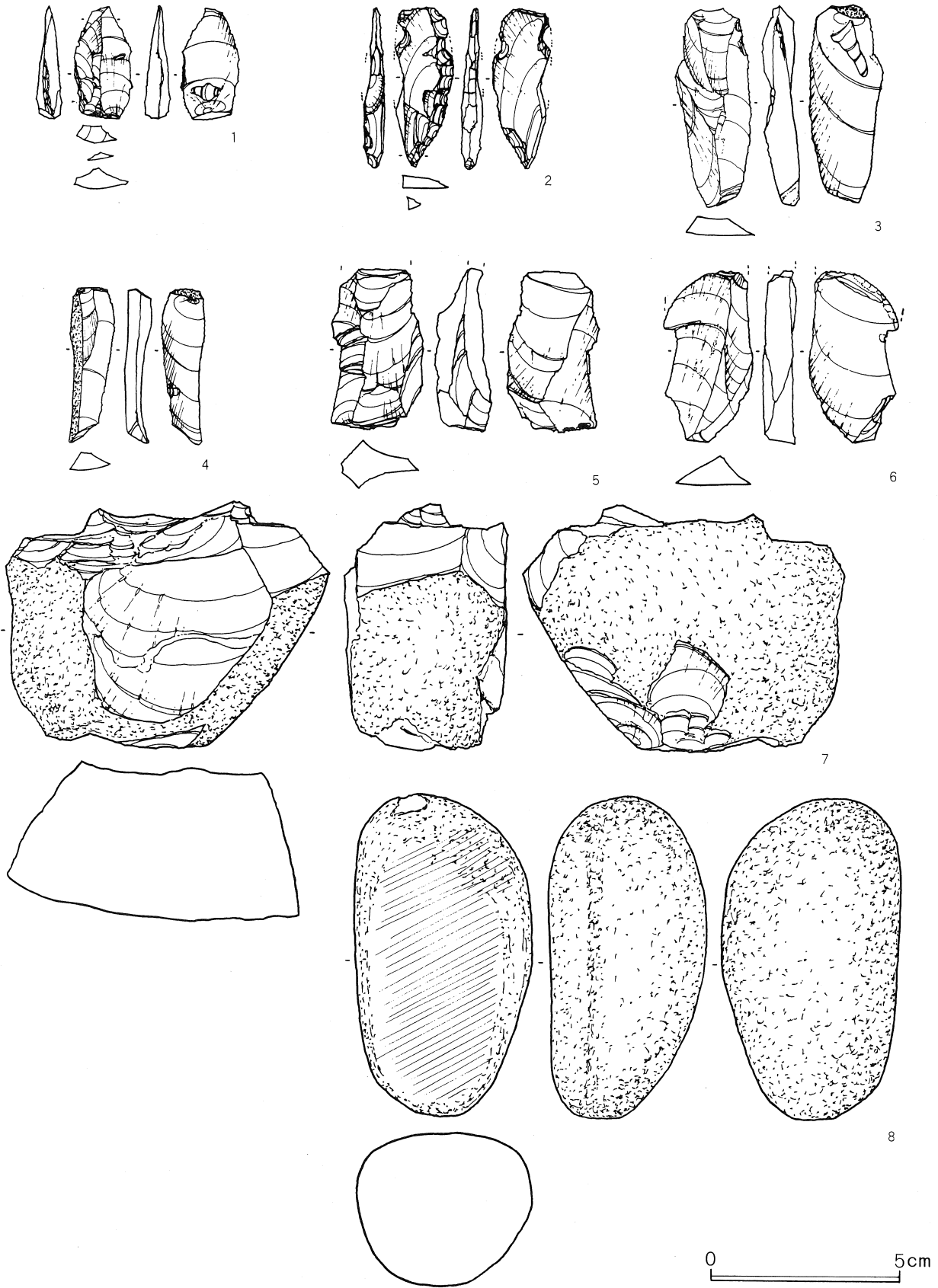


- 1 ハードローム 白色粒子含む 締まり強い
- 2 ソフトローム
- 3 ソフトローム ハードローム小ブロック含む
- 4 ハードローム 締まりやや強い
- 5 ハードローム 締まり強い



- ▲ ナイフ形石器
- ◆ 石 錐
- 剥 片
- 礫器・磨石
- その他(礫・碎片)

第33図 出土石器



(2) 住居跡

第1号住居跡(第34~36図)

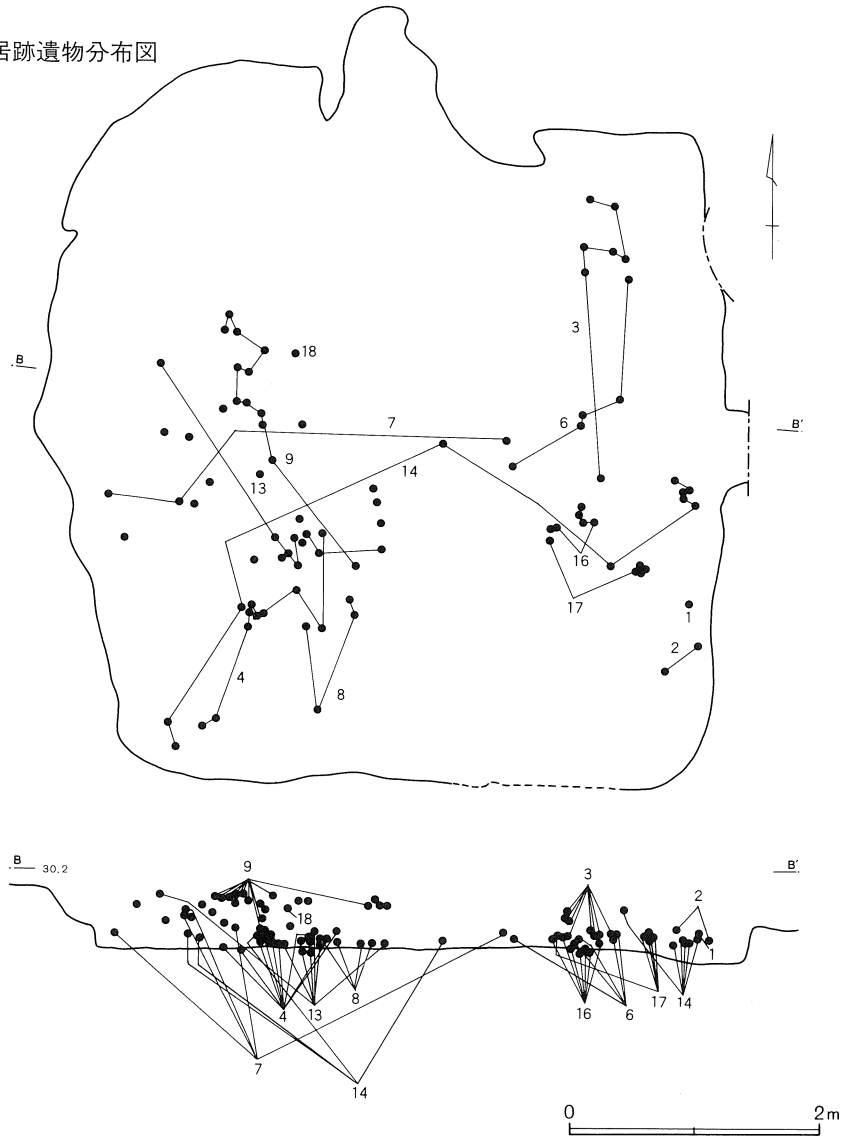
AD・AE-35・36グリッドに位置する。平面形は正方形を呈する。規模は東西5.18m、南北5.20m、深さ45cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

カマドは北壁と東壁のそれぞれ中央に付設されている。北壁のカマドは全長120cm、焚き口幅80cmで焚き口前面は土坑状になっている。袖部は地山の掘り残しで、西側だけ確認できた。東壁のカマドは大半が攪乱されており、焚き口幅は65cmで焚き口付近は土坑状になっている。袖部相当部分には両側とも甕がおかれていた。

出土遺物(第37・38図)

須恵器坏・壺、土師器坏・小型壺・壺・甕の他、平瓦が出土した。北カマドの焚き口部寄りの燃焼部中央付近では小型壺が倒立した状態で出土した。東カマドには比較的遺物が集中していた。

第34図 第1号住居跡遺物分布図



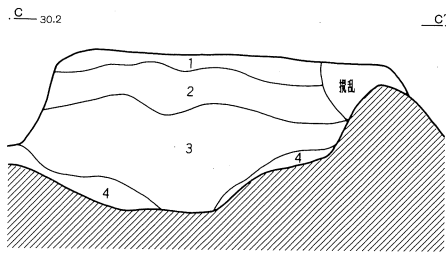
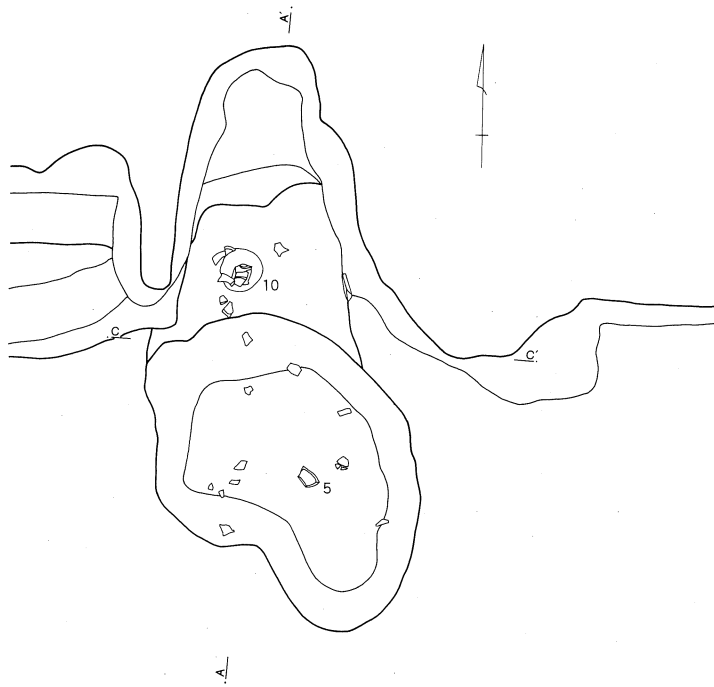
第35図 第1号住居跡



- 1 黒色土 黄褐色土粒子多量含む 締まり強い
- 2 黒色土 黄褐色土粒子含む
- 3 黒褐色土 暗褐色土多量含む
- 4 灰褐色土 黄褐色土粒子極多量含む 締まり強い
- 5 淡黒褐色土
- 6 黒褐色土 黄褐色土多く含む
- 7 淡黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 8 黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 9 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 10 淡黒褐色土
- 11 暗黄褐色土 ロームブロック含む
- 12 淡黒色土 黄褐色土粒子・黒色土含む
- 13 褐色土
- 14 暗褐色土 黄褐色土粒子含む
- 15 灰褐色土
- 16 黄褐色土
- 17 明褐色土

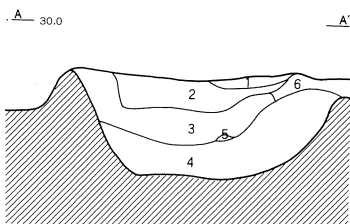
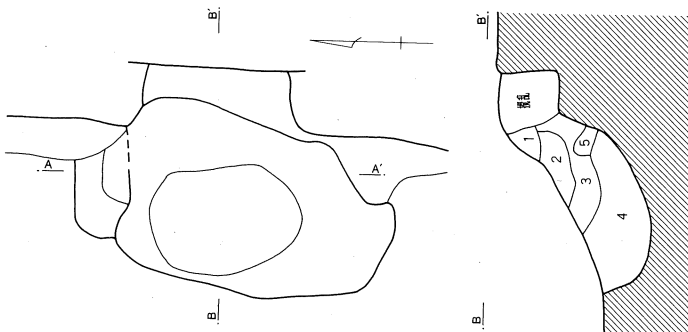
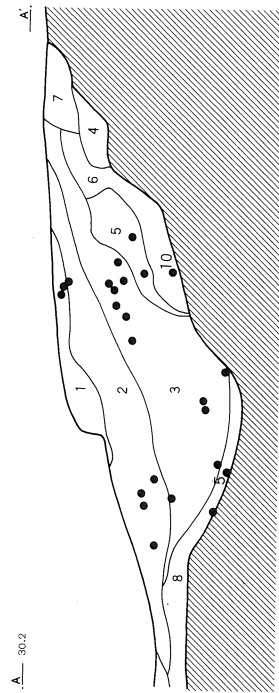
0 2m

第36図 第1号住居跡北カマド・東カマド



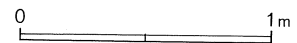
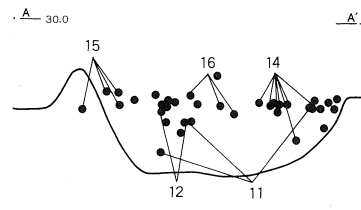
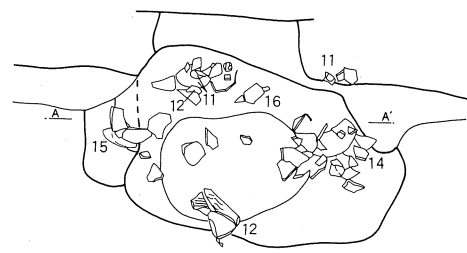
SJ1 北カマド

- 1 淡黒褐色土
- 2 褐色土
- 3 暗褐色土 焼土塊多く含む
- 4 暗褐色土 灰黄褐色ブロック・焼土粒子含む
- 5 暗赤褐色土 焼土・焼土塊多く含む
- 6 暗褐色土 焼土塊若干含む
- 7 灰褐色土 焼土小塊・黄褐色土ブロック若干含む
- 8 灰黄褐色土

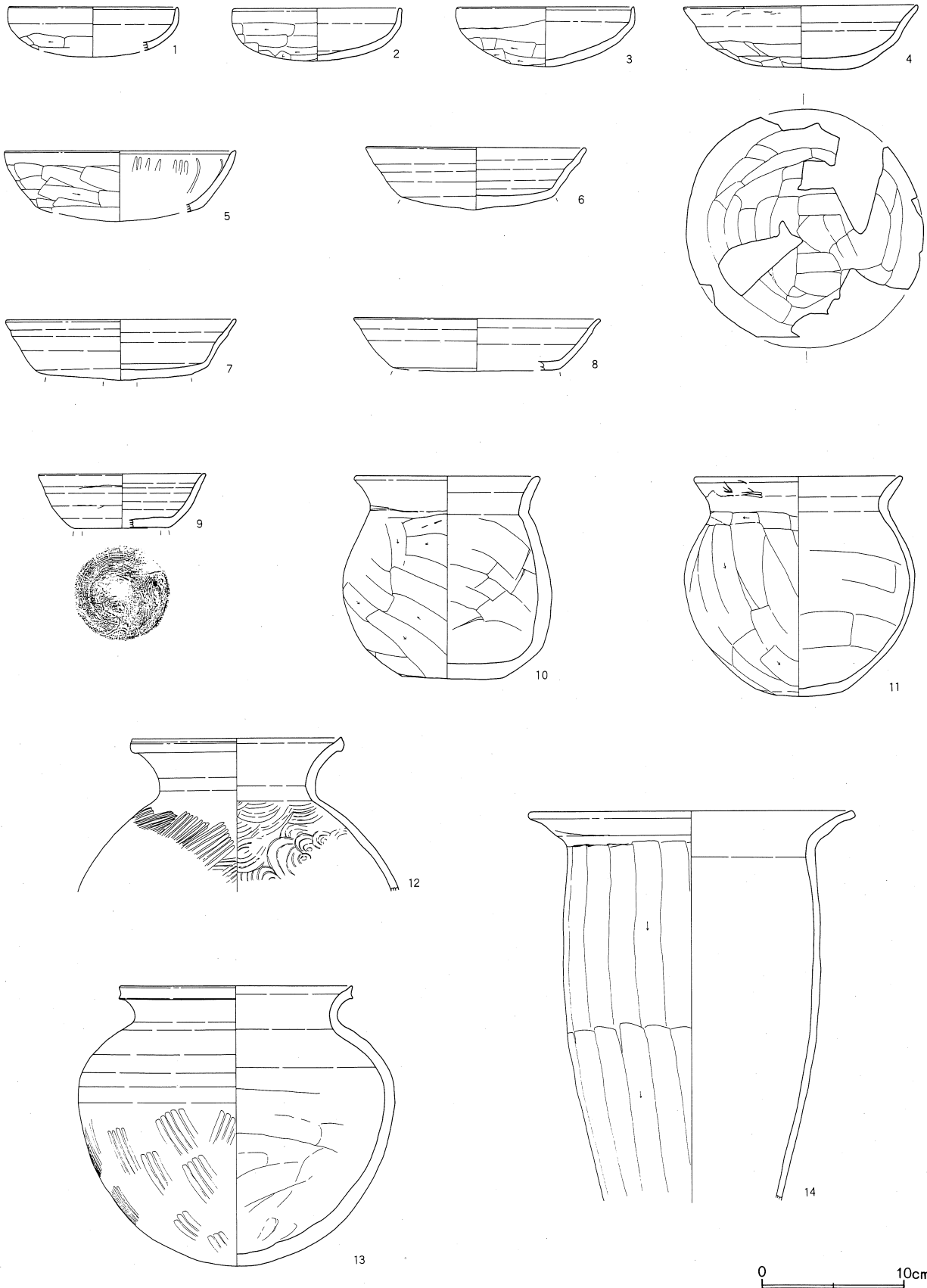


SJ1 東カマド

- 1 淡黒褐色土
- 2 暗黄褐色土 焼土若干含む
- 3 暗褐色土 焼土塊・焼土多く含む
- 4 灰褐色土
- 5 焼土
- 6 暗褐色土

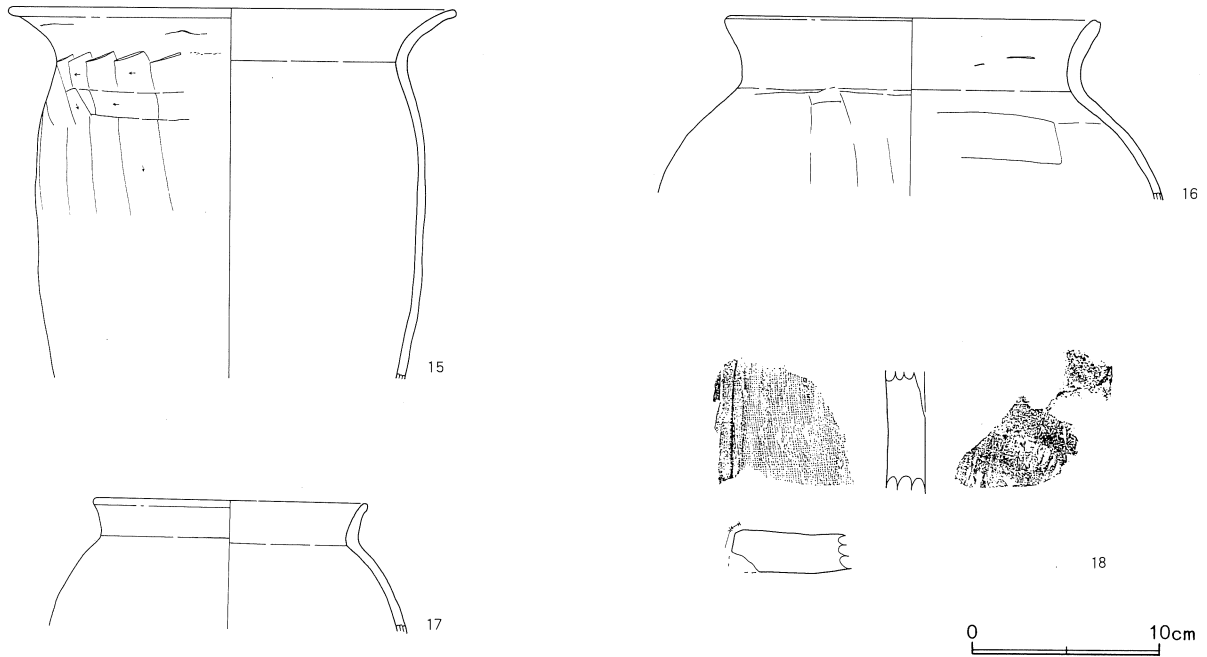


第37図 第1号住居跡出土遺物(1)



0 10cm

第38図 第1号住居跡出土遺物(2)



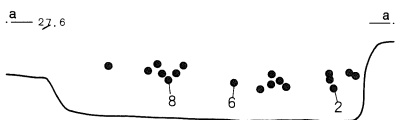
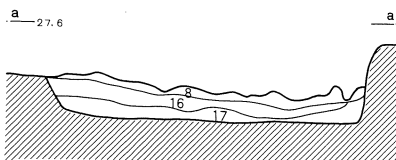
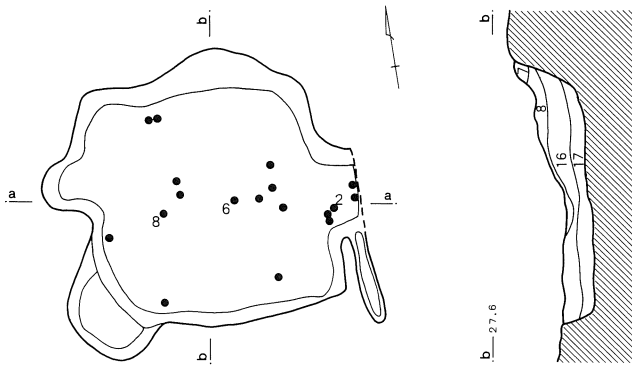
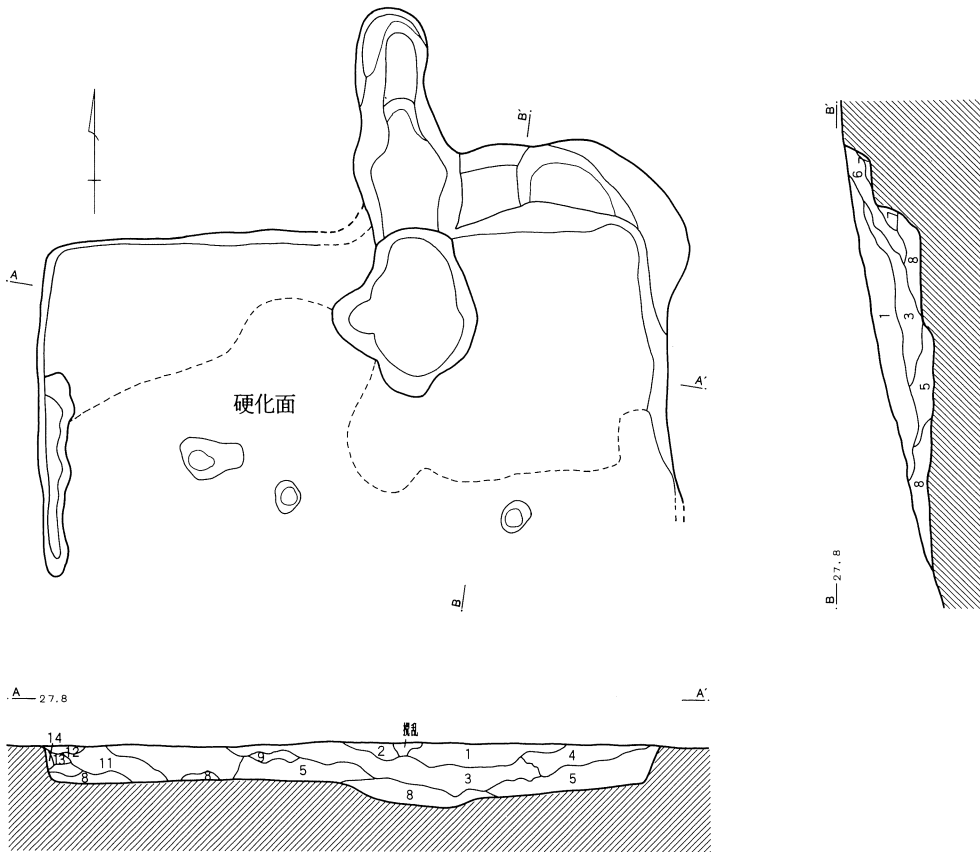
第1号住居跡出土遺物観察表(第37・38図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器坏	(12.0)			BES	II	橙	15	口唇内面に稜あり 器壁内面荒れる
2	坏	12.0	3.7		BCEJ	II	橙	90	内面に油煙附着痕
3	坏	12.5	4.3		BEJ	II	鈍い橙	80	体部外面下半から底部手持ち筥削り 口唇内面に稜あり
4	坏	16.5	4.5		ABJ	II	鈍い黄橙	75	体部ロクロ整形 底部手持ち筥削り
5	坏	(16.4)			BJ	I	橙	15	北カマド 体部外面手持ち筥削り 内面磨き 口縁外面筥ナデ
6	須恵器坏	15.5	4.4	10.3	BS	II	灰白	70	LA 底部中央突出
7	坏	16.3	4.3	10.2	BS	II	淡黄	80	LA 底部中央筥起こし痕
8	坏	(17.3)	3.7	(11.7)	HS	I	灰白	15	RA
9	坏	11.9	3.8	6.7	ABS	I	灰白	70	RBb
10	土師器 小型壺	13.2	14.3	7.3	BCEJS	II	橙	95	北カマド 外面斜位筥削り 内面筥ナデ 底部一方向筥削り
11	小型壺	14.6	15.4	6.1	EJS	II	橙	90	東カマド 外面筥削り 内面筥ナデ やや歪みあり
12	須恵器壺	(14.6)			AB	I	灰	20	東カマド 外面平行叩き 内面同心円当具痕
13	壺	(16.2)	19.8		A	II	灰白	35	外面胴部下半平行叩き 内面指ナデ
14	土師器甕	22.9			S	II	橙	60	東カマド 外面縦方向筥削り 内面不明瞭
15	甕	(23.8)			BS	III	鈍い橙	30	東カマド 内外面調整不明瞭
16	壺	20.0			JKS	II	鈍い黄橙	35	東カマド 外面縦方向筥削り 内面横方向ナデ
17	壺	(14.6)			FS	II	鈍い橙	25	内外面器壁荒れる

第1号住居跡出土瓦観察表(第38図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
18	24×30	2.6	布目痕	平行叩き 1.8cm/5本	叩き後横方向ナデ消し	ヘラ整形 面取り	2.0	ABS	II	橙

第39図 第2号住居跡



- 1 黒色土 ローム粒子・焼土粒子やや多く含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子・焼土粒子やや多く含む
- 3 暗褐色土 ローム粒子・焼土粒子多量に含む
- 4 暗褐色土 焼土ブロック・ロームブロック多く含む
- 5 暗茶褐色土 ローム粒子・ロームブロック多量、焼土粒子やや多く含む
- 6 暗茶褐色土 ローム粒子・焼土粒子やや多く、ロームブロック若干含む
- 7 黄褐色土 褐色土多く含む
- 8 褐色土 焼土粒子やや多量含む 締まりよい
- 9 黄褐色土 褐色土多量含む 締まりなし
- 10 暗茶褐色土 ローム粒子・焼土粒子やや多量含む 締まりなし
- 11 暗茶褐色土 ローム粒子・焼土粒子少量含む
- 12 褐色土 ローム粒子・ロームブロック多量含む 締まりなし
- 13 褐色土 ローム粒子やや多く含む 締まりなし
- 14 黄褐色土 褐色土少量含む 締まりなし
- 15 茶褐色土 ローム粒子・焼土粒子少量含む 締まりなし
- 16 暗褐色土 焼土粒子若干含む
- 17 暗灰黄褐色土 小礫若干含む

0 2m

第2号住居跡(第39~41図)

AG-33グリッドに位置する。斜面部に位置し、南半は確認できなかった。平面形は方形になると思われる。規模は東西4.94m、南北2.70m以上、深さ28cmを測る。カマド前面から南側に堅緻な床面が確認できた。主軸方位はN-4°-Wを指す。

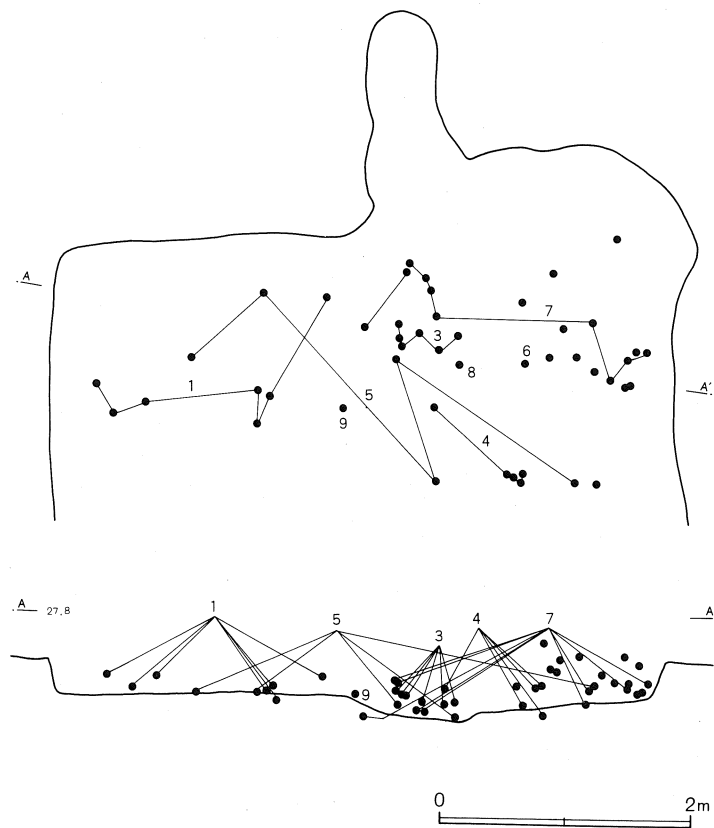
カマドは北壁のやや東寄りに付設されている。全長173cm、焚き口幅90cmで、焚き口前面は土坑状になっている。壁溝は西辺で一部確認でき、幅20cm、深さ11cmを測る。

土坑は、住居北東隅に検出され、規模は2.0×2.0mの方形で、深さ25~35cmを測る。

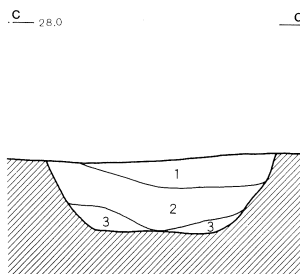
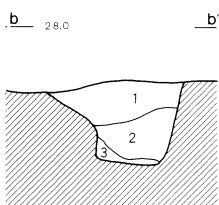
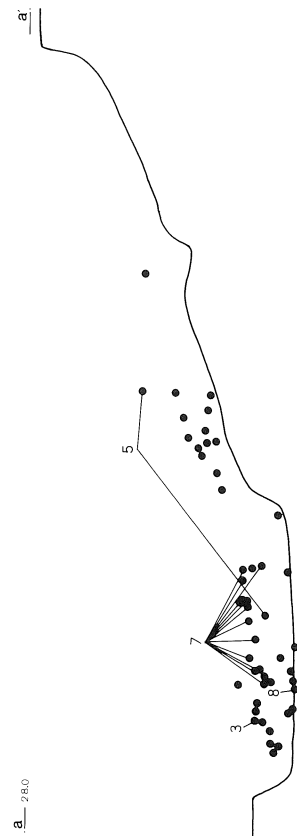
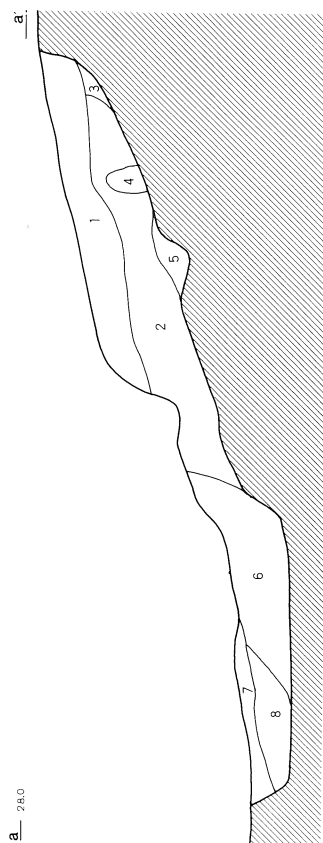
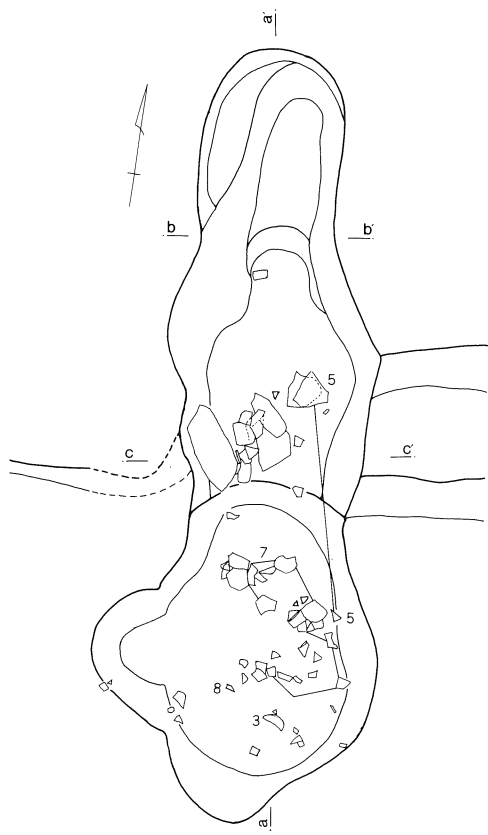
出土遺物(第42図)

須恵器坏・高台付坏・鉢、土師器甕・台付甕の他、土製紡錘車³が出土した。須恵器坏・鉢、土師器甕・台付甕台部はカマドから出土した。土坑からは須恵器坏2点と土師器坏1点が出土した。

第40図 第2号住居跡遺物分布図



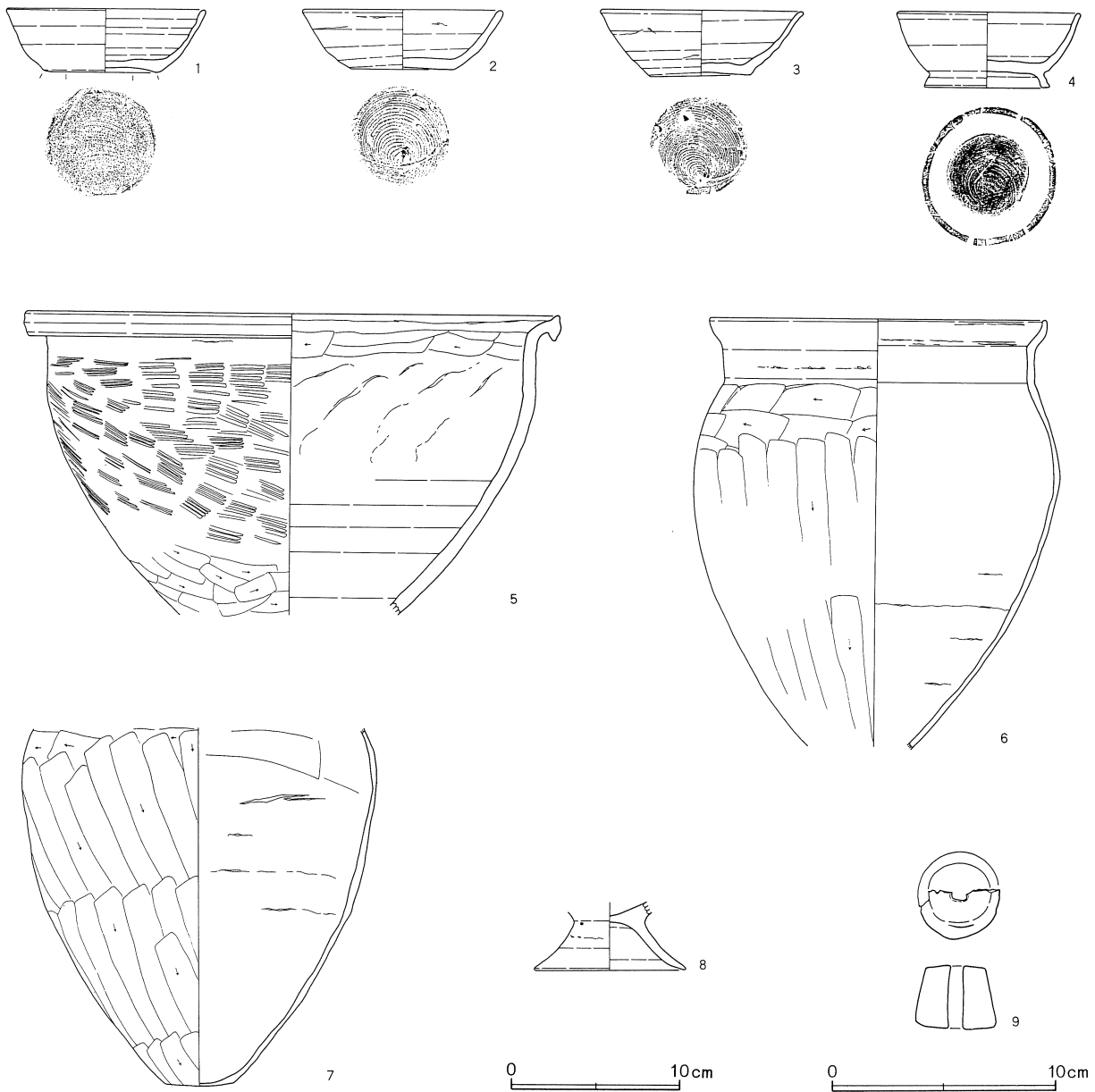
第41図 第2号住居跡カマド



- 1 灰褐色土 焼土塊・灰黄褐色土粒子含む
- 2 淡赤褐色土 焼土塊・焼土粒子含む やや粗粒
- 3 灰黄褐色土
- 4 暗褐色土
- 5 暗赤褐色土 焼土塊含む やや粘質
- 6 淡灰褐色土 焼土粒若干含む
- 7 淡黒褐色土
- 8 濃褐色土

0 1 m

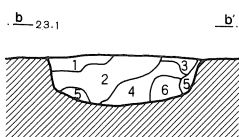
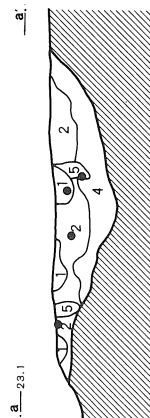
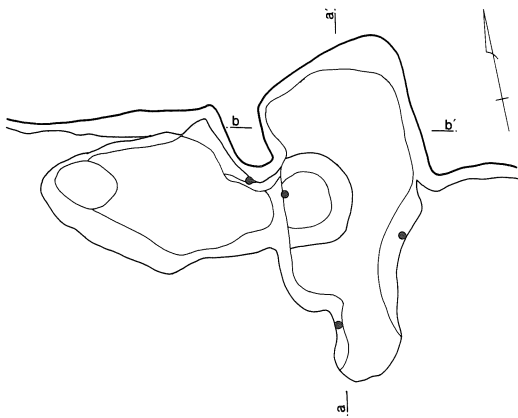
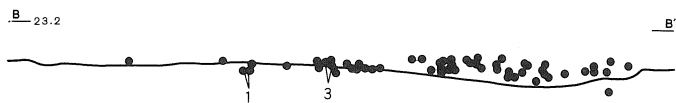
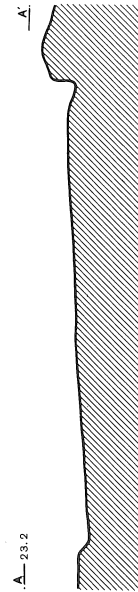
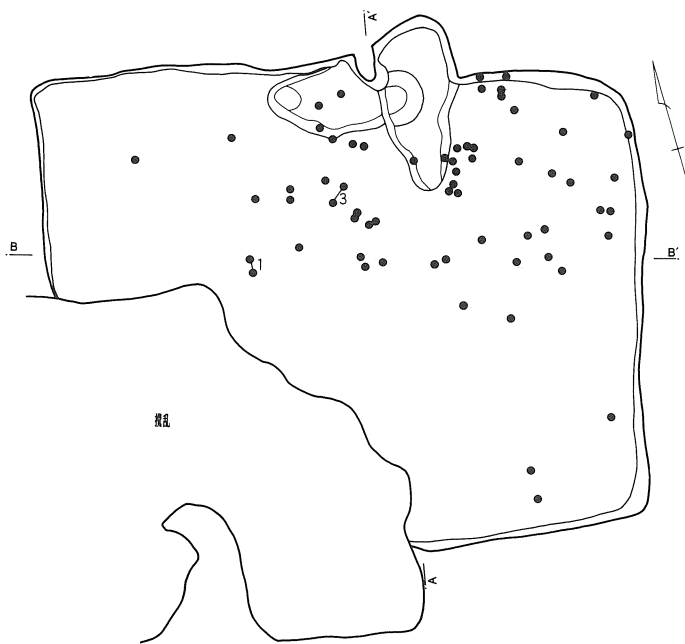
第42図 第2号住居跡出土遺物



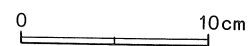
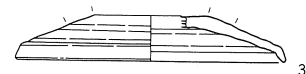
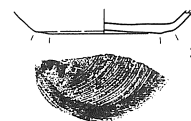
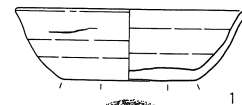
第2号住居跡出土遺物観察表(第42図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器 坏	11.9	3.7	6.5	AB	I	灰	95	RBb 底部内面篋先調整痕
2	坏	12.0	3.5	6.1	AS	I	淡黄	100	土坑 RC 体部挽き上げ痕 底部糸引き抜き痕
3	坏	12.0	3.9	6.0	AB	I	灰	80	カマド RC 底部糸引き抜き痕
4	高台付 坏	11.0	4.5	7.5	ABS	I	灰	55	RC 底部篋記号「×」
5	鉢	(31.8)			AB	I	灰	35	カマド 外面上半横方向平行叩き 下端篋削り 内面頸部篋ナデ 下半ロクロ痕
6	土師器 甕	20.0			BEJS	II	橙	75	土坑 外面器壁荒れる 調整不明瞭
7	甕			4.0	EJKS	II	橙	85	カマド 外面篋削り 暗褐色付着物あり 底部不定方向篋削り
8	台付 甕			9.0	BE	II	橙	60	土坑・カマド 内外面ロクロナデ
9	土製紡錘車	(2.4)	2.7	(3.5)	BS	II	橙	50	外周面篋整形後丁寧なナデ

第43図 第3号住居跡



- 1 黒褐色土 ローム粒子・焼土粒子僅かに含む
- 2 暗茶褐色土 ローム粒子・焼土ブロック含む
- 3 黒色土 焼土多く含む 締まりなし
- 4 鈍い黄褐色土 ローム粒子・焼土ブロック多く含む
- 5 明黄褐色土ブロック
- 6 暗黄褐色土 ローム多く含む



第3号住居跡(第43図)

AJ・AK-31・32グリッドに位置する。南西隅が攪乱されているが、平面形は長方形を呈する。規模は東西4.75m、南北3.60m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-13°-Eを指す。

カマドは北壁のやや東寄りに付設されており、全長

45cm、焚き口幅55cmを測り、壁外への突出は少ない。袖部は地山の掘り残して、西側だけ確認された。

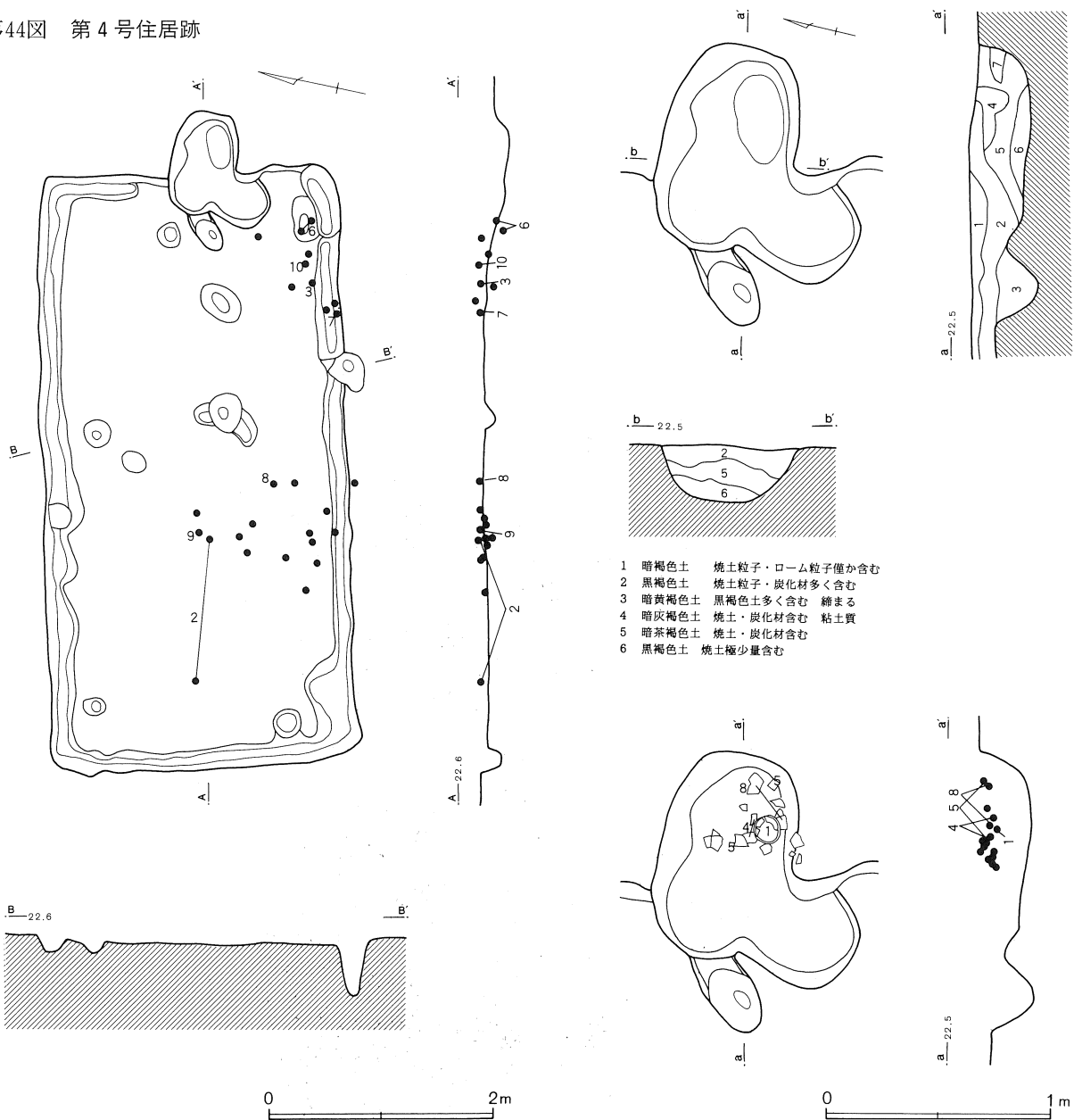
出土遺物(第43図)

住居跡確認面から非常に浅いため遺物は少なく、須恵器環・蓋が出土した。2は住居跡一括遺物であるが底部内面に墨書「女」が記されている。

第3号住居跡出土遺物観察表(第43図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器環	(12.2)	3.8	7.1	ABC	I	灰白	55	RBb 底部篋記号「XX」
2	環			(7.4)	AB	I	オリーブ灰	35	RBb 底部内面墨書「女」
3	蓋	(14.4)			AB	I	灰	30	天井部右回転篋削り

第44図 第4号住居跡



第4号住居跡(第44図)

AM-29・30グリッドに位置する。平面形は長方形を呈する。規模は東西5.25m、南北2.74m、深さ4cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

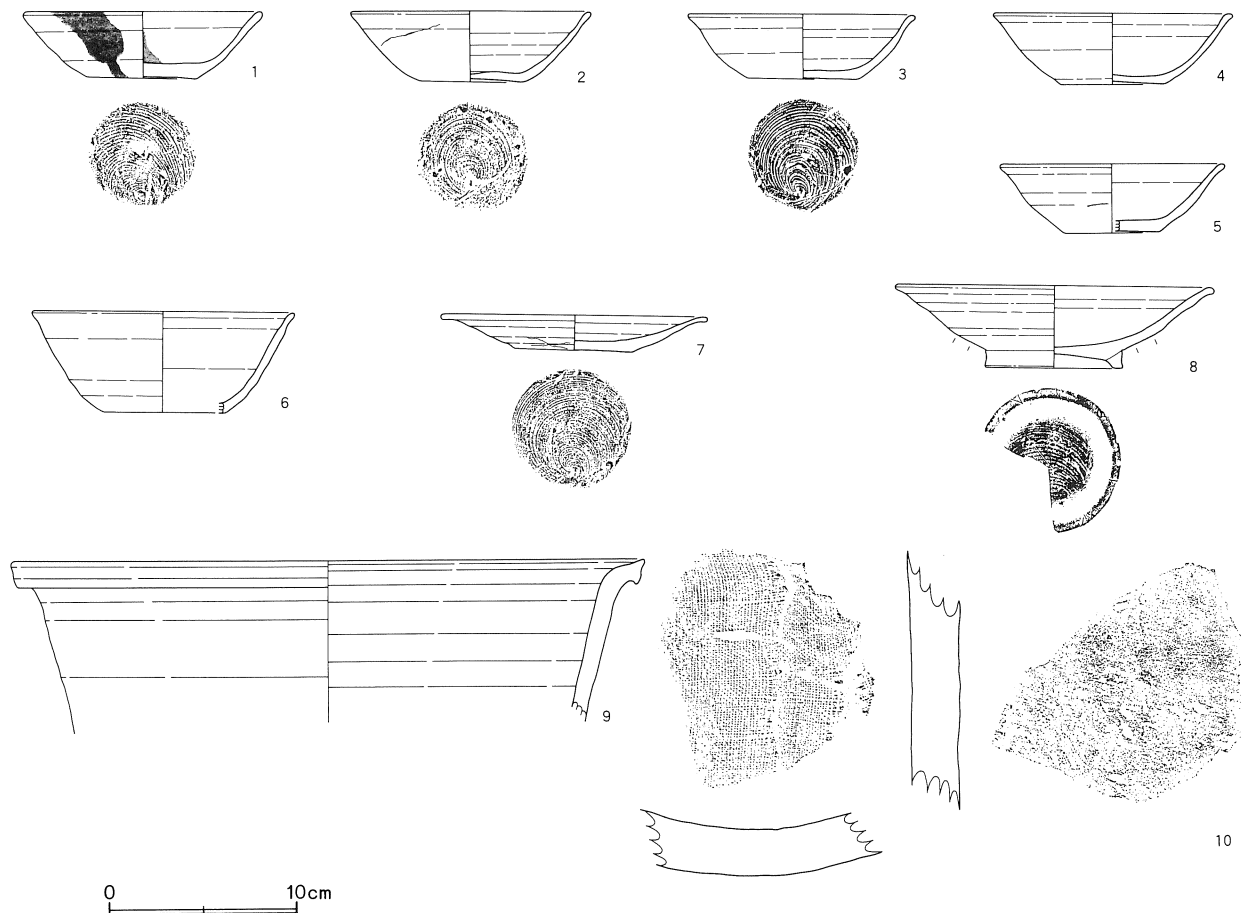
カマドは東壁中央に付設され、全長60cm、焚き口幅60cmを測る。袖部は、地山の掘り残して南側だけ僅かに

に確認された。壁溝は幅15~25cm、深さ15cmを測り、カマドを除き、全周する。

出土遺物(第45図)

須恵器坏・椀・皿・鉢の他、平瓦が出土した。カマドから須恵器坏・皿が出土している。

第45図 第4号住居跡出土遺物



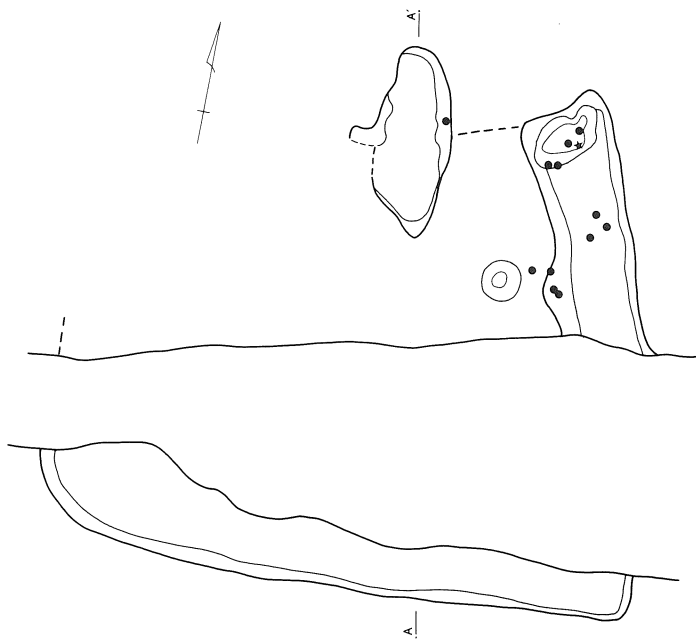
第4号住居跡出土遺物観察表(第45図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器坏	12.8	3.5	5.8	ABCJS	II	灰白	100	カマド RC 内外面に油煙付着
2	坏	(12.8)	3.8	5.5	ABS	I	褐灰	50	RC 底部内面付着物
3	坏	12.1	3.4	5.9	AB	I	灰	80	RC
4	坏	(12.8)	3.8	(5.6)	ABS	I	灰	20	カマド RC 糸引き抜き痕あり
5	坏	(12.0)	3.6	(5.0)	ABS	I	オリーブ灰	20	カマド RC
6	椀	(14.0)	5.3	(6.4)	ABCS	I	灰	25	C 口縁部内外面が窪む
7	皿	14.2	2.0	6.4	AB	I	灰白	100	RC 口縁部外反
8	高台付皿	(17.0)	4.4	7.4	BS	I	灰	45	カマド RC 貼り付け高台 底部篋記号「一」 体部外面下半の一部右回転篋削り
9	鉢	(33.4)			ABS	II	灰白	10	体部に膨みがない

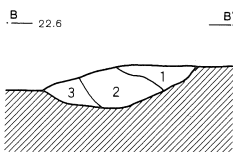
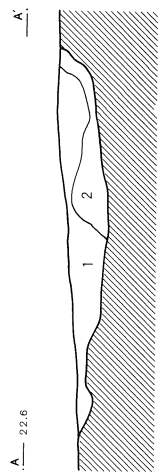
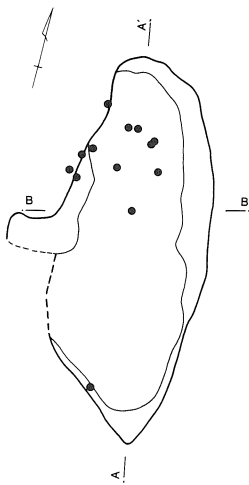
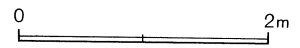
第4号住居跡出土瓦観察表(第45図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	番号	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
10	19×27		布目痕・糸綴じ痕	平行叩き	叩き後ナゲ消し		2.5	B	II	褐灰

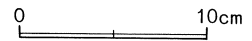
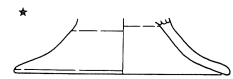
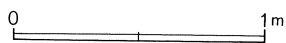
第46図 第5号住居跡



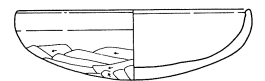
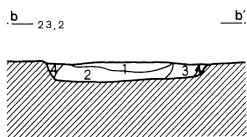
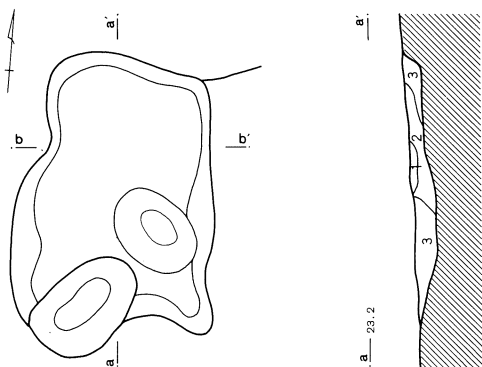
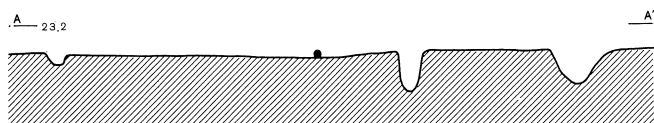
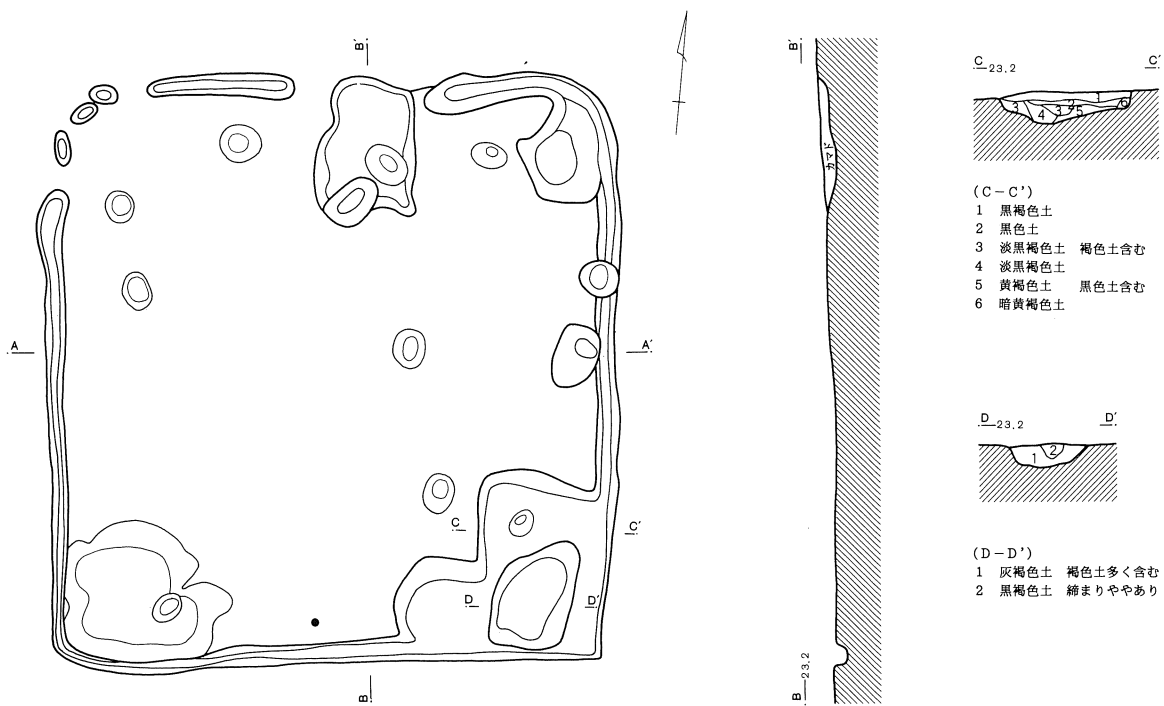
- 1 暗灰褐色土 白色粒子・橙色土粒子含む 締まり強い
- 2 暗灰褐色土 黄褐色土粒子含む 締まり強い
- 3 灰黄褐色土 黄褐色土粒子極多く含む 締まり強い



- 1 暗灰褐色土 焼土粒子・炭化物粒子含む 締まりなし
- 2 黒褐色土 焼土小ブロック含む
- 3 暗褐色土 焼土少し、暗黄褐色土多く含む



第47図 第6号住居跡



0 10cm

第5号住居跡(第46図)

AL-29グリッドに位置する。北東部は攪乱であり、カマドと東辺・南辺の確認のみで、更に南半を第20号溝に切られている。平面形はややいびつな台形である。規模は南北3.60m、東西4.80m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-10°-Wを指す。

カマドは北壁に付設され、全長63cm、焚き口幅60cmを測る。

出土遺物(第46図)

土師器台付甕が住居跡北東隅から出土した。

第6号住居跡(第47図)

AJ・AK-32・33グリッドに位置する。カマドと周溝のみの検出で、平面形は正方形を呈する。規模は南北4.59m、東西4.50m、深さ4cmを測る。主軸方位

はN-7°-Wを指す。

カマドは北壁中央に付設され、全長106cm、焚き口幅64cmで、両側の壁では白色粘土が確認された。北東隅・南東隅・南西隅で土坑が確認された。壁溝は幅12~20cm、深さ10~22cmで、ほぼ全周する。

出土遺物(第47図)

南壁寄り中央付近で土師器坏が出土した。

第7号住居跡(第48図)

AI-29・30、AJ-29グリッドに位置する。第13号溝と重複し、一部貼り床が残存していたが、他は調査区域外にかかっており、平面形・規模は不明である。

出土遺物(第48図)

須恵器坏、土師器甕・台付甕が出土した。甕は倒立した状態で出土し、台付甕台部とまとまって出土した。

第5号住居跡出土遺物観察表(第46図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
	土師器台付甕			(11.4)	BEJ	II	鈍い橙	10	台部のみ残存

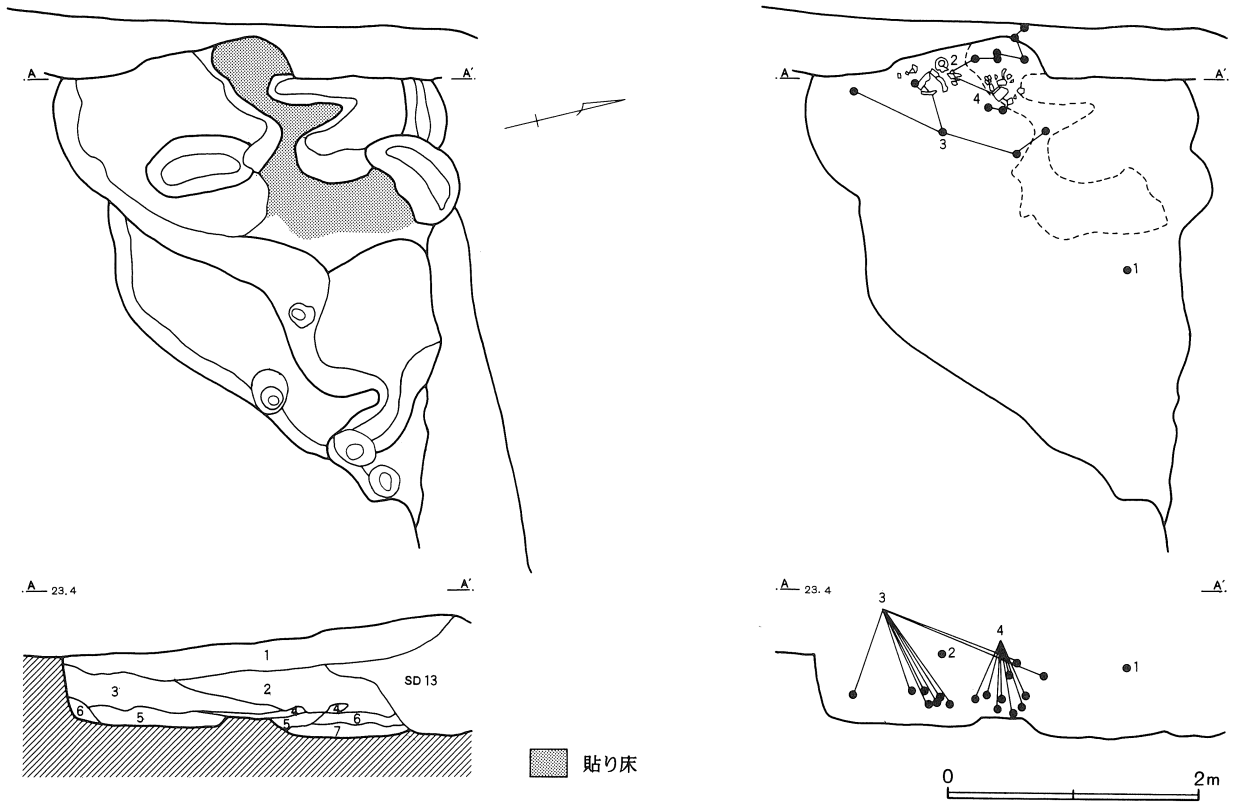
第6号住居跡出土遺物観察表(第47図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
	土師器坏	(12.4)	3.7		BCF	II	橙	45	外面手持ち筥削り

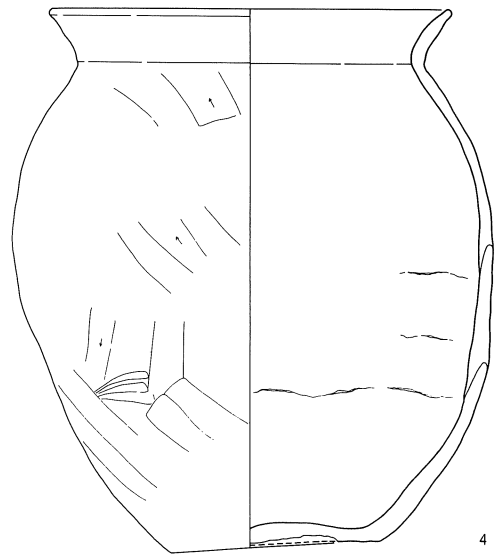
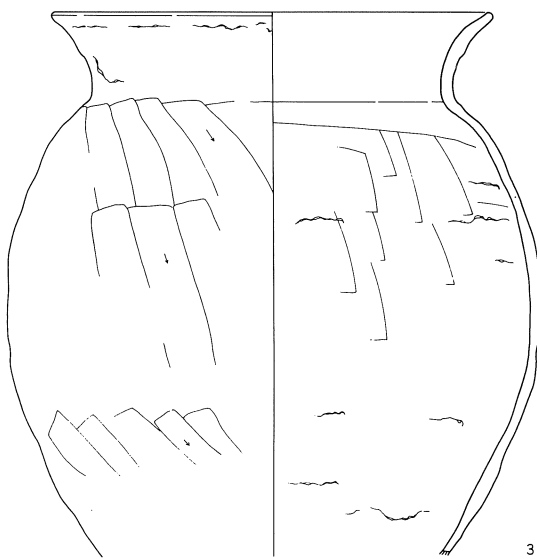
第7号住居跡出土遺物観察表(第48図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器坏	(16.8)	3.5	(11.2)	B	III	浅黄橙	25	RA
2	土師器台付甕			(11.0)	BEJS	II	明褐灰	85	台部のみ
3	甕	(23.0)			JS	II	橙	30	貼り床直上出土 内外面風化顕著 歪み大きい
4	甕	(21.0)	28.5	(11.2)	BFS	II	橙	80	貼り床直上出土 器壁剥離顕著、調整不明瞭 雲母含有多い

第48図 第7号住居跡



- 1 黒色土 黄褐色土粒子・黒褐色土粒子若干含む 締まり強い
- 2 黒褐色土 ローム小ブロック・黄褐色土粒子多く含む
- 3 黒色土 黄褐色土粒子含む 締まり強い
- 4 灰黄褐色土 焼土粒子・ローム粒子含む 締まり極強い
- 5 黒褐色土 黄褐色土含む
- 6 黄褐色土
- 7 灰黄褐色土



0 10cm

(3) 土 坑

第1号土坑(第49図)

AE-32グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長径1.42m、短径1.24m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-46°-Eを指す。

第2号土坑(第49図)

AE-33グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.15m、短軸0.48m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-40°-Wを指す。

第3号土坑(第49図)

AE-33グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.98m、短径0.88m、深さ46cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

覆土中より土師器片・須恵器片などが出土した。

第4号土坑(第49図)

AF-33グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.10m、短径0.96m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-75°-Eを指す。

第5号土坑(第49図)

AF-33グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.96m、短径0.90m、深さ18cmを測る。

第6号土坑(第49図)

AE-33グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.26m、短軸0.80m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-69°-Wを指す。

覆土中より縄文土器片が出土した。

第7号土坑(第49図)

AE-33グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.32m、短軸1.08m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-30°-Eを指す。

第8号土坑(第49図)

AE-33・34グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.00m、短径0.88m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-36°-Eを指す。

第9号土坑(第49図)

AE-34グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.15m、短軸0.82m、深さ19cmを測る。

主軸方位はN-55°-Wを指す。

第10号土坑(第49図)

AF-34グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈するものと思われる。規模は長軸1.04m以上、短軸0.58m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。第2号溝と重複している。

第11号土坑(第49図)

AE-34グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.84m、短径0.68m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第12号土坑(第49図)

AF-34・35グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長径1.54m、短径1.38m、深さ43cmを測る。主軸方位はN-13°-Eを指す。

第13号土坑(第49図)

AG-35グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.50m、短軸1.20m、深さ66cmを測る。主軸方位はN-51°-Eを指す。

第14号土坑

AF・AG-34グリッドに位置する。第2号溝と重複している。平面形は不整形を呈する。規模は長軸1.40m、短軸1.36m、深さ23cmを測る。

第15号土坑

AF-32グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.80m、短径0.72m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-21°-Wを指す。

覆土中より土師器片・須恵器片が出土した。

第16号土坑(第50図)

AF-32グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長径1.04m、短径0.88m、深さ36cmを測る。主軸方位はN-86°-Wを指す。

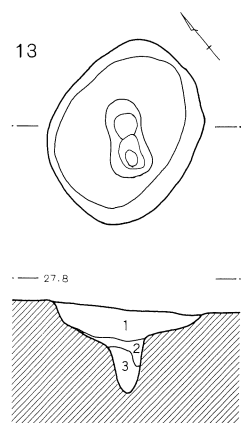
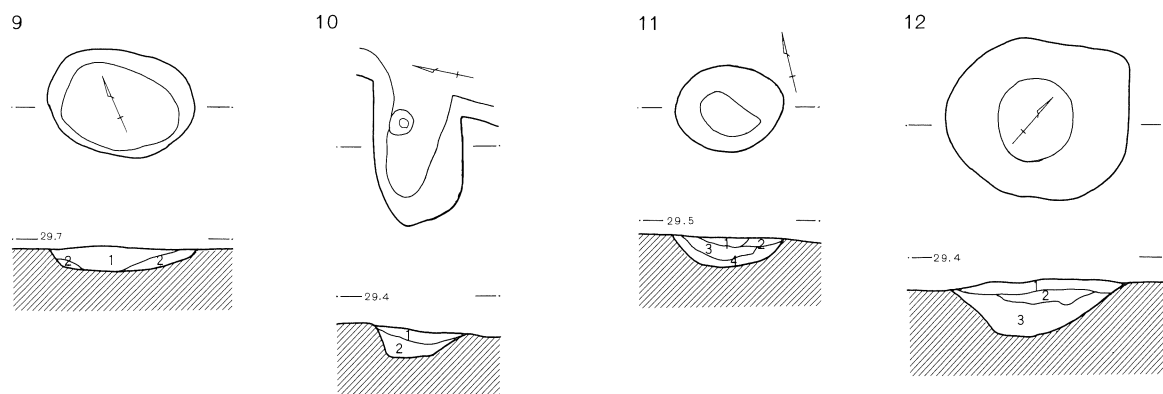
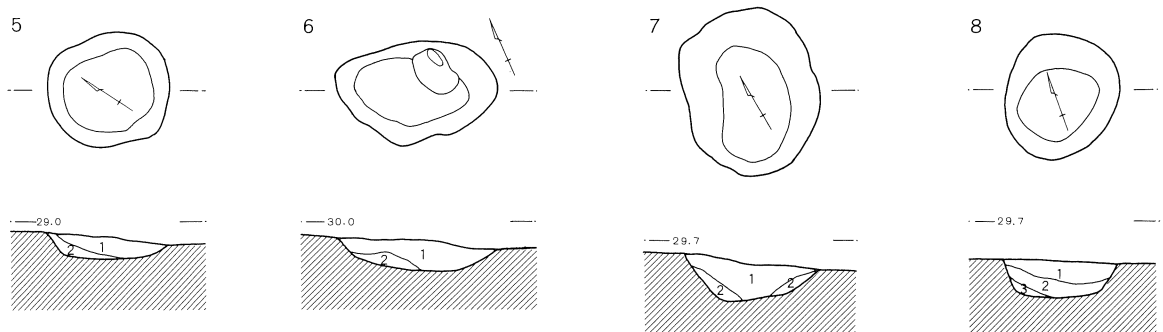
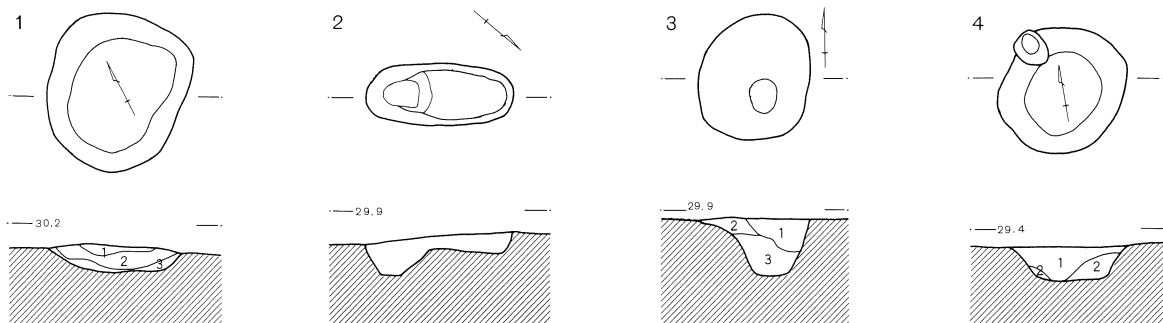
第17号土坑(第50図)

AF-33グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.14m、短径1.08m、深さ48cmを測る。主軸方位はN-62°-Eを指す。

第18号土坑(第50図)

AG-32グリッドに位置する。平面形は円形を呈す

第49図 土坑(1)



SK 1
1 灰褐色土 締まり弱い
2 淡黒褐色土 カarbon含む
3 黄褐色土

SK 2 暗褐色土

SK 3
1 淡黒褐色土
2 暗褐色土
3 暗黄褐色土

SK 4
1 灰褐色土
2 暗褐色土

SK 5
1 暗褐色土
2 暗黄褐色土

SK 6
1 黒褐色土
2 暗黄褐色土

SK 7
1 暗褐色土
2 暗黄褐色土

SK 8
1 暗褐色土
2 暗黄褐色土
3 暗黄褐色土 締まり強い

SK 9
1 暗褐色土
2 黄褐色土

SK 10
1 暗褐色土
2 褐色土

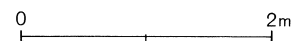
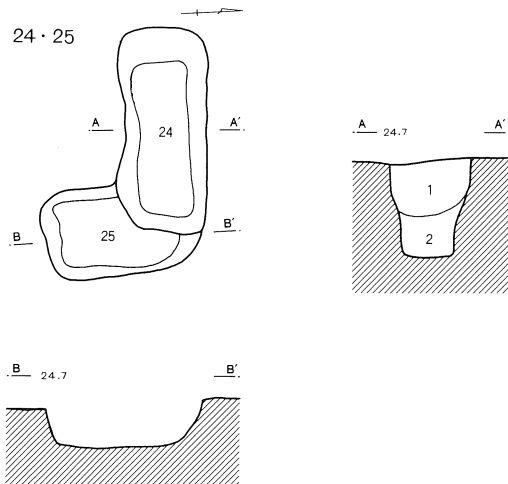
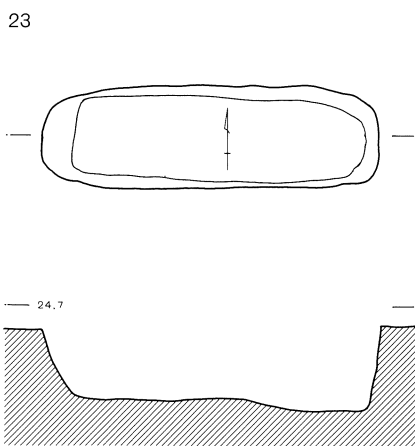
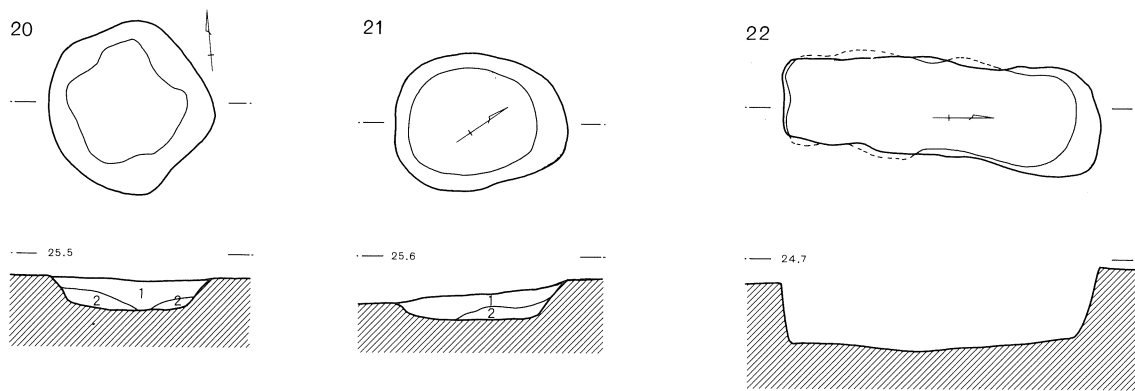
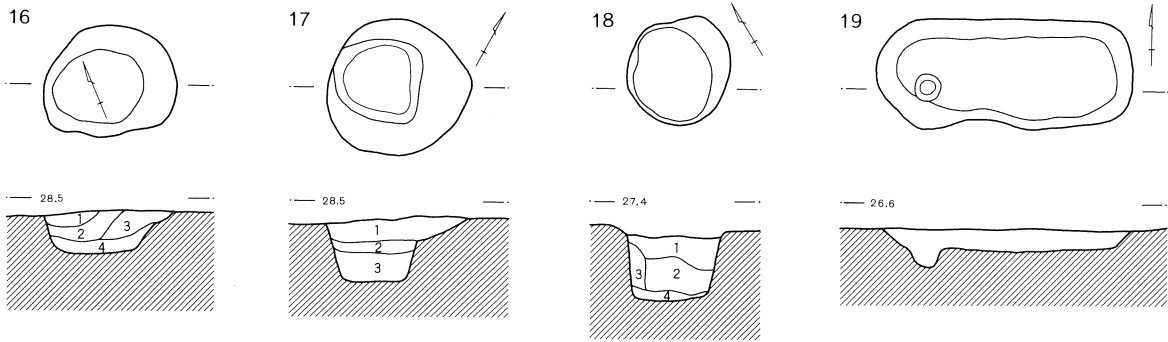


SK 11
1 暗褐色土
2 淡褐色土
3 淡黒褐色土 締まり強い
4 淡褐色土

SK 12
1 淡黒褐色土
2 暗褐色土
3 黒褐色土

SK 13
1 灰褐色土 黄褐色土・同ブロック含む
2 黒褐色土
3 暗褐色土

第50図 土坑(2)



- SK 16
 1 灰褐色土
 2 暗褐色土
 3 黒褐色土
 4 暗褐色土 小礫含む

- SK 17
 1 淡黒褐色土
 2 暗褐色土
 3 黒褐色土

- SK 18
 1 暗褐色土
 2 淡黒褐色土
 3 暗褐色土 黄褐色土含む
 4 黒褐色土

- SK 19
 黒褐色土 黄褐色土粒子若干含む

- SK 20
 1 淡黒褐色土 黄褐色土粒子含む
 2 暗黄褐色土

- SK 21
 1 暗褐色土 ロームブロック含む
 2 暗黄褐色土 ロームブロック多く含む

- SK 24
 1 暗茶褐色土 ロームブロック多く含む
 2 暗褐色土 締まりなし

る。規模は長径0.88m、短径0.80m、深さ58cmを測る。主軸方位はN-69°-Eを指す。

第19号土坑(第50図)

AG-33グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.02m、短軸0.88m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第20号土坑(第50図)

AH-32グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長径1.36m、短径1.28m、深さ23cmを測る。主軸方位はN-4°-Eを指す。

覆土中より土師器・須恵器片が出土した。

第21号土坑(第50図)

AH-33グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.34m、短軸1.08m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-35°-Eを指す。

第22号土坑(第50図)

AH-31グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.55m、短軸0.76m、深さ56cmを測る。主軸方位はN-5°-Eを指す。

第23号土坑(第50図)

AH-31・32グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.68m、短軸0.80m、深さ56cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第24号土坑(第50図)

AH-31・32グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸1.64m、短軸0.72m、深さ74cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。第25号土坑を切っている。

第25号土坑(第50図)

AH-31・32グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸1.22m、短軸0.68m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-5°-Wを指す。第24号土坑に切られている。

第26号土坑(第51図)

AH-31・32グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.52m、短軸0.64m、深さ54cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第27号土坑(第51図)

AI-30グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長径1.12m、短径0.98m、深さ54cmを測る。主軸方位はN-5°-Eを指す。

第28号土坑(第51図)

AI-30グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長径1.45m、短径1.20m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-5°-Eを指す。

第29号土坑

AI-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.16m、短径0.96m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第30号土坑(第51図)

AI-31グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸0.94m、短軸0.74m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第31号土坑

AI-32グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.20m以上、短軸0.70m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-83°-Wを指す。第10号溝に切られている。

第32号土坑

AI-32グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.66m、短軸0.60m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-89°-Eを指す。第10号溝と接している。

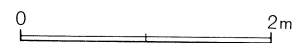
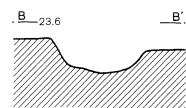
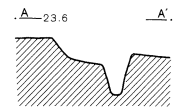
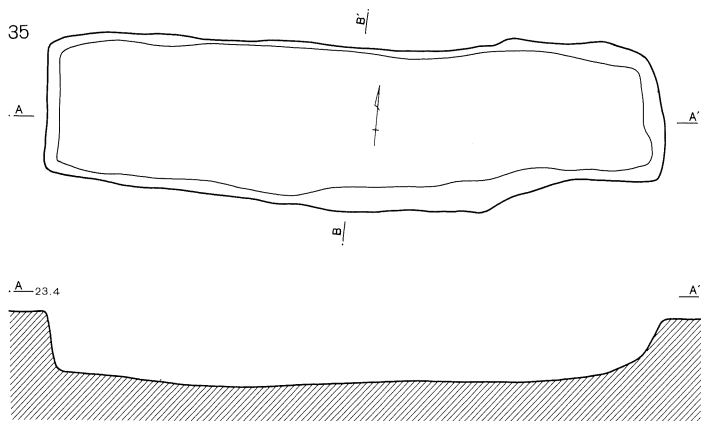
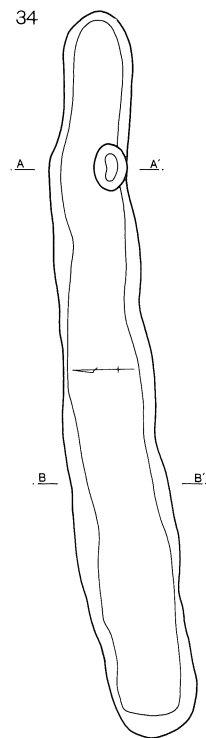
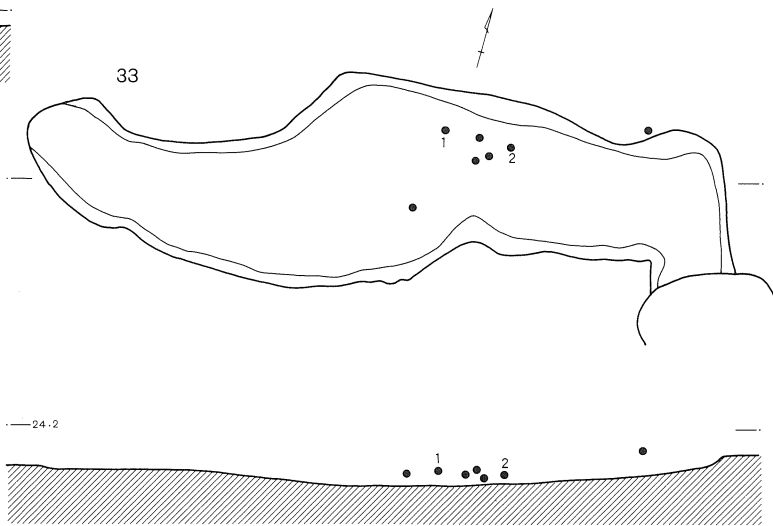
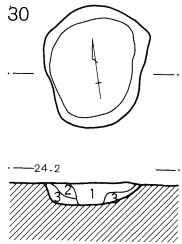
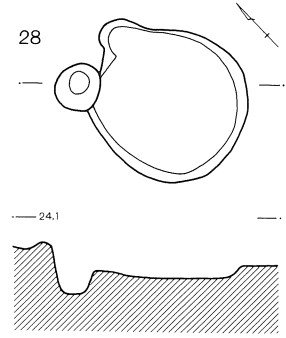
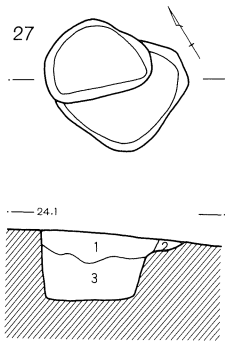
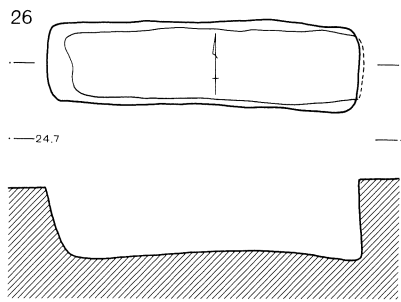
第33号土坑(第51図)

AI-33・34グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、東端で南へ屈曲している。規模は長軸5.48m、短軸1.14m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-78°-Eを指す。

出土遺物(第53図1・2)

1は陶器皿で、推定口径11.2cm、器高2.0cm、推定底径5.4cmである。口唇外面に沈線が巡り、体部は回転篋ナデ、底部は篋削りである。底部外面を除いて鉄釉が施されている。口唇に油煙が付着しており灯明皿として使用されたものである。

第51図 土坑(3)



SK 27

- 1 暗茶褐色土 ローム粒子含む 締まりなし
- 2 暗黄褐色土 暗茶褐色土多く含む 締まりなし
- 3 暗褐色土 ロームブロック多く含む

SK 30

- 1 暗褐色土 ロームブロック含む
- 2 暗茶褐色土
- 3 黄褐色土

2は灰鉄釉掛分碗で高台径4.8cmである。上半には青色の文様が施されている。

第34号土坑(第51図)

AJ-33グリッドに位置する。平面形は長楕円形を呈する。規模は長軸5.88m、短軸0.72m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-83°-Eを指す。

覆土中より土師器片が出土した。

第35号土坑(第51図)

AJ-33グリッドに位置する。平面形は長方形を呈する。規模は長軸4.87m、短軸1.09m、深さ54cmを測る。主軸方位はN-84°-Eを指す。

第36号土坑(第52図)

AJ-32・33グリッドに位置する。平面形は不整隅丸方形を呈する。規模は長軸2.96m、短軸1.36m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-4°-Eを指す。

出土遺物(第53図3)

かわらけとその破片が出土した。かわらけは、推定口径12.0cm、器高3.7cm、底径6.4cmである。体部は水挽き痕が顕著で、底部は右回転糸切り離しをしている。

第37号土坑(第52図)

AJ-32グリッドに位置する。平面形は不整隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.96m、短軸1.36m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

覆土中より中世の瓦等が出土した。

第38号土坑

AJ-32グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.68m、短軸0.96m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-6°-Eを指す。

第39号土坑(第52図)

AJ-31グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.65m、短軸0.72m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-9°-Eを指す。

第40号土坑(第52図)

AJ・AK-31グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.12m、短径0.96m、深さ42cmを測る。主軸方位はN-5°-Eを指す。

第41号土坑(第52図)

AK-29グリッドに位置する。平面形は不整楕円形を呈する。西側が調査区域外になる。規模は長軸1.94m、短軸0.98m以上、深さ42cmを測る。主軸方位はN-16°-Eを指す。

覆土中より土師器・須恵器片が出土した。

第42号土坑

AK-29グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.96m、短径0.84m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。

覆土中より土師器・須恵器片が出土した。

第43号土坑

AK-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は直径1.39m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-41°-Eを指す。

第44号土坑

AK-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.96m、短径0.86m、深さ6cmを測る。主軸方位はN-10°-Wを指す。

第45号土坑(第52図)

AL-29・30グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.88m、短軸0.70m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第46号土坑(第54図)

AL-30グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸1.36m、短軸0.52m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-81°-Wを指す。

第47号土坑

AK-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.14m、短径1.12m、深さ12cmを測る。

第48号土坑

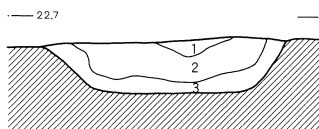
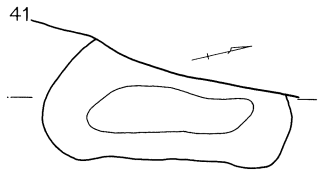
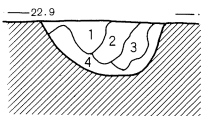
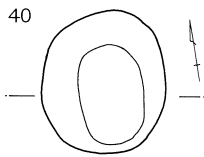
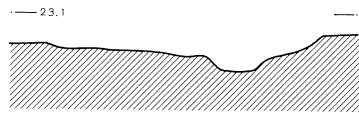
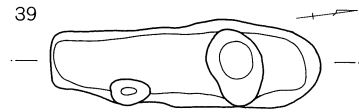
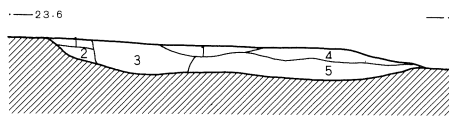
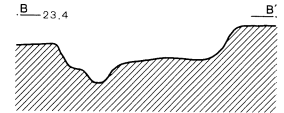
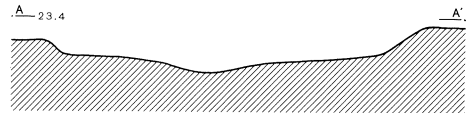
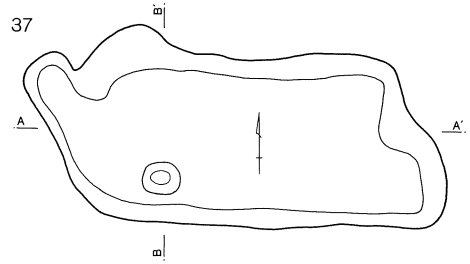
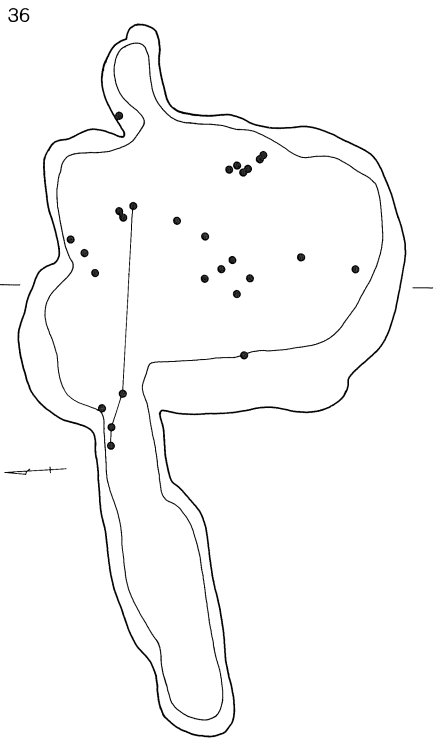
AK-31グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.16m、短径1.14m、深さ10cmを測る。

覆土中より土師器・須恵器片が出土した。

第49号土坑

AK・AL-31グリッドに位置する。平面形は楕円

第52図 土坑(4)



SK 36

- 1 灰褐色土 黄褐色土含む 締まり強い
- 2 淡黒褐色土 黄褐色土含む
- 3 淡黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 4 淡黒褐色土 焼土・黄褐色土粒子含む 締まり強い
- 5 淡黒褐色土 焼土・黄褐色土粒子含む

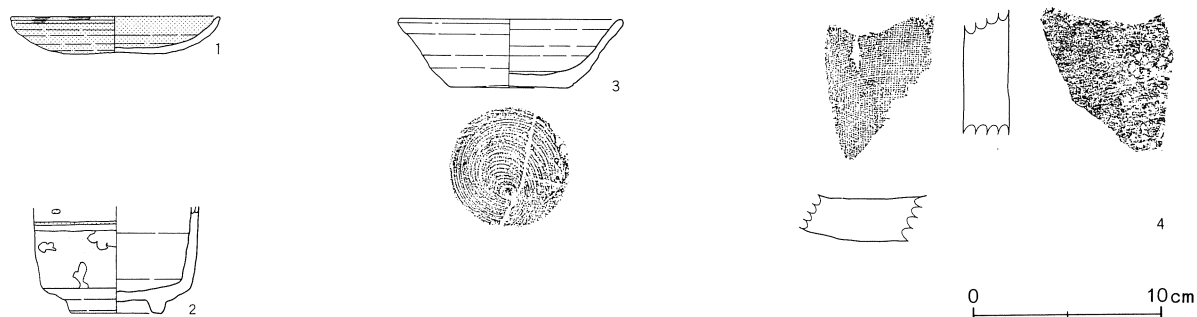
SK 40

- 1 黒褐色土 白色粒子少量含む
- 2 暗褐色土 白色粒子多量含む
- 3 暗茶褐色土 ローム粒子含む
- 4 暗黄褐色土 茶褐色土多く含む

SK 41

- 1 暗褐色土 粗粒 締まり弱い
- 2 黒褐色土 白色粒子含む よく締まる
- 3 茶褐色土 ローム小ブロック多量含む 粘性

第53図 土坑出土遺物



土坑出土遺物(第53図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	鉄釉皿	(11.2)	2.0	(5.4)	S	鈍い橙	40	SK33 内面・体部外面に釉 口唇部に油煙
2	灰鉄釉掛分碗	(12.0)	3.7	4.8	H	鈍い黄橙	40	SK33 灰釉と鉄釉を上下に掛け分け、青色線と文様
3	かわらけ	(12.0)	3.7	6.4	S	橙	50	SK36 RC 水挽き痕顕著

形を呈し、規模は長軸1.00m、短軸0.65m以上、深さ12cmを測る。主軸方位はN-2°-Wを指す。西側を第16号溝に切られる。

覆土中より中世土器が出土した。

第50号土坑

AL-31グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈するものと思われる。規模は長軸1.70m、短軸0.90m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-50°-Eを指す。第16号溝と重複する。

第51号土坑(第54図)

AK-32グリッドに位置する。平面形は長楕円形を呈する。規模は長軸4.10m、短軸0.99m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-87°-Eを指す。

覆土中より土師器・須恵器が出土した。

第52号土坑(第54図)

AK-32・33グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈する。規模は長軸1.00m以上、短軸0.90m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-8°-Wを指す。第53号土坑と重複し、第53号土坑を切っている。

覆土中より平安時代の土器が出土した。

第53号土坑(第54図)

AK・AL-33グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.59m、短軸1.17m、深さ38cmを測る。主軸方位はN-9°-Eを指す。第52号土坑・第17号溝と重複し、第52号土坑に切られ、第17号

溝を切っている。

覆土中より土師器片・須恵器片が出土した。

第54号土坑(第54図)

AK-33グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.26m以上、短軸0.94m、深さ31cmを測る。主軸方位はN-81°-Eを指す。第55号土坑・第17号溝と重複し、第55号土坑を切っている。

覆土中より中世の土器が出土した。

第55号土坑(第54図)

AK-33グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸1.74m、短軸0.62m以上、深さ14cmを測る。主軸方位はN-81°-Eを指す。北側を第54号土坑に切られている。

覆土中より平安時代の土器が出土した。

第56号土坑

AK-34グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.30m、短径1.28m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-37°-Eを指す。

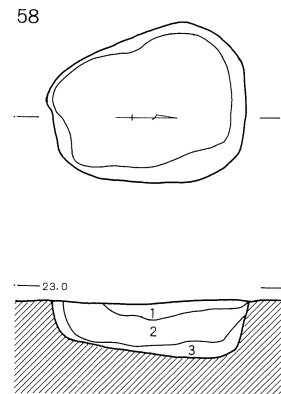
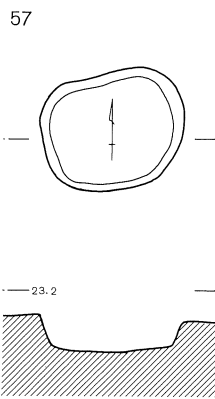
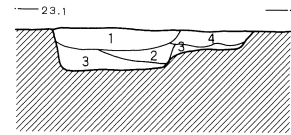
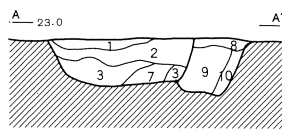
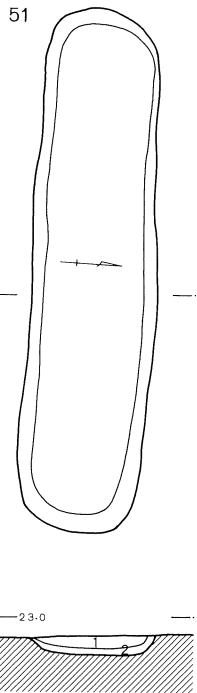
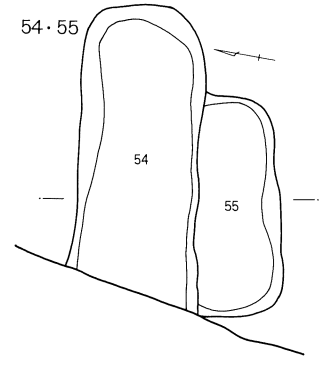
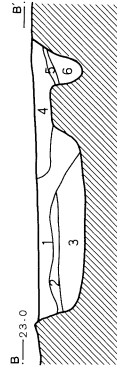
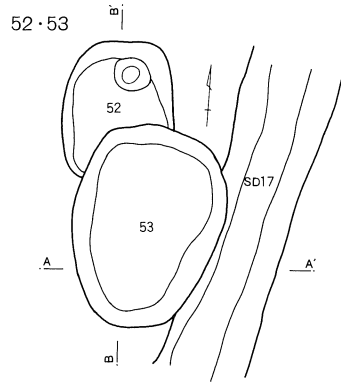
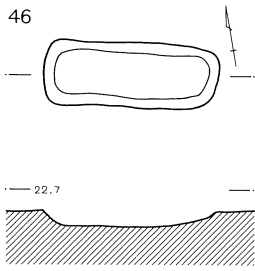
第57号土坑(第54図)

AK-33・34グリッドに位置する。平面形は不整楕円形を呈する。規模は長径1.09m、短径0.96m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-72°-Eを指す。

第58号土坑(第54図)

AK-33グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長径1.56m、短径1.18m、深さ47cmを測

第54図 土坑(5)



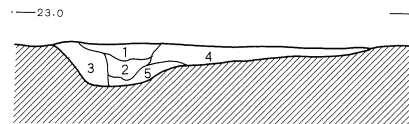
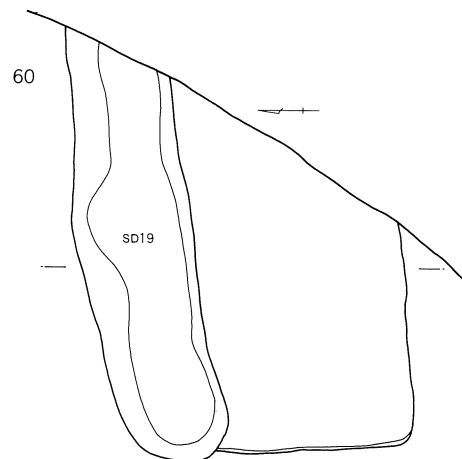
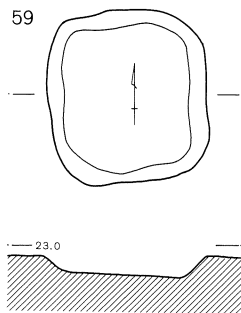
- SK 51
 1 暗茶褐色土 ローム粒子多く含む
 2 暗褐色土 ローム粒子少し含む

- SK 52・53・SD17
 1 黒褐色土 黄褐色土多く含む
 2 黒褐色土・黄褐色土混合土
 3 淡黒褐色土 黄褐色土若干含む
 4 暗灰褐色土
 5 明褐色土
 6 黒褐色土
 7 黄褐色土 黒褐色土含む
 8 淡黒褐色土 締まりあり
 9 黒褐色土
 10 淡黒褐色土 ローム粒子多く含む

- SK 54・SK 55
 1 黒褐色土 褐色土多く含む 締まり強い
 2 黒褐色土・黄褐色土混合土
 3 淡黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む
 4 暗灰黄褐色土 黄褐色土若干含む

- SK 58
 1 黒褐色土 ロームブロック含む
 2 暗褐色土 ローム粒子・ブロック多く含む 粗粒
 3 暗褐色土 ローム僅か含む 締まり強い

- SK 60・SD19
 1 茶褐色土 締まり強い
 2 茶褐色土 ローム粒子含む 締まり強い
 3 暗褐色土 ロームブロック含む 締まり強い
 4 暗褐色土 ローム粒子少し含む
 5 黒褐色土 茶褐色土多く含む



る。主軸方位はN-13°-Wを指す。第18号溝の北端を切っている。

第59号土坑(第54図)

AK-33グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈する。規模は長軸1.36m、短軸1.28m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

覆土中より土師器・須恵器片が出土した。

第60号土坑(第54図)

AL・AM-33グリッドに位置し、東端は調査区域外にかかっている。平面形は長方形を呈するものと思われる。規模は長軸1.72m以上、短軸1.60m、深さ9cmを測る。主軸方位はN-82°-Eを指す。北側で第19号溝と重複している。

第61号土坑(第55図)

AM・AN-32グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長軸2.32m、短軸1.61m、深さ52cmを測る。主軸方位はN-30°-Eを指す。

第62号土坑(第55図)

AN-32グリッドに位置する。第63号土坑と重複している。平面形はT字形を呈する。規模は長軸3.00m、短軸2.25m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

覆土中より平安時代の土器が出土した。

第63号土坑(第55図)

AN-32グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.17m、短径1.08m、深さ38cmを測る。主軸方位はN-78°-Eを指す。第62号土坑と重複している。

覆土中より平安時代の土器が出土した。

第64号土坑(第55図)

AN-32グリッドに位置する。平面形は不整隅丸長方形を呈する。規模は長軸3.00m、短軸1.50m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-33°-Eを指す。

第65号土坑

AM-31グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.03m、短軸0.71m、深さ6cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第66号土坑(第55図)

AM-31グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.18m、短軸1.56m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-65°-Wを指す。

第67号土坑

AN-30・31グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.54m、短軸0.90m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-15°-Wを指す。

第68号土坑(第55図)

AN-31グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈する。規模は長径2.04m、短径1.88m、深さ63cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

出土遺物(第56～61図)

奈良時代の平瓦・丸瓦が出土した。

第69号土坑

AO-30・31グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.49m、短径1.23m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-5°-Wを指す。

第70号土坑

AO-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.98m、短径0.94m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-14°-Eを指す。

第71号土坑

AO-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.02m、短径0.80m、深さ4cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第72号土坑

AN・AO-30グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長軸2.00m、短軸0.80m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-15°-Eを指す。

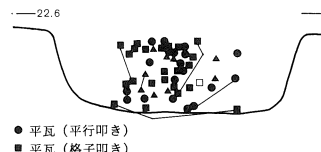
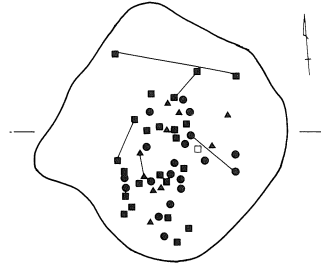
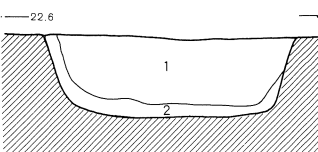
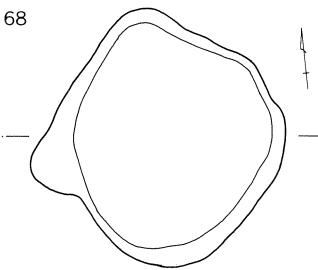
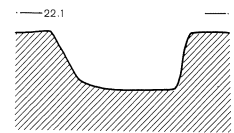
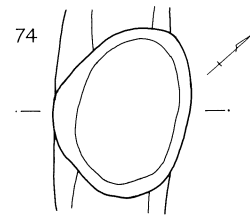
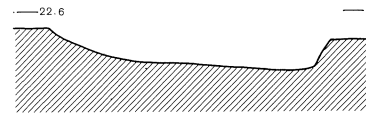
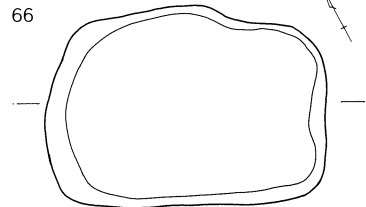
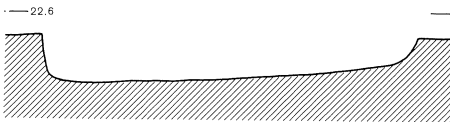
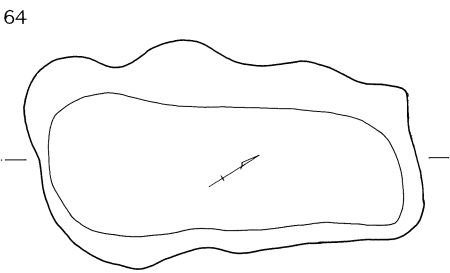
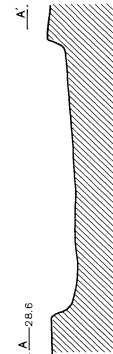
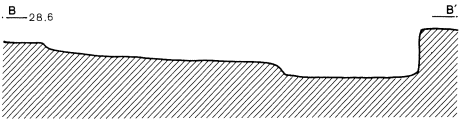
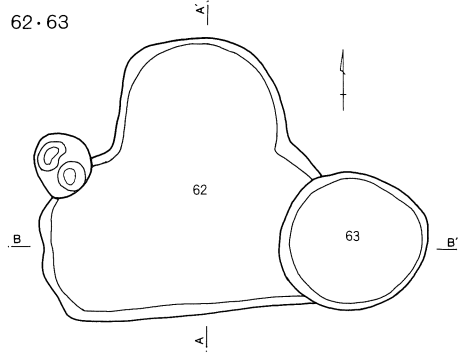
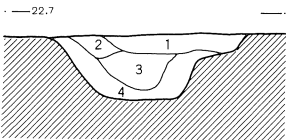
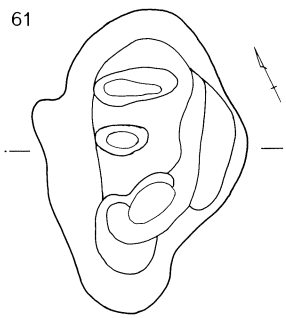
第73号土坑

AN-29グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.85m、短径0.80m、深さ6cmを測る。

第74号土坑(第55図)

AN-28グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.34m、短軸1.08m、深さ46cmを測る。主軸方位はN-39°-Wを指す。第24号溝と重複

第55図 土坑(6)



- 平瓦 (平行叩き)
- 平瓦 (格子叩き)
- ▲ 平瓦 (叩きナゲ消し)
- 丸瓦

0 2m

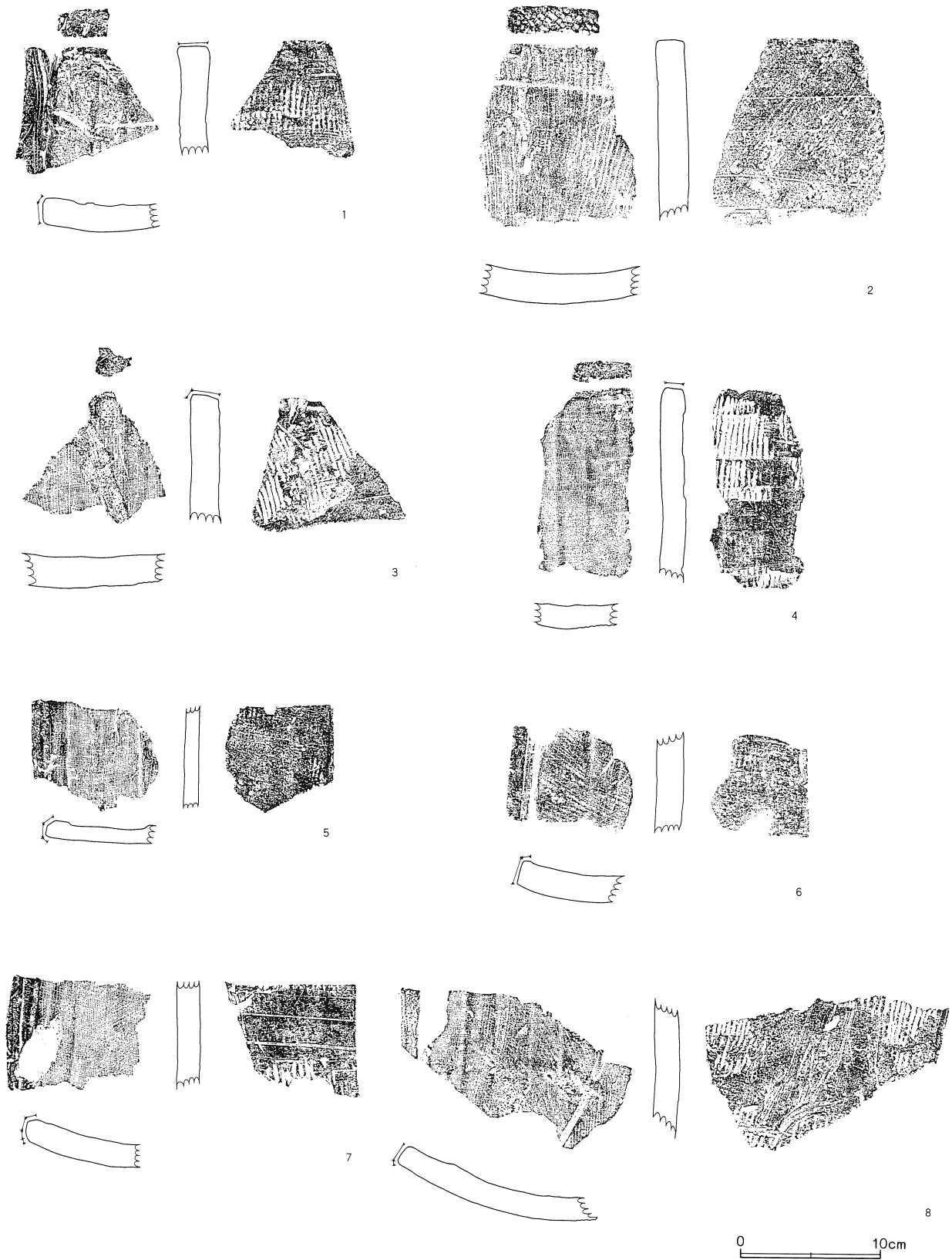
SK 6 1

- 1 黒褐色土 ロームブロック多く含む
- 2 淡黒褐色土 白色粒子僅かに含む 締まりあり
- 3 暗褐色土 ローム粒子・白色粒子僅か含む
- 4 暗茶褐色土 暗黄褐色土含む

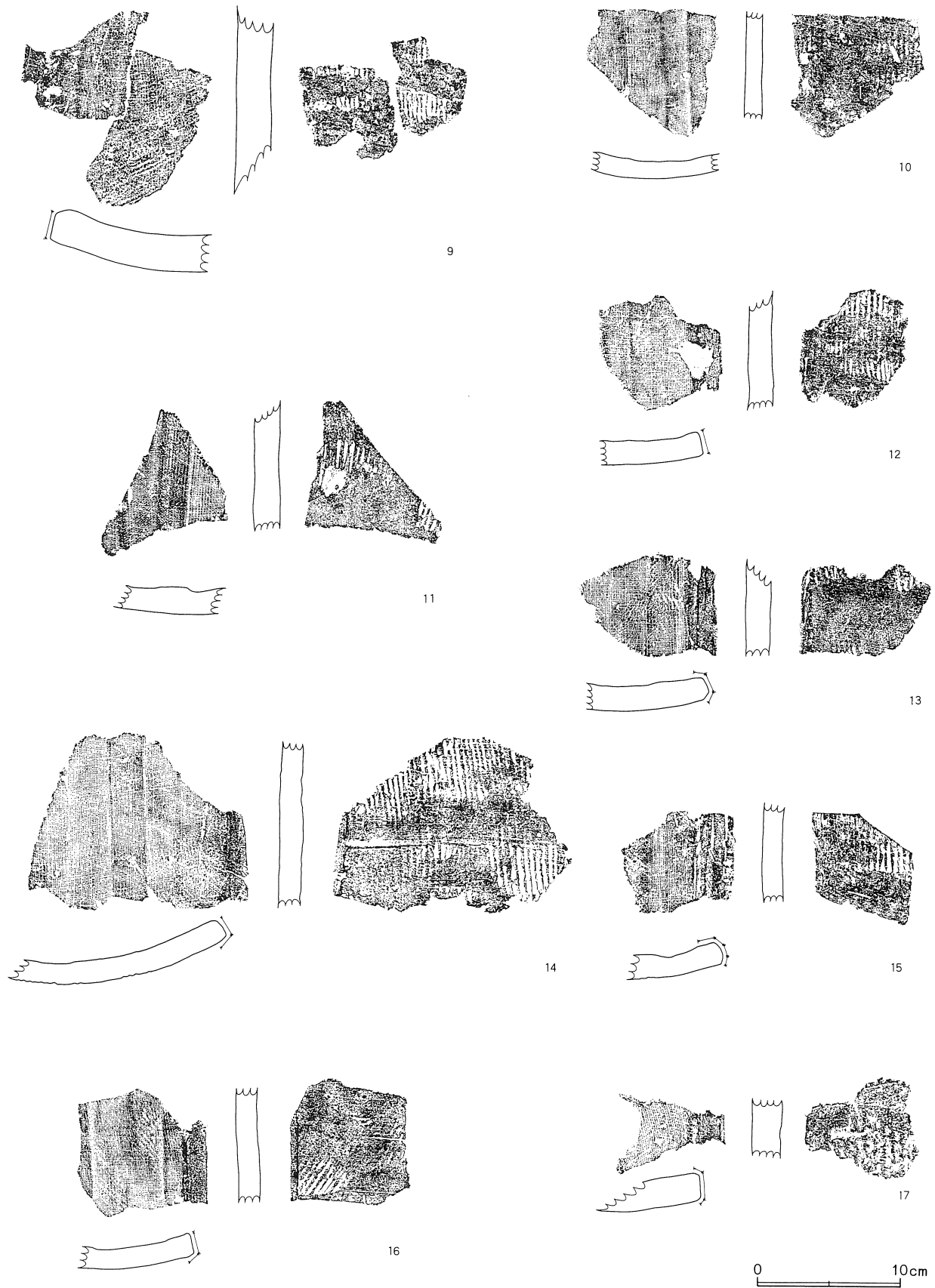
SK 6 8

- 1 黒褐色土 黄褐色土粒子・赤褐色土粒子若干含む 締まり強い
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む

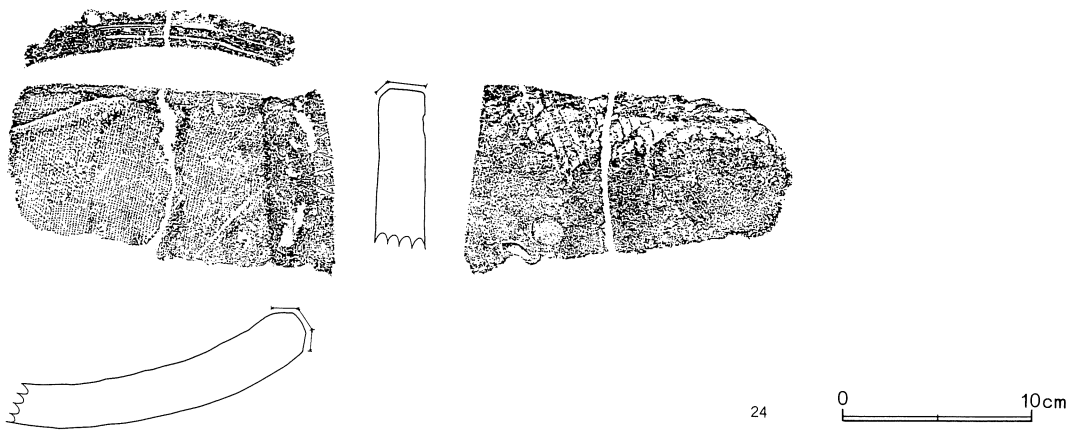
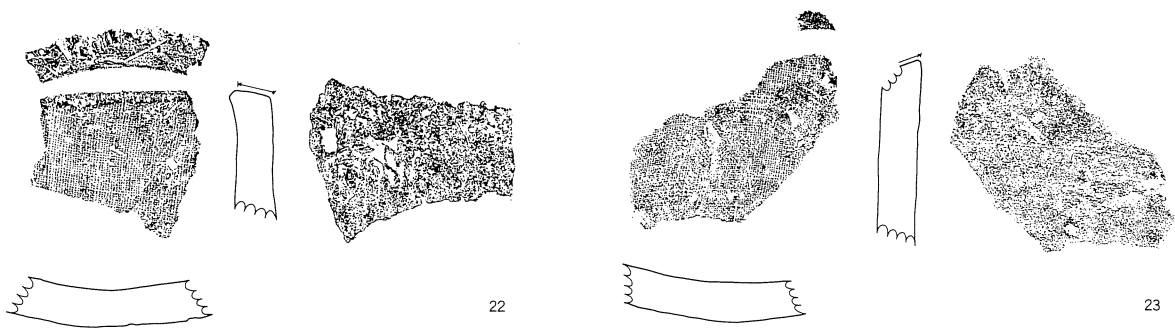
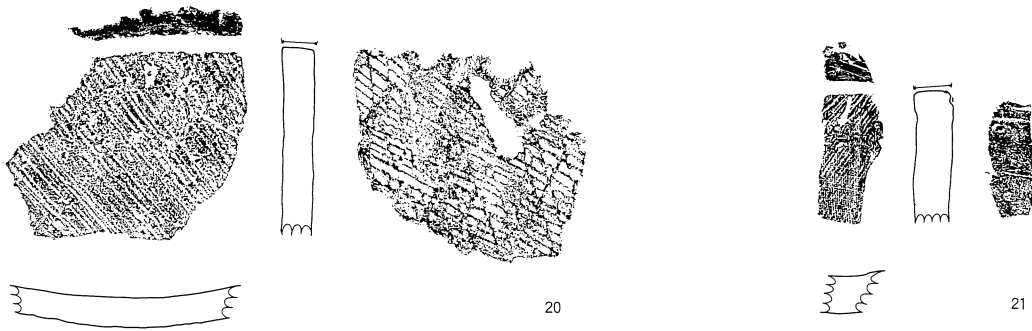
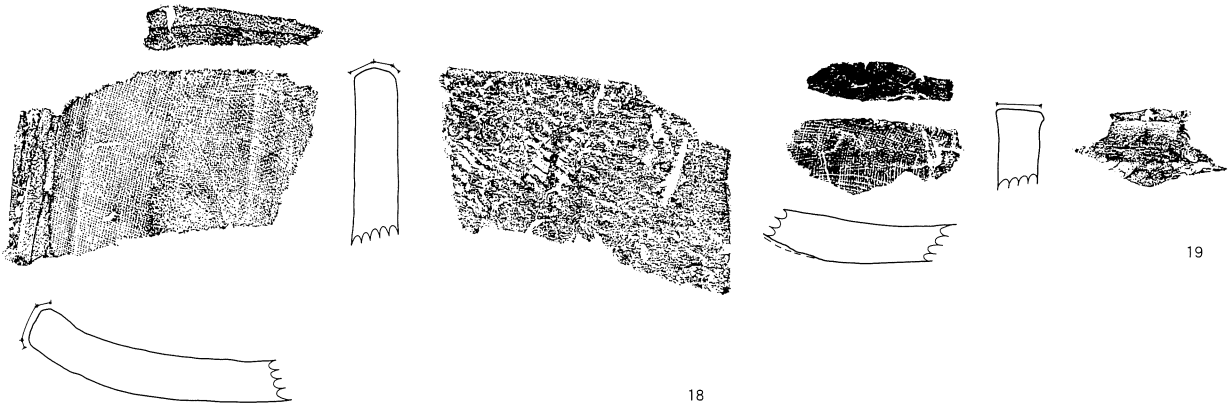
第56図 第68号土坑出土瓦(1)



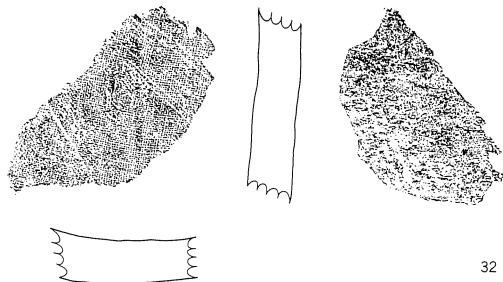
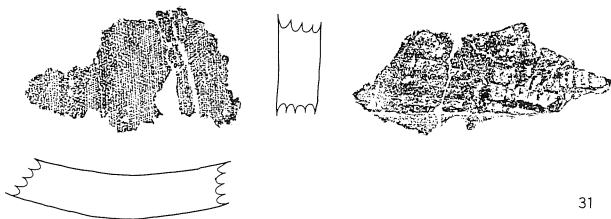
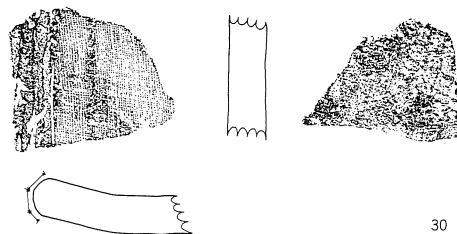
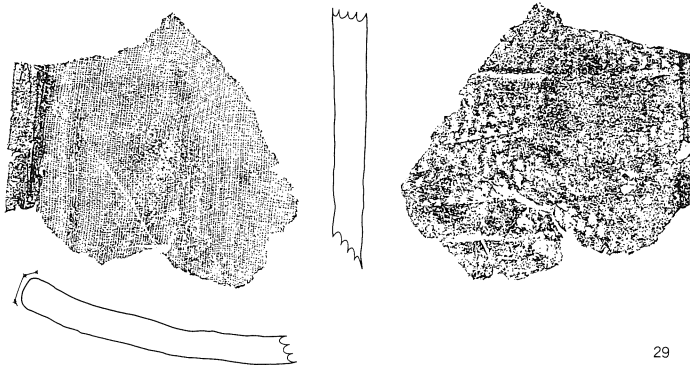
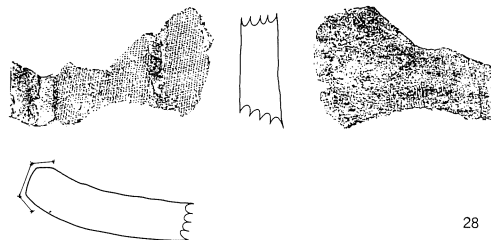
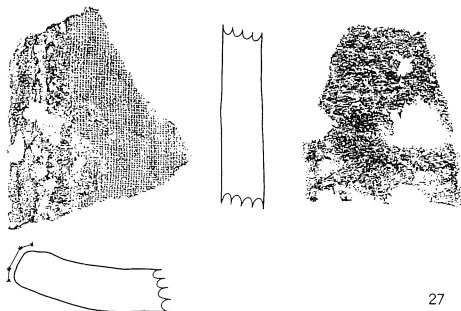
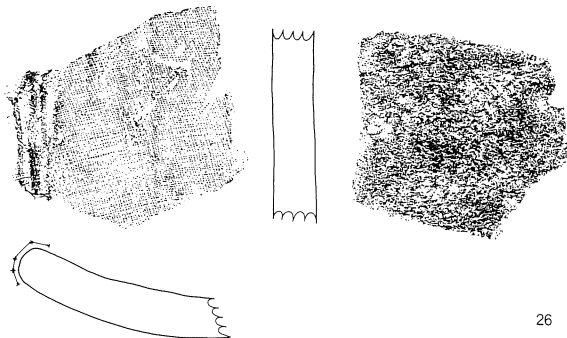
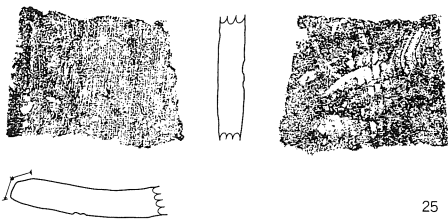
第57图 第68号土坑出土瓦(2)



第58図 第68号土坑出土瓦(3)

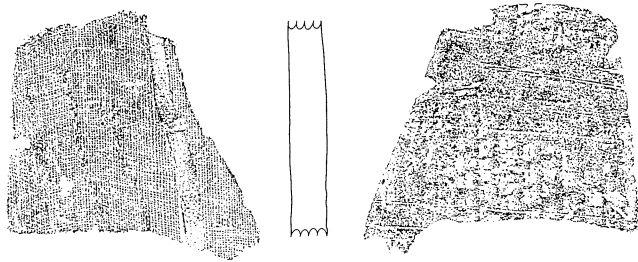


第59图 第68号土坑出土瓦(4)

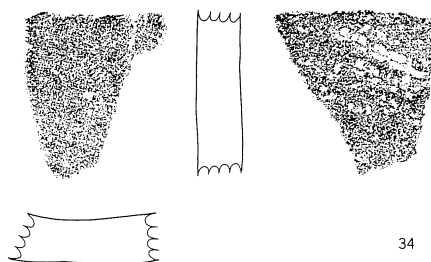


0 10cm

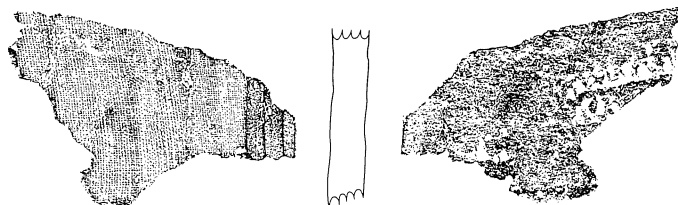
第60図 第68号土坑出土瓦(5)



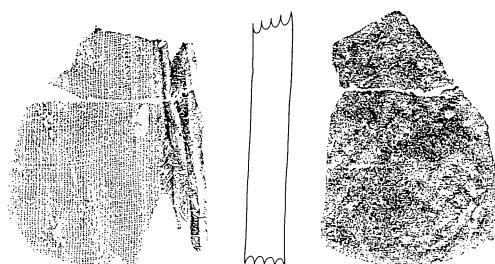
33



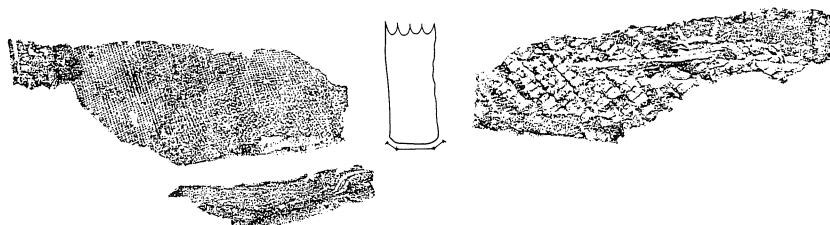
34



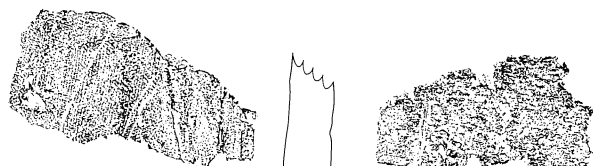
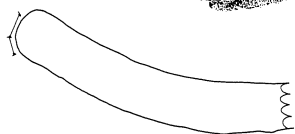
35



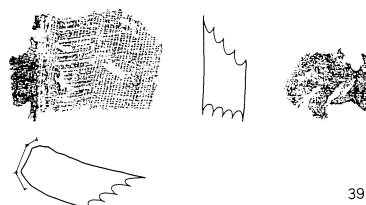
36



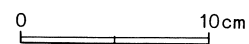
37



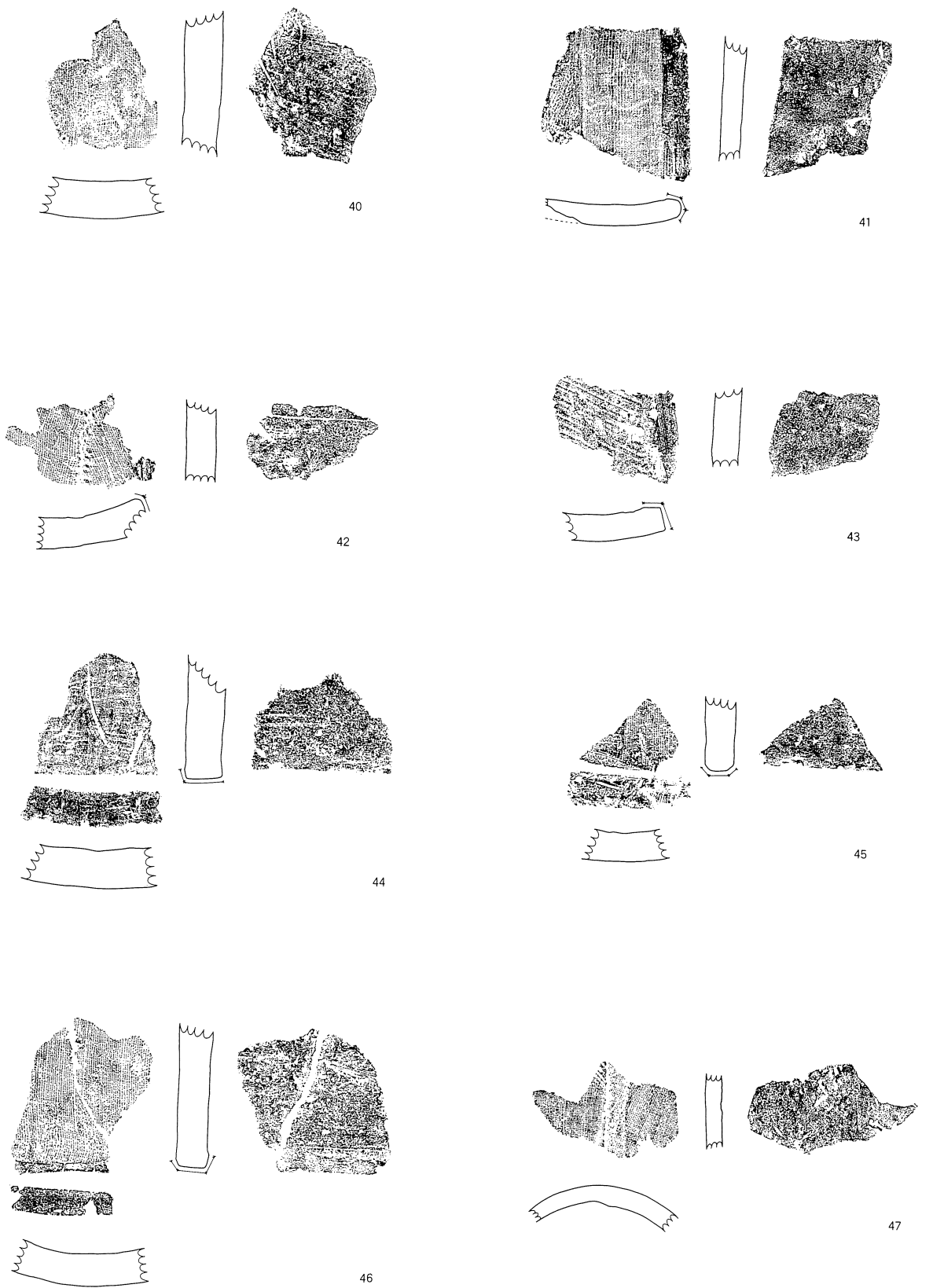
38



39



第61图 第68号土坑出土瓦(6)



0 10cm

第68号土坑出土瓦観察表(第56~61図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
1	24×28	2.0	布目痕	平行叩き 1.9cm/5本	叩き後横ナデ	凹面側面取り へら整形	2.3	S	I	灰黄褐
2	不明	不明	布目痕・布綴じ痕 糸切り痕	平行叩き	叩き後横ナデ 工具痕数条	格子叩き	2.2	AS	II	鈍い橙
3	24×24	2.8	布目痕 一部縦ナデ	平行叩き 1.8cm/5本	叩き後横ナデ	凹面側面取り へら整形	2.2	BS	I	灰白
4	25×30	2.0	布目痕	平行叩き 2.0cm/5本	叩き後横ナデ	へら整形	1.8	BS	I	灰黄
5	25×23	2.5	布目痕	平行叩き	叩き後横ナデ	面取り へら整形	1.2	ABS	II	鈍い黄橙
6	24×28	2.0	布目痕 糸切り痕	平行叩き	叩き後横ナデ	凹面側面取り へら整形	2.0	AS	II	明褐灰
7	26×31	2.0	布目痕 一部糸切り痕	平行叩き 2.2cm/5本	叩き後横ナデ	両面面取り へら整形	1.8	BS	I	橙
8	28×30	2.3	布目痕 一部へらナデ 指紋	平行叩き 1.8cm/5本	叩き後横ナデ 一部縦ナデ	凸面側面取り へら整形	2.0	ABS	I	灰
9	30×31	2.5	布目痕 一部糸切り痕	平行叩き 1.7cm/5本	叩き後横ナデ	へら整形	2.6	AS	II	橙
10	24×26	2.0~2.5	布目痕	平行叩き	叩き後横ナデ		1.3	ABS	II	鈍い黄橙
11	26×32	2.3	布目痕	平行叩き 2.0cm/5本	叩き後横ナデ		1.9	AS	I	灰
12	32×29	2.0	布目痕	平行叩き 2.0cm/5本	叩き後横ナデ	へら整形	1.8	ABCS	I	黄灰
13	28×30	2.7	布目痕 側面際へら整形	平行叩き 2.0cm/5本	叩き後横ナデ	凸面側面取り へら整形	2.0	AS	I	灰白
14	28×34	2.3	布目痕	平行叩き 2.0cm/5本	叩き後横ナデ	凸面側面取り へら整形	1.7	S	II	鈍い橙
15	25×29	2.0	布目痕 側面際へら整形	平行叩き 1.9cm/5本	叩き後横ナデ	両面面取り へら整形	1.7	AS	I	鈍い黄橙
16	25×22	2.5	布目痕	平行叩き 1.7cm/5本	叩き後横ナデ	へら整形	1.7	ABS	I	灰
17	20×27	不明	布目痕	平行叩き	叩き後横ナデ	両面面取り へら整形	2.1	S	II	灰白
18	25×29	4.0	布目痕 一部ナデ	斜格子叩き	叩き後横ナデ	(狭)へら整形 凸面側面取り (広)へら整形	2.3	BS	I	灰
19	23×30	不明	布目痕	斜格子叩き	叩き後横ナデ	両面面取り へら整形 隅切りあり	2.3	BS	I	灰
20	不明	不明	糸切り痕	斜格子叩き	右下がりの叩き	へら整形	1.6	AS	II	鈍い橙
21	27×24	不明	布目痕 糸切り痕	斜格子叩き	横方向ナデ	へら整形	2.0	ABHS	II	橙
22	22×27	2.1	布目痕 狭端縁縦ナデ	斜格子叩き	叩き後横ナデ	へら整形	2.1	BS	I	褐灰
23	21×25	2.0	布目痕 一部縦・斜ナデ	斜格子叩き	叩き後横ナデ	へら整形	2.0	BS	II	鈍い橙
24	22×25	2.4	布目痕 一部糸切り痕	斜格子叩き	叩き後横ナデ	(狭)へら整形 凸面側面取り (広)へら整形	2.7	S	II	鈍い黄橙
25	23×25	3.0	布目痕 一部縦ナデ	斜格子叩き	叩き後横ナデ	両面面取り 凹面側面取り へら整形	1.5	AS	II	橙
26	22×30	2.2	布目痕 側面際へら整形	格子叩き	叩き後横ナデ	面取り へら整形	2.4	BS	II	灰黄
27	23×30	4.0	布目痕 縦方向のナデ	格子叩き	横方向ナデ	面取り へら整形	2.1	BS	I	鈍い黄褐
28	23×28	2.2~2.3	布目痕 一部縦ナデ	格子叩き	横方向ナデ 一部縦ナデ	両面面取り へら整形	2.3	BS	I	褐灰
29	24×28	3.0	布目痕 一部縦ナデ・ナデ	斜格子叩き	叩き後横ナデ	両面面取り へら整形	1.8	BS	I	灰
30	23×30	2.2	布目痕 一部縦ナデ	格子叩き	叩き後横ナデ	へら整形	2.1	BS	I	鈍い黄褐
31	26×29	不明	布目痕	格子叩き	叩き後横ナデ		2.3	BS	II	灰褐
32	24×27	不明	布目痕 一部糸切り痕	斜格子叩き	叩き後横ナデ		2.3	S	II	灰黄褐
33	21×25	2.2	布目痕 一部縦ナデ	格子叩き	叩き後横ナデ		2.1	BS	I	灰白
34	不明	不明	布目痕	格子叩き	叩き後ナデ		2.6	S	II	褐灰
35	21×27	不明	布目痕 一部縦ナデ	格子叩き	叩き後横ナデ	両面面取り へら整形	2.1	ABS	I	灰
36	22×27	4.2	布目痕	格子叩き	叩き後横ナデ	面取り へら整形	2.2	S	II	鈍い黄橙

番号	凹 面			凸 面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特 徴	叩き	特 徴					
37	23×24	4.0	布目痕 ナデ	格子叩き	叩き後横ナデ	面取り へら整形	2.8	BS	II	鈍い黄橙
38	不明	3.5	布目痕 布目痕 一部糸切り痕	格子叩き	叩き後横ナデ 横方向ナデ	凹面側横ナデ	2.5	BS	I	鈍い褐
39	19×24					両面面取り へら整形	2.4	BS	II	灰黄
40	22×28	不明	布目痕 一部指ナデ		斜方向ナデ		2.6	BS	II	黄灰
41	27×25	2.2	布目痕 一部糸切り痕		平行叩き後横ナデ	面取り へら整形	1.5	AS	I	灰白
42	23×28	3.2	布目痕・布緞じ痕		横方向ナデ	面取り へら整形	2.2	BS	I	灰
43	不明	不明	糸切り痕 側端縁へら整形		斜方向ナデ	へら整形	1.9	BS	I	灰
44	28×33	2.8	布目痕・へら痕 広端縁へらナデ		横方向ナデ	広端面へら整形	2.6	ABS	II	橙
45	21×22	不明	布目痕 一部へら横ナデ		横方向ナデ	両面面取り へら整形	2.1	BS	I	灰
46	21×20	3.8	布目痕 一部指ナデ		横方向ナデ	両面面取り へら整形	2.3	BS	I	黄灰
丸瓦 47	25×31	2.1	布目痕	格子叩き	叩き後縦方向ナデ		1.4	ABS	I	鈍い橙

している。

第75号土坑(第62図)

AO-30グリッドに位置する。平面形は円形になると思われる。規模は長径1.20m、短径0.80m以上、深さ18cmを測る。主軸方位はN-52°-Eを指す。第24号溝と重複し、溝を切っている。

覆土中より平安時代から中世にかけての土器が出土した。

第76号土坑

AO-31グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈する。規模は長径1.08m、短径1.06m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-6°-Eを指す。

第77号土坑

AO-31グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈する。規模は長径1.42m以上、短径1.32m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第78号土坑(第62図)

AO・AP-31グリッドに位置する。土坑南東側は調査区域外にかかっている。平面形は不明である。規模は長軸2.50m、短軸1.90m以上、深さ48cmを測る。主軸方位はN-8°-Wを指す。第25号溝の北端を切っている。

出土遺物(第53図4)

遺物は瓦の他、中世甕破片が出土した。瓦は平瓦で

凹面は布目で、糸の本数は3cmあたり縦23本、横28本である。凸面格子叩き後の横ナデがされている。厚さは2.3cmを計る。胎土は砂粒を含み焼成は良好で灰白色を呈する。

第79号土坑(第53図)

AP-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.08m、短径1.03m、深さ52cmを測る。主軸方位はN-66°-Wを指す。第25号溝と重複し、溝に切られている。

覆土中より、平安時代から中世にかけての土器が出土した。

第80号土坑(第62図)

AP-29グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長軸2.02m、短軸1.52m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-50°-Eを指す。

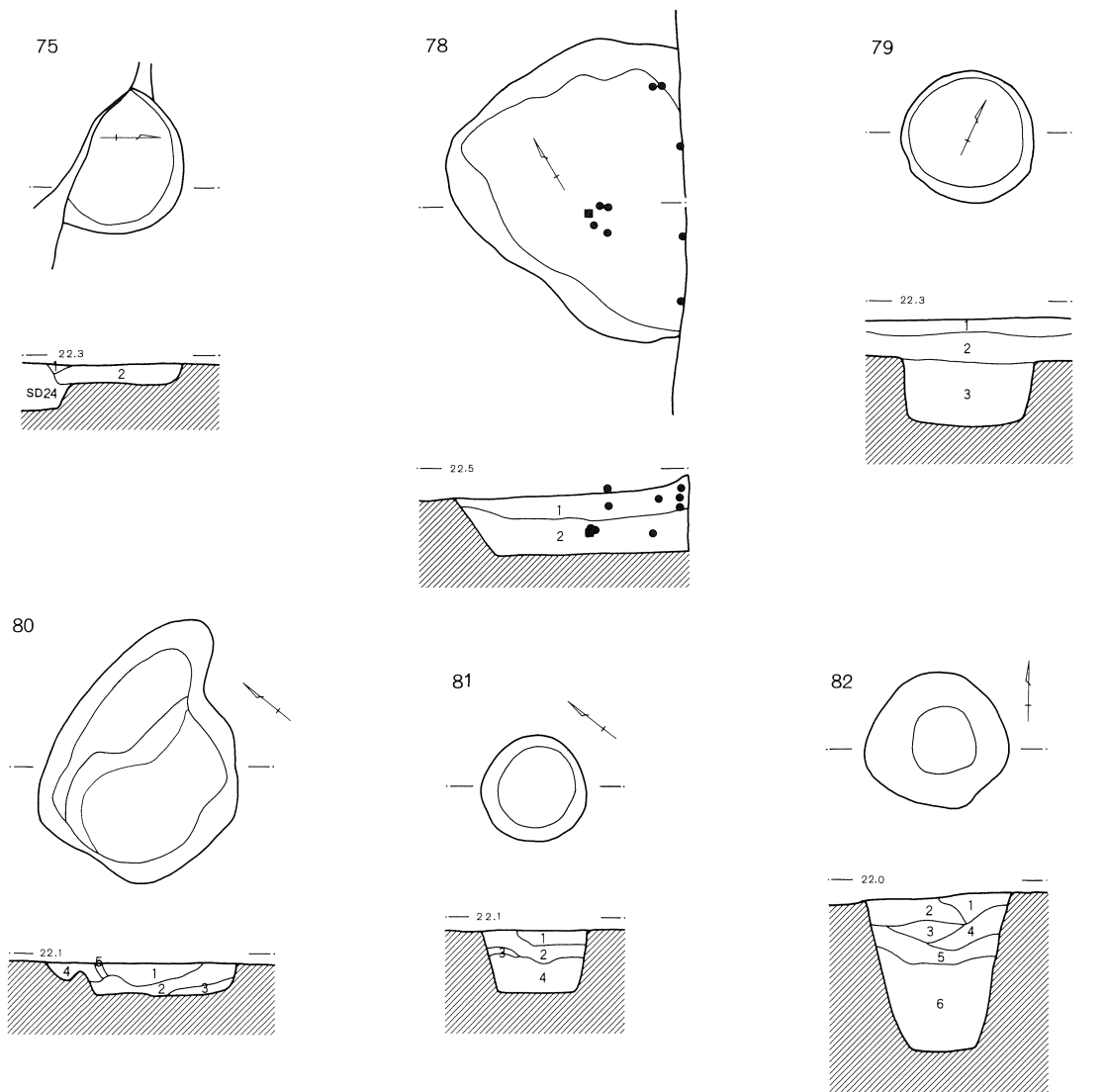
第81号土坑(第62図)

AP・AQ-29グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は直径0.84m、深さ48cmを測る。

第82号土坑(第62図)

AQ-29グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.16m、短径1.10m、深さ1.22mを測る。覆土中から中世の土器が出土した。

第62図 土坑(7)



SK 75

- 1 暗灰黄褐色土
- 2 黒褐色土 黄褐色土粒子多く、炭化物粒子若干含む
締まり強い

SK 78

- 1 黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土多く含む 締まり強い

SK 79

- 1 淡黒褐色土 白色粒子・炭化物粒子・橙色土粒子含む
極締まり強い
- 2 黒褐色土 炭化物粒子・黄褐色土粒子含む
極締まり強い
- 3 暗灰褐色土 黄褐色土若干含む

SK 80

- 1 黒色土
- 2 淡黒褐色土 褐色土若干含む
- 3 黒褐色土
- 4 黒褐色土 黄褐色土含む
- 5 暗灰褐色土

SK 81

- 1 淡黒褐色土 黄褐色土粒多く含む
- 2 黒褐色土
- 3 黄褐色土 黒褐色土含む
- 4 濃褐色土 黄褐色土多く含む

SK 82

- 1 淡茶褐色土 ローム粒子多く含む 締まりよい
- 2 茶褐色土 締まりよい
- 3 黒褐色土 ローム粒子僅か含む
- 4 淡茶褐色土 ローム粒子・黒褐色土多く含む
- 5 茶褐色土 黄褐色土を繻状に含む
- 6 黒褐色土

(4)井戸跡

第1号井戸跡(第63図)

AI-34グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.34m、短径1.14mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-79°-Wを指す。

出土遺物(第65図)

覆土中より寛永通寶が出土した。径2.54cm、厚さ0.12cmを計る。「寶」の字の足が「ス」寶である特徴より、明暦2年(1656)以前に鑄造された古寛永である。

第2号井戸跡(第63図)

AI-33グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.00m、短径0.89mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-31°-Wを指す。

覆土中より須恵器坏・甕の破片、土師器甕片、底部に糸切り痕の残るかわらけ片、土師質土器片、鉄滓などが出土した。

第3号井戸跡(第63図)

AH-31グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.34m、短径1.17mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-0°-Eを指す。

出土遺物(第64~66図)

近世の陶器・焙烙・石臼・砥石・石硯と奈良時代の平瓦が出土している。19が石臼、20~22が砥石、23が片岩系の石材の石硯である。

第4号井戸跡(第63図)

AK-32グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.30m、短径1.22mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-10°-Eを指す。

覆土中より須恵器坏、土師器片が出土した。

第5号井戸跡(第63図)

AL-31グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.10m、短径1.05mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-15°-Eを指す。

第6号井戸跡(第63図)

AK-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.40m、短径1.36mを測る。断面形はロート状を呈する。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第7号井戸跡(第63図)

AJ・AK-29グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.61m、短径1.58mを測る。断面形はロート状を呈する。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第8号井戸跡(第63図)

AK-28・29グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.26m、短軸0.98mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-39°-Eを指す。

第9号井戸跡(第63図)

AM-29グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.92m、短軸0.68mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-86°-Eを指す。

覆土中より須恵器坏片が出土した。

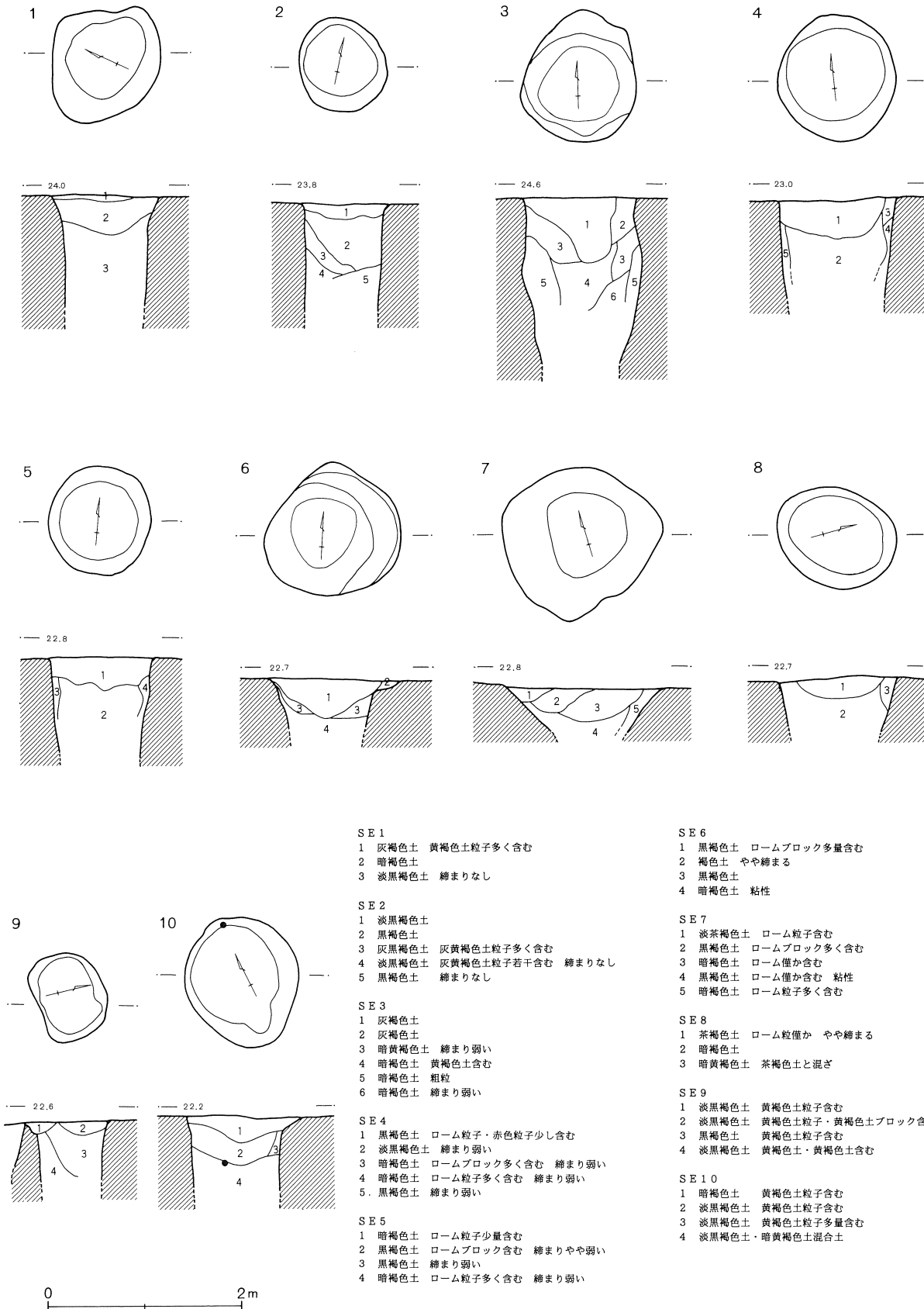
第10号井戸跡(第63図)

AM-28グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.16m、短径1.38mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-0°-Eを指す。

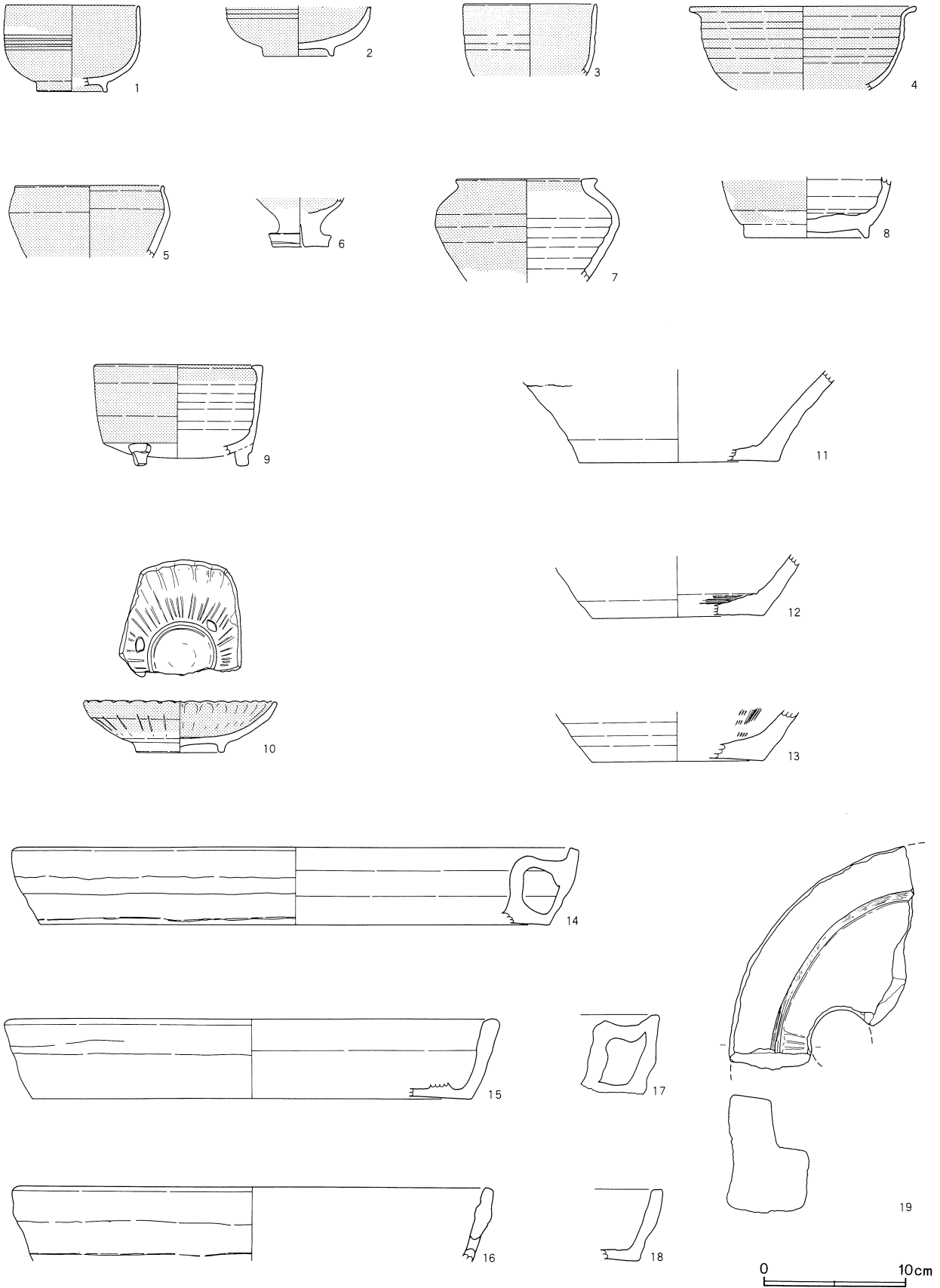
出土遺物(第65図)

覆土中より土錘と土師器甕破片が出土した。土錘は長さ7.1cm、最大径3.1cm、重量58.88gを計る。

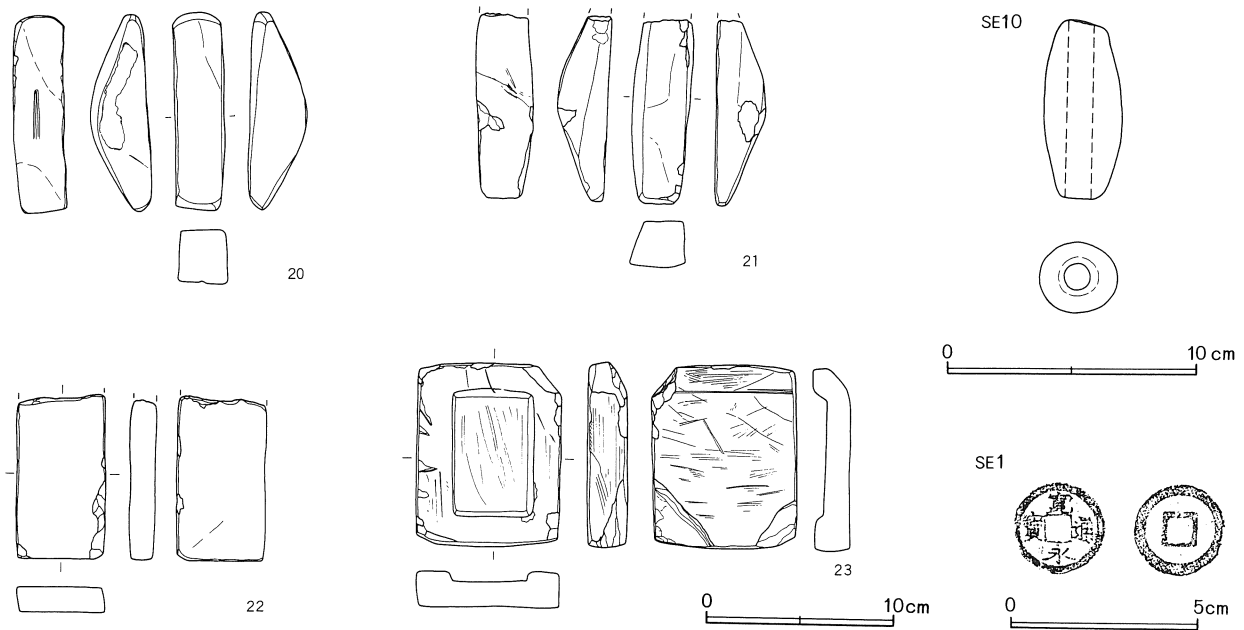
第63図 井戸跡



第64図 第3号井戸跡出土遺物



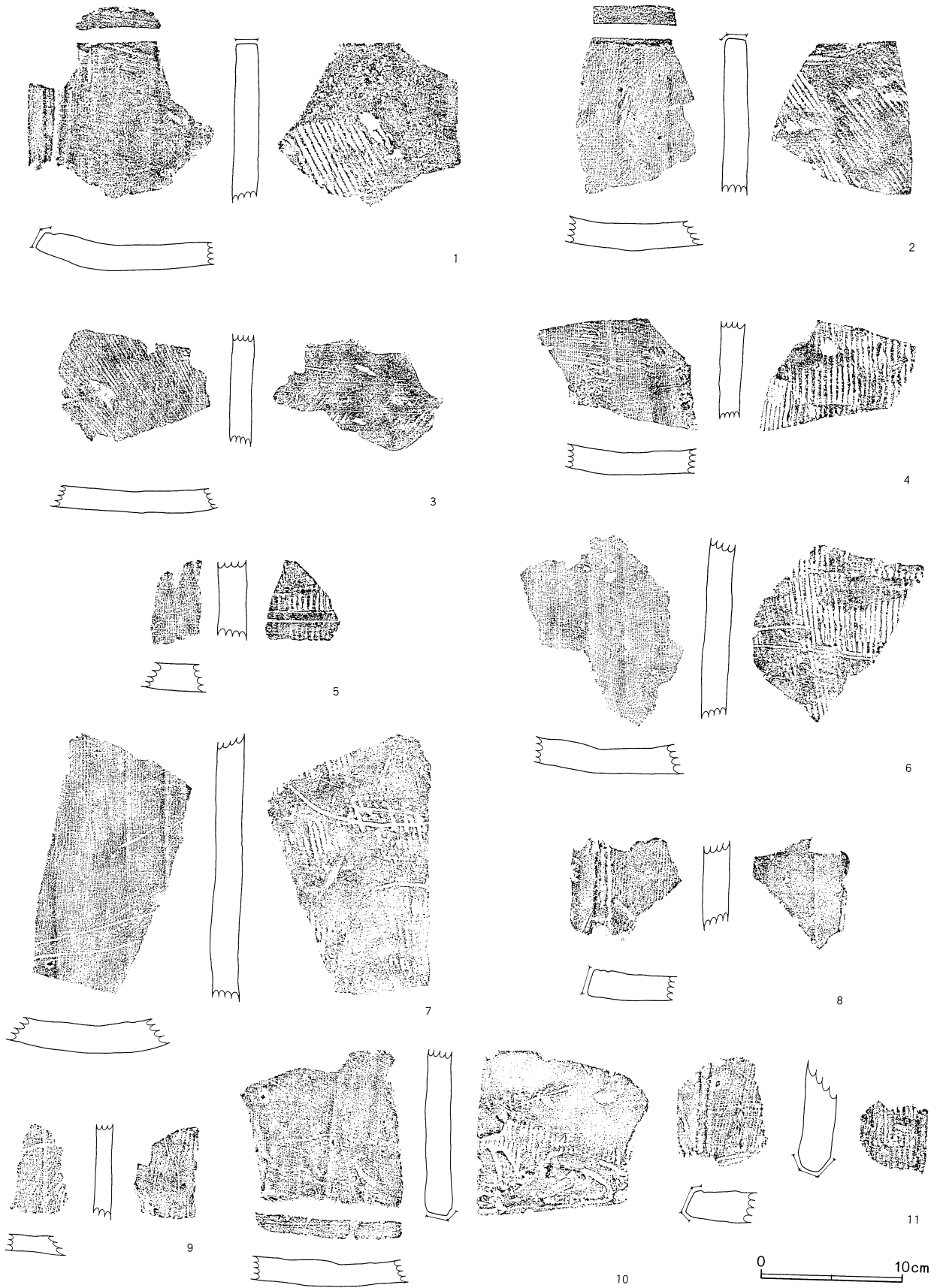
第65図 第1・3・10号井戸跡出土遺物



第3号井戸跡出土遺物観察表(第64図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	残存(%)	その他
1	灰鉄釉掛分碗	(9.4)	6.1	(5.0)		鈍い黄褐	35	灰釉と鉄釉を上下に掛け分け、胴部に3条の沈線
2	灰鉄釉掛分碗			(5.0)	S	暗灰黄	45	灰釉と鉄釉を上下に掛け分け、胴部に3条の沈線
3	灰鉄釉掛分碗	(9.4)				鈍い褐	25	灰釉と鉄釉を上下に掛け分け、胴部に2条の沈線
4	灰鉄釉掛分鉢	(16.0)				灰褐	20	口縁下より鉄釉
5	鉄釉鉢	(10.6)				黒褐	15	内外面黒褐色釉
6	鉄釉乗燭			4.0		黒褐	80	RC 底部中央に差込孔
7	鉄釉鉢	(10.0)				灰褐	35	外面上半・内面口縁部褐色釉
8	灰釉鉢			8.8	BS	明黄褐	50	外面一部・底部外面中央部に黄褐色釉
9	灰釉香炉	(12.0)	7.1	(10.4)	S	灰白	20	体部外面・口縁部内面に灰白色釉 底部右回転篋削り
10	灰釉菊皿	(13.6)	3.6	6.3		灰白	60	外面上半・内面施釉
11	無釉播鉢			(14.0)	BS	灰黄褐	15	外面下半右回転篋削り 上半ロクロナデ
12	鉄釉播鉢			(12.0)	H	鈍い赤褐	20	RC 体部外面工具によるロクロ横ナデ
13	鉄釉播鉢			(12.0)	HS	灰赤	10	RC 体部外面工具によるロクロ横ナデ
14	焙烙	(40.0)	5.4	(36.0)	S	黒褐	75	体部ロクロナデ 内耳指ナデ
15	焙烙	(35.0)	5.6	(31.0)	S	黒褐	25	内耳欠損
16	焙烙	(34.0)			S	黒褐	15	体部焼成後穿孔あり 体部下端篋削り
17	焙烙				S	灰褐	破片	体部ロクロナデ 内耳指ナデ 底部剝離
18	焙烙		5.0		S	黒褐	破片	体部外面煤多量付着

第66图 第3号井戸跡出土瓦



第3号井戸跡出土瓦観察表(第66図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
1	30×不明	2.4	布目痕	平行叩き 2.0cm/5本	叩き後斜方向ナデ	ヘラ整形	1.7	ABS	III	黄灰
2	21×24	3.5	布目痕 一部糸切り痕	平行叩き 1.7cm/5本	叩き後横方向ナデ消し	ヘラ整形 凹両側面取り	1.8	ABS	I	黄灰
3	19×29	2.5	布目痕・糸切り痕	平行叩き 1.5cm/5本	叩き後横方向ナデ消し		1.6	ABS	I	灰黄
4	20×26	2.5	布目痕・糸切り痕	平行叩き 1.8cm/5本	叩き後横方向ナデ消し		1.6	ABS	I	灰白
5	21×24		布目痕	平行叩き 1.8cm/5本	叩き後横方向ナデ消し		1.9	BS	II	鈍い橙
6	24×27	2.1	布目痕	平行叩き 2.0cm/5本	叩き後横方向ナデ消し		1.8	ABS	II	赤褐
7	20×23	2.5	布目痕	平行叩き 1.8cm/5本	叩き後ナデ消し		2.0	ABS	II	明黄褐
8	20×不明		布目痕		横方向ナデ	ヘラ整形	1.8	ABS	II	浅黄
9	20×不明		布目痕	平行叩き 1.8cm/5本	叩き後横方向ナデ消し		1.2	ABS	II	灰白
10	20×23	2.5	布目痕	平行叩き 1.5cm/5本	叩き後横方向ナデ消し	ヘラ整形 凸面側面取り	1.9	ABS	II	鈍い橙
11	24×21	2.3	布目痕	平行叩き	叩き後横方向ナデ消し	ヘラ整形 両面取り	2.2	BS	II	鈍い黄橙

(5)溝

第1号溝(第67図)

AE-32~36グリッドに位置する。溝東端及び西端は調査区域外に延びている。また溝中央付近で第2号溝と直交している。確認できた長さは約40m、幅約1.2~2.5m、深さ約50~76cmを測る。断面形は葉研もしくは箱葉研である。

出土遺物(第68・69図)

奈良時代の平瓦の他、須恵器杯・蓋・甕片、土師器片、砥石が出土した。

第2号溝(第67図)

AE・AF・AG・AH-34グリッドに位置する。長さは約27m、幅約0.4~1.0m、深さ約20~30cmを測る。断面形は逆台形である。

溝北端が第1号溝と重複している。また、第10号・第14号土坑を切っている。

覆土中より須恵器杯・甕片、土師器片が出土した。

第3号溝(第70図)

AH-34・35グリッドに位置する。斜面に位置し等高線に並行して延びているため南壁は明確ではない。溝東端は調査区域外に延びている。確認できた長さは

約13.5m、幅約1.4~2.0mを、斜面上側で深さ40cmを測る。溝はN-90°-Eの方向に延びる。

覆土中より遺物は中世の土器が出土した。

第4号溝(第70図)

AH-35グリッドに位置する。確認できた長さは約8m、幅約1.2m、深さ約20cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-90°-Eの方向へ延びる。

須恵器杯底部片が出土した。

第5号溝(第70図)

AI-35グリッドに位置する。確認できた長さは約5m、幅約0.6~0.8m、深さ約20cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-88°-Eの方向へ延びる。

覆土中より須恵器杯底部片が出土した。

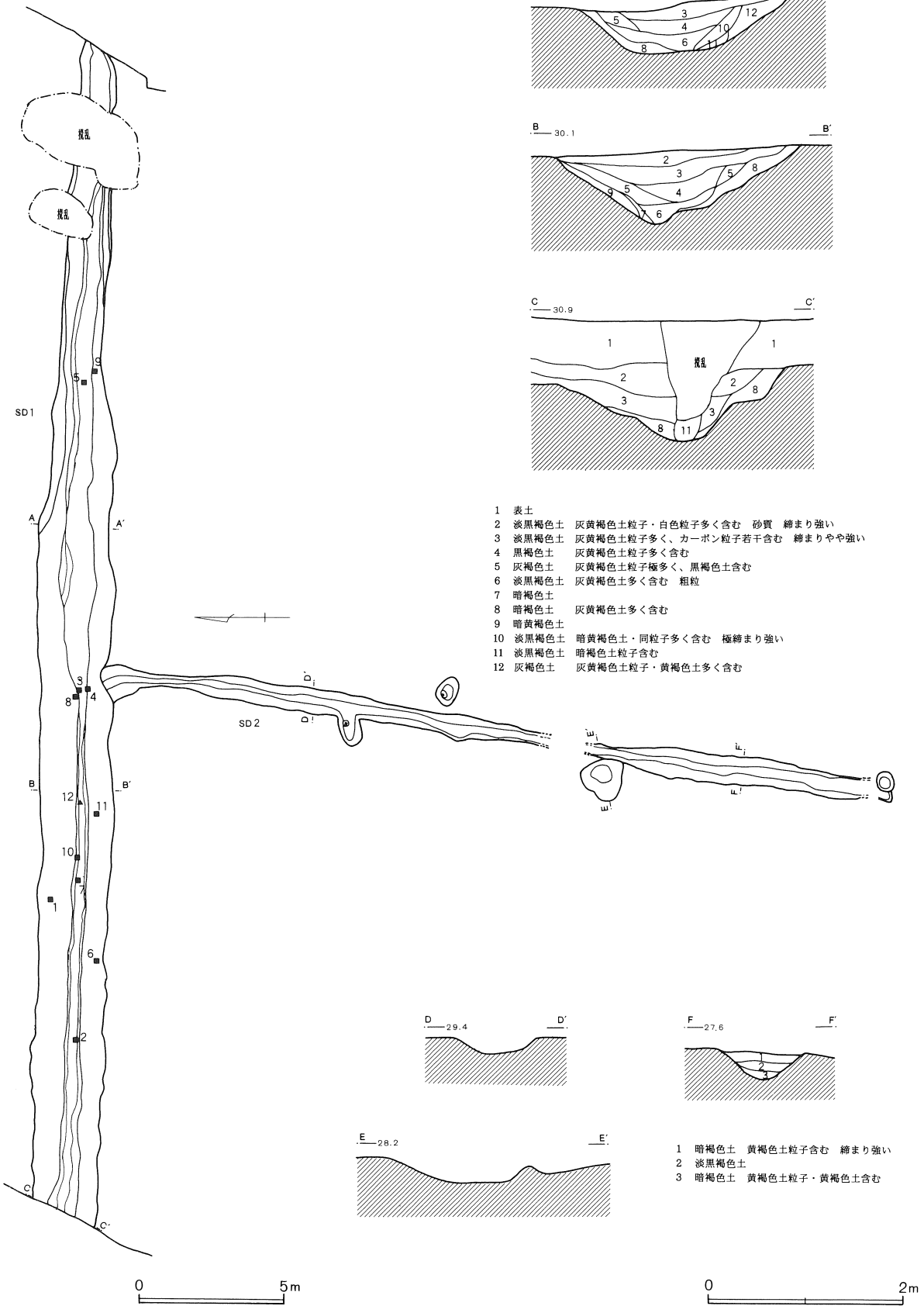
第6号溝(第71図)

AH-33・34グリッドに位置する。確認できた長さは約9m、幅約1.0~1.4m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-85°-Wの方向へ延びる。溝西端で第7号溝と重複している。

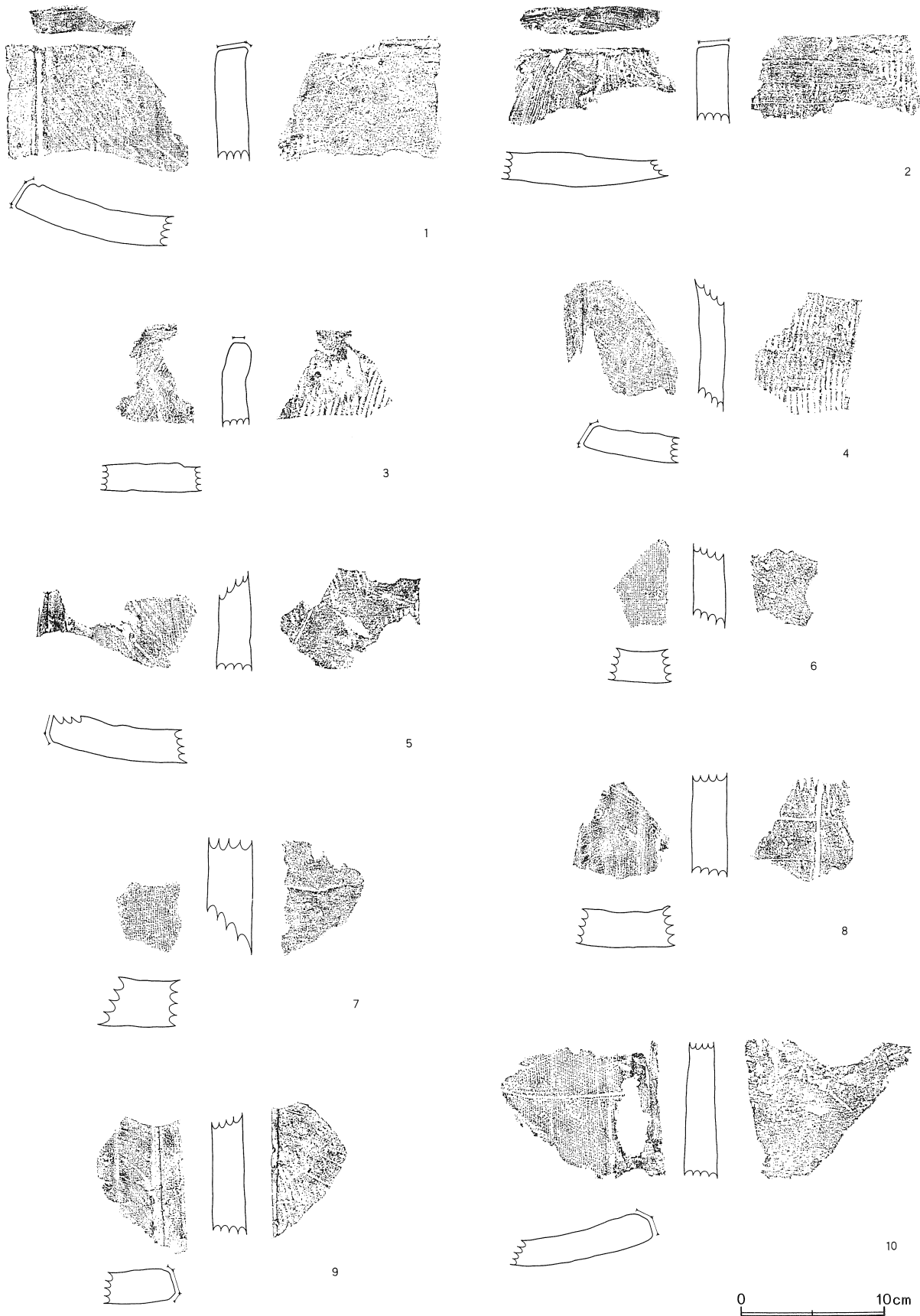
第7号溝(第71図)

AH-32・33グリッドに位置する。規模は長さ約10

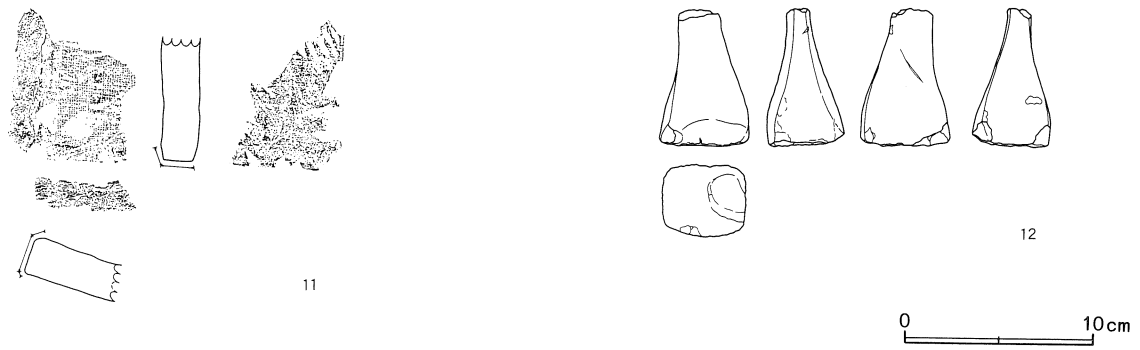
第67図 第1・2号溝



第68図 第1号溝出土遺物(1)



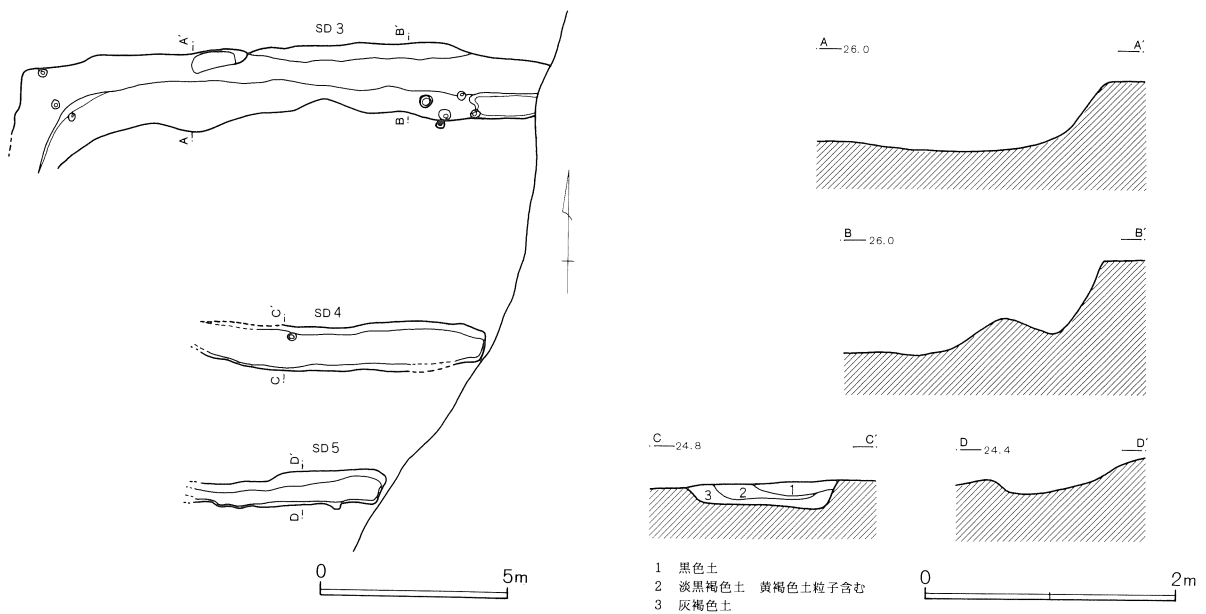
第69図 第1号溝出土遺物(2)



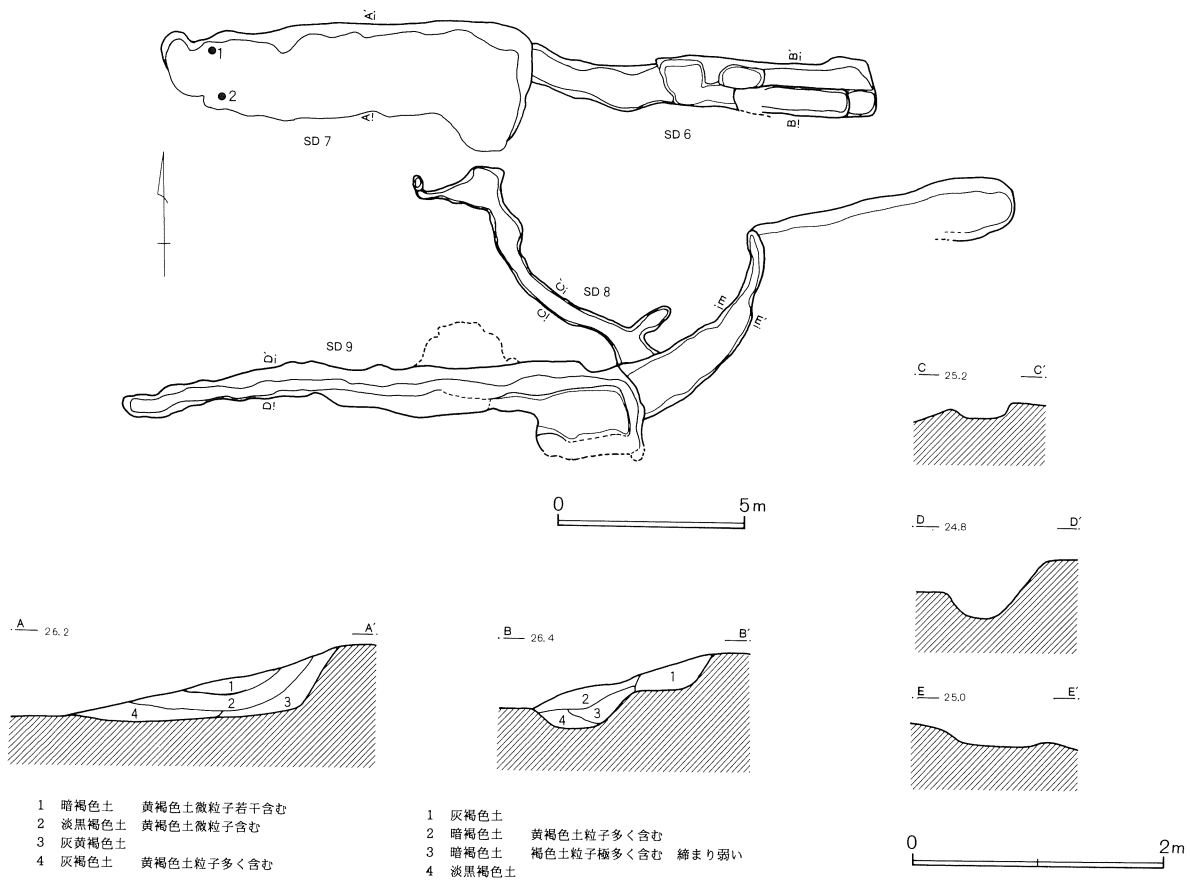
第1号溝出土瓦観察表(第68・69図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
1	27×26	2.0	布目痕・糸切り痕		横方向工具ナデ	へら整形 面取り	2.2	AS	I	鈍い黄橙
2			布目痕・糸切り痕	平行叩き	叩き後横方向ナデ	へら整形	2.2	BS	I	鈍い橙
3			布目痕・糸切り痕	平行叩き 2.3cm/6本	叩き後横方向工具 ナデ・篋ナデ	へら整形	1.9	ABS	I	黄灰
4	26×25	1.8	布目痕	平行叩き 2.3cm/6本	平行叩き後横方向工具 ナデ	へら整形 面取り	1.8	ABS	I	鈍い橙
5	27×22	2.2	布目痕 工具ナデ	平行叩き	叩き後横方向ナデ消し	へら整形	2.4	ACDS	I	鈍い橙
6	22×22		布目痕		横方向ナデ		2.3	S	I	鈍い橙
7	21×17		布目痕		横方向ナデ		3.2	S	I	浅黄橙
8	22×21	2.2	布目痕	平行叩き	叩き後横方向ナデ 横ナデ後縦位の沈線		2.5	AS	I	灰白
9	26×25	2.1	布目痕	平行叩き	叩き後横・斜方向ナデ	へら整形 面取り	2.3	AS	I	灰黄褐
10	21×19	3.5	布目痕	平行叩き	叩き後横方向ナデ		2.3	AS	I	鈍い黄橙
11	22×20	2.2	布目痕 篋ナデ痕あり	平行叩き	叩き後横方向ナデ	へら整形 両面面取り	2.0	S	I	灰白

第70図 第3号～第5号溝



第71図 第6号～第9号溝



m、幅約2.5m、深さ約50cmを測る。断面形は逆台形になるものと思われる。溝はN-90°-Eの方向へ延びる。溝東端で第6号溝と重複している。

出土遺物(第79図1・2)

覆土上層より灰釉陶器高台付皿が2点出土した。

第8号溝(第71図)

AH-33グリッドに位置する。溝南端を第9号溝に切られている。確認できた長さは約7m、幅約0.4m、深さ約15cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-50°-Wの方向に延びる。

第9号溝(第71図)

AH・AI-32・33、AH-34グリッドに位置する。クランク状に延び約23m、幅約0.5~1.4m、深さ約10~40cmを測る。

覆土より中近世の土器が出土した。

第10号溝(第72図)

AH・AI・AJ-32グリッドに位置する。溝北端は確認できなかった。確認できた長さは約19m、幅約0.4~0.9m、深さ約20~40cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-6°-Wの方向へ延びる。

第11号溝が合流し、南端寄り第13号溝と交差し、第15号溝と合流している。

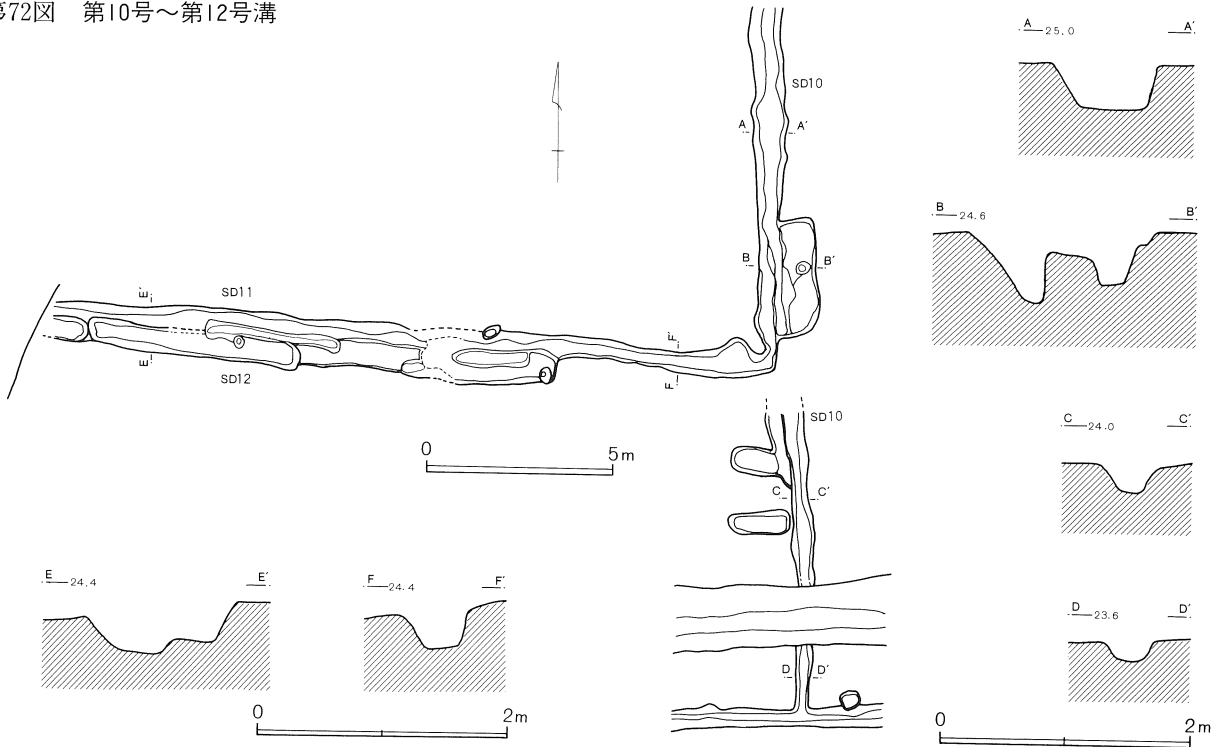
覆土より中世の土器が出土した。

第11号溝(第72図)

AI-30~32グリッドに位置する。溝西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約19.5m、幅約0.5m、深さ約30cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-86°-Wの方向へ延びる。

東端は第10号溝と合流し、第12号溝と並行して延びており、一部重複している。

第72図 第10号～第12号溝



第12号溝(第72図)

AI-30・31グリッドに位置する。溝西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約14m、幅約0.5m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-86°-Wの方向へ延びる。

第11号溝と並行しており、一部重複している。

覆土より瓦、須恵器蓋片、中世の土器が出土した。

第13号溝(第73図)

AI-29~35グリッドに位置する。溝東端・西端とも調査区域外に延びている。確認できた長さは約55m、幅約1.5~2.5m、深さ約60~90cmを測る。断面形は薬研及び箱薬研である。溝東半でN-85°-E、西半でN-88°-Wの方向へ延びる。

第10・14号溝と交差し、第16号溝が合流している。西端は第7号住居跡と重複している。

出土遺物(第74・75図)

覆土上位より奈良時代の瓦、須恵器坏、土師器甕、中世土器の他、石器、羽口が出土した。

第14号溝(第73図)

AI・AJ-32・33グリッドに位置する。第13・15号

溝に切られている。確認できた長さは約4.5m、幅約0.5m、深さ約10cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-10°-Eの方向へ延びる。

第15号溝(第73図)

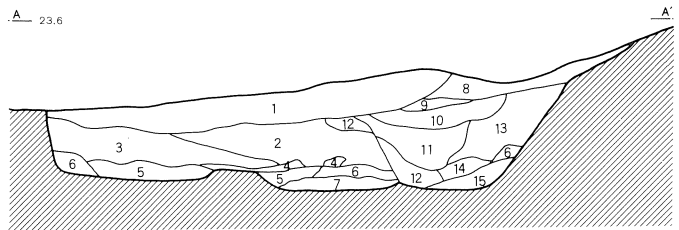
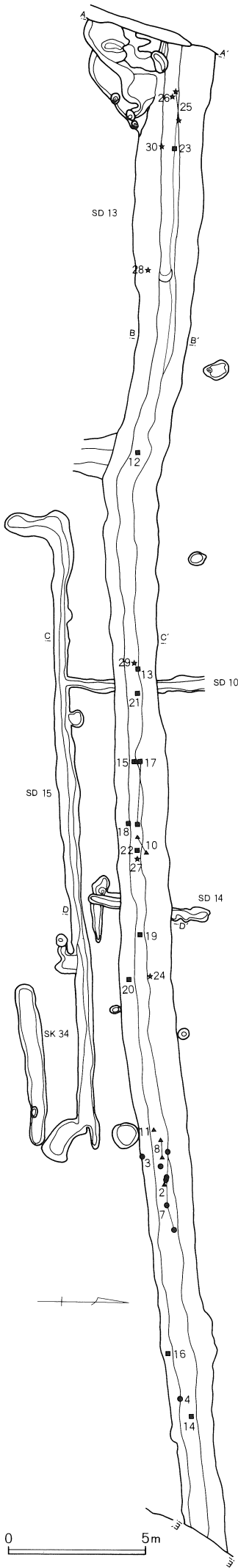
AI-33、AJ-31~33グリッドに位置する。第13号溝の南側に平行して延びており、西端はほぼ直角に南へ屈曲している。規模は長さ約24m、幅約0.5~0.8m、深さ約20cmを測る。溝はN-85°-Eの方向へ延びる。

覆土中より須恵器片、近世陶器が出土した。

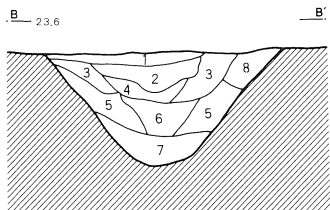
第16号溝(第76図)

AI・AJ・AK-31、AL・AM-31・32グリッドに位置する。北端で第13号溝と合流しており、南へ約31m延び、屈曲して東方へ約15m延びている。幅約0.8m、深さ約10~30cmを測る。断面形は逆台形である。溝は南北方向ではN-3°-W、東西方向ではN-88°-Eの方向へ延びる。南西端付近では第22号溝、東端で第17号溝と重複している。

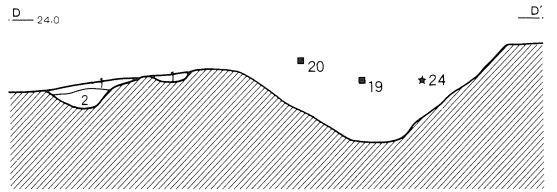
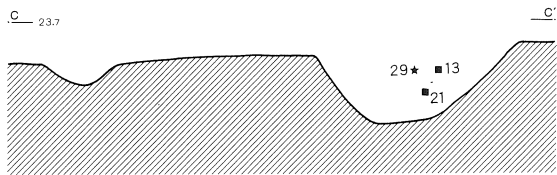
覆土中より、須恵器坏、高台付坏、土師質土器、若干の中世の土器が出土した。



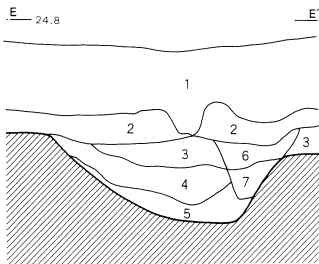
- 1 黒色土 黄褐色土粒子・黒色土粒子若干含む 締まり強い
- 2 黒褐色土 ローム小ブロック・黄褐色土粒子多く含む
- 3 黒色土 黄褐色土粒子含む 締まり強い
- 4 灰黄褐色土 焼土粒子・ローム粒子含む 極締まり強い
- 5 黒褐色土 黄褐色土含む
- 6 黄褐色土
- 7 暗灰黄褐色土
- 8 黒褐色土 黄褐色土含む
- 9 黒色土 黄褐色土多量含む
- 10 暗褐色土 黄褐色土粒子・カーボン粒子含む 締まり強い
- 11 黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり弱い
- 12 黒褐色土 黄褐色土粒子微量含む 締まり弱い
- 13 淡褐色土 黄褐色土多く含む 締まり弱い
- 14 淡褐色土 黄褐色土粒子含む やや粘質
- 15 淡褐色土 砂質



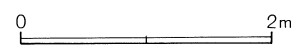
- 1 淡黒褐色土 黄褐色土粒子微量含む やや締まりあり
- 2 淡黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり極強い
- 3 黒褐色土 灰黄褐色土粒子若干含む 締まり弱い 粗粒
- 4 暗褐色土 黄褐色土若干含む
- 5 暗灰黄褐色土 ローム粒子極多く含む 粗粒
- 6 暗褐色土 ローム粒子多く含む やや粗粒
- 7 暗黄褐色土
- 8 暗褐色土 褐色土粒子極多く含む



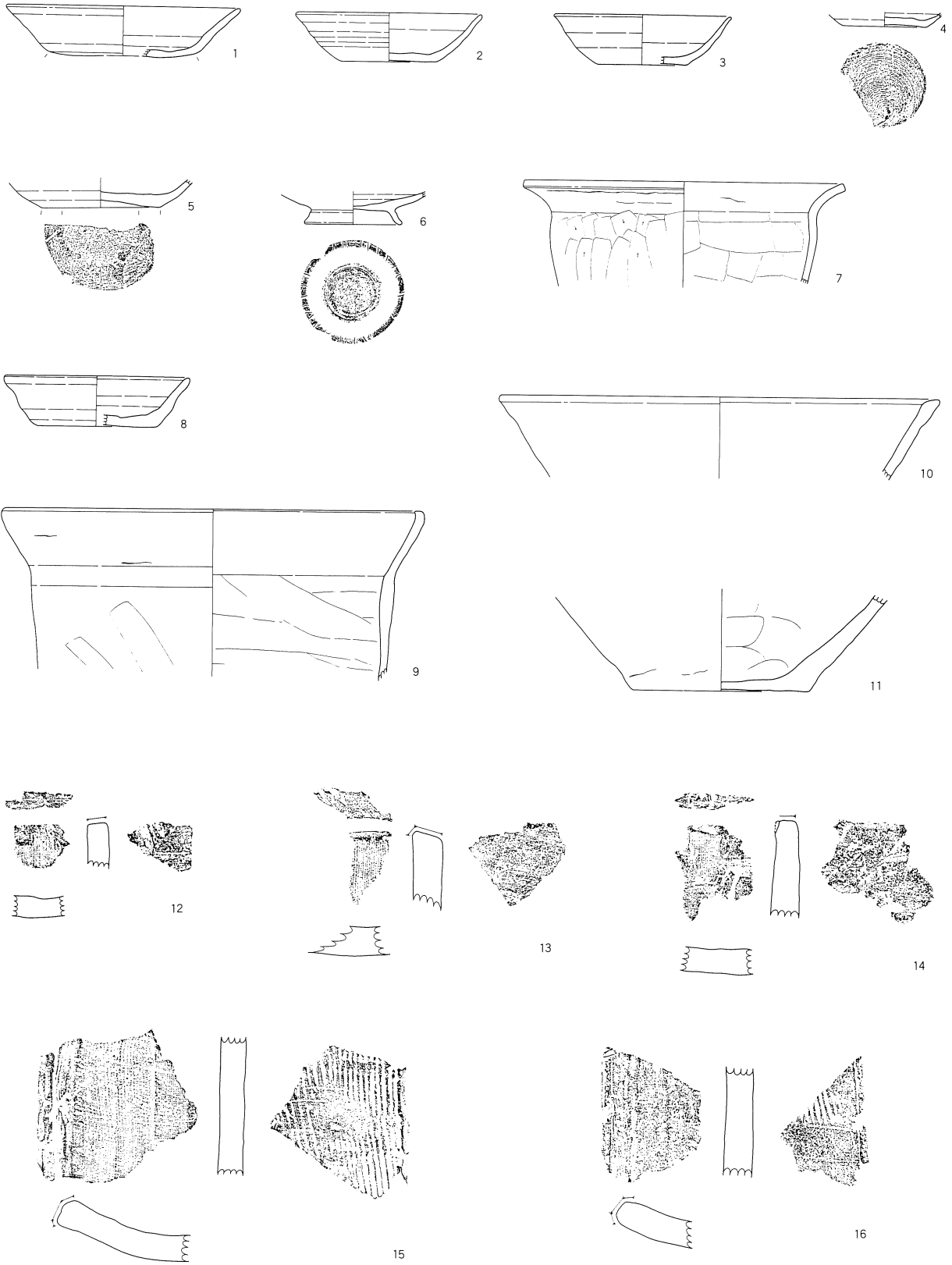
- 1 淡黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む



- 1 暗褐色土
- 2 淡黒褐色土 締まり弱い
- 3 淡黒褐色土 黄褐色土粒子微量含む 締まり強い
- 4 黒色土
- 5 黒色土 黄褐色土粒子多く含む
- 6 暗褐色土
- 7 黒色土



第74图 第13号沟出土遺物(1)



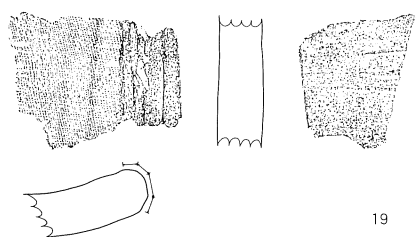
0 10cm

第75図 第13号溝出土遺物(2)

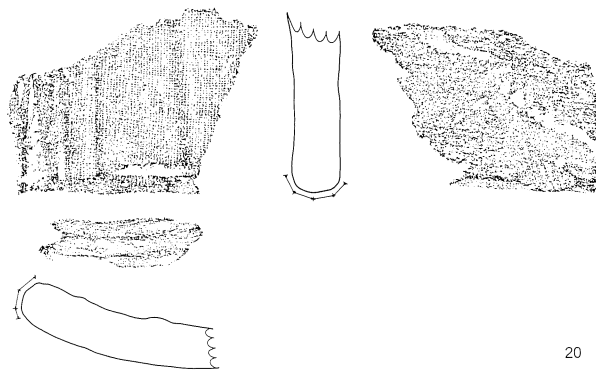


17

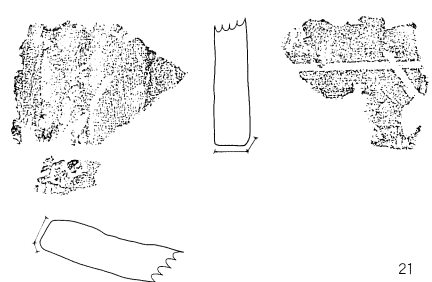
18



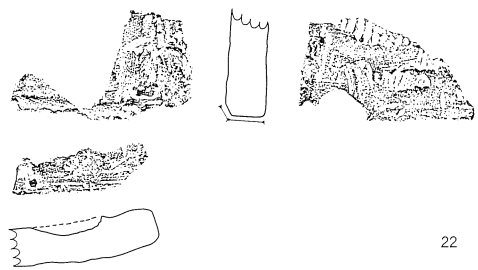
19



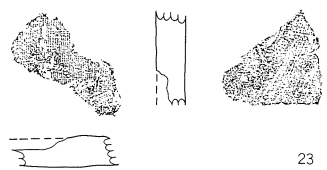
20



21



22



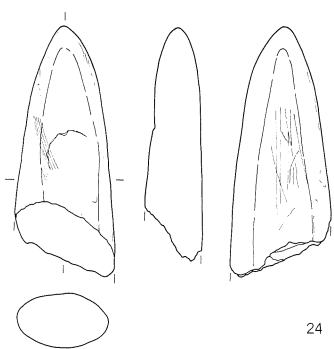
23



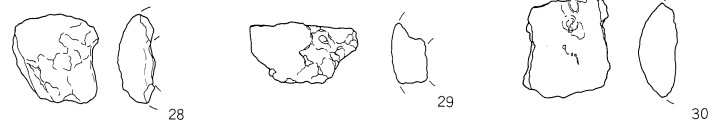
25

26

27



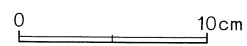
24



28

29

30



第13号溝出土遺物観察表(第74図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	坏	(16.0)	3.4	(10.0)	ABCS	I	灰白	15	RA 体部は大きく開く
2	坏	(12.8)	3.3	(6.5)	AB	II	浅黄橙	40	RC 口唇内面一部に油煙付着
3	坏	(12.2)	3.4	(6.1)	ABS	I	灰白	15	RC
4	坏			5.5	AB	I	灰	70	RC
5	椀			(8.0)	AB	I	オリーブ灰	45	RBb
6	高台付皿			6.5	ABS	I	灰	70	底部外面鏡整形
7	土師器甕	(21.8)			BJ	I	鈍い橙	10	頸部外面下方方向へ鏡削り後上方へへら削り
8	かわらけ	(12.6)	3.4	(8.0)	A	III	橙	20	RC
9	甕	(28.2)			BJ	II	黒褐	20	黒色土器 外面鏡削り後丁寧な横方向ナデ
10	鉢	(30.0)			BS	III	橙	10	土師質土器 器面調整不明瞭
11	鉢			(12.0)	S	II	鈍い黄橙	10	土師質土器 内面ナデ 外面剝離顕著 底部外面不定方向鏡削り

第13号溝出土瓦観察表(第74・75図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
12	24×26	1.8	布目痕		横方向ナデ	へら整形	1.6	S	I	鈍い橙
13	20×22		布目痕		横方向ナデ	へら整形	2.0	S	I	鈍い黄橙
14	20×20	2.1	布目痕		横方向ナデ	へら整形	2.0	S	I	灰白
15	22×24	2.4	布目痕	平行叩き 2.0cm/5本	平行叩き後横方向ナデ	へら整形 両面面取り	1.8	AS	I	鈍い黄橙
16		2.3	布目痕	平行叩き 1.8cm/5本	平行叩き後横方向ナデ	へら整形 両面面取り	2.9	S	I	浅黄橙
17	21×25	2.7	布目痕	格子叩き	叩き後横方向ナデ		2.1	S	I	黄灰
18	20×21	3.0	布目痕		横方向ナデ・へら痕		2.4	S	I	灰
19	21×24	1.6	布目痕		横方向ナデ	へら整形 両面面取り 凹面側二段	2.4	S	I	暗灰黄
20	21×22	4.4	布目痕		横方向ナデ	へら整形 両面面取り	2.6	S	I	鈍い橙
21		3.2	布目痕		横方向ナデ	へら整形	2.0	S	I	灰白
22			布目痕	平行叩き 2.1cm/5本	平行叩き後横方向ナデ 一部縦方向ナデ	雑なへらナデ 凹面面取り	2.1	BS	I	黄灰
23	27×30		布目痕		叩きナデ消し		1.7	BS	I	鈍い橙

第17号溝(第76図)

AK-33、AL-32・33、AM・AN-32グリッドに位置する。規模は長さ約33m、幅約0.4~0.8m、深さ約20~50cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-12°-Eの方向へ延びる。第16号溝、第53・54号土坑と重複している。

覆土より、須恵器坏、蓋、高台付坏片、土師器甕片が出土した。

第18号溝(第76図)

AK・AL-33グリッドに位置する。確認できた長さは約10m、幅約0.4~0.8m、深さ約30cmを測る。断面は逆台形である。溝はN-12°-Eの方向へ延びる。北端は第58号土坑と重複している。

覆土中より土師器片、中世土器片が出土した。

第19号溝(第76図)

AL-33グリッドに位置する。東端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約3m、幅約1m、深さ約30cmを測る。溝はN-80°-Eの方向へ延びる。南壁側は第60号土坑と重複している。

覆土中より須恵器坏片が出土した。

第20号溝(第77図)

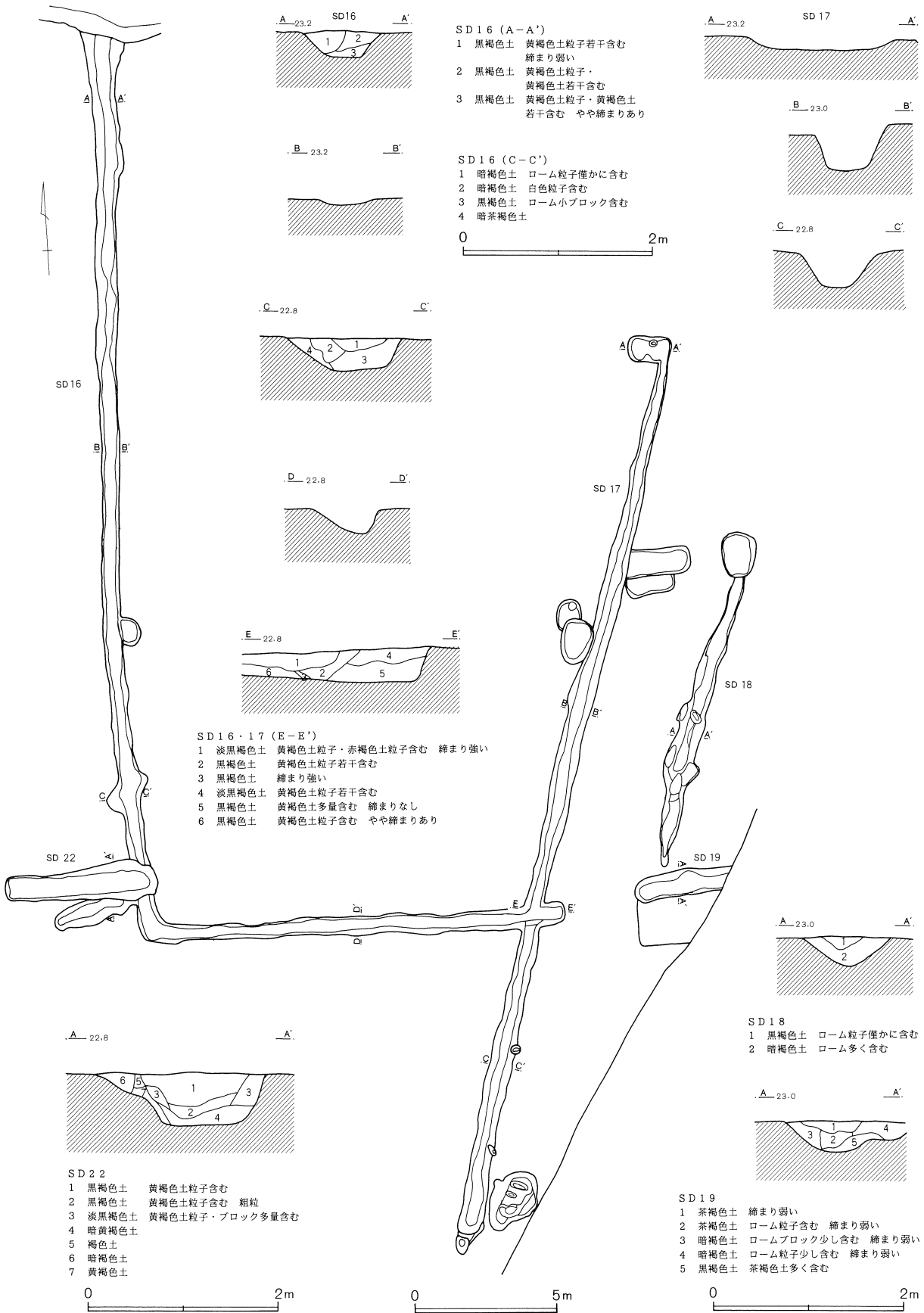
AL-28~30グリッドに位置する。第5号住居跡を切っている。溝西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約22m、幅約0.7~2.2m、深さ約20~60cmを測る。溝はN-83°-Eの方向へ延びる。

覆土中より中近世の土器を出土した。

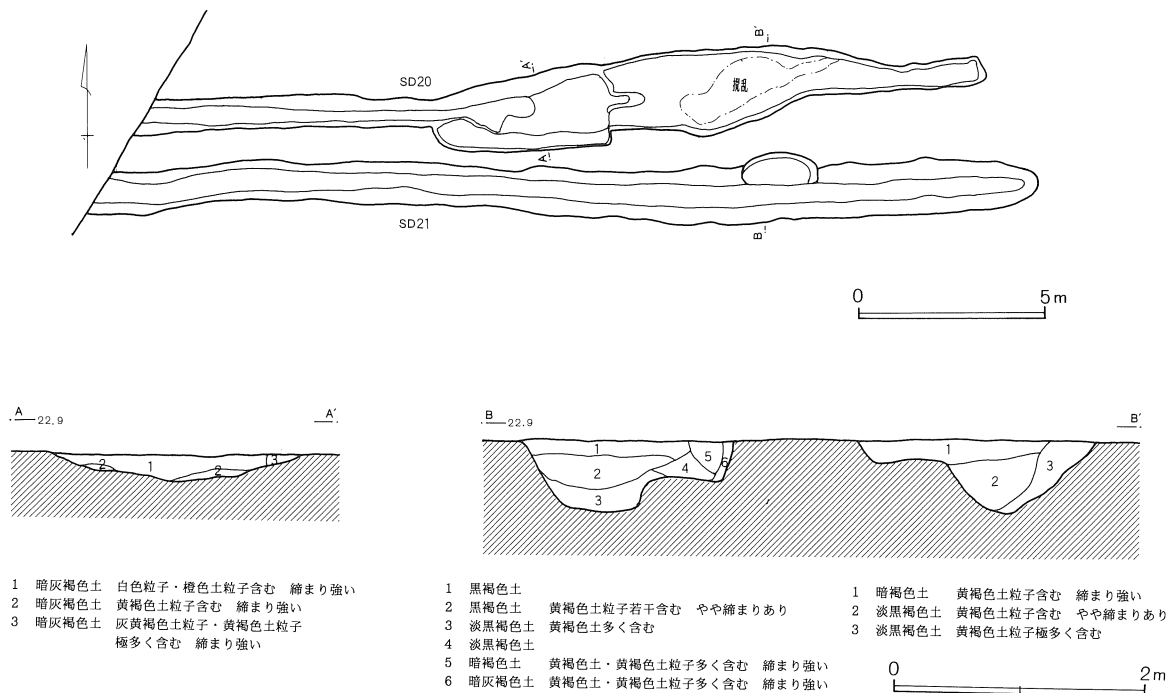
第21号溝(第77図)

AL-28~30グリッドに位置する。第20号溝の南側に並行しており、溝西端は調査区域外に延びている。

第76図 第16号～第19号・第22号溝



第77図 第20号・第21号溝



cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-90°-Eの方向へ延びる。

覆土より、須恵器環、甕破片、土師器甕破片の他、中世の土器も若干出土した。

第22号溝(第76図)

AL-31グリッドに位置する。溝東端は第16号溝と重複している。確認できた長さは約4.5m、幅約0.9~1.2m、深さ約60cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-85°-Eの方向へ延びる。

第23号溝(第78図)

AN・AO-29、AP-29・30グリッドに位置する。確認できた長さは約26m、幅約0.5m、深さ約30cmを測る。溝はN-5°-Wの方向へ延びる。第24号溝と交差し、第25・27・28号溝と合流している。

覆土より中世の土器が出土した。

第24号溝(第78図)

AN-28・29、AO-28~30、AP-30・31グリッドに位置する。溝北端及び南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約41.5m、幅約0.7~1.6m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-

50°-Wの方向へ延びる。第74・75号土坑と重複し、第75号土坑に切られている。第23・24号溝と交差し、第25・28号溝と合流している。

覆土より須恵器環・甕片が出土した。

第25号溝(第78図)

AP-30・31グリッドに位置する。確認できた長さは約14.5m、幅約0.6~1.1m、深さ約30cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-72°-Eの方向へ延びる。第78・79号土坑と重複し、第79号溝を切っている。第23・24・26号溝と合流している。

覆土より須恵器甕の破片が出土した。

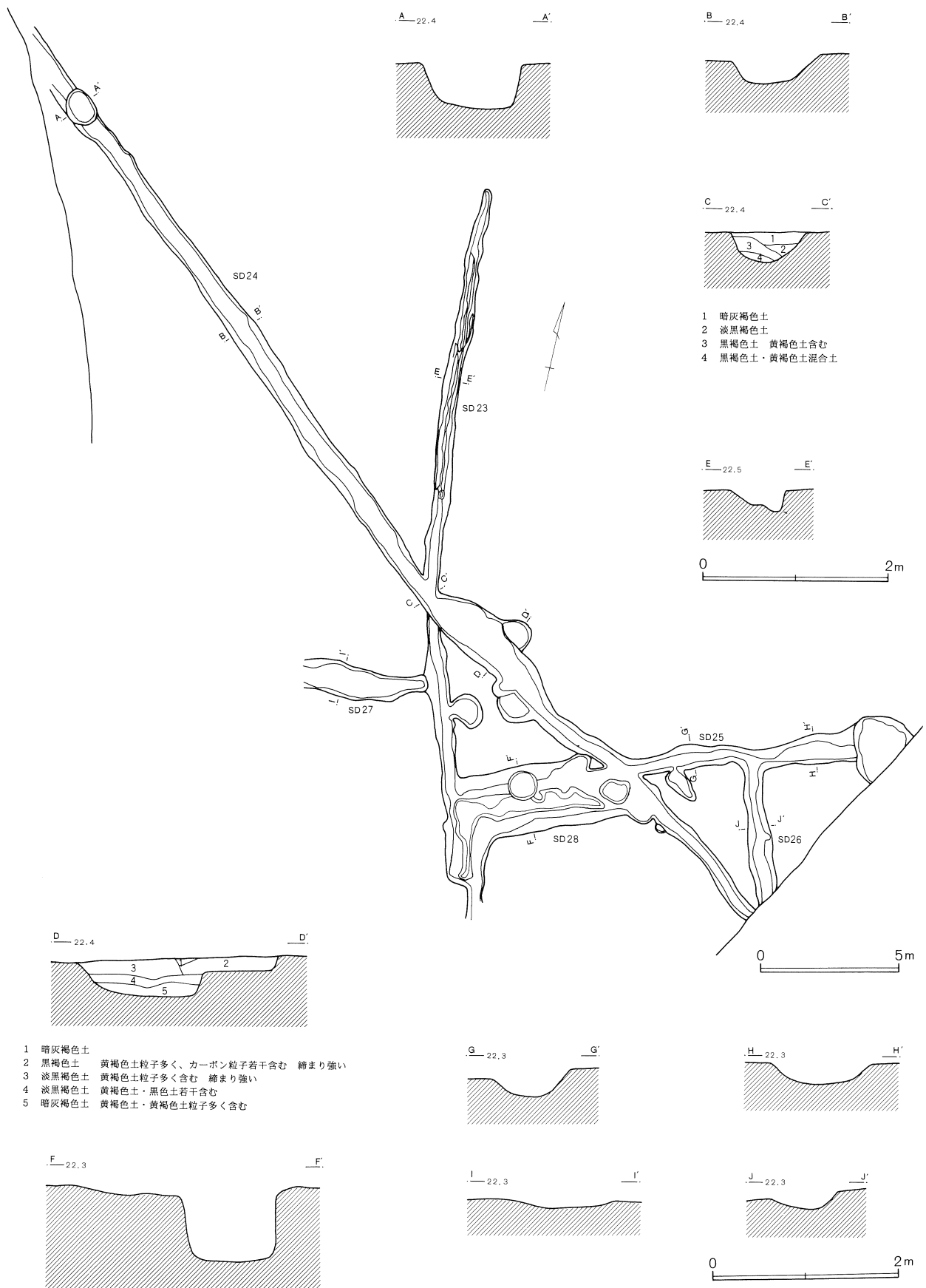
第26号溝(第78図)

AP-31グリッドに位置する。南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約5m、幅約0.6m、深さ約20cmを測る。溝はN-20°-Wの方向へ延びる。溝北端は第25号溝に合流している。

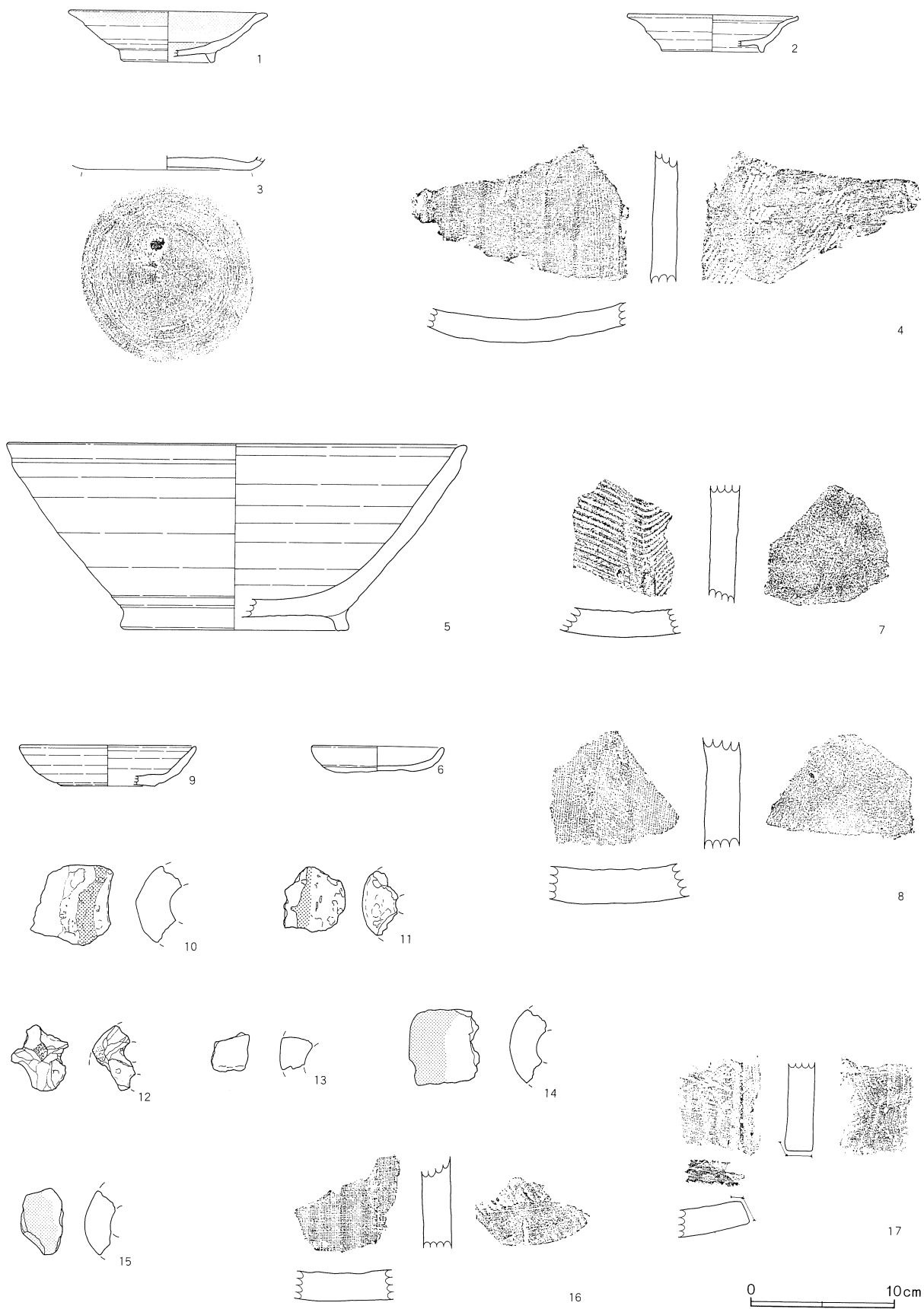
第27号溝(第78図)

AP-29グリッドに位置する。西端は確認できなかった。確認できた長さは約4.5m、幅約0.6~1.3m、深さ約40cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-88°

第78図 第23号～第28号溝



第79図 溝出土遺物



溝出土遺物観察表(第79図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土遺構・その他	
1	灰釉陶器 高台付皿	(14.0)	3.5	(6.6)	S	I	灰白	40	SD 7	覆土上層 底部右回転篋ナデ 体部外面 右回転ヘラナデ 口縁部内外面緑色釉
2	灰釉陶器 高台付皿	(12.0)	2.5	(3.6)		I	淡黄	20	SD 7	覆土上層 底部糸切り痕 口縁部内外面黄橙色釉
3	須恵器碗			11.8	BS	I	灰白	95	SD16	LA
5	鉢	(32.2)	12.9	(16.0)	BH	I	灰	20	SD17	体部下端回転篋削り 高台貼付
6	かわらけ	9.2	1.9		J	II	橙	75	SD17	底部指ナデ 水挽き痕顯著
9	須恵器坏	(12.4)	2.8	(6.6)	S	II	灰黄	15	SD19	RC

溝出土瓦観察表(第79図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
4	21×19	2.2	布目痕	平行叩き 2.1cm/5本	平行叩き 後ナデ消し		1.6	ABS	I	鈍い橙
7			糸切り痕		ナデ		2.0	S	I	灰
8	21×24	2.3	布目痕		横方向ナデ	ヘラ整形 凹面側面取り	2.4	S	I	鈍い橙
16	22×24	1.7	布目痕 一部縦位ナデ	平行叩き	平行叩き 後横方向ナデ		2.2	S	I	鈍い黄橙
17	24×26	1.6	布目痕	平行叩き	平行叩き 後横方向ナデ		1.9	S	I	鈍い黄橙

4(SD16) 7・8(SD17) 16・17(SD22)

—Eの方向へ延びる。東端は第23号溝に合流している。

第28号溝(第78図)

AP-30グリッドに位置する。確認できた長さは約7m、幅約1.1~1.7m、深さ約10cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-75°-Eの方向へ延びる。東端は第24号溝と、西端は第23号溝と合流している。

第29号溝

AM-31・32、AN-31グリッドに位置する。規模は長さ約9.5m、幅約0.6~1.2m、深さ約10cmを測る。主軸方位はN-15°-Eを指す。

V 西浦遺跡の調査

1 遺跡の概要

西浦遺跡は、東松山台地南縁の台地が一段低くなった都幾川の沖積地に面する低台地上に位置する。

北に隣接する上川入遺跡とは、台地上から雨水が流れる流路があり、地形的にもやや低くなるこの流路によって分けられている。南端は新江川に沿った県道大里・久保田・下青鳥線によって南限とされている。また、市指定史跡である野本氏館跡と接し、野本氏館跡を北側と西側から抱え込むような範囲となっている。野本氏館跡の東に隣接して県指定史跡である前方後円墳の野本將軍塚古墳があり、3遺跡とも同じように都幾川の沖積地に面する低台地上に位置する。

調査区は国道路線幅の調査で、西浦遺跡は間に野本氏館跡を挟んで、南北に離れて大きく二分されている。調査の過程で、北の範囲を既存道路により分け、北からA区・B区と呼称し、南の範囲をC区と呼称した。

A区の流路寄りの北側は、標高が最も低く21.5m前後で、他は22.0～22.3m程度で平坦である。調査時当初は湧水が激しく調査区が水没し調査不能であったが、渇水期により調査ができるような地区であった。

検出された遺構は、平安時代の住居跡4軒、土坑1基、中世の井戸跡1基のほか、時期は不詳であるが土坑41基、井戸跡2基、溝23条のうち2条は近代で非常に新しいが、他は中世以降のものと考えられる。

調査区平坦部の南西側で平安時代の住居跡が4軒検出され、集落としては路線外の西側に広がると考えられる。

溝はほぼ南北方向や東西方向に延びるものがほとんどで、北端部は溝が集中していた。時期は不明であるが、調査区を縦断するようにほぼ南北に延びる溝の断面形は箱葉研で深い溝であり、計画的に開削されたと考えられる。

B区はほぼ平坦で、標高は21.6～22.0mで南側が僅かに高い。

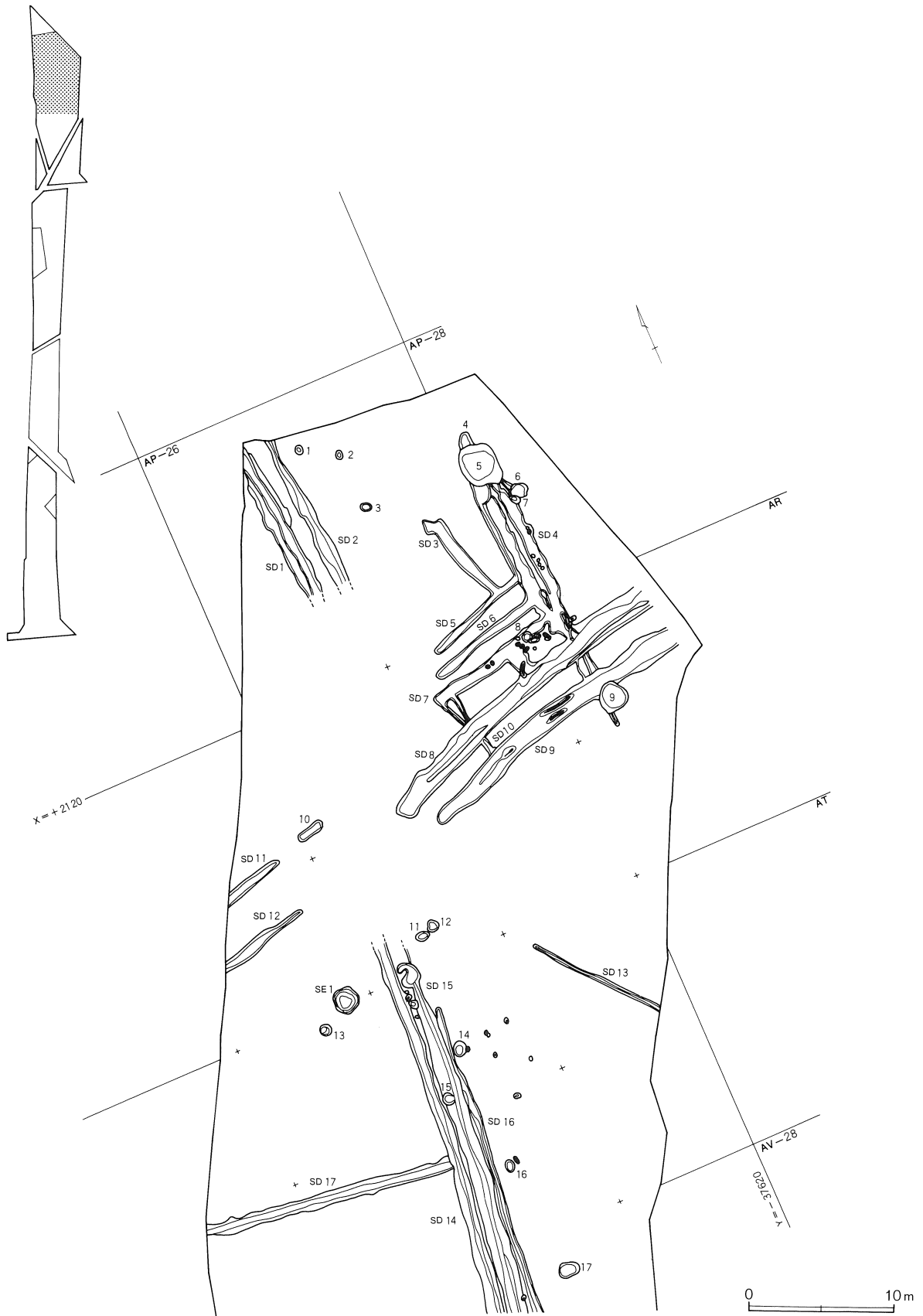
検出された遺構は平安時代の住居跡2軒、中世の土坑8基・井戸跡1基でその他の土坑・溝は中世以降のものと考えられる。南端には土坑の集中区があり、中世のかわらけや銭が検出された土坑もあり、中世の土壙群と考えられる。

溝はほぼ東西方向及び南北方向に延びているものが主体で、遺物もほとんど検出されなかったが、第28号溝より板碑が出土した。

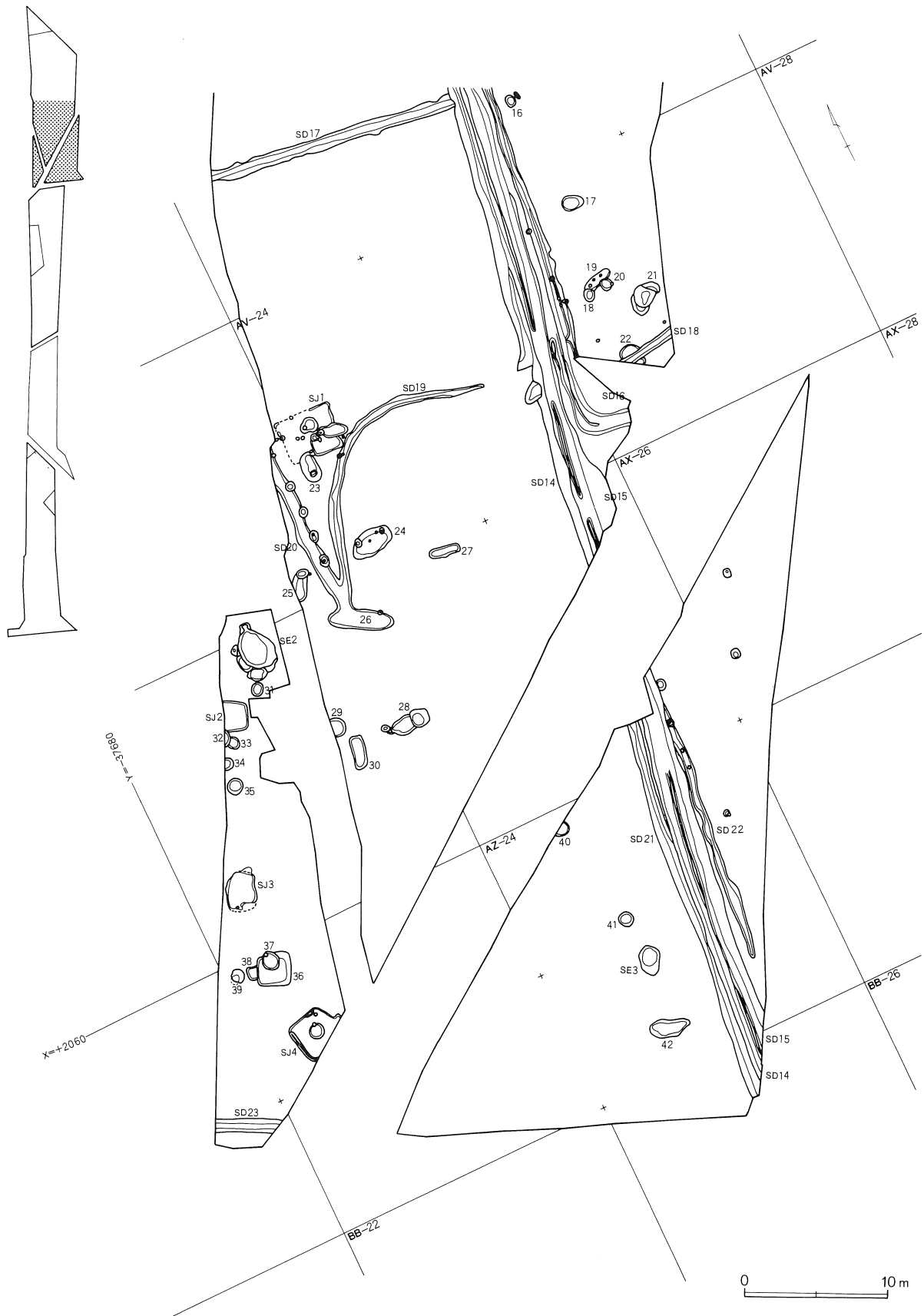
C区は北部は平坦であるが、南へ向かって緩やかに傾斜し、南部で南東から入り込む埋没谷の範囲が最も低く、再び南端でローム台地が見られる。

検出された遺構は、弥生時代の住居跡8軒・方形周溝墓3基、土坑6基・溝1条・竪穴状遺構1基がある。住居跡を初め土坑・溝・竪穴状遺構は平坦な北部、つまり台地上にあり、方形周溝墓は埋没谷を隔てた南端の台地上にある。古墳時代の住居跡3軒も平坦部にあり土坑7基は平坦部と斜面部にあるものがある。奈良・平安時代の住居跡は35軒で、平坦部のものより斜面部のものが多く、埋没谷の範囲内にも住居跡が検出されている。その他に土坑76基・溝2条・竪穴状遺構4基が検出された。埋没谷の範囲からは、円面硯10点や「比」の墨書土器、「企」の朱墨書土器が出土し、竪穴状遺構からは「厨」の墨書土器が出土した。

第80図 西浦遺跡 A 区全測図(1)



第81図 西浦遺跡 A 区全測図(2)



第82図 西浦遺跡B区全測図(1)



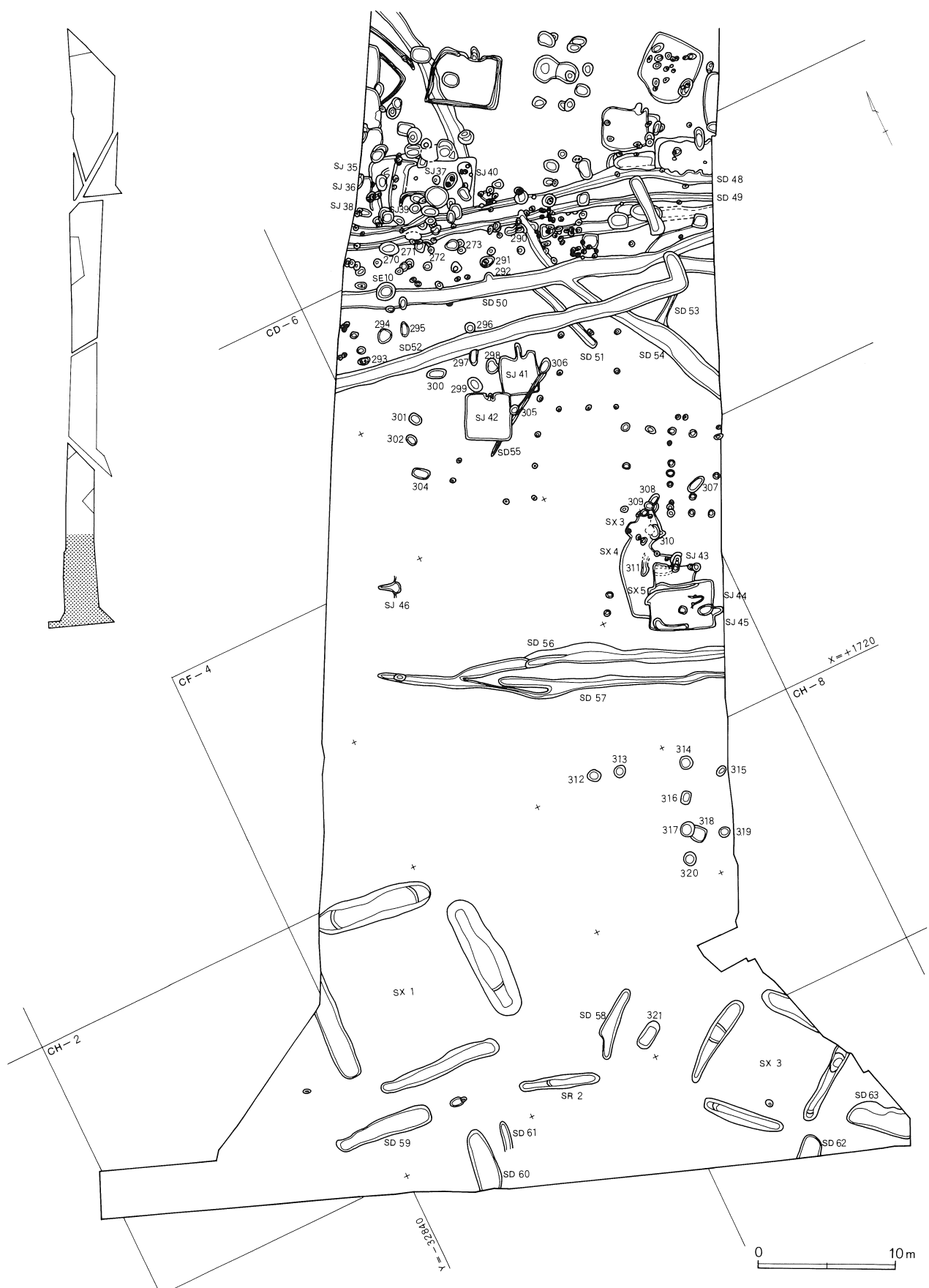
第83図 西浦遺跡B区全測図(2)



第84図 西浦遺跡C区全測図(1)



第85図 西浦遺跡 C 区全測図(2)



2 弥生～古墳時代の遺構と遺物

(1) 住居跡

第7号住居跡(第86図)

BX・BY-9・10グリッドに位置する。住居跡北側が攪乱を受けている。第42号溝及び第204号土坑と重複している。床面の確認のみで、南東壁が僅かに確認できた状況であった。平面形は不明であるが、規模は南北5.5m以上を測る。主軸方位はN-46°-Eを指す。

炉跡は南東壁寄りから検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸40cm、短軸25cmを測る。底面のみの確認で、赤変し硬化している。ピットは住居内に12基検出されている。

出土遺物(第87図)

出土遺物は南東壁寄りから検出された。弥生時代の橢圓文系土器で壺・甕・台付甕が出土した。

8は長さ11.9cm、幅4.1~6.3cm、厚さ1.8cmである。各面とも平滑で擦痕が認められる。また、裏面と側面には油煙状のものの付着が認められる。

9~12は甕形土器で、9は頸部上段に橢圓波状文、下段には橢圓波状文を施す。10は波状文を施す。11・12は胴部の破片で楕円工具による乱れた格子目文を施す。

第8号住居跡

BX-9グリッドに位置する。炉跡が検出されているが、住居跡の平面形は不明である。炉跡は楕円形で、長軸50cm、短軸25cmを測る。底部のみ検出で、赤変し硬化している。

第9号住居跡(第88図)

BY-8グリッドに位置する。炉跡が検出されているが、住居跡平面形は不明である。炉跡は西半部が調査範囲外で、楕円形と推定され長軸25cm以上、短軸30cm、深さ6~28cmを測る。一部がピット状になっている。

第10号住居跡(第88図)

BY-9グリッドに位置する。炉跡は検出されているが、住居跡平面形は不明である。炉跡は北半部が攪乱されており、楕円形と推定され長軸36cm以上、短軸50cm、深さ3~11cmを測る。

第11号住居跡(第89図)

BY-9、BZ-9・10グリッドに位置する。南壁は調査区外にあり、東壁と北壁の一部しか検出されなかった。規模は、東壁確認部分で3.10m、深さ15cmを測る。ピットは4基確認された。

出土遺物(第89図)

土師器高環の坏部が床面直上から出土した。推定口径は15.6cmを計り、外面上半は楕円工具ナデ及び刷毛目、下半はヘラ磨き、内面は縦位のヘラ磨きが施されている。脚部には3つの円孔が見られる。胎土には白色針状物質が含まれている。

第12号住居跡(第90図)

BZ-9グリッドに位置する。北側は攪乱を受けており、平面形は不明である。規模は南壁で2.55m、深さ20cmを測る。

出土遺物(第91図)

甕・壺・小型甕・高環・器台が床面から出土した。

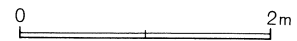
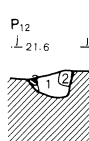
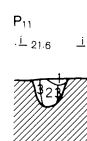
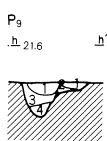
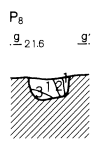
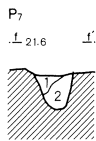
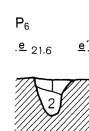
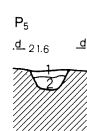
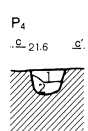
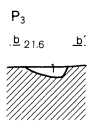
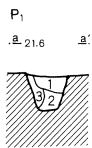
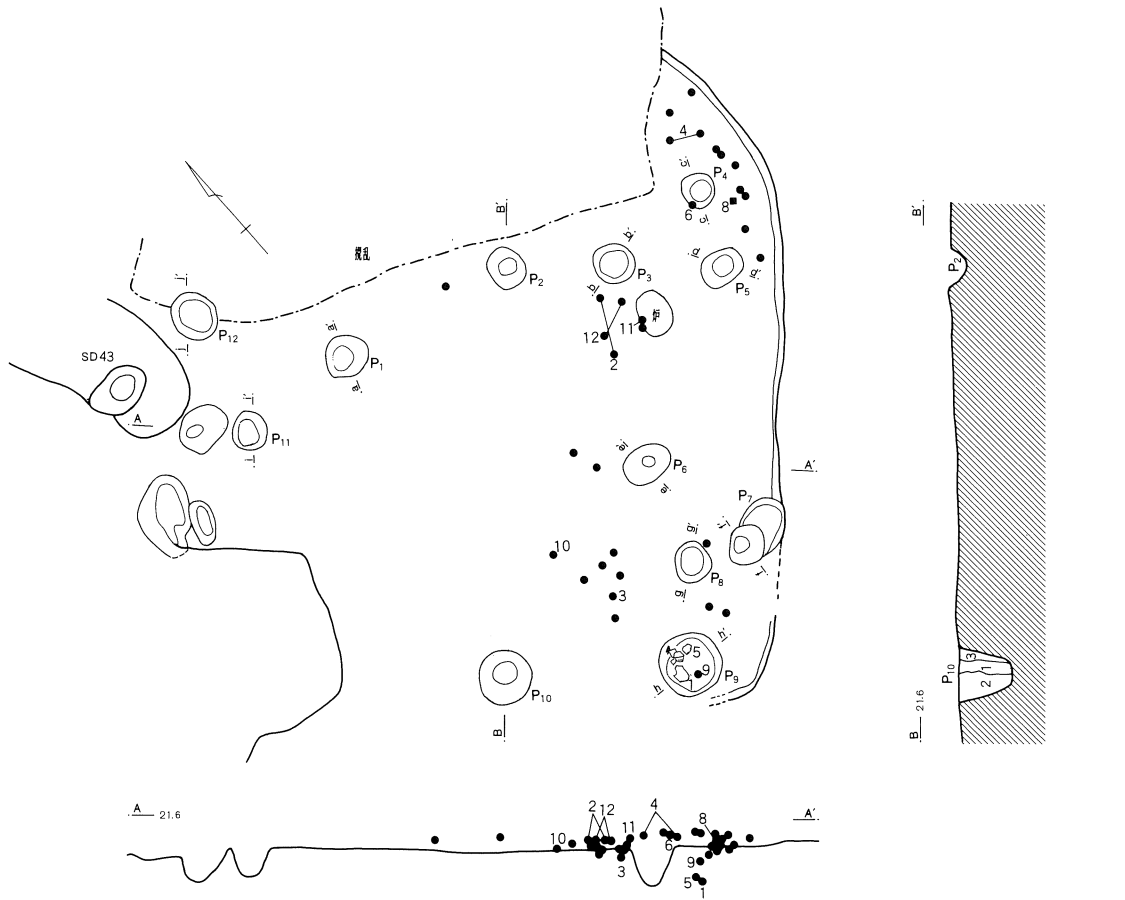
1は甕の口縁部で指頭による相互押捺。外面は横ナデ後縦ナデ。内面は横ナデ。

第16号住居跡(第92~94図)

BZ・CA-8グリッドに位置する。住居跡北側に第14号住居跡に切られ、北西部は調査区域外に位置している。また住居跡西側は第44号溝・第230号土坑に切られ、南側は第17・18・19号住居跡と重複している。平面形は楕円形気味の長方形を呈し、規模は東西6.35m以上、南北8.20m以上、深さ25cmを測る。主軸方位はN-14°-Wを指す。

炉は住居内中央やや北寄りから検出され、ほぼ円形で、規模は長径75cm、短径60cm、深さ15cmを測る。西側壁際に礫2個が置かれていた。また、炉の北と北東に硬化した焼土範囲が見られた。東壁よりの中央に粘土が置かれていた。ピットは炉の北側に3基検出されている。

第86図 第7号住居跡

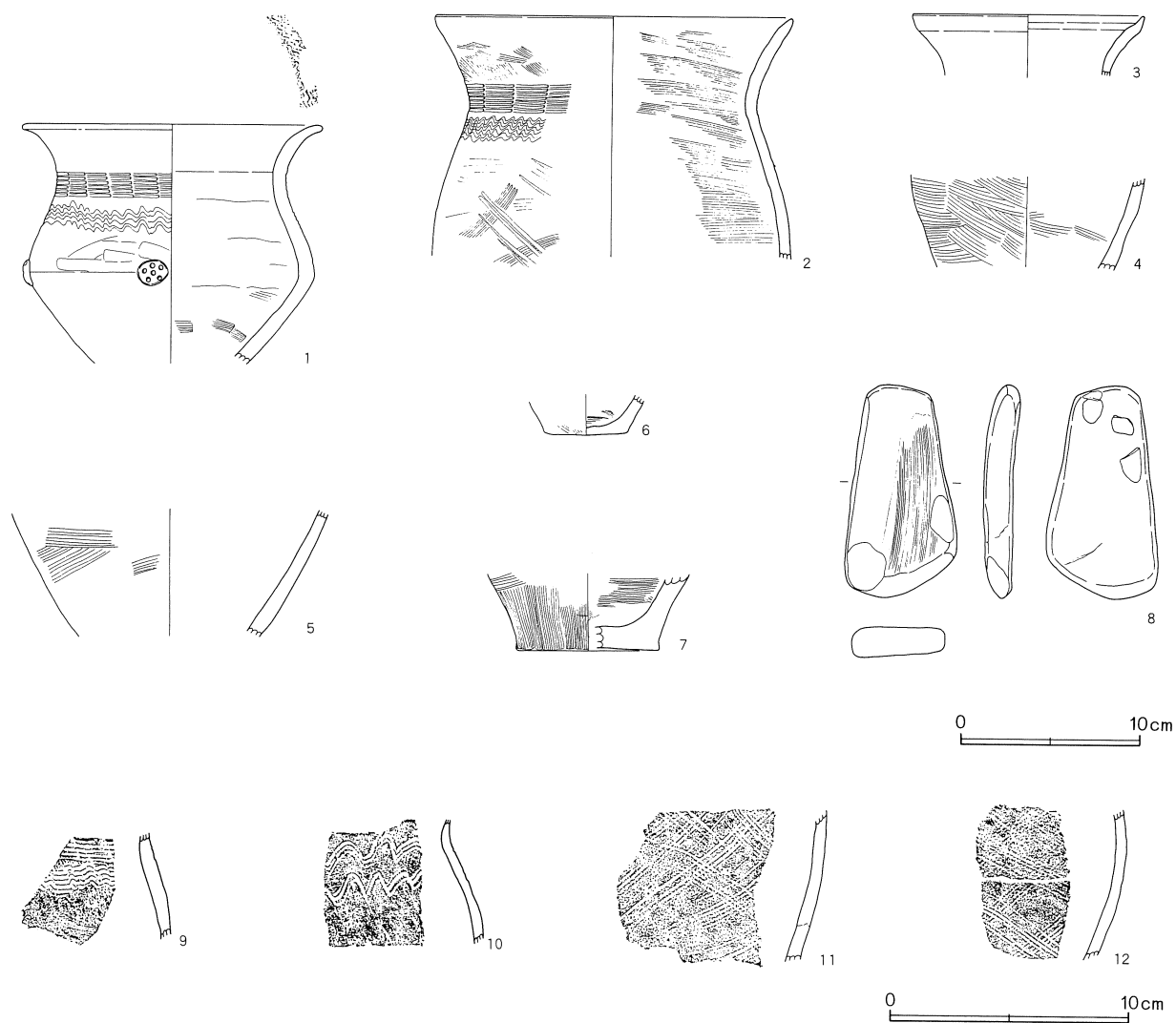


- ビット 1
1 黒褐色土 締まりややあり
2 黒褐色土 黄褐色土含む
3 褐色土 締まり強い
- ビット 3
1 暗褐色土 ローム粒子若干含む
- ビット 4・5
1 黒褐色土 ローム粒子若干含む
2 暗褐色土 粘質
- ビット 6
1 黒褐色土 ローム粒子若干含む
2 黒褐色土 やや締まりあり

- ビット 7
1 黒褐色土 ローム粒子若干含む
2 黒褐色土 やや締まりあり
- ビット 8
1 黒褐色土 ローム粒子若干含む
2 黒褐色土 やや締まりあり
3 暗褐色土 粘質
- ビット 9
1 極暗赤褐色土 橙色土微量含む
2 暗赤褐色土
3 暗赤褐色土
4 灰褐色土

- ビット 10
1 黒褐色土 締まり強い
2 黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり極強い
3 褐色土 締まり強い
- ビット 11
1 黒褐色土 締まりあり
2 黒褐色土 やや締まりあり
3 暗褐色土 ローム粒子含む 締まり弱い
- ビット 12
1 黒褐色土 締まりあり
2 黒褐色土 やや締まりあり
3 黄褐色土 締まり強い

第87図 第7号住居跡出土遺物

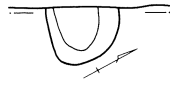


第7号住居跡出土遺物観察表(第87図)

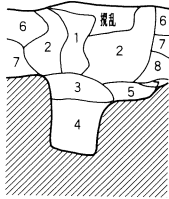
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	台付甕	(16.8)			ABJS	II	橙	30	ピット9 頸部外面簾状文・波状文 胴部円形浮文 口唇部内面に波状文
2	甕	(20.0)			BES	II	浅黄橙	10	頸部外面簾状文・波状文 胴部楕円格子目状文内面横方向刷毛目
3	壺	(13.0)			BS	II	浅黄橙	10	外面斜方向刷毛目
4	甕				BCS	III	橙	20	外面斜方向刷毛目
5	甕				B	III	黄橙	60	ピット9 外面斜方向刷毛目 磨減顕著
6	甕				BCES	II	黄橙	65	底部内面刷毛調整
7	甕			(8.0)	AB	II	鈍い黄橙	25	外面縦方向刷毛目 内面横方向刷毛目

第88図 第9・10号住居跡炉跡

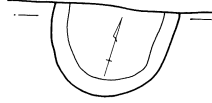
SJ 9



—21.2—



SJ 10



—22.0—



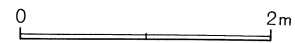
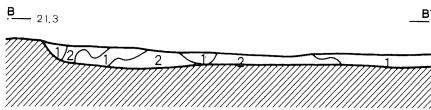
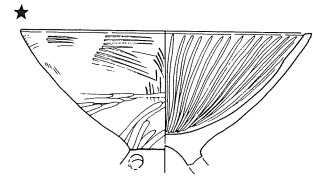
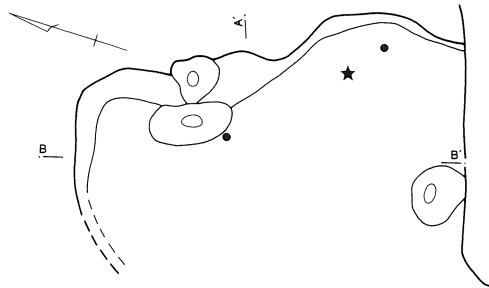
S J 9 伊

- 1 暗赤褐色土
- 2 暗赤褐色土 焼土極多く含む
- 3 褐色土 焼土若干含む
- 4 褐色土 締まり極強い
- 5 鈍赤褐色土
- 6 暗赤褐色土 黄褐色土粒子微量含む
- 7 暗赤褐色土 焼土粒子微量含む
- 8 暗赤褐色土 褐色土多く含む

S J 10 伊

- 1 黒褐色土 焼土若干含む
- 2 褐色土

第89図 第11号住居跡

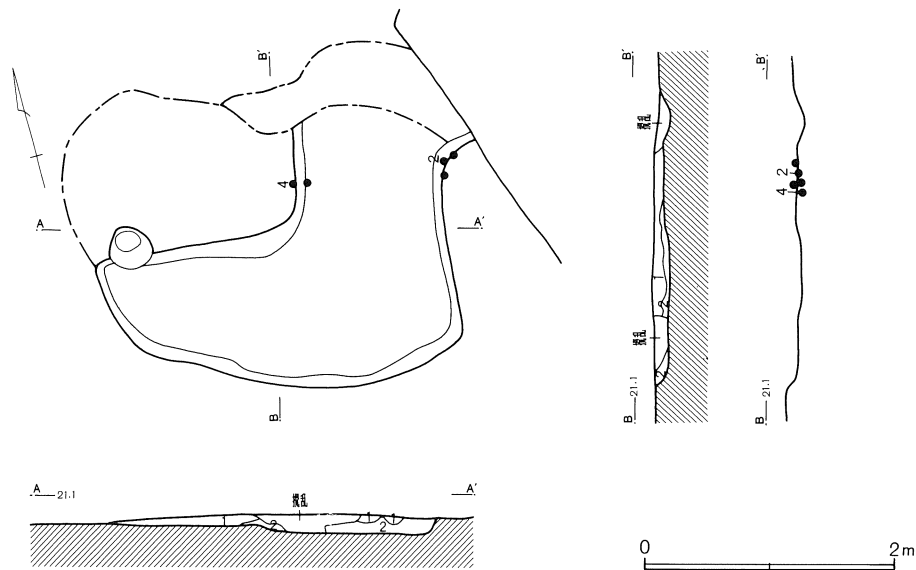


- 1 褐色土 ローム粒子・ブロック多量に含む 締まり弱い
- 2 暗褐色土 締まり弱い

ビット

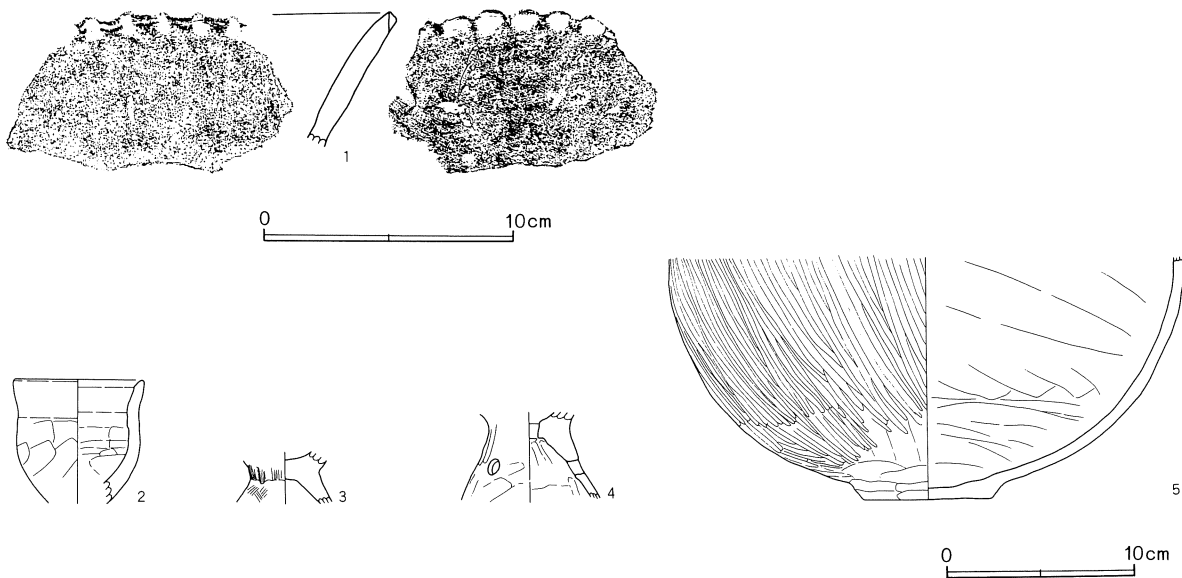
- 1 黒褐色土 炭化物粒子・ローム粒子・焼土粒子少し含む 締まり弱い
- 2 黒褐色土 締まり弱い
- 3 暗褐色土 ロームブロック多く含む

第90図 第12号住居跡



- 1 黒褐色土 ローム粒子・炭化物多く含む
- 2 黄褐色土 炭化物多く含む

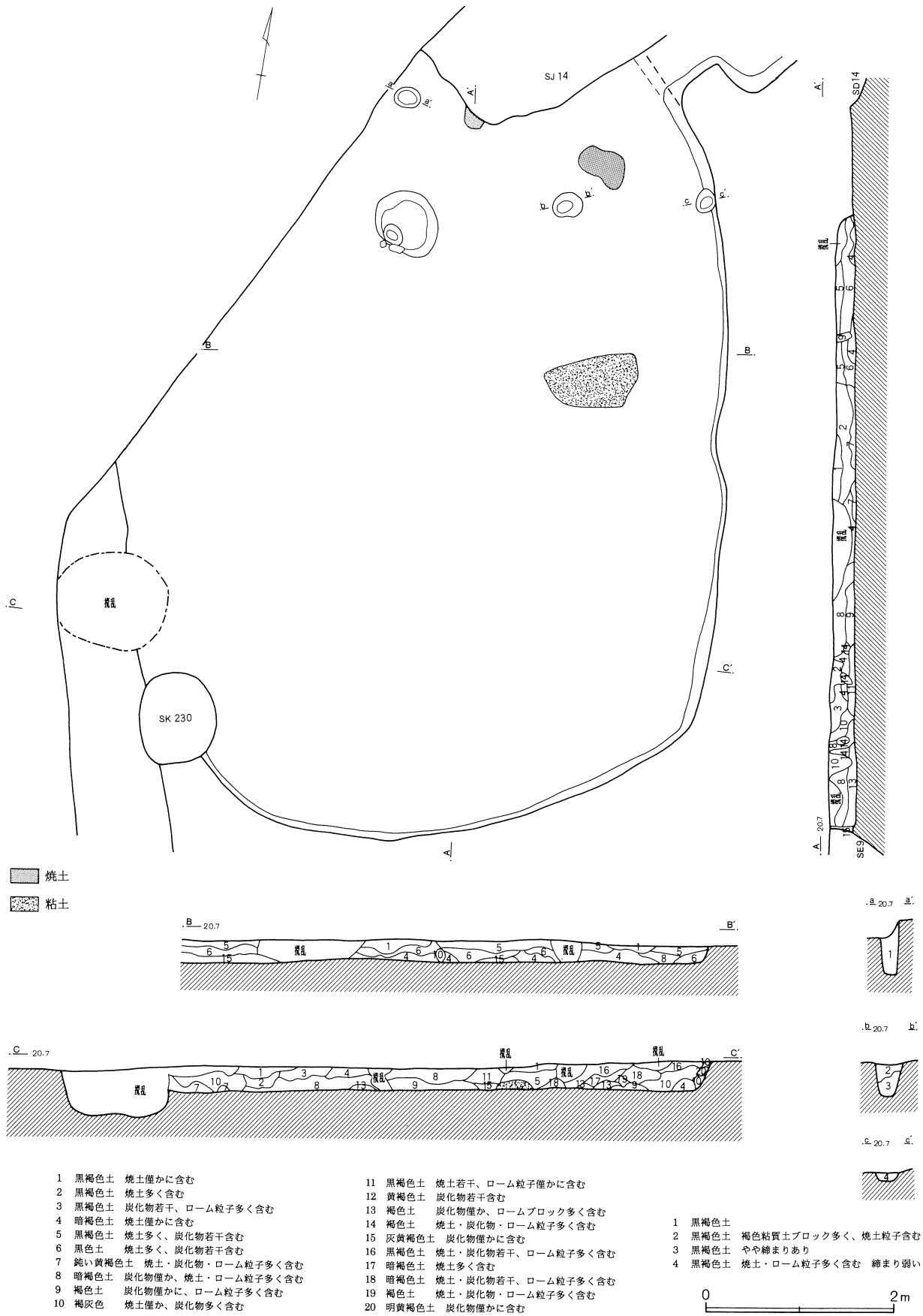
第91図 第12号住居跡出土遺物



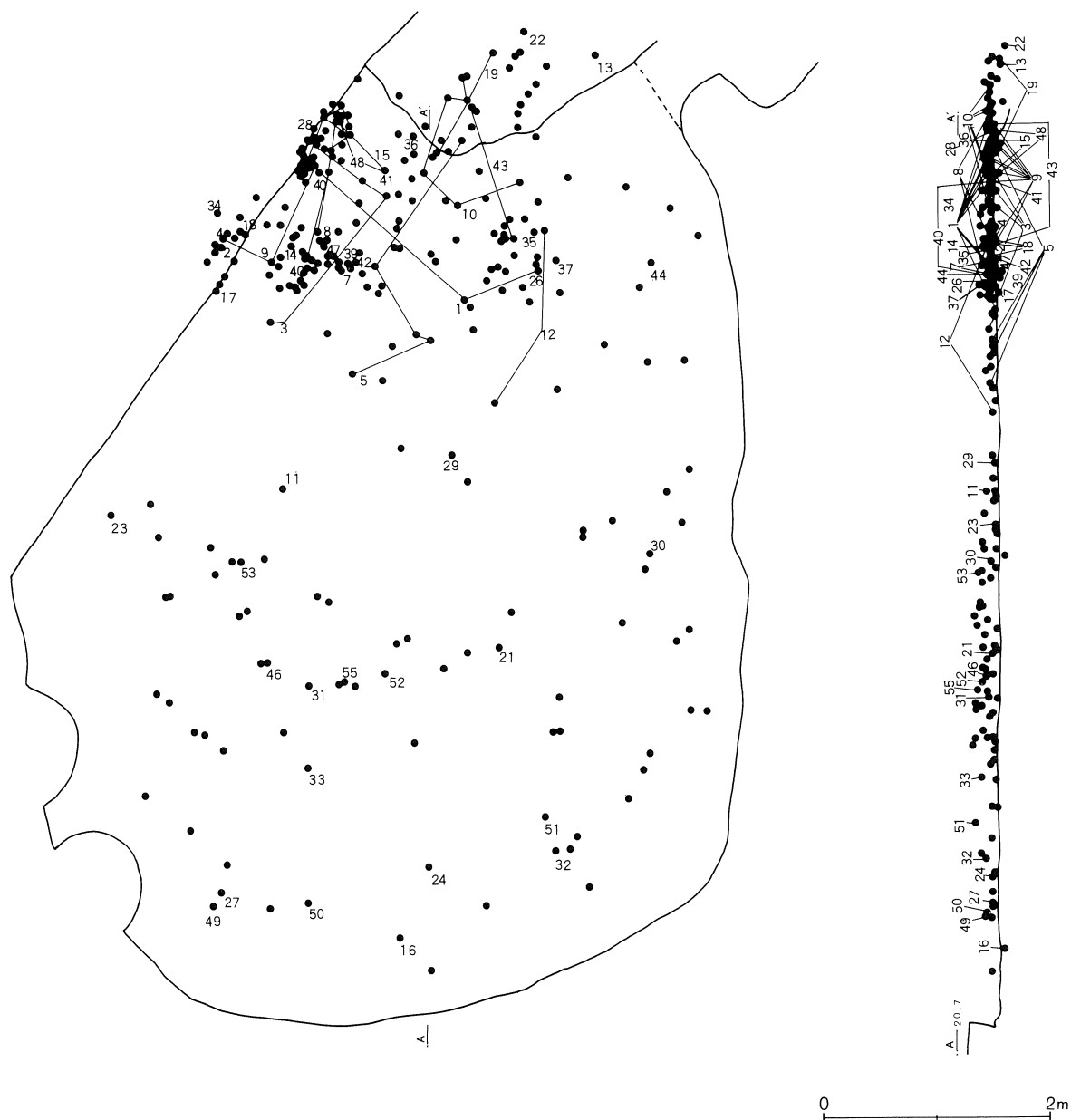
第12号住居跡出土遺物観察表(第91図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
2	小型甕	(7.0)			AB	II	明赤褐	30	床直 口縁部横ナデ 内面篋ナデ 外面上部←方向、下部斜め下方向のヘラ削り
3	台付甕				ABS	II	赤黒	60	刷毛目
4	器台				RS	II	鈍い黄橙	70	床直 内面篋ナデ 外面篋ナデと一部磨き
5	壺			7.0	JKS	I	明赤褐	30	内面篋ナデ 外面縦方向篋磨き 下端横方向の篋削り 底部篋ナデ

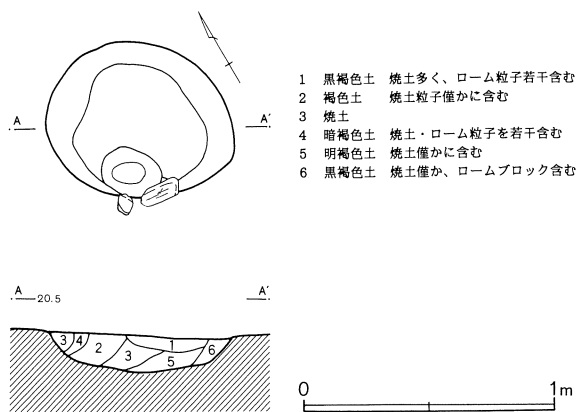
第92図 第16号住居跡



第93図 第16号住居跡遺物分布図



第94図 第16号住居跡炉跡

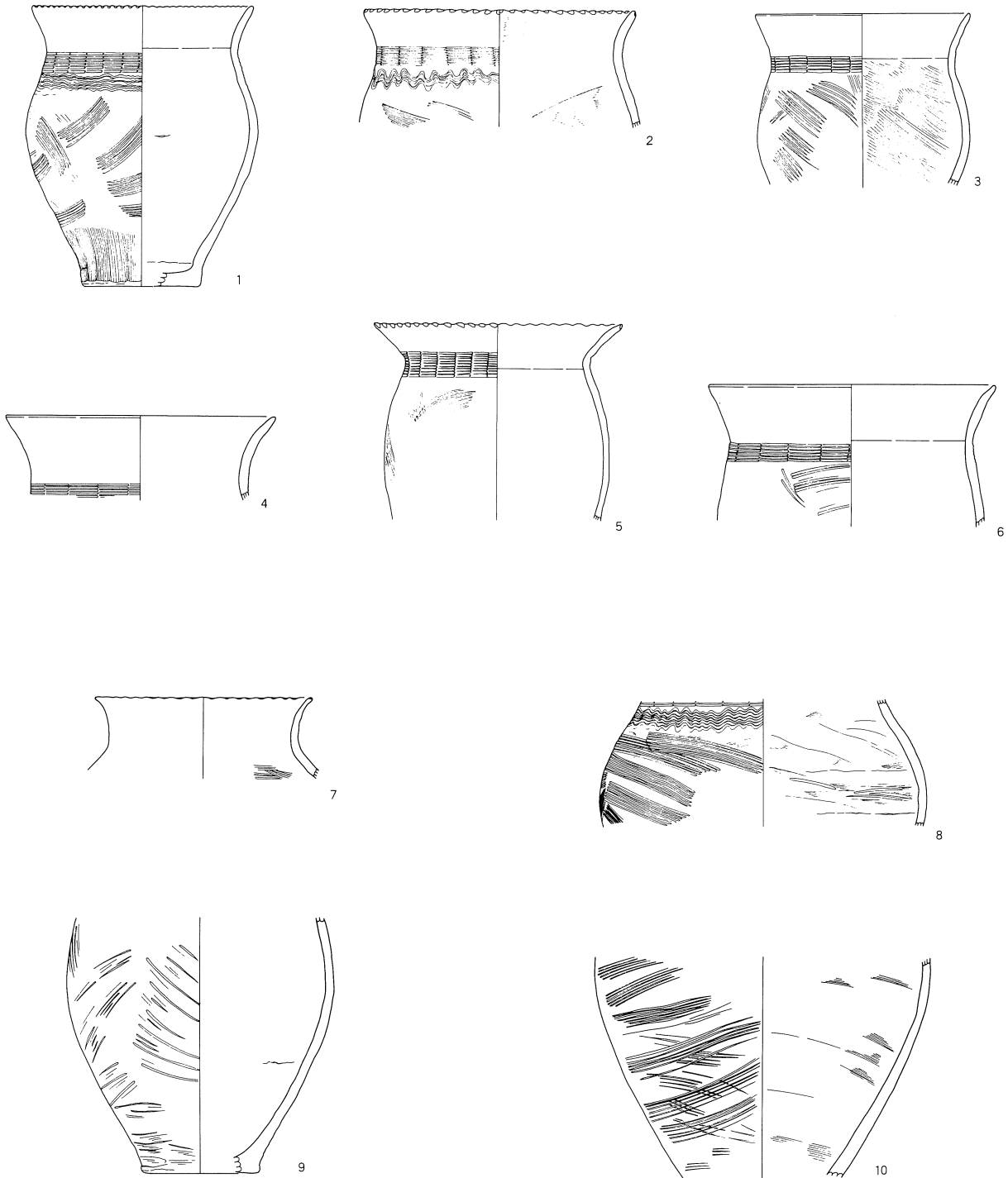


出土遺物(第95~98図)

遺物は北側に集中して出土し、楕円文系土器系の土器が主体に検出され、縄文施文土器も若干検出された。器形は甕・壺・高坏である。

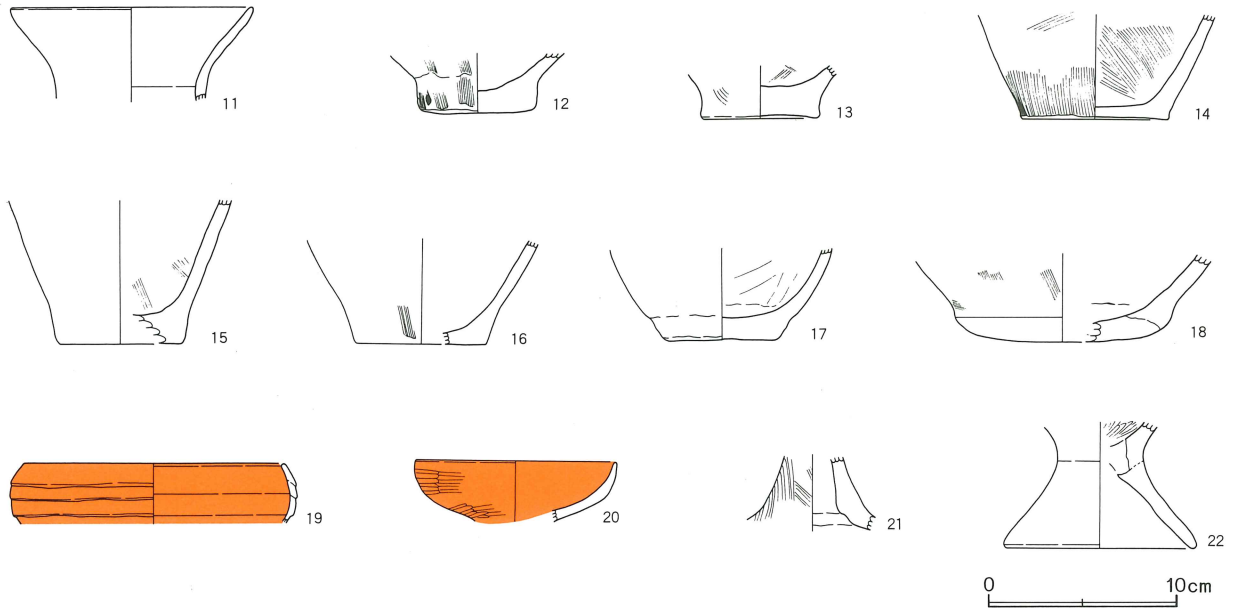
23は口縁部で口唇に刻み目が施され、外面は斜めの刷毛ナデ、頸部に簾状文が施されている。24は口縁部に指頭押圧と頸部の簾状文の上段に波状文が施されている。25は口唇部に刻み目が施され、外面は縦刷毛ナデ。26は口縁部指頭押圧と頸部の簾状文と下段に波状

第95図 第16号住居跡出土遺物(1)



0 10cm

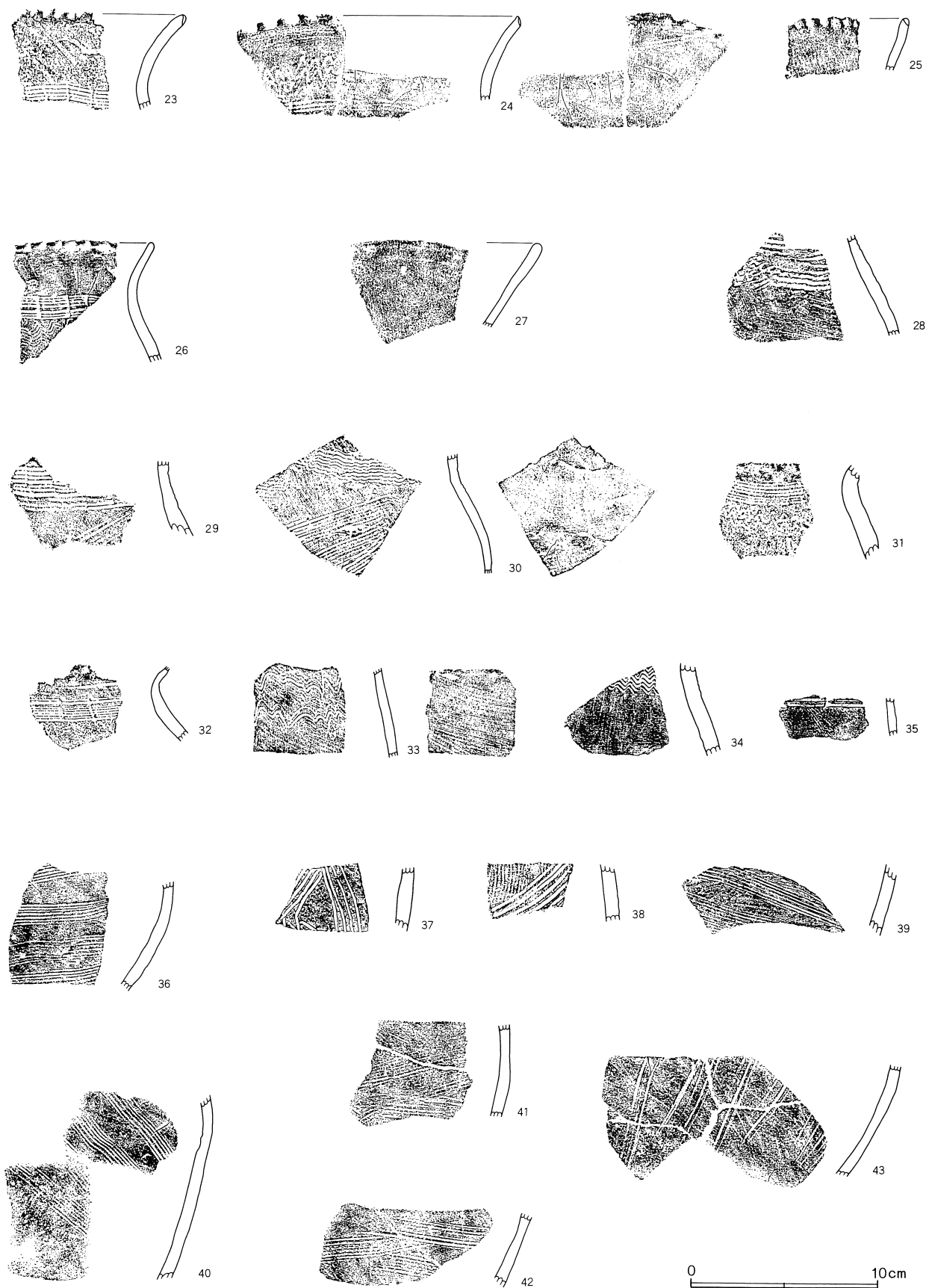
第96図 第16号住居跡出土遺物(2)



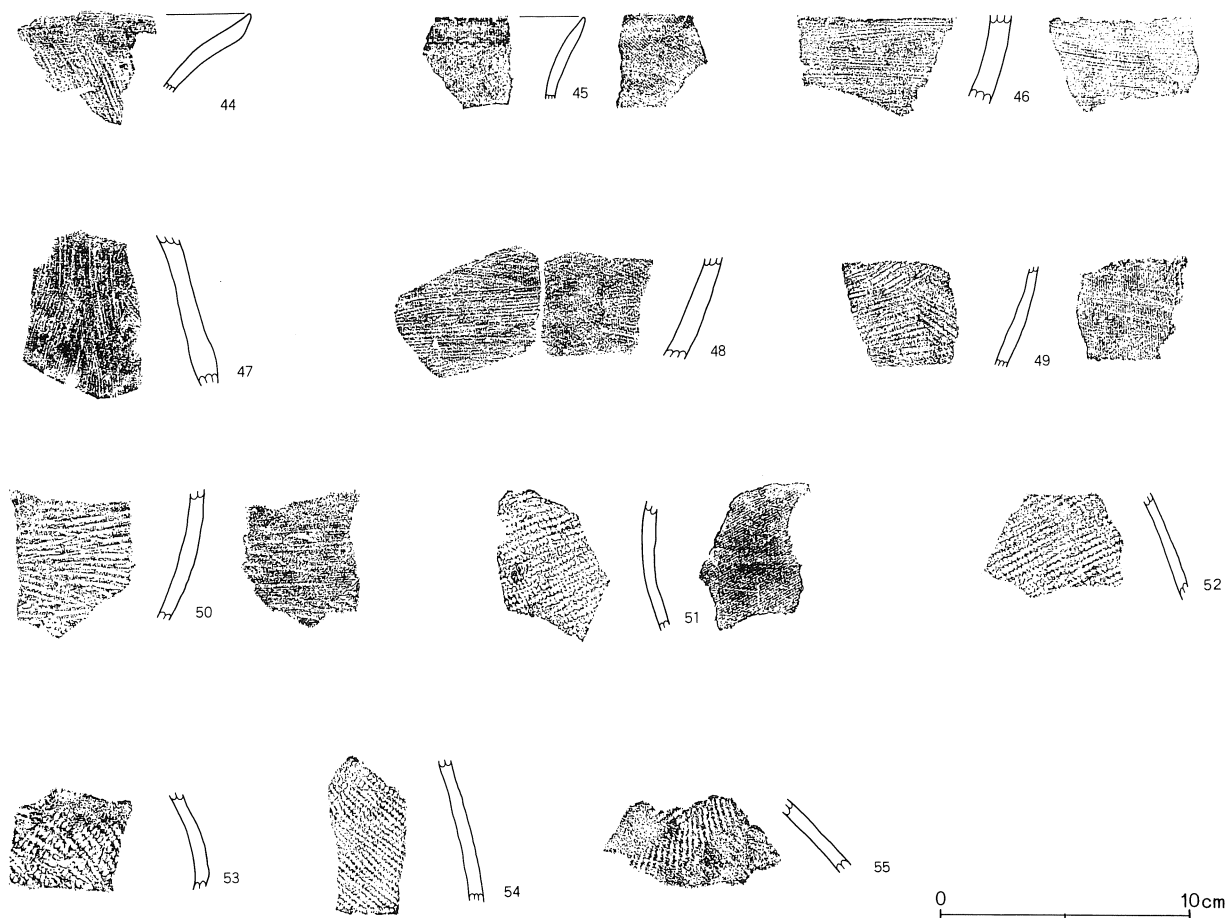
第16号住居跡出土遺物観察表(第95・96図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	甕	(14.2)	18.0	(7.6)	BRS	III	橙	40	口縁端部押捺により波状を呈す 頸部6本単位櫛描簾状文・波状文 胴部櫛描格子目状文 胴部下半縦方向刷毛目 内面調整不明瞭
2	甕	(17.6)			BS	II	灰黄褐	15	口縁端部指頭押捺により波状を呈す 頸部櫛描簾状文・波状文 胴部櫛描文 内面横方向刷毛目後ナデ
3	甕	(13.8)			S	III	橙	40	頸部櫛描簾状文 胴部櫛描文 内面斜方向刷毛目
4	甕	(17.4)			ABRS	II	浅黄	10	頸部櫛描簾状文
5	甕	(16.0)			BS	III	淡黄	40	口縁端部指頭押捺により波状を呈す頸部櫛描簾状文 胴部櫛描文
6	甕	(18.6)			BS	III	鈍い橙	20	頸部櫛描簾状文 胴部櫛描文 内面不明瞭
7	甕	(14.0)			BS	III	灰黄	20	口縁端部指頭押捺により波状を呈す 内面刷毛目
8	甕				BS	II	鈍い黄橙	20	頸部櫛描簾状文・波状文 胴部櫛描文 内面刷毛目後一部艶磨き
9	甕			(7.4)	BRS	III	鈍い橙	25	胴部櫛描文
10	甕				BS	III	鈍い黄橙	25	胴部櫛描文
11	壺	13.0			S	III	赤橙	60	器面調整不明瞭
12	壺			6.3	BRS	III	橙	75	外面縦方向刷毛目 内面全面剝離痕
13	壺			6.3	S	III	橙	100	器面調整不明瞭
14	甕			7.8	BS	III	橙	60	胴部上半櫛描文 下半縦方向刷毛目 内面刷毛目
15	甕			(7.0)	ABS	III	橙	10	内面一部に刷毛目
16	甕			(7.0)	RS	II	橙	15	外面縦方向刷毛目 磨耗して不明瞭
17	甕			5.8	BS	II	橙	35	内面指ナデ
18	甕			(11.5)	BCS	II	鈍い橙	20	外面一部に刷毛目
19	高坏	(14.0)			BRS	II	明赤褐	15	内外面赤彩
20	高坏	(10.8)			BS	II	赤	25	内外面赤彩 外面艶磨き
21	高坏				ES	II	鈍い橙	20	外面櫛状工具による調整後一部ナデ消し
22	高坏			(10.2)	BS	III	鈍橙	20	坏部内面艶磨き

第97图 第16号住居跡出土遺物(3)



第98図 第16号住居跡出土遺物(4)



文が施されている。27は口縁部であるが無文で、口唇部内面のみ横刷毛が見られ、胎土は黒雲母が顕著である。

28～35は頸部付近の土器で、28・31は簾状文の下に波状文。29は簾状文と斜めの櫛描文。30は簾状文と斜め刷毛の上に櫛描による山形文を施し、内面は横刷毛目。32・35は簾状文。33・34は波状文で、33は内面横刷毛目。

36～43は頸部で36は数段の櫛描文。37・38・43は太めの櫛描文で38の地文は縄文である。39～42は斜めの櫛描文である。41は内面横刷毛目。

44～50は刷毛目が見られる土器である。49は刷毛目が密である。

51～55は地文に縄文が施されているものである。

第17号住居跡(第99図)

CA-8グリッドに位置する。住居跡北側で第16号住居跡、西側で第18号住居跡重複している。平面形は方形を呈するものと思われる。規模は東西1.63m以上、南北2.75m以上、深さ28cmを測る。主軸方位はN-31°-Wを指す。

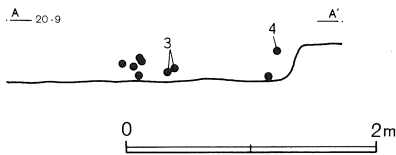
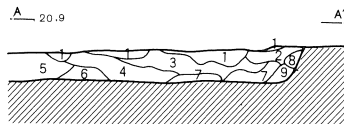
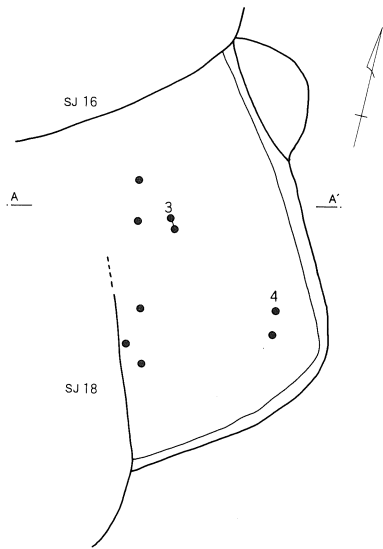
出土遺物(第100図)

土師器のみの出土で、坏・小型壺・鉢・甑が出土した。坏は第16号住居跡と重複している範囲からの出土である。

第18号住居跡(第101図)

CA-8グリッドに位置する。第16・17・19号住居跡及び第9号井戸跡と重複し、第9号井戸跡によって住居跡の北半部が掘り込まれている。平面形は壁がや

第99図 第17号住居跡



- 1 黒褐色土 ローム粒子若干、炭化物僅かに含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子・焼土若干含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子多く、黄色粘土若干含む
- 4 黒褐色土 ローム粒子若干、炭化物多く含む
- 5 褐灰色土 焼土・炭化物多量含む
- 6 暗褐色土 ローム粒子多量含む
- 7 褐色土 炭化物若干・ローム粒子多量含む
- 8 褐色土 炭化物若干含む
- 9 黄褐色土 ローム粒子・炭化物若干含む

や張り出した方形を呈すると推定され、規模は東西2.85m、南北3.30m以上、深さ20cmを測る。主軸方位はN-17°-Wを指す。

出土遺物(第102図)

遺物は土師器坏と高坏で、坏3点と高坏が赤彩されている。1以外は覆土中出土である。

第19号住居跡(第103図)

CA-8グリッドに位置する。住居跡北部で第16号住居跡と重複し、東部を第18号住居跡、西側を第44号溝に切られている。平面形は方形を呈するものと推定される。規模は東西4m以上、南北3.2m以上、深さ15cmを測る。主軸方位はN-26°-Eを指す。

出土遺物(第104図)

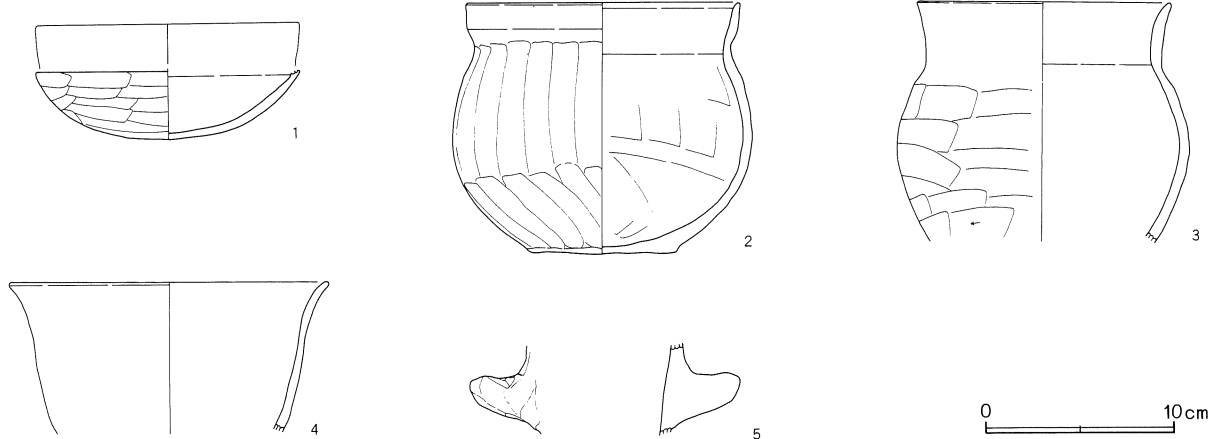
土師器坏・高坏・壺・甔を出土した。

第26号住居跡(第105・106図)

CC-8・9グリッドに位置する。平面形は方形を呈し、規模は長軸3.80m、短軸3.53m、深さ5~12cmを測る。主軸方位はN-51°-Eを指す。

炉跡は住居中央付近で2基検出され、炉跡1は楕円形で長軸32cm、短軸24cm、深さ4cm、炉跡2は円形で長径36cm、短径33cm、深さ4cmで炉底が残存しているだけである。ピットは10基、土坑は3基検出されている。

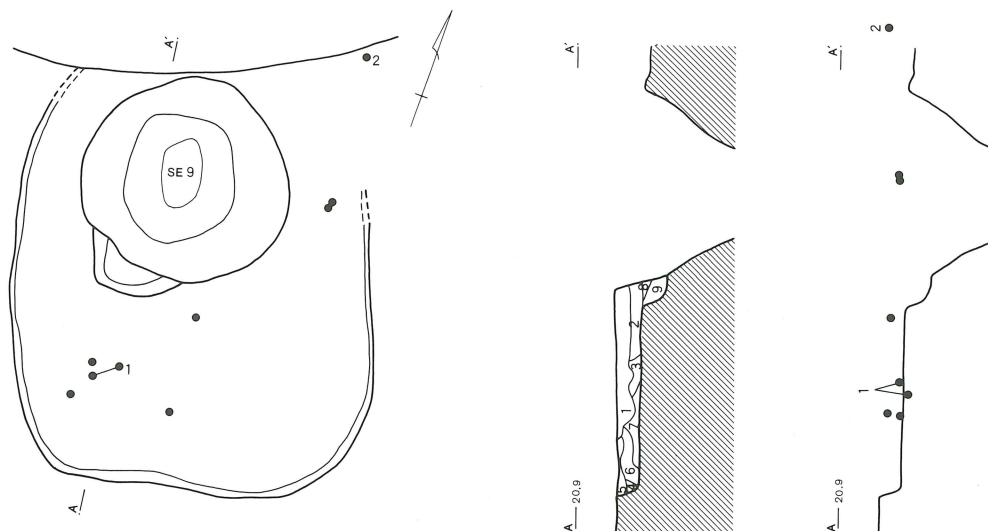
第100図 第17号住居跡出土遺物



第17号住居跡出土遺物観察表(第100図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	土師器坏			14.2	BRS	II	橙	80	外面篋削り 内面ロクロ痕
2	小型壺	14.6	13.3	7.7	RS	II	鈍い橙	70	外面↑方向篋削り
3	小型壺	(13.6)			BCS	III	橙	35	外面←方向篋削り
4	鉢	(17.2)			BFRS	II	橙	20	整形不明
5	甑				BHS	II	橙	把手	ヘラ整形

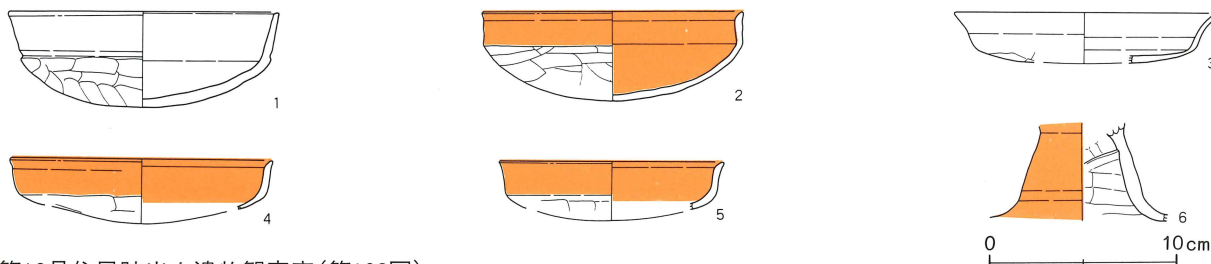
第101図 第18号住居跡



- 1 黒褐色土 焼土・炭化物多く含む
- 2 暗褐色土 焼土多量含む
- 3 暗褐色土 焼土若干、ローム粒子多く含む
- 4 黒褐色土 炭化物若干含む
- 5 褐色土 炭化物若干含む
- 6 黒褐色土 焼土多く、ローム粒子若干含む
- 7 褐色土 焼土多く含む
- 8 極暗褐色土 焼土多く含む
- 9 焼土



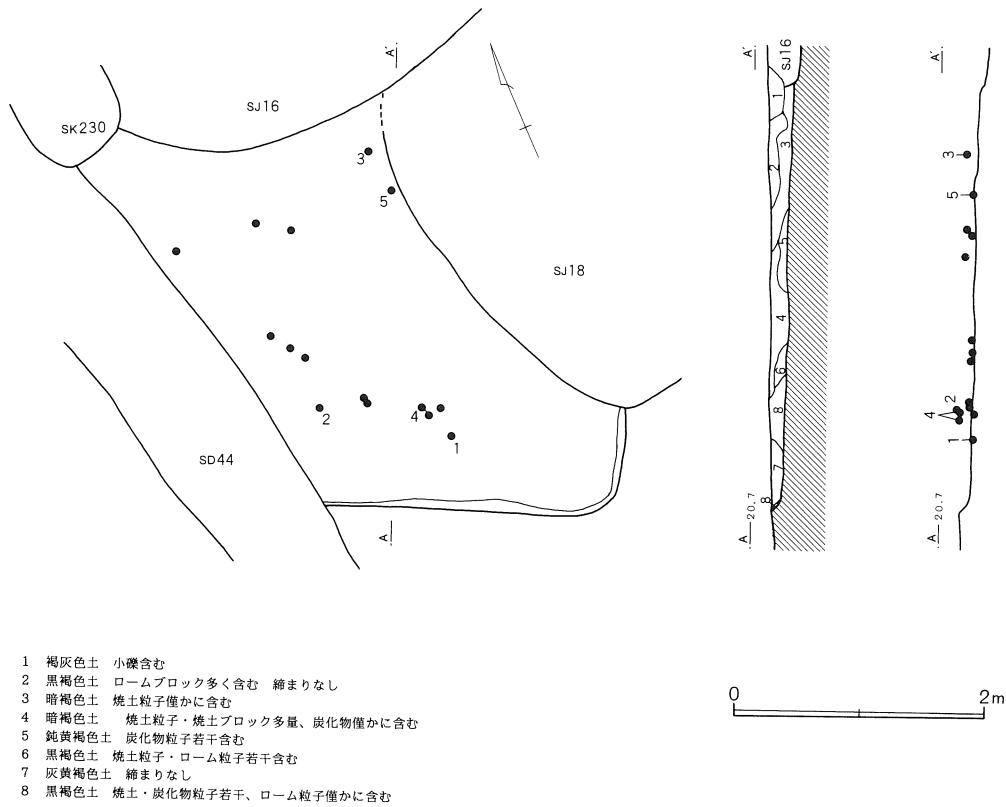
第102図 第18号住居跡出土遺物



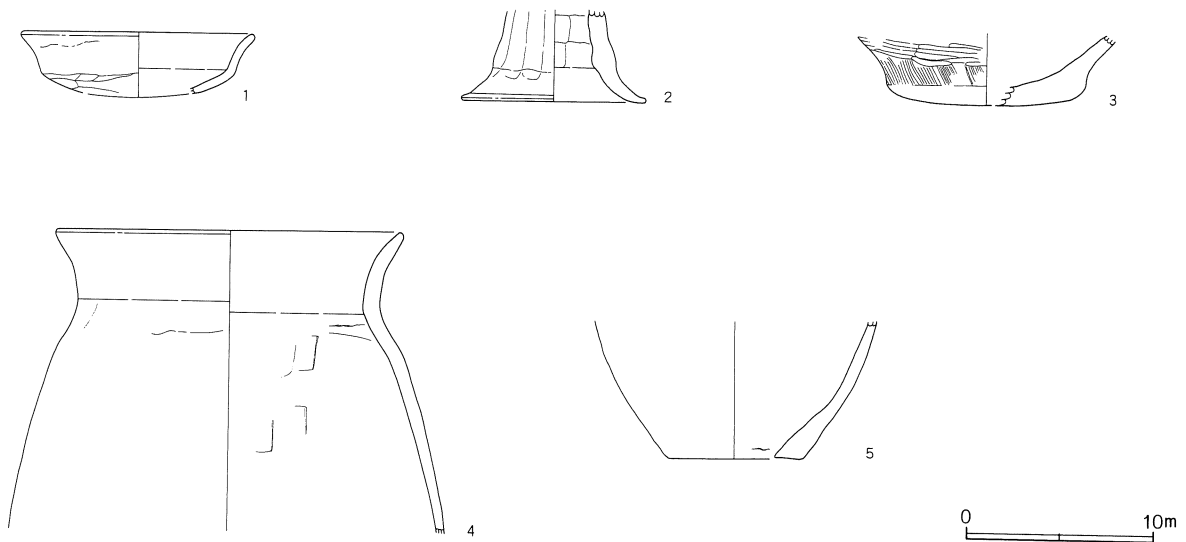
第18号住居跡出土遺物観察表(第102図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器坏	14.5	5.1	13.3	BJS	II	橙	95	床直 口縁部横ナデ 体部外面篋削り
2	坏	(14.0)	4.7	(13.8)	S	I	鈍い橙	45	口縁部横ナデ 体部外面篋削り 口縁部外面・内面赤彩
3	坏	(14.0)	2.7	(11.8)	CE	III	鈍い橙	10	体部外面篋削り
4	坏	(14.0)		(13.0)	BS	I	鈍い橙	10	口縁部横ナデ 体部外面篋削り 口縁部外面・内面赤彩
5	坏	(12.0)		(11.2)	BS	I	鈍い橙	10	口縁部横ナデ 体部外面篋削り 口縁部外面・内面赤彩
6	高坏				BS	I	明赤褐	10	内面篋ナデ 外面赤彩

第103図 第19号住居跡



第104図 第19号住居跡出土遺物



第19号住居跡出土遺物観察表(第104図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器 坏	(12.5)			BKS	II	橙	10	床直 体部内面篋削り
2	高坏			(10.0)	ABS	II	橙	10	脚部縦方向・内面横方向篋削り 裾部横ナデ
3	壺			(10.6)	BS	III	鈍い橙	15	外面縦方向刷毛目の後横方向篋磨き
4	甕	(18.5)			BCS	II	橙	25	胴部内面工具による横ナデ
5	甌			(7.0)	BJKS	II	橙	15	床直 整形不明

第105図 第26号住居跡



- 伊跡 1
 1 焼土
 2 極暗赤褐色土
- 伊跡 2
 1 暗褐色土
 2 焼土 暗褐色土・黒色土含む
 3 焼土 灰黄褐色土含む

0 1 m

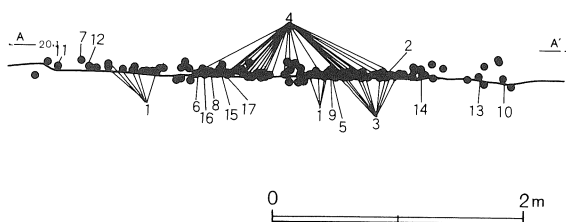
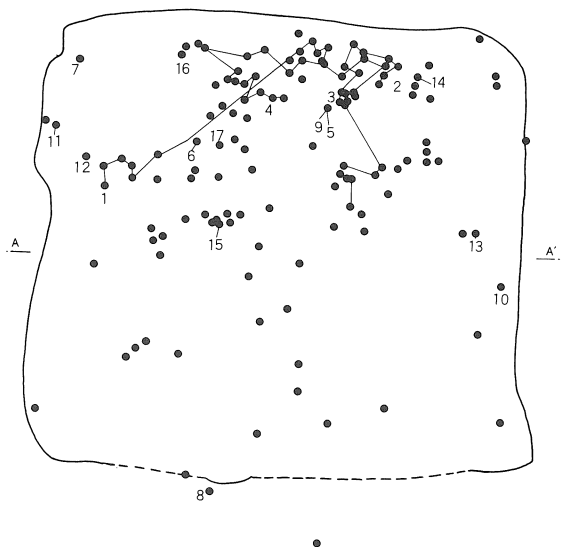
0 2 m

- S J 2 6
 1 暗赤褐色土 黄褐色土微粒子若干含む 締まりあり
 2 暗褐色土
 3 黒褐色土 黄褐色土若干含む
 4 褐色土
 5 褐色土 焼土含む 締まり強い
 6 褐色土 白色微粒子含む 締まり強い
 7 鈍黄褐色土 締まり強い
 8 黄褐色土
- SK 1 暗褐色土
- SK 2
 1 暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む 締まりあり
 2 暗赤褐色土 黄褐色土若干含む 極締まり強い
 3 暗赤褐色土 黄褐色土若干含む
- SK 3
 1 暗褐色土 橙色土粒子若干含む
 2 暗赤褐色土 締まり極強い
 3 暗褐色土 黄褐色土極多く含む
 4 極暗赤褐色土

- ビット 1 暗褐色土 黄褐色土多く含む
 ビット 2
 1 暗赤褐色土
 2 暗褐色土 黄褐色土粒子微量含む
 3 褐色土 黄褐色土極多く含む
 4 黒褐色土 黄褐色土粒子微量含む 締まり強い
 5 鈍黄褐色土 黄褐色土粒子若干含む
 ビット 3
 1 黄褐色土ブロック
 2 暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む
 3 黒褐色土 黄褐色土粒子微量含む 締まり強い
 4 黒褐色土 黄褐色土極多く含む
 5 黒褐色土
 ビット 4
 1 暗褐色土
 2 暗褐色土 黄褐色土多く含む
 3 暗赤褐色土 締まり極強い
 4 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まりなし
 ビット 5 褐色土 締まり強い

- ビット 6
 1 褐色土 締まり強い
 2 暗褐色土
 3 暗褐色土 黄褐色土粒子微量含む
 ビット 7 黒褐色土
 ビット 8
 1 暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む
 2 暗褐色土 黄褐色土多く含む
 3 褐色土 黄褐色土多く含む 締まり強い
 4 暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む 締まり強い
 ビット 9
 1 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
 2 褐色土 締まり強い
 3 鈍黄褐色土
 4 暗褐色土 黄褐色土微量含む
 ビット 10
 1 褐色土 白色微粒子含む 締まり強い
 2 暗褐色土 黄褐色土微量含む
 3 暗褐色土 黄褐色土若干含む

第106図 第26号住居跡遺物分布図



出土遺物(第107図)

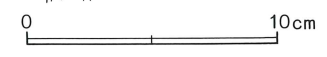
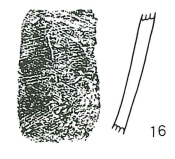
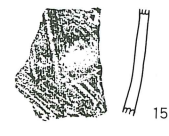
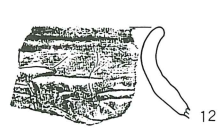
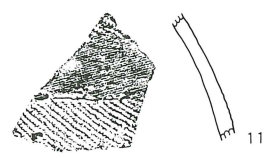
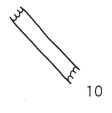
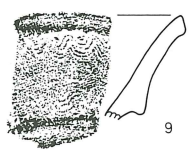
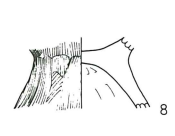
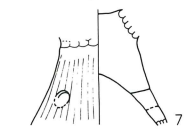
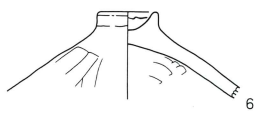
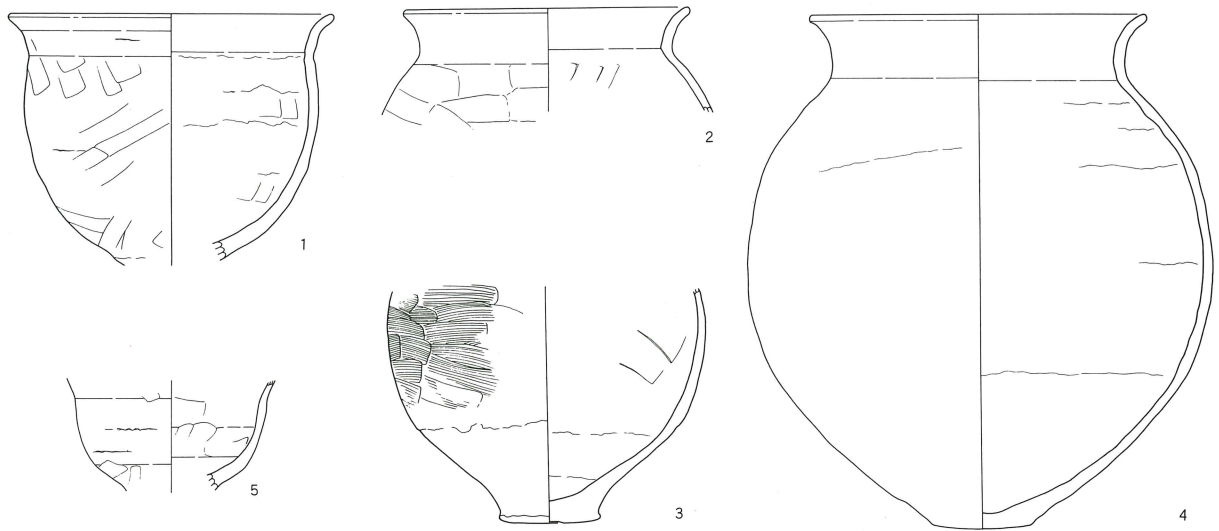
弥生時代の壺・甕・蓋・高坏の他に破片が出土した。住居跡覆土も浅く、7の高坏以外は床面からの出土である。

9は壺の口縁部で2段の波状文が施され、屈曲している。10・11は縄文施文の土器で、無文帯は丁寧にナデが施され、10は赤彩されている。12は甕口縁部で体部は小口状のナデが施されている。13は頸部で刻みが施されている。14～17は刷毛目で14・15はやや粗い刷毛目である。

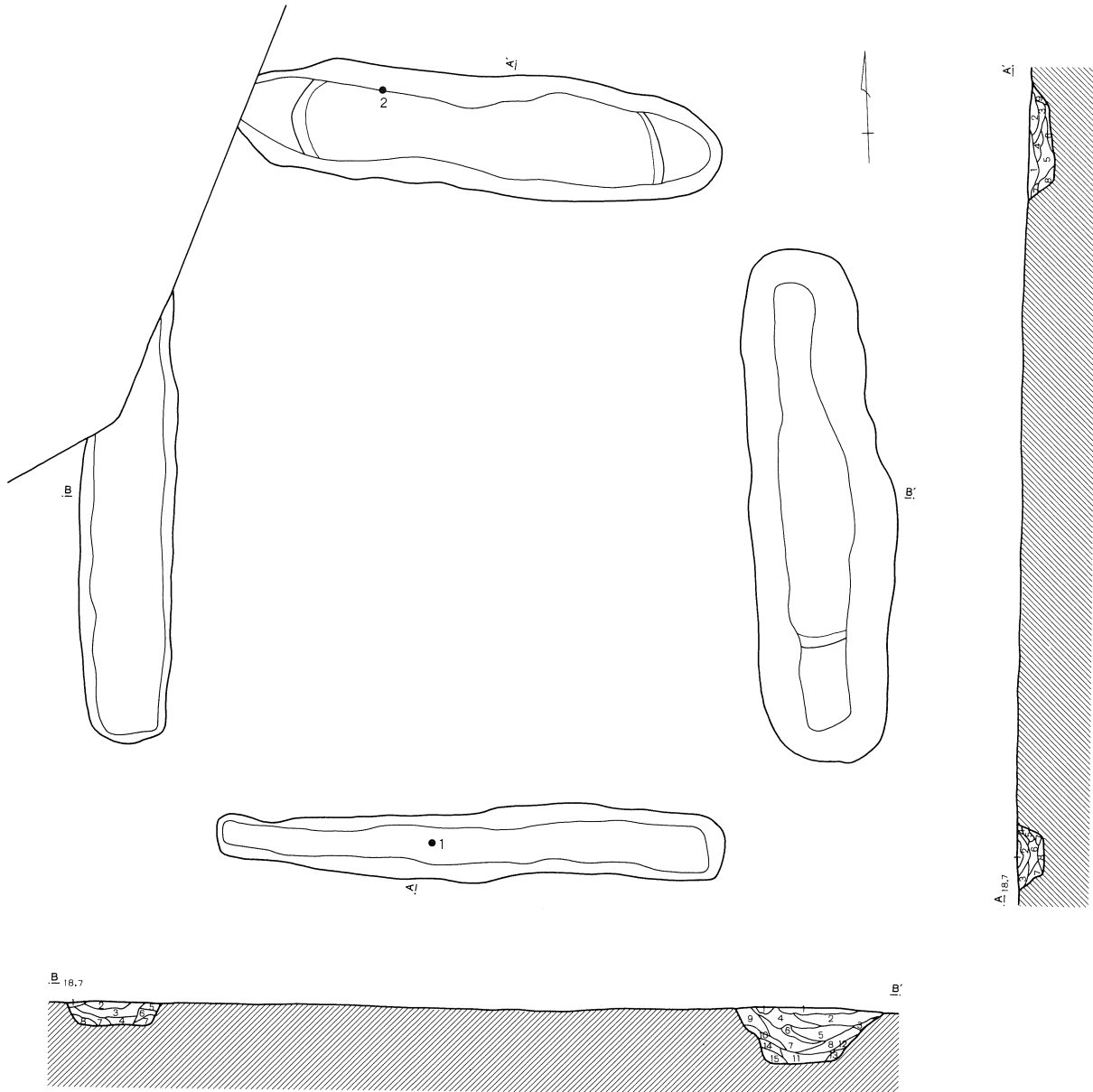
第26号住居跡出土遺物観察表(第107図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	鉢	17.4			BRS	II	橙	75	外面篋ナデ 内面粘土接合痕明瞭
2	壺	(15.2)			ABS	II	橙	10	外面木口状工具ナデ、一部刷毛目状
3	壺			5.4	RS	II	橙	60	外面横方向刷毛目
4	壺	(18.0)	27.2	5.4	BS	II	鈍い橙	45	器面調整不明瞭
5	小型甕				AJS	I	褐	10	外面ナデ 内面横方向ナデ
6	蓋				CJS	II	橙	15	外面縦、内面横位篋ナデ 鈕内面折り返しあり 紐径3.3cm
7	高坏				BEJK	II	橙	75	外面篋磨き 円形透孔3カ所
8	高坏				RS	III	鈍い橙	75	外面縦方向刷毛目

第107図 第26号住居跡出土遺物



第108図 第1号方形周溝墓



(A-A') 南辺

- | | | |
|---|--------|-----------------|
| 1 | 黒褐色土 | |
| 2 | 黒褐色土 | ローム粒子僅かに含む |
| 3 | 黒褐色土 | ローム粒子多く含む |
| 4 | 黒褐色土 | ローム粒子僅かに含む |
| 5 | 褐灰色土 | ローム粒子多く含む |
| 6 | 黒色土 | ローム粒子多く、炭化物若干含む |
| 7 | 灰黄褐色土 | ローム粒子多く、炭化物若干含む |
| 8 | 鈍い黄褐色土 | ローム粒子多く含む 砂質土 |

(A-A') 北辺

- | | | |
|---|--------|---------------------|
| 1 | 黒褐色土 | |
| 2 | 黒褐色土 | 炭化物若干含む |
| 3 | 黒褐色土 | ローム粒子多く、炭化物若干含む |
| 4 | 黒褐色土 | ローム粒子僅か、炭化物多く含む |
| 5 | 黒色土 | ローム粒子僅か、ロームブロック若干含む |
| 6 | 褐灰色土 | ローム粒子多く含む やや粘性あり |
| 7 | 鈍い黄褐色土 | ローム粒子多く含む |
| 8 | 暗褐色土 | ロームブロック多く含む |
| 9 | 灰黄褐色土 | ローム粒子・ロームブロック含む |

(B-B') 東辺

- | | | |
|----|--------|--------------------------|
| 1 | 褐灰色土 | |
| 2 | 鈍い黄褐色土 | 黒褐色土多く含む 粘土層 |
| 3 | 褐灰色土 | 黄色粘土若干含む 粘性あり |
| 4 | 褐灰色土 | ローム粒子・炭化物多量含む |
| 5 | 褐灰色土 | ローム粒子僅かに含む |
| 6 | 灰黄褐色土 | ローム粒子僅か、灰色土粒子多く含む |
| 7 | 黒褐色土 | ローム粒子・黄色粘土ブロック若干、炭化物多く含む |
| 8 | 黒褐色土 | ローム粒子僅か、炭化物・焼土粒子若干含む |
| 9 | 黒褐色土 | ローム粒子・ロームブロック多く、炭化物僅かに含む |
| 10 | 鈍い黄褐色土 | ローム粒子多く含む |
| 11 | 褐色土 | ローム粒子・ロームブロック多量含む |
| 12 | 暗褐色土 | ローム粒子僅かに含む |
| 13 | 暗褐色土 | ローム粒子・炭化物多く含む 粘性あり |
| 14 | 鈍い黄褐色土 | ローム粒子・炭化物僅かに含む 粘性あり |
| 15 | 黄褐色土 | ローム粒子多く、炭化物若干含む 粘性あり |

(B-B') 西辺

- | | | |
|---|--------|-------------------------|
| 1 | 黒褐色土 | ローム粒子多く含む |
| 2 | 褐灰色土 | ローム粒子含む |
| 3 | 黒褐色土 | ローム粒子多く、焼土粒子・炭化物粒子僅かに含む |
| 4 | 灰黄褐色土 | ロームブロック多く含む |
| 5 | 黒褐色土 | ローム粒子若干含む |
| 6 | 暗褐色土 | ローム粒子・炭化物粒子多く含む |
| 7 | 鈍い黄褐色土 | ローム粒子多く含む 粘性あり |
| 8 | 鈍い黄褐色土 | ローム粒子多く、炭化物僅かに含む 粘性あり |

0 5m

(2) 方形周溝墓

第1号方形周溝墓(第108図)

CH・CI-3～5グリッドに位置する。平面形態は四隅切れ型で、方台部の形態は南北にやや長く、規模は南北軸(長軸)長11.0m、東西軸(短軸)長10.1m。主軸方位はN-3°-Eを指す。

各溝の規模は、東溝が長さ9.06m、最大幅2.6m、深さ1.0m、西溝が長さ8.0m以上、最大幅1.66m、深さ0.4m、南溝が長さ9.0m、最大幅1.2m、深さ0.5m、北溝の長さ8.5m以上、最大幅2.0m、深さ0.5mを測る。東溝は主軸方位よりやや西に偏し、北溝はやや南に偏する。

東溝は最も規模が大きく、中央が最も深く南側で段差を持ち深くなっている。北溝は東西に段差を持ちその間が深くなっている。各溝とも方台部側傾斜が外側の傾斜より急になっている。

出土遺物(第111図)

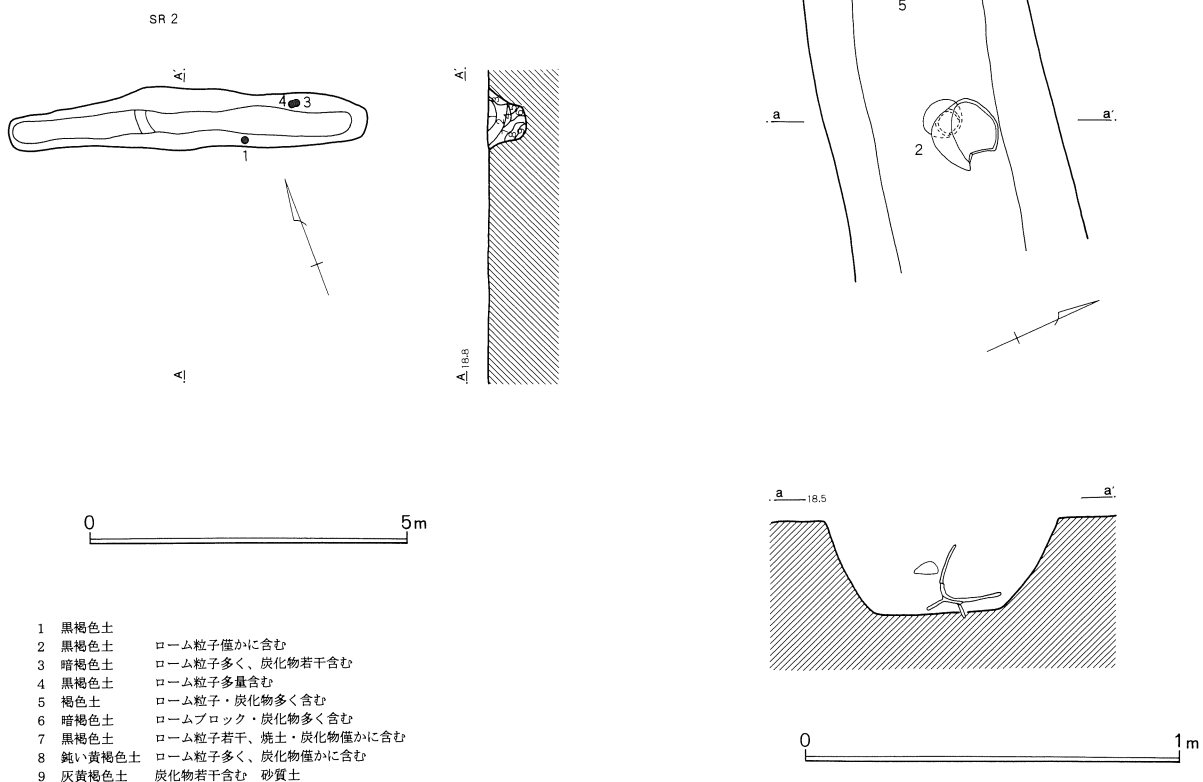
出土遺物は極めて少なく、甕の底部と台付甕の台部が南溝の中央付近と北溝の西部の溝底から出土した。

第2号方形周溝墓(第109図)

CI-5グリッドに位置する。北溝のみの検出である。溝の規模は、長さ5.7m、最大幅1.0m、深さ0.6mを測る。溝の走行方位はN-69°-Wを指す。

溝は西から緩やかに傾斜し、途中に段差を持ち、段差から東はほぼ一定の深さである。溝の南側壁の傾斜は北側壁より大きくなっていることより、方台部にあたる場所は、溝の南側と推定される。

第109図 第2号方形周溝墓



出土遺物(第111図)

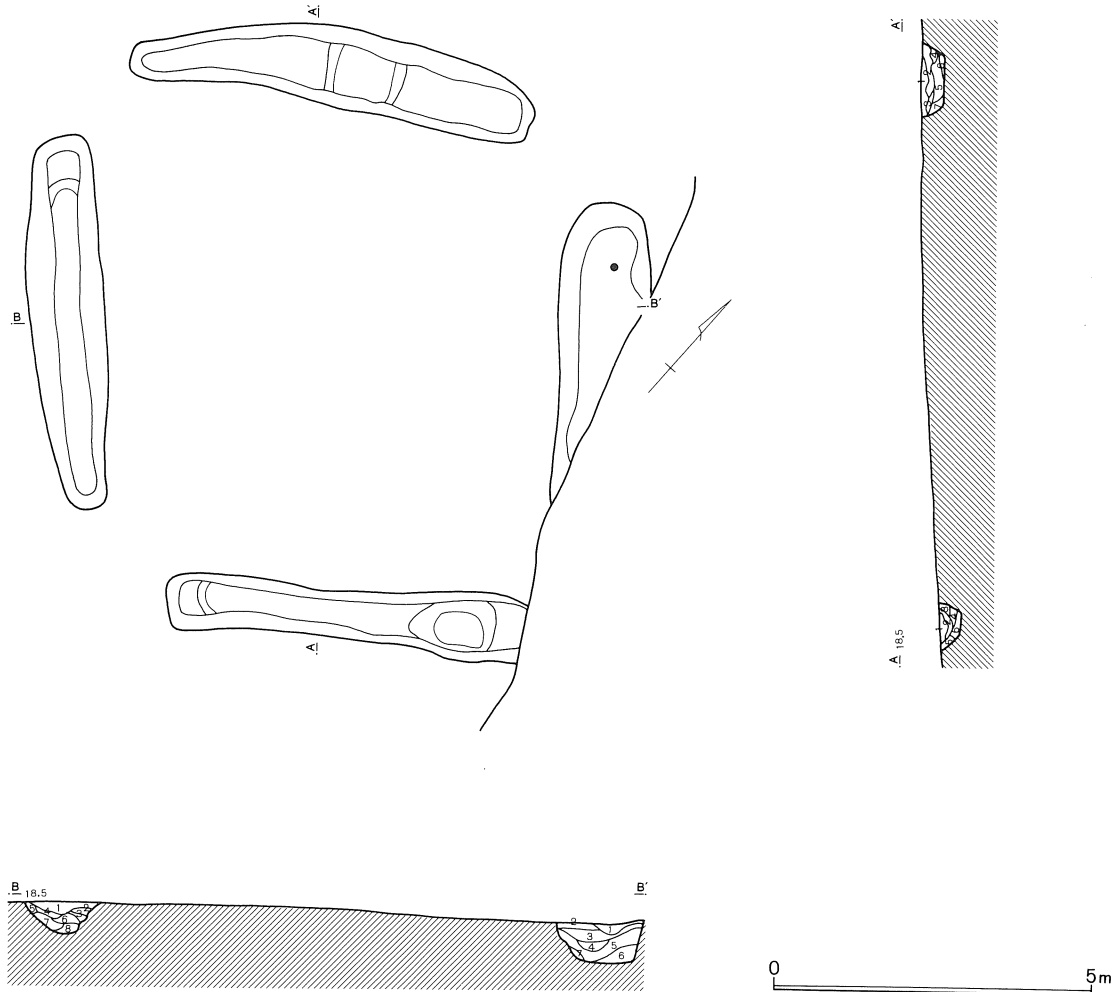
小型壺・高環・甕胴部破片・被熱した礫が出土した。

4は甕の頸部で縦方向の刷毛目で、5は甕胴部で斜めと横方向の刷毛目が施されている。いずれも溝北西部覆土中位からの出土である。

第3号方形周溝墓(第110図)

CI・CJ-6・7グリッドに位置する。平面形態は四隅切れ型で、方台部に形態は南北にやや長く、規模は南北軸(長軸)長7.70m、東西軸(短軸)長7.25mを測る。主軸方位はN-42°-Wを指す。

第110図 第3号方形周溝墓



(A-A') 南東辺

- 1 黒褐色土 ローム粒子若干含む
- 2 褐灰色土 ローム粒子・炭化物粒子多く含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子若干、炭化物僅かに含む
- 4 暗褐色土 ローム粒子僅か、炭化物・焼土粒子若干含む
- 5 暗褐色土 ローム粒子多く含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子多く含む

(A-A') 北西辺

- 1 褐灰色土 ローム粒子若干含む 粘土層
- 2 黒褐色土 ローム粒子・焼土僅かに含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子若干、炭化物含む
- 4 褐灰色土 ローム粒子多量、炭化物僅かに含む
- 5 黒褐色土 炭化物粒子若干含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子多量含む
- 7 暗褐色土 ローム粒子・炭化物粒子多く含む

(B-B') 南西辺

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ロームブロック含む
- 3 黒色土 ロームブロック含む 炭化物若干含む
- 4 灰黄褐色土 ローム粒子多く、炭化物若干含む
- 5 暗褐色土 ローム粒子多く、焼土・炭化物粒子含む
- 6 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック若干含む
- 7 黒褐色土 ローム粒子僅か、炭化物粒子多く含む
- 8 黒褐色土 ローム粒子多く、炭化物僅かに含む

(B-B') 北東辺

- 1 褐灰色土 灰黄褐色粘土部分的に含む
- 2 黒褐色土
- 3 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子若干含む
- 4 黒褐色土 ローム粒子多量含む
- 5 黒色土 ローム粒子若干含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子多く含む
- 7 暗褐色土 ロームブロック含む

各溝の規模は、東溝が長さ4.5m以上、幅1.5m、深さ0.6m、西溝が長さ6.0m、最大幅1.2m、深さ0.5m、南溝が長さ5.8m以上、最大幅1.15m、深さ0.35m、北溝が長さ6.5m、最大幅1.3m、深さ0.35mを測る。周溝の断面形はいずれも逆台形を呈する。南北溝・東西溝ともに平行でなく僅かに偏しており、方台部は歪

んだ長方形となっている。

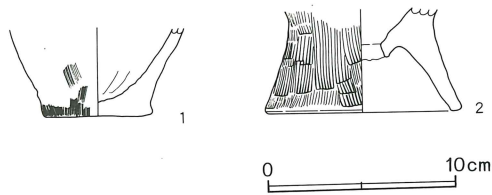
西溝は北端で、南溝は西端で段差を持っている。南溝では東側で一部が深くなっている。北溝は中央付近で二つの段差があり、段差の間が最も深くなっている。

出土遺物(第III図)

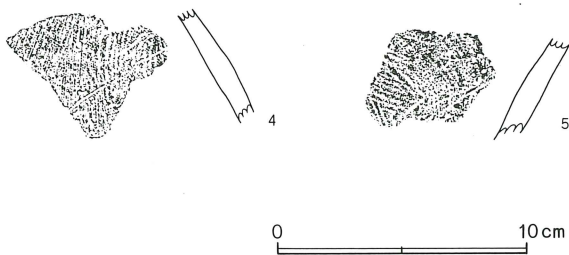
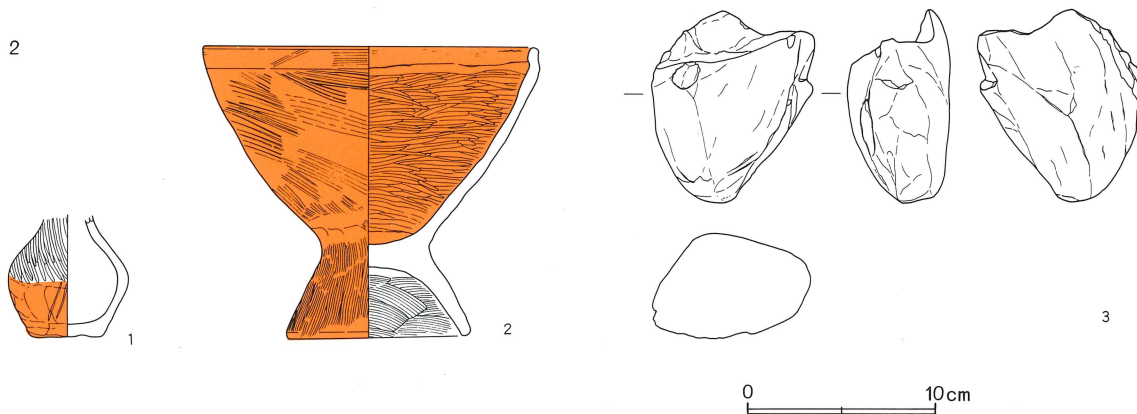
壺の口縁部1点のみが東溝北部より出土した。

第111図 第1・2・3号方形周溝墓出土遺物

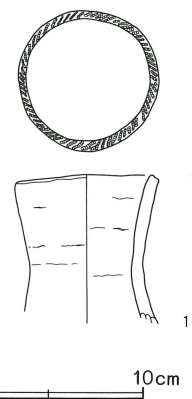
SR 1



SR 2



SR 3



第1号方形周溝墓出土遺物観察表(第III図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	甕			5.8	BS	II	明赤褐	90	南溝溝底 外面刷毛目・工具ナデ 内面工具ナデ 底部篋整形
2	台付甕			(10.4)	RS	II	鈍い黄橙	45	北溝溝底 底部中央に焼成前穿孔 外面粗い刷毛目

第2号方形周溝墓出土遺物観察表(第111図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	小型壺			3.7	ABS	I	鈍い赤褐	90	確認面 口縁部欠損 全面赤彩? 外面上半篋磨き 外面下半横方向篋ナデ 底部篋整形
2	高坏	17.5	15.6	9.8	S	II	鈍い赤褐	90	溝底 外面・坏部内面赤彩 外面横・斜方向刷毛目 脚部縦方向刷毛目 坏部内面横方向篋磨き 脚部内面斜方向刷毛目

第3号方形周溝墓出土遺物観察表(第111図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
	壺	7.6			AS	III	橙	90	東溝覆土中位出土 口唇端部に縄文施文

(3) 土 坑

第197号土坑(第112図)

BW-10・11グリッドに位置する。西側が攪乱を受けているが、平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.44m、短軸0.90m、深さ52cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

出土遺物(第113・114図)

1は壺の口縁で口唇部に刻み目が施されている。

2・3は壺の頸部で、2は縦の刷毛目と縄文が施文され、3は外面に一部に縦の刷毛目が施される。

4～6は甕の底部で、4は横方向のナデ、5は縦の刷毛目で内面は木口状工具のナデが施されている。6は縦に木口状工具によりナデが施されている。

7～9は壺の底部で、7・9は木口状工具によるナデで、8は下端に縦の刷毛目が施されている。

10は台付甕の台部で、外面縦方向の工具ナデ。

11は口縁部で、口唇に刻み目が施され、斜めの刷毛目が施される。12～18は、刷毛目が施されている。

19は内外面とも刷毛目が見られ、外面は刷毛の後に波状文が施されている。20・21は櫛描波状文と平行線が施され、22・24は櫛描波状文、23は櫛描平行線と山形文である。

25～28は沈線で区画し、縄文を施文した「ハ」の字状文を施文。9～31は縄文が施文されたもの。

32は内外面斜め刷毛で、12～18の土器群とは胎土に違いが見られた。

第198号土坑(第112図)

BX-11グリッドに位置する。第40号溝と重複し、平面形は不整円形を呈し、規模は長径1.52m、短径1.24m、深さ44cmを測る。主軸方位はN-52°-Eを指す。

出土遺物(第115図)

甕・壺及び破片が出土した。7は口縁部で口唇部に刻み目を施し、頸部に簾状文が施される。8は折り返し口縁で口唇端部に縄文が施文される。9は櫛描平行文と縄文を施文。10・11は篋描沈線文が施文。

第228号土坑(第112図)

CA-8・9グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.10m、短軸0.98m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-4°-Wを指す。

出土遺物(第116図1)

壺の底部が出土した。復元底径6.0cmを測る。体部下端横ナデ。底部篋削り、外周に木葉痕。体部外面赤彩。

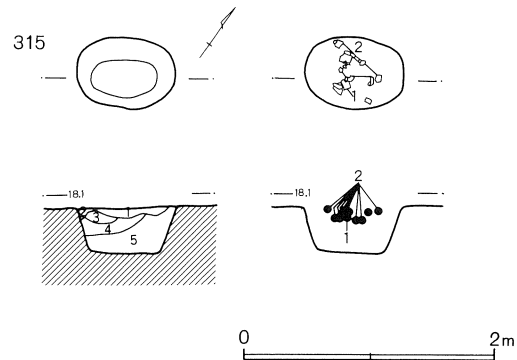
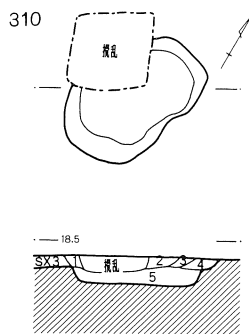
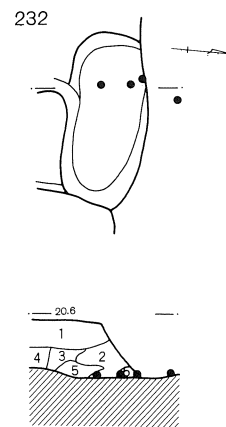
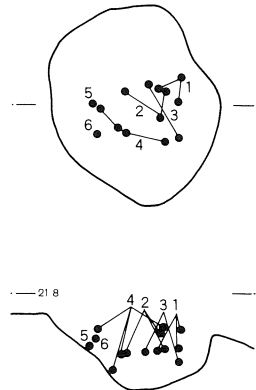
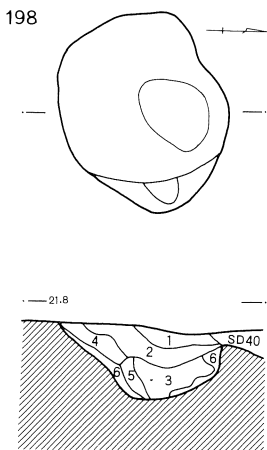
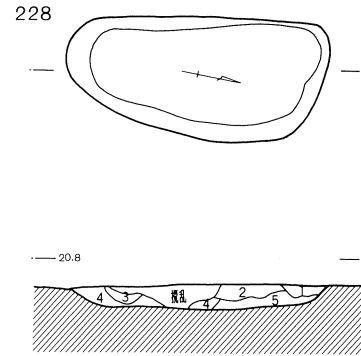
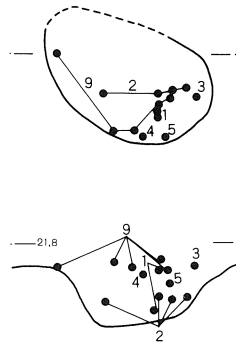
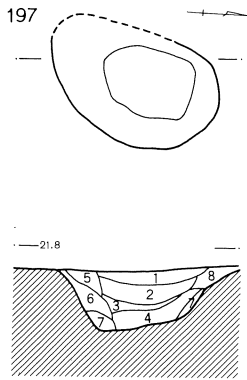
第232号土坑(第112図)

CB-9グリッドに位置する。第2号竪穴状遺構と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.36m以上、短軸0.63m、深さ43cmを測る。主軸方位はN-84°-Wを指す。

出土遺物(第116図2)

甕の口縁部で、復元口径14.6cmを測る。器面磨滅し整形不明である。

第112図 土坑(I)



SK197

- 1 暗褐色土 炭化材多く含む 締まり強い
- 2 暗褐色土
- 3 黒褐色土
- 4 暗褐色土 小礫若干含む
- 5 黒褐色土 焼土若干含む
- 6 褐色土
- 7 褐色土 小礫多く含む
- 8 褐色土 極く締まり強い

SK228

- 1 褐灰色土 黄褐色土粒子多く含む
- 2 黒褐色土 焼土若干含む
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物若干含む
- 4 灰褐色土 焼土ブロック多く含む
- 5 褐色土 黄褐色土粒子若干、炭化物僅か含む

SK310

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 橙色土粒子多く含む 締まり強い
- 3 黒褐色土 締まり強い
- 4 黒色土
- 5 黒色土 橙色土粒子微量含む

SK198

- 1 黒褐色土 焼土粒子若干含む
- 2 黒褐色土 焼土粒子・ローム粒子多く含む 小礫含む 締まりあり
- 3 黒褐色土 小礫多く含む ローム粒子僅かに含む やや締まりあり
- 4 黒褐色土 焼土粒子・小礫若干含む 締まり弱い
- 5 黒褐色土 やや締まりあり
- 6 黒褐色土 ローム粒子・小礫若干含む

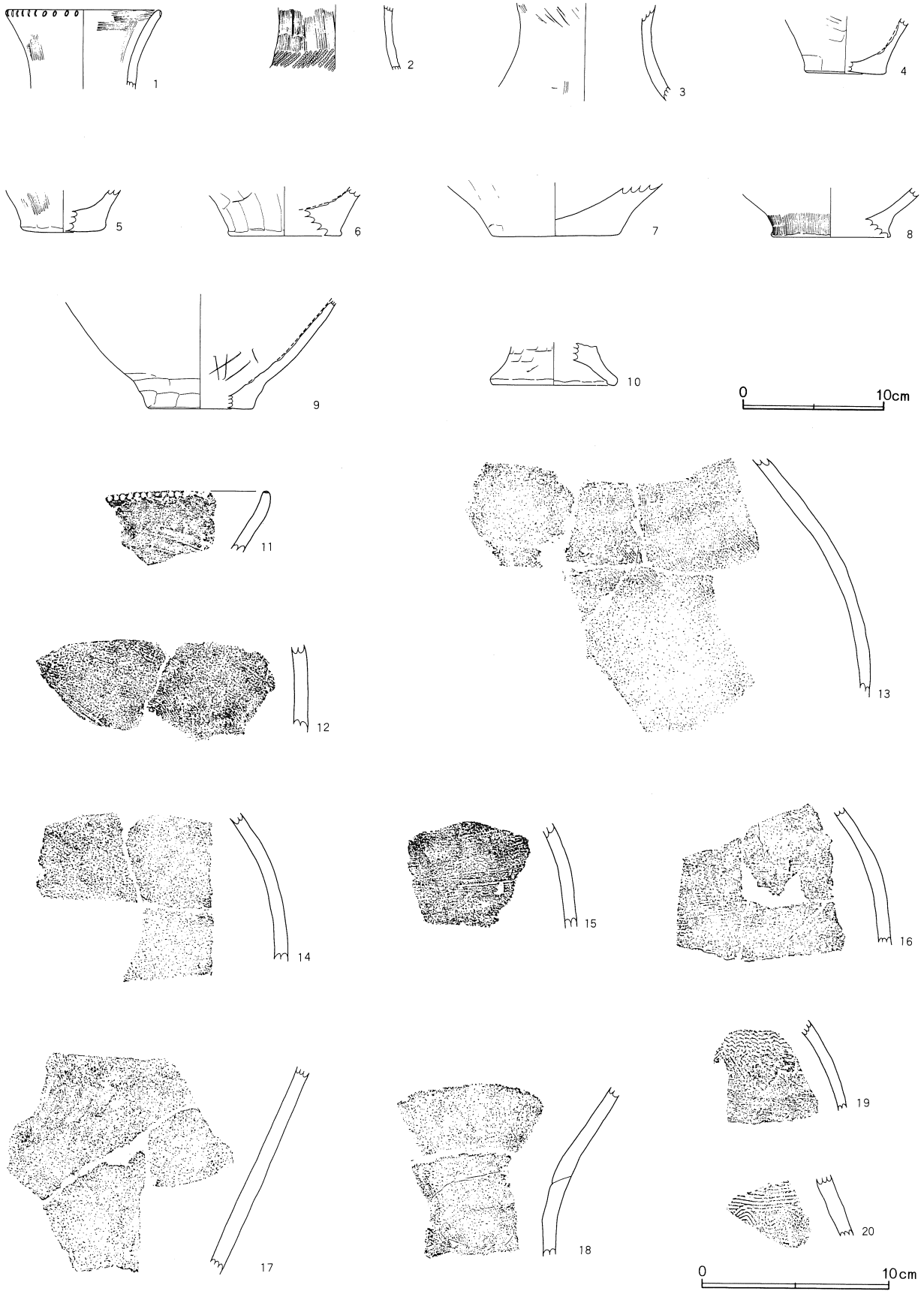
SK232

- 1 褐色土 黒褐色土・焼土粒子若干含む 締まり強い
- 2 褐色土 白色微粒子若干含む
- 3 褐色土 焼土粒子微量含む 極粘性有り 締まり強い
- 4 褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まりあり
- 5 褐色土 焼土・焼土塊多く含む 粘性有り 締まり強い

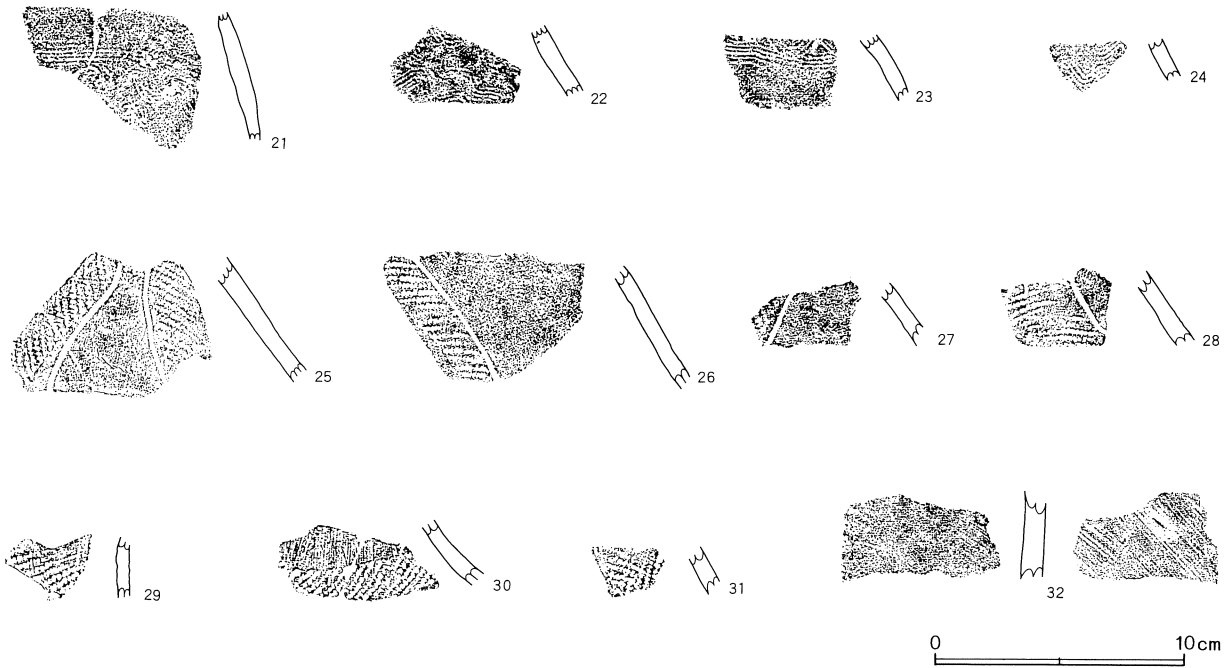
SK315

- 1 褐灰色 炭化物多く、焼土僅かに含む
- 2 黒褐色土 炭化物若干含む
- 3 黒褐色土 粘性有り
- 4 黒色土 焼土・炭化物僅かに含む
- 5 黒褐色土 炭化物多く含む

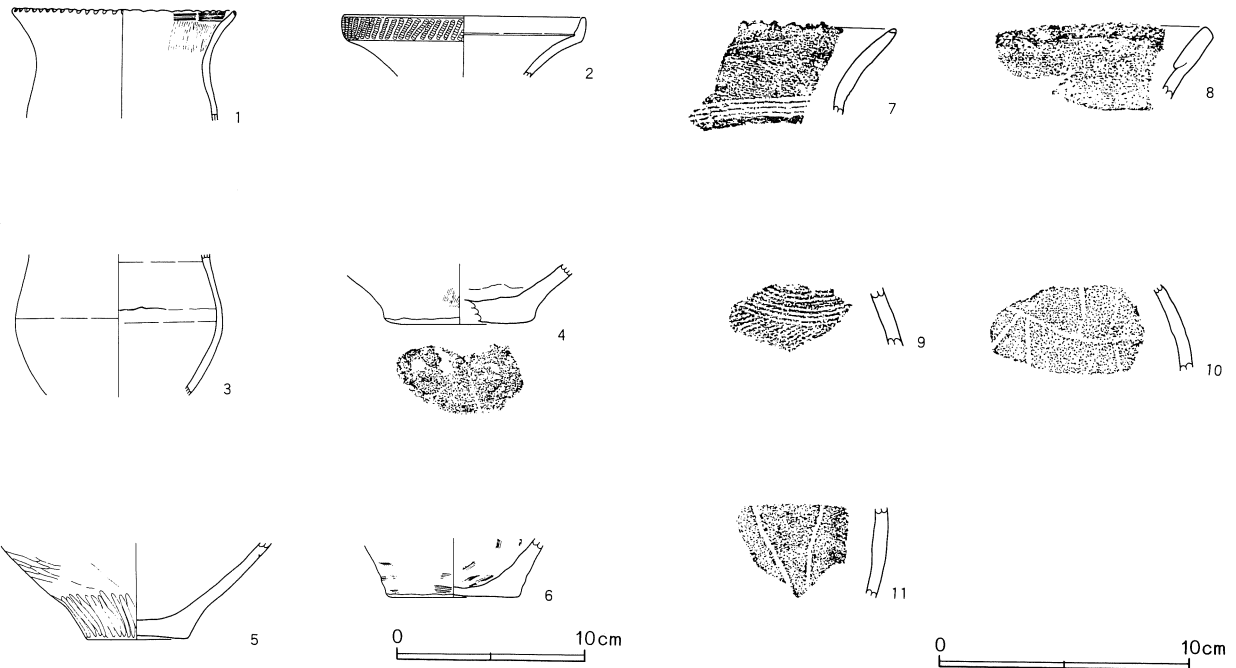
第113图 第197号土坑出土遗物(I)



第114図 第197号土坑出土遺物(2)



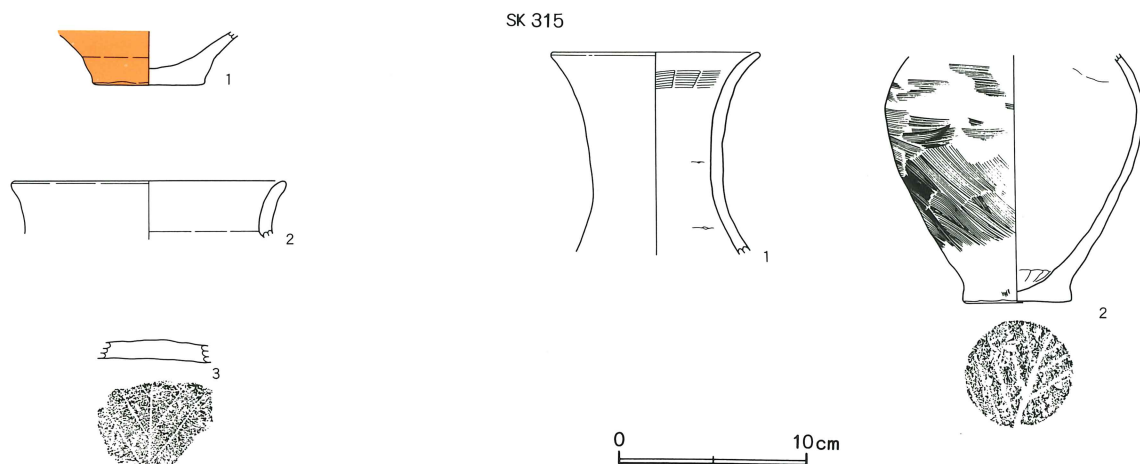
第115図 第198号土坑出土遺物



第198号土坑出土遺物観察表(第115図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	甕	(12.0)			S	III	橙	75	口縁端部指頭押捺により波状を呈す 口縁部内面横方向刷毛目 頸部縦方向刷毛目
2	壺				S	III	橙	35	器壁磨減 胴部最大径(11.1)cm
3	甕	(13.0)			S	III	浅黄	25	口縁部外面縄文施文
4	壺			5.5	S	II	鈍い橙	100	外面上方斜方向篋磨き 下端縦方向篋磨き
5	壺			(8.0)	BS	III	鈍い橙	30	外面刷毛目 底部木葉痕
6	甕			(7.0)	A	II	鈍い黄橙	25	内外面刷毛目

第116図 土坑出土遺物(1)



第315号土坑出土遺物観察表(第116図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	壺	11.2			AS	I	橙	80	外面ナデ 内面口縁部横方向刷毛目
2	甕			5.8	S	I	橙	70	外面上半横方向刷毛目 下半斜方向刷毛目 底部木葉痕

第310号土坑(第112図)

CF-7グリッドに位置する。第3号竪穴状遺構と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.18m、短軸0.49m以上、深さ15cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

出土遺物(第116図3)

壺の底部で、胎土に白色針状物質を含む。底部に木葉痕。

第315号土坑(第112図)

CH-7グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.78m、短軸径0.56m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-60°-Eを指す。

出土遺物(第116図)

壺口縁部と甕が出土した。両者とも覆土上半部からの検出である。

第196号土坑(第117・118図)

BW-10グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.72m、短径0.60m、深さ64cmを測る。主軸方位はN-84°-Eを指す。覆土上層から中層にかけて土師器甕が出土した。

第211号土坑(第117・118図)

BY-9グリッドに位置する。第210・212号土坑と重複する。平面形は方形を呈し、規模は長軸0.78m、短軸0.72m、深さ53cmを測る。主軸方位はN-34°-Wを指す。

土師器甕が覆土上層から出土した。

第235号土坑(第117図)

CB-9グリッドに位置する。第25号住居跡及び第234号土坑と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸2.73m、短軸1.23m、深さ31cmを測る。主軸方位はN-15°-Eを指す。

出土遺物(第118図1~3)

土師器坏・高坏脚部・甕の他に、土師器台付甕、須恵器高台付坏・鉢の破片も覆土中より出土した。

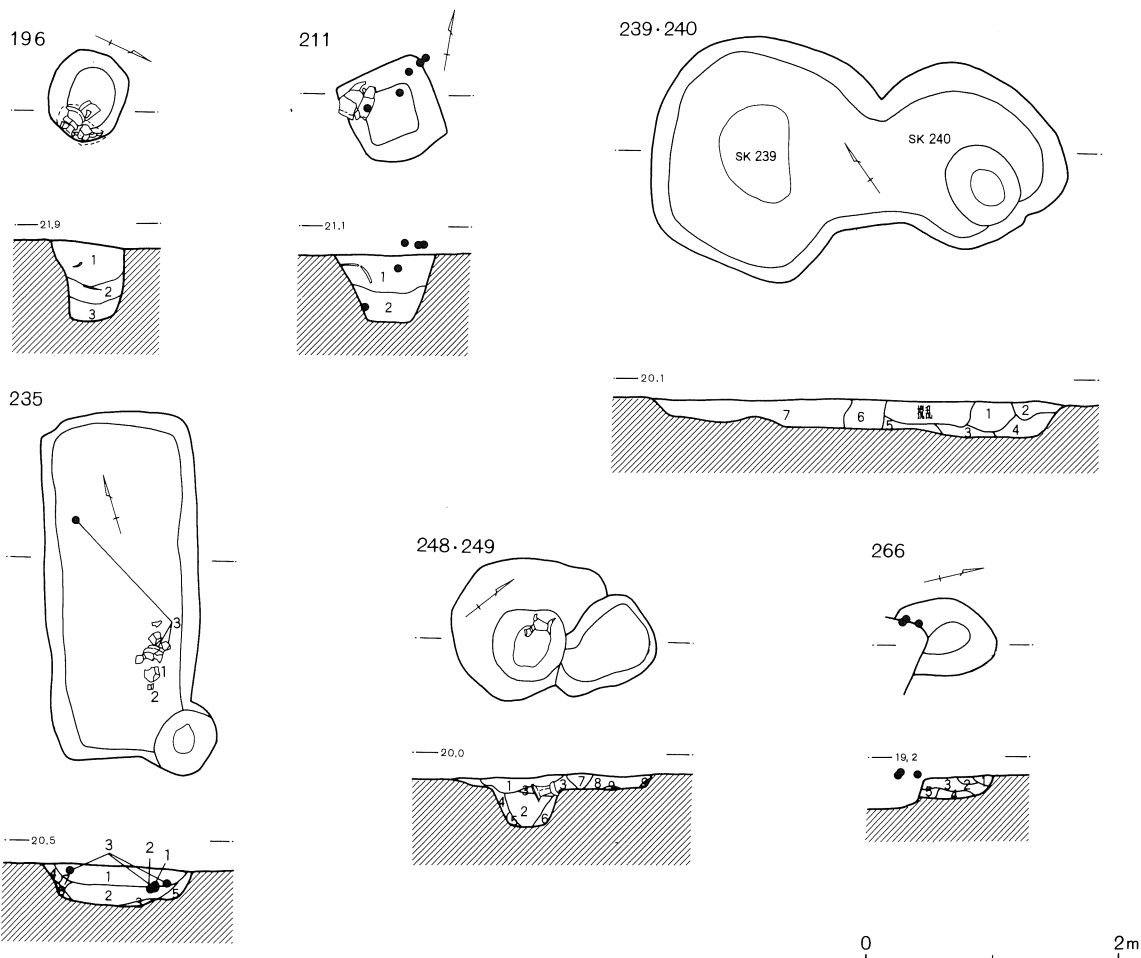
第240号土坑(第117図)

CC-8グリッドに位置する。第239号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.48m、短径1.37m、深さ44cmを測る。主軸方位はN-7°-Wを指す。

出土遺物(第118図1~5)

高坏脚部・器台上部・甕の破片が出土した。

第117図 土坑(2)



SK 196

- 1 暗褐色土 炭化物粒子・橙色土粒子若干含む やや締まりあり
- 2 暗褐色土 炭化材・橙色粒子含む 締まりなし
- 3 暗褐色土 炭化材・褐色土含む 粗粒

SK 211

- 1 黒褐色土 焼土粒子多く、炭化物粒子含む 締まり弱い
- 2 黒褐色土 炭化物粒子多く、焼土粒子含む 締まり弱い

SK 239・240

- 1 褐色土
- 2 褐色土 白色微粒子含む 締まり強い
- 3 黄褐色土
- 4 黒褐色土
- 5 鈍い黄褐色土
- 6 鈍い黄褐色土 橙色土粒子含む
- 7 褐色土 橙色土粒子・黄褐色土粒子若干含む

SK 235

- 1 暗赤褐色土
- 2 暗赤褐色土 黄褐色土粒子・炭化材微量含む やや締まりあり
- 3 暗赤褐色土 黄褐色土粒子極多く含む 締まり強い
- 4 褐色土
- 5 暗褐色土 褐色土粘土粒子多く含む 粒子粗く、粘土質
- 6 暗褐色土
- 7 褐色土粘土

SK 248・249

- 1 黒褐色土 炭化物僅か含む
- 2 暗褐色土 ローム粒子・炭化物僅か含む
- 3 褐色土 炭化物僅か含む 高坏出土
- 4 暗褐色土 ロームブロック含む
- 5 褐色土 ローム粒子含む
- 6 褐色土 ローム粒子多く含む
- 7 黒褐色土 ローム粒子多く含む
- 8 黒褐色土 ローム粒子・炭化物僅か含む
- 9 褐色土 炭化物僅か含む

SK 266

- 1 鈍い黄褐色土 焼土粒子・ローム粒子含む やや粘質
- 2 褐色土
- 3 灰黄褐色土 焼土僅か・ローム粒子多く含む
- 4 黒褐色土 焼土・炭化物・ローム粒子若干含む 粘質
- 5 明黄褐色土 焼土含む 粘質

3は肩部で横刷毛、4はやや粗い斜め刷毛目、5は縦刷毛目。

第248号土坑(第117図)

CB-7グリッドに位置する。第249号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.98m、短軸0.65m、深さ10cmを測る。

第249号土坑(第117・118図)

CB・CC-7グリッドに位置する。第248号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.05m、

短軸1.00m以上、深さ40cmを測る。主軸方位はN-31°-Eを指す。

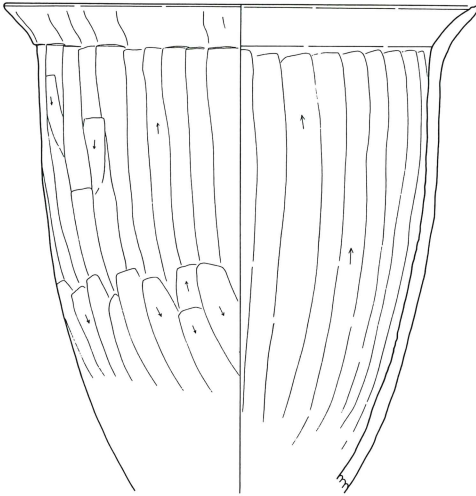
高坏が覆土上層より出土した。

第266号土坑(第117図)

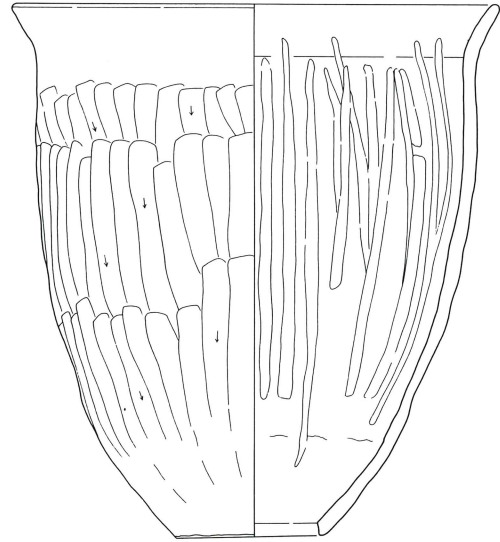
CC-7グリッドに位置する。第37・39号住居跡、第48号溝及び第267号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.83m以上、短軸0.61m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-16°-Eを指す。

第118図 土坑出土遺物(2)

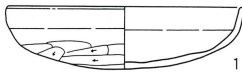
SK 196



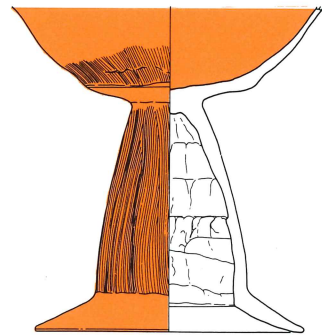
SK 211



SK 235

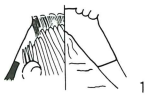


SK 249



0 10cm

SK 240



0 10cm

0 10cm

土坑出土遺物観察表(第118図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
SK196	土師器甕	25.2			S	II	鈍い黄橙	70	内外面縦方向篋削り 内面やや器面荒れる
SK211	甕	26.0	28.4	8.0	RS	II	鈍い橙	95	外面縦方向ナデ 内面横方向工具ナデ後 縦方向磨き状ナデ
1	土師器坏	12.7	3.3		BES	II	橙	85	SK235 内面斑点状の油煙附着
2	高坏				S	II	赤褐	80	SK235 外面・坏部内面赤彩 外面縦方向磨き
3	壺	(16.2)			BJS	II	橙	50	SK235 内面斑点状の油煙附着
SK249	高坏			14.4	HRS	II	鈍い赤褐	80	外面・坏部内面赤彩 脚部外面縦方向刷毛目
1	高坏				S	II	鈍い褐	70	SK240 外面刷毛目後、斜方向磨き 円形透孔
2	器台				BS	II	橙	30	SK240 外面縦方向磨き 円形透孔

3 奈良・平安時代以降の遺構と遺物

(1) 住居跡

第1号住居跡(第119図)

AV-23・24、AW-23・24グリッドに位置する。住居跡確認面ではカマドと壁溝の痕跡が確認できたのみで西壁側は不明である。平面形は長方形を呈し、規模は東西4.15m、南北3.20m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-87°-Wを指す。第23号土坑と重複し、切られている。

カマドは東壁中央のやや南寄りに付設され、全長136cm、焚き口幅78cmを測り、カマド前は土坑状になっている。壁溝は西壁の一部で検出されている。規模は幅14~36cm、深さ約10cmを測る。

出土遺物(第123図)

須恵器杯・瓶がカマドから出土した。

第2号住居跡(第120図)

AX-22グリッドに位置する。西半が調査区域外になっている。平面形は方形を呈するものと推定され、規模は、南北2.07m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-24°-Eを指す。第32号土坑と重複し、切っている。

覆土より須恵器杯・甕片が出土した。

第3号住居跡(第121図)

AY-22グリッドに位置する。平面形は長方形を呈し、規模は南北2.70m、東西2.05m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-20°-Wを指す。

カマドは南壁に付設され全長47cm、焚き口幅56cmを測る。

覆土より、須恵器杯・甕片が出土した。須恵器杯は、底部が回転糸切り離し未調整のものである。

第4号住居跡(第122図)

AZ-22グリッドに位置する。南東部は調査区域外になる。平面形は方形を呈するものと思われる。規模は東西2.90m、南北2.85m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

カマドは東壁に付設され、全長60cm、焚き口幅56cm以上を測る。壁溝は西壁と北壁の一部で検出されている。規模は幅約15cm、深さ約5cmを測る。土坑が住居

中央付近に1基検出されている。平面形は円形を呈し、長径1.0m、短径0.88m、深さ8cmを測り、主軸方位はN-85°-Wを指す。

出土遺物(第123図)

須恵器蓋・土師器甕はカマドから出土した。その他に須恵器蓋片の他、鉄滓が多く出土した。

第5号住居跡(第124図)

BD-21グリッドに位置する。カマドと北壁以外には攪乱を受けている。平面形は方形を呈するものと推定され、規模は東西3.45m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。

カマドは北壁に付設され、全長70cm、焚き口部幅60cmを測る。

覆土より、須恵器杯片などが出土している。

第6号住居跡(第125・126図)

BF・BG-21グリッドに位置する。住居跡東側が調査区域外にあり、南壁付近は攪乱を受けている。北西隅で第94・95号土坑と重複している。平面形は長方形を呈し、規模は南北2.85m、東西3.50m以上、深さ12cmを測る。主軸方位はN-8°-Eを指す。

カマドは北壁に付設され、全長120cm、焚き口幅50cmを測る。壁溝は北壁と西壁、南壁の一部が検出されている。規模は幅18~30cm、深さ約5cmを測る。

出土遺物(第127図)

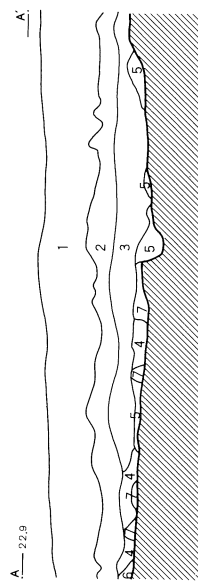
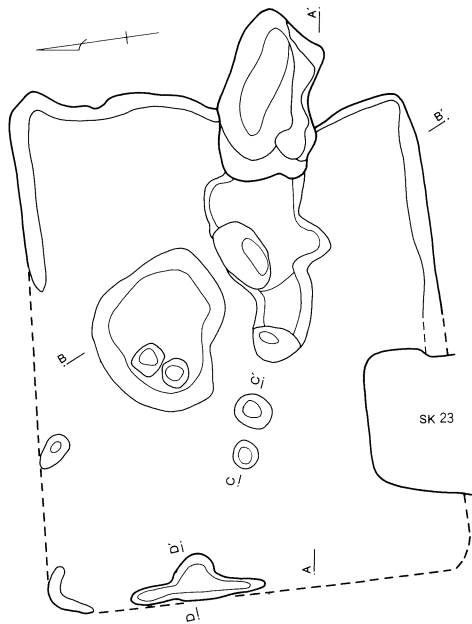
須恵器杯・蓋・椀、土師器甕が出土している。1~8の杯すべてと蓋は床面から出土し、2と6は重ねられた状態で出土した。

第13号住居跡(第128・129図)

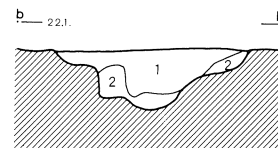
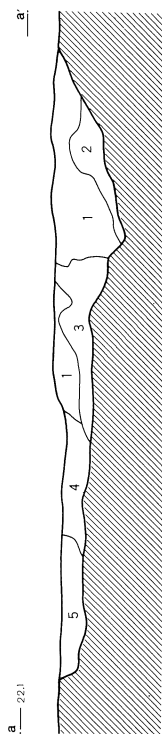
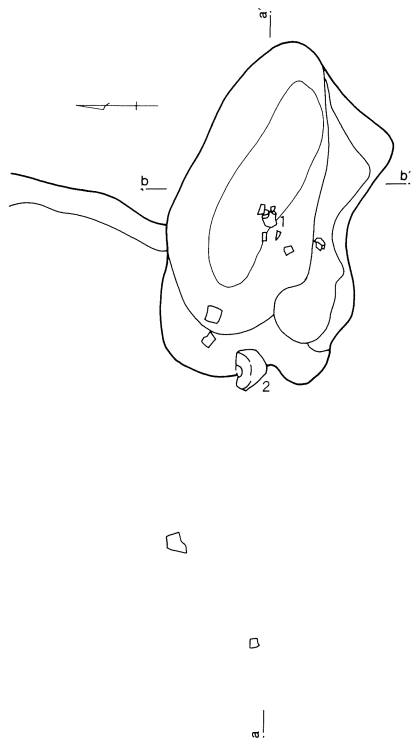
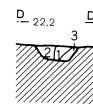
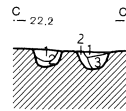
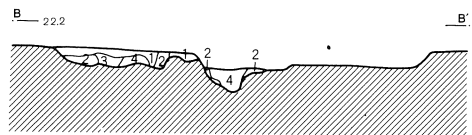
BY-9、BZ-8・9グリッドに位置する。北東隅で第218号土坑と、カマド北側で第219号土坑と重複している。南東隅は攪乱されている。平面形は方形を呈し、規模は東西4.80m、南北5.00m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-55°-Eを指す。

カマドは東壁中央に付設され、全長126cm、焚き口幅72cmを測り、両側に粘土が置かれている。壁溝はカ

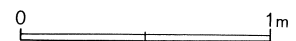
第119図 第I号住居跡



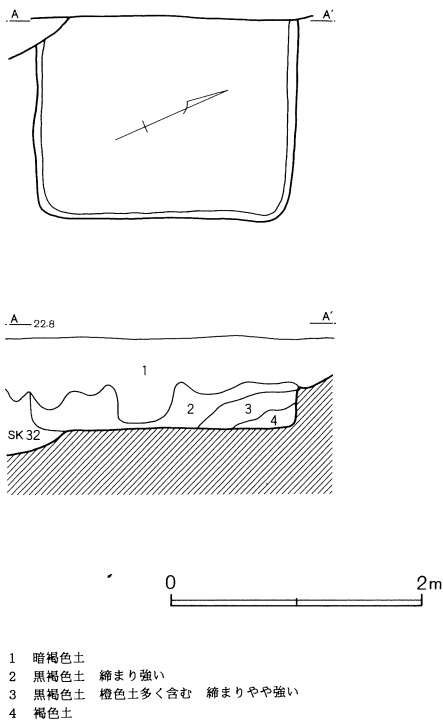
- A-A'
- 1 暗灰褐色土 (表土)
 - 2 黒褐色土 やや締まりあり
 - 3 黒褐色土 黄褐色土微粒子多く含む
 - 4 淡黒褐色土
 - 5 暗褐色土 ローム・ローム粒子多く含む
 - 6 淡黒褐色土 ローム含む 締まり強い
 - 7 黄褐色土
- B-B'
- 1 黒色土
 - 2 灰黄褐色土
 - 3 黒色土 灰黄褐色土・黄褐色土含む
 - 4 暗灰黄褐色土 ロームブロック含む
- C-C'
- 1 黒色土
 - 2 暗黄褐色土 黒色土多く含む
 - 3 黒色土・黄褐色土混合土
- D-D'
- 1 黒色土
 - 2 灰黄褐色土
 - 3 黄褐色土 黒色土若干含む



- 1 黒褐色土 焼土粒子・炭化物・ローム粒子多く含む
- 2 暗茶褐色土 ローム粒子・小ブロック多く含む
- 3 暗黄褐色土 黒褐色土多く含む やや粘質
- 4 暗褐色土 黒褐色土多く含む
- 5 淡黒褐色土 ローム粒子含む



第120図 第2号住居跡



マドを除いて全周している。規模は幅約20~40cm、深さ約10cmを測る。ピットは11基確認され、ピット2・4・6・10が支柱穴である。土坑は住居内の西壁寄り中央に1基検出されている。

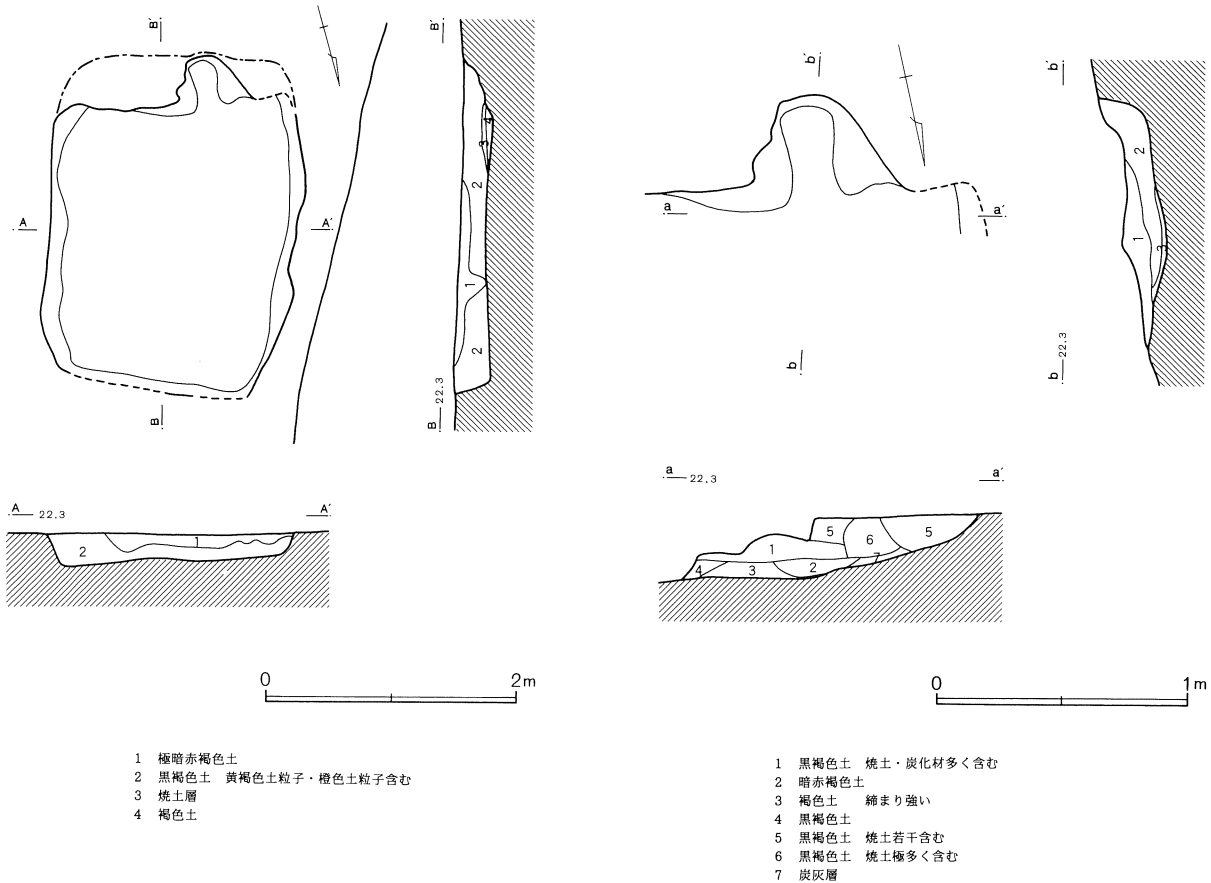
出土遺物(第130図)

須恵器坏・高台付椀・鉢、土師器坏・甕などが出土した。1・2・3・4は床面直上から出土した。3は内黒土器である。

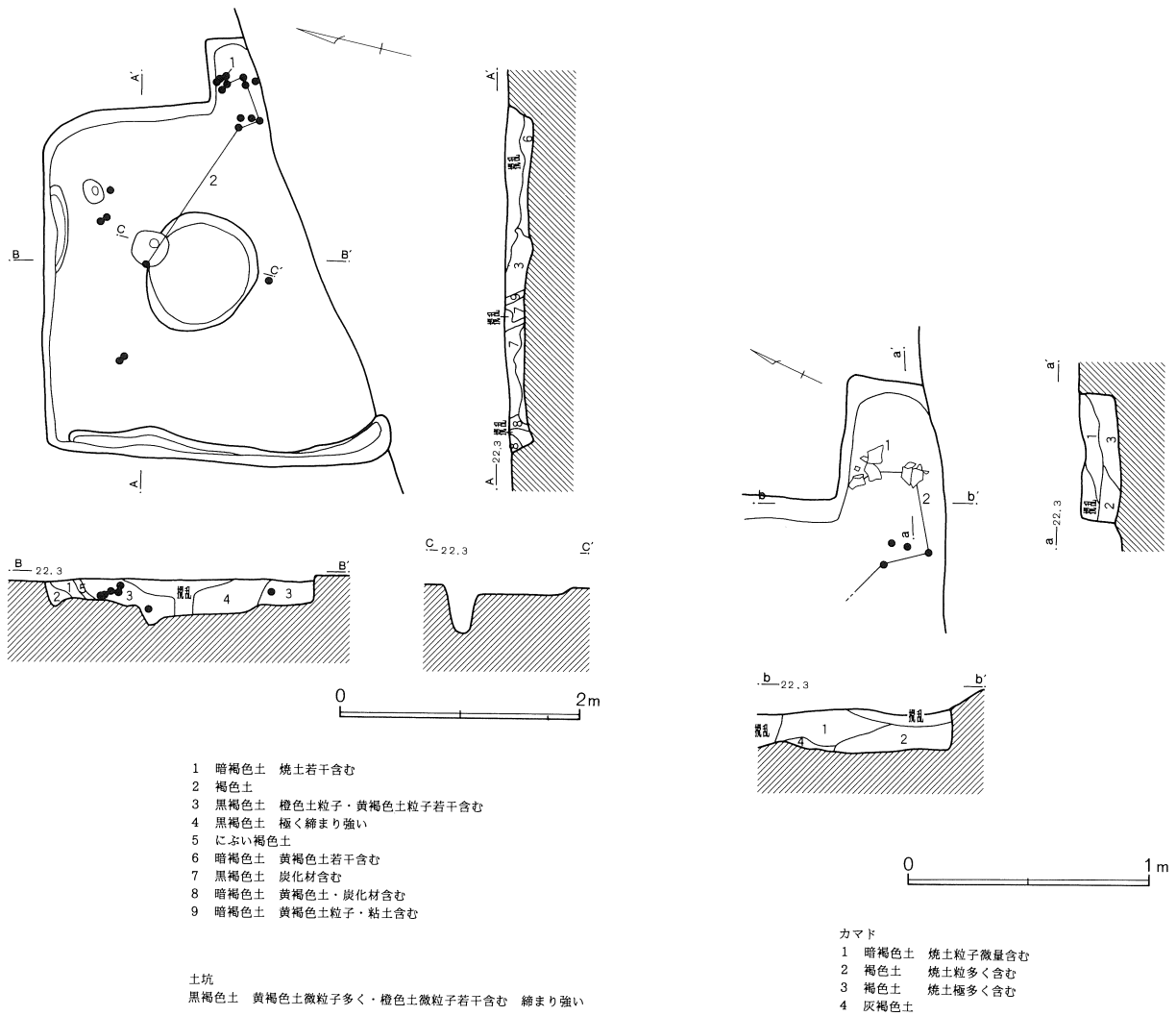
第14号住居跡(第131図)

BZ-8グリッドに位置する。住居北西部は調査区域外にあり、北隅で第16号住居跡を切り、第15号住居跡を壊すように造られている南東壁と南西壁が依存しているだけで、平面形は方形を呈するものと推定される。規模は南東壁4.93m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-38°-Eを指す。

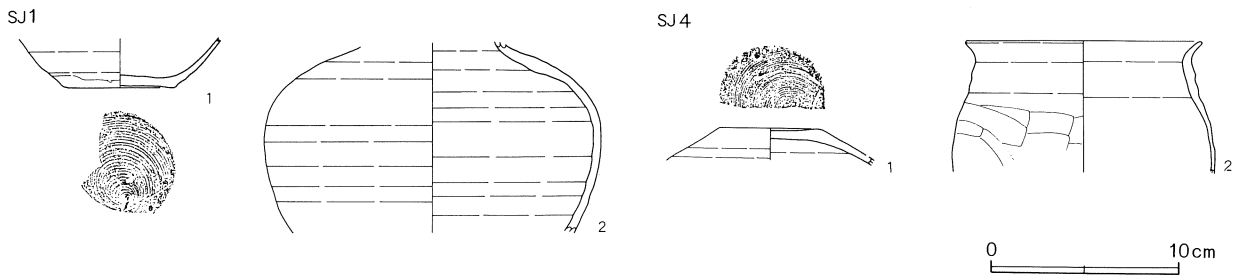
第121図 第3号住居跡



第122図 第4号住居跡



第123図 第1・4号住居跡出土遺物



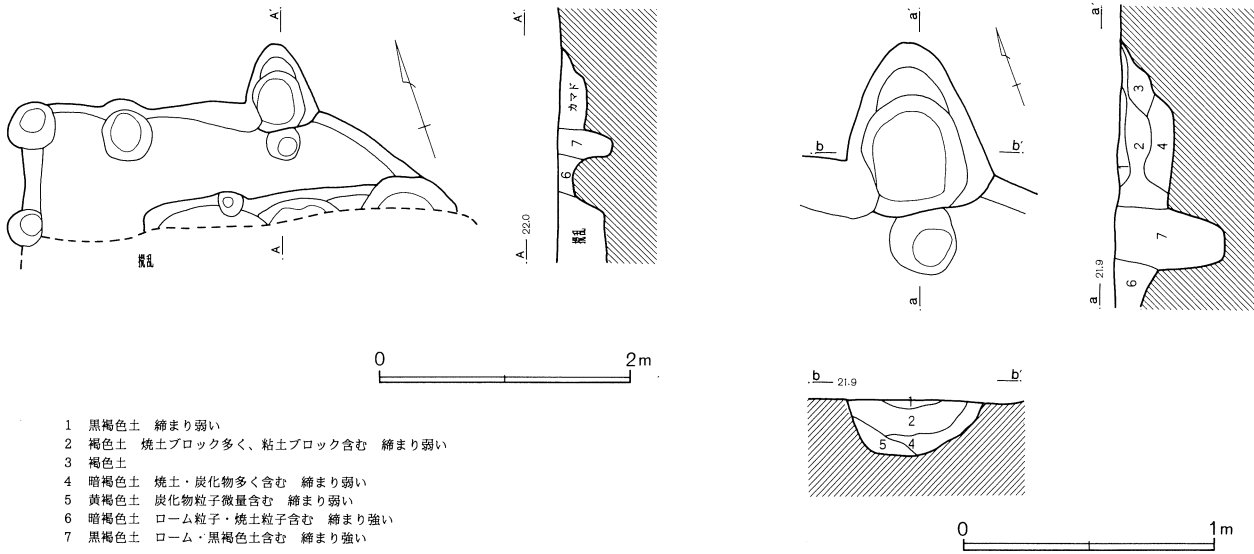
第1号住居跡出土遺物観察(第122図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器環			(5.8)	ABS	I	灰	45	カマド RC
2	瓶				ABRS	I	灰	25	カマド 内面ロクロ痕顕著

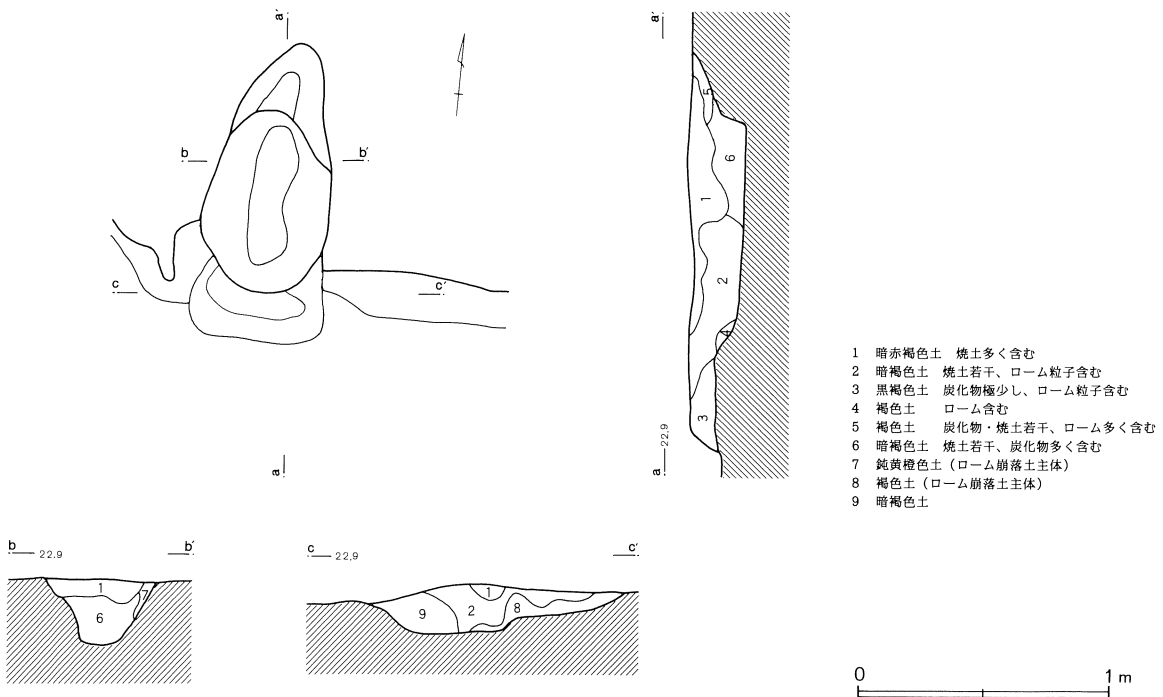
第4号住居跡出土遺物観察表(第122図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器蓋				ABS	II	鈍い黄橙	20	カマド 天井部回転糸切り 天井部径5.5cm
2	土師器甕	12.6			BHS	III	暗赤褐	70	カマド 胴部横方向篋削り

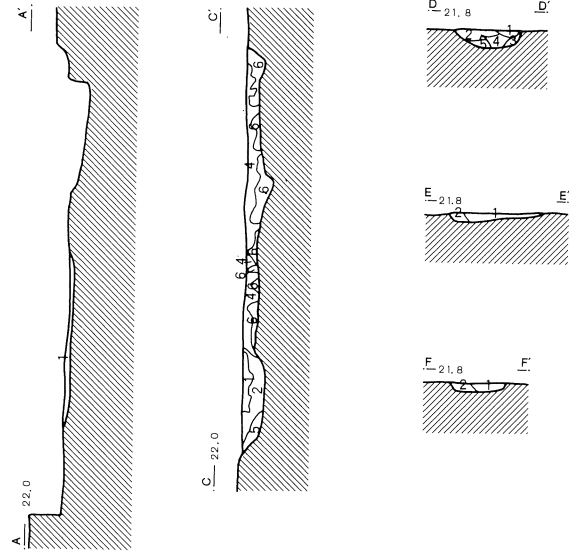
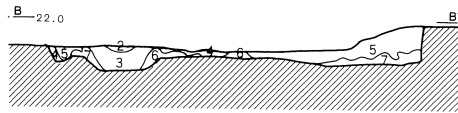
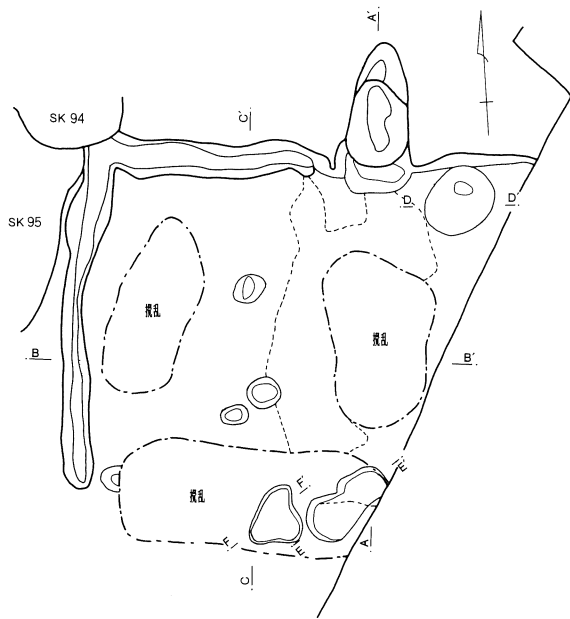
第124図 第5号住居跡



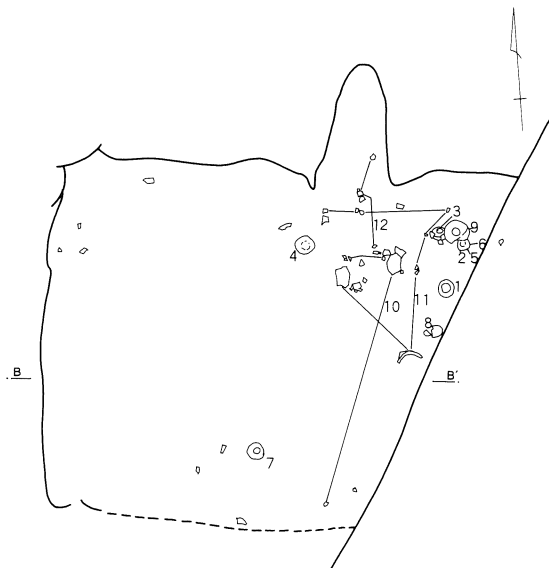
第125図 第6号住居跡カマド



第126図 第6号住居跡



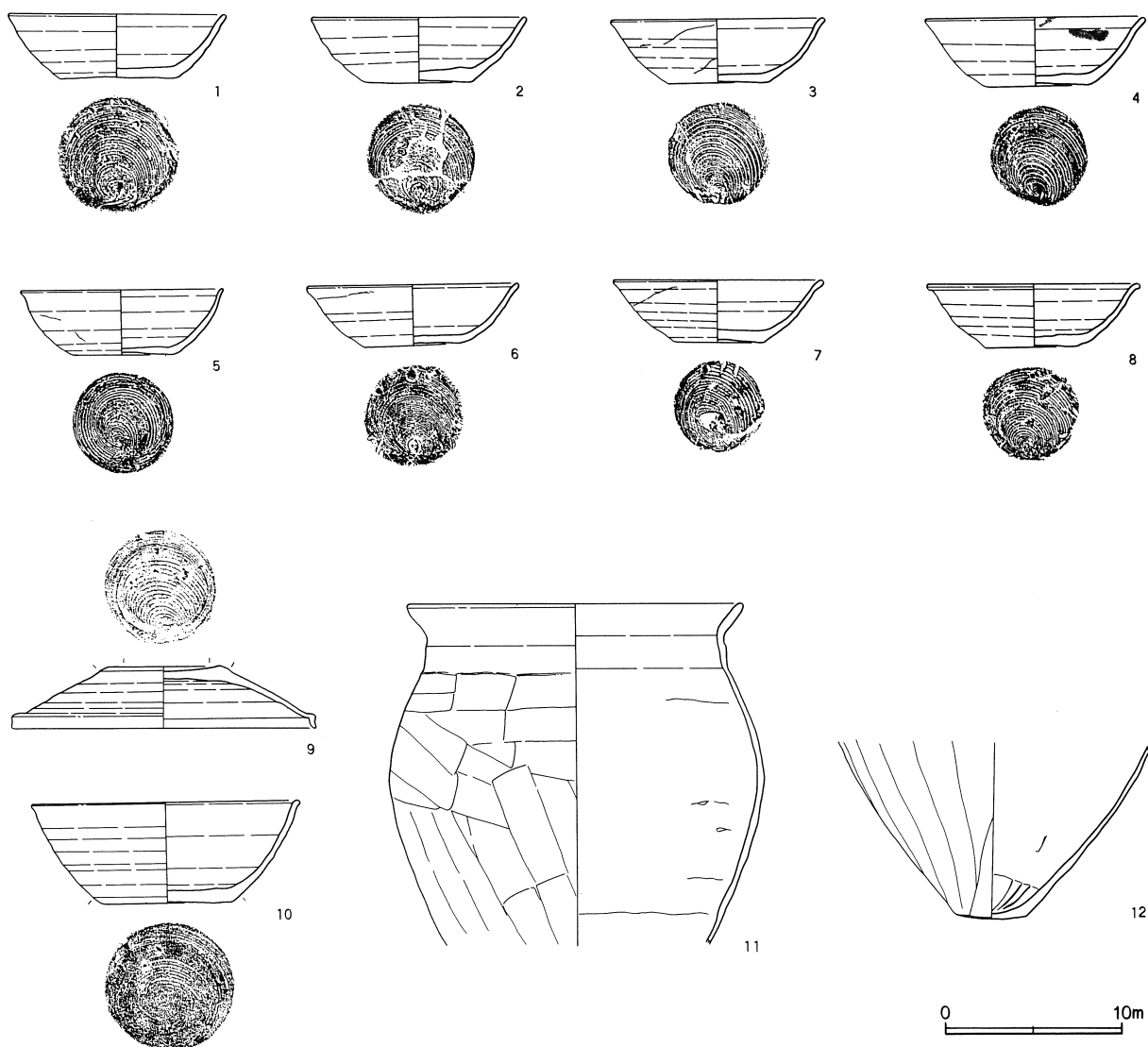
- 1 黒褐色土 炭化物粒子・赤色土粒子・ローム粒子若干含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子多く含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子少し含む
- 4 黒褐色土 炭化物粒子・ローム粒子含む
- 5 黒褐色土 炭化物粒子微量含む
- 6 暗褐色土 ロームブロック多く含む
- 7 暗褐色土 ローム粒子多く含む



- D-D'
- 1 暗褐色土 黄褐色土含む
 - 2 暗褐色土 焼土粒子微量含む
 - 3 褐色土 締まり強い
 - 4 褐色土 焼土粒子微量含む
 - 5 褐色土 暗褐色土若干含む
- E-E'
- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子・焼土粒子・炭化物粒子微量含む
 - 2 暗褐色土 黄褐色土若干含む 締まり強い
- F-F'
- 1 暗褐色土 黄褐色土含む
 - 2 暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む



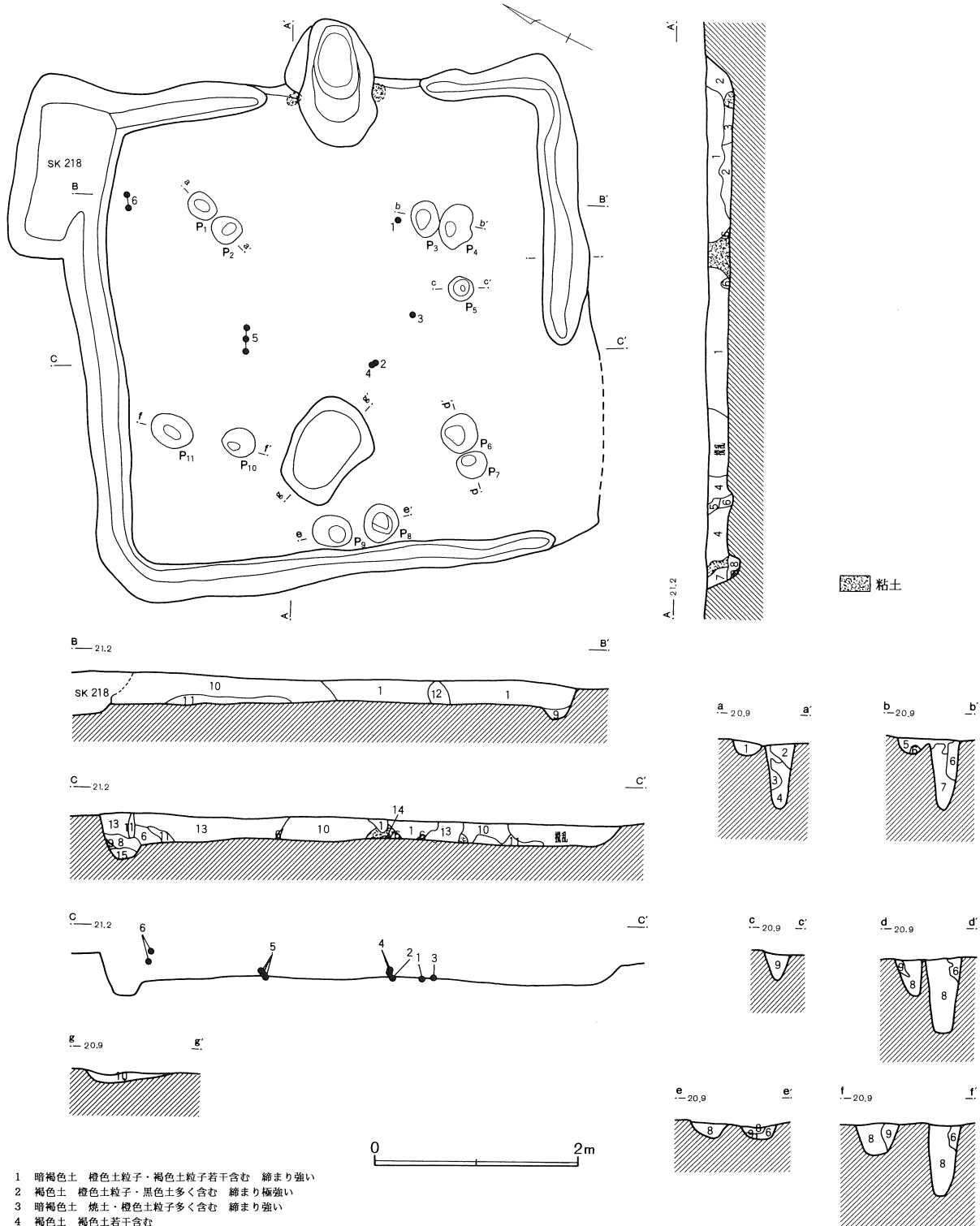
第127図 第6号住居跡出土遺物



第6号住居跡出土遺物観察表(第127図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器 坏	12.3	3.6	6.4	ACRS	I	浅黄橙	100	床直 RC
2	坏	12.2	3.7	5.9	ABS	I	灰黄	95	床直 RC 器壁剥離顕著
3	坏	12.1	3.6	5.6	ABS	I	鈍い黄橙	100	床直 RC 挽き上げ痕
4	坏	12.5	3.9	5.6	ACRS	I	鈍い橙	100	床直 RC 口縁部内外面油煙付着 灯明皿
5	坏	11.5	3.6	5.7	ABCRS	I	灰	100	床直 RC 挽き上げ痕
6	坏	12.0	3.4	5.5	ABS	I	鈍い橙	100	床直 RC 底部周縁に筥起こし痕 挽き上げ痕
7	坏	11.9	3.5	5.1	ABRS	I	灰黄褐	100	床直 RC 挽き上げ痕
8	坏	12.1	3.5	5.3	ABS	I	黄灰	95	床直 RC 体部に糸引き抜き痕あり
9	蓋	17.1	3.5		ABCRS	I	灰白	100	床直 天井部回転糸切り後外周右回転筥削り
10	椀	(15.2)	5.7	7.2	ABCHRS	I	灰白	60	RA 体部下端に回転筥削り及ぶ
11	土師器 甕	(19.0)			BES	II	橙	60	胴部外面上部←方向・下半↓方向筥削り
12	甕			4.0	BES	II	鈍い褐	45	胴部外面↓方向筥削り 底部一方向筥削り

第128図 第13号住居跡

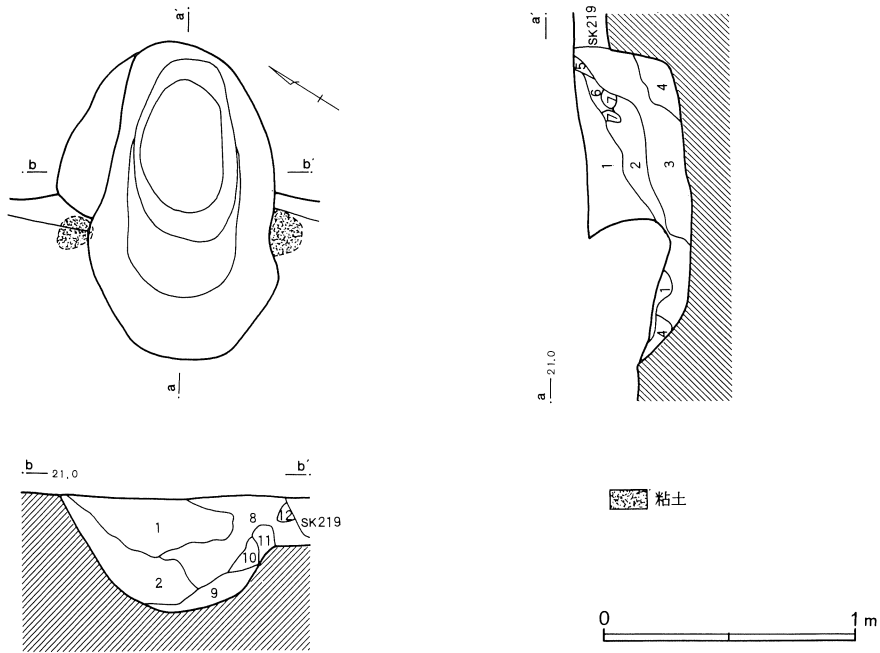


- 1 暗褐色土 橙色土粒子・褐色土粒子若干含む 締まり強い
- 2 褐色土 橙色土粒子・黒色土多く含む 締まり極強い
- 3 暗褐色土 焼土・橙色土粒子多く含む 締まり強い
- 4 褐色土 褐色土若干含む
- 5 暗褐色土
- 6 褐色土
- 7 暗褐色土 橙色土粒子微量含む 締まり弱い
- 8 暗褐色土 ローム粒子多く含む 締まり強い
- 9 明褐色土
- 10 褐色土 締まり弱い
- 11 褐色土 褐色土多く含む
- 12 暗褐色土 橙色土粒子・炭化物粒子含む 極締まり強い
- 13 褐色土 やや締まり強い
- 14 褐色土 締まり強い
- 15 褐色土 黒褐色土多く含む 締まり弱い

ピット1～11・土坑

- 1 暗褐色土 焼土やや多く、ロームブロック含む やや締まっている
- 2 暗褐色土 炭化物粒子若干・灰色粘土ブロック含む やや締まりあり
- 3 黄褐色土 ローム崩土多く含む 締まり弱い
- 4 暗褐色土 締まり弱い
- 5 黒褐色土 焼土粒子多く含む 締まりあり
- 6 黄褐色土
- 7 暗褐色土 焼土若干・ローム微粒子多く含む やや締まりあり
- 8 黒褐色土 僅かに焼土・炭化物微粒子、ローム粒子若干含む 締まり弱い
- 9 褐色土 ローム含む
- 10 黒褐色土 ロームブロック含む

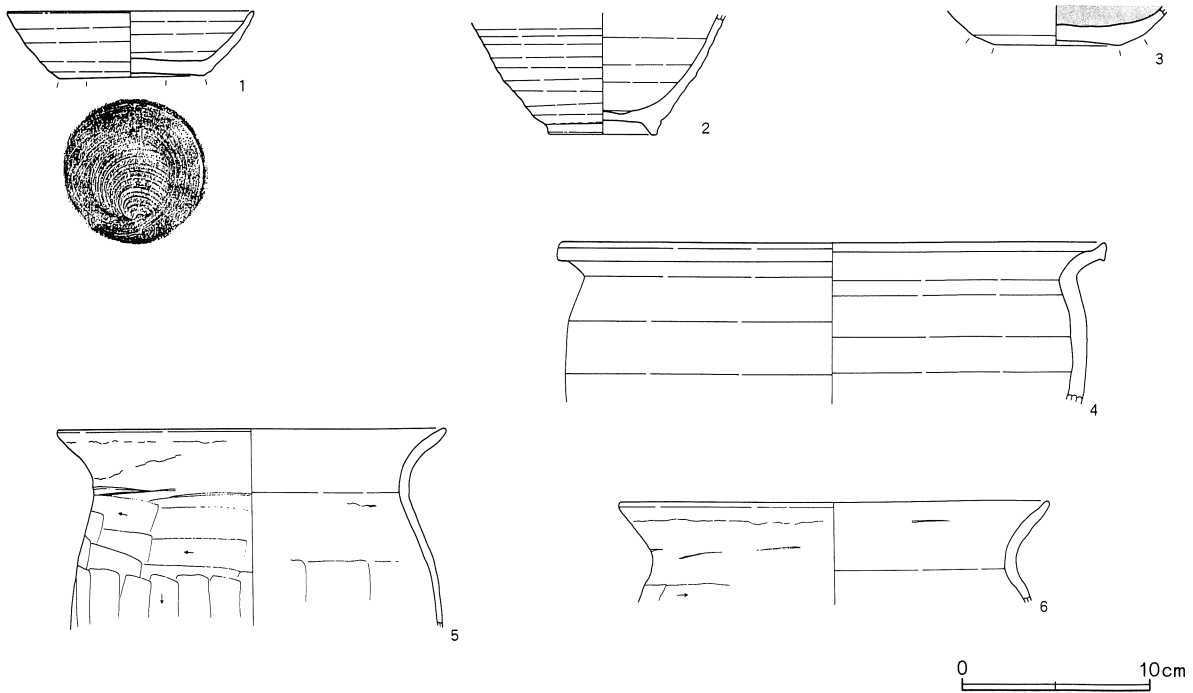
第129図 第13号住居跡カマド



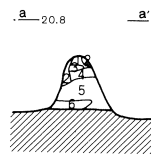
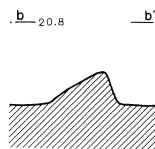
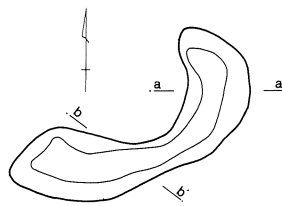
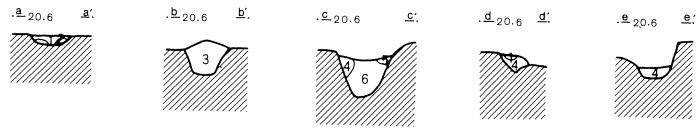
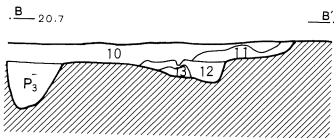
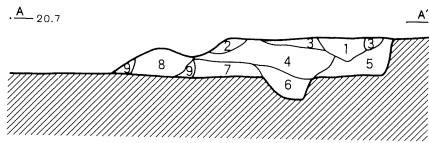
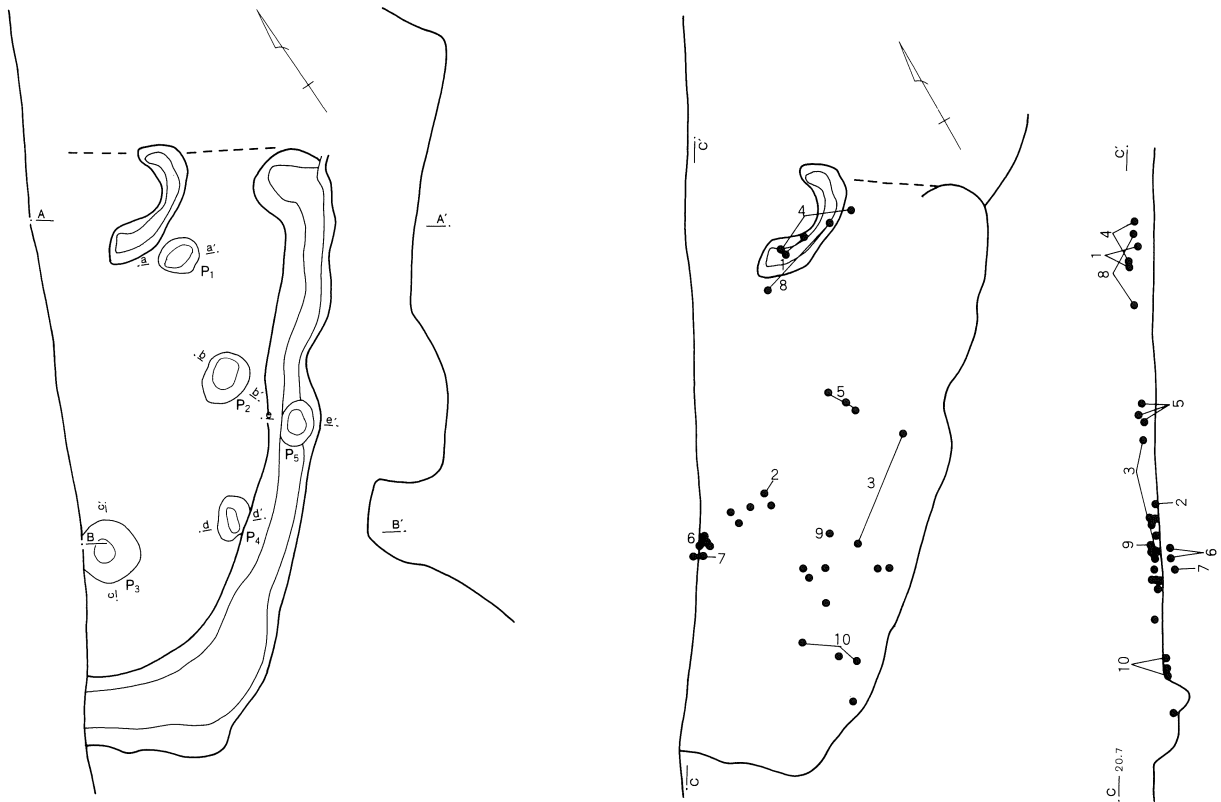
- 1 鈍い赤褐色土 焼土若干含む 締まり強い
- 2 暗赤褐色 焼土少し含む
- 3 暗褐色土 焼土極多く含む
- 4 鈍い褐色土 焼土若干含む 粘質
- 5 黒褐色土 やや締まりなし
- 6 極暗赤褐色土 僅かに焼土含む

- 7 褐色土ロームブロック
- 8 暗褐色土 焼土・炭化物若干含む やや締まる
- 9 褐色土 焼土・黄褐色土層量含む締まり強い 粘土質
- 10 暗赤褐色土 焼土若干含む 締まりあり
- 11 鈍い赤褐色土 焼土含む 締まりあり 粘質土
- 12 黄褐色土ロームブロック

第130図 第13号住居跡出土遺物



第131図 第14号住居跡



(A-A'・B-B')

- 1 褐色土
- 2 褐色土
- 3 褐色土 黄褐色土粒子含む
- 4 褐色土 やや締まりあり
- 5 褐色土 黄褐色土粒子含む 締まり弱い
- 6 褐色土 黄褐色土多く含む
- 7 褐色土 橙色土粒子・黄褐色土粒子微量含む 締まりあり
- 8 褐色土 黄褐色土・焼土含む
- 9 褐色土 粘土質 締まり強い
- 10 黒褐色土 焼土・炭化物含む 締まりあり
- 11 黒褐色土
- 12 黒褐色土 ローム粒子多く含む
- 13 黒褐色土 ローム粒子多く、炭化物含む

ピット

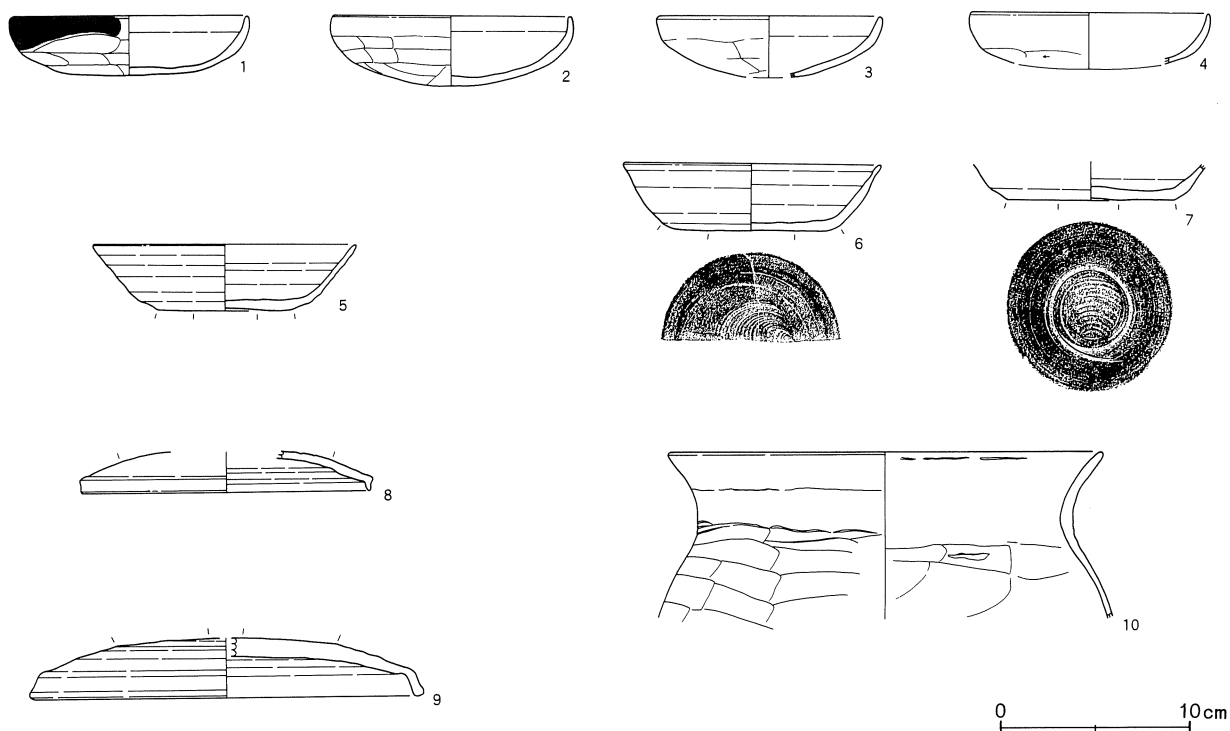
- 1 暗褐色土 ローム粒子含む 締まり強い
- 2 明黄褐色土
- 3 暗褐色土 ロームブロック含む 締まり強い
- 4 褐色土 ローム含む 極締まり強い
- 5 黒褐色土 炭化物・焼土粒子若干含む 締まり強い
- 6 黒褐色土 ローム粒子含む 締まり強い

- 1 灰黄褐色土 粘土ブロック含む 粘性強い灰色粘土
- 2 鈍黄褐色土 焼土・粘土含む 締まり弱い
- 3 鈍黄褐色土
- 4 鈍い褐色土 炭化物粒子僅か含む やや締まりあり
- 5 褐色土 橙色土粒子・黒褐色土粒子含む 若干締まりあり
- 6 暗赤褐色土 黒褐色土多く含む やや締まりあり

第13号住居跡出土遺物観察表(第130図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器坏	13.2	3.6	7.8	AS	I	灰	90	床直 RBb
2	高台付椀			5.9	ARS	II	灰白	40	床直 貼り付け高台 ロクロ痕顕著
3	土師器坏			6.6	BS	I	橙	75	床直 内黒土器 底部内外面一部篋磨き
4	須恵器鉢	(28.8)			AS	II	灰白	10	
5	土師器甕	20.8			BEJ	II	橙	80	体部上位←方向、以下は↓方向のへら削り
6	甕	(23.0)			JS	II	橙	15	口縁部接合痕 胴部→方向篋削り

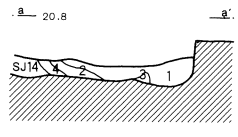
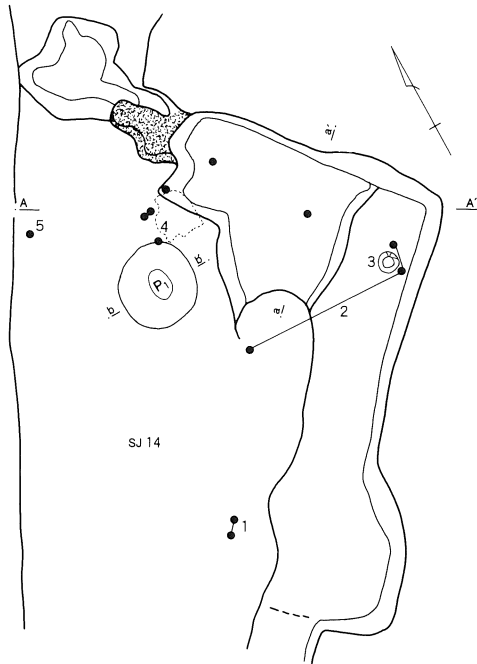
第132図 第14号住居跡出土遺物



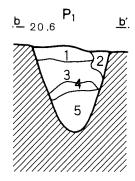
第14号住居跡出土遺物観察表(第132図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器坏	(12.6)	3.1		BJS	II	鈍い黄橙	45	体部篋削り 口縁部外面煤付着
2	坏	(12.8)	3.7		JS	II	橙	40	口縁部横ナデ 直立 体部篋削り
3	坏	(12.6)			EJS	II	橙	20	体部篋削り
4	坏	(12.8)			J	II	鈍い橙	25	口縁部横ナデ 底部篋削り
5	須恵器坏	(14.0)	3.4	(7.3)	AB	I	灰	25	RBb
6	坏	(13.8)	3.6	(8.0)	ABS	I	灰	45	ピット3 RBb体部下端に回転篋削り及ぶ
7	椀			(9.0)	ABS	I	灰	80	RBb
8	蓋	(15.4)			ABS	I	灰	20	ピット3 天井部右回転篋削り
9	蓋	(21.0)			ABS	I	灰白	15	天井部右回転篋削り 糸切り痕残る
10	土師器壺	(23.2)			BEHJS	II	橙	10	胴部←方向篋削り

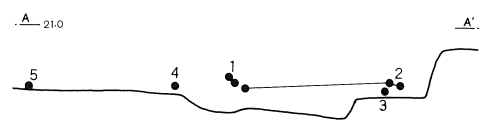
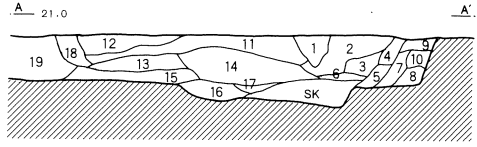
第133図 第15号住居跡



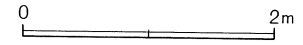
- 土坑
- 1 褐色土
 - 2 暗赤色土
 - 3 暗褐色土 締まり強い
 - 4 暗黄褐色土



- ピット
- 1 鈍黄褐色土 焼土粒子・炭化物含む やや締まりあり
 - 2 褐色土 ロームブロック・若干炭化物含む 締まり弱い
 - 3 褐色土 炭化物ロームブロック若干含む 締まり弱い
 - 4 暗褐色土 ローム粒子含む 締まり弱い
 - 5 暗褐色土 ロームブロック含む

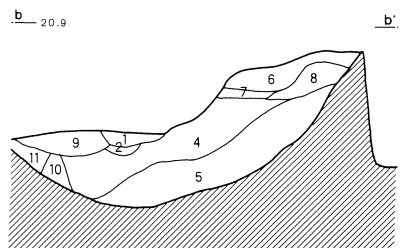
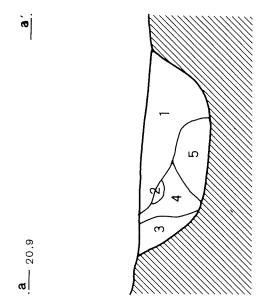
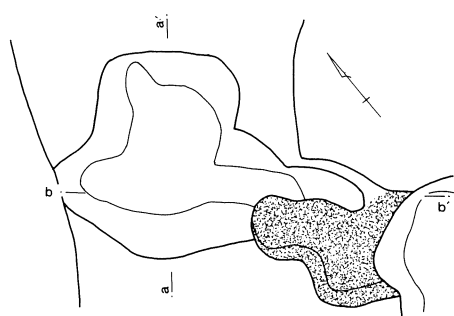


粘土

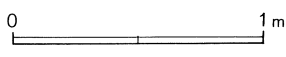


- 1 暗褐色土 締まり強い
- 2 褐色土 橙色土多く含む 締まり強い
- 3 褐色土 締まり強い
- 4 暗赤褐色土 橙色土若干含む
- 5 褐色土 粘土質 締まり強い
- 6 褐色土 黒褐色土若干含む 締まり強い
- 7 褐色土 橙色土粒子・カーボン若干含む
- 8 鈍黄褐色土 灰色粘土含む 粘土質
- 9 褐色土 橙色土微塵含む

- 10 暗褐色土 橙色土粒子多く含む 締まり強い
- 11 褐色土 締まりなし
- 12 褐色土 暗褐色土多く含む
- 13 暗褐色土
- 14 暗褐色土 橙色土粒子・黄褐色土粒子多く含む やや締まりあり
- 15 暗褐色土
- 16 褐色土 橙色土・暗褐色土多く含む 締まり強い
- 17 褐色土
- 18 暗褐色土
- 19 暗褐色土 褐色土若干含む やや締まりあり



- カマド
- 1 焼土
 - 2 暗赤褐色土 炭化物多く含む
 - 3 暗赤褐色土 焼土ブロック含む
 - 4 褐色土 炭化物・焼土・粘土少し含む
 - 5 暗赤褐色土 焼土ブロック含む
 - 6 暗褐色土 焼土・炭化物粒子若干含む
 - 7 暗褐色土
 - 8 褐色土 締まりあり
 - 9 極暗赤褐色土 焼土粒子・炭化物含む
 - 10 褐色土 粘土質 締まり強い
 - 11 黒褐色土 焼土若干含む 締まりあり



カマドは北東壁に付設され、全長140cmを測る。壁溝は南東壁と南西壁で検出され、規模は幅約34~70cm、深さ約15cmを測る。ピットは5基検出されている。

出土遺物(第132図)

土師器坏・壺、須恵器坏・椀・蓋が出土した。6・7の2点はピット3から出土した。須恵器坏・椀の底部はいずれも回転糸切り後の周辺へラ削りである。

第15号住居跡(第133図)

BY・BZ-8グリッドに位置する。住居跡西側の大半を第14号住居跡に切られている。南東壁と北東壁しか遺存していない。平面形は長方形を呈するものと推定され、南東壁3.65m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-40°-Eを指す。

カマドは北東壁に付設され、全長83cm、焚き口幅約80cmを測る。東側袖部相当部分に粘土が検出された。ピットが1基検出された。

出土遺物(第134図)

須恵器坏、土師器甕、鉄鏃が出土した。3は住居跡東隅の床面から出土し、4はピットの東にまとまって出土した。5は平造三角形式の鉄鏃で僅かな逆刺を持つ、重さは13.52gである。

第20号住居跡(第135図)

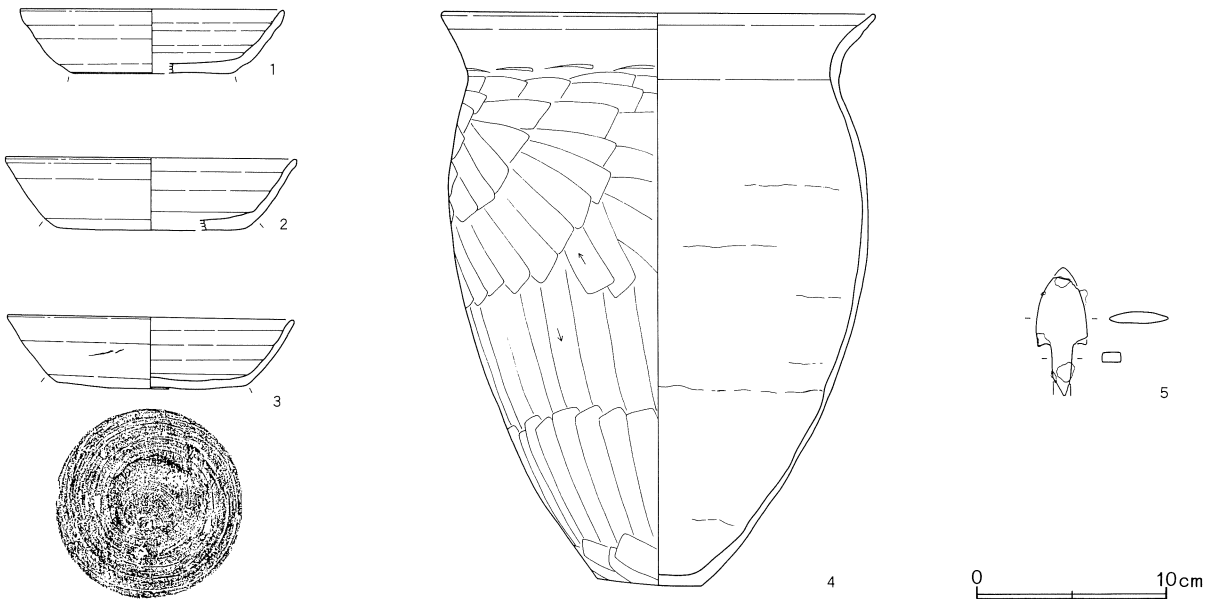
CA-9グリッドに位置する。平面形は方形を呈し、規模は南北3.68m、東西3.47m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

カマドは北壁中央に付設され、全長128cm、焚き口幅72cmを測る。

出土遺物(第136図)

須恵器坏・椀・甕、土師器甕・台付甕が出土した。6の甕はカマド出土、5の甕は床面直上から出土した。坏2点の底部には墨書があり、文字か記号か不明である。

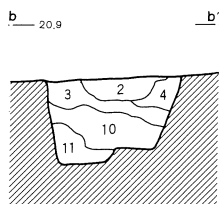
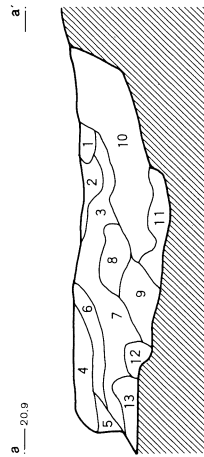
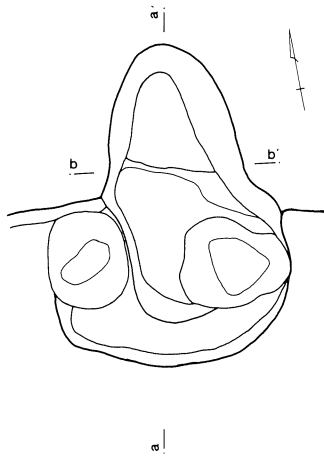
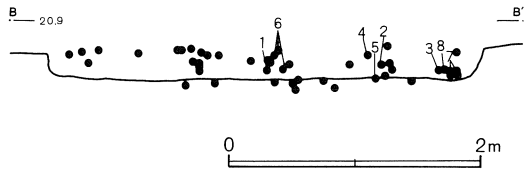
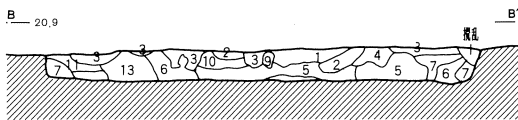
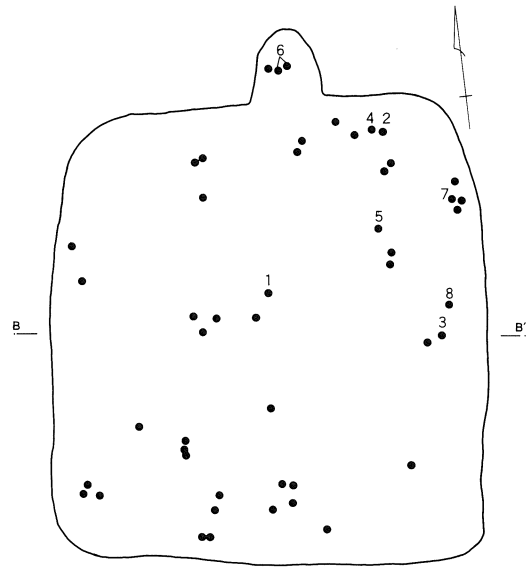
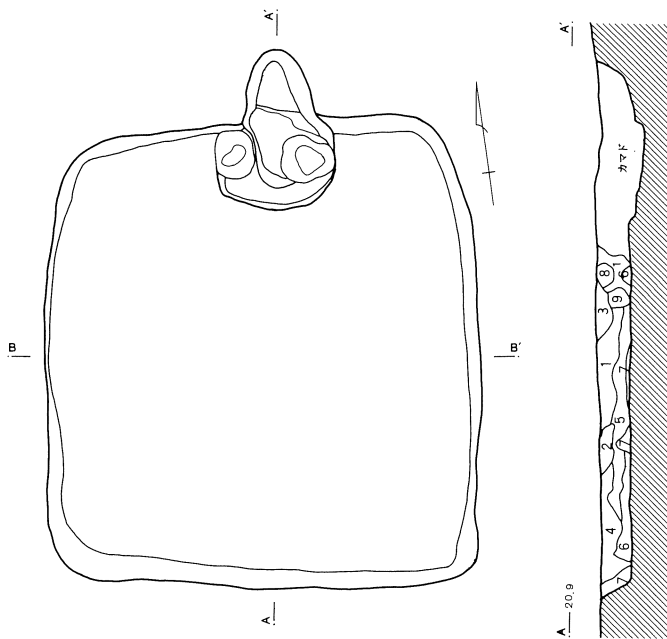
第134図 第15号住居跡出土遺物



第15号住居跡出土遺物観察表(第134図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器坏	(14.2)	3.4	9.0	AB	I	灰	35	RA 底部中央凹み 糸切り痕僅かに残る
2	坏	(15.6)	3.8	(10.4)	ABS	II	灰	25	RA 体部下端回転篋削り
3	坏	15.4	3.8	10.0	ABS	I	灰白	40	RA 体部下端回転篋削り 底部のみ酸化焙焼成底部内面ロクロ痕顕著
4	土師器甕	23.2	30.1	5.6	BEJS	II	橙	80	胴部上半へ・↑方向、下半↓方向篋削り

第135図 第20号住居跡

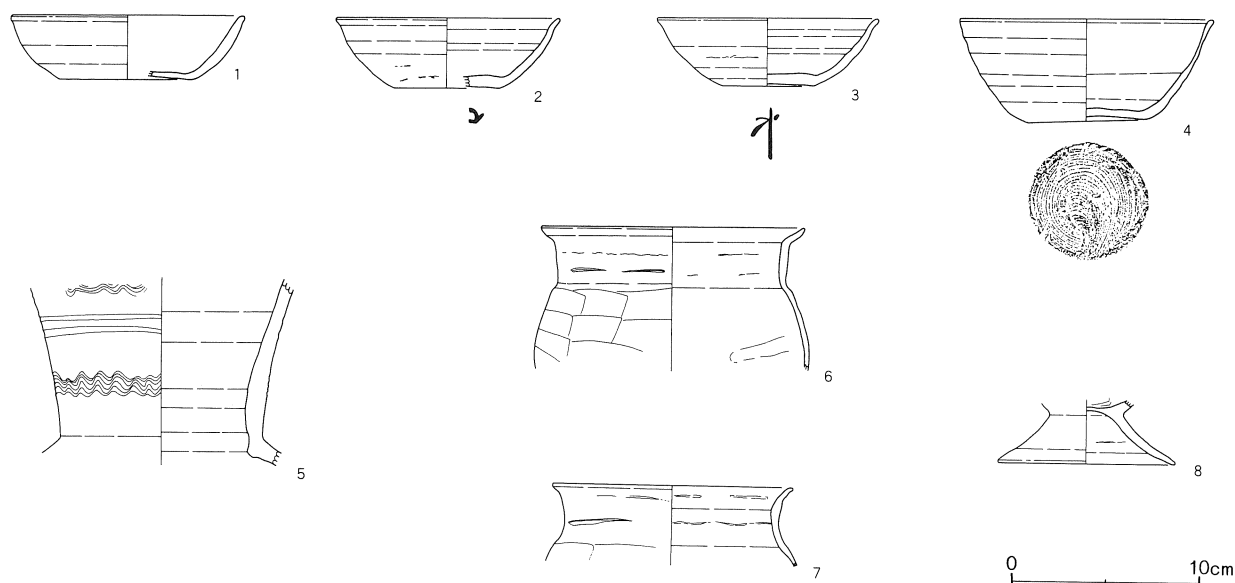


- 1 暗褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
- 2 黒褐色土 焼土僅かに含む
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物若干、ローム粒子多く含む
- 4 鈍い黄褐色土 焼土・炭化物若干含む
- 5 黒褐色土 焼土若干、ローム粒子僅かに含む
- 6 褐色土 炭化物多く含む
- 7 黄褐色土 炭化物若干含む
- 8 暗褐色土ブロック 焼土・炭化物僅かに含む
- 9 暗褐色土ブロック ローム粒子多く含む
- 10 褐灰色土 炭化物、ローム粒子僅かに含む
- 11 暗褐色土 ローム粒子多く含む
- 12 暗褐色土 炭化物・ローム粒子多く含む
- 13 黒褐色土 ローム粒子僅かに含む

カマド

- 1 黄褐色土ブロック 焼土若干含む
- 2 暗褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
- 3 黒褐色土 焼土僅か、炭化物多く含む
- 4 黒褐色土 焼土僅かに含む
- 5 鈍い黄褐色土 炭化物若干含む
- 6 褐色土 ローム粒子多量含む
- 7 褐灰色土 ローム粒子僅か、炭化物多く含む
- 8 暗褐色土 ローム粒子若干、焼土多く含む
- 9 暗褐色土 ローム粒子多く、焼土僅かに含む
- 10 灰褐色土 ローム粒子僅か、焼土多く含む
- 11 褐色土 焼土・炭化物多く含む
- 12 明褐色土 炭化物若干含む
- 13 褐色土 ローム粒子僅か、焼土多く含む
- 14 褐色土ブロック ローム粒子多く含む

第136図 第20号住居跡出土遺物



第20号住居跡出土遺物観察表(第136図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器 坏	(12.4)	3.4	(7.2)	AB	II	灰黄	20	底部篋ナデ整形
2	坏	(12.0)	3.7	(5.6)	ABRS	I	灰白	15	RC 墨書(底部)
3	坏	(11.8)	3.6	4.8	ABRS	I	灰白	40	RC 墨書(底部)
4	椀	13.6	5.4	6.3	ARS	II	灰	80	RC
5	甕				ARS	I	オリーブ灰	20	床直 頸部外面2条の平行沈線を挟み、上下に櫛描波状文
6	土師器 甕	(14.0)			BEJS	II	鈍い赤褐	15	カマド 頸部篋ナデ整形
7	甕	(12.8)			BEJ	II	鈍い赤褐	30	頸部篋ナデ整形
8	台付甕			(9.4)	BEJ	II	明赤褐	70	脚台部ロクロ横ナデ

第21号住居跡(第137図)

CA-9・10グリッドに位置する。平面形は方形を呈し、規模は主軸3.48m、東西3.10m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-136°-Eを指す。

カマドは南東壁中央に付設され、全長100cm、焚き口幅75cmを測る。

出土遺物(第138図)

須恵器 坏・蓋・椀・小型短頸壺、土師器 台付甕・甕、土錘、鉄製紡錘車が出土した。13の台付甕はカマド、紡錘車は床面からの出土である。

19は土錘で、長さ4.4cm、最大径2.2cm、重さ18.01gで、両端面ともへう整形されている。

20は鉄製紡錘車で21~24の棒状の鉄製品は紡錘車の一部である。

第22号住居跡(第139・140図)

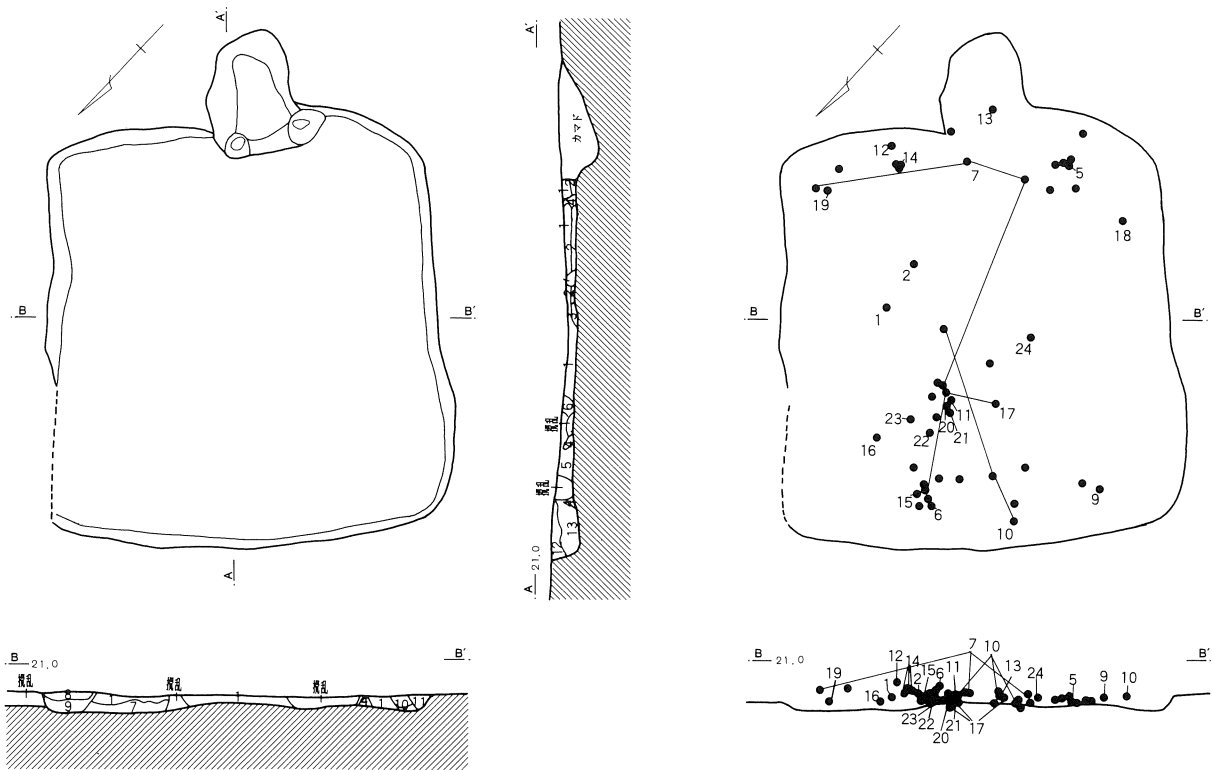
CB・CC-9・10グリッドに位置する。西壁の一部が第1号竪穴状遺構と重複している。平面形は方形を呈し、規模は東西2.95m、南北3.70m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-78°-Eを指す。

カマドは東壁のやや南寄りに付設され全長174cm、焚き口幅57cmを測る。焚き口前面は土坑状になっている。袖部は両側とも地山掘り残してあるが、上面に粘土が貼ってある。

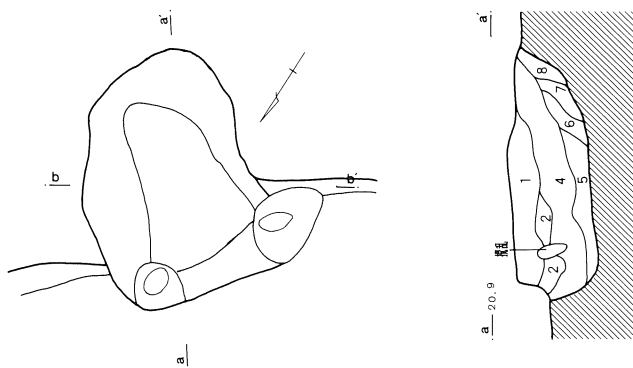
出土遺物(第141・142図)

須恵器 坏・蓋・椀・瓶・鉢・甕、土師器 坏・台付甕・甕などの他土錘が出土した。2の灯明皿の須恵器 坏、6の蓋・15の甕、21の土師器 台付甕・18の甕がカマドから出土し、1・7・11・12・23は床面からの出土で

第137図 第21号住居跡

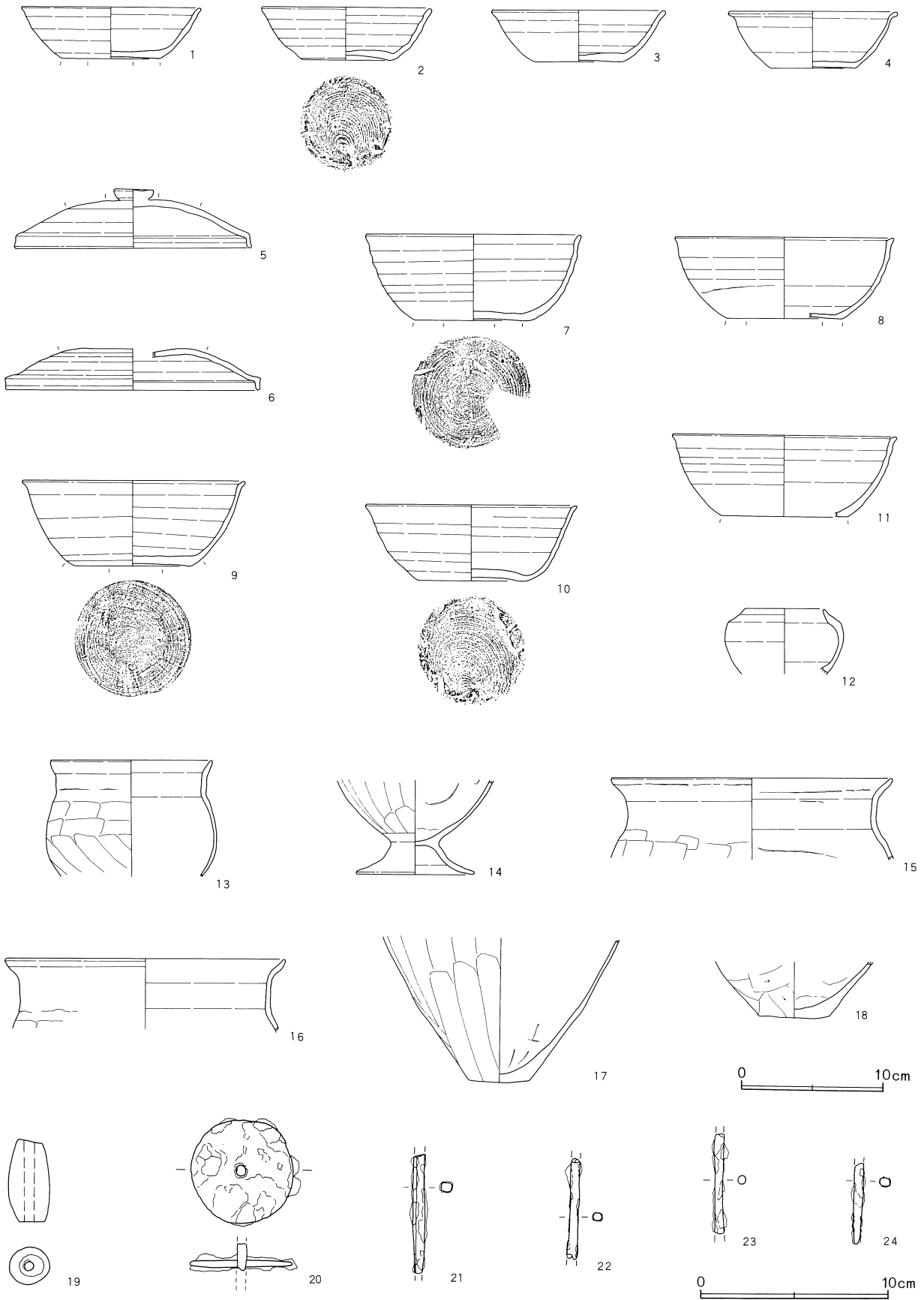


- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1 暗褐色土 黄褐色土粒子若干、橙色土粒子微量含む | 8 暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む 締まりやや有り |
| 2 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まりやや有り | 9 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まりなし |
| 3 褐色土 黄褐色土粒子多く含む | 10 暗褐色土 |
| 4 黄褐色土 | 11 黒褐色土 締まりなし |
| 5 暗褐色土 | 12 褐色土 |
| 6 暗褐色土 黄褐色土多く含む | 13 褐色土 橙色土若干含む |
| 7 暗褐色土 黄褐色土極多く含む 締まりなし | |



- | |
|---------------------------------|
| 1 黒褐色土 焼土極多く、ローム粒子多く含む |
| 2 極暗褐色土 焼土極多く含む |
| 3 明褐色土 焼土若干含む 締まりなし |
| 4 黒褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物多く含む |
| 5 極暗赤褐色土 ローム粒子僅か、炭化物多く含む |
| 6 極暗赤褐色土 炭化物多く含む 締まりなし |
| 7 褐色土 炭化物若干含む |
| 8 黒褐色土 締まりなし |
| 9 黒褐色土 ローム粒子・焼土僅かに含む |
| 10 褐色土 ロームブロック多く、炭化物僅かに含む 締まりなし |
| 11 黒褐色土 ローム粒子僅か、炭化物若干含む |
| 12 褐色土 ローム粒子多く含む 締まりなし |
| 13 黄褐色土 |

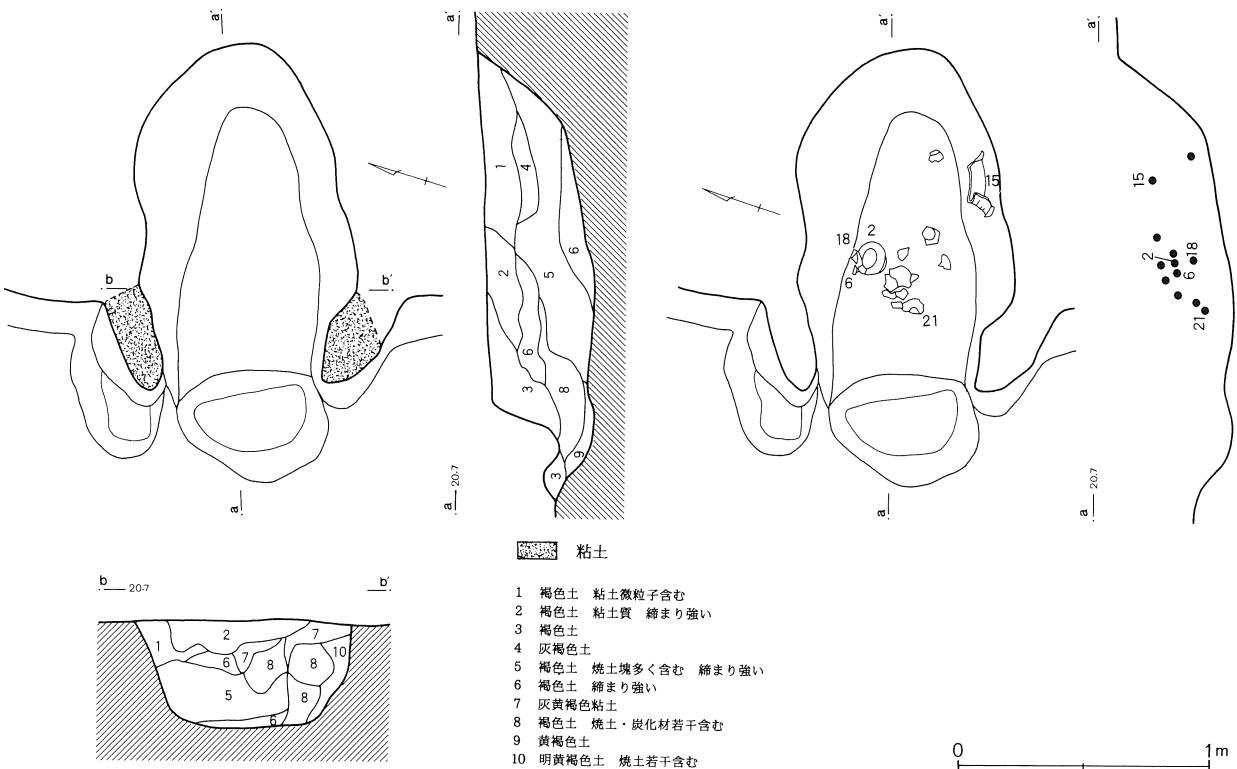
第138図 第21号住居跡出土遺物



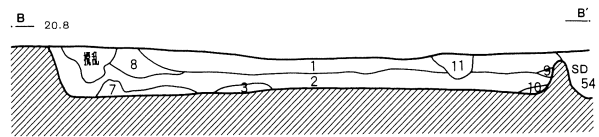
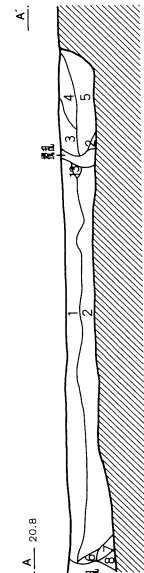
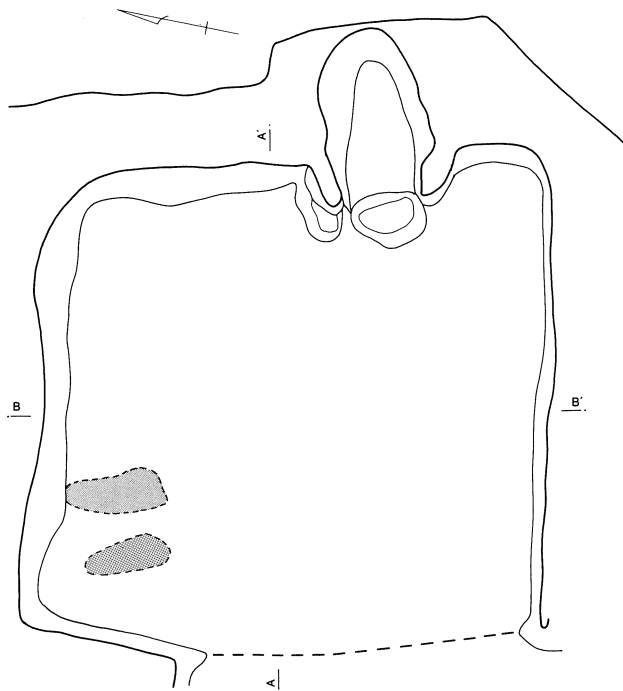
第21号住居跡出土遺物観察表(第138図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器 坏	(12.8)	3.6	7.0	ABS	I	灰	40	RBb
2	坏	(12.1)	3.7	6.1	ABS	I	灰	20	RC 体部内面ロクロ痕顕著
3	坏	(12.4)	3.6	(6.0)	ABS	I	灰	20	RC
4	坏	(12.0)	4.0	(6.0)	AB	I	灰	15	RC 口唇外反
5	蓋	(17.0)	4.2		ABS	II	橙	45	天井部右回転筥削り 鈕周辺糸切り痕あり
6	蓋	(18.0)			ABS	I	灰	20	天井部右回転筥削り
7	椀	15.4	6.0	8.3	AS	I	灰	75	RBb 外面ロクロ痕顕著
8	椀	(15.6)	5.7	8.2	ABS	I	灰	25	RBb 口唇内側に面をもつ
9	椀	15.9	6.0	8.2	ABS	I	灰黄褐	80	RBb 体部下端回転筥削り 体部内面水挽き痕顕著
10	椀	15.1	5.3	8.0	ABS	I	灰	60	RC 口唇内側に面をもつ
11	椀	(16.0)	5.7	(9.0)	ABS	I	灰	25	RA 口唇内側に面をもつ
12	小型短頸壺	(5.6)			ABS	I	灰	30	
13	土師器 台付甕	(11.6)			BS	II	鈍い橙	20	カマド 口縁部・頸部内面横ナデ 胴部外面上半 ←方向、下半↘方向筥削り
14	台付甕			(8.4)	BES	II	鈍い橙	25	体部外面縦位筥削り、下端筥ナデ 脚部横ナデ
15	甕	(20.0)		(8.5)	BHS	II	橙	15	頸部外面下端指ナデ 胴部外面←方向筥削り
16	甕	(20.0)		(8.6)	BES	II	橙	10	口縁部横ナデ 口唇部外面筥ナデ 頸部下端外面横 ナデ 胴部外面筥削り
17	甕			4.4	EKS	II	鈍い橙	35	外面下方への筥削り 底部一方向への筥削り
18	甕			5.0	BJS	I	鈍い橙	65	内面縦方向のナデ 外面→方向、↓方向の筥削り

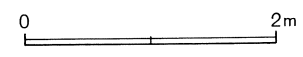
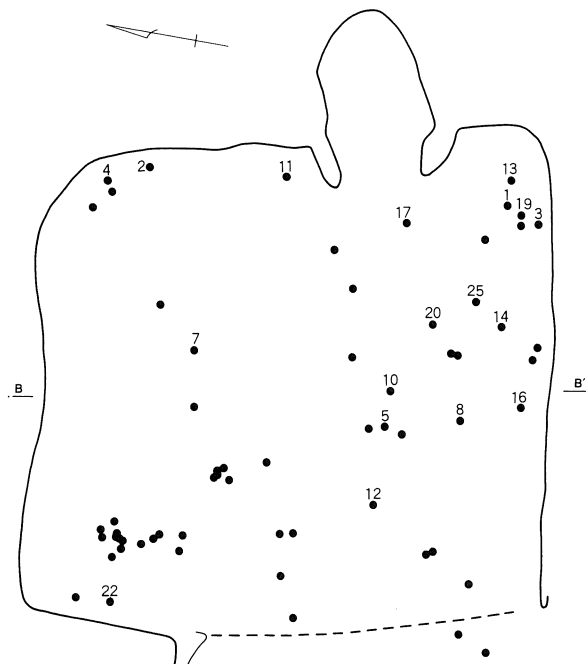
第139図 第22号住居跡カマド



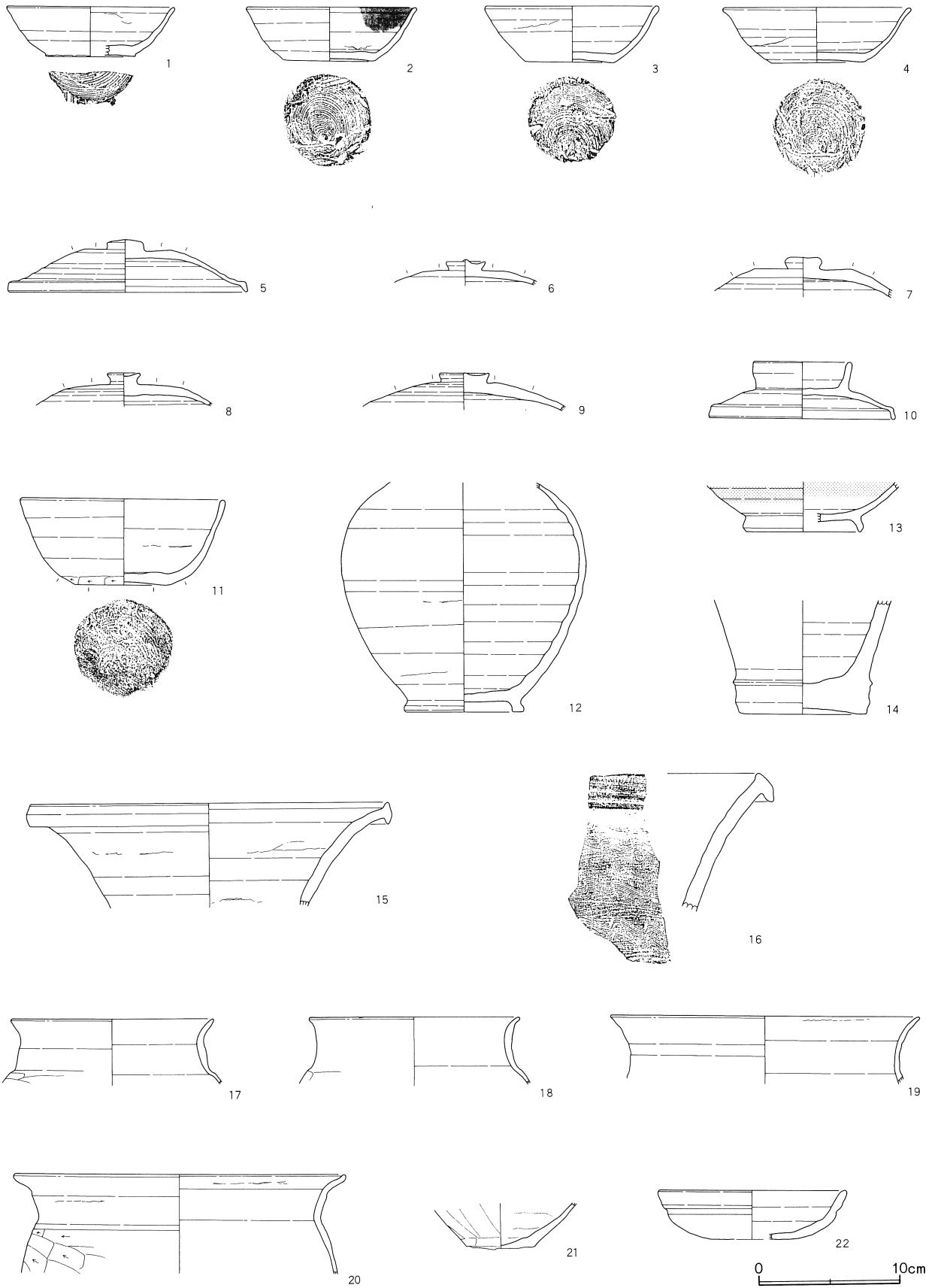
第140図 第22号住居跡



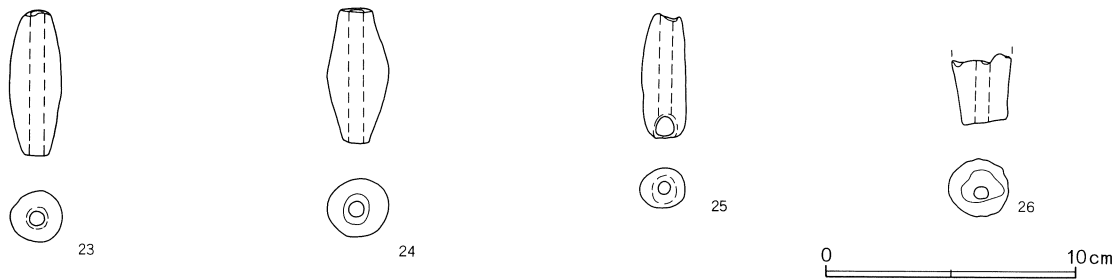
- 1 褐色土 黄褐色土粒子極多く含む やや締まり有り
- 2 褐色土 黄褐色土粒若干、炭化材微量含む
- 3 褐色土 黄褐色土粒子微量含む 締まり強い
- 4 褐色土 黄褐色土粒子微量含む 締まり強い
- 5 褐色土 黄褐色粘質土多く含む
- 6 褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まりなし
- 7 褐色土 黄褐色土若干含む
- 8 褐色土 黄褐色土若干含む やや締まり有り
- 9 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 10 暗褐色土 黄褐色土多く含む
- 11 黒褐色土 黄褐色土微粒子含む 締まり強い



第141图 第22号住居跡出土遺物(1)



第142図 第22号住居跡出土遺物(2)



第22号住居跡出土遺物観察表(第141図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器環	(12.0)	3.5	(6.4)	AS	I	灰	35	床直 RC 糸切りやり直しの痕跡あり
2	環	12.2	3.8	6.6	ACS	I	灰黄	95	カマド RC 底部外周篋起こし痕 内面油煙一部付着
3	環	12.4	4.0	6.2	ABS	I	灰	100	RC 底部外周篋起こし痕 口縁部外周重ね焼き痕 自然釉
4	環	13.4	3.9	6.6	AS	I	灰	80	RC 底部外周篋起こし痕
5	蓋	(17.4)	3.7		ABRS	I	灰	25	天井部右回転篋削り 一部糸切り痕 鈕径2.4cm ロクロ痕顕著
6	蓋				ABS	I	灰	10	カマド 天井部右回転篋削り 鈕周囲糸切り痕 鈕径2.8cm
7	蓋				ABS	I	灰	15	床直 天井部右回転篋削り 一部糸切り痕 鈕径2.6cm
8	蓋				ABS	I	灰	15	天井部右回転篋削り
9	蓋				AS	I	灰	10	天井部右回転篋削り 一部糸切り痕 鈕径3.5cm
10	蓋	13.2	4.0		AHRS	I	灰	70	環状紐内天井部中央糸切り痕鈕径7.0cm 歪みあり
11	椀	14.6	6.1	6.8	A	I	灰白	80	床直 回転糸切り後周辺静止篋削り床直 篋削り 体部下端に及ぶ
12	瓶			8.4	ARS	I	灰	55	底部内面中央のみ篋ナデ 内面ロクロ痕顕著
13	灰釉陶器 高台付椀			(8.2)	BS	I	灰白	20	体部外面下端・底部中央篋ナデ 高台部横ナデ
14	須恵器鉢			9.1	AHS	I	灰	70	RC 周縁篋起こし痕
15	甕	25.4			ARS	I	灰	65	カマド
16	甕				BS	I	黒	—	頸部に3段の波状文
17	土師器甕	(14.4)			J	II	鈍い橙	10	←方向の篋削り
18	甕	(15.0)			JS	II	鈍い橙	10	カマド ←方向の篋削り
19	甕	(22.0)			BEJS	II	橙	10	←方向の篋削り
20	甕	(24.0)			BS	II	鈍い橙	10	←方向の篋削り
21	台付甕				BEJK	II	鈍い橙	75	カマド 体部下半縦位篋削り 下端横ナデ
22	環	(13.4)	3.4		J	III	橙	15	体部内面水挽き痕顕著 底部内面指ナデ

第22号住居跡出土土錘計測表(第142図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
23	5.8	2.1	5.5	21.72
24	5.3	2.4	5~6	26.47

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
25	4.9	1.7	5.5	13.46
26	(2.7)	2.3	6	(11.84)

ある。

土錘24・26は端面が³へら整形されている。

第23号住居跡(第143図)

CA・CB-8グリッドに位置する。南東壁から南西壁を第50号溝が通り、南西壁は攪乱されており不明である。平面形は方形を呈すると推定され、規模は主軸2.70m以上、北東壁3.80m、深さ20cmを測る。主軸

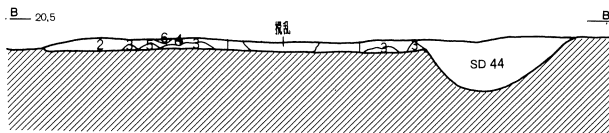
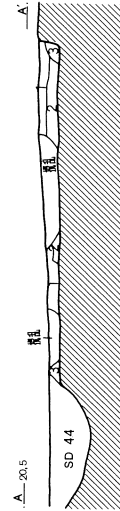
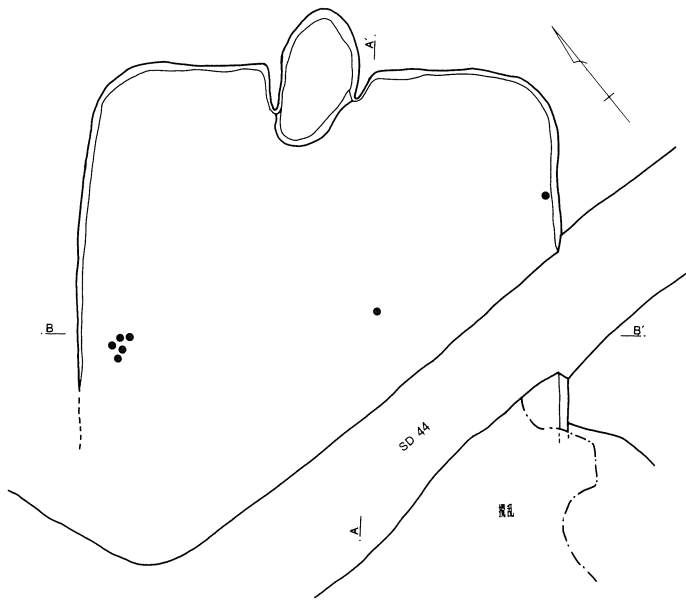
方位はN-42°-Eを指す。

カマドは北東壁中央に付設され、全長110cm、焚き口幅60cmを測る。袖部は両側とも地山掘り残しである。

出土遺物(第144図)

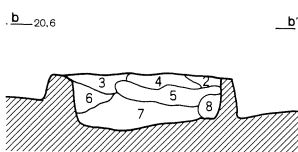
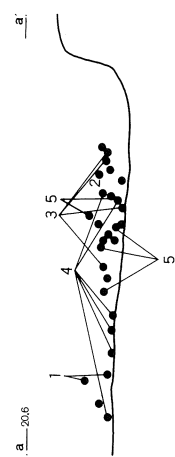
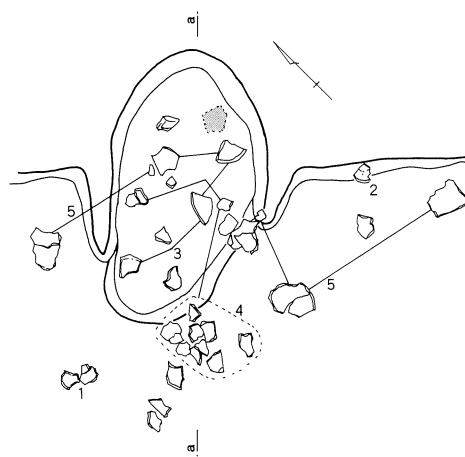
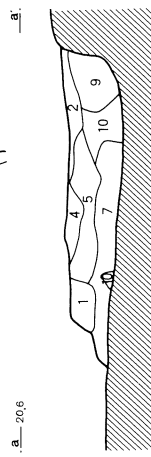
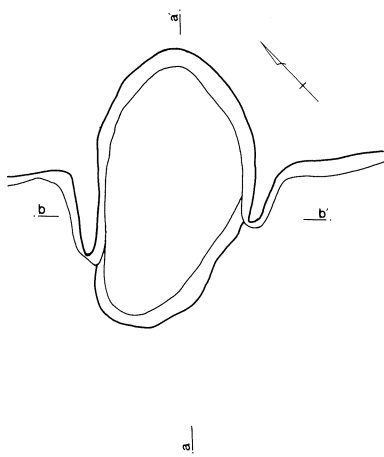
土師器環・盤・壺・甕が出土した。遺物はカマド及びカマド周辺に集中していた。内面に暗文を持つ盤はカマドから出土し、壺はカマドの前から出土した。

第143図 第23号住居跡



- 1 黒褐色土 焼土・炭化物若干含む
- 2 暗褐色土 炭化物多く含む
- 3 暗褐色土 炭化物若干含む
- 4 黄褐色土ブロック 炭化物若干含む

0 2m

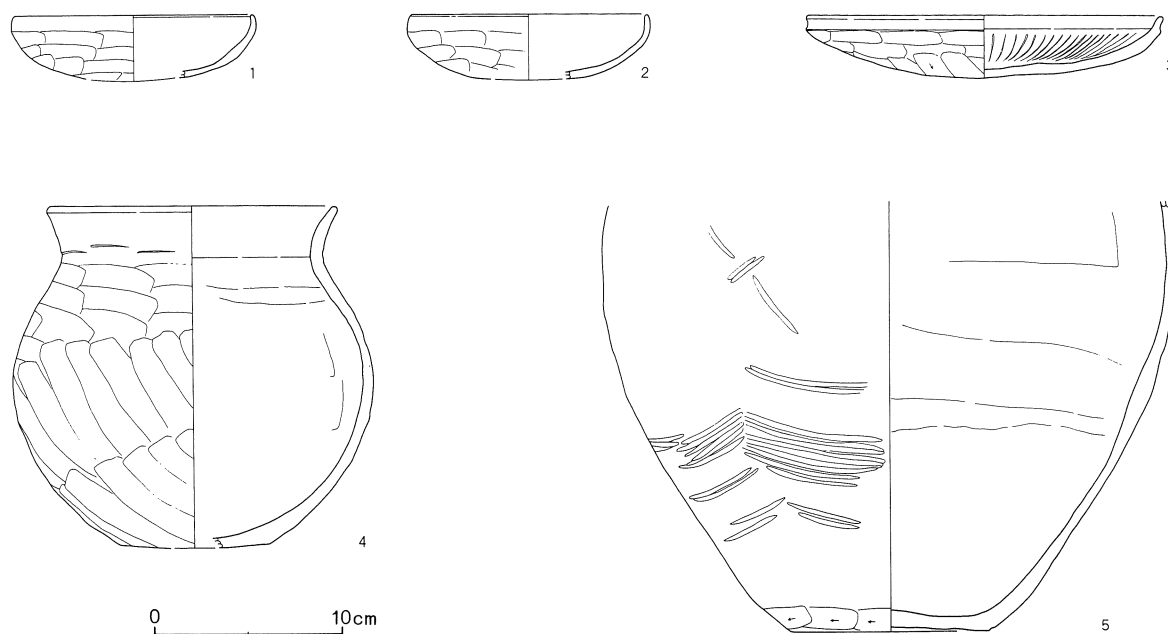


- 1 黒褐色土 焼土僅か含む
- 2 暗褐色土 焼土多く含む
- 3 暗褐色土 焼土・炭化物多く含む
- 4 黒褐色土 ローム粒子多く、焼土・炭化物若干含む
- 5 鈍黄褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
- 6 褐色土 炭化物僅かに含む
- 7 灰黄褐色土 焼土多く、炭化物僅かに含む
- 8 褐色土 焼土僅かに含む
- 9 暗赤褐色土 焼土極多く、炭化物僅かに含む
- 10 暗赤褐色土 焼土・炭化物僅かに含む

■ 焼土

0 1m

第144図 第23号住居跡出土遺物



第23号住居跡出土遺物観察表(第144図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器 坏	(12.8)			JS	II	鈍い橙	20	口唇横ナデ 内屈 体部外面←方向 筒削り
2	坏	(12.8)			HS	II	鈍い橙	10	口唇内面横ナデ 体部外面←方向 筒削り
3	盤	18.9	3.3		BHS	II	橙	75	カマド 口縁部屈曲し外反 体部外面←方向 筒削り 内面放射状暗文
4	小型壺	(15.6)	17.9	(8.0)	ERS	II	橙	60	カマド前 体部外面上部←方向、下半↘向 筒削り
5	甕			10.6	RS	III	鈍い橙	40	外面一部の斜方向 筒磨き 小礫多く器壁荒れる

第24号住居跡(第145図)

CA・CB-7・8グリッドに位置する。東部を第44号溝によって切られている。平面形は長方形を呈し、規模は南北2.95m、東西3.70m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

カマドは北壁のやや東寄りに付設され、西側は第44号溝に切られているため詳細は不明であるが、全長は55cm以上を測る。

出土遺物(第146図)

土師器 坏、須恵器 坏・碗が出土した。土師器 坏は床面より出土した。2は内面に油煙が付着した灯明皿である。

第25号住居跡(第147図)

CB・CC-9グリッドに位置する。住居跡北西隅が

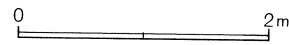
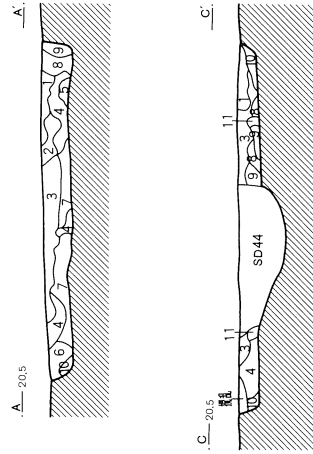
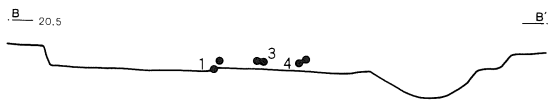
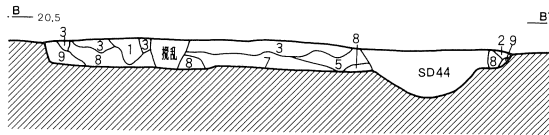
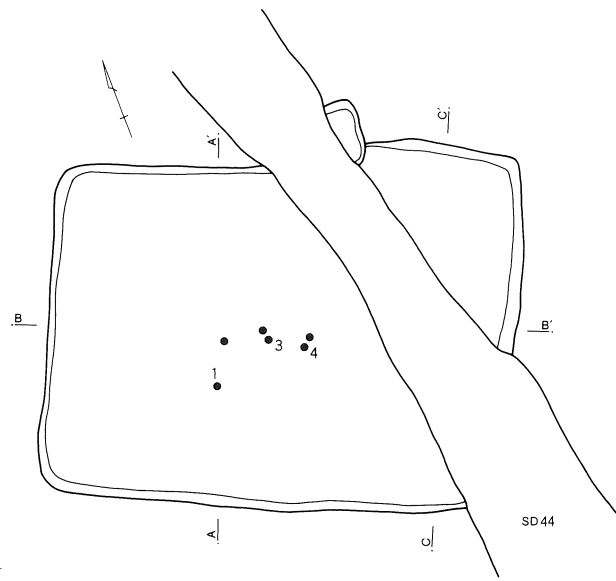
第235号土坑に切られており、南西部は攪乱を受けている。平面形は長方形を呈し、規模は南北2.35m、東西3.50m以上、深さ10cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

カマドは北壁中央付近に付設され、全長106cm、焚き口幅74cmを測る。西壁焚き口付近に片岩が置かれ、更に両側にピットがある。

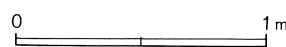
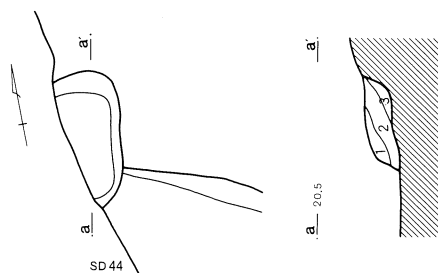
出土遺物(第147図)

遺物はカマド及び住居跡北東部から出土した。須恵器 坏が東壁寄り中央で床面より出土した。口径13.3cm、器高3.9cm、底径5.6cmを測り、鈍い黄橙色をした酸化焰焼成で、内外面底部から体部下半にかけて煤が付着している。底部は右回転糸切り離し未調整のものである。胎土には白色針状物質と砂粒を含む。

第145図 第24号住居跡

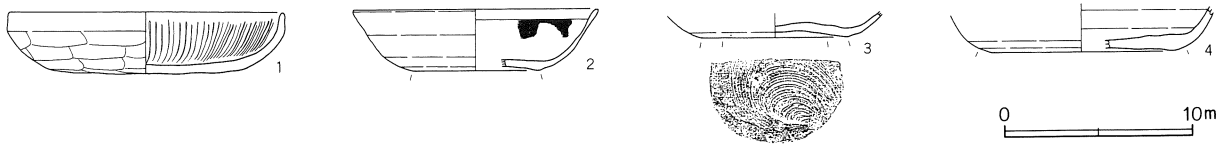


- 1 黒褐色土 焼土多く、ロームブロック含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子若干含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子多く、焼土僅か含む
- 4 黒褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物僅かに含む
- 5 暗褐色土 ローム粒子多く、炭化物含む
- 6 黒褐色土 ロームブロック多く含む 締まりなし
- 7 黒褐色土 ローム粒子若干含む
- 8 褐色土 ローム粒子若干含む
- 9 暗褐色土 ローム粒子・焼土若干含む
- 10 暗褐色土 ローム粒子多く、焼土若干含む
- 11 褐色土ブロック・ローム粒子混合土



- 1 暗褐色土 焼土若干、ローム粒子僅かに含む
- 2 暗褐色土 焼土・焼土ブロック多く含む
- 3 褐色土 焼土若干含む

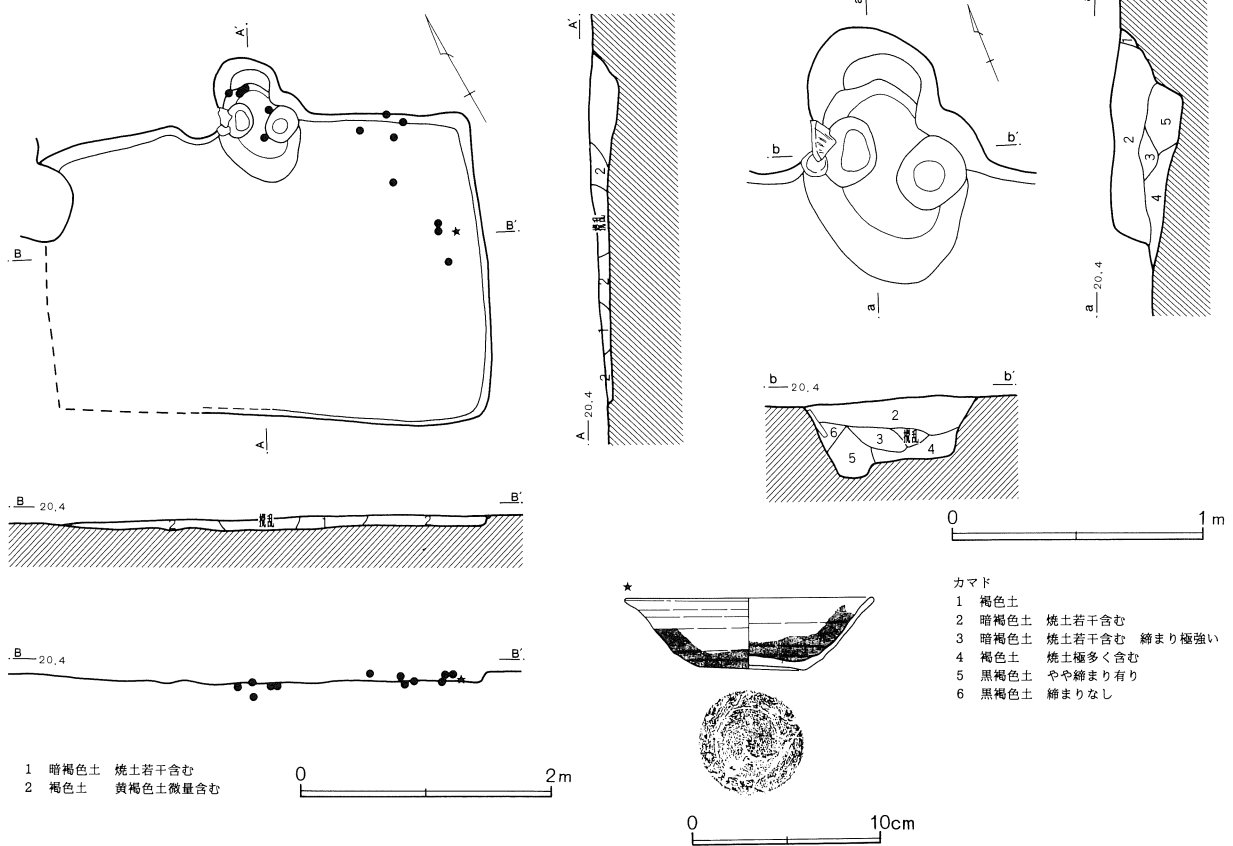
第146図 第24号住居跡出土遺物



第24号住居跡出土遺物観察表(第146図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器坏	(15.0)	3.2		BEJ	II	橙	50	床直 内面放射状暗文 口縁部直立 体部外面←方向篋削り
2	須恵器坏	(13.2)	3.2	6.8	AB	I	灰	30	RA 内面油煙附着
3	椀			(7.8)	ABS	I	灰	55	RBb 底部周辺静止篋削り
4	椀			(9.6)	AB	I	灰	40	RA 体部下端に篋削り及ぶ

第147図 第25号住居跡



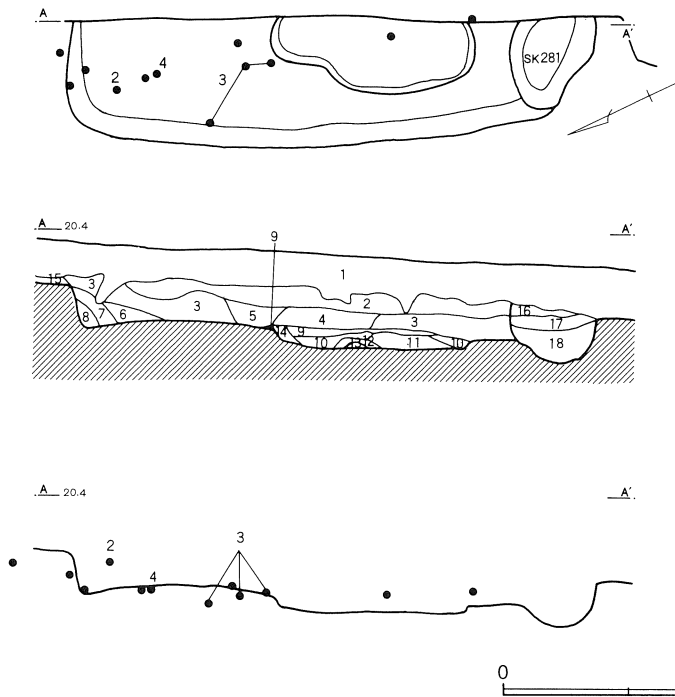
第27号住居跡(第148図)

CC・CD-9グリッドに位置する。住居跡東側の大半が調査区域外に位置しており、南西隅は第281号土坑と重複している。平面形は方形を呈すると推定され、規模は西壁3.90m、深さ30cmを測る。

出土遺物(第149図)

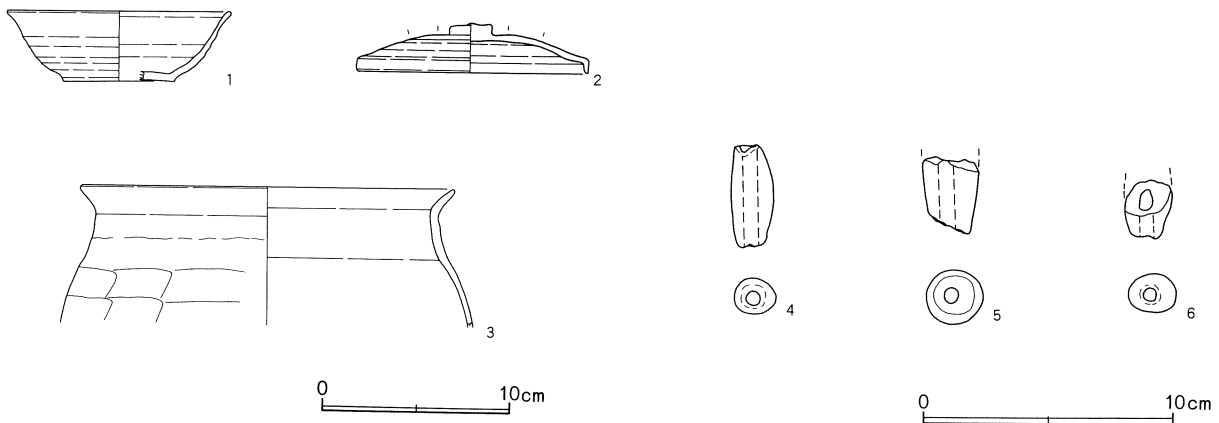
須恵器坏・蓋、土師器甕、土錘が出土した。他に須恵器坏の底部破片が出土しており、底部調整は、回転糸切り後周辺回転篋削りするものが主体である。

第148図 第27号住居跡



- 1 灰褐色土
- 2 暗褐色土 橙色土若干含む
- 3 暗褐色土 焼土・黄褐色土微粒子含む
- 4 暗褐色土 黄褐色土微粒子若干含む
- 5 暗褐色土 黄褐色土多く、炭化材若干含む
- 6 暗褐色土
- 7 暗褐色土 砂質
- 8 暗褐色土 黄褐色土極く多く含む 締まり強い
- 9 褐色土 暗褐色土多く含む 締まり強い
- 10 暗褐色土 焼土・黄褐色土微粒子含む
- 11 暗褐色土 焼土・黄褐色土微粒子多く含む 締まりあり
- 12 褐色土 焼土多く含む
- 13 褐色土
- 14 褐色土 締まり強い
- 15 褐色土 白色微粒子含む 締まり強い
- 16 黒褐色土 炭化材若干含む
- 17 暗褐色土
- 18 黒褐色土 黄褐色土微粒子多く含む 砂質土

第149図 第27号住居跡出土遺物



第27号住居跡出土遺物観察表(第149図)

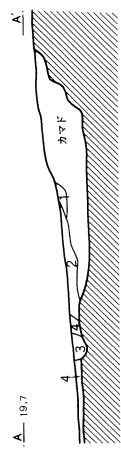
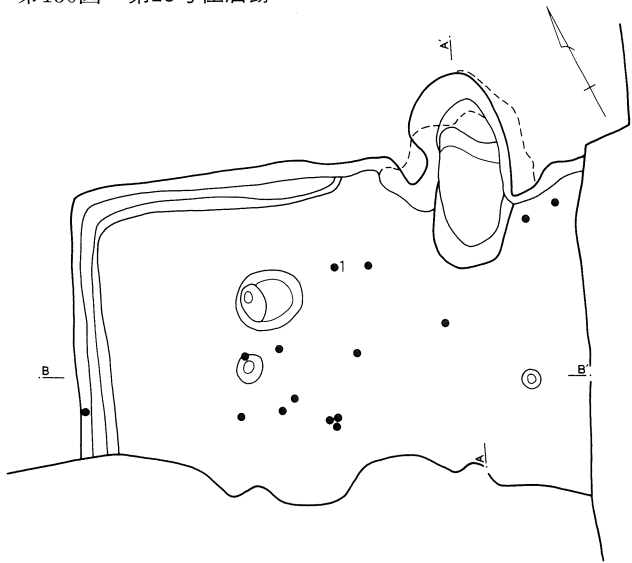
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器坏	(12.0)	3.7	(6.0)	AS	I	灰	25	RC
2	蓋	12.2	2.6		ABS	I	灰	60	天井部右回転鋭削り 鈕径2.2cm
3	土師器甕	(20.0)			BJKS	III	橙	15	胴部外面←方向鋭削り

第27号住居跡出土土錘計測表(第149図)

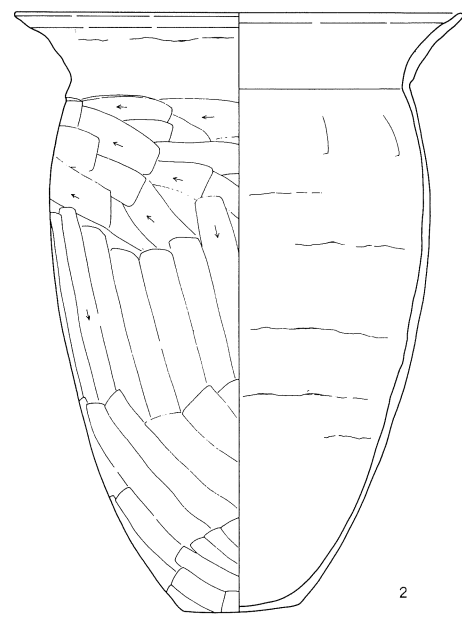
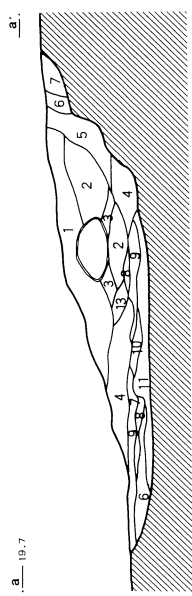
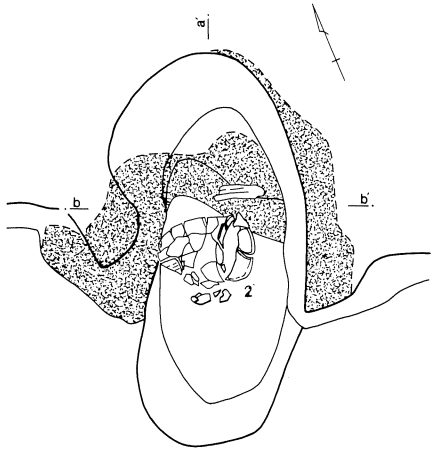
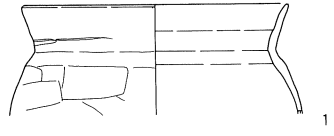
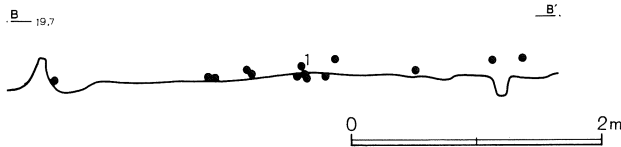
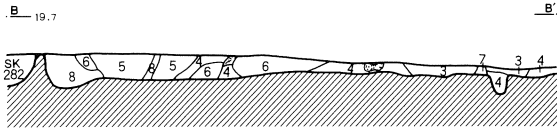
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
4	4.1	1.7	6	8.64
5	(3.0)	2.2	5~6	(12.62)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
6	(2.3)	1.9	5	(4.24)

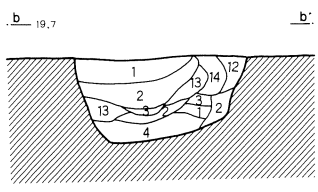
第150図 第28号住居跡



- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土 焼土微量含む
- 3 黒褐色土
- 4 黒褐色土
- 5 黒褐色土 焼土粒子・黄褐色土微粒子含む 締まり強い
- 6 暗褐色土
- 7 黒褐色土 ローム粒子極く多く含む
- 8 黒褐色土 ローム・焼土多く含む



0 10cm



粘土

0 1m

- a-a' · b-b'
- 1 褐色土 粘土多く含む 粘土質
 - 2 暗褐色土 焼土・粘土含む
 - 3 鈍黄褐色粘土
 - 4 黒褐色土 炭化材・焼土多く含む
 - 5 暗褐色土 焼土若干含む 締まり強い
 - 6 黒褐色土 締まり強い
 - 7 褐色土 焼土・黄褐色土含む
 - 8 炭灰層
 - 9 鈍黄褐色土 焼土若干含む
 - 10 黒褐色土 鈍黄褐色土若干含む 砂質
 - 11 暗赤褐色土 焼土多く含む
 - 12 鈍黄褐色土 焼土多く含む 粘土質
 - 13 焼土層
 - 14 暗褐色土

第28号住居跡(第150図)

CC-8、CD-8・9グリッドに位置する。住居跡南半を第48・49号溝に切られ、東側は調査区域外にある。平面形は方形を呈すると推定される。規模は南北2.72m以上、東西4.10m以上、深さ10cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

カマドは北壁に付設され、全長156cm、焚き口幅86

cmを測る。壁溝はカマドを除く北壁及び南壁で検出され、規模は幅約22~30cm、深さ約10cmを測る。ピットは住居内に3基検出されている。

出土遺物(第150図)

遺物は少なく、土師器甕2点が出土しており、2はカマド中央の覆土中層で、横転して潰れた状態で出土した。

第28号住居跡出土遺物観察表(第150図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器甕	(14.1)			BCJS	II	鈍い褐	10	胴部外面←方向の篋削り
2	甕	23.8	31.7	6.2	BJJS	II	橙	95	カマド 内面木口状工具によるナデ 底部一方向の篋削り

第29号住居跡(第151図)

CC・CD-8グリッドに位置する。住居跡東壁を第279・280号土坑に切られている。平面形は方形を呈し、規模は東西3.30m、南北3.20m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-32°-Eを指す。

カマドは北壁の東寄りに付設されている。ピットは住居跡内に4基検出されている。

出土遺物(第152図)

須恵器杯・高台付椀・土師器台付甕・甕が出土した。その他に須恵器杯・蓋・高台付杯・椀・甕の破片が出土した。

第30号住居跡(第153・154図)

CB・CC-7・8グリッドに位置する。住居西隅を第46号溝が切っている。また、住居内中央やや西寄りに第245号土坑が検出されている。住居の平面形は長方形を呈し、規模は南北3.80m、東西4.90m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-32°-Eを指す。

カマドは北壁やや東寄りに付設され、全長110cm、焚き口幅60cmを測る。第46号溝は浅いため壁溝まで及んでおらず、壁溝はカマドを除いてほぼ全周している。規模は幅18~26cm、深さ5~8cmを測る。

出土遺物(第155図)

須恵器杯・蓋・椀・鉢、土師器甕の他にガラス玉が覆土中より出土した。

6のガラス玉は最大径1cm、高さ9mm、孔径2mmで穿孔方向はやや斜めである。重さは1.61gで、色調はコバルトブルーであるが、外面は一部白色化している。

第31号住居跡(第156図)

CB-7グリッドに位置する。第32号住居跡を切り、第33号住居跡及び第247号土坑に切られている。住居跡西側の大半が調査区域外に位置している。平面形は方形を呈するものと推定され、規模は南北3.10m以上、深さ25cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

出土遺物(第157図)

須恵器蓋・椀、土師器杯の他に、須恵器破片、土師器甕片などが出土した。いずれも床面から出土した。

第32号住居跡(第156図)

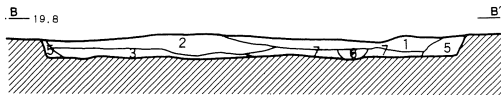
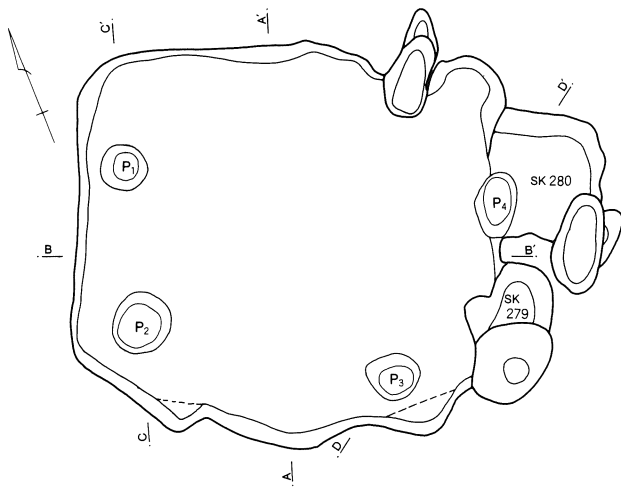
CB-7グリッドに位置する。第31・33号住居跡及び第247号土坑に切られている。壁溝のみの検出で、平面形は方形を呈すると推定され、規模は東西2.60m以上、南北2.75m以上、深さ5cmを測る。主軸方位はN-23°-Wを指す。

壁溝は確認範囲では南壁から東壁で確認され、規模は幅約18cm、深さ約5cmを測る。ピットが東壁寄りで1基検出し深さは、25cmを測る。

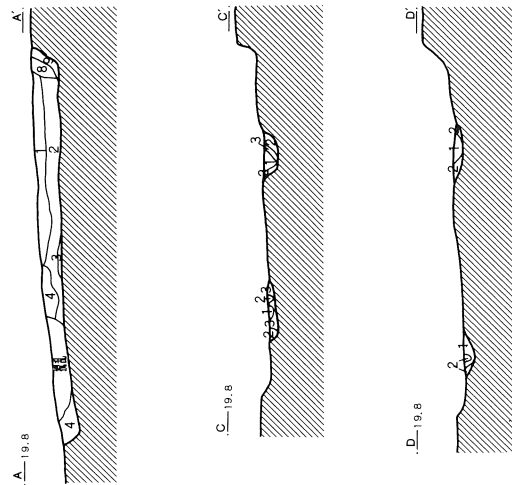
第33号住居跡(第158図)

CB・CC-6・7グリッドに位置する。第31・32号住居跡及び第247号土坑を切り、第34号住居跡に切ら

第151図 第29号住居跡

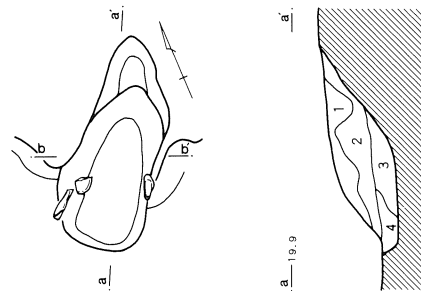
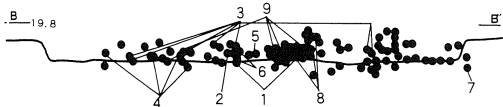
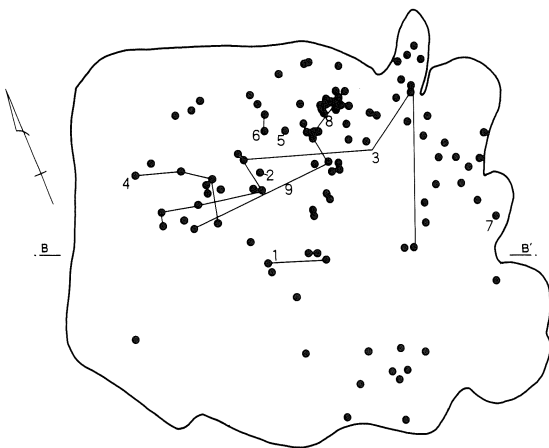
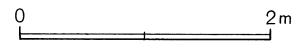


- 1 暗褐色土 焼土若干含む 締まり強い
- 2 暗褐色土 焼土多く含む
- 3 暗赤褐色土 焼土・黄褐色土多く含む
- 4 褐色土 焼土粒子微量含む
- 5 暗褐色土 焼土多く含む
- 6 暗褐色土
- 7 暗褐色土 締まり強い
- 8 暗褐色土 粘性強い
- 9 黄褐色土 焼土含む

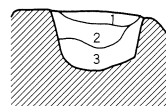


- C-C'
- 1 暗褐色土 炭化粒子・橙色土粒子若干含む
 - 2 暗褐色土 黄褐色土微量含む
 - 3 褐色土 砂質

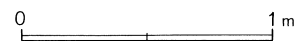
- D-D'
- 1 暗褐色土 黄褐色土若干含む
 - 2 褐色土



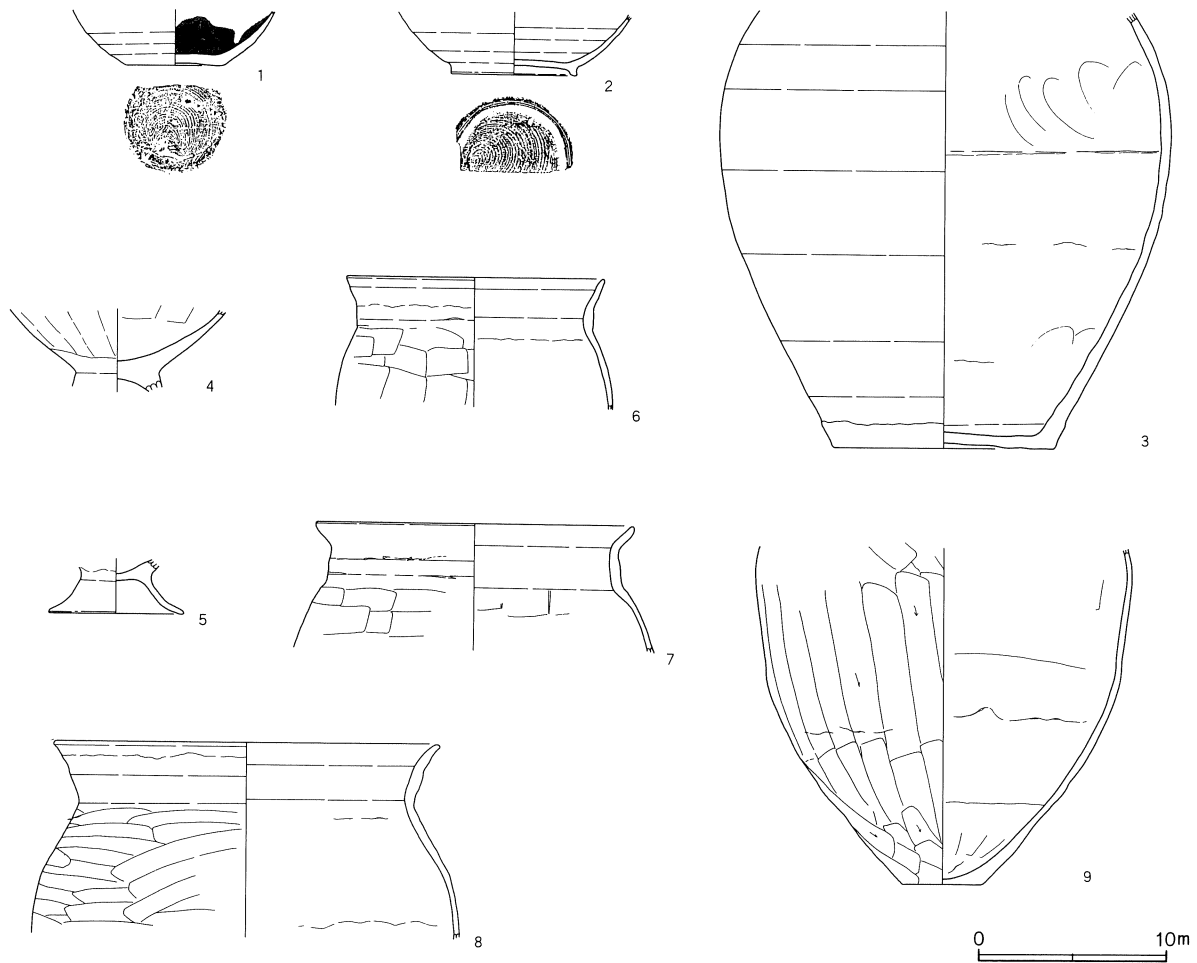
b 19,9 b'



- 1 褐色土 焼土若干含む 締まり強い
- 2 暗褐色土 焼土多く含む
- 3 暗赤褐色土 焼土極多く含む
- 4 褐色土



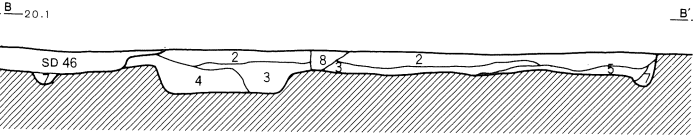
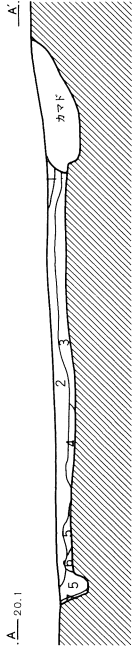
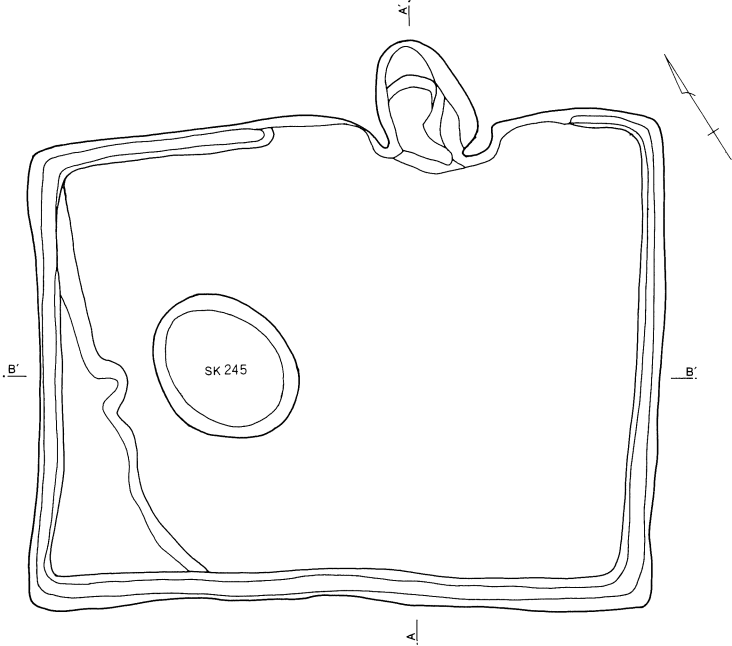
第152図 第29号住居跡出土遺物



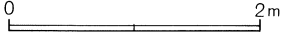
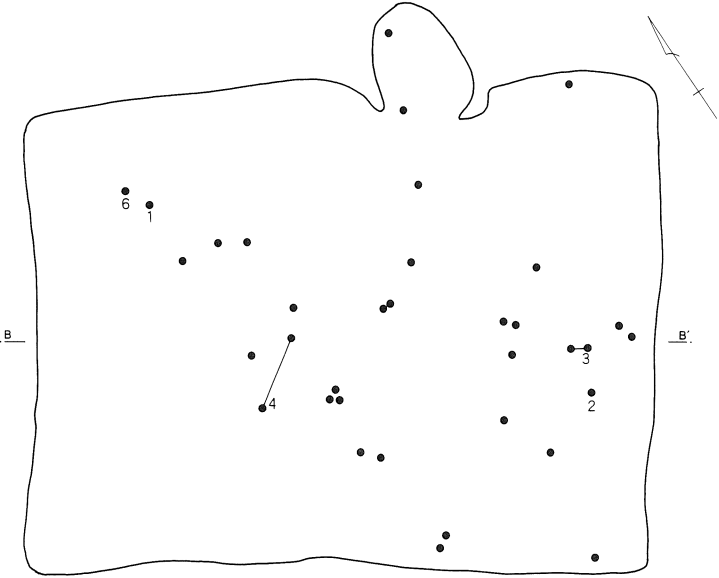
第29号住居跡出土遺物観察表(第152図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器坏			5.2	AS	II	浅黄橙	40	RC 底部外面篋記号「一」 体部内面油煙付着
2	高台付坏			(6.8)	ABS	I	灰白	35	右回転糸切り後高台貼付篋ナデ
3	甕			11.8	ABS	I	灰	40	胴部←方向篋削り
4	台付甕				BJS	II	鈍い橙	15	胴部↓方向篋削り
5	台付甕			7.2	BHJ	II	鈍い橙	95	台部ロクロ横ナデ
6	土師器甕	(13.8)			BCJS	II	鈍い褐	30	胴部上位←方向のへら削り
7	甕	(17.0)			BS	II	橙	15	頸部内面・口縁部横ナデ 胴部外面←方向篋削り 内面篋横ナデ・指ナデ
8	甕	20.6			BCJ	II	鈍い橙	80	胴部上半外面→方向篋削り
9	甕			4.2	CHJ	II	鈍い橙	35	胴部下半↓方向篋削り

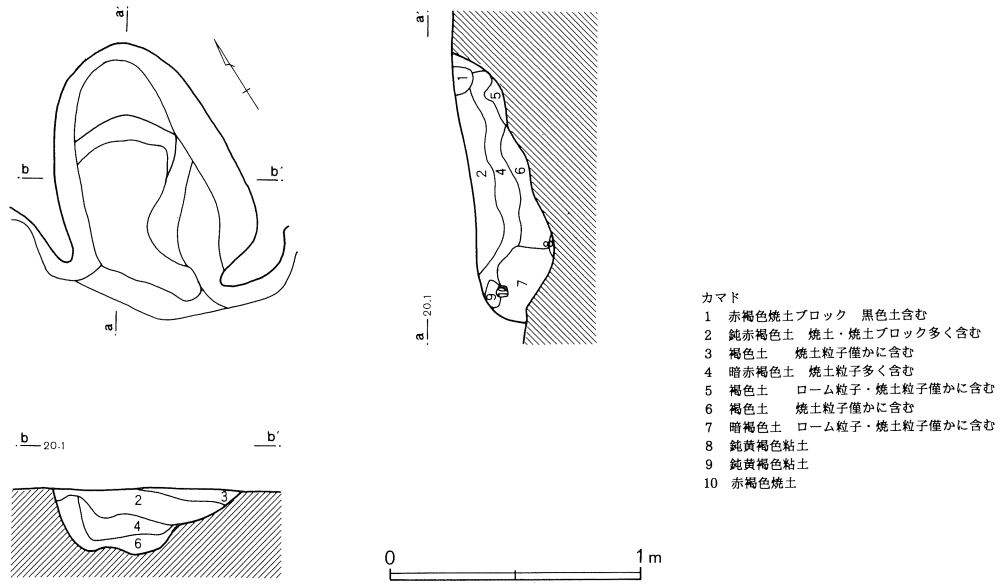
第153図 第30号住居跡



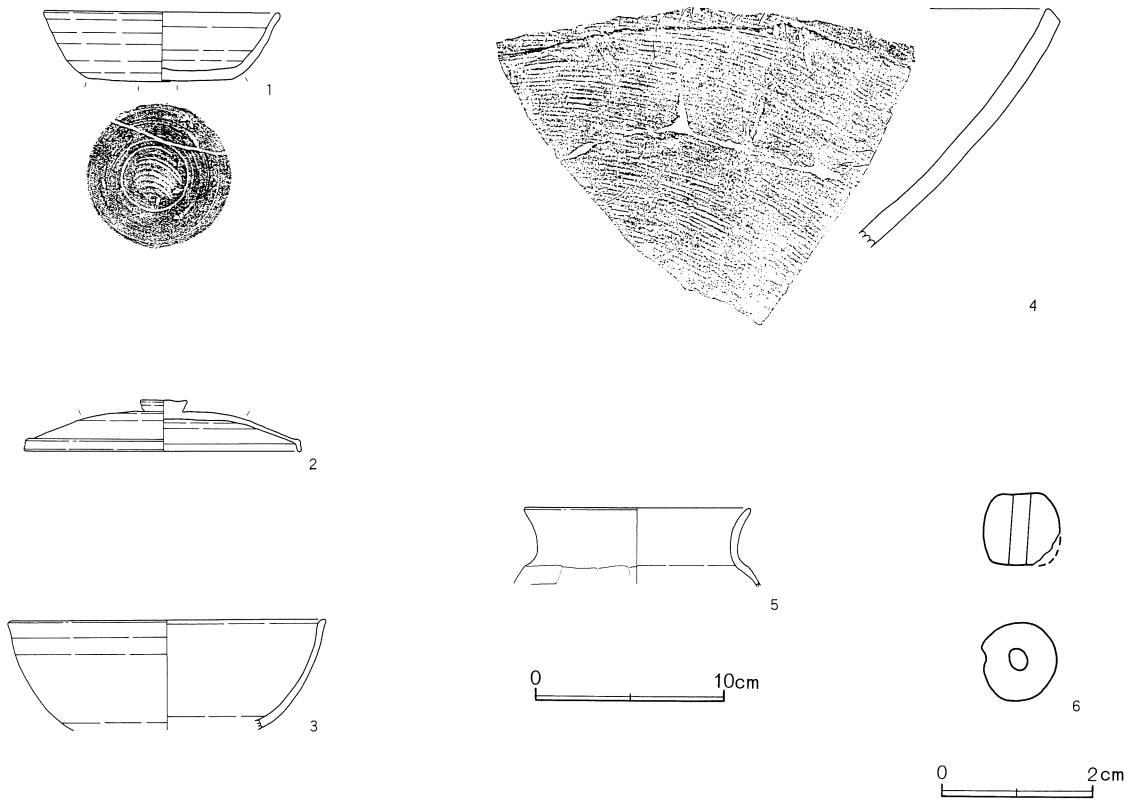
- 1 暗赤褐色土 焼土粒子多く含む
- 2 暗褐色土 ローム粒子・炭化物粒子含む
- 3 暗褐色土 焼土・炭化物粒子多く含む
- 4 褐色土 炭化物粒子多く含む
- 5 暗褐色土 ローム粒子・炭化物僅かに含む
- 6 赤褐色土 焼土ブロック
- 7 褐色土 炭化物粒子僅かに含む
- 8 黒褐色土 焼土・ローム粒子多く含む



第154図 第30号住居跡



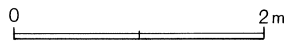
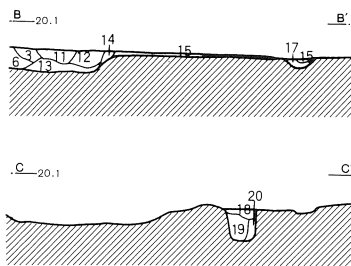
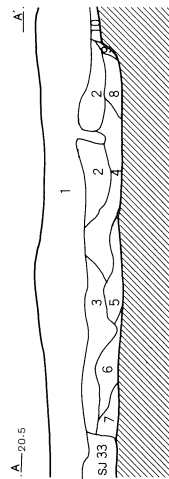
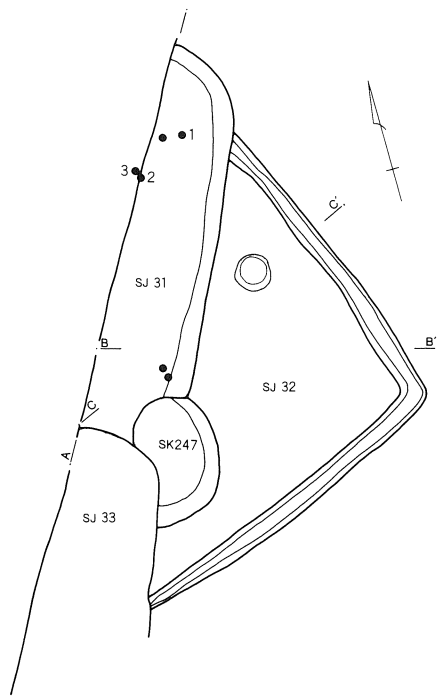
第155図 第30号住居跡出土遺物



第30号住居跡出土遺物観察表(第155図)

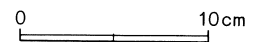
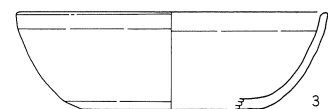
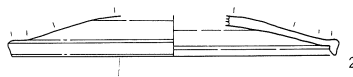
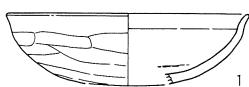
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器坏	12.6	3.7	7.6	AS	III	淡黄	70	RBa
2	蓋	(14.8)	2.7		ABS	I	灰	25	天井部右回転篋削り 鈕径2.5cm
3	椀	(17.0)			AB	I	灰	20	口唇内側に面をもつ
4	鉢				ABRS	I	灰	—	外面平行叩き 口縁端部に及ぶ
5	土師器甕	(12.1)			BES	III	鈍い褐	15	胴部←方向篋削り

第156図 第30・31号住居跡



- 1 灰黄褐色土 小礫多く含む 締まり有り
- 2 灰褐色土 締まり有り
- 3 黒褐色土 炭化物粒子・焼土粒子僅かに含む 締まり有り
- 4 黒褐色土 焼土・炭化物粒子若干含む 締まり有り
- 5 黒褐色土 ロームブロック若干含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子多く、焼土微量含む
- 7 暗褐色土 ローム粒子多い
- 8 暗褐色土 焼土・ローム粒子多量含む
- 9 褐色土 ローム粒子若干含む
- 10 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
- 11 黒褐色土 焼土・炭化物・ローム粒子僅かに含む
- 12 黒褐色土 焼土粒子多量、炭化物粒子僅かに含む
- 13 黒褐色土 ローム粒子多く、炭化物微量を含む
- 14 黒褐色土 焼土粒子若干含む
- 15 黒褐色土 ローム粒子・焼土粒子若干含む
- 16 暗褐色土 焼土粒子若干含む やや粘性有り
- 17 褐色土 炭化物粒子僅かに含む
- 18 黒褐色土 焼土僅かに含む
- 19 黒褐色土 ローム粒子・炭化物含む
- 20 黒褐色土 炭化物粒子僅かに含む

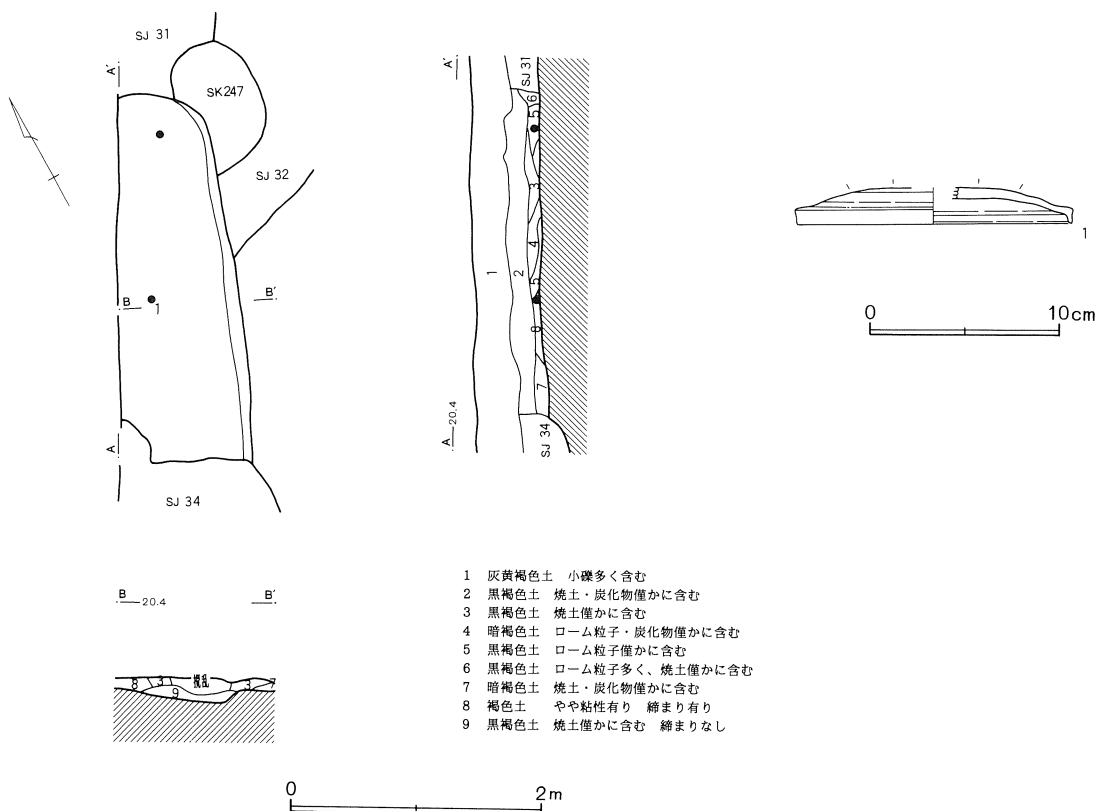
第157図 第31号住居跡出土遺物



第31号住居跡出土遺物観察表(第157図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	土師器 坏	(13.0)	(3.8)		BS	II	橙	10	体部外面←方向篋削り
2	須恵器 蓋	(17.2)			AS	I	灰	10	天井部右回転篋削り 糸切り痕あり
3	椀	(16.6)	5.1	(9.6)	AS	I	灰	20	RA 体部下端回転篋削り

第158図 第33号住居跡



第33号住居跡出土遺物観察表(第158図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器蓋	(14.6)			ABS	I	灰白	15	天井部右回転篋削り 糸切り痕あり

れている。平面形は隅丸方形を呈するものと推定される。規模は南北2.90m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。

出土遺物(第158図)

遺物は須恵器蓋の他、須恵器坏・甕の破片、土師器破片が出土した。

第34号住居跡(第159図)

CB-6、CC-6・7グリッドに位置する。第33号住居跡を切り、第35・38号住居跡及び第255号土坑に切られている。住居跡西側は調査区域外に位置している。平面形は方形になるものと推定される。規模は南北3.56m以上、深さ40cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

カマドは北壁に付設され、西側は調査区外になるが、全長139cmを測る。

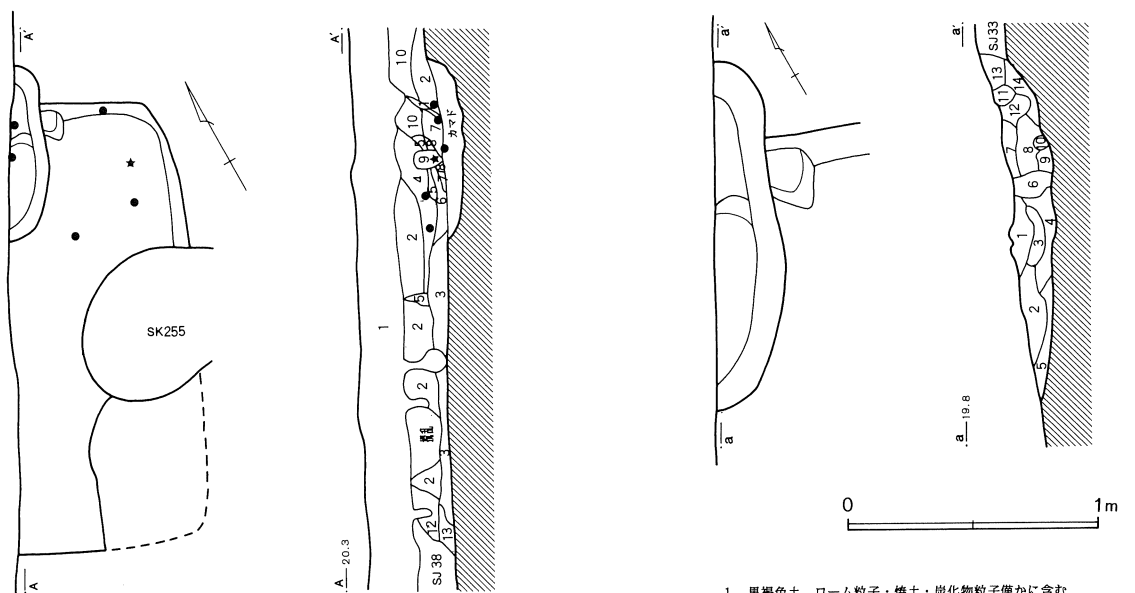
出土遺物(第159図)

土師器甕の他に須恵器甕破片、土師器坏・台付甕破片が出土した。

第35号住居跡(第160図)

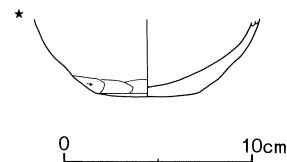
CC-6・7グリッドに位置する。第34号住居跡を切り、第37号住居跡及び第255・257号土坑に切られている。南壁・東壁は検出されていないが、平面形は方形になるものと推定される。規模は南北3.20m以上、東西3.30m以上、深さ9cmを測る。主軸方位はN-19°-Eを指す。

第159図 第34号住居跡



- 1 鈍黄褐色土 白色粒子・小礫若干含む
- 2 褐色土
- 3 褐色土黄褐色土微粒子含む
- 4 暗褐色土 橙色土粒子微量含む
- 5 褐色土ブロック 極締まり強い
- 6 暗赤褐色土 黄褐色土微粒子微量含む
- 7 暗赤褐色土 焼土極多い
- 8 暗褐色土 焼土・灰色粘土若干含む
- 9 褐色土 焼土粒子・白色微粒子若干含む 極締まり強い
- 10 暗褐色土
- 11 褐色土 締まりなし
- 12 褐色土 焼土多く含む
- 13 褐色土 焼土塊多く、炭化材若干含む

- 1 黒褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物粒子僅かに含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子多く、焼土・炭化物粒子僅かに含む
- 3 焼土層 炭化物粒子僅かに含む
- 4 暗赤褐色土 焼土粒子・炭化物粒子僅かに含む
- 5 暗褐色土 ローム粒子・焼土粒子多く含む
- 6 黒褐色土 焼土粒子若干含む 締まりなし
- 7 黒褐色土 ローム粒子・焼土粒子僅かに含む
- 8 暗褐色土 ローム粒子・焼土粒子多く含む
- 9 暗褐色土 焼土粒子・炭化物粒子僅かに含む
- 10 褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物粒子多く含む 締まり有り
- 12 黒褐色土 焼土粒子僅かに含む 締まりなし
- 13 灰黄褐色土 炭化物多く、焼土僅かに含む
- 14 褐色土 焼土・炭化物粒子僅かに含む



第34号住居跡出土遺物観察表(第159図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
★	土師器甕			5.6	S	II	橙	70	底部一方向の篋削り 体部下端篋削り 内面ナデ

出土遺物(第161図)

須恵器坏・椀・蓋の他に、双耳坏の耳部分・長頸瓶・甕破片、土師器坏・甕・台付甕破片などが出土した。

第36号住居跡(第162・163図)

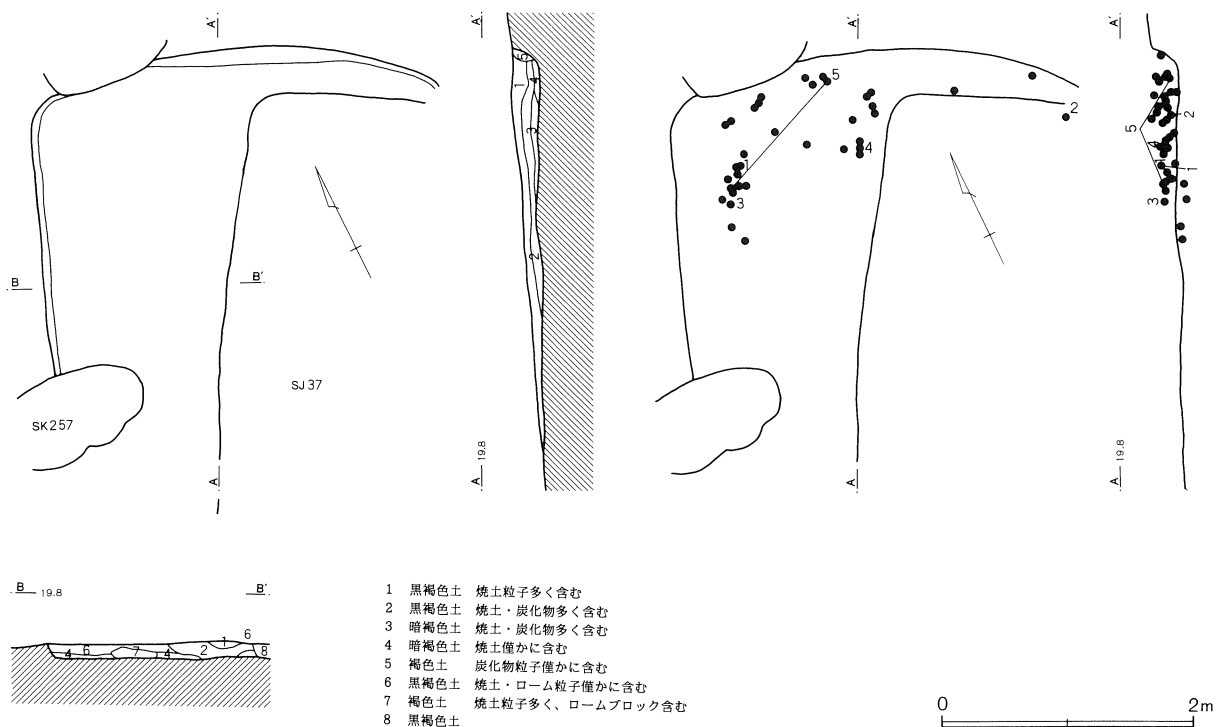
CC-6・7グリッドに位置する。第35・37・39・40号住居跡を切り、第252・253号土坑に切られている。平面形は隅丸方形になるものと思われる。規模は南北4.0m以上、東西3.8m以上、深さ13cmを測る。主軸方位はN-24°-Eを指す。

カマドは北壁に付設され、カマドの一部と焚き口部は攪乱を受けている。全長は70cm以上を測る。

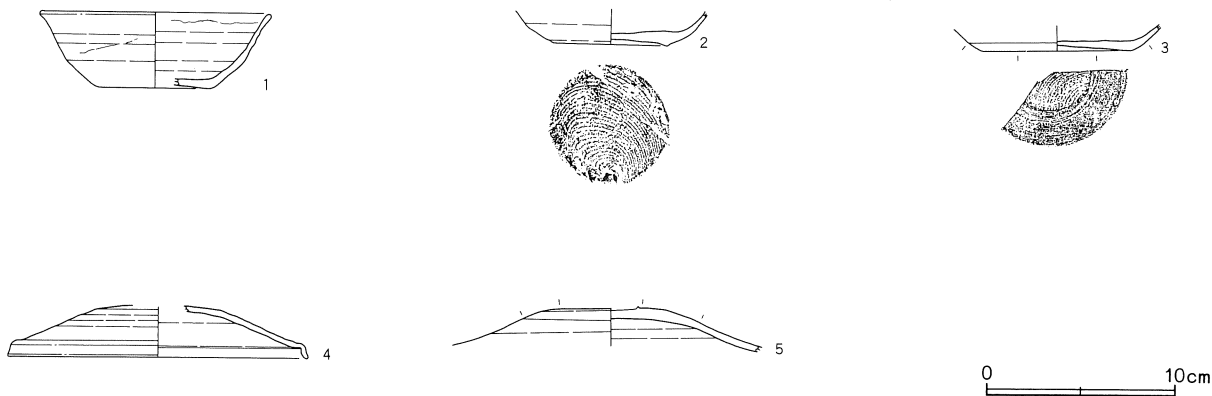
出土遺物(第164図)

須恵器坏・高台付坏・椀・蓋、土師器坏・鉢・甕の他、須恵器鉢破片などが出土した。須恵器坏は底部回転糸切り離し未調整のものが主体である。

第160図 第35号住居跡



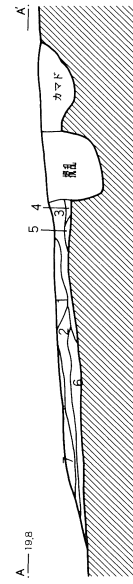
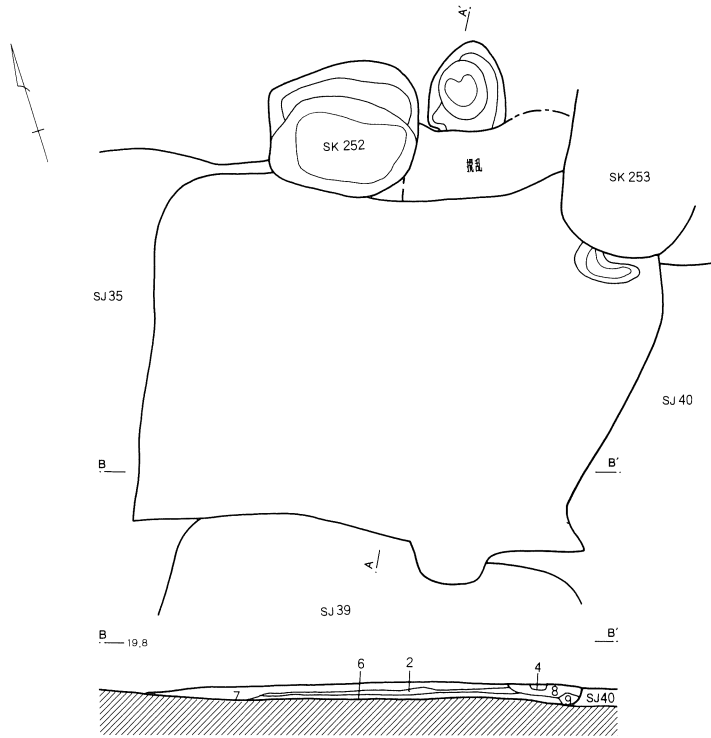
第161図 第35号住居跡出土遺物



第35号住居跡出土遺物観察表(第161図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器 坏	(12.4)	4.0	(5.8)	ABS	I	灰白	20	RC
2	坏			6.1	ABS	I	灰	80	RC 底部内面外周篋調整
3	椀			(8.0)	ABS	I	灰	30	RBb 体部下端回転篋削り
4	蓋	(16.0)			ABS	I	灰	10	天井部右回転篋削り
5	蓋				ABS	II	鈍い橙	30	天井部回転糸切り後周辺右回転篋削り 鈕欠損

第162図 第36号住居跡

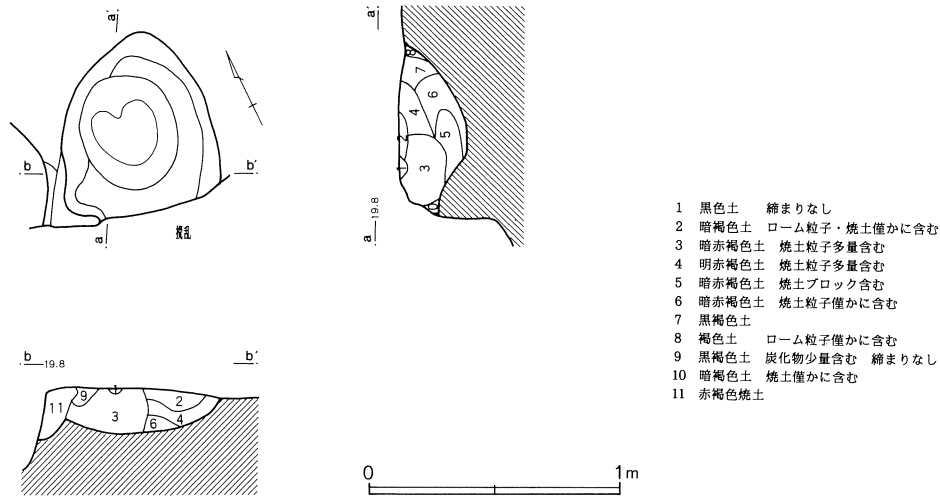


- 1 褐色土 焼土・炭化物多く含む
- 2 黒褐色土 焼土粒子多く、炭化物僅かに含む
- 3 黒褐色土 焼土粒子僅かに含む
- 4 淡黒褐色土 焼土多く含む
- 5 黒褐色土
- 6 明赤褐色土 焼土多く、黒褐色土含む
- 7 黒褐色土 焼土多く含む
- 8 暗褐色土 焼土僅かに含む
- 9 暗褐色土 焼土・粘土ブロック含む



0 2m

第163図 第36号住居跡カマド



第36号住居跡出土遺物観察表(第164図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器 坏	(13.2)	3.7	(6.9)	BCEJS	II	橙	15	カマド 体部←方向筥削り
2	須恵器 坏	13.1	3.5	6.9	ABS	I	灰白	60	RC
3	坏	12.5	3.5	6.5	ARS	I	灰	70	RC
4	坏	(12.2)	3.5	(6.0)	AS	I	灰	20	RC
5	坏	(12.0)	3.9	6.5	ABS	I	灰黄	50	RC 底部・体部下半に糸引き抜き痕
6	坏	(13.0)	3.9	6.4	ABS	I	灰	60	RC
7	坏	(12.5)	3.5	(6.1)	ABS	I	灰白	30	RC 口縁部油煙付着 底部筥記号「//」 灯明皿
8	坏	12.4	3.8	6.0	ABS	II	褐灰	70	RC 火燵痕あり
9	坏	(11.6)	3.6	6.0	ABS	I	灰	50	RC 糸引き抜き痕あり
10	高台付 坏	11.2	5.0	7.0	AS	II	灰	95	底部回転糸切り周縁筥ナデ 高台貼付ナデ
11	碗	(15.6)			ABRS	I	灰	20	口唇端部内面取り状
12	碗			6.9	AS	I	灰	10	RA 体部下端に筥削り及び
13	蓋	(17.2)	4.8		ABS	I	鈍い橙	40	天井部右回転筥削り 鈕径3.3cm
14	蓋	(17.2)	3.9		ABERS	II	鈍い橙	40	天井部右回転筥削り 鈕径2.7cm
15	蓋	(16.0)			ABS	I	灰	15	天井部右回転筥削り
16	土師器 鉢	(20.0)			BES	II	橙	20	胴部外面←方向筥削り
17	甕	(18.2)			ES	II	橙	30	胴部上半←方向筥削り

第37号住居跡(第165・166図)

CC-6・7グリッドに位置する。第36号住居跡が上に構築され、第39号住居跡に切られている。平面形は方形になるものと推定される。規模は南北3.40m以上、東西4.00m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

カマドは北壁中央に付設され、カマド煙道部寄りには攪乱を受けて全長は86cm以上、焚き口幅60cmを測る。壁溝はカマド付近を除いて全周する。規模は幅約10~20cm、深さ約4~6cmを測る。

出土遺物(第167図)

須恵器坏・高台付坏・蓋・短頸壺が出土し、出土範

圃は北東隅に集中していた。

第38号住居跡(第168図)

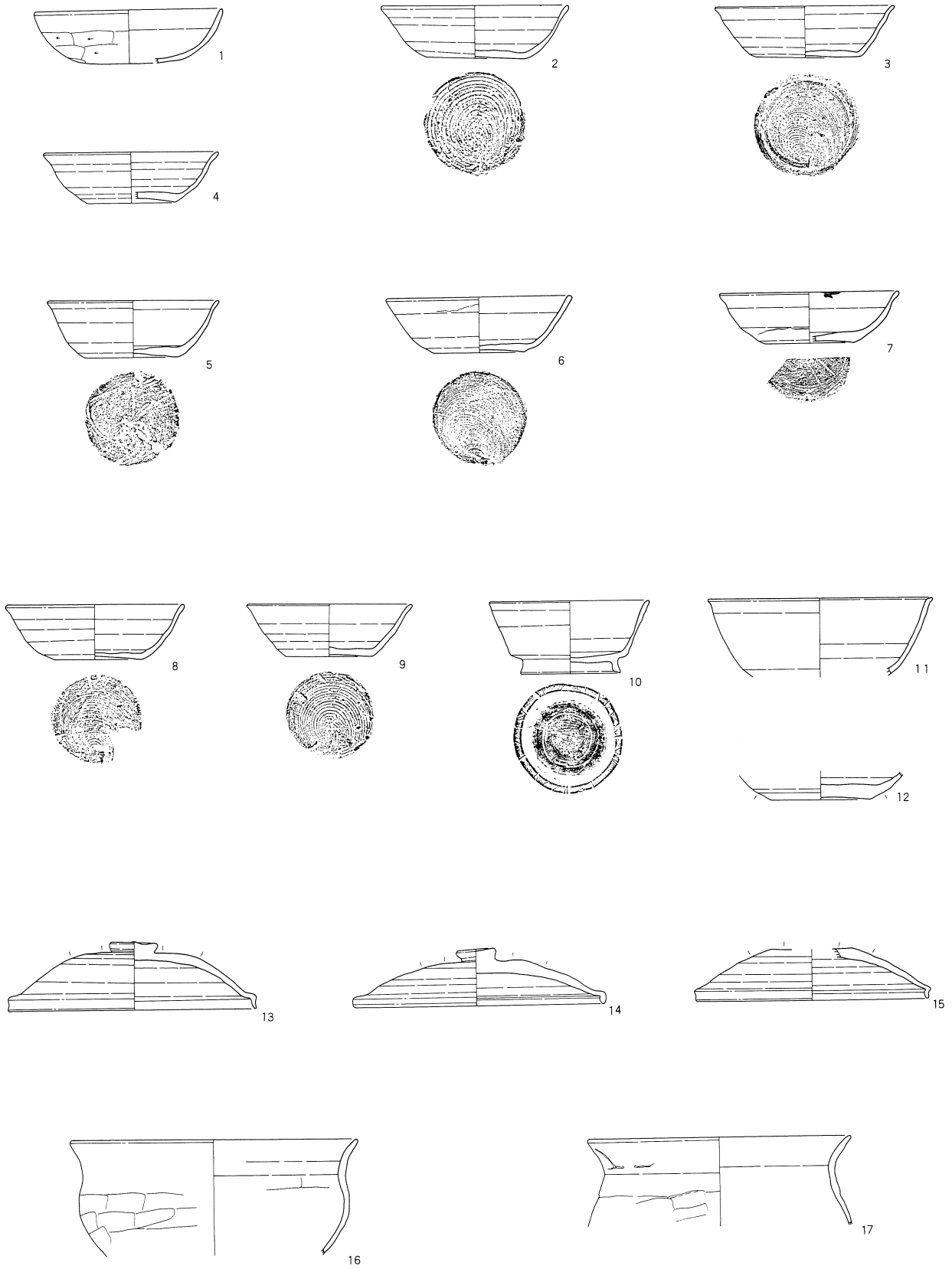
CC-6グリッドに位置する。第34号住居跡を切り、第257・258号土坑に切られている。平面形は方形になるものと推定される。規模は南北2.45m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-30°-Eを指す。

カマドは北壁に付設され、西半部は調査区外にある。全長は108cmを測る。

出土遺物(第168図)

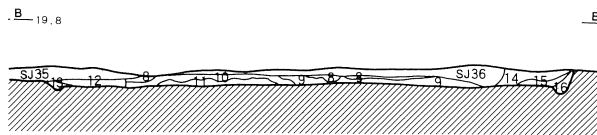
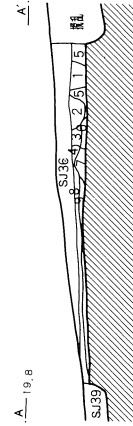
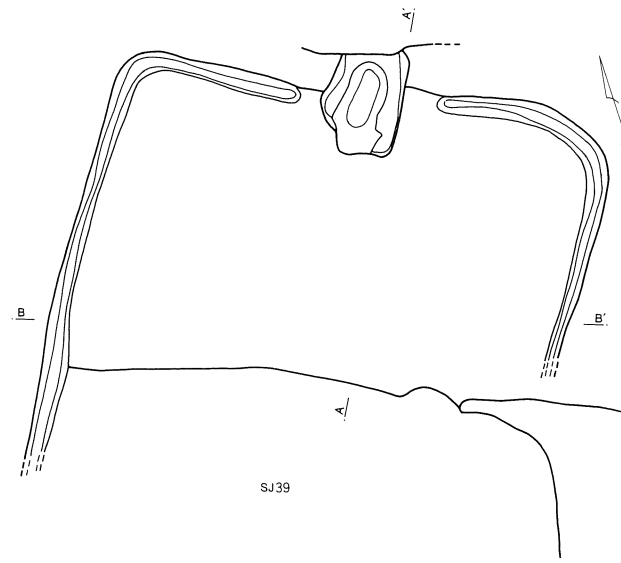
遺物は須恵器蓋の他、土師器甕破片などが出土している。

第164図 第36号住居跡出土遺物

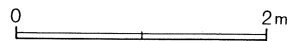
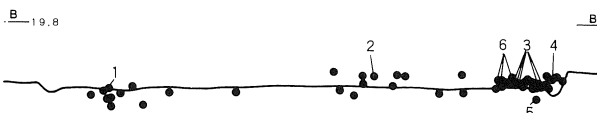


0 10cm

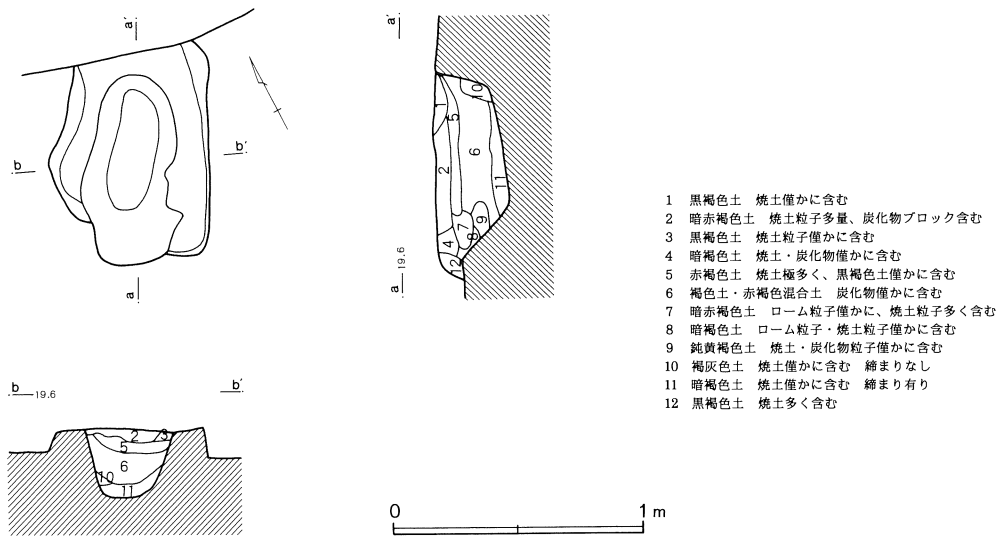
第165図 第37号住居跡



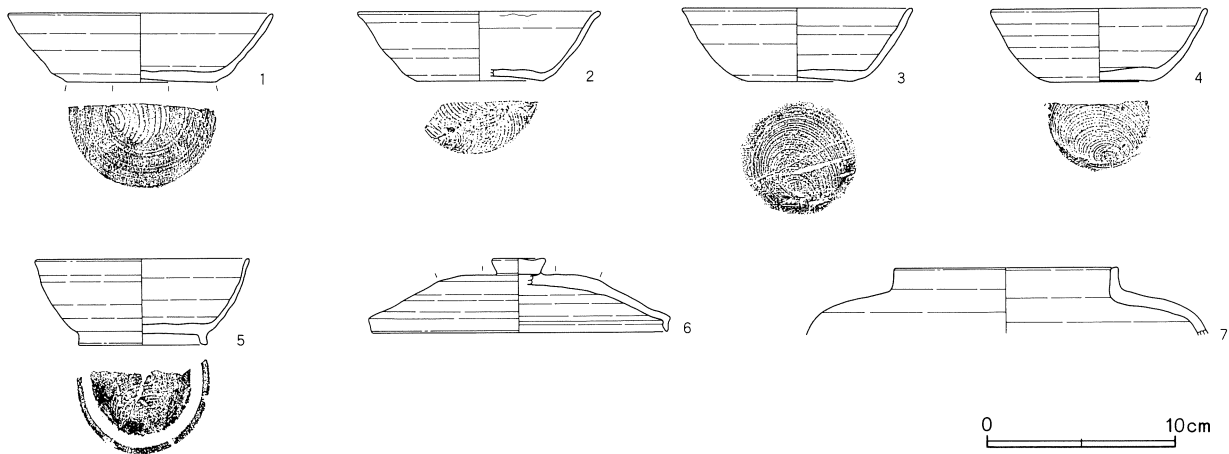
- 1 褐灰色 ローム粒子・焼土粒子僅かに含む 締まりあり
- 2 黒褐色土 焼土粒子僅かに含む 締まりなし
- 3 黒褐色土 焼土ブロック・焼土粒子多量に含む
- 4 黒褐色土 焼土粒子僅かに含む 締まりなし
- 5 灰褐色土 焼土粒子僅かに含む 締まりあり
- 6 褐灰色土 焼土・炭化物粒子僅かに含む 粘土質 締まりあり
- 7 鈍赤褐色土 焼土・黒褐色土多量含む
- 8 褐色土 焼土と炭化物粒子含む
- 9 褐色土 ローム粒子・焼土僅かに含む
- 10 黒褐色土 ローム粒子・焼土多く含む
- 11 褐色土 焼土僅か、黒褐色土ブロック含む
- 12 鈍赤褐色土 焼土粒子多量含む 締まり良い
- 13 黒褐色土
- 14 暗褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
- 15 暗褐色土 焼土・炭化物多量含む
- 16 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む 締まり強い



第166図 第37号住居跡カマド



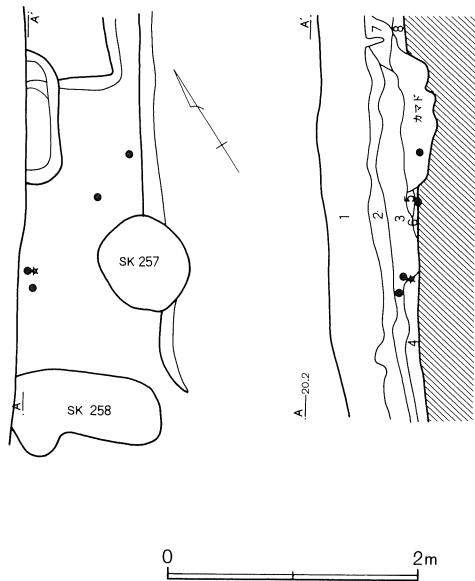
第167図 第37号住居跡出土遺物



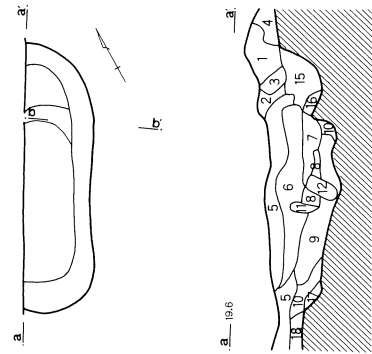
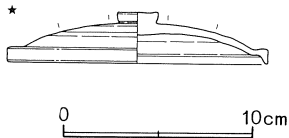
第37号住居跡出土遺物観察表(第167図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器坏	(14.2)	3.6	(8.0)	ABS	I	灰白	35	RBb
2	坏	(13.0)	3.6	(6.8)	ABRS	I	灰	25	カマド RC 糸切り2回
3	坏	12.3	3.9	5.7	ABS	III	灰白	85	RC
4	坏	(11.6)	3.8	5.5	ABS	I	灰	40	RC 篋記号「一」
5	高台付坏	(11.5)	4.5	6.9	ABS	I	灰	40	回転糸切り後高台貼付ナデ
6	蓋	15.7	3.9		ABS	I	灰	50	天井部右回転篋削り 鉦径2.9cm
7	短頸壺	(12.0)			ABS	I	灰	10	外面自然釉

第168図 第38号住居跡



- 1 鈍黄褐色土 白色粒子・小礫若干含む
- 2 暗褐色土 橙色土粒子若干含む
- 3 褐色土 橙色土粒子・黄褐色土微粒子多く含む 締まり強い
- 4 褐色土 橙色土粒子若干、黄褐色土粒子極多く含む 締まり強い
- 5 暗褐色土 焼土・黄褐色土微粒子若干含む 締まり強い
- 6 暗褐色土 黄褐色土微粒子多く含む
- 7 褐色土 焼土多く含む
- 8 褐色土 黄褐色土微粒子含む



- 1 褐灰色土 焼土・炭化物多く含む 締まり有り
- 2 灰黄褐色土 焼土・炭化物若干含む 粘質 締まり有り
- 3 黒褐色土 焼土含む 締まりなし
- 4 極暗褐色土 ローム粒子・焼土粒子若干含む
- 5 暗褐色土 焼土粒子多く、ローム粒子僅かに含む
- 6 焼土層 ローム粒子・炭化物多く含む
- 7 灰黄褐色土 焼土若干含む 粘性有り
- 8 褐色土 炭化物若干含む
- 9 黒褐色土 ローム粒子多く、焼土粒子僅かに含む 締まり有り
- 10 黄褐色土 炭化物若干含む
- 11 褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
- 12 暗褐色土 焼土粒子多く含む
- 13 暗赤褐色土 ロームブロック・焼土僅かに含む
- 14 黄褐色土 炭化物若干含む
- 15 暗赤褐色土 焼土多量、炭化物僅かに含む
- 16 明褐色土 ロームブロック・焼土僅かに含む
- 17 暗褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
- 18 暗褐色土 黄褐色土微粒子多く含む

第38号住居跡出土遺物観察表(第168図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
★	須恵器蓋	(14.0)	2.7		ABS	I	灰	45	天井部右回転篋削り 鈕径2.2cm

第39号住居跡(第169図)

CC-6・7グリッドに位置する。第37号住居跡を切り、第268号土坑と第48号溝に切られている。南壁と東西の一部の壁は検出されていないが、平面形は方形になるものと推定される。規模は東西3.40m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-34°-Eを指す。

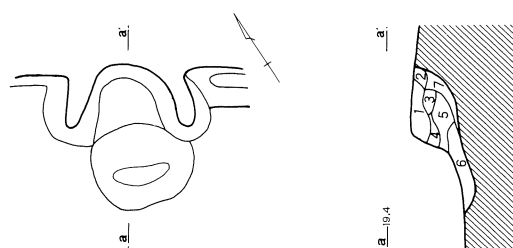
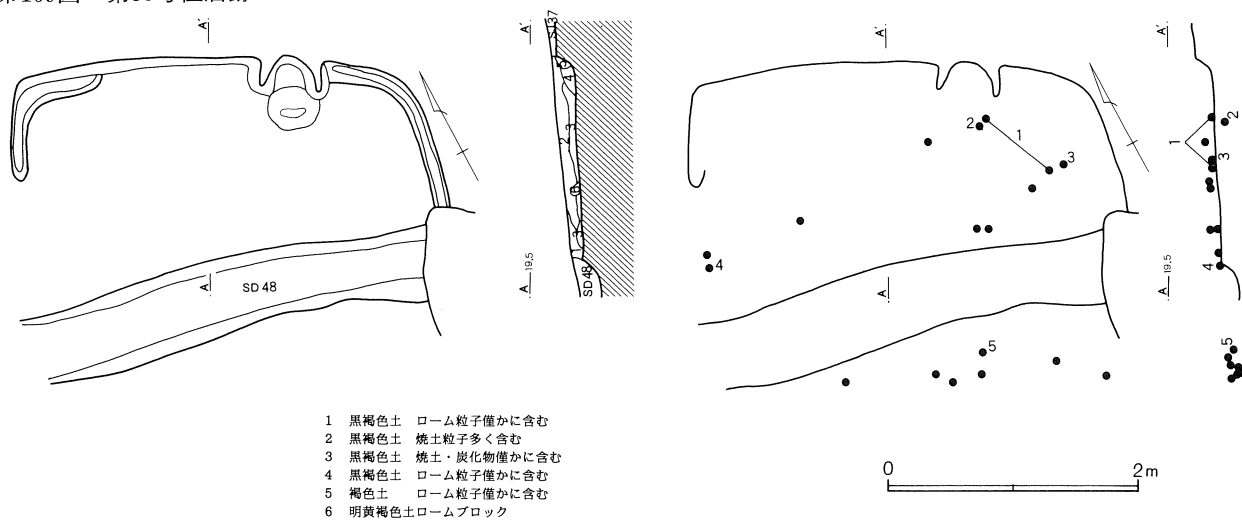
カマドは北壁のやや東寄りに付設され、壁外に突出せず、全長58cm、焚き口幅40cmを測り前面は土坑状になっている。袖部は地山掘り残しである。壁溝はカマド東側から東壁で、また北西壁隅付近でも検出されている。規模は幅約12~15cm、深さ約5cmを測る。

出土遺物(第170図)

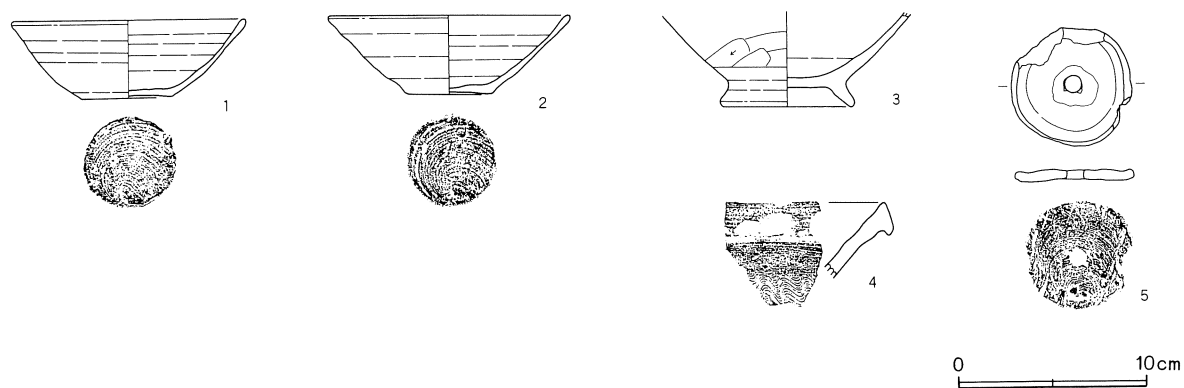
須恵器坏・甕、紡錘車、土師器高台付椀の他、須恵器椀・蓋の破片、土師器甕破片などが出土した。

5は須恵器坏底部を転用した紡錘車で、底部調整は右回転糸切り未調整で、胎土は白色針状物質を含んだものである。径は6.4~6.5cm、厚さ8mmを計る。紡錘車として特に整形痕はなく、中央に穿孔しただけのもので孔径は8~9mmを測る。

第169図 第39号住居跡



第170図 第39号住居跡出土遺物



第39号住居跡出土遺物観察表(第170図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器 坏	12.5	4.2	4.8	ABES	II	鈍い橙	70	RC
2	坏	(13.0)	4.1	4.7	AS	II	鈍い褐	45	RC
3	土師器 高台付椀			7.2	BRS	II	褐	40	酸化焰焼成底部篋ナデ 体部下半篋削り 高台部横ナデ
4	須恵器 甕				ABS	I	暗灰	—	櫛描波状文

第40号住居跡(第171図)

CC-7グリッドに位置する。第37・39号住居跡及び第253・267・268号土坑と重複して切られている。平面形は長方形を呈するものと考えられる。規模は南北3.80m以上、東西3.65m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-32°-Eを指す。

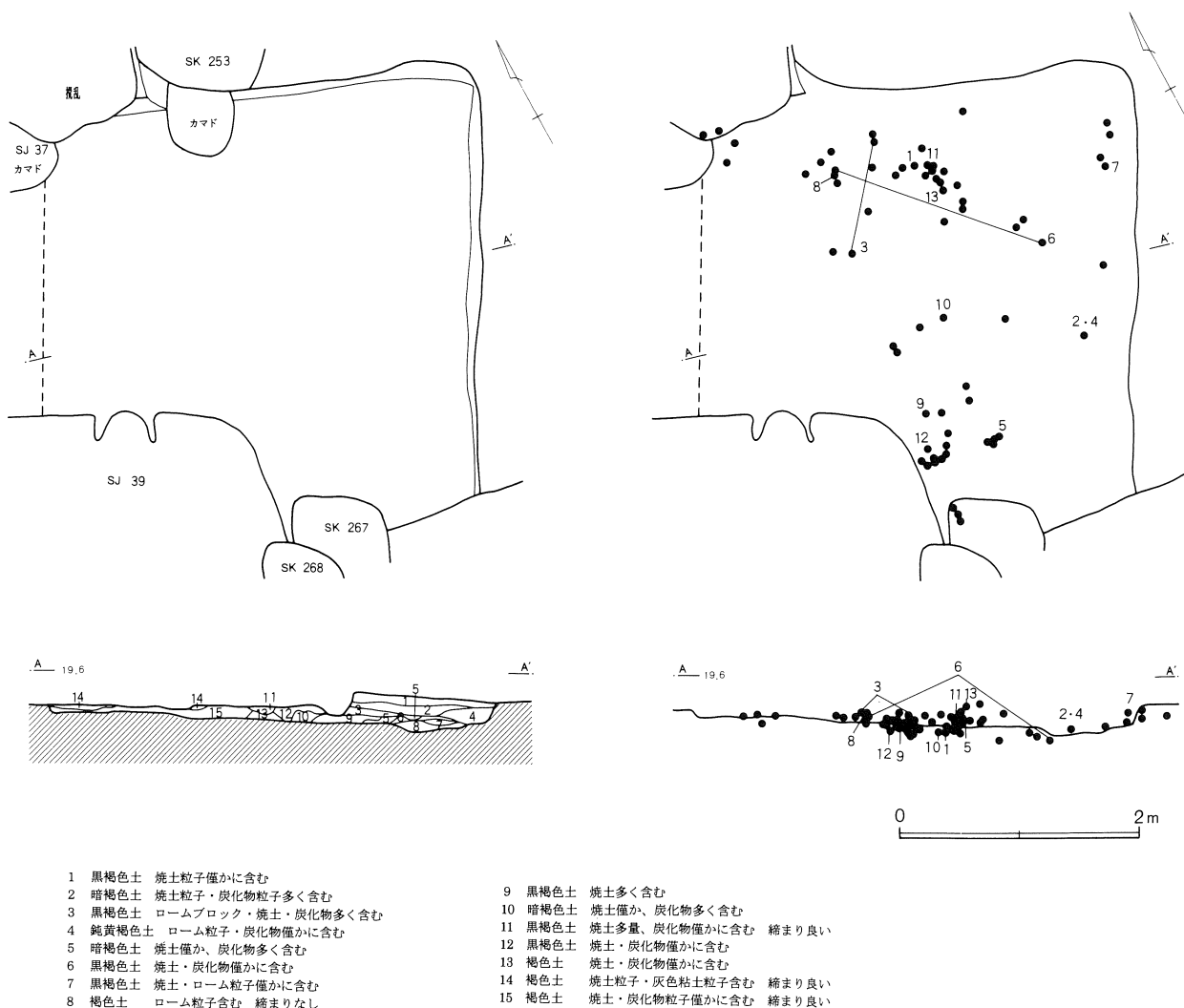
カマドは北壁に付設されているが、殆ど第235号土坑に切られ不明である。

出土遺物(第172図)

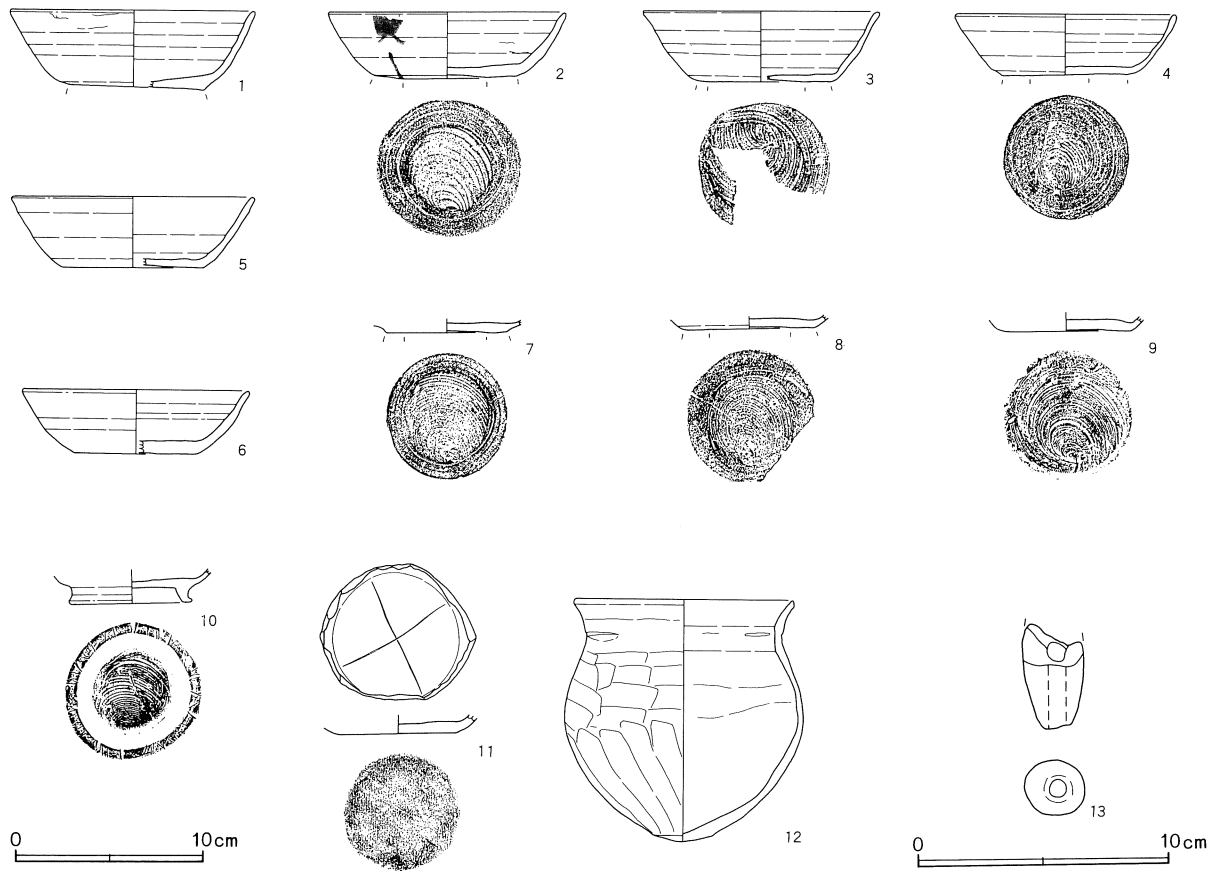
須恵器環・高台付環、土師器小型壺、土錘の他、須恵器蓋・椀・甕・鉢の破片、土師器甕の破片などが出土した。

13の土錘は、遺存長4.1cm、最大径2.4cm、孔径8mm、重さ14.54gである。

第171図 第40号住居跡



第172図 第40号住居跡出土遺物



第40号住居跡出土遺物観察表(第172図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器 坏	13.1	4.2	7.3	ABRS	II	鈍い橙	80	RA 篋削り複数回
2	坏	12.7	3.5	7.6	ACRS	I	灰白	100	RBb 口縁部内外面一部に油煙付着 底部にも若干及ぶ 灯明皿
3	坏	12.6	3.7	7.0	ABCS	II	鈍い橙	65	RBb
4	坏	11.8	3.2	6.6	ARS	I	灰	100	RBb
5	坏	(13.0)	3.7	(7.5)	AB	I	灰	25	RC
6	坏	(12.2)	3.4	(6.4)	AB	I	灰白	40	RC
7	坏			6.5	ABS	I	灰	100	RBb
8	坏			7.0	ABCS	I	鈍い褐	85	RBb 内面に火襷痕
9	坏			6.4	ABS	I	浅黄	100	RC 底部内面一部に油煙付着
10	高台付 坏			6.5	ABCH	I	灰白	100	回転糸切り 高台篋ナデ
11	坏			6.4	ABS	I	灰黄	100	A 底部静止篋削り 内外面「×」沈線 内面は平滑で黒味を帯びる 転用硯?
12	土師器 小型壺	(11.8)	12.8	(3.2)	BHS	II	鈍い黄橙	25	胴部上半←方向、下半↓方向篋削り

第41号住居跡(第173図)

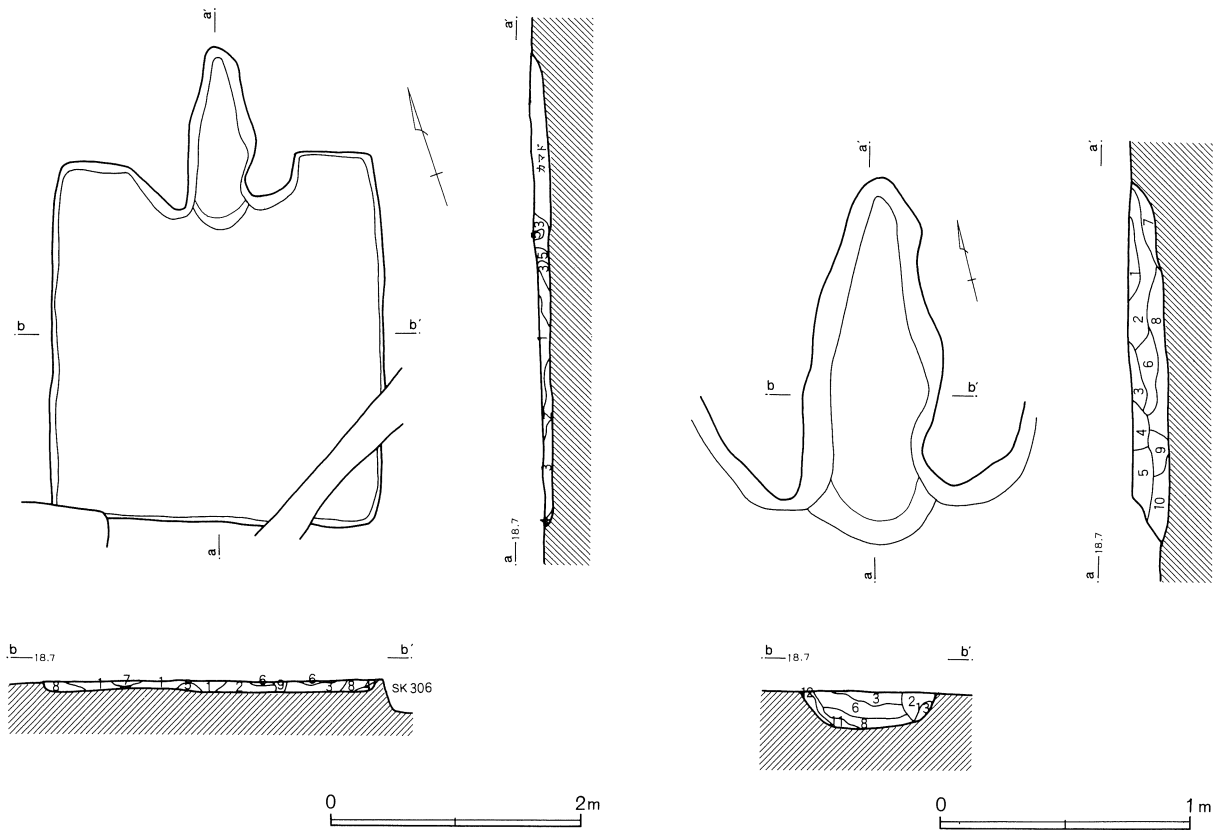
CD・CE-7グリッドに位置する。住居跡南東隅を第55号溝に、南西隅を第42号住居跡に切られている。平面形は方形を呈し、規模は南北2.84m、東西2.63m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-19°-Eを指す。

カマドは北壁中央に付設され、全長146cm、焚き口

幅62cmを測る。袖部は地山掘り残しである。

覆土中より須恵器坏・蓋、土師器甕などの破片が出土した。須恵器坏は底部全面回転篋削りのもので、さらに椀では体部下端に篋削りが及ぶものが見られる。

第173図 第41号住居跡



- 1 黒褐色土 焼土粒子多く、炭化物粒子僅かに含む
- 2 黒褐色土 灰色粘土多く、焼土・炭化物粒子僅かに含む
- 3 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒子多く含む
- 4 黒褐色土
- 5 灰黄褐色土 灰色粘土多量、焼土粒子若干含む
- 6 黒褐色土 焼土粒子多く含む
- 7 黒色土 灰色粘土・焼土粒子僅かに含む
- 8 黒色土 灰色粘土僅かに、炭化物粒子若干含む
- 9 灰黄褐色土 灰色粘土含む

カマド

- 1 褐灰色土 焼土粒子・焼土ブロック多く含む
- 2 灰黄褐色土 焼土ブロック含む
- 3 黒褐色土 焼土粒子・灰色粘土粒子若干含む
- 4 黒褐色土 焼土・橙色粘土粒子若干含む
- 5 黒褐色土 焼土粒子・灰色粘土粒子若干含む
- 6 褐灰色土 焼土ブロック・灰色粘土ブロック多く含む
- 7 黒褐色土 焼土粒子僅かに含む
- 8 鈍褐色土 焼土・炭化物粒子多量含む
- 9 焼土ブロック 灰色粘土ブロック含む

- 10 黒褐色土 焼土僅かに含む
- 11 明赤褐色焼土
- 12 黒褐色土 焼土粒子・灰色粘土ブロック含む
- 13 黒褐色土 灰色粘土粒子若干含む

第42号住居跡(第174図)

CE-6・7グリッドに位置する。住居跡北東隅が第41号住居跡と重複し、また南東隅で第55号溝を切っている。平面形は正方形を呈し、規模は東西3.28m、南北3.33m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

カマドは北壁中央に付設され、全長50cm、焚き口幅35cmを測る。カマドは壁外への突出はほとんどない。袖部は地山掘り残しのものである。

出土遺物(第175図)

須恵器環・高台付環・土師器壺の他に、土師器環・甕などの破片が出土している。須恵器環は底部を全面回転篋削りしたものと、周辺部を回転篋削りしたもの

が見られる。数量は周辺回転篋削りのものが多い。

第43号住居跡(第176図)

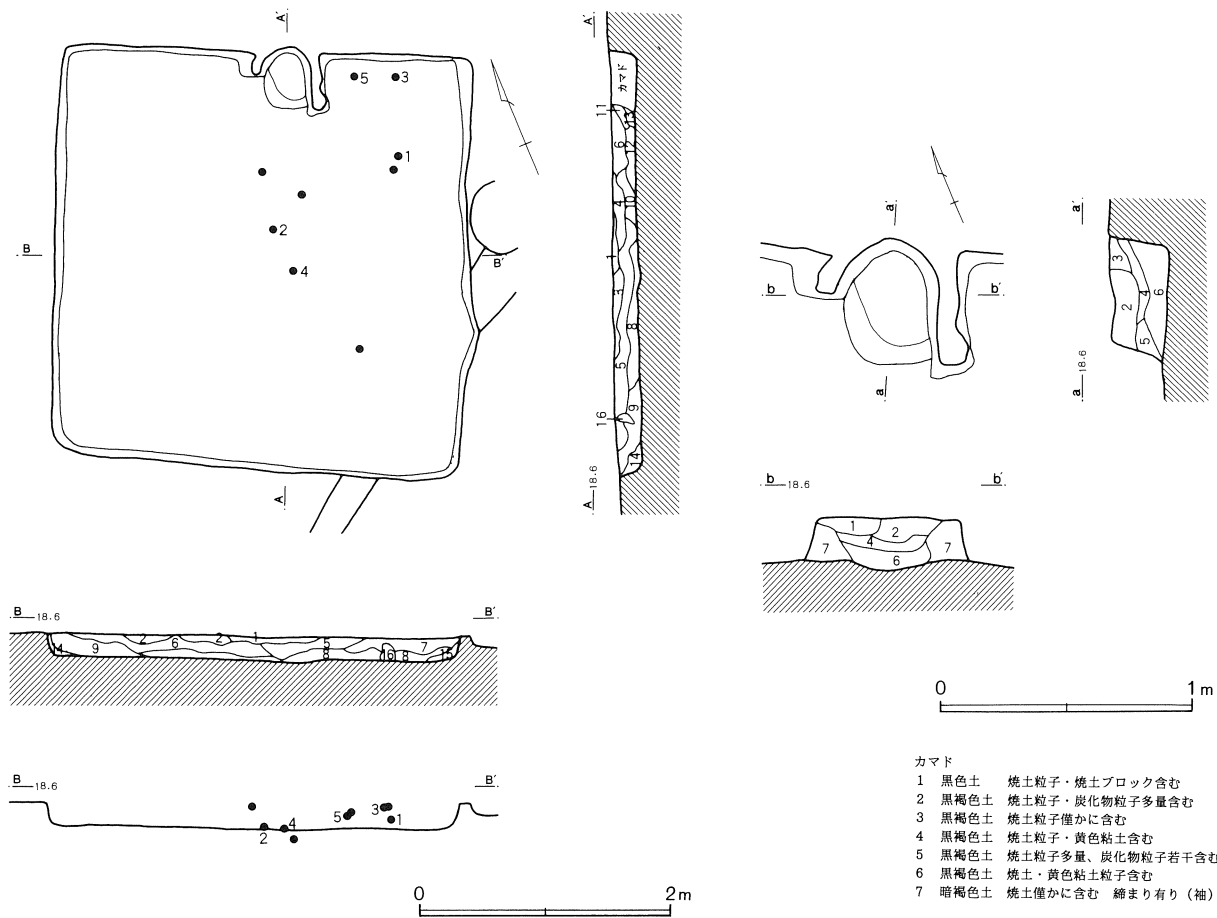
CF・CG-7グリッドに位置する。南側は第45号住居跡に切られている。平面形は方形を呈するものと推定される。規模は東西2.90m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-32°-Eを指す。

カマドは北壁に付設され、全長約80cm、焚き口幅42cmを測る。焚き口前面はピットによって切られている。ピット1・2とも住居跡には伴わないものであろう。

出土遺物(第177図)

須恵器環・蓋・甕、土師器環・甕が出土した。土師器環は放射状暗文と螺旋状暗文が施されている。

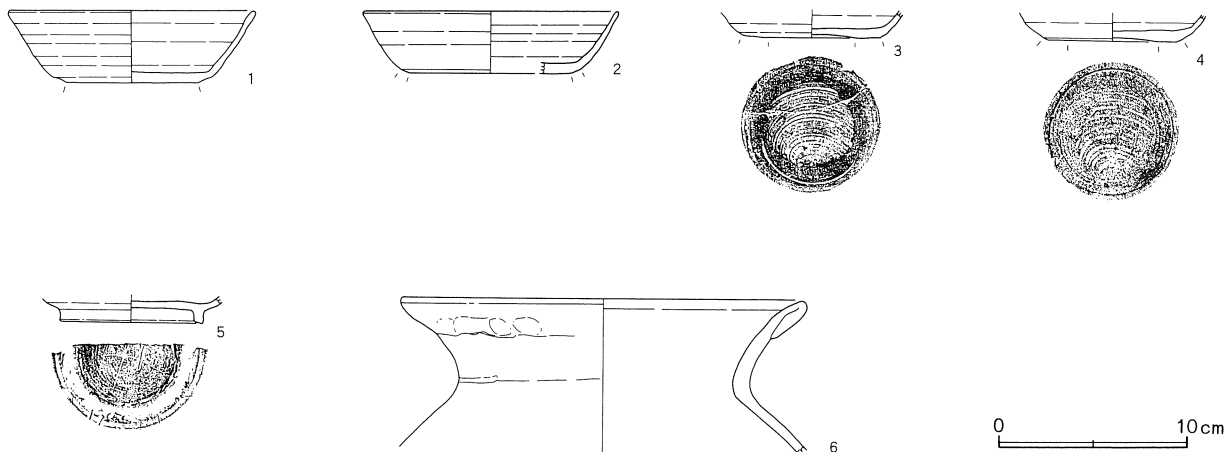
第174図 第42号住居跡



- カマド
- 1 黒色土 焼土粒子・焼土ブロック含む
 - 2 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒子多量含む
 - 3 黒褐色土 焼土粒子僅かに含む
 - 4 黒褐色土 焼土粒子・黄色粘土含む
 - 5 黒褐色土 焼土粒子多量、炭化物粒子若干含む
 - 6 黒褐色土 焼土・黄色粘土粒子含む
 - 7 暗褐色土 焼土僅かに含む 締め有り(袖)

- 1 黒褐色土 焼土粒子・灰色粘土若干含む
- 2 黒褐色土 焼土粒子多く含む
- 3 黒褐色土 焼土粒子多く、灰色粘土僅かに含む
- 4 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多く含む
- 5 黒色土 焼土粒子多量、灰色粘土粒子・炭化物粒子若干含む
- 6 黒褐色土 焼土粒子若干、灰色粘土粒子多量含む
- 7 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒子僅かに、灰色粘土粒子若干含む
- 8 暗褐色土 焼土粒子僅かに含む
- 9 黒色土 炭化物粒子僅かに含む
- 10 褐灰色土 焼土・炭化物粒子僅かに含む
- 11 暗褐色土 焼土・炭化物粒子若干含む
- 12 黒褐色土 焼土多量、炭化物粒子若干含む
- 13 暗褐色土 焼土・炭化物粒子僅かに含む
- 14 黒褐色土 焼土・炭化物粒子若干含む
- 15 黒褐色土 炭化物粒子若干含む
- 16 灰黄褐色土 焼土粒子僅かに含む

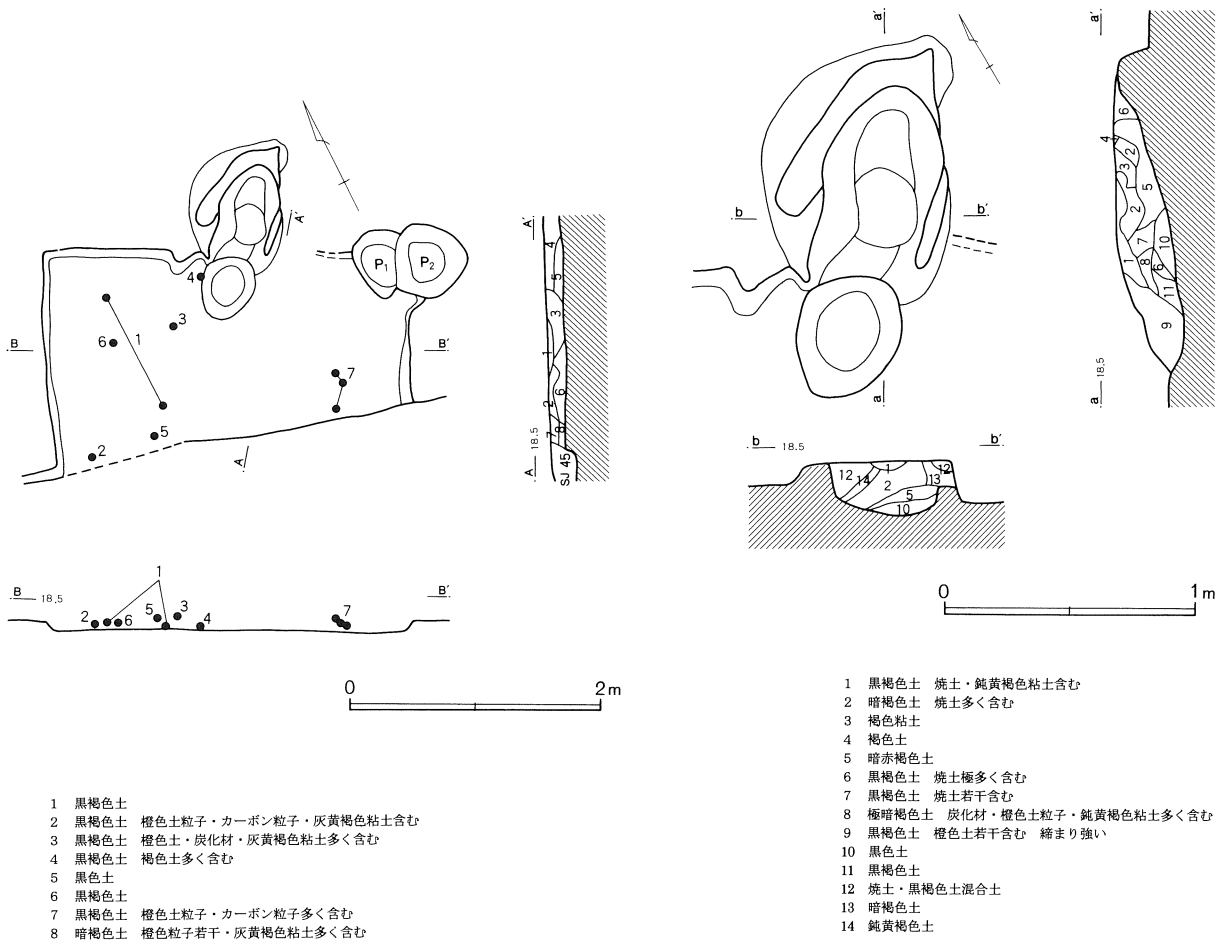
第175図 第42号住居跡出土遺物



第42号住居跡出土遺物観察表(第175図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器坏	(13.2)	3.8	(7.0)	ABS	I	灰白	30	RA
2	坏	(13.6)	3.3	(8.6)	ABS	I	灰	10	床直 RA 体部下端に篋削り及ぶ
3	坏			7.4	ABS	I	灰白	95	RBb 内面クロロ痕顯著
4	坏			6.8	ABS	I	灰白	100	床直 RBb 体部下端に篋削り及ぶ
5	高台付坏			(7.7)	ABJS	I	灰	50	底部篋記号「×」
6	土師器甕	(21.7)			RS	II	鈍い黄橙	15	折り返し口縁 口縁部指頭押さえ

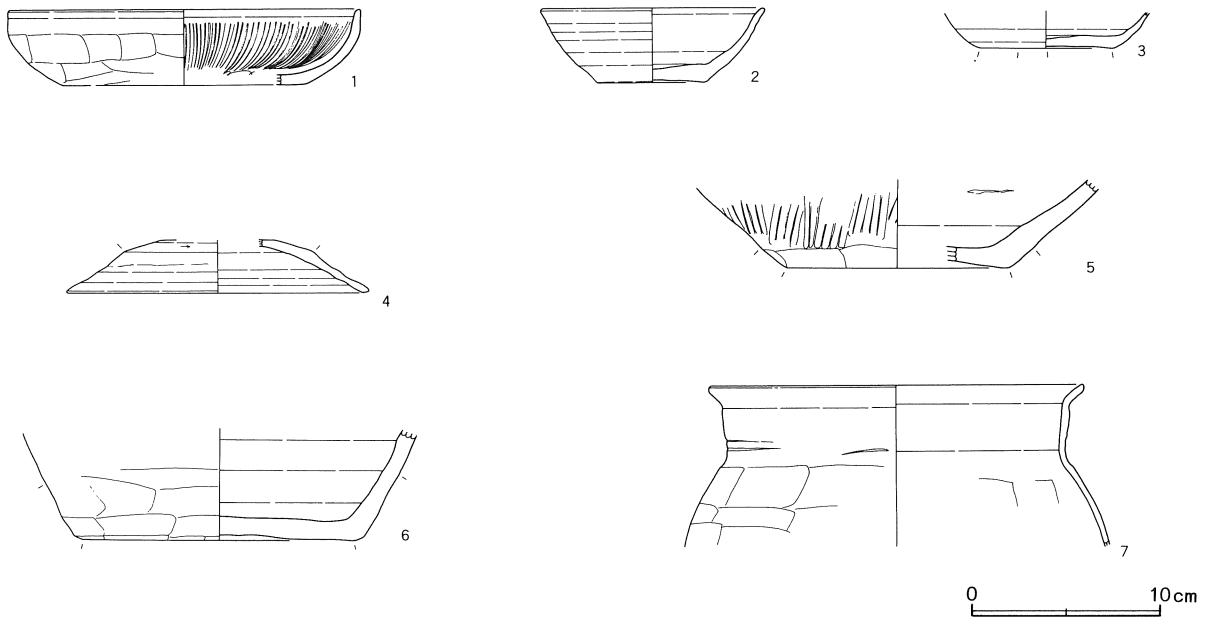
第176図 第43号住居跡



第43号住居跡出土遺物観察表(第177図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	土師器坏	(18.8)	4.0	(12.8)	BHS	II	橙	25	内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文
2	須恵器坏	11.9	3.9	6.0	ABKRS	II	鈍い橙	60	RC
3	坏			7.0	AS	I	灰	100	RBa 火襷痕あり
4	蓋	(16.0)			ABRS	II	鈍い橙	15	酸化焙焼成 天井部右回転篋削り
5	甕			11.8	AS	II	灰白	60	外面平行叩き 下端←方向篋削り
6	甕			17.4	ABS	I	灰	35	外面体部下端篋削り 底部篋記号「×」
7	土師器甕	(20.0)			BS	II	橙	70	胴部←方向篋削り

第177図 第43号住居跡出土遺物



第44号住居跡(第178図)

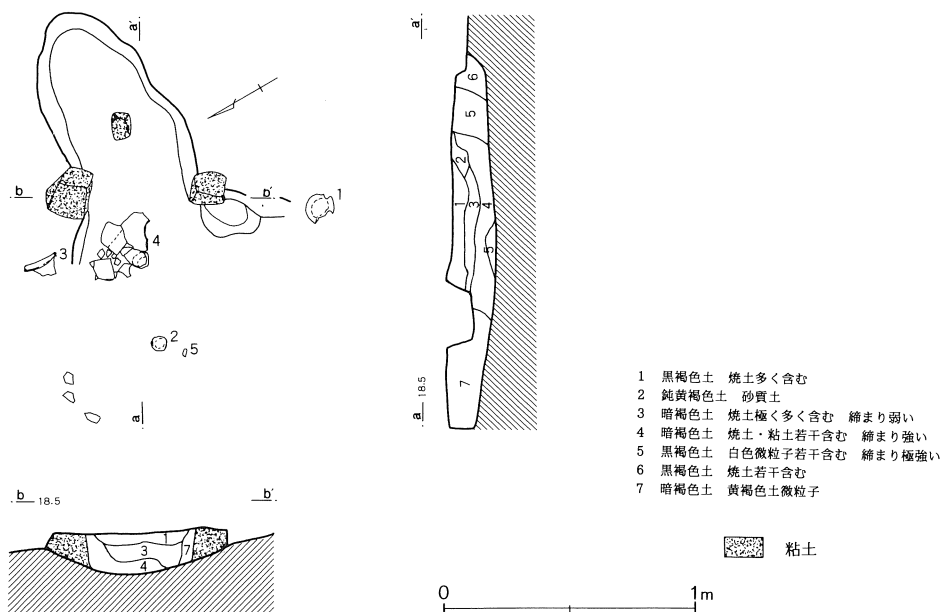
CG-7グリッドに位置する。第45号住居跡と重複して、第45号住居跡の上に建てられている。カマドのみ検出で、平面形は不明である。カマドは東壁に付設されたものと思われる。主軸方位はN-90°-Eを指す。カマドは全長90cm、焚き口幅42cmを測り、袖部には砂を多く含んだ粘土柱が両側に置かれている。また

カマド中央に袖と同じ砂を多く含んだ粘土の支脚を検出した。

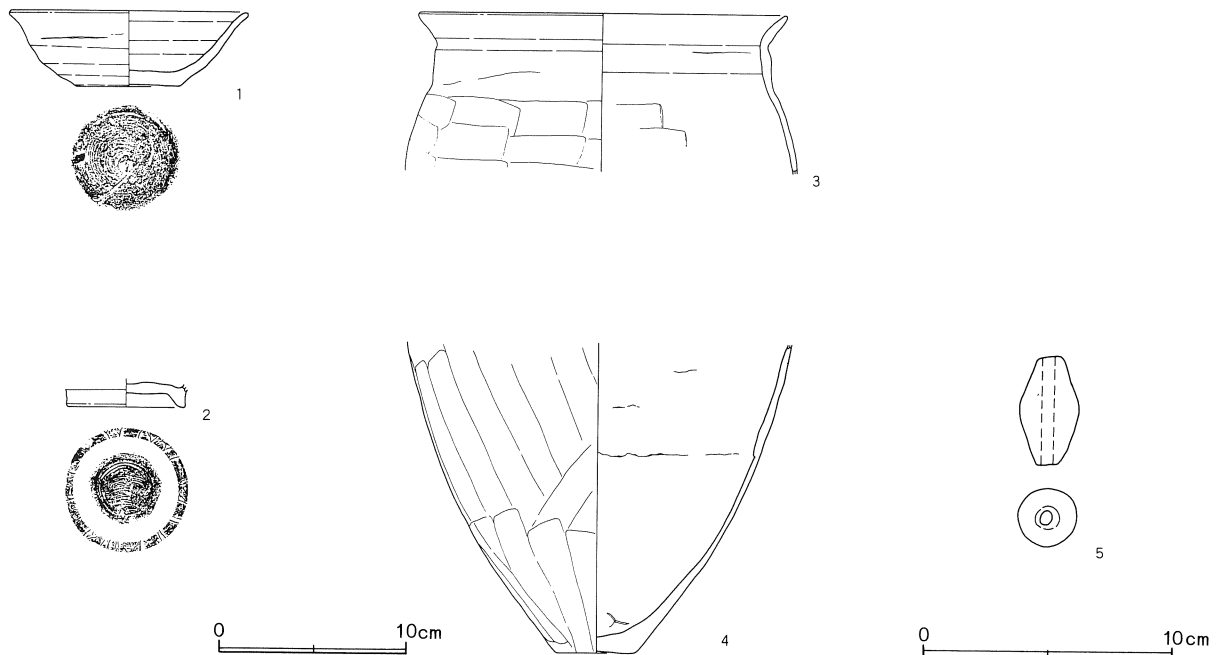
出土遺物(第179図)

須恵器坏・高台付坏、土師器甕、土錘を出土した。4の甕はカマド内の出土で、他はカマド周辺出土である。5の土錘は完存しており、長さ4.3cm、最大径2.4cm、孔径5~6mm、重さ17.22gである。

第178図 第44号住居跡カマド



第179図 第44号住居跡出土遺物



第44号住居跡出土遺物観察表(第179図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器 坏	12.7	4.1	5.5	AS	II	灰黄褐	75	RC
2	高台付 坏			6.3	ABS	I	灰	100	回転糸切り後高台貼付ナデ
3	土師器 甕	(19.6)			JS	II	橙	65	胴部上半←方向篋削り
4	甕			4.2	S	II	橙	30	カマド 胴部下半↓方向篋削り

第45号住居跡(第180・181図)

CF・CG-7グリッドに位置する。第43号住居跡を切り、第44号住居跡が切っている。更に第5号竪穴状遺構と重複している。平面形は長方形を呈し、規模は東西4.66m、南北3.48m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-111°-Eを指す。

カマドは東壁のやや南寄りに付設され、煙道部寄りには攪乱されているが、全長140cm以上、焚き口幅72cmを測る。焚き口前面は土坑状を呈する。

出土遺物(第182図)

須恵器 坏・椀・瓶、土製紡錘車、土錘の他に、須恵器蓋などが出土した。須恵器 坏底部破片は、底部回転糸切り離し未調整のものが主体で、全面回転篋削り、周辺回転篋削りのものも見られた。

8の土製紡錘車は、径4.5×4.7cm、厚さ1.9cm、孔

径8mmを測る。

12の土錘は両端面がへら整形されている。

第46号住居跡(第183図)

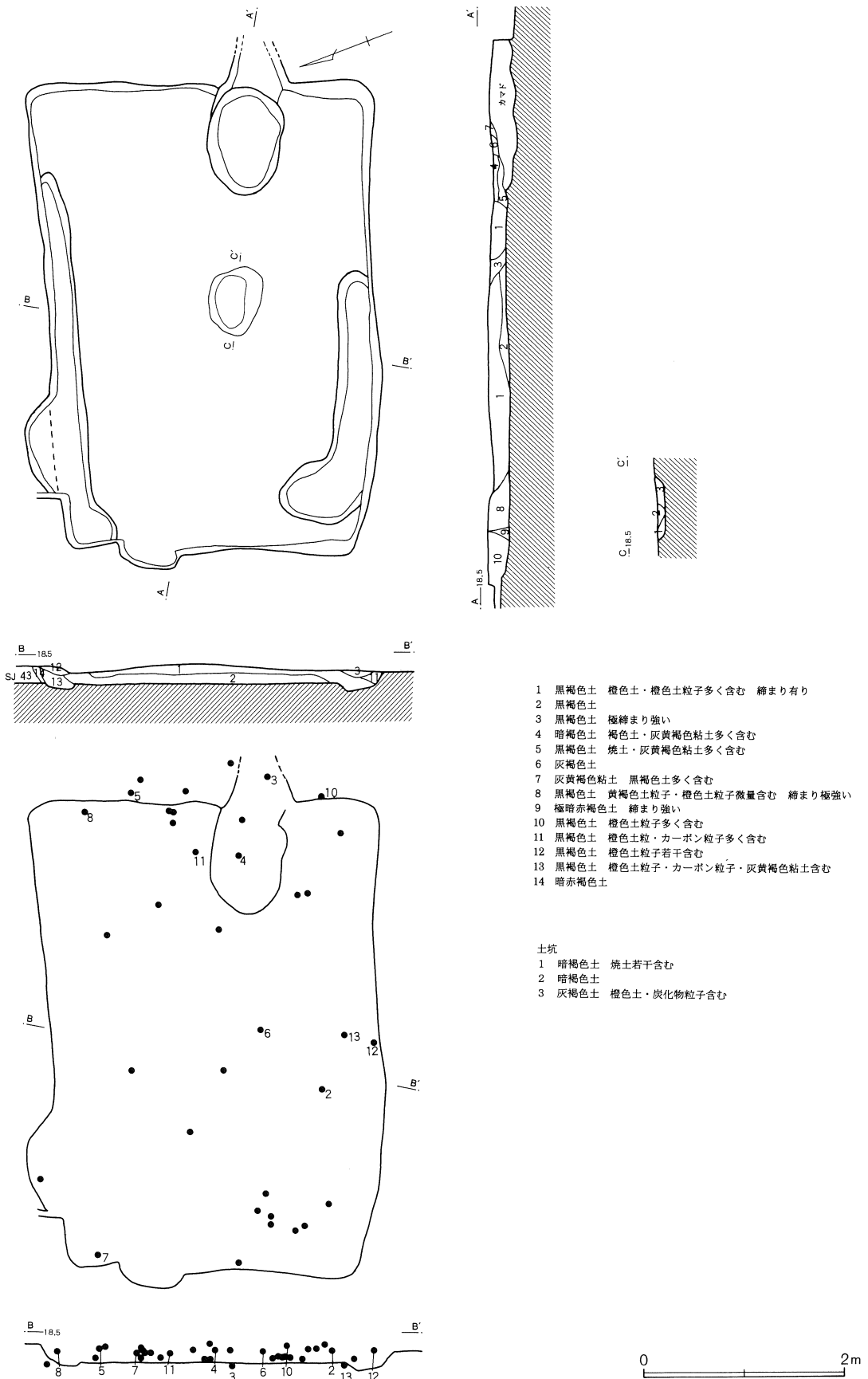
CF-5グリッドに位置する。カマドのみ検出し、平面形は不明である。カマドは西壁に付設されたものと推定される。主軸方位はN-69°-Wを指す。重複関係がなく他の住居跡とも離れており、カマドの東一定の範囲で遺物が出土しており、当カマドを持つ住居跡の遺物として扱った。

出土遺物(第184~186図)

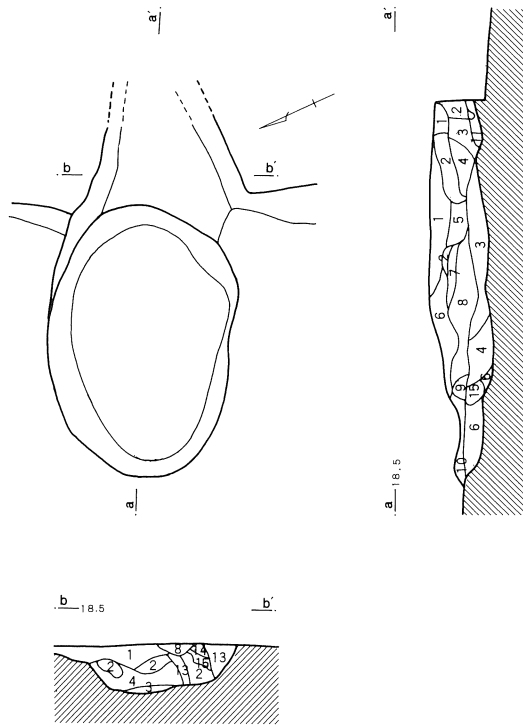
須恵器 坏・高台付 坏・蓋・椀・鉢・甕・瓶、土師器 坏・台付 甕・甕、土錘の他に、須恵器 坏底部破片が出土し、底部回転糸切り離し未調整のものが主体で、全面回転篋削り、周辺回転篋削りのものも見られた。

48・49の土錘は、両端面がへら整形されている。

第180図 第45号住居跡



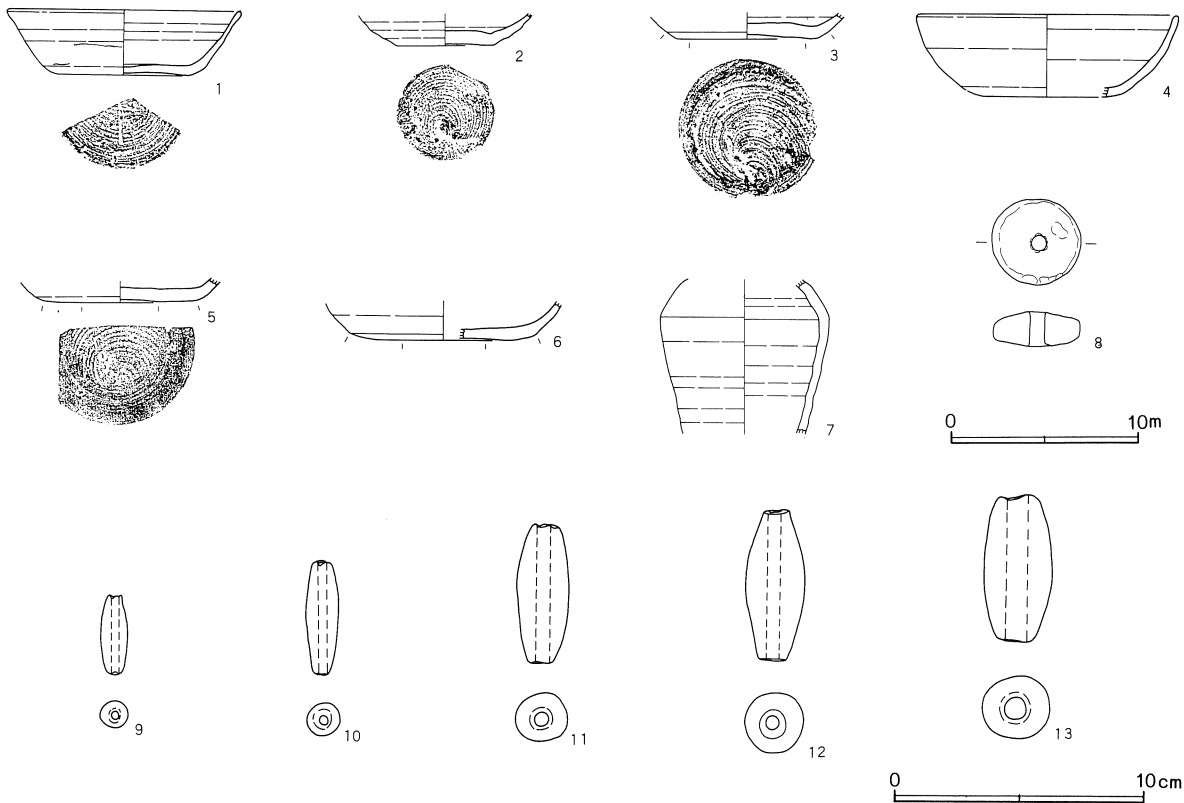
第181図 第45号住居跡カマド



- 1 暗褐色土 焼土多く含む
- 2 鈍黄褐色土
- 3 黒褐色土 焼土微量含む
- 4 褐色土 黄褐色粘土多く含む
- 5 褐色土 橙色土若干・鈍い黄褐色粘土極多く含む
- 6 暗褐色土 橙色土微量含む 締まり極強い
- 7 炭灰層
- 8 鈍黄褐色粘土 橙色土・炭灰若干含む
- 9 黒褐色土
- 10 炭灰・粘土混合土
- 11 黒褐色土 焼土極多く含む
- 12 明黄褐色土ブロック
- 13 黒褐色土
- 14 黒褐色土 鈍黄褐色粘土若干含む
- 15 焼土・鈍黄褐色粘土混合土

0 1m

第182図 第45号住居跡出土遺物



第45号住居跡出土遺物観察表(第182図)

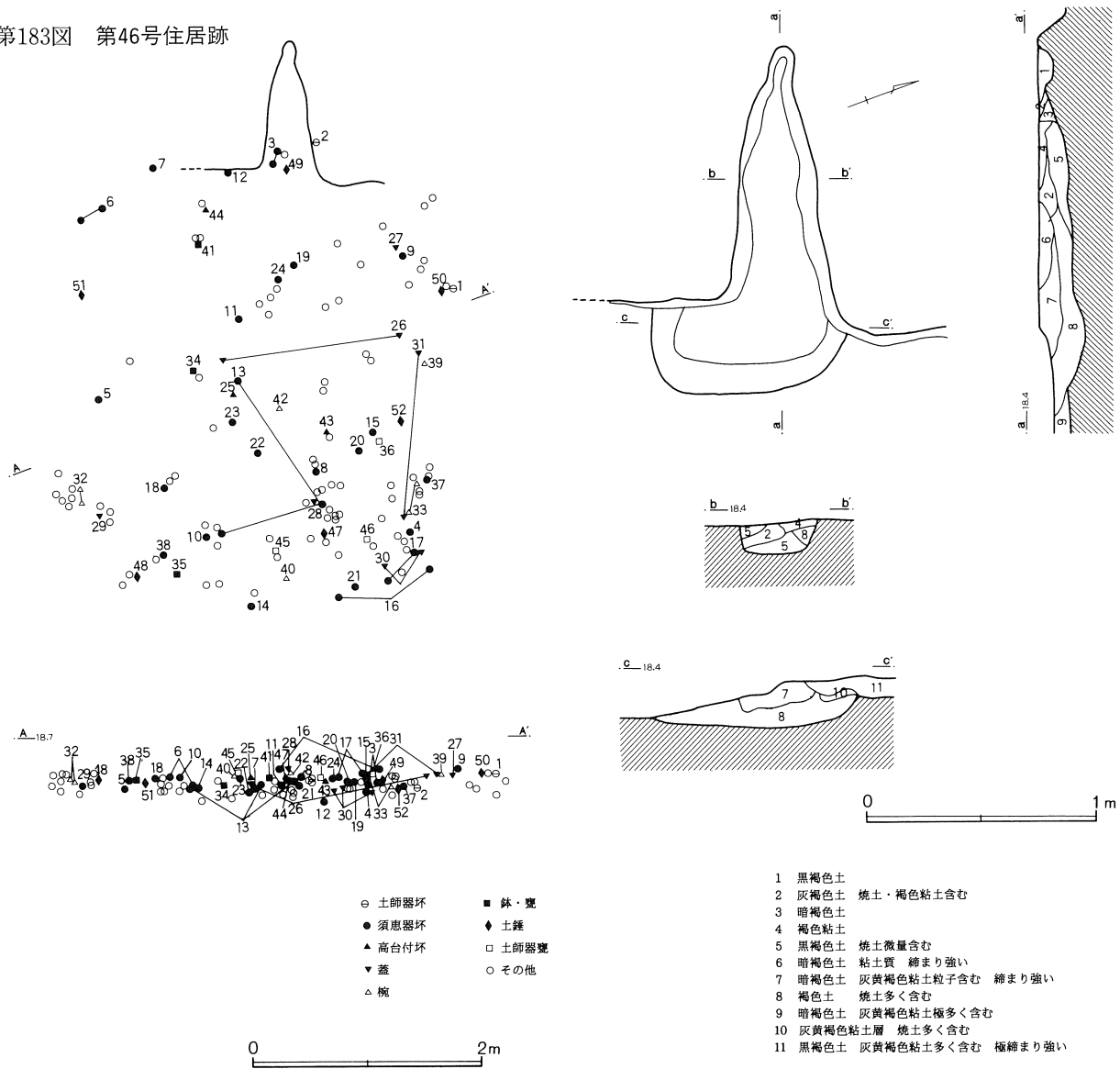
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器坏	(12.6)	3.4	(6.9)	ABS	I	灰	25	RC 底部に篋痕
2	坏			5.2	AS	I	灰	95	RC
3	坏			7.6	AS	I	灰	95	カマド RBb体部下端に篋削り及ぶ
4	坏	(14.0)	4.3	(6.8)	ABS	I	灰	10	カマド 底部調整不明瞭
5	椀			(8.2)	ABS	I	灰	45	RBb
6	椀			(10.0)	ABS	I	灰	20	RBb
7	長頸瓶				BHS	I	灰	30	内面ロクロ痕顕著

第45号住居跡出土土錘計測表(第182図)

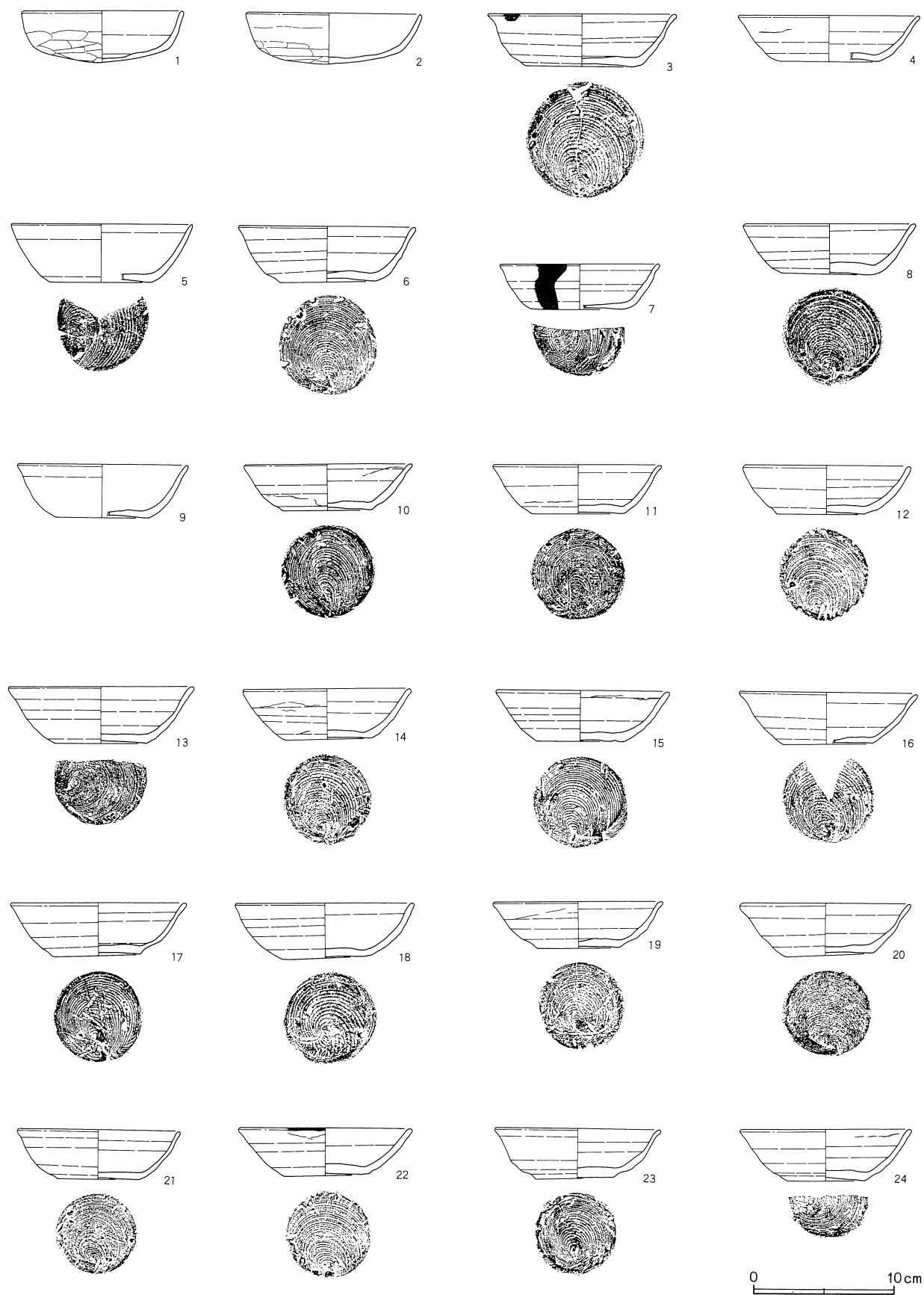
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
9	3.1	1.1	8~9	3.69
10	4.6	1.3	5	6.57
11	5.5	2.1	6	19.94

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
12	6.0	2.3	4	29.08
13	5.8	2.7	3	38.04

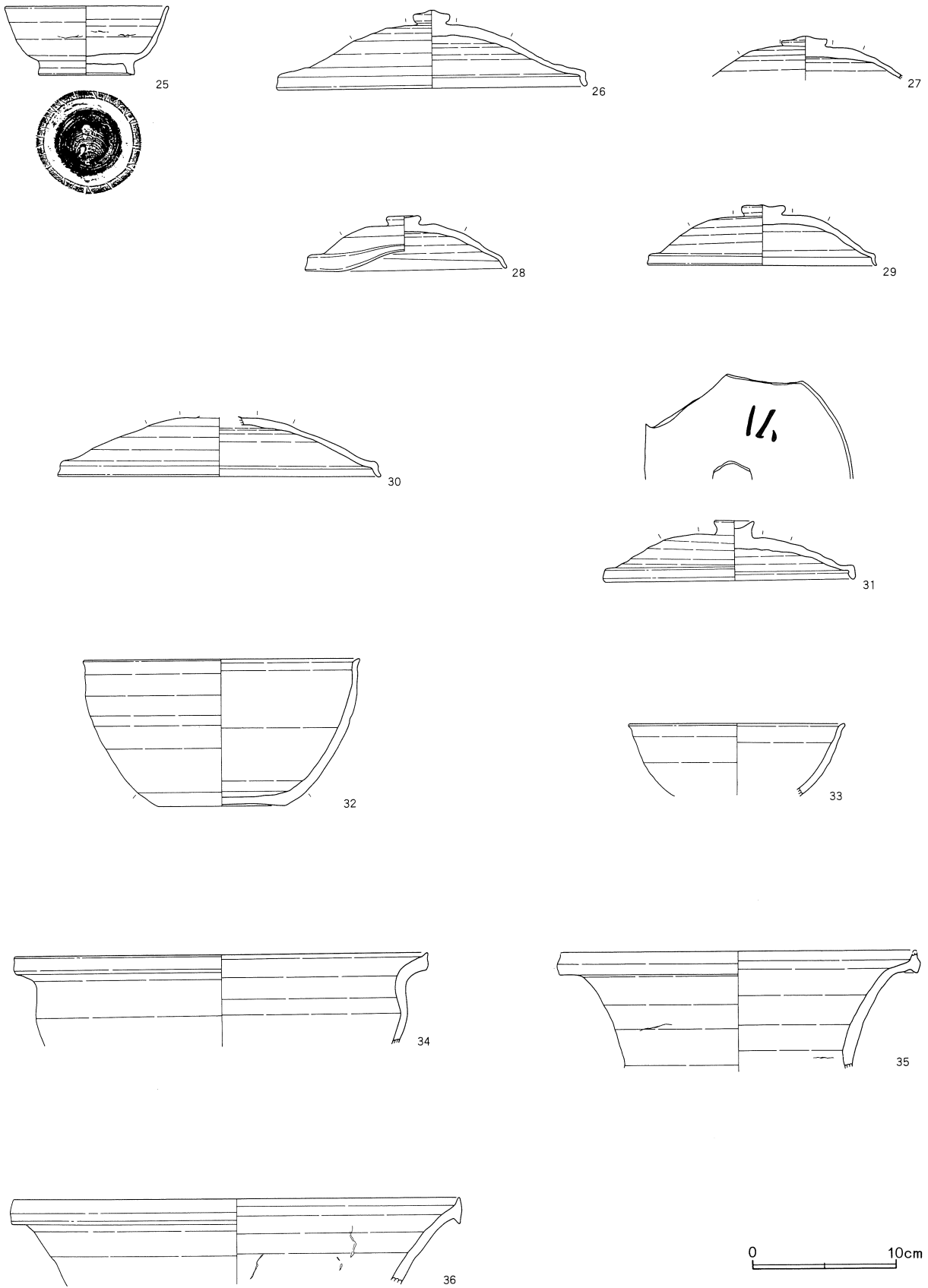
第183図 第46号住居跡



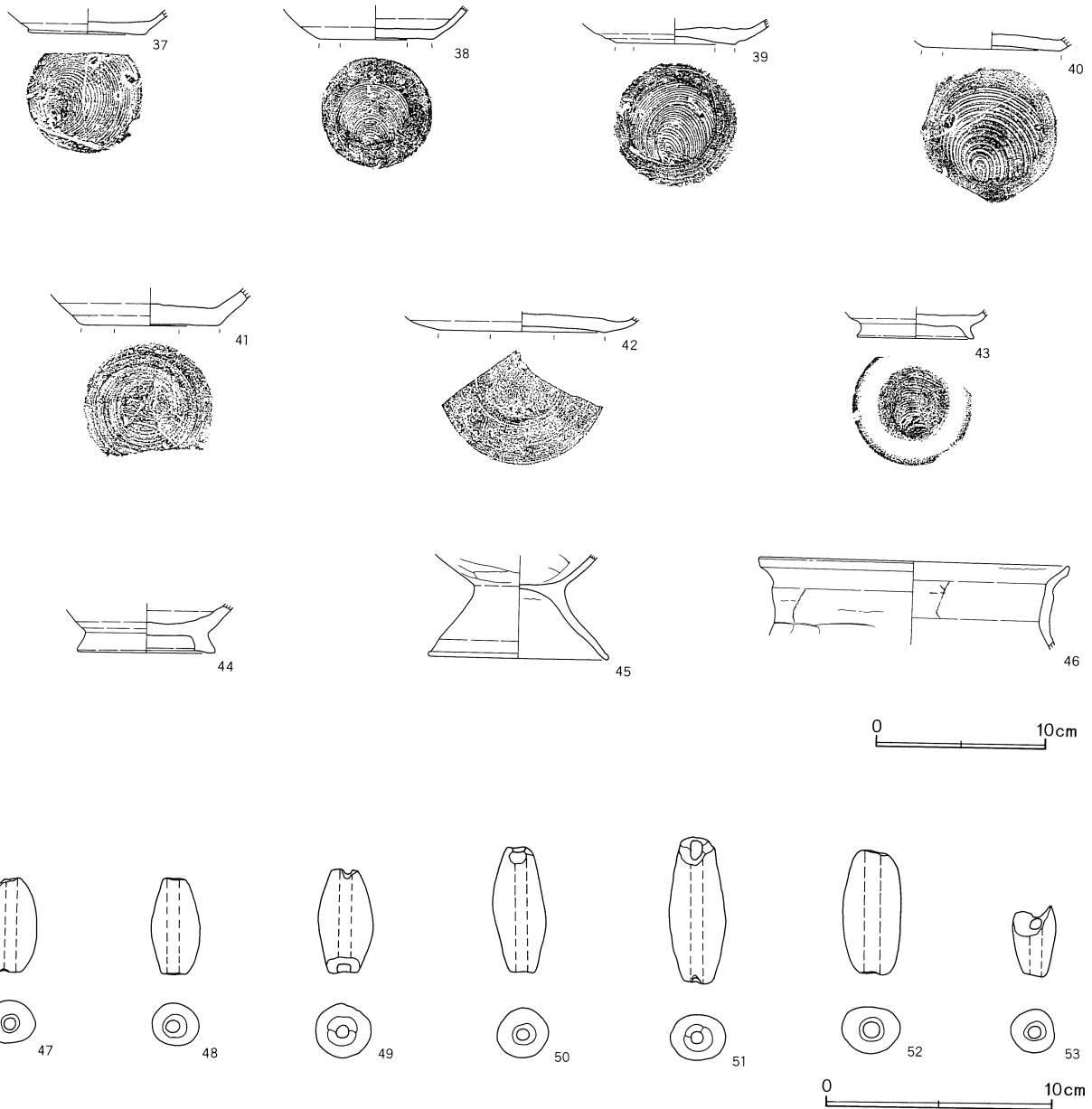
第184図 第46号住居跡出土遺物(1)



第185図 第46号住居跡出土遺物(2)



第186図 第46号住居跡出土遺物(3)



第46号住居跡出土遺物観察表(第184~186図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器坏	(11.6)	3.7	(9.4)	BJRS	II	鈍い橙	50	口縁部横ナデ 体部外面篋削り
2	坏	12.6	3.6	10.2	JS	II	鈍い橙	75	カマド 底部篋削り
3	須恵器坏	(13.5)	3.8	7.6	ARS	II	灰	95	カマド RC体部下端に一部糸切り及ぶ ロクロ痕顕著 口縁の一部に油煙付着 灯明皿
4	坏	(13.0)	3.3	(7.0)	AS	I	灰	25	RC 底部周縁に篋起こし痕 火襷痕あり
5	坏	(13.0)	4.1	(7.3)	ABKRS	II	鈍い黄橙	45	RC
6	坏	12.6	4.0	7.0	ABS	I	灰黄	70	RC 底部周縁に篋起こし痕
7	坏	(11.4)	3.1	(6.8)	ABS	I	灰	40	RC 体部内外面・底部内外面一部に油煙付着 灯明皿
8	坏	12.3	3.6	6.5	ABRS	I	灰	70	RC
9	坏	(12.2)	3.8	(6.6)	ABS	I	灰	20	RC
10	坏	12.0	3.3	6.5	ABRS	I	灰	100	RC 底部周縁に篋起こし痕 挽き上げ痕あり
11	坏	12.1	3.5	6.5	ABRS	I	灰	85	RC
12	坏	12.0	3.5	6.3	ABRS	I	灰	95	RC 底部周縁に篋起こし痕 歪みあり
13	坏	(13.2)	4.0	6.6	ARS	I	灰	45	RC

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
14	坏	12.0	3.5	6.2	AS	II	鈍い橙	100	RC 挽き上げ痕
15	坏	12.4	3.6	6.3	ABRS	II	鈍い橙	75	RC 体部外面篋記号「+」 口縁内面に挽き上げ痕
16	坏	12.7	3.7	6.3	ABRS	II	灰黄褐	55	RC 底部中央部器壁薄い
17	坏	12.6	3.8	6.3	AS	I	灰	70	RC 底部外面篋記号「\ /」
18	坏	12.8	3.9	6.4	ABRS	I	灰	70	RC
19	坏	12.1	3.3	5.9	ARS	I	灰褐	75	RC 挽き上げ痕
20	坏	(12.2)	3.7	6.1	ABRS	I	灰	40	RC 底部外面篋記号「Y」
21	坏	11.6	3.5	5.7	ABRS	I	灰	70	RC
22	坏	12.4	3.5	6.0	ABRS	I	灰	70	RC 口唇部内外面一部に油煙付着
23	坏	11.8	3.5	5.5	ABRS	I	灰	75	RC
24	坏	(12.2)	3.6	(5.6)	ABS	I	灰白	45	RC 口縁部内面に挽き上げ痕
25	高台付坏	(11.4)	4.8	6.7	ABRS	I	灰	70	回転糸切り後周辺篋削り
26	蓋	(21.6)	5.4		ABRS	I	灰	40	天井部右回転篋削り 鈕径2.6cm
27	蓋				ABS	I	灰	40	天井部右回転篋削り 鈕径3.2cm
28	蓋	14.0	3.8		ABRS	I	灰	80	天井部右回転篋削り 鈕径2.3cm 器形歪み大
29	蓋	(16.1)	4.2		ABS	I	灰	70	天井部右回転篋削り 鈕径3.1cm
30	蓋	(22.6)			ABS	I	灰	25	天井部右回転篋削り
31	蓋	17.4	4.2		ABRS	I	灰白	55	天井部右回転篋削り 鈕径2.8cm 墨書(外面)
32	椀	(19.4)	10.2	(9.0)	ABCRS	I	灰	25	RA 口唇内面に面をもつ 体部下端に篋削り及ぶ
33	椀	(15.2)			ABRS	I	灰白	40	
34	鉢	(29.0)			ABRS	I	黄灰	10	
35	甕	(25.0)			BHS	I	褐灰	10	
36	甕	(31.2)			BRS	I	暗灰	10	
37	須恵器坏			6.9	ABS	II	灰黄	80	RC 底部外面篋記号「Y」粘土屑付着
38	坏			6.6	ABS	I	灰	100	RBb
39	坏			7.0	ABRS	I	灰黄	100	RBb
40	椀			8.1	AB	I	灰白	90	RBb 内面平滑
41	椀			(8.2)	ABS	II	灰	55	RC 底部外面篋記号「メ」
42	椀			(9.8)	ABRS	I	灰	40	RBb
43	高台付坏			6.9	ABS	I	灰	80	回転糸切り後周辺篋削り
44	瓶			8.1	-	I	黄灰	85	ロクロ痕顕著
45	土師器 台付甕			(10.6)	EFS	II	鈍い橙	60	胴下部→方向篋削り 脚台部内外面横ナデ
46	甕	(18.4)			BCE	II	鈍い褐	15	胴部←方向篋削り

第46号住居跡出土土錘計測表(第186図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
47	4.1	2.3	6~7	16.5
48	4.2	2.1	5~6	14.46
49	4.6	2.4	6~7	23.41
50	5.5	2.3	6~7	24.52

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
51	6.5	2.5	6	30.18
52	5.4	2.6	7~8	27.56
53	(3.1)	1.9	5~6	(8.56)

(2) 掘立柱建物跡

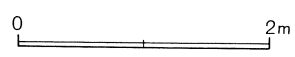
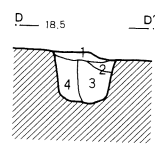
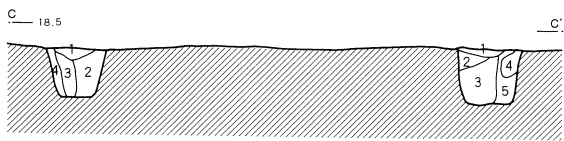
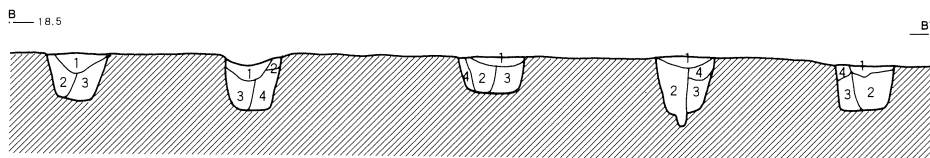
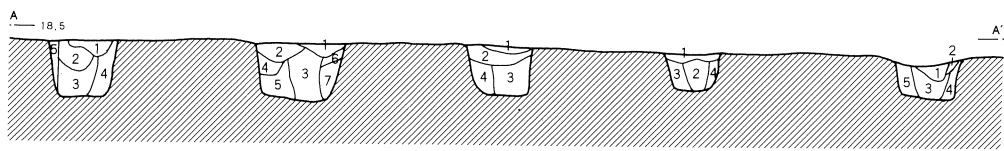
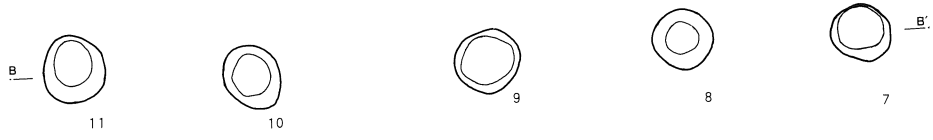
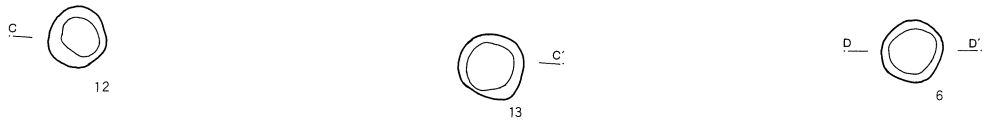
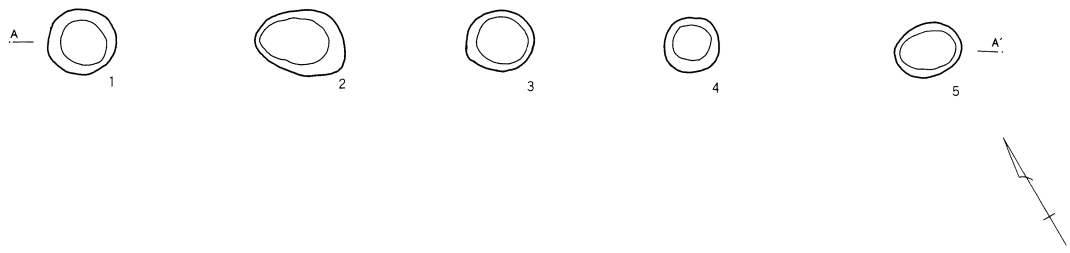
第1号掘立柱建物跡(第187図)

CE・CF-7・8グリッドに位置する。第307・308・309号土坑及び第1号竪穴状遺構と重複する。主軸方位はN-58°-Wを指す。規模は4×2間で、桁行7.25m、梁行6.4mを測る。各柱穴は主に円形を呈し、柱穴2は楕円形を呈する。径45~50cm、深さ30~47cmを測る。柱間距離は最長で3.2m、最短で1.5mを測る。

出土遺物(第188図)

柱穴覆土内より、須恵器坏と土錘が出土した。土錘の2は柱穴2より、3は柱穴4の覆土から出土した。2の土錘は端面がへら整形されている。

第187图 第1号掘立柱建物跡



- ビット1
 1 灰黄褐色土 焼土・炭化物多く、黄色粘土含む
 2 黒褐色土 焼土・炭化物多く含む
 3 黒褐色土 焼土・炭化物若干、黄色粘土含む
 4 黒褐色土 焼土多く、炭化物僅かに含む
 5 黒色土 炭化物若干含む

- ビット5
 1 灰黄褐色土 焼土多く、黄色粘土若干含む
 2 黒褐色土 焼土若干含む
 3 黒褐色土 焼土・炭化物・黄色粘土若干含む
 4 黒褐色土 焼土・炭化物若干含む
 5 黒褐色土 炭化物若干含む

- ビット9
 1 褐灰色土 焼土・炭化物黄色粘土多く含む
 2 黒褐色土 焼土多く、灰色粘土含む
 3 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
 4 黒褐色土 炭化物僅かに含む

- ビット2
 1 褐灰色土 焼土多く、炭化物僅かに含む
 2 褐灰色土 焼土・炭化物僅かに含む
 3 黒褐色土 焼土・黄色粘土多く含む
 4 黒褐色土 焼土多く含む
 5 黒色土 炭化物粒子多く含む
 6 黒褐色土 炭化物粒子僅かに含む
 7 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む

- ビット6
 1 黒褐色土 焼土・灰色粘土若干含む
 2 黒褐色土 炭化物若干含む
 3 黒褐色土 焼土少し、黄色粘土若干含む
 4 黒褐色土 炭化物僅かに含む

- ビット10
 1 黒褐色土 焼土・炭化物・黄色粘土多く含む
 2 黒褐色土 炭化物僅かに含む
 3 黒褐色土 焼土・炭化物多く、灰色粘土若干含む
 4 黒褐色土 焼土僅かに含む

- ビット3
 1 灰黄褐色土 焼土若干、黄色粘土多く含む
 2 黒褐色土 焼土・炭化物・黄色粘土多く含む
 3 黒褐色土 焼土炭化物少し、黄色粘土多く含む
 4 黒褐色土 焼土・炭化物僅か、黄色粘土若干含む

- ビット7
 1 黒褐色土 焼土・炭化物含む
 2 黒褐色土 焼土・炭化物若干、黄褐色粘土含む
 3 黒褐色土 炭化物多く含む
 4 黒褐色土 炭化物・黄色粘土若干含む

- ビット11
 1 褐灰色土 焼土多く、炭化物僅か、灰色粘土含む
 2 黒褐色土 焼土多く、灰色粘土僅かに含む
 3 黒褐色土 炭化物僅かに含む

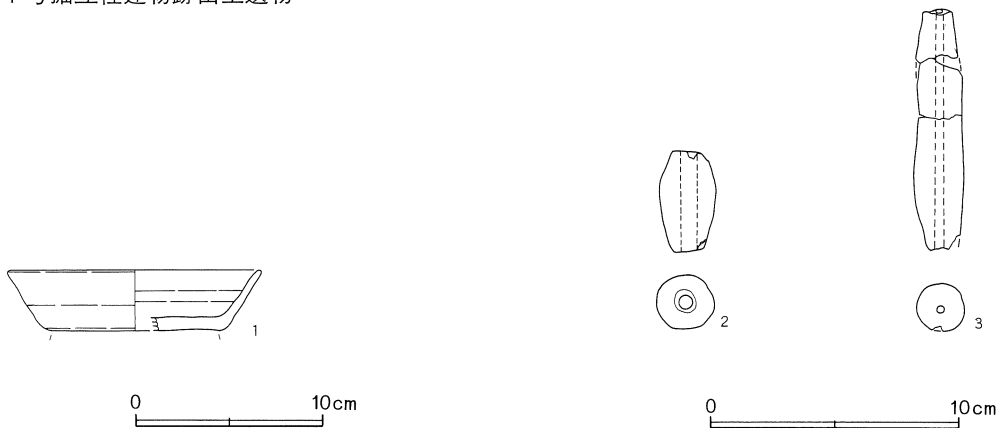
- ビット4
 1 灰黄褐色土 焼土僅かに含む
 2 黒褐色土 焼土多く含む
 3 黒褐色土 炭化物僅か、黄色粘土若干含む
 4 黒褐色土 炭化物僅かに含む

- ビット8
 1 灰黄褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
 2 黒褐色土 炭化物多く、焼土・黄色粘土僅かに含む
 3 黒褐色土 炭化物僅かに含む
 4 黒褐色土 焼土僅かに含む

- ビット12
 1 黒褐色土 炭化物僅かに、焼土・黄色粘土多く含む
 2 黒褐色土 焼土・炭化物多く、黄色粘土僅かに含む
 3 黒褐色土 焼土僅かに、黄色粘土含む
 4 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む

- ビット13
 1 褐灰色土 焼土多く、黄色粘土若干含む
 2 灰黄褐色土 焼土炭化物若干、黄色粘土多く含む
 3 黒褐色土 焼土・炭化物多く、黄色粘土若干含む
 4 褐灰色土 焼土若干、炭化物僅かに含む
 5 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む

第188図 第1号掘立柱建物跡出土遺物



第1号掘立柱建物跡出土遺物観察表(第188図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器環	(13.6)	3.2	(9.0)	ABS	I	灰黄	15	柱穴9 LA底部中央一定方向の篋削り

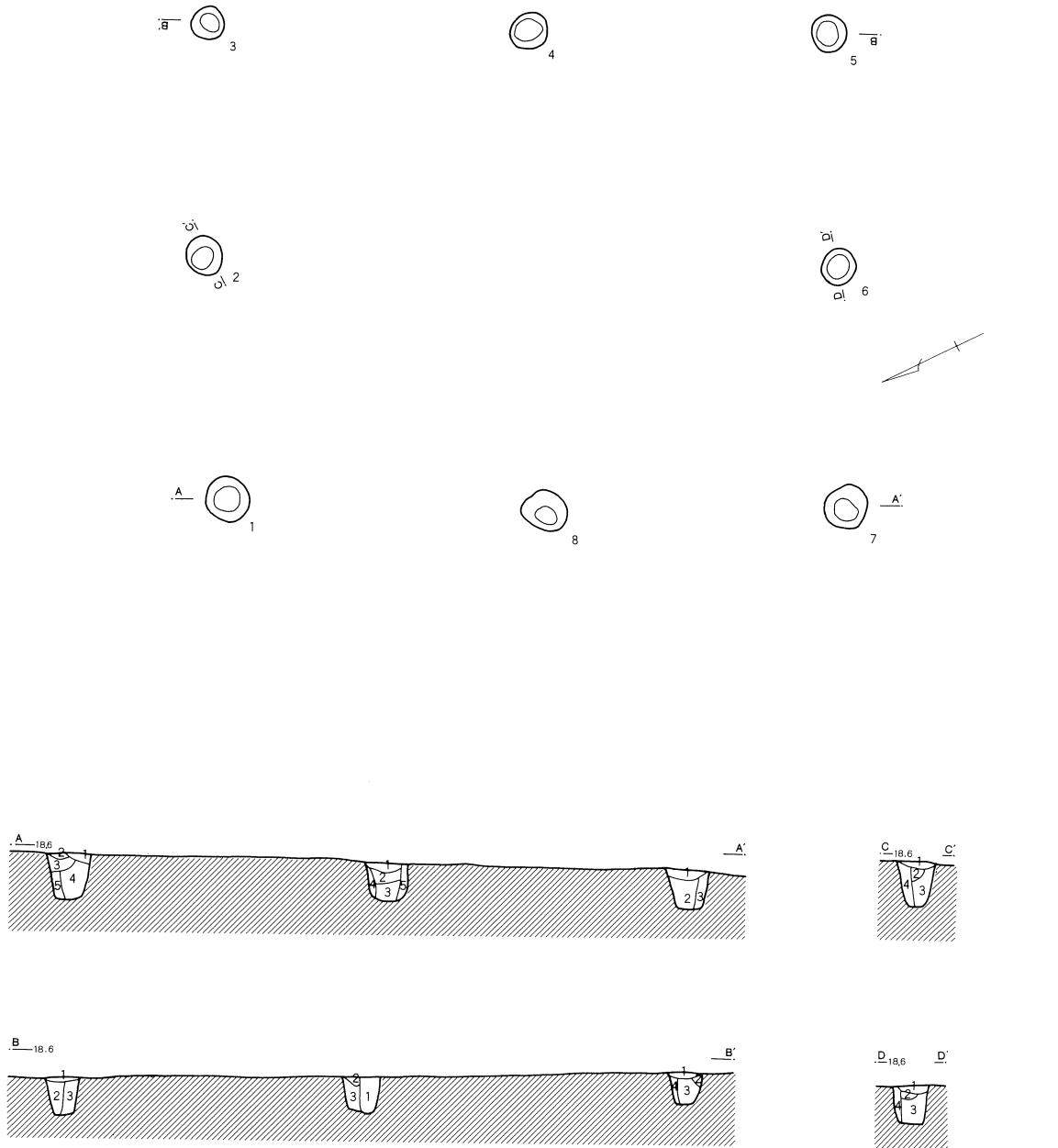
第1号掘立柱建物跡出土土錘計測表(第188図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
2	4.0	2.2	5.5~6	14.86
3	9.7	1.9	2.5~3	22.9

第2号掘立柱建物跡(第189図)

CD-7、CE-7・8グリッドに位置する。第51号溝と重複する。主軸方位はN-26°-Eを指す。規模は2×2間で、桁行5.65m、梁行4.5mを測る。各柱穴は円形を呈し、直径30~40cm、深さ25~40cmを測る。柱間距離は最長で2.75m、最短で2.0mを測る。

第189図 第2号掘立柱建物跡



- ピット 1
- 1 黒褐色土 焼土多量、黄色粘土若干含む
 - 2 黒色土 焼土僅かに含む
 - 3 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒子若干含む
 - 4 黒褐色土 炭化物粒子若干、黄色粘土多く含む
 - 5 黒褐色土 炭化物粒子若干含む

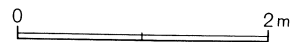
- ピット 2
- 1 黒褐色土 焼土僅か、黄色粘土粒子多く含む
 - 2 黒褐色土 焼土粒子多く、炭化物若干含む
 - 3 黒褐色土 焼土僅か、炭化物多く含む
 - 4 黒褐色土 黄色粘土粒子若干含む

- ピット 3
- 1 黒褐色土 焼土・炭化物・黄色粘土多く含む
 - 2 黒褐色土 焼土若干含む
 - 3 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに、黄色粘土ブロック若干含む
 - 4 黒褐色土 炭化物粒子若干含む

- ピット 4
- 1 黒褐色土 焼土・黄色粘土ブロック多く含む
 - 2 黒褐色土 焼土若干含む
 - 3 黒色土 焼土・炭化物僅かに含む

- ピット 5
- 1 黒褐色土 黄色粘土ブロック含む
 - 2 黒褐色土 焼土粒子・黄色粘土多く含む
 - 3 黒褐色土 焼土粒子・黄色粘土粒子僅かに含む

- ピット 6
- 1 鈍い黄褐色 粘土質
 - 2 明赤褐色土 焼土ブロック 炭化物若干含む
 - 3 黒褐色土 焼土・炭化物僅か、黄色粘土ブロック含む
 - 4 黒褐色土 炭化物若干含む



- ピット 7
- 1 黒褐色土 焼土多量、黄色粘土若干含む
 - 2 黒褐色土 焼土多量、黄色粘土僅かに含む
 - 3 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む

- ピット 8
- 1 黒褐色土 焼土多量、黄色粘土若干含む
 - 2 黒褐色土 焼土多く含む
 - 3 黒褐色土 黄色粘土ブロック含む
 - 4 黒色土 焼土僅かに含む
 - 5 黒褐色土 焼土・炭化物を僅かに含む

(3) 土 坑

第1号土坑(第190図)

AP-27グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.67m、短軸0.50m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-28°-Wを指す。

第2号土坑(第190図)

AP-27グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.64m、短径0.58m、深さ23cmを測る。主軸方位はN-8°-Wを指す。

覆土中より須恵器破片が出土した。

第3号土坑(第190図)

AP-27グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.75m、短径0.63m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。

覆土中より須恵器破片が出土した。

第4号土坑(第190図)

AP-28グリッドに位置する。第5号土坑を切っている。平面形は隅丸長方形を呈するものと推定され、規模は長軸0.92m以上、短軸0.76m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

覆土中より須恵器破片が出土した。

第5号土坑(第190図)

AP・AQ-28グリッドに位置する。第4号溝を切っている。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.90m、短軸2.65m、深さ50cmを測る。主軸方位はN-39°-Wを指す。

出土遺物(第194図)

須恵器、土師器、瓦の破片の他に、礫が出土した。

第6号土坑

AQ-28グリッドに位置する。第4号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.11m、短軸0.90m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-26°-Wを指す。

第7号土坑

AQ-28グリッドに位置する。第4号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.72m、短径0.63m、

深さ28cmを測る。主軸方位はN-24°-Wを指す。

第8号土坑(第190図)

AR-27グリッドに位置する。第7号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.68m、短径0.62m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-17°-Eを指す。

第9号土坑(第190図)

AR-28グリッドに位置する。第4・9号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径2.00m、短径1.83m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-16°-Wを指す。

第10号土坑(第190図)

AR-26グリッドに位置する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.90m、短軸0.56m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-80°-Eを指す。

第11号土坑(第190図)

AS-26グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.84m、短軸0.65m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-76°-Wを指す。

第12号土坑(第190図)

AS-26グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.73m、短径0.70m、深さ50cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。

第13号土坑(第190図)

AT-25グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.85m、短径0.75m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-36°-Wを指す。

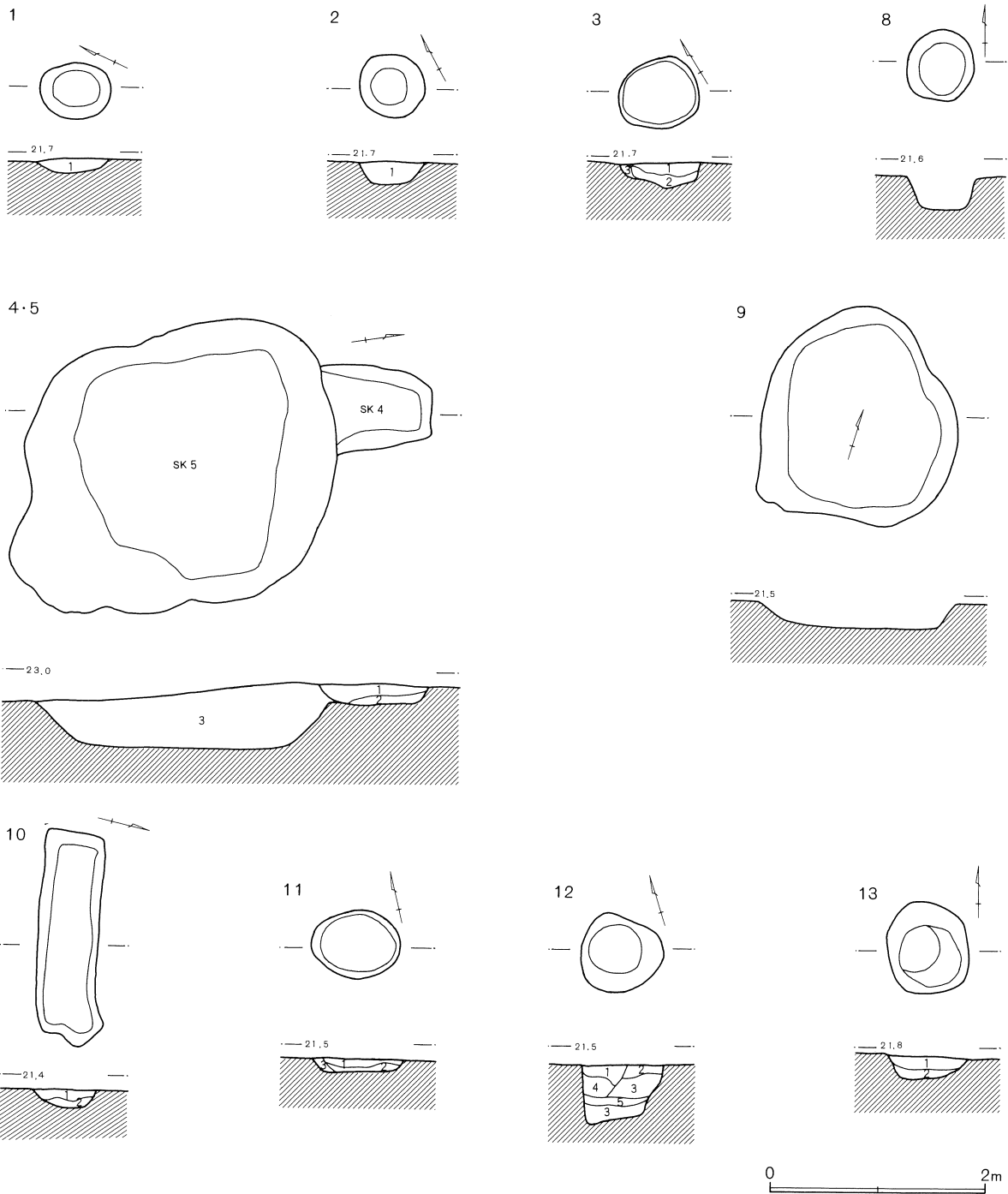
第14号土坑(第191図)

AT-26グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.01m、短径0.94m、深さ47cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第15号土坑

AT-26グリッドに位置する。第15号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.83m以上、短径0.80m以上、深さ19cmを測る。主軸方位はN-76°-Wを指す。

第190図 A区土坑(1)



SK 1
1 黒褐色土 黄褐色土含む

SK 2
1 黒色土 橙色土若干含む 締まり強い

SK 3
1 黒色土 橙色土若干含む 締まり強い
2 黒褐色土
3 暗褐色土 粘土質

SK 4・5
1 黒褐色土 黄褐色土粒子含む
2 黒色土
3 黒褐色土 粘土質

SK 10
1 黒褐色土 ローム粒子若干含む
2 暗褐色土

SK 11
1 黒色土 橙色土含む 締まり強い
2 黒色土
3 黒褐色土 粘土質

SK 12
1 赤黒色土
2 赤黒色土 締まり強い
3 黒色土 粘土質
4 黒褐色土 粘土質
5 黄褐色土 (ローム崩落土)

SK 13
1 黒色土 黄褐色土若干含む
2 黒褐色土

第16号土坑(第191図)

AU-26グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.78m、短径0.74m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-47°-Wを指す。

第17号土坑(第191図)

AV-26グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.44m、短軸0.89m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-83°-Wを指す。

第18号土坑(第191図)

AV-26グリッドに位置する。第19号溝と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.93m、短軸0.74m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。

第19号土坑

AV-26グリッドに位置する。第18・20号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.85m、短軸0.55m以上、深さ4cmを測る。主軸方位はN-69°-Eを指す。

第20号土坑

AV-26グリッドに位置する。第19号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.80m、短径0.72m、深さ5cmを測る。主軸方位はN-24°-Wを指す。

第21号土坑(第191図)

AW-26グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長径2.38m、短径1.30m、深さ53cmを測る。主軸方位はN-46°-Eを指す。

第22号土坑(第191図)

AW-26グリッドに位置する。第18号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.90m、短軸1.38m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-28°-Wを指す。

第23号土坑(第191図)

AW-24グリッドに位置する。第1号住居跡と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.26m、短軸1.10m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-4°-Eを指す。

第24号土坑(第191図)

AW-24グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸3.14m、短軸1.56m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-79°-Eを指す。

第25号土坑

AW-23グリッドに位置する。南端は調査区外になる。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.22m以上、短軸1.05m、深さ59cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

第26号土坑(第192図)

AX-23・24グリッドに位置する。第19・20号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸4.30m、短軸1.35m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-62°-Wを指す。

第27号土坑

AX-24グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.05m、短軸0.64m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-81°-Wを指す。

第28号土坑(第192図)

AX・AY-23・24グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.65m、短軸1.09m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

第29号土坑(第192図)

AX-23グリッドに位置する。西側は調査区外である。平面形は隅丸方形と推定され、規模は長軸1.00m以上、短軸1.25m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第30号土坑

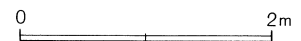
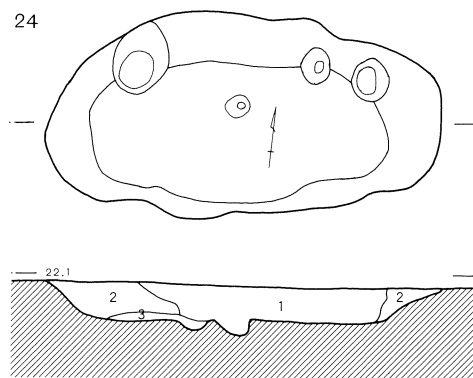
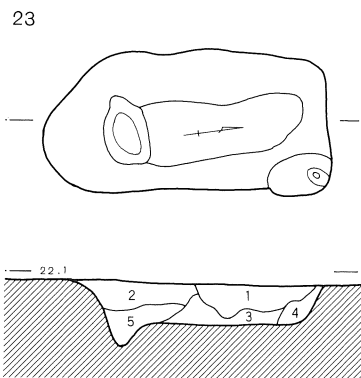
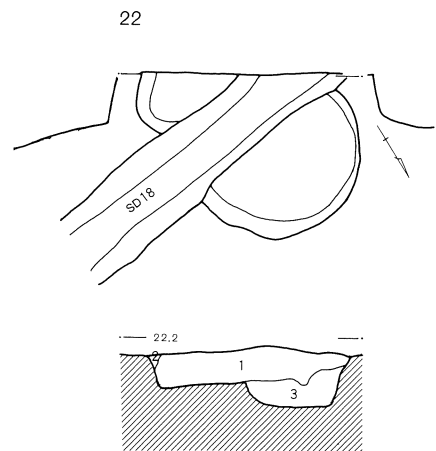
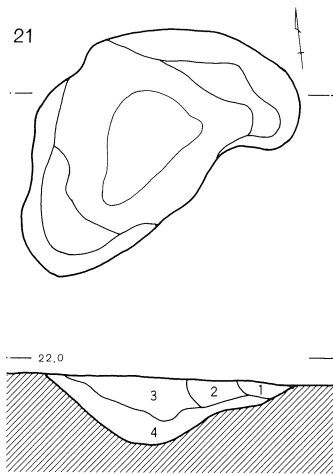
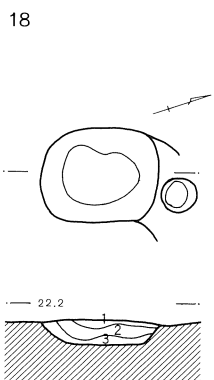
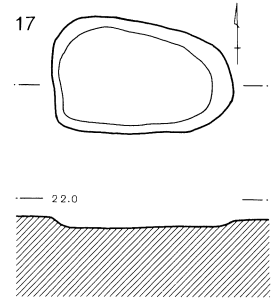
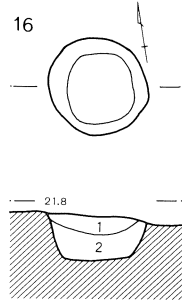
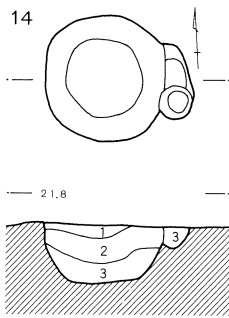
AX・AY-23グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.25m、短軸0.80m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-11°-Eを指す。

第31号土坑(第192図)

AX-23グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.00m、短径0.88m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-8°-Wを指す。

遺物は須恵器甕破片、土師質土器の坏の破片などが出土した。

第191図 A区土坑(2)



SK 14

- 1 黒色土 黄褐色土若干含む 締まり強い
- 2 黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 3 黒褐色土

SK 16

- 1 黒色土 黄褐色土粒子若干含む
- 2 黒色土 砂質

SK 18

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ローム粒子多く含む 締まり弱い
- 3 暗褐色土 ローム小ブロック含む 締まり弱い

SK 21

- 1 暗褐色土 ローム粒子少し含む
- 2 淡褐色土 ローム粒子少し含む
- 3 黒褐色土 やや締まる
- 4 暗茶褐色土 ローム含む 粘質

SK 22

- 1 黒褐色土 ローム粒子含む
- 2 暗茶褐色土 黒褐色土・ローム含む
- 3 黒褐色土 ロームブロック含む 締まりあり

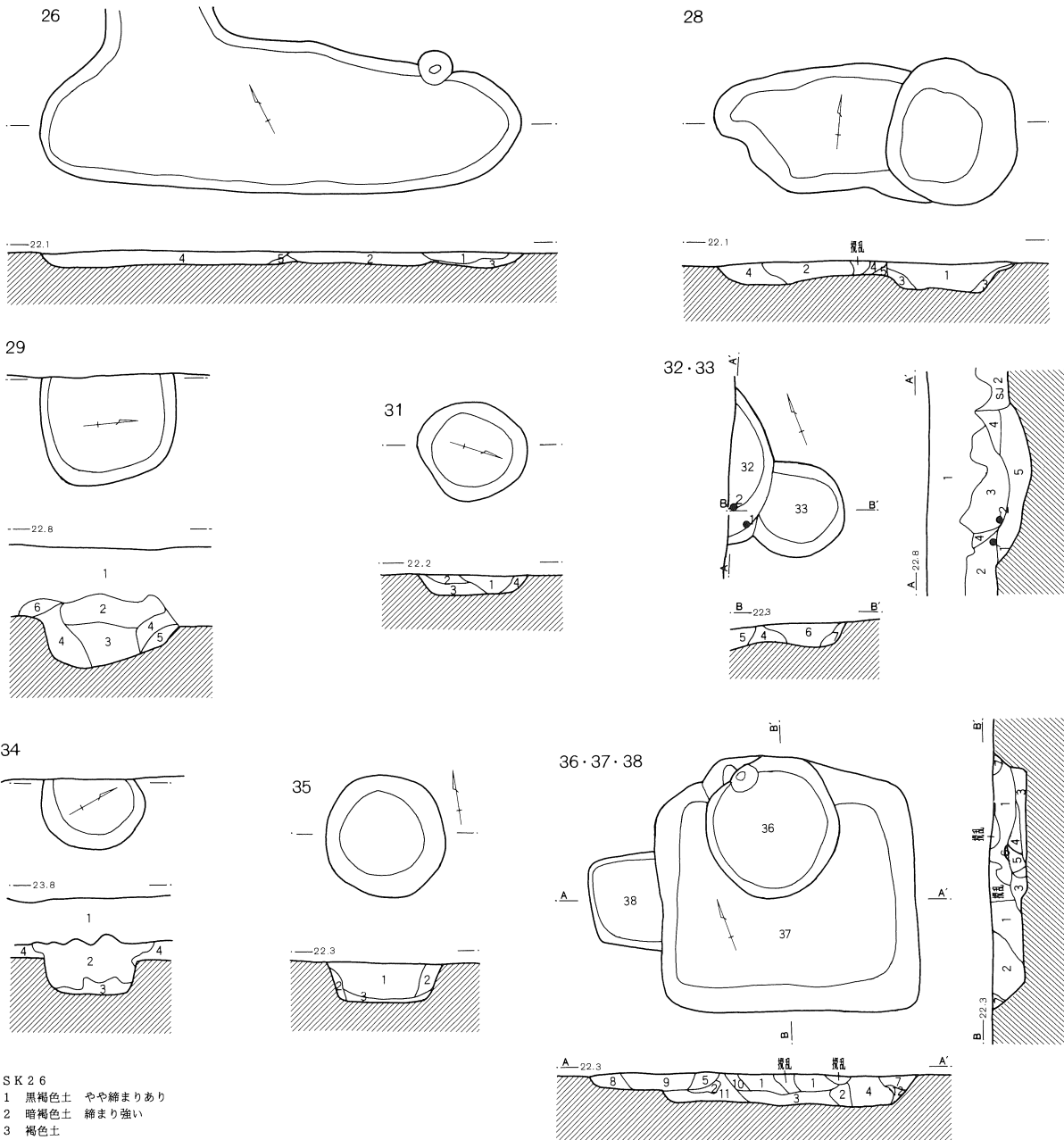
SK 23

- 1 黒褐色土 締まり強い
- 2 黒褐色土
- 3 黒褐色土 極締まり強い
- 4 黒褐色土 黄褐色土多く含む 締まり強い
- 5 暗褐色土

SK 24

- 1 黒褐色土 極締まり強い
- 2 暗赤褐色土 締まり強い
- 3 暗赤褐色土 黄褐色土極多く含む

第192図 A区土坑(3)



- SK 2 6
 1 黒褐色土 やや締まりあり
 2 暗褐色土 締まり強い
 3 褐色土
 4 黒褐色土 やや粗粒
 5 暗赤褐色土

- SK 2 8
 1 黒褐色土 締まり強い
 2 黒褐色土 黄褐色土粒子若干含む やや締まりあり
 3 黒褐色土 黄褐色土多く含む 締まり強い
 4 暗褐色土
 5 黒褐色土 締まりなし

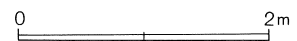
- SK 2 9
 1 暗赤褐色土 (表土)
 2 黒褐色土
 3 黒褐色土 極く締まり強い
 4 暗褐色土
 5 褐色土 やや締まり強い
 6 黄褐色土

- SK 3 1
 1 暗赤褐色土 締まり強い
 2 黒褐色土 黄褐色土若干含む
 3 暗赤褐色土 黄褐色土粒子若干含む 締まり強い
 4 褐色土 締まりなし

- SK 3 2・3 3
 1 暗褐色土 (表土)
 2 黒褐色土 締まり強い
 3 暗褐色土 炭化材・橙色土多く含む
 4 黒褐色土
 5 暗赤褐色土 締まり強い
 6 黒褐色土 黄褐色土微量含む 締まりやや強い
 7 黒褐色土 黄褐色土多量 橙色土粒子微量含む

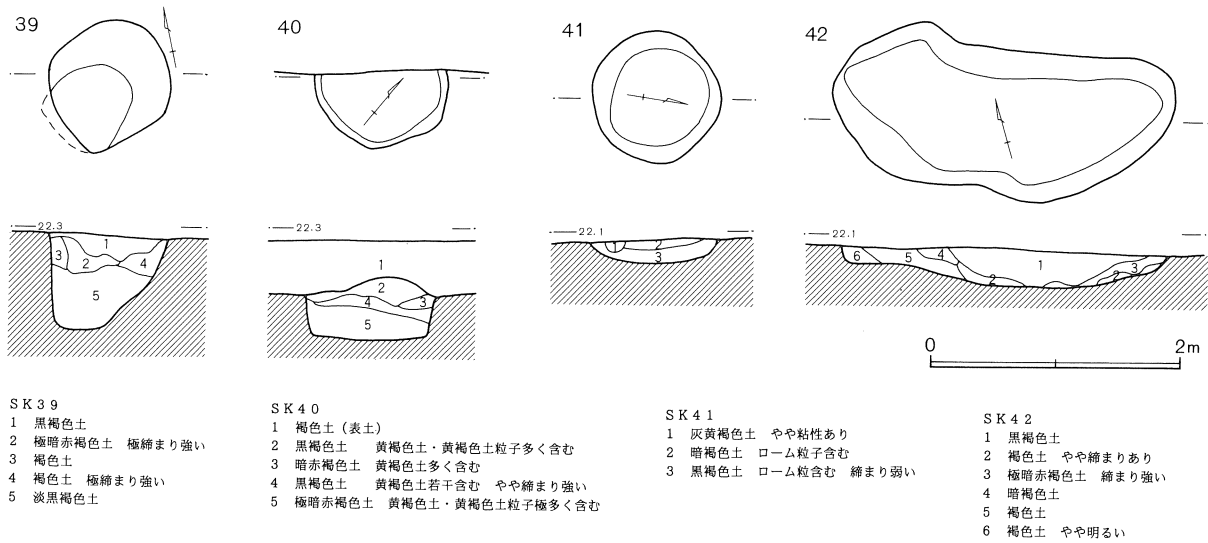
- SK 3 4
 1 暗褐色土 (表土)
 2 黒褐色土 黄褐色土粒子若干含む
 3 黒褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土多く含む 締まり強い
 4 暗赤褐色土

- SK 3 5
 1 黒褐色土 黄褐色土粒子・同ブロック極多く含む やや締まりあり
 2 黒褐色土 黄褐色土粒子若干含む 締まりなし
 3 暗褐色土 締まり強い



- SK 3 6・3 7・3 8
 1 極暗褐色土 黄褐色土粒子含む
 2 黒褐色土 締まり強い
 3 黒褐色土 黄褐色土粒子若干含む
 4 極暗褐色土 締まり強い
 5 極暗褐色土 やや締まりあり
 6 黄褐色土
 7 暗褐色土
 8 暗褐色土 やや締まりあり
 9 極暗褐色土
 10 暗赤褐色土 締まりなし
 11 黒褐色土 橙色土粒子微量含む
 12 黄褐色土・黒褐色土混合土

第193図 A区土坑(4)



第32号土坑(第192図)

AX-22グリッドに位置する。第2号住居跡及び第33号土坑と重複する。西側は調査区外にあり、平面形は楕円形を呈するものと推定される。規模は長軸0.57m以上、短軸0.53m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-14°-Wを指す。

出土遺物(第194図)

須恵器椀、土師器甕が出土した。

第33号土坑(第192図)

AX-22グリッドに位置する。第32号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.83m、短径0.73m以上、深さ20cmを測る。主軸方位はN-57°-Wを指す。

第34号土坑(第192図)

AX-22グリッドに位置する。西側は調査区外で、平面形は円形を呈すると推定される。規模は長径0.92m、短径0.62m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-16°-Eを指す。

第35号土坑(第192図)

AX-22グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.13m、短径1.06m、深さ35cmを測る。主軸方位はN-3°-Wを指す。

第36号土坑(第192図)

AZ-22グリッドに位置する。第37号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.27m、短径1.18m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

覆土中より、底部回転糸切りの須恵器坏底部・甕の破片が出土した。

第37号土坑(第192図)

AZ-22グリッドに位置する。第36・38号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸2.27m、短軸2.26m、深さ27cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。

第38号土坑(第192図)

AZ-22グリッドに位置する。第37号土坑を切っている。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.15m、短軸0.83m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-71°-Wを指す。

覆土中より底部回転糸切り後未調整の須恵器坏底部片が出土した。

第39号土坑(第193図)

AZ-22グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.00m、短径0.94m、深さ70cmを測る。主

軸方位はN-50°-Eを指す。

遺物は須恵器甕片、土師質土器の坏破片などが出土した。

第40号土坑(第193図)

AZ-24グリッドに位置する。補北西側は調査区外で、平面形は円形を呈すると推定される。規模は長径1.05m、短径0.59m以上、深さ34cmを測る。

覆土中より須恵器甕片、土師質土器の坏破片などが出土した。

第41号土坑(第193図)

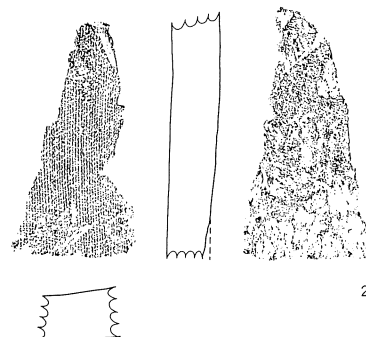
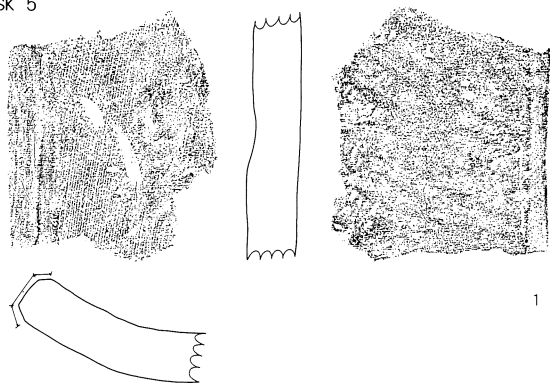
AZ-24グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.00m、短径0.98m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-30°-Eを指す。

第42号土坑(第193図)

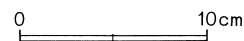
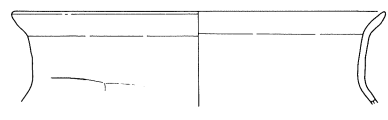
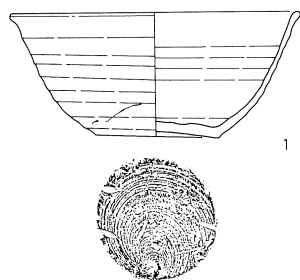
BA-24グリッドに位置する。平面形は不整楕円形を呈する。規模は長軸2.68m、短軸1.10m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-69°-Wを指す。

第194図 A区土坑出土遺物

SK 5



SK 32



第5号土坑出土瓦観察表(第194図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
1	27×32	3.3	布目痕	格子叩き	格子叩き後横方向ナデ	へら整形 両面面取り	2.7	BS	II	橙
2	22×25	2.4	布目痕	格子叩き	格子叩き後横方向ナデ		2.5	RS	II	浅黄橙

第32号土坑出土遺物観察表(第194図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器椀	15.5	6.1	6.6	ABS	I	灰白	85	RC 底部外周甕起こし痕 他甕記号数カ所
2	土師器甕	(20.0)			BES	III	橙	15	胴部←方向甕削り

第43号土坑(第195図)

BC-22グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.48m、短軸0.60m、深さ6cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。

第44号土坑(第195図)

BC-22グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長軸2.76m、短軸1.16m、深さ60cmを測る。主軸方位はN-16°-Eを指す。

第45号土坑(第195図)

BC-22グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.75m、短径0.58m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-26°-Eを指す。

第46号土坑(第195図)

BC-20・21グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸1.78m、短軸1.32m、深さ87cmを測る。主軸方位はN-69°-Wを指す。

出土遺物(第201図)

かわらけが覆土上層より出土した。

第47号土坑(第195図)

BC-21グリッドに位置する。平面形は不整形楕円形を呈する。規模は長軸1.48m、短軸1.08m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

覆土中より中近世土器片、土師器片が出土した。

第48号土坑(第195図)

BD-20グリッドに位置する。平面形は長方形を呈する。規模は長軸1.46m、短軸0.94m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

第49号土坑(第195図)

BD-20グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.18m、短軸0.85m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-78°-Wを指す。坑底にピットを3基検出した。

覆土中より、中近世土器片、土師器片が出土した。

第50号土坑(第195図)

BD-21グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.95m、短径0.94m、深さ15cmを測る。北端にピット1基を検出した。主軸方位はN-8°-

Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第51号土坑(第196図)

BD-22グリッドに位置する。第53号土坑及び第27号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.13m、短軸1.05m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-66°-Wを指す。

第52号土坑(第196図)

BD-22グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.37m、短軸0.90m、深さ4cmを測る。主軸方位はN-38°-Wを指す。

第53号土坑(第196図)

BD-22グリッドに位置する。第51号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.40m以上、短軸0.68m、深さ4cmを測る。主軸方位はN-21°-Eを指す。

第54号土坑(第196図)

BC・BD-22グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸3.85m、短軸0.84m、深さ10cmを測る。北端寄りにピット1基を検出した。主軸方位はN-16°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第55号土坑(第196図)

BD-22グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.13m、短軸1.82m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-67°-Eを指す。

第56号土坑(第196図)

BD-23グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.96m、短径0.91m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-63°-Wを指す。

第57号土坑(第196図)

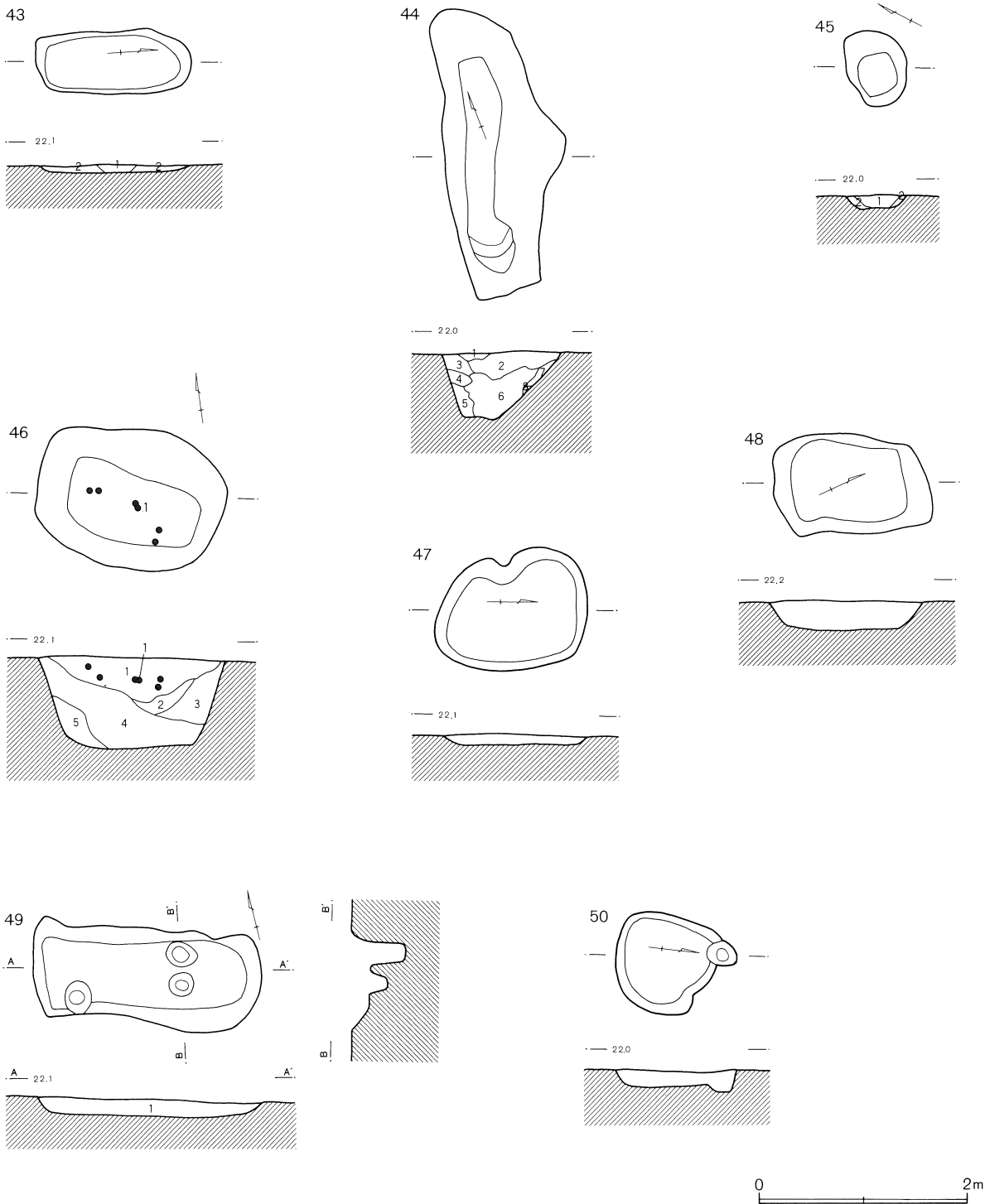
BE-22グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.55m、短軸1.40m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-13°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第58号土坑(第196図)

BE-22グリッドに位置する。第59号土坑と重複す

第195図 B区土坑(I)



SK 4 3

- 1 黒褐色土 ローム粒子僅かに含む 締まりあり
- 2 暗褐色土 小礫少量含む 締まりあり

SK 4 4

- 1 暗褐色土 小礫含む
- 2 黒褐色土 黒色土粒子含む
- 3 褐色土 ローム粒子含む
- 4 暗褐色土 ローム少し含む
- 5 暗褐色土 ローム多く含む
- 6 黒褐色土 黒色土粒子多く含む
- 7 黒褐色土 黒色土ブロック含む
- 8 暗褐色土 ロームブロック含む

SK 4 5

- 1 黒褐色土 僅かにローム粒子含む
- 2 暗褐色土 ロームブロック若干含む

SK 4 6

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子多量、橙色土粒子・カーボン粒子若干含む やや締まりあり
- 2 暗褐色土 黄褐色土多量含む やや締まりあり
- 3 褐色土 暗褐色土含む やや締まりあり
- 4 黒褐色土 黄褐色土粒子・炭化物多量含む
- 5 黒褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土多く含む

SK 4 7

- 黒褐色土 炭化物・ローム粒子若干含む 締まりやや弱い

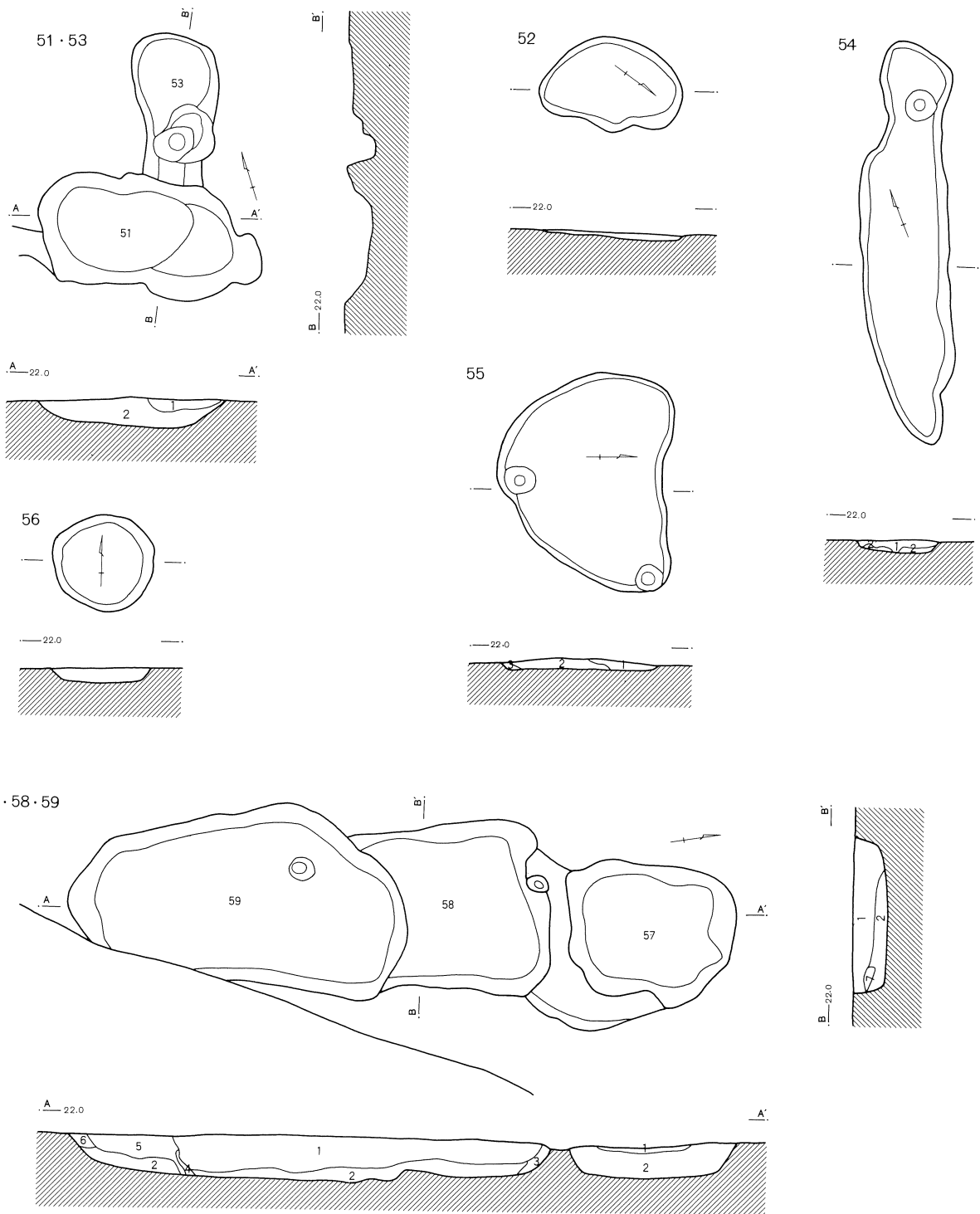
SK 4 8

- 黒褐色土 ロームブロック・粒子多く、赤色土粒子僅かに含む やや締まりあり

SK 4 9・SK 5 0

- 黒褐色土 ローム粒子若干、炭化物粒子多く含む

第196図 B区土坑(2)



SK 5 1
 1 黒褐色土 ローム粒子多く、小礫含む
 2 黒褐色土 ローム粒子若干含む

SK 5 2
 黒褐色土 ローム粒子・ブロック多く含む

SK 5 4
 1 黒褐色土 ローム粒子・砂粒子含む
 2 褐色土

SK 5 5
 1 暗褐色土 ロームブロック若干含む
 2 暗褐色土 ローム粒子含む
 3 褐色土

SK 5 6
 黒褐色土 ローム粒子多く含む やや軟質

SK 5 7・5 8・5 9
 1 暗赤褐色土 褐色土粒子極多く含む 締まり強い
 2 暗赤褐色土 やや締まりあり
 3 褐色土 極締まり強い
 4 褐色土
 5 暗赤褐色土
 6 褐色土
 7 暗赤褐色土 褐色土多く含む

る。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.57m、短軸1.40m以上、深さ33cmを測る。主軸方位はN-6°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第59号土坑(第196図)

BE-22グリッドに位置する。第58号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸3.31m、短軸1.60m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-14°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第60号土坑(第197図)

BD・BE-20グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.57m、短軸1.09m、深さ4cmを測る。主軸方位はN-12°-Eを指す。

第61号土坑(第197図)

BE-20グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.90m、短径0.80m、深さ6cmを測る。主軸方位はN-64°-Wを指す。

第62号土坑(第197図)

BE-20グリッドに位置する。平面形は方形を呈し、規模は0.95m×0.95m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-13°-Eを指す。

第63号土坑(第197図)

BE-20グリッドに位置する。西側は調査区外である。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.31m以上、短軸1.10m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-79°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第64号土坑(第197図)

BE-20グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.10m、短径0.99m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第65号土坑(第197図)

BE-20グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.10m、短軸0.63m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

覆土中より、中近世の土器片が出土した。

第66号土坑

BE-20グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.90m、短軸0.84m、深さ40cmを測る。主軸方位はN-11°-Eを指す。

第67号土坑(第197図)

BE-21グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.20m、短軸0.75m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-68°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第68号土坑

BE-20グリッドに位置する。第4号井戸跡と重複し、切っている。平面形は円形を呈し、規模は長径1.91m、短径1.28m、深さ29cmを測る。主軸方位はN-19°-Eを指す。

第69号土坑(第197図)

BE・BF-20グリッドに位置する。東端でピットと重複し、切っている。平面形は円形を呈し、規模は長径0.80m、短径0.72m、深さ35cmを測る。主軸方位はN-60°-Eを指す。

覆土中より、土師器片が出土した。

第70号土坑(第197図)

BE・BF-20グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.95m、短径1.69m、深さ54cmを測る。主軸方位はN-15°-Wを指す。

出土遺物(第201図)

かわらけが出土した。その他は底部破片で回転糸切り未調整のものが主体である。

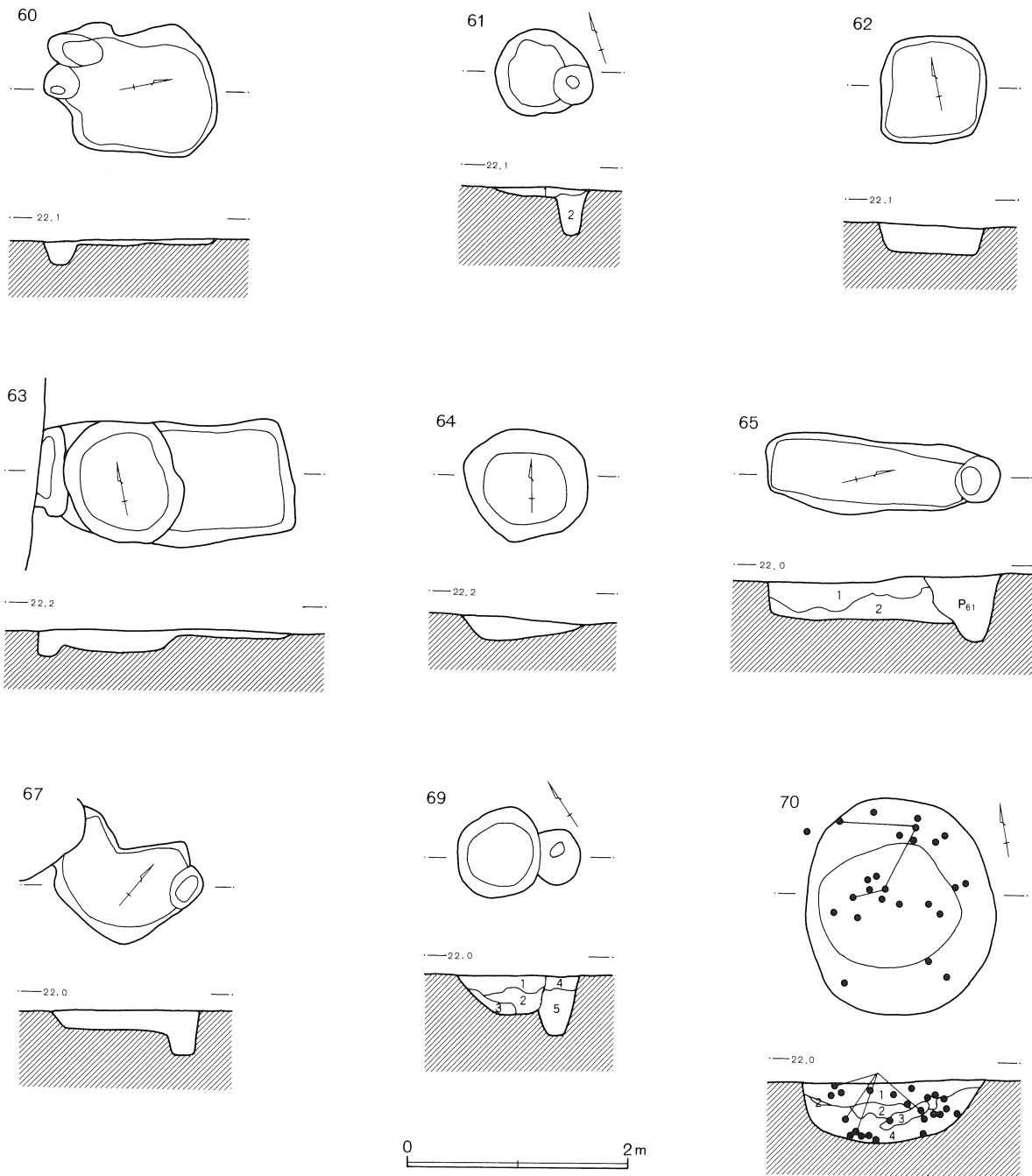
第71号土坑

BF-19グリッドに位置する。第72号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸4.37m、短軸0.89m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-11°-Eを指す。

第72号土坑

BF-19グリッドに位置する。第71・73号土坑と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸3.24m、短軸0.70m以上、深さ13cmを測る。主軸方位はN-12°

第197図 B区土坑(3)



SK 60
黒褐色土 炭化物・焼土・ロームブロック多く含む

SK 61
1 黒褐色土 ローム粒子多く、小礫含む
2 黒褐色土 ローム粒子若干含む

SK 62
黒褐色土 ローム粒子・ブロック多く含む

SK 63
黒褐色土 ロームブロック多量含む

SK 64
黒褐色土 ローム粒子、炭化物粒子微量含む

SK 65
1 黄褐色土 黒褐色土・ロームブロック含む 締まりなし
2 褐色土 ロームブロック含む 締まりあり

SK 67 黄褐色土

SK 69
1 暗褐色土 ローム粒子・砂粒子含む 締まり強い
2 褐色土 ローム粒子多く含む 締まり強い
3 黒褐色土 ローム粒子少し含む 締まり弱い
4 暗褐色土 焼土・炭化物粒子・ローム含む 締まり強い
5 暗褐色土 ローム含む 締まり強い

SK 70
1 黒褐色土 ローム粒子・小礫含む やや締まりあり
2 黒褐色土 ローム粒子・ブロック、炭化物含む やや締まりあり
3 黄褐色土ロームブロック
4 黒褐色土 砂礫多量に含む

—Eを指す。

第73号土坑

BE-19グリッドに位置する。第72号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.23m、短径1.01m、深さ5cmを測る。主軸方位はN-70°-Eを指す。

第74号土坑

BE-19グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.99m、短径0.88m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-9°-Eを指す。

第75号土坑(第198図)

BF-20グリッドに位置する。第76・77号土坑と重複する。平面形は隅丸方形になるものと推定される。規模は長軸0.80m以上、短軸0.54m以上、深さ8cmを測る。主軸方位はN-72°-Wを指す。

第76号土坑(第198図)

BF-20グリッドに位置する。第75・77号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.27m、短軸1.23m以上、深さ18cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

第77号土坑(第198図)

BF-20グリッドに位置する。第75・76・78号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.62m、短軸0.85m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-53°-Wを指す。

第78号土坑(第198図)

BF-20グリッドに位置する。第77号土坑及び第5号井戸跡と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.57m、短軸0.95m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-77°-Wを指す。

第79号土坑(第198図)

BF-20・21グリッドに位置する。第5号井戸跡と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸3.97m、短軸1.07m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第80号土坑(第198図)

BF-20・21グリッドに位置する。第81号土坑及び第5号井戸跡と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸3.62m、短軸0.82m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-73°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第81号土坑(第198図)

BF-20・21グリッドに位置する。第80・82・83号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.04m、短径0.88m、深さ10cmを測る。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第82号土坑(第198図)

BF-20・21グリッドに位置する。第81号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.40m、短軸1.26m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-82°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第83号土坑(第198図)

BF-21グリッドに位置する。第81・82・84号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.92m以上、短軸0.86m、深さ5cmを測る。主軸方位はN-75°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第84号土坑(第198図)

BF-21グリッドに位置する。第83号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.06m、短軸0.71m、深さ5cmを測る。主軸方位はN-19°-Eを指す。

第85号土坑(第199図)

BF-20・21グリッドに位置する。第86・87号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.20m、短軸0.89m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-17°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第86号土坑(第199図)

BF-20・21グリッドに位置する。第85・87号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸

1.68m、短軸0.88m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-75°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第87号土坑(第199図)

BF-20グリッドに位置する。第85・86号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.60m、短軸1.11m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-61°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第88号土坑(第199図)

BF-21グリッドに位置する。第89号土坑と重複し、切られている。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.33m、短軸1.18m、深さ65cmを測る。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第89号土坑(第199図)

BF-21グリッドに位置する。第88・90号土坑と重複し、第88号土坑を切っている。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.07m、短軸0.50m、深さ50cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第90号土坑(第199図)

BF-21グリッドに位置する。第89号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.64m、短軸0.87m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-12°-Eを指す。

第91号土坑(第199図)

BF-21・22グリッドに位置する。第92・93号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.56m、短径1.33m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第92号土坑(第199図)

BF-22グリッドに位置する。第91・93号土坑と重複する。平面形は不明で、規模は長軸0.93m以上、短軸0.78m以上、深さ13cmを測る。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第93号土坑

BF-21・22グリッドに位置する。第91・92号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈するものと推定される。規模は長軸1.97m以上、短軸0.50m以上、深さ20cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第94号土坑(第200図)

BF-21グリッドに位置する。第95号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.00m、短軸0.96m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-22°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第95号土坑(第200図)

BF-21グリッドに位置する。第94号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.48m、短軸0.87m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-22°-Eを指す。

第96号土坑(第200図)

BF・BG-21グリッドに位置する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.00m、短軸0.69m、深さ31cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第97号土坑(第200図)

BG-20グリッドに位置する。第98号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.65m、短軸0.88m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

覆土中より、土師器片が出土した。

第98号土坑(第200図)

BG-20・21グリッドに位置する。第97号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.11m、短軸0.57m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-81°-Wを指す。

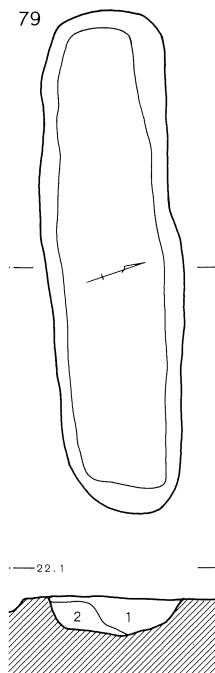
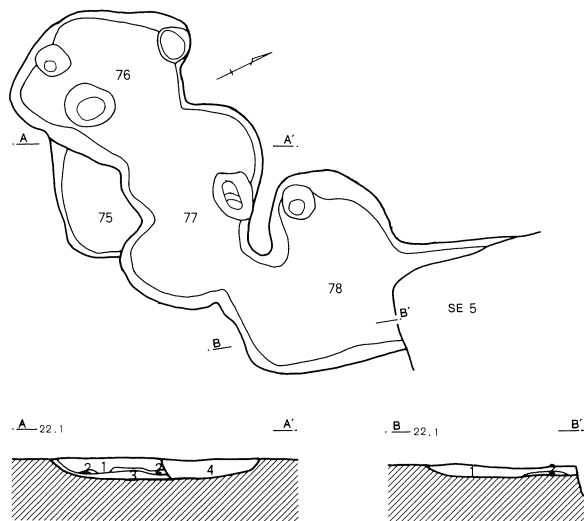
覆土中より、土師器片が出土した。

第99号土坑(第200図)

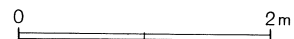
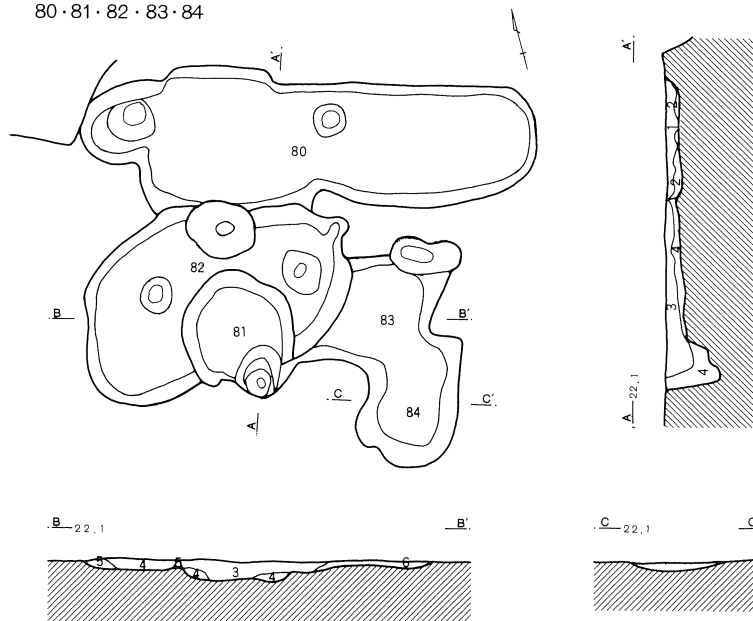
BG-20・21グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.26m、短軸0.98m、深さ56cmを

第198図 B区土坑(4)

75・76・77・78



80・81・82・83・84



SK 76・77

- 1 黒褐色土 ローム粒子・ロームブロック含む 締まりあり
- 2 黒褐色土 締まり弱い
- 3 暗褐色土 ロームブロック多く含む やや締まりあり
- 4 黒褐色土 ローム粒子多く含む やや締まりあり

SK 78

- 1 黒褐色土 ローム粒子・小礫若干含む やや締まりあり
- 2 黄褐色土

SK 79

- 1 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子・砂粒子含む 締まりあり
- 2 黒褐色土 ローム多く含む 締まりあり

SK 80・81・82・83

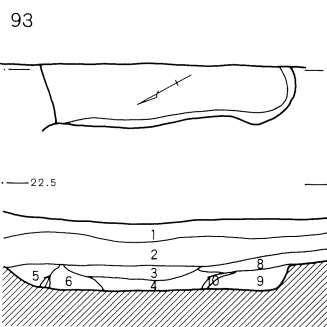
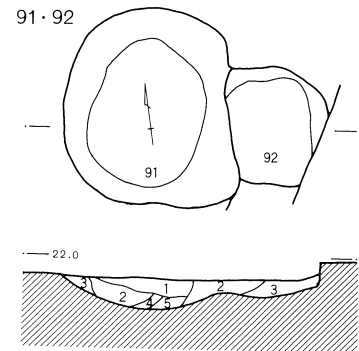
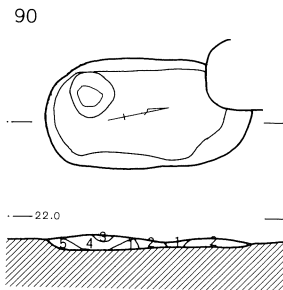
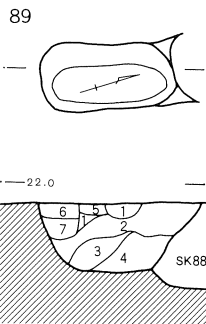
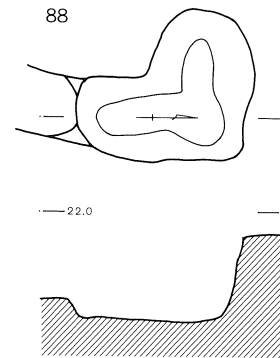
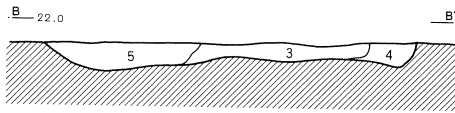
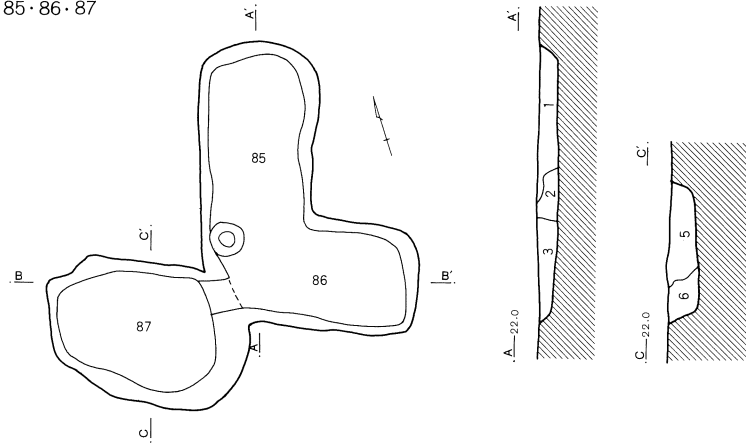
- 1 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子・砂粒含む 締まりあり
- 2 褐色土 ローム・黒褐色土含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子多く含む やや締まりあり
- 4 黄褐色土 黒色土含む 締まり強い
- 5 褐色土 ローム・黒褐色土含む
- 6 黄褐色土 締まり強い

SK 84

- 黒褐色土 ロームブロック多量含む

第199図 B区土坑(5)

85・86・87



SK 85・86・87

- 1 黒褐色土 ローム粒子・ブロック若干含む 締まり強い
- 2 暗褐色土 ロームブロック多く含む 締まり強い
- 3 黒褐色土 ローム粒子・砂粒子若干含む 締まり強い
- 4 黒褐色土 ローム粒子多く、焼土粒子若干含む 締まり強い
- 5 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子含む 締まり強い
- 6 暗褐色土 ローム粒子含む 締まり強い

SK 89

- 1 暗褐色土 褐色土粒子極多く含む
- 2 暗褐色土 褐色土粒子・カーボン粒子若干含む
- 3 暗褐色土 小礫微量含む 粗粒
- 4 暗褐色土 締まり若干あり
- 5 暗褐色土
- 6 褐色土
- 7 褐色土 暗褐色土極多く含む

SK 93

- 1 黒褐色土 極締まり強い
- 2 暗褐色土 白色粒子・橙色粒子多く含む 極締まり強い
- 3 黒褐色土 締まり強い
- 4 暗褐色土
- 5 暗褐色土 黄褐色土粒子極多く含む
- 6 黒褐色土 黄褐色土多く含む
- 7 黒褐色土 黄褐色土極多く含む
- 8 暗褐色土 黄褐色土粒子微量含む 締まり強い
- 9 暗褐色土 黄褐色土若干含む 砂質
- 10 暗褐色土 黄褐色土極多く含む

SK 90

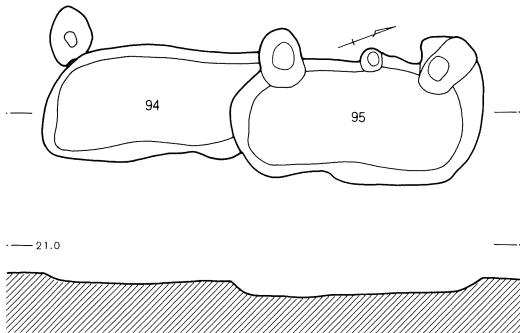
- 1 極暗赤褐色土
- 2 暗褐色土 褐色土多く含む
- 3 黒褐色土 褐色土若干含む 極締まり強い
- 4 暗赤褐色土
- 5 黒褐色土

SK 91・92

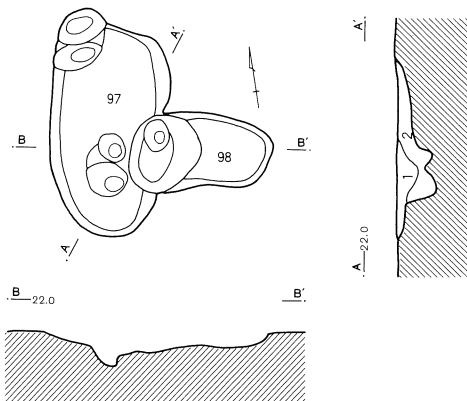
- 1 暗褐色土 締まり強い
- 2 暗褐色土 黄褐色土・炭化物粒子含む
- 3 黒褐色土 黄褐色土粒子若干含む
- 4 褐色土 極締まり強い
- 5 暗褐色土

第200図 B区土坑(6)

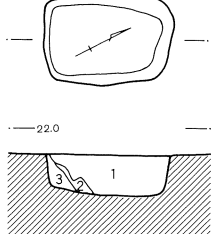
94・95



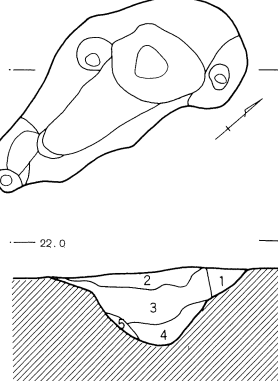
97・98



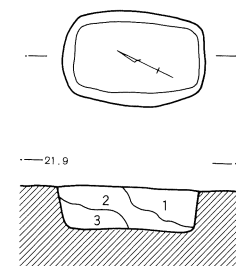
96



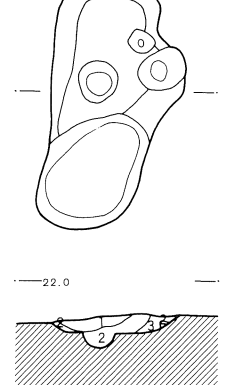
99



100



101



103



SK 96

- 1 暗褐色土
- 2 褐色土
- 3 黒褐色土

SK 97・98

- 1 暗褐色土 ロームブロック多く含む やや締まりあり
- 2 黒褐色土 ローム粒子・赤色土粒子多く含む

SK 99

- 1 褐色土 ロームブロック・小礫含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子含む 締まりあり
- 3 黒褐色土 ローム少し含む
- 4 黒褐色土
- 5 暗褐色土 ロームブロック若干含む

SK 100

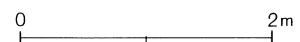
- 1 黒褐色土 ロームブロック含む
- 2 暗褐色土 ローム含む 締まりなし
- 3 黒褐色土

SK 101

- 1 黒褐色土 ローム粒子僅かに含む
- 2 黒褐色土 小ロームブロック含む
- 3 黄褐色土

SK 103

- 1 黄褐色土 白色粒子・ローム粒子多く含む
- 2 黒褐色土 白色粒子・ローム・炭化物粒子を多く含む 締まり弱い
- 3 黄褐色土 黒褐色土含む
- 4 黒褐色土 ロームブロック含む 締まり弱い
- 5 黄褐色土 黒褐色土含む
- 6 黒褐色土 ロームブロック・炭化物含む 締まり弱い
- 7 黒褐色土 ローム含む
- 8 黒褐色土 ロームブロック含む やや粘質
- 9 黒褐色土 ロームブロック含む やや締まり弱い
- 10 黒褐色土 ロームブロック含む



測る。主軸方位はN-6°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第100号土坑(第200図)

BG-20グリッドに位置する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.10m、短軸0.75m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-26°-Wを指す。

出土遺物(第201図)

覆土より、古銭の小破片が出土した。「□□元寶」で時計回りの文字配列である。銭径2.55cm、方形孔7mm、厚さ2.8mmを測る。

第101号土坑(第200図)

BG-20・21グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.95m、短軸0.82m、深さ14

cmを測る。主軸方位はN-79°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第102号土坑

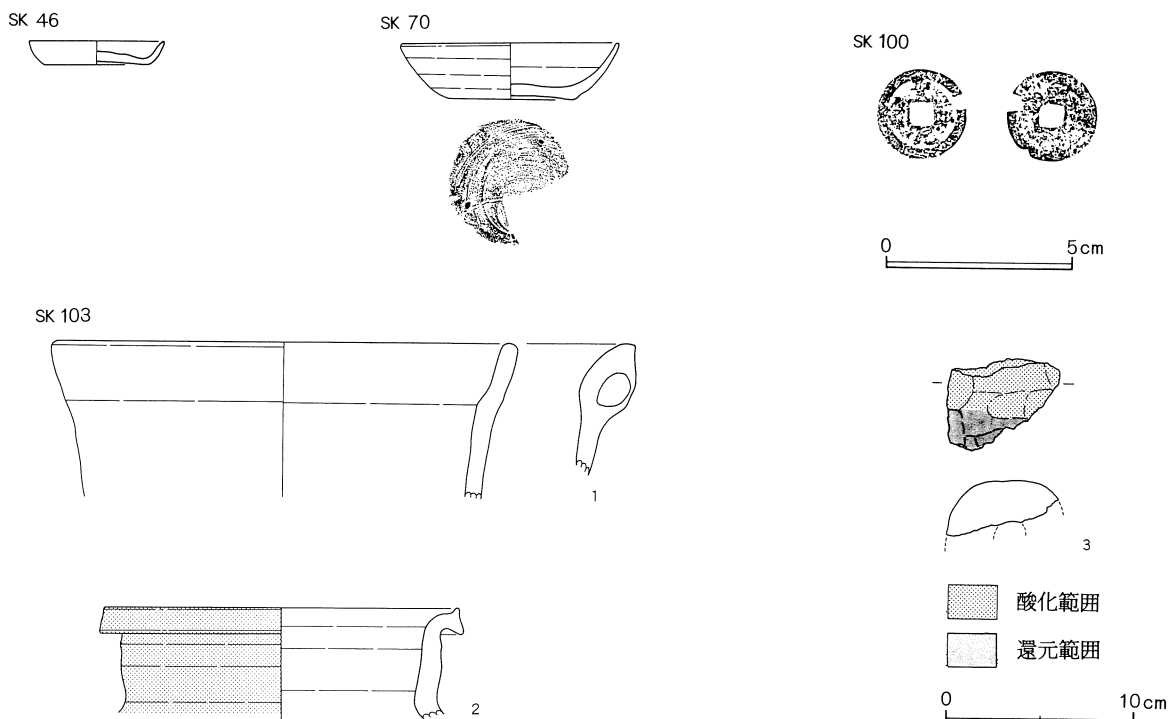
BH-20グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.11m、短軸0.43m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

第103号土坑(第200・201図)

BH-18グリッドに位置する。第30・32号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸3.58m、短軸2.10m、深さ70cmを測る。主軸方位はN-89°-Eを指す。

覆土上層より、中世の内耳鍋・甕・羽口が出土した。

第201図 B区土坑出土遺物(I)



土坑出土遺物観察表(第201図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
SK46	かわらけ	(7.2)	1.3	(5.6)	JS	II	橙	20	口唇部油煙付着 底部調整不明瞭
SK70	かわらけ	11.7	3.1	6.7	S	I	橙	70	RC糸切り2回 ロクロ痕顕著 底部内面ヘラ痕 口縁部油煙付着
1	内耳鍋	(24.8)			S	II	黒褐	10	SK103 覆土上層 外面煤付着
2	甕	(19.0)			S	I	オリーブ灰	15	SK103 覆土上層 外面に釉

第104号土坑(第202図)

BH-19グリッドに位置する。第32号溝と重複し、切られている。平面形は円形を呈し、規模は長径0.87m、短径0.80m、深さ82cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。

第105号土坑(第202図)

BH・BI-20グリッドに位置する。第35号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.11m、短軸0.99m、深さ85cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

第106号土坑(第202図)

BI-20グリッドに位置する。第36号溝と重複し、切られている。平面形は円形を呈し、規模は長径1.26m、短径1.22m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-89°-Wを指す。

第107号土坑(第202図)

BI-18グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.41m、短軸1.08m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-13°-Eを指す。

第108号土坑(第202図)

BI-18グリッドに位置する。第109号土坑と重複し、切られている。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.96m、短軸0.89m以上、深さ25cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第109号土坑(第202図)

BI-18グリッドに位置する。第108号土坑と重複し、切っている。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.53m、短軸0.70m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第110号土坑(第202図)

BI-18グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.50m、短軸1.58m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-86°-Wを指す。

第111号土坑(第203図)

BI-18グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.44m、短径1.12m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-24°-Eを指す。

第112号土坑(第203図)

BI-18グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.15m、短径1.03m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-17°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第113号土坑(第203図)

BI-18グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.42m、短軸1.06m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-15°-Eを指す。

第114号土坑(第203図)

BI-18グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.06m、短径0.94m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-74°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第115号土坑(第203図)

BI-19、BJ-18・19グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.86m、短軸0.95m、深さ20cmを測る。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第116号土坑(第203図)

BI-19グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.30m、短軸0.97m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-84°-Wを指す。

第117号土坑(第203図)

BJ-19グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.95m、短径0.78m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-5°-Wを指す。

第118号土坑

BJ-19グリッドに位置する。東半は調査区外で平面形は不明である。規模は1.13m以上×0.43m以上、深さ10cmを測る。

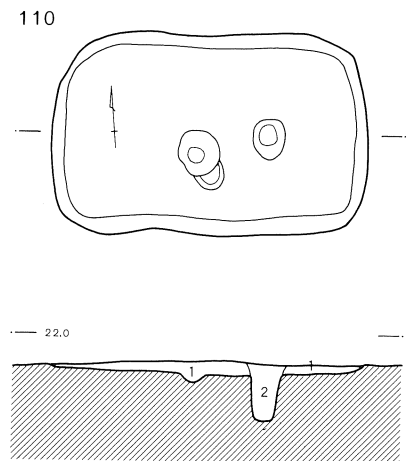
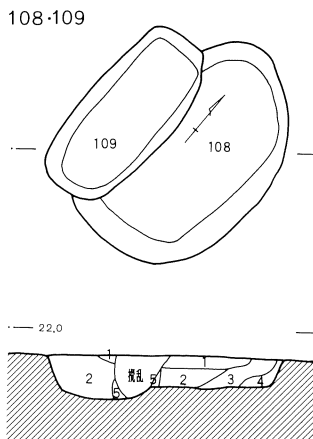
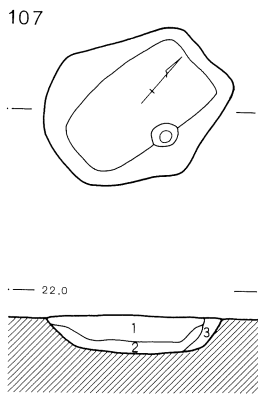
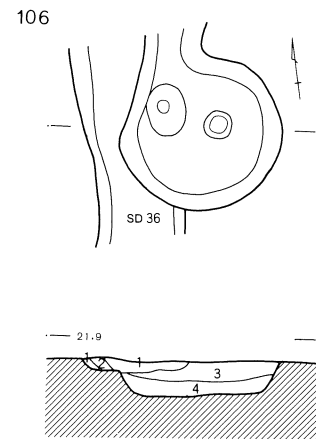
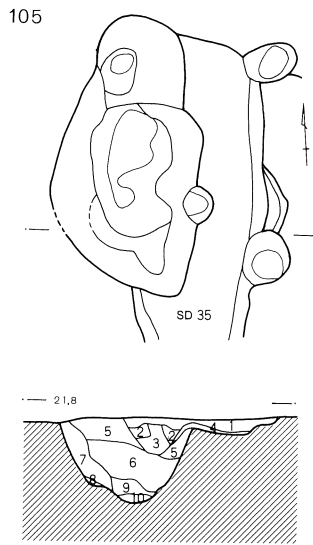
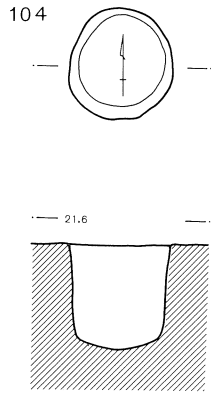
第119号土坑(第203図)

BJ-18・19グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.41m、短軸1.46m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

第120号土坑(第203図)

BJ-18グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形

第202図 B区土坑(7)



SK104
黒褐色土 炭化物・ローム粒子若干含む 締まりあり

SK105
1 黒褐色土 ローム粒子若干含む
2 褐色土 ローム粒子多量含む
3 暗褐色土 黒色土粒子若干含む やや締まりあり
4 黄褐色土
5 暗褐色土
6 褐色土
7 暗褐色土
8 褐色土
9 褐色土
10 極暗褐色土

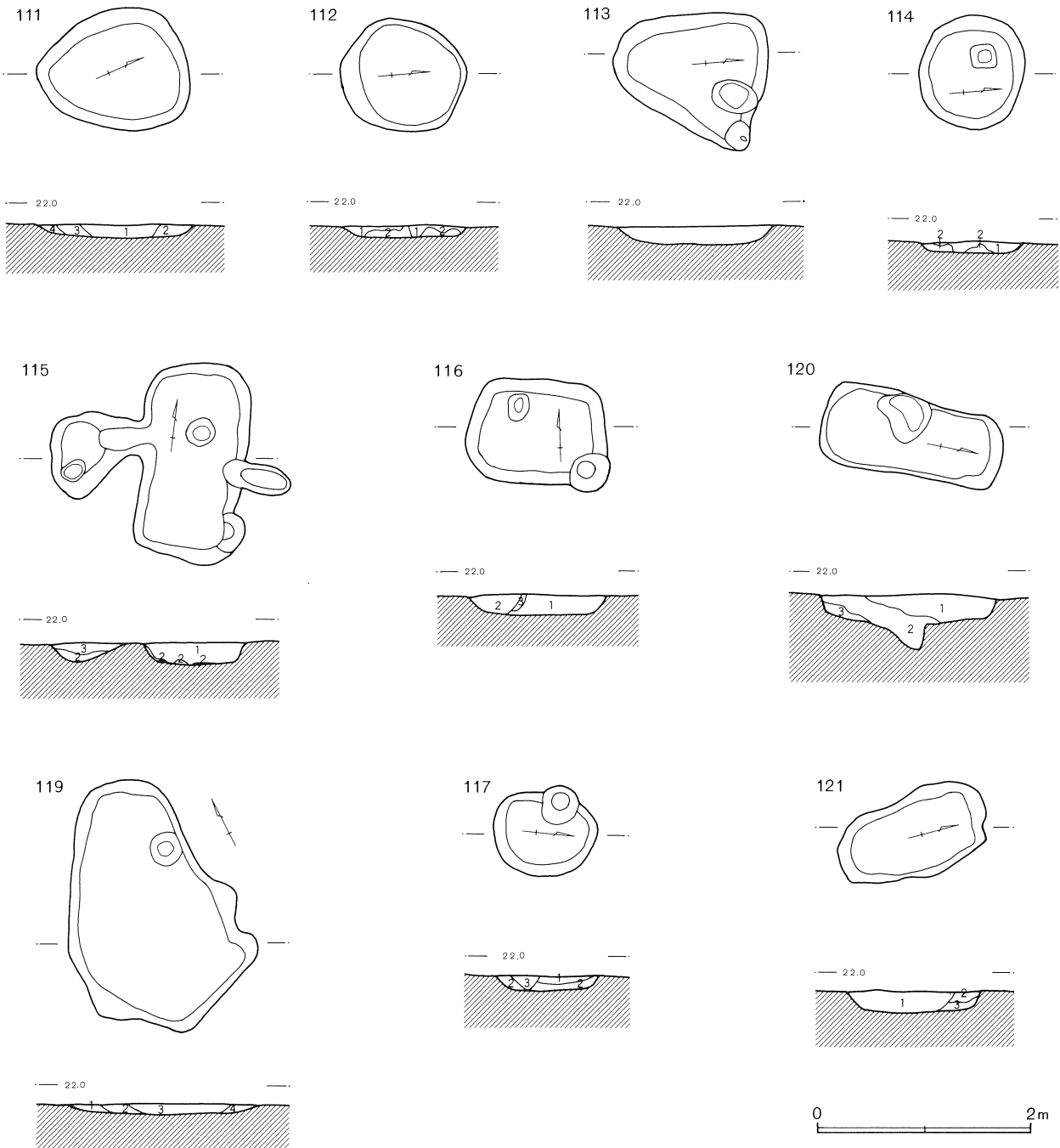
SK106
1 暗赤褐色土 締まりやや弱い
2 黒褐色土
3 暗赤褐色土 締まりやや強い
4 暗赤褐色土 黄褐色土若干含む

SK107
1 黒褐色土
2 暗褐色土
3 褐色土

SK108・109
1 黒褐色土 締まりなし
2 暗褐色土
3 暗褐色土
4 暗褐色土 黄褐色土含む やや締まりあり
5 褐色土

SK110
1 黒褐色土 ローム粒子・ロームブロック含む 締まり弱い
2 黒褐色土 ロームブロック含む

第203図 B区土坑(8)



SK111

- 1 極暗褐色土
- 2 暗褐色土
- 3 暗赤褐色土
- 4 黒褐色土

SK112

- 1 黒褐色土
- 2 褐色土

SK113

黒褐色土 ローム粒子・僅かにロームブロック含む 締まり弱い

SK114

- 1 黒褐色土
- 2 褐色土

SK115

- 1 暗褐色土
- 2 褐色土
- 3 黒褐色土

SK116

- 1 黒褐色土 黄褐色土若干含む
- 2 暗褐色土 黄褐色土含む
- 3 暗褐色土 黄褐色土極多く含む

SK117

- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土 黄褐色土極多く含む
- 3 暗褐色土

SK119

- 1 暗褐色土 やや締まりあり
- 2 暗褐色土 黄褐色土若干含む
- 3 暗褐色土
- 4 暗褐色土

SK120

- 1 黒褐色土 ローム粒子含む
- 2 黒褐色土 ローム少し含む
- 3 暗褐色土 ロームブロック含む

SK121

- 1 暗褐色土 黄褐色土若干含む やや締まりあり
- 2 暗褐色土 締まりなし
- 3 暗褐色土 黄褐色土極多く含む

を呈し、規模は長軸1.70m、短軸0.71m、深さ23cmを測る。主軸方位はN-2°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第121号土坑(第203図)

BJ-18グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.43m、短軸0.73m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-9°-Wを指す。

第122号土坑(第204図)

BJ-17グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.16m、短軸1.00m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-6°-Wを指す。

第123号土坑(第204図)

BJ・BK-18グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.53m、短軸0.65m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第124号土坑(第204図)

BK-18グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.22m、短軸0.87m、深さ5cmを測る。主軸方位はN-39°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第125号土坑(第204図)

BK-18グリッドに位置する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.76m、短軸0.66m、深さ27cmを測る。覆土中より、中世土器片が出土した。

第126号土坑(第204図)

BK-18グリッドに位置する。第38号溝と重複し、切っている。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.80m、短軸0.72m、深さ23cmを測る。主軸方位はN-4°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第127号土坑(第204図)

BK-18グリッドに位置する。第128号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.95m以上、短径1.30m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第128号土坑(第204図)

BK・BL-18グリッドに位置する。第127・129・130・135・136・138号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.25m、短軸1.20m以上、深さ42cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第129号土坑(第204図)

BK-17グリッドに位置する。第128・130号土坑と重複し、第130号土坑に切られる。平面形は隅丸長方形を呈するものと推定され、規模は長軸1.10m以上、短軸0.43m以上、深さ8cmを測る。主軸方位はN-72°-Eを指す。

第130号土坑(第204図)

BK-18グリッドに位置する。第128・129・131号土坑と重複し、第129・131号土坑を切る。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.77m、短軸0.88m、深さ80cmを測る。主軸方位はN-72°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第131号土坑(第204図)

BK・BL-18グリッドに位置する。第130号土坑と重複し、切られる。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.20m、短軸0.84m、深さ35cmを測る。主軸方位はN-85°-Eを指す。

第132号土坑

BL-18グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、深さ13cmを測る。

第133号土坑(第205図)

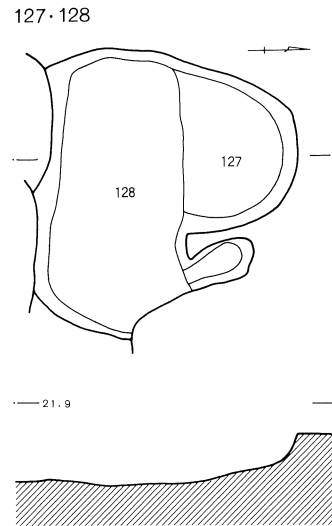
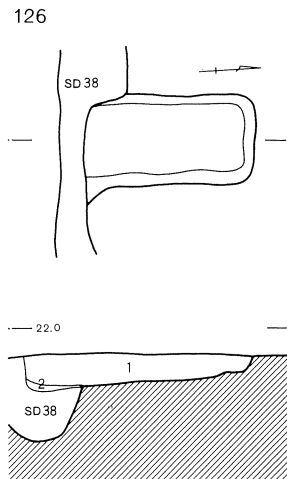
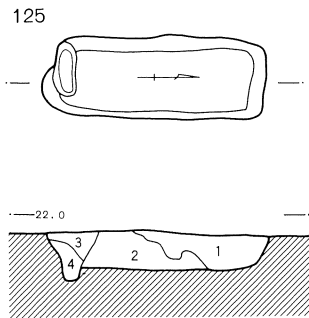
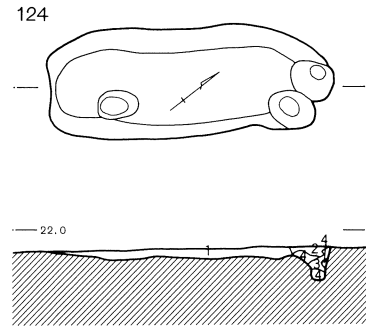
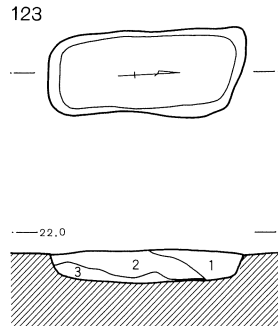
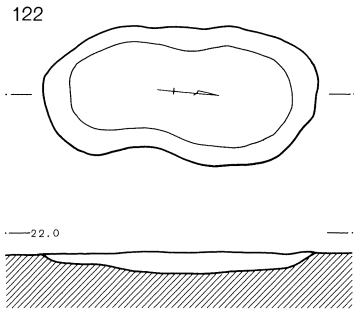
BL-18グリッドに位置する。第134・136・150・151号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸3.56m、短軸1.55m以上、深さ16cmを測る。主軸方位はN-30°-Eを指す。

第134号土坑(第205図)

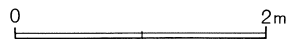
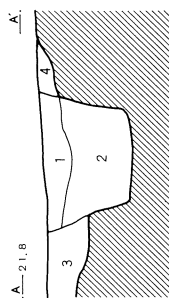
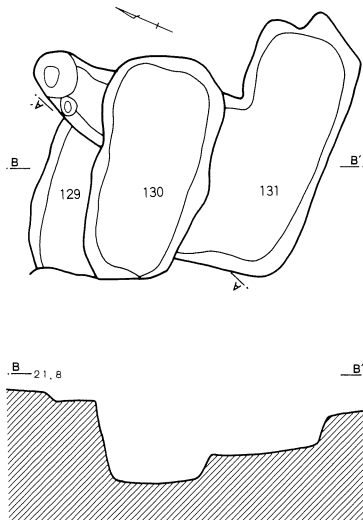
BL-18グリッドに位置する。第133・150・151号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.40m、短軸1.10m、深さ40cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第204図 B区土坑(9)



129・130・131



SK122
黒褐色土 ロームブロック含む 締まりなし

SK123
1 黒褐色土 ローム粒子含む 締まりなし
2 黒褐色土 ローム粒子・炭化物・赤色土粒子若干含む
3 黒褐色土 ローム多く含む

SK124
1 暗褐色土 ロームをブロック含む
2 黒褐色土 赤色土粒子微量含む
3 黒色土 ローム多く含む
4 暗褐色土 ローム粒子・黒褐色土含む

SK125
1 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子若干含む やや締まる
2 黒褐色土 ローム粒子・ロームブロック多く含む 締まり弱い
3 黒褐色土 ローム粒子極僅かに含む 締まり弱い
4 褐色土 ロームブロック含む やや締まる

SK126
1 黒褐色土 ローム粒子を含む やや締まり弱い
2 黄褐色土

SK129・130・131
1 褐色土 暗褐色土含む
2 暗褐色土
3 暗褐色土 褐色土・砂粒子含む 締まり強い

第135号土坑(第205図)

BL-18グリッドに位置する。第128・136・137・138号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.70m以上、短軸1.35m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-84°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第136号土坑(第205図)

BL-18グリッドに位置する。第128・133・135・137・150号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.70m、短軸1.40m、深さ36cmを測る。主軸方位はN-84°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第137号土坑(第205図)

BL-18グリッドに位置する。第135・136・150号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.94m以上、短軸0.38m以上、深さ19cmを測る。主軸方位はN-84°-Wを指す。

第138号土坑

BK・BL-18グリッドに位置する。第128・135・140・141・142号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、深さ18cmを測る。

第139号土坑(第205図)

BK・BL-18グリッドに位置する。第140・141・143号土坑及び第6号井戸跡と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.09m、短軸1.00m以上、深さ55cmを測る。主軸方位はN-5°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第140号土坑(第205図)

BL-18グリッドに位置する。第139・144・145・146・148号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.10m以上、短軸0.98m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-8°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第141号土坑(第205図)

BK・BL-18グリッドに位置する。第138・139号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈するものと推定される。規模は長軸1.82m、短軸0.43m以上、深さ

23cmを測る。主軸方位はN-6°-Eを指す。

第142号土坑

BL-18グリッドに位置する。第138号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.70m、短軸0.45m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。

第143号土坑(第205図)

BK・BL-17・18グリッドに位置する。第139号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈するものと推定される。規模は長軸0.94m以上、短径0.92m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-79°-Wを指す。

第144号土坑(第205図)

BL-17・18グリッドに位置する。第140・145・146号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.30m、短軸0.86m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-85°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第145号土坑(第205図)

BL-17・18グリッドに位置する。第140・141・146・180号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈すると推定される。規模は長軸2.50m、短軸1.07m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-80°-Wを指す。

第146号土坑(第207図)

BL-18グリッドに位置する。第140・144・145号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.06m、短軸0.88m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-8°-Wを指す。

第147号土坑

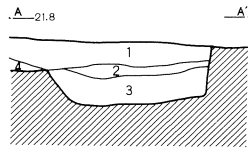
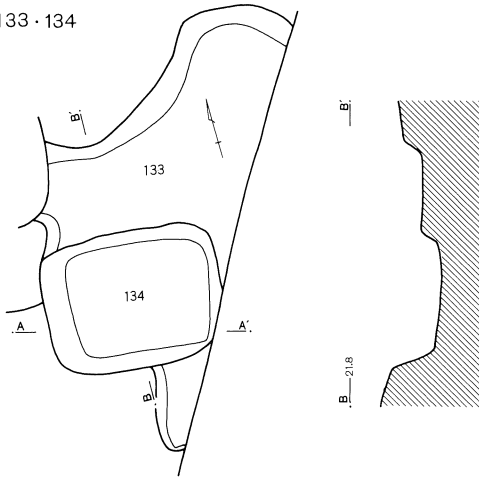
BL-18グリッドに位置する。第153号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.75m以上、短軸0.52m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-37°-Wを指す。

第148号土坑(第206図)

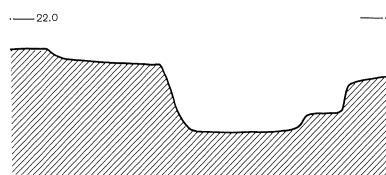
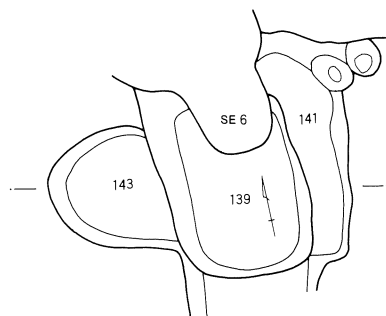
BL-18グリッドに位置する。第140・145・149号土坑と重複し、第140号土坑を切っている。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.94m以上、短軸0.70m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

第205図 B区土坑(10)

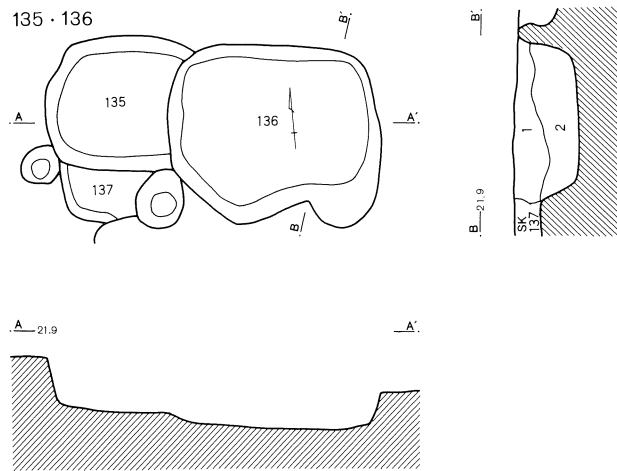
133・134



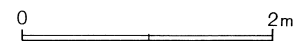
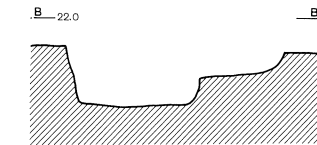
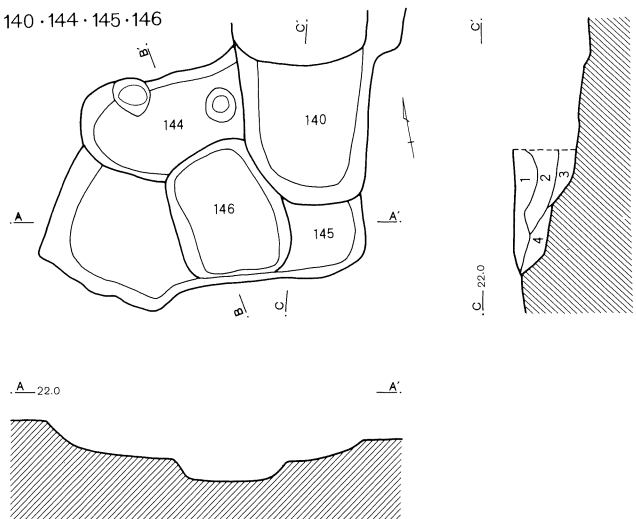
139・141・143



135・136



140・144・145・146



SK134

- 1 褐色土 白色粒子含む 締まり極強い
- 2 褐色土
- 3 暗褐色土
- 4 暗褐色土 締まり強い

SK136

- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土 褐色土・砂粒子含む

SK140・145

- 1 暗褐色土 褐色土若干含む やや締まりあり
- 2 黒褐色土 褐色土粒子若干含む
- 3 黒褐色土 締まりあり
- 4 黒褐色土 炭化物粒子・褐色土粒子若干含む 締まりあり

第149号土坑(第206図)

BL-18グリッドに位置する。第148号土坑と重複し、切っている。平面形は円形を呈し、規模は長径0.69m、短径0.65m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。

第150号土坑(第206図)

BL-18グリッドに位置する。第134・136・137・151・153号土坑と重複する。平面形は不明で、深さ25cmを測る。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第151号土坑(第206図)

BL-18グリッドに位置する。第134・150・153号土坑と重複する。平面形は不整形で、深さ32cmを測る。

第152号土坑

BL-18グリッドに位置する。第151号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.10m以上、短軸0.70m、深さ23cmを測る。主軸方位はN-1°-Wを指す。

出土遺物(第209図)

覆土より、古銭と中世土器片が出土した。古銭は磨減が激しく文字は読みとれないが、銭径2.5cm、方形孔9mm、厚さ2.1mmを測る。

第153号土坑(第206図)

BL-18グリッドに位置する。第147・150・154号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.53m、短軸1.14m、深さ31cmを測る。主軸方位はN-88°-Wを指す。

覆土より、中世土器片が出土した。

第154号土坑(第206図)

BL-18グリッドに位置する。第153・155・156号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.92m、短軸0.77m以上、深さ27cmを測る。主軸方位はN-6°-Wを指す。

覆土より、中世土器片が出土した。

第155号土坑(第206図)

BL-18グリッドに位置する。第154・156・159号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈すると推定さ

れる。規模は長軸1.22m以上、短径0.92m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-70°-Eを指す。

第156号土坑(第206図)

BL-18グリッドに位置する。第154・155・157号土坑及び第7号井戸跡と重複し第157号土坑を切っている。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.48m、短軸1.07m、深さ70cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片、中世土器片が出土した。

第157号土坑(第206図)

BL-18グリッドに位置する。第156・158・159号土坑及び第7号井戸跡と重複し、第158号土坑を切っている。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.53m以上、短軸1.64m、深さ56cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

出土遺物(第219図)

覆土中より、かわらけ、古銭の他に、須恵器片、土師器片、中世土器片が出土した。古銭は文字は読みとれないが、径2.45cm、方形孔7.2mm、厚さ2.8mmを測る。

第158号土坑(第206図)

BL-18グリッドに位置する。第157・160号土坑と重複し、第157号土坑に切られる。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.25m、短軸0.41m以上、深さ40cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片の他、中世土器片が出土した。

第159号土坑(第206図)

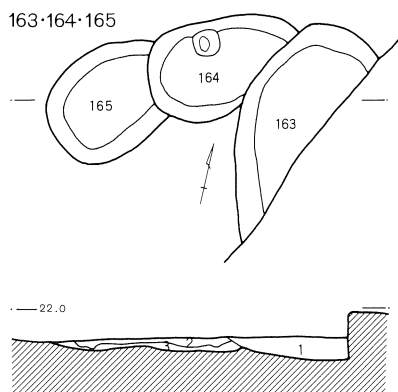
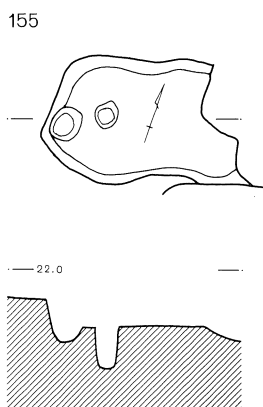
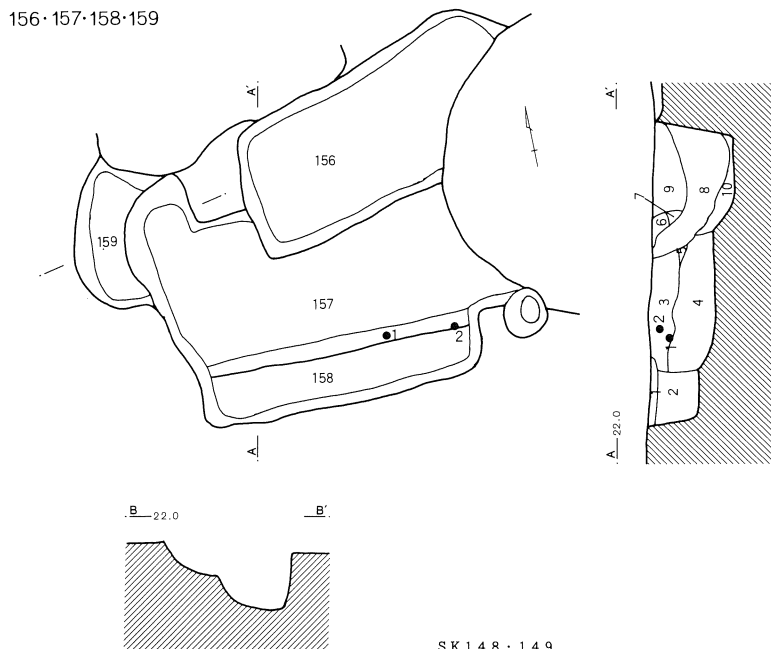
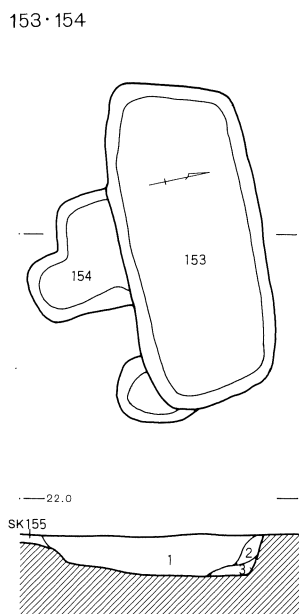
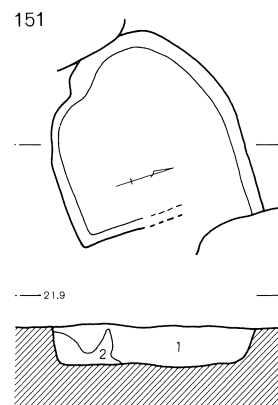
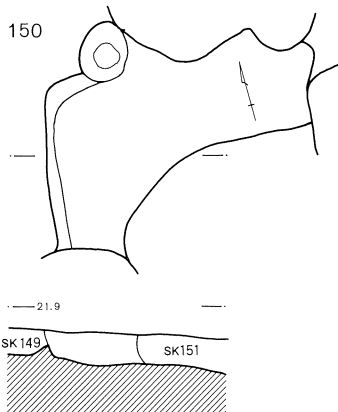
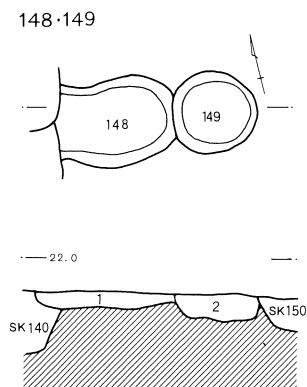
BL-18グリッドに位置する。第155・157号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、深さ26cmを測る。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第160号土坑

BL-18グリッドに位置する。第158・162号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.03m、短軸0.43m以上、深さ21cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

第206図 B区土坑(II)



SK148・149

- 1 暗褐色土 褐色土粒子含む
- 2 暗褐色土 褐色土粒子・褐色土多く含む

SK150

褐色土 褐色土粒子・橙色土粒子・炭化物粒子多く含む

SK151

- 1 暗褐色土 褐色土粒子含む 締まりあり
- 2 暗褐色土 褐色土・褐色土粒子含む

SK153・154

- 1 暗赤褐色土 褐色土極多く含む
- 2 黒褐色土
- 3 褐色土

SK156・157・158・159

- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土 褐色土含む 粗粒
- 3 暗褐色土 褐色土粒子極多く含む
- 4 黒褐色土
- 5 褐色土
- 6 暗赤褐色土
- 7 褐色土
- 8 暗赤褐色土 褐色土多く含む 粗粒
- 9 暗赤褐色土 褐色土極多く含む やや締まりあり
- 10 暗赤褐色土 黒褐色土含む 締まり極強い

SK163・164・165

- 1 黒褐色土 ローム粒子含む
- 2 黒褐色土 ローム多く含む
- 3 黄褐色土

0 2m

第161号土坑

BL-18グリッドに位置する。第162号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.52m、短軸1.14m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-87°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第162号土坑

BL・BM-18グリッドに位置する。第160・162号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.46m、深さ13cmを測る。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第163号土坑(第206図)

BM-18グリッドに位置する。第164号土坑と重複し、切っている。平面形は楕円形を呈するものと推定され、規模は長軸1.84m以上、短軸0.66m以上、深さ17cmを測る。主軸方位はN-8°-Wを指す。

第164号土坑(第206図)

BM-18グリッドに位置する。第163・165号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.07m以上、短軸0.74m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-63°-Eを指す。

第165号土坑(第206図)

BM-17・18グリッドに位置する。第164号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.91m以上、短軸0.82m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-42°-Eを指す。

第166号土坑

BM-17グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈するものと推定され、深さ19cmを測る。

第167号土坑(第207図)

BM-17グリッドに位置する。第169号土坑と重複し、切られている。平面形は円形を呈し、規模は長径0.92m以上、短径0.86m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。

第168号土坑(第207図)

BM-17グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.30m、短軸0.91m、深さ20cmを測る。

主軸方位はN-84°-Eを指す。

第169号土坑(第207図)

BM-17グリッドに位置する。第167号土坑と重複し、切っている。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.38m、短軸1.07m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-61°-Eを指す。

第170号土坑(第207図)

BL・BM-17グリッドに位置する。第171号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.40m、短径1.26m、深さ40cmを測る。主軸方位はN-18°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第171号土坑(第207図)

BL・BM-17グリッドに位置する。第170号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.95m、短径0.55m以上、深さ21cmを測る。主軸方位はN-4°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第172号土坑(第207図)

BM-17・18グリッドに位置する。第173号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.10m、短軸0.63m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-86°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第173号土坑(第207・209図)

BL・BM-17・18グリッドに位置する。第172号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、深さ24cmを測る。

覆土中より、須恵器杯・甕の破片が出土した。

第174号土坑

BL-17・18グリッドに位置する。第175号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.47m、短軸1.23m以上、深さ8cmを測る。主軸方位はN-28°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第175号土坑(第207図)

BL-17グリッドに位置する。第174・176号土坑と重複し、第176号土坑に切られる。平面形は隅丸長方

形を呈し、規模は長軸3.15m、短軸0.77m以上、深さ28cmを測る。主軸方位はN-79°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第176号土坑(第207図)

BL-17グリッドに位置する。第175・177号土坑と重複し、両方とも切っている。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.91m、短軸0.98m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-86°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第177号土坑(第207図)

BL-17グリッドに位置する。第176・178号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.16m、短軸0.95m、深さ45cmを測る。主軸方位はN-18°-Wを指す。

第178号土坑(第207図)

BL-17グリッドに位置する。第177・179号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.96m、短軸0.84m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第179号土坑(第207図)

BL-17・18グリッドに位置する。第178号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.84m、短軸1.21m、深さ9cmを測る。主軸方位はN-15°-Eを指す。

第180号土坑(第207図)

BL-17グリッドに位置する。第145・181号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.00m、短軸0.94m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第181号土坑(第207図)

BL-17グリッドに位置する。第180号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.01m、短軸0.63m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-7°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第182号土坑

BL-17グリッドに位置する。第183号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は東西1.47m、南北0.80m以上、深さ16cmを測る。

第183号土坑(第208図)

BL-17グリッドに位置する。第182・184号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.30m、短軸0.99m、深さ55cmを測る。主軸方位はN-81°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第184号土坑

BL-17グリッドに位置する。第183・185号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.30m以上、短軸1.00m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-3°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第185号土坑

BL-17グリッドに位置する。第184号土坑と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.53m、短軸0.97m以上、深さ8cmを測る。主軸方位はN-7°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第186号土坑(第208図)

BL-17グリッドに位置する。第187・189号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.12m、短軸1.12m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-6°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

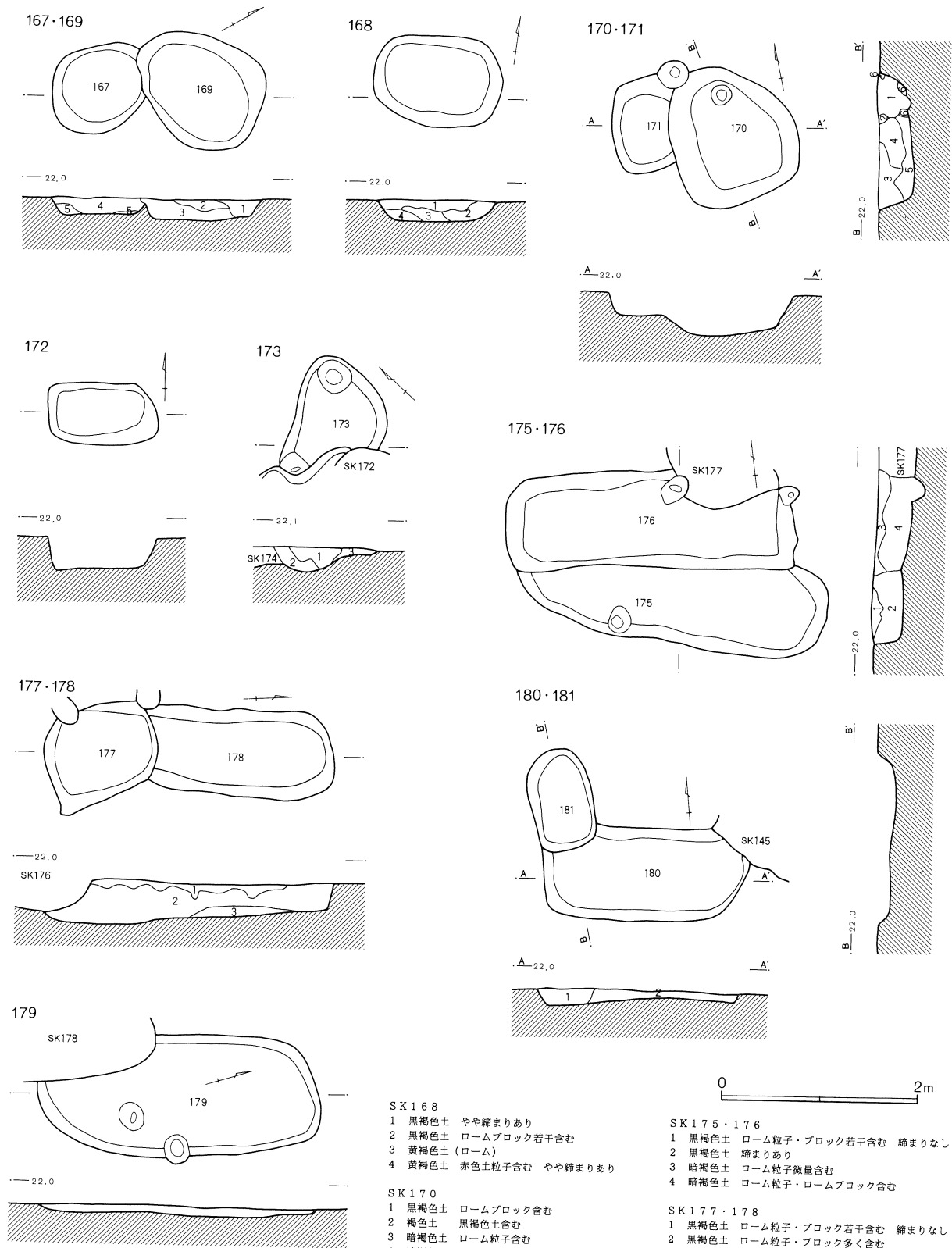
第187号土坑(第208図)

BL-17グリッドに位置する。第186号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.20m、短軸0.89m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-1°-Eを指す。

第188号土坑(第208図)

BL-17グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.84m、短径0.74m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-61°-Eを指す。

第207図 B区土坑(12)



- SK167・169
- 1 黒褐色土 ローム粒子含む
 - 2 黒褐色土 ロームブロック含む 締まりなし
 - 3 褐色土 黒褐色土含む
 - 4 黒褐色土 ローム粒子多く含む やや締まりなし
 - 5 暗褐色土 ロームブロック含む 締まりなし

- SK168
- 1 黒褐色土 やや締まりあり
 - 2 黒褐色土 ロームブロック若干含む
 - 3 黄褐色土 (ローム)
 - 4 黄褐色土 赤色土粒子含む やや締まりあり

- SK170
- 1 黒褐色土 ロームブロック含む
 - 2 褐色土 黒褐色土含む
 - 3 暗褐色土 ローム粒子含む
 - 4 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック含む
 - 5 暗褐色土 ロームブロック少し含む
 - 6 黄褐色土

- SK173
- 1 黒褐色土 ロームブロック含む
 - 2 暗褐色土 ローム粒子含む
 - 3 褐色土ブロック

- SK175・176
- 1 黒褐色土 ローム粒子・ブロック若干含む 締まりなし
 - 2 黒褐色土 締まりあり
 - 3 暗褐色土 ローム粒子微量含む
 - 4 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック含む

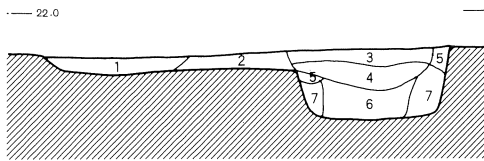
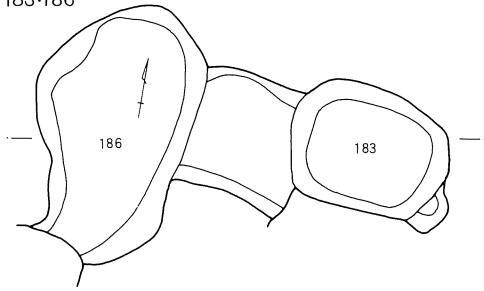
- SK177・178
- 1 黒褐色土 ローム粒子・ブロック若干含む 締まりなし
 - 2 黒褐色土 ローム粒子・ブロック多く含む
 - 3 褐色土 粘質

- SK179
- 黒褐色土 ローム粒子・ブロック若干含む 締まりなし

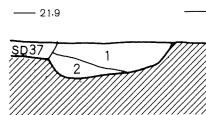
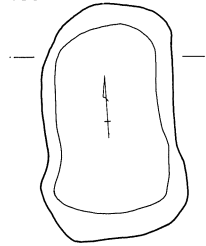
- SK180
- 1 黒褐色土 炭化物粒子・ローム粒子含む 締まり弱い
 - 2 暗褐色土 ローム粒子含む 締まり弱い

第208図 B区土坑(13)

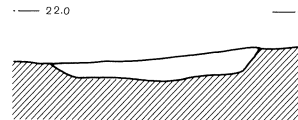
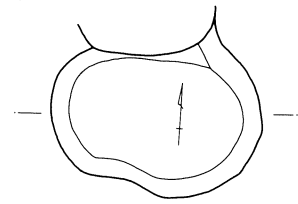
183-186



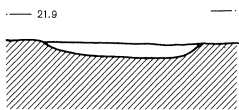
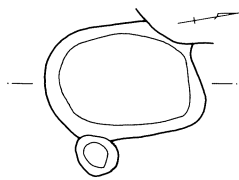
189



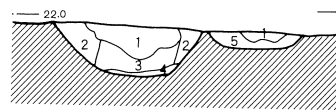
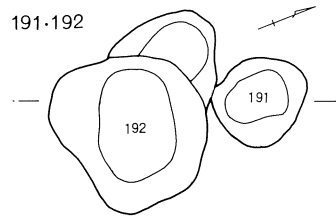
190



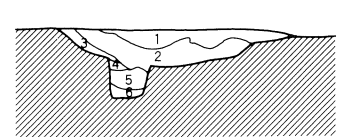
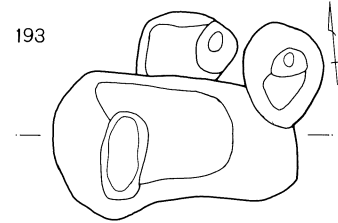
187



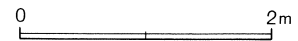
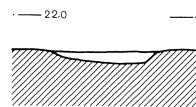
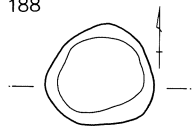
191-192



193



188



- SK186・183
- 1 褐色土 黒色土若干含む 締まり強い
 - 2 褐色土 黄褐色土粒子若干含む
 - 3 暗褐色土
 - 4 黒褐色土 褐色土若干含む
 - 5 褐色土 締まり弱い
 - 6 暗褐色土 褐色土含む 粗粒
 - 7 暗褐色土 粗粒

- SK191・192
- 1 黒褐色土 炭化物粒子・ロームブロック含む
 - 2 明褐色土 粘質
 - 3 黒褐色土 締まり弱い
 - 4 黄褐色土 粘質
 - 5 褐色土 黒褐色土含む 締まり弱い

SK187 褐色土

SK193

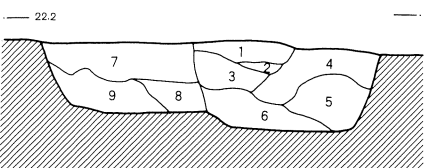
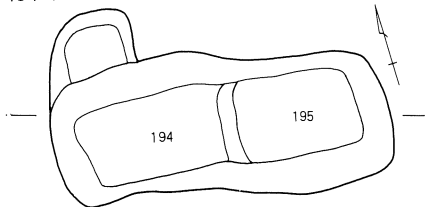
- 1 黒褐色土 ローム粒子少し含む やや締まりあり
- 2 黒褐色土 ローム粒子・ブロック多く、炭化物粒子含む
- 3 暗褐色土 ローム粒子含む
- 4 褐色土 ローム粒子・ブロック多く含む 締まりあり
- 5 黒褐色土 ローム少し含む やや締まりあり
- 6 褐色土 粘質

SK188 暗褐色土

- SK189
- 1 暗褐色 褐色土粒子含む
 - 2 褐色 やや締まり強い

SK190 暗褐色土 褐色土粒子含む

194・195



- SK194・195
- 1 黒褐色土 ロームブロック若干含む やや締まりあり
 - 2 黒褐色土 ロームブロック多く含む
 - 3 黒褐色土 赤色土粒子多く含む 若干締まる
 - 4 黒褐色土 ローム粒子・ブロック多く、炭化物粒子若干含む 締まりあり
 - 5 黒褐色土 ロームブロック若干含む 締まりなし
 - 6 黒褐色土 ローム多く含む
 - 7 暗褐色土 小礫多く含む 締まり弱い
 - 8 褐色土 黒褐色土含む 締まり弱い
 - 9 褐色土 ロームブロック多く含む やや締まりあり

第189号土坑(第208図)

BL-17グリッドに位置する。第186・190号土坑及び第37号溝と重複し、第37号溝に切られる。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.86m、短軸1.02m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。

第190号土坑(第208図)

BL-17グリッドに位置する。第189号土坑及び第37号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.69m、短軸1.06m以上、深さ17cmを測る。主軸方位はN-88°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第191号土坑(第208図)

BL-16グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径0.75m、短径0.65m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-20°-Wを指す。

第192号土坑(第208図)

BL-16グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.67m、短軸1.27m、深さ40cmを測る。

主軸方位はN-53°-Wを指す。

第193号土坑(第208図)

BL-16グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.93m、短軸0.98m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-86°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第194号土坑(第208図)

BL-16グリッドに位置する。第195号土坑と重複し切られている。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.35m以上、短軸1.06m、深さ0.57cmを測る。主軸方位はN-80°-Wを指す。

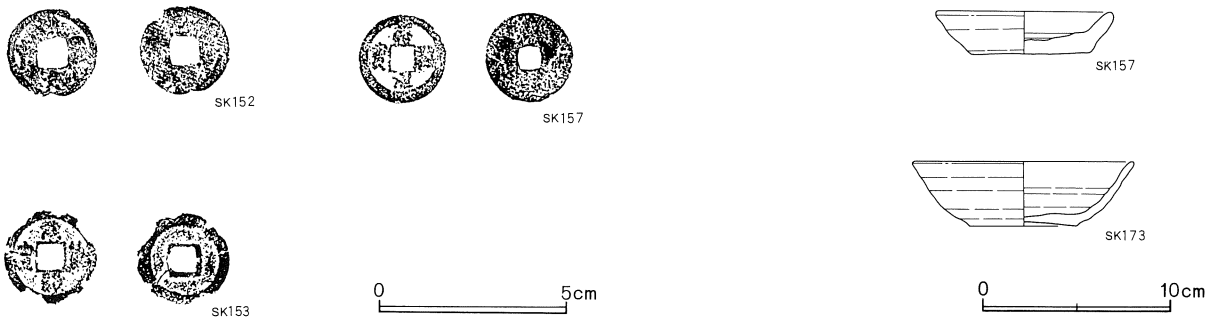
覆土中より、中世土器片が出土した。

第195号土坑(第208図)

BL-16グリッドに位置する。第194号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.35m、短軸1.10m、深さ67cmを測る。主軸方位はN-80°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第209図 B区土坑出土遺物(2)



土坑出土遺物観察表(第209図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
SK157	かわらけ	9.2	2.3	6.4	AJ	III	鈍い橙	90	RC 内部底面ロクロ痕
SK173	須恵器坏	(11.8)	3.4	(5.8)	AS	I	灰	30	RC

第199号土坑

BX-9グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、西側は調査区域外である。規模は長軸1.65m以上、短軸0.93m、深さ35cmを測る。主軸方位はN-86°-Eを指す。

第200号土坑

BX-9グリッドに位置する。第201号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.35m、短軸0.75m以上、深さ36cmを測る。主軸方位はN-18°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第201号土坑

BX-9グリッドに位置する。第200・202号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.54m以上、短軸0.93m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-80°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第202号土坑

BX-9グリッドに位置する。第201・203号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.54m、短軸1.01m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-11°-Wを指す。

第203号土坑

BX-9グリッドに位置する。第202号土坑と重複する。平面形は瓢箪形を呈し、規模は長軸1.85m、深さ9cmを測る。主軸方位はN-56°-Wを指す。

第204号土坑(第210図)

BY・BX-9グリッドに位置する。第205・206号土坑と重複し、第206号土坑に切られている。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.16m、短軸0.81m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-86°-Eを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片が出土した。

第205号土坑

BY・BX-9グリッドに位置する。第204・206号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形になるものと推定される。規模は長軸1.98m、短軸0.83m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-9°-Wを指す。

覆土中より、須恵器片が出土した。

第206号土坑(第210図)

BY-9グリッドに位置する。第204・205・207号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.13m以上、深さ15cmを測る。主軸方位はN-51°-Eを指す。

遺物は弥生・古墳・平安時代の土器片の他、中世土器片も出土した。

第207号土坑(第210図)

BY-9グリッドに位置する。第206号土坑と重複する。平面形は不整形長方形を呈し、規模は長軸0.90m、短軸0.54m、深さ47cmを測る。主軸方位はN-22°-Wを指す。

第208号土坑(第210図)

BY-9グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長軸1.71m、短軸0.86m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-9°-Wを指す。

第209号土坑(第210図)

BY-9グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.95m、短径0.73m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-7°-Wを指す。

第210号土坑

BY-9グリッドに位置する。第211・212号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.27m以上、短軸1.16m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-69°-Eを指す。

遺物は土師器甕が出土している。

第212号土坑(第210図)

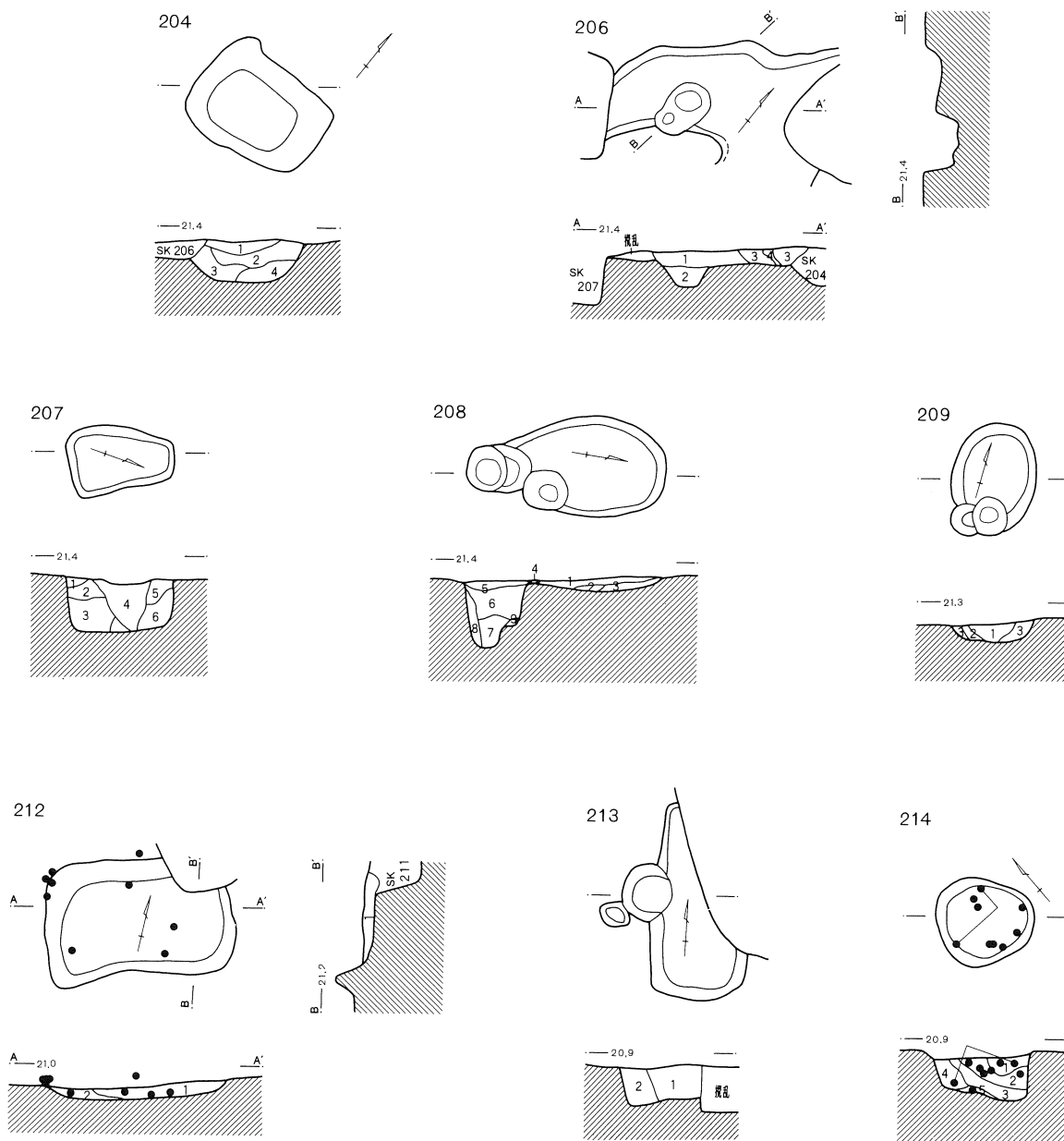
BY-9グリッドに位置する。第210・211号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.61m、短軸0.95m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-74°-Eを指す。

覆土中より、土師器片が出土した。

第213号土坑(第210図)

BY-9グリッドに位置する。北東部は攪乱を受けているが、平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.66m、短軸0.73m、深さ33cmを測る。主軸方位はN

第210図 C区土坑(I)



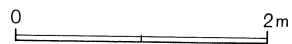
- SK204
 1 暗褐色土
 2 暗褐色土 縮まり強い
 3 暗赤褐色土 ロームブロック多く含む 極縮まり強い
 4 極暗赤褐色土 ロームブロック多く含む 極縮まり強い

- SK206
 1 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む
 2 極暗赤褐色土 ロームブロック・黄褐色土極多く含む
 3 暗褐色土 褐色土含む 縮まりあり
 4 褐色土

- SK207
 1 暗褐色土
 2 暗褐色土 黄褐色土若干含む やや縮まりあり
 3 褐色土 黄褐色土・白色微粒子微量含む 縮まり強い
 4 褐色土 黄褐色土多く含む
 5 褐色土 黄褐色土多く含む
 6 暗褐色土 縮まり極強い

- SK208
 1 黒褐色土 ローム粒子多く含む 縮まり弱い
 2 黒褐色土 ローム粒子僅か含む
 3 褐色土 炭化物粒子僅か含む
 4 明黄褐色土
 5 暗褐色土 焼土粒子多く含む 縮まり弱い
 6 黒褐色土 ローム・焼土粒子若干含む 縮まり弱い
 7 黒褐色土
 8 黒褐色土 やや縮まり弱い
 9 黒褐色土 縮まり強い

- SK209
 1 黒褐色土 ローム粒子若干含む 縮まり弱い
 2 黒褐色土 ローム粒子若干、炭化物粒子極僅か含む
 3 黄褐色土 ローム粒子・ブロック多く含む やや縮まりあり



- SK212
 1 暗褐色土 焼土・炭化物・黄褐色土含む
 2 黄褐色土 焼土・ロームブロック多く含む

- SK213
 1 黒褐色土 ロームブロック若干・粒子多く含む 縮まり弱い
 2 黒色土 ロームブロック多く含む

- SK214
 1 黒褐色土 縮まり弱い
 2 黒褐色土 焼土ブロック・ローム粒子若干含む
 3 黒褐色土 焼土僅か含む
 4 暗褐色土 ローム粒子・ブロック多く含む 縮まりあり
 5 黄褐色土 ロームブロック多く含む

—2°-Wを指す。

出土遺物(第219図)

覆土中より、棒状鉄器の他に、土師器片が出土した。

第214号土坑(第210図)

BY-8・9グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.84m、短径0.75m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-49°-Wを指す。

出土遺物(第219図)

中世土器の坏が出土した。

第215号土坑

BY-8グリッドに位置する。西半は調査区外で平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.67m以上、短軸1.13m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

出土遺物(第219図)

覆土中より古銭が出土した。「元□通寶」と時計回りの文字配列である。径2.55cm、方形孔8mm、厚さ2.5mmを測る

第216号土坑(第211図)

BY-8・9グリッドに位置する。第217号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.25m、短軸1.00m、深さ42cmを測る。主軸方位はN-19°-Wを指す。

第217号土坑(第211図)

BY-8・9グリッドに位置する。第216号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径2.05m、短径1.70m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-61°-Wを指す。

第218号土坑(第211図)

BY-9グリッドに位置する。第13号住居跡と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.75m、短軸0.95m、深さ43cmを測る。主軸方位はN-72°-Eを指す。

第219号土坑(第211図)

BY・BZ-8グリッドに位置する。第13号住居跡のカマドと重複し住居跡を切っている。平面形は長方形を呈し、規模は長軸3.07m、短軸0.84m、深さ57

cmを測る。主軸方位はN-9°-Wを指す。

出土遺物(第219図)

須恵器坏、中世の甕底部の他に、土師器片などが出土した。

第220号土坑(第211図)

BY-8グリッドに位置する。第14号住居跡カマドと重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.59m以上、短軸1.33m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

覆土中より、土師器片が出土した。

第221号土坑(第211図)

BZ-8グリッドに位置する。第222・223号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.57m、短軸0.65m、深さ42cmを測る。主軸方位はN-70°-Eを指す。

第222号土坑(第211図)

BZ-8・9グリッドに位置する。第221・223号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.00m以上、短軸0.92m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-87°-Eを指す。

覆土中より、土師器片が出土した。

第223号土坑(第211図)

BZ-8・9グリッドに位置する。第221・222・224号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.94m、短径0.86m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

覆土中より、須恵器坏・蓋片、土師器片が出土した。

第224号土坑(第211図)

BZ-8グリッドに位置する。第223号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.86m以上、短軸0.61m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-2°-Eを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片が出土した。

第225号土坑

BZ-9グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸0.80m、短径0.66m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第226号土坑

BZ-9グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.26m、短軸0.74m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-20°-Wを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片が出土した。

第227号土坑

CA-9・10グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.90m、短軸1.00m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-83°-Eを指す。

覆土中より、須恵器片が出土した。

第229号土坑(第211図)

CB-8グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.03m、短軸0.70m、深さ6cmを測る。主軸方位はN-13°-Wを指す。

覆土中より、底部周辺回転篋削りの須恵器片底部片、土師器片が出土した。

第230号土坑(第211図)

CA-8グリッドに位置する。第16号住居跡及び第44号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.96m、短径0.78m、深さ88cmを測る。主軸方位はN-15°-Wを指す。

覆土中より、底部周辺回転篋削りの須恵器片底部片、土師器片が出土した。

第231号土坑(第212図)

CA-7・8グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.42m、短軸0.47m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-8°-Eを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片の他、中世土器片が出土した。

第233号土坑(第212図)

CB-9グリッドに位置する。第2号竪穴状遺構と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.95m以上、短軸1.10m、深さ19cmを測る。主軸方位はN-4°-Wを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片、中世土器片が出土した。

第234号土坑(第212図)

CB-9グリッドに位置する。第235号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.98m、短軸0.95m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-80°-Wを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片が出土した。

第236号土坑(第212図)

CC-9グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.11m、短径0.95m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-23°-Wを指す。

第237号土坑(第212図)

CB・CC-8グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長径1.30m、短径0.81m、深さ43cmを測る。主軸方位はN-52°-Wを指す。

出土遺物(第219図)

須恵器片、土師器片、土錘の他に、須恵器蓋片が出土した。土錘は長さ4.6cm、最大径2.5cm、孔径5~5.5mm、重さ24.42gである。

第238号土坑(第212図)

CC-8グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.22m、短径0.90m、深さ57cmを測る。主軸方位はN-45°-Eを指す。

出土遺物(第220図1~3)

覆土中より、須恵器片・高台付片・蓋、土師器片が出土した。

第239号土坑(第117図)

CC-8グリッドに位置する。第240号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.86m、短径1.80m以上、深さ27cmを測る。主軸方位はN-42°-Eを指す。

出土遺物(第220図4)

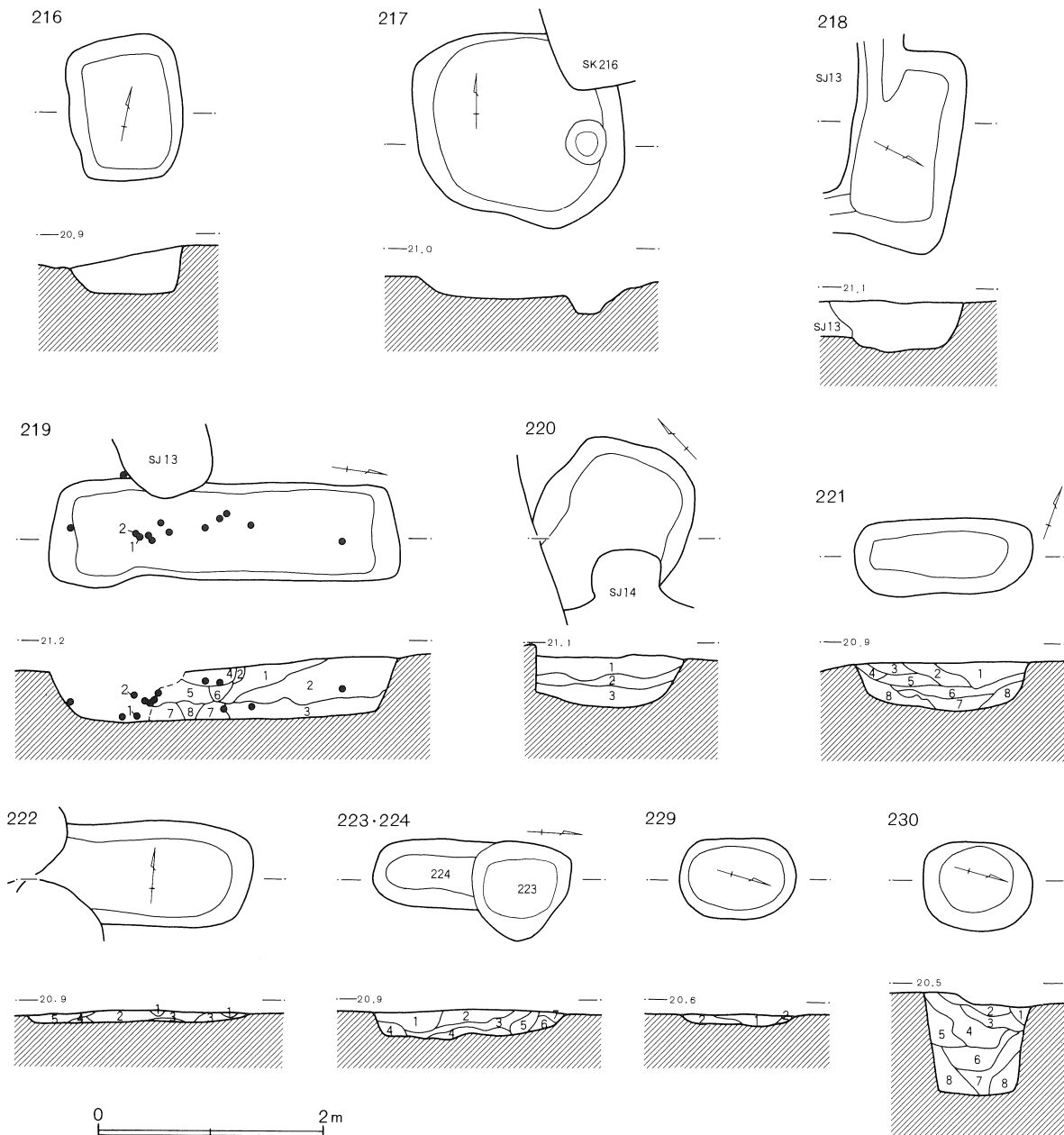
覆土中より、底部周辺回転篋削りの須恵器片の他に、碗片、土師器片が出土した。

第241号土坑(第212図)

CC-8グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.82m、短径0.74m、深さ19cmを測る。主軸方位はN-36°-Eを指す。

覆土中より、土師器片が出土した。

第211図 C区土坑(2)



SK 216 暗褐色土 ロームブロック多く含む 締まり強い

SK 218 暗褐色土 黄褐色土極多く含む

SK 219

- 1 褐色土 暗褐色土含む 締まり極く強い
- 2 褐色土 白色微粒子・暗褐色土若干含む 締まり極く強い
- 3 褐色土 粘質土 締まり強い
- 4 褐色土 暗褐色土若干含む
- 5 暗褐色土 焼土・黄褐色土粒子若干含む
- 6 暗褐色土 焼土・黄褐色土若干含む
- 7 褐色土 焼土多く含む 締まり強い
- 8 褐色土 焼土・褐色土微量含む 締まり強い

SK 220

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子・橙色土粒子多く含む 締まり強い
- 2 暗褐色土 黄褐色土含む 締まり強い
- 3 暗褐色土 黄褐色土ブロック含む 締まり強い

SK 221

- 1 黒褐色土 ローム粒子多く含む 締まりなし
- 2 灰黄褐色土 ローム粒子多く、焼土・炭化物若干含む
- 3 鈍い黄褐色土 ローム粒子多く、炭化物若干含む
- 4 暗褐色土 ローム粒子僅かに含む
- 5 褐色土 ロームブロック多く含む
- 6 黄褐色土 黒色土若干含む
- 7 暗褐色土 ローム粒子僅かに含む 締まりなし
- 8 黄褐色土 ロームブロック多く含む

SK 222

- 1 暗褐色土 ローム粒子多く含む
- 2 黒褐色土 焼土・炭化物若干、ローム粒子僅かに含む
- 3 褐色土 ロームブロック多く含む
- 4 暗褐色土 ロームブロック若干含む
- 5 黒褐色土 ローム粒子僅か、炭化物若干含む

SK 223・224

- 1 黒褐色土 ローム粒子・炭化物若干含む
- 2 暗褐色土 ローム粒子多く含む
- 3 鈍い黄褐色土 ローム粒子多く、焼土粒子若干含む
- 4 褐色土 ロームブロック多く含む
- 5 暗褐色土 炭化物・ローム粒子多く含む
- 6 黒褐色土 炭化物若干・ローム粒子僅かに含む
- 7 褐色土 ロームブロック多く含む

SK 229

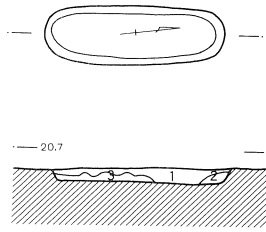
- 1 褐色土 炭化物若干含む
- 2 暗褐色土 焼土・炭化物若干含む

SK 230

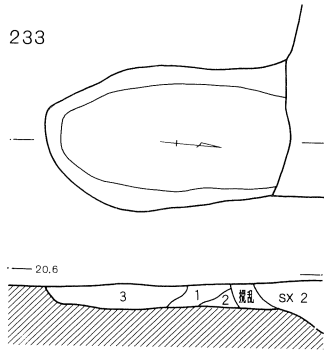
- 1 黒褐色土 ローム粒子多く含む
- 2 黒褐色土 焼土が若干含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子多く、焼土若干含む
- 4 黒褐色土 ローム粒子僅か、焼土・炭化物若干含む
- 5 黒褐色土 ローム粒子多く、炭化物僅かに含む
- 6 黒色土 焼土粒子多く含む
- 7 黒色土 ローム粒子僅かに含む
- 8 黒褐色土 ローム粒子・ロームブロック多く含む

第212図 C区土坑(3)

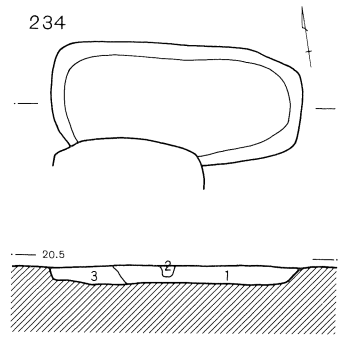
231



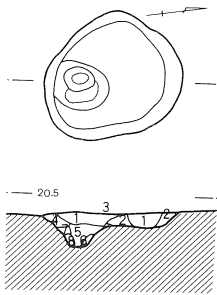
233



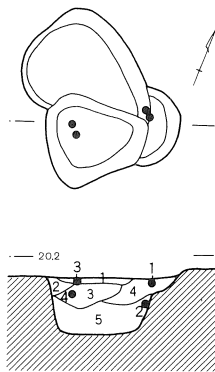
234



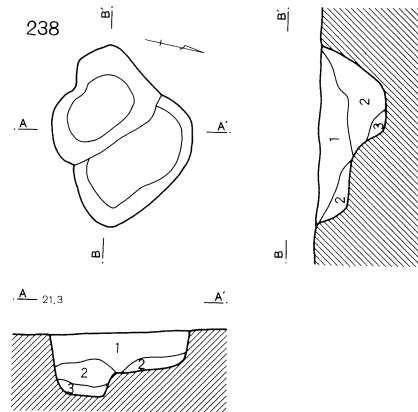
236



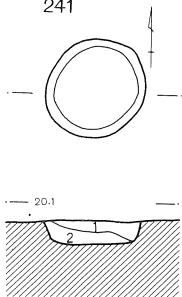
237



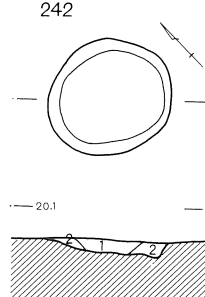
238



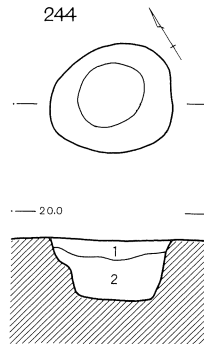
241



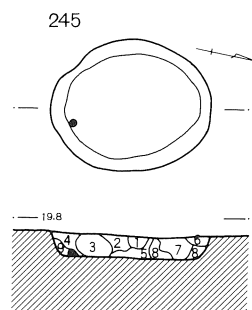
242



244



245



SK 231

- 1 暗褐色土 ロームブロック含む 締まりなし
- 2 暗褐色土 炭化物若干含む
- 3 褐色土 ローム粒子多く、炭化物僅か含む

SK 233

- 1 褐色土 白色微粒子若干含む 締まり極強い
- 2 暗褐色土 締まり強い
- 3 褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり強い

SK 234

- 1 暗褐色土 黄褐色土ブロック若干、炭化材微量含む 締まり強い
- 2 暗褐色土 黄褐色土ブロック・白色微粒子多く含む 締まり極強い
- 3 褐色土 白色微粒子多く含む 締まり極強い

SK 236

- 1 褐色土
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子微量含む
- 3 黒褐色土 締まりやや強い
- 4 褐色土
- 5 暗褐色土
- 6 暗褐色土 黄褐色土若干含む
- 7 鈍い黄褐色土
- 8 褐色土 締まりあり

SK 237

- 1 黒褐色土 焼土僅かに含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子僅かに含む
- 3 灰黄褐色土 炭化物若干含む
- 4 暗褐色土 炭化物・焼土粒子多く含む
- 5 暗褐色土 炭化物僅か、ローム粒子多く含む

SK 238

- 1 褐色土 小礫含む 締まり強い
- 2 暗褐色土
- 3 褐色土 粗粒

SK 244

- 1 褐色土 橙色土粒子・白色粒子若干含む
- 2 褐色土

SK 241

- 1 暗褐色土 橙色土若干含む
- 2 褐色土 橙色土若干含む

SK 242

- 1 暗褐色土
- 2 褐色土

SK 245

- 1 黒褐色土 ローム粒子・焼土粒子僅か含む
- 2 褐色土 焼土・炭化物多く含む 締まり強い
- 3 褐色土 焼土僅か含む 締まり強い
- 4 鈍い黄褐色土 ローム粒子多く含む 焼土僅か含む
- 5 褐色土 焼土多く含む 締まり強い
- 6 暗褐色土 焼土多く含む 締まり強い
- 7 褐色土 ローム粒子多く含む 焼土・土器片含む 締まり強い
- 8 暗褐色土 ローム粒子多く含む
- 9 灰黄褐色土 ローム粒子・焼土僅か含む

第242号土坑(第212図)

CC-8グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.96m、短径0.90m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-44°-Wを指す。

第243号土坑

CC-8グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.10m、短軸0.73m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-67°-Wを指す。

第244号土坑(第212図)

CC-8グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.98m、短径0.85m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-57°-Wを指す。

出土遺物(第220図5~7)

須恵器坏・蓋、土錘の他に、土師器破片が出土した。

5の土錘は、現存長6.8cm、最大径2.2cm、孔径6mm、重さ28.95gを測る。

第245号土坑(第212図)

CB・CC-7グリッドに位置する。第30号住居跡と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.27m、短径1.03m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-12°-Wを指す。

覆土中より、土師器甕片が出土した。

第246号土坑(第213図)

CB-7グリッドに位置する。平面形は隅丸方形で規模は長軸0.92m、短軸0.76m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-16°-Wを指す。

覆土中より、土師器甕片が出土した。

第247号土坑

CB-7グリッドに位置する。第31・32・33号住居跡と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.06m以上、短軸0.65m以上、深さ12cmを測る。主軸方位はN-2°-Eを指す。

第250号土坑(第213図)

CC-7グリッドに位置する。第251号土坑と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.2m以上、短軸0.98m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-50°-Eを指す。

第251号土坑(第213図)

CC-7グリッドに位置する。第250・252号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.15m、短径1.00m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-84°-Eを指す。

覆土中より、土師器破片が出土した。

第252号土坑(第213図)

CC-7グリッドに位置する。第36号住居跡及び第251号土坑と重複する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.19m、短径1.05m、深さ62cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。

出土遺物(第220図8)

暗文土器の土師器坏の他に、須恵器坏・蓋・甕、土師器甕などの破片が出土した。

第253号土坑(第213図)

CC-7グリッドに位置する。第36・37号住居跡及び第46号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.53m、短軸1.22m、深さ52cmを測る。主軸方位はN-39°-Eを指す。

覆土中より、土師器坏・甕・台付甕片が出土した。

第254号土坑(第213図)

CC-7グリッドに位置する。第46号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.07m、短径0.97m、深さ55cmを測る。主軸方位はN-67°-Wを指す。

覆土中より、須恵器坏・椀・蓋・甕片が出土した。

第255号土坑(第213図)

CC-6・7グリッドに位置する。第34・35号住居跡と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.45m、短径0.98m、深さ57cmを測る。主軸方位はN-77°-Eを指す。

第256号土坑(第213図)

CC-6グリッドに位置する。第35号住居跡と重複する。平面形は不整形楕円形を呈し、規模は長軸1.16m、短軸0.76m、深さ40cmを測る。主軸方位はN-17°-Eを指す。

覆土中より、須恵器高台付坏・蓋、土師器甕、瓦の破片が出土した。

第257号土坑(第213図)

CC-6グリッドに位置する。第35・38号住居跡と重複する。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸1.15m、短軸0.60m、深さ55cmを測る。主軸方位はN-86°-Eを指す。

出土遺物(第220図10・11)

須恵器坏、土師器甕の他に須恵器蓋片が出土した。

第258号土坑

CC-6グリッドに位置する。第38号住居跡と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.18m以上、短軸0.50m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-53°-Wを指す。

覆土中より、須恵器蓋・甕、土師器の破片が出土した。

第259号土坑(第213図)

CC-6グリッドに位置する。第48号溝と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.13m、短軸0.90m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-16°-Eを指す。

覆土中より、須恵器坏、土師器甕片が出土した。

第260号土坑

CC-7グリッドに位置する。第39号住居跡及び第262号土坑と重複する。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸1.14m以上、短軸0.70m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-50°-Wを指す。

覆土中より、須恵器蓋・甕、土師器甕片が出土した。

第261号土坑(第213図)

CC-7グリッドに位置する。第39号住居跡と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.84m、短径0.69m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-71°-Wを指す。

覆土中より、須恵器坏・蓋、土師器甕片が出土した。

第262号土坑(第214図・第220図12)

CC-7グリッドに位置する。第39号住居跡及び第260号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.56m、短径1.40m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-39°-Wを指す。

覆土中より土師器甕が出土した。

第263号土坑(第214図)

CC-7グリッドに位置する。第39号住居跡及び第48号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.22m、短軸0.84m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-54°-Wを指す。

覆土中より、須恵器坏・椀・蓋・甕、土師器甕の破片が出土した。

第264号土坑(第214図)

CC-7グリッドに位置する。第37号住居跡と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.34m、短軸0.84m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-52°-Eを指す。

覆土中より、須恵器坏・蓋・甕、土師器甕の破片が出土した。

第265号土坑(第214図)

CC-7グリッドに位置する。第37号住居跡と重複する。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸1.20m、短軸0.70m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-15°-Wを指す。

出土遺物(第220図13・14)

須恵器坏の他、蓋・甕の破片が出土した。

第267号土坑(第214図)

CC-7グリッドに位置する。第266・268号土坑及び第48号溝と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.07m、短軸0.80m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

覆土中より、須恵器坏・蓋、土師器坏・甕の破片が出土した。

第268号土坑(第214図)

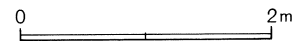
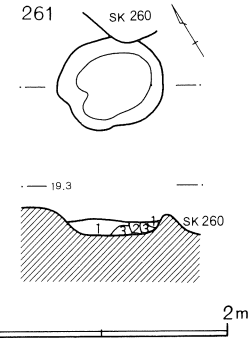
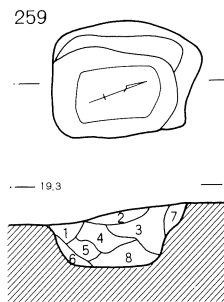
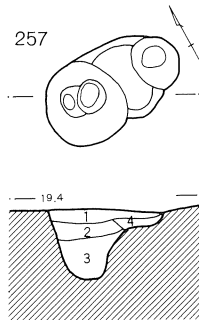
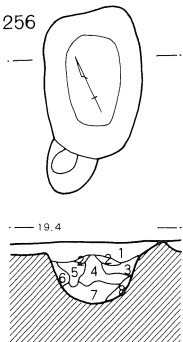
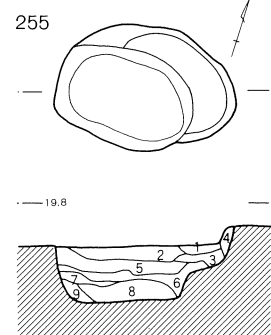
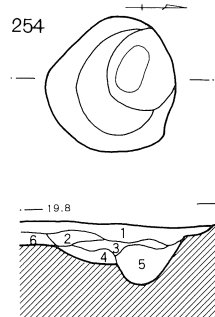
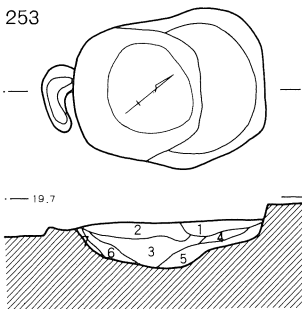
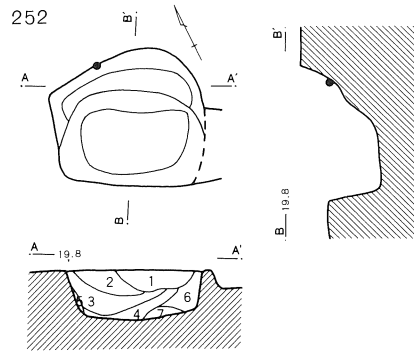
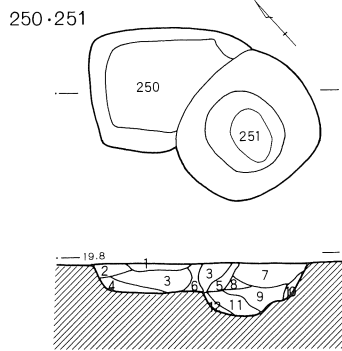
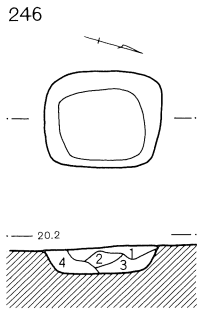
CC-7グリッドに位置する。第267号土坑及び第48号溝と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸0.96m、短軸0.64m、深さ36cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

覆土中より、須恵器坏・蓋の破片が出土した。

第269号土坑(第214図)

CC-7グリッドに位置する。第49号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.36m、短軸0.88

第213図 C区土坑(4)



SK 246

- 1 黒褐色土 ローム粒子・炭化物僅か含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子多く、炭化物若干含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子多く、炭化物・焼土含む
- 4 暗褐色土 ローム粒子多く含む

SK 250・251

- 1 黒褐色土 ローム粒子僅か含む 締まりなし
- 2 褐色土 ローム粒子多量、炭化物僅か含む
- 3 暗褐色土 ロームブロック多く、焼土粒子僅か含む 締まりあり
- 4 褐色土 ローム粒子多量含む
- 5 暗褐色土 ロームブロック、炭化物粒子僅かに含む
- 6 黒褐色土 締まりなし
- 7 黒褐色土 焼土・ローム粒子僅かに含む
- 8 黒褐色土 ローム粒子多く、焼土・炭化物僅かに含む
- 9 黒褐色土 ローム粒子多く、炭化物若干含む
- 10 暗褐色土 ローム粒子多量含む
- 11 暗褐色土 焼土・ローム粒子若干含む
- 12 褐色土 ローム粒子多く、炭化物僅かに含む

SK 252

- 1 黒褐色土 ロームブロック含む 焼土・炭化物僅か含む
- 2 黒褐色土 焼土粒子多く含む
- 3 暗褐色土 焼土粒子・炭化物粒子僅か含む
- 4 暗褐色土 焼土粒子僅か含む
- 5 黒褐色土 ローム粒子僅か、小礫多く含む
- 6 鈍い黄褐色土 焼土・炭化物多く含む
- 7 褐色土 焼土粒子僅か含む

SK 253

- 1 黒褐色土 焼土粒子多く含む
- 2 暗褐色土 焼土・炭化物粒子僅か含む
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物粒子・ロームブロック多く含む
- 4 暗褐色土 焼土・ローム粒子僅か含む
- 5 暗褐色土 焼土・炭化物粒子僅か含む
- 6 褐色土 焼土粒子多く含む
- 7 褐色土 焼土粒子僅か含む

SK 254

- 1 黒褐色土 ローム粒子僅か含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子・焼土粒子僅か含む
- 3 褐色土 ローム粒子僅か含む
- 4 暗褐色土 焼土僅か含む
- 5 暗褐色土 ローム粒子僅か含む
- 6 黒褐色土 焼土多く、ローム粒子僅か含む

SK 255

- 1 黒褐色土 ローム粒子多く含む
- 2 黒褐色土 炭化物・焼土多く含む 遺物有り
- 3 暗褐色土 焼土粒子多く含む
- 4 褐色土 ローム粒子多く含む
- 5 暗褐色土 ロームブロック・焼土・炭化物多く含む
- 6 黒褐色土 焼土粒子多く含む 遺物有り
- 7 褐色土 砂・砂利多く含む 締まりあり
- 8 褐灰色土 鉄分多く含む ローム粒子含む
- 9 褐灰色土 焼土粒子多く含む やや粘性有り

SK 256

- 1 黒褐色土 焼土・炭化物、ローム粒子多く含む
- 2 赤褐色土 炭化物若干含む
- 3 暗褐色土 ロームブロック、焼土・炭化物多く含む
- 4 褐灰色土 焼土・炭化物多く含む
- 5 灰褐色土 ロームブロック多く含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子含む
- 7 灰黄褐色土 炭化物含む 粘性有り
- 8 褐灰色土 焼土粒子若干含む 僅かに粘性有り

SK 257

- 1 灰褐色土 焼土粒子多く含む 締まり強い
- 2 暗赤褐色土 焼土粒子若干含む
- 3 暗赤褐色土 締まりやや強い
- 4 灰褐色土 黄褐色土・焼土粒子多く含む 締まり強い

SK 259

- 1 黒褐色土 ローム粒子多く含む 締まりなし
- 2 黒褐色土 ロームブロック多く含む
- 3 黒褐色土 ロームブロック多く含む 焼土粒子若干含む
- 4 暗褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物粒子若干含む
- 5 暗褐色土 ローム粒子若干含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子若干含む
- 7 黒褐色土 ローム粒子含む
- 8 褐色土 ローム粒子多く、炭化物若干含む 粘性有り

SK 261

- 1 暗褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物多く含む
- 2 暗褐色土 ローム粒子・焼土僅かに含む
- 3 明褐色土 炭化物僅かに含む

m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

第270号土坑(第214図)

CC-6グリッドに位置する。第49号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.39m、短径0.94m、深さ47cmを測る。主軸方位はN-49°-Wを指す。

出土遺物(第222図17・18)

須恵器環と弥生土器の甕の底部片が出土した。

第271号土坑(第214図)

CC-6・7、CD-6グリッドに位置する。第272号土坑及び第49号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.82m、短径0.81m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋・甕の破片が出土した。

第272号土坑

CC・CD-6・7グリッドに位置する。第271号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.72m、短軸0.65m以上、深さ20cmを測る。主軸方位はN-58°-Wを指す。

第273号土坑(第214図)

CD-7グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、東側に浅い土坑がある。規模は長径1.00m、短径0.83m、深さ47cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

出土遺物(第220図19)

須恵器環の他に、高台付環・鉢・蓋、土師器の破片が出土した。

第274号土坑(第215図)

CC-7グリッドに位置する。第48号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.20m、短軸1.03m、深さ40cmを測る。主軸方位はN-49°-Wを指す。

第275号土坑

CC-7グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.80m、短径0.71m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-71°-Eを指す。

第276号土坑(第215図)

CC-7グリッドに位置する。第48号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.15m、短軸0.93m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-21°-Eを指す。

第277号土坑(第215図)

CC-8グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長径1.16m、短径1.04m、深さ46cmを測る。主軸方位はN-62°-Wを指す。

第278号土坑(第215図)

CC・CD-8グリッドに位置する。北端でピットと重複する。平面形は不整形楕円形を呈し、規模は長軸1.42m、短軸1.00m、深さ56cmを測る。主軸方位はN-3°-Wを指す。

出土遺物(第220図20)

瓦片と土師器片が出土した。

第279号土坑(第215図)

CC・CD-8グリッドに位置する。第29号住居跡と重複する。平面形は不整形楕円形を呈し、規模は長軸1.13m、短軸0.70m、深さ27cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

覆土中より、土師器片が出土した。

第280号土坑(第215図)

CC-8グリッドに位置する。第29号住居跡と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.96m、短軸0.88m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-26°-Eを指す。

第281号土坑(第215図)

CD-9グリッドに位置する。第27号住居跡と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.73m以上、短軸0.63m以上、深さ14cmを測る。主軸方位はN-49°-Wを指す。

第282号土坑

CC・CD-8グリッドに位置する。南半は第48号溝と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は東西2.85m、南北1.20m以上、深さ27cmを測る。

第283号土坑

CD-8グリッドに位置する。第284・285号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸4.40m、短軸1.18m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-65°-Wを指す。

第284号土坑

CD-8グリッドに位置する。第283・285・286号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.80m以上、短軸0.90m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-63°-Wを指す。

第285号土坑

CD-8グリッドに位置する。第49号溝及び第283・284号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.35m以上、短軸0.40m以上、深さ10cmを測る。主軸方位はN-60°-Wを指す。

第286号土坑

CD-8グリッドに位置する。第284号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.40m、短軸0.93m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-67°-Wを指す。

第287号土坑(第215図)

CD-8グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.29m、短軸1.03m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-62°-Wを指す。

覆土中より、須恵器環・椀の破片が出土した。

第288号土坑(第215図)

CD-8グリッドに位置する。第49号溝と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.90m、短軸0.76m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-37°-Eを指す。

第289号土坑(第216図)

CD-7グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.15m、短軸0.98m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-15°-Eを指す。

第290号土坑

CD-7グリッドに位置する。第54号溝と重複する。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸1.56m、短軸0.78m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-72°-Wを指す。

第291号土坑(第216図)

CD-7グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.96m、短径0.84m、深さ35cmを測る。主

軸方位はN-77°-Wを指す。

第292号土坑(第216図)

CD-7グリッドに位置する。第50号溝と重複する。平面形は不明で、規模は長軸0.60m以上、短軸0.57m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-11°-Eを指す。

出土遺物(第221図16・17)

土錘の他に、底部全面回転篋削りの須恵器環の底部片が出土した。

第293号土坑(第216図)

CD-6グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.90m、短軸0.54m、深さ23cmを測る。主軸方位はN-79°-Wを指す。

覆土中より、須恵器環、土師器甕破片が出土した。

第294号土坑(第216図)

CD-6グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.92m、短径0.88m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-47°-Wを指す。

第295号土坑(第216図)

CD-6グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.03m、短軸0.58m、深さ65cmを測る。主軸方位はN-12°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋、土師器甕の破片が出土した。

第296号土坑(第216図)

CD-7グリッドに位置する。第52号溝と重複し、切られている。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.79m以上、短軸0.64m、深さ29cmを測る。主軸方位はN-11°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋の破片が出土した。

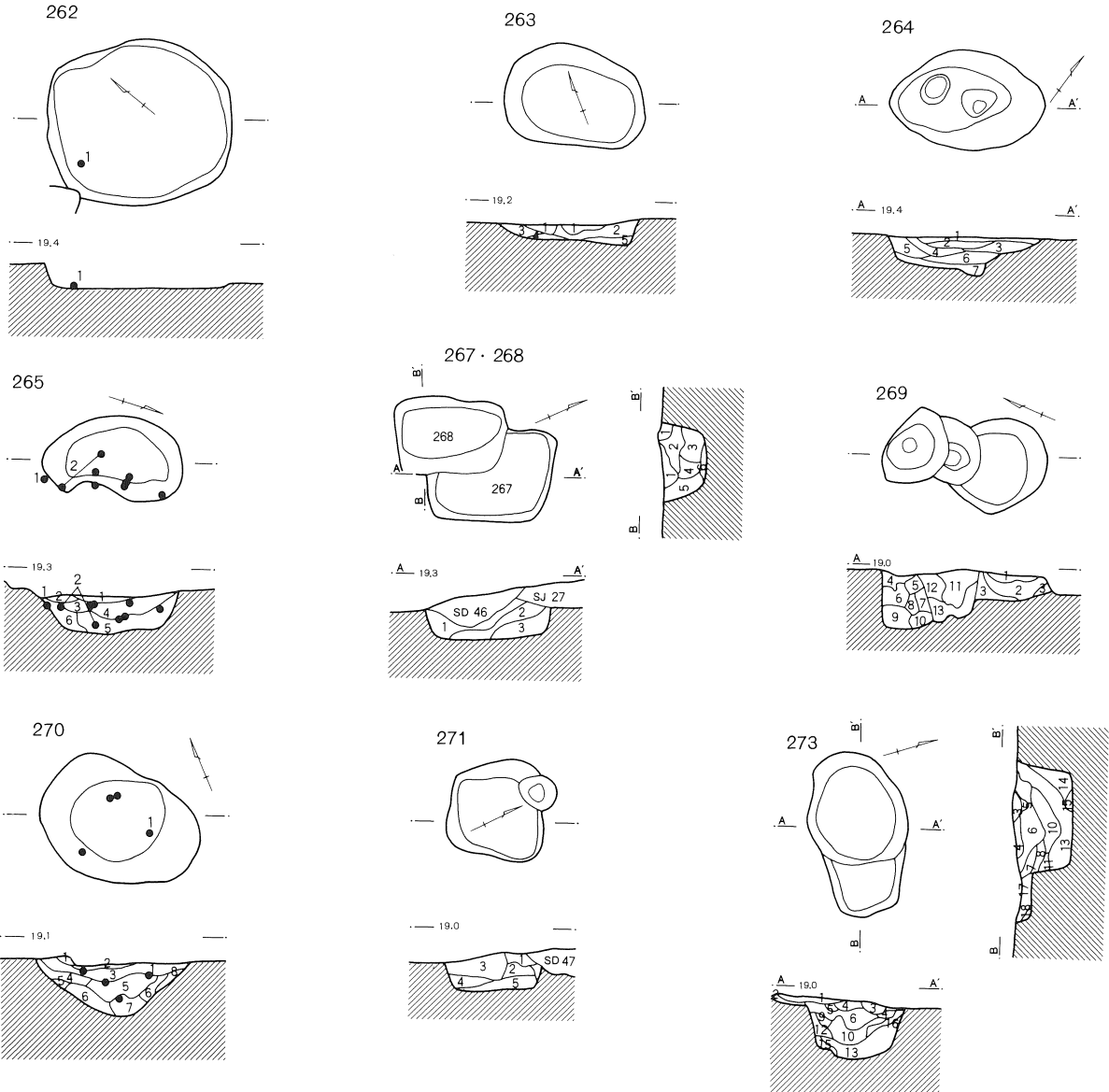
第297号土坑(第216図)

CD-6・7グリッドに位置する。第52号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.09m以上、短軸0.65m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-19°-Eを指す。

出土遺物(第221図1)

暗文土器の土師器環の他に、須恵器環、土師器甕の破片が出土した。

第214図 C区土坑(5)



- SK 2 6 3
- 1 暗褐色土 ローム粒子多く、焼土僅かに含む
 - 2 黒褐色土 焼土多く、ローム粒子・炭化物僅かに含む
 - 3 黒褐色土 ローム粒子・焼土粒子僅かに含む
 - 4 褐色土 焼土多く含む
 - 5 褐色土 ローム粒子・焼土多く含む

- SK 2 6 4
- 1 暗褐色土 焼土若干含む
 - 2 明褐色土 粘性あり
 - 3 褐灰色土 焼土・炭化物含む
 - 4 灰褐色土 焼土・炭化物多く含む
 - 5 褐色土 焼土ブロック含む
 - 6 褐色土 炭化物含む 粘性あり
 - 7 鈍い褐色土 炭化物若干含む 粘性あり

- SK 2 6 5
- 1 灰褐色土 炭化物・ローム粒子含む
 - 2 明褐色土 炭化物含む
 - 3 褐灰色土 ローム粒子多く、炭化物・焼土含む
 - 4 黒褐色土 炭化物多く、焼土若干含む
 - 5 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む 粘質
 - 6 明褐色土 炭化物含む 粘質

- SK 2 6 7
- 1 暗褐色土 焼土粒子多く含む
 - 2 灰褐色土 焼土粒子若干含む ロームブロック含む
 - 3 褐灰色土

- SK 2 6 8
- 1 暗褐色土 焼土粒子・炭化物多く含む
 - 2 鈍黄褐色土 ロームブロック・焼土粒子多く含む
 - 3 黒褐色土 ロームブロック多く、焼土僅かに含む
 - 4 暗褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
 - 5 灰黄褐色土 ロームブロック・焼土・炭化物僅かに含む
 - 6 褐色土 焼土僅かに含む

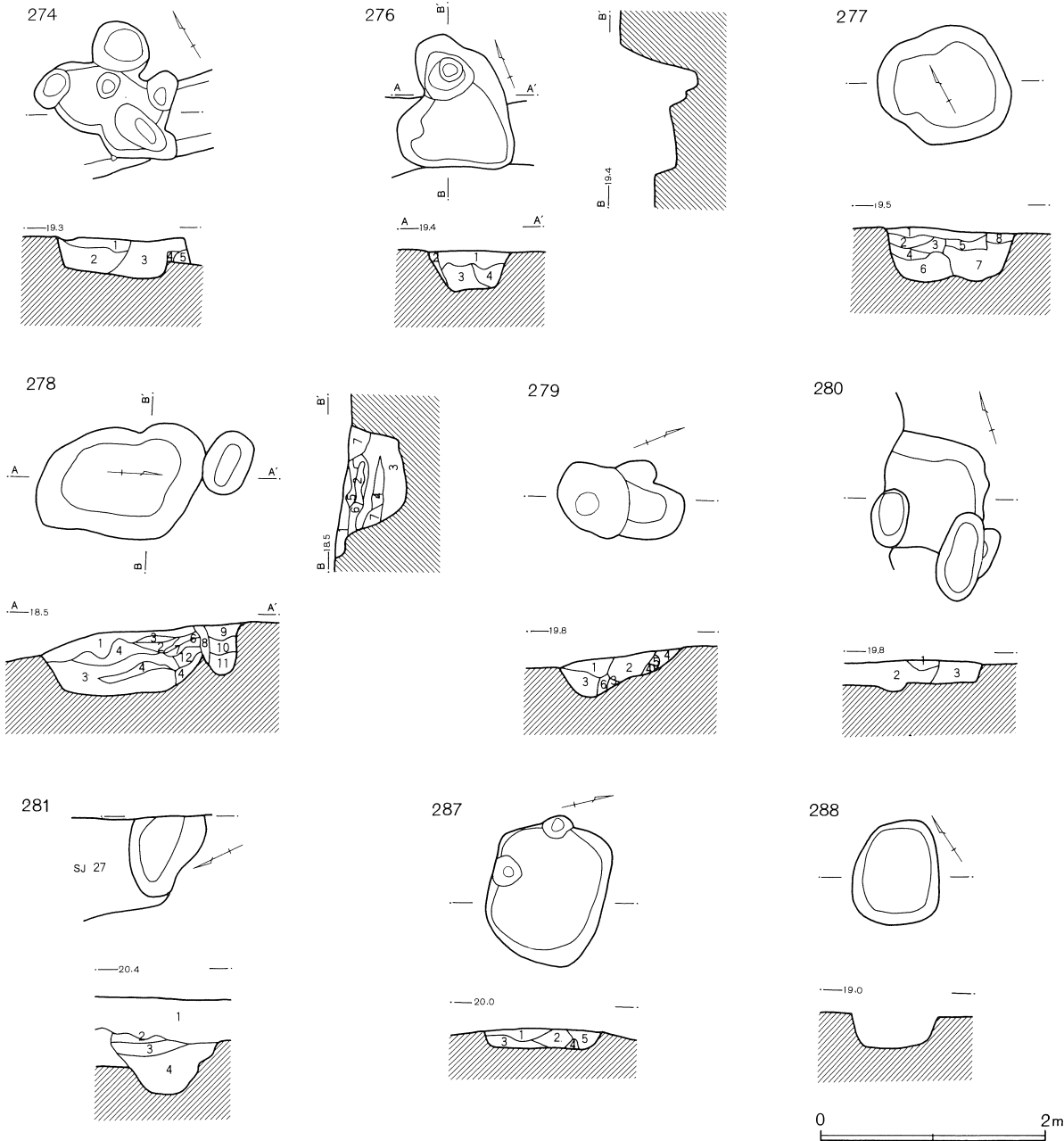
- SK 2 6 9
- 1 黒褐色土 炭化物粒子・ローム粒子僅かに含む
 - 2 黒色土 焼土・炭化物・ローム粒子僅かに含む
 - 3 暗褐色土 炭化物若干、ローム粒子多く含む
 - 4 黒褐色土 焼土粒子・ローム粒子僅かに含む
 - 5 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック含む
 - 6 黒褐色土 ロームブロック多く含む
 - 7 暗褐色土 焼土粒子・ローム粒子僅かに含む
 - 8 黒褐色土 ローム粒子僅かに含む
 - 9 暗褐色土 炭化物粒子・ローム粒子僅かに含む
 - 10 褐色土 ロームブロック、暗褐色土僅かに含む
 - 11 極暗褐色土 焼土粒子・ローム粒子僅かに含む
 - 12 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒子・ローム粒子多く含む
 - 13 暗褐色土 焼土・炭化物粒子僅か、ローム粒子多く含む

- SK 2 7 0
- 1 黒褐色土 ローム粒子僅か含む
 - 2 褐色土 粘り極強い
 - 3 黒褐色土 ローム粒子多く含む
 - 4 暗褐色土 ローム粒子・炭化物粒子僅か含む
 - 5 黒褐色土 ローム粒子・炭化物多く含む
 - 6 黒褐色土 ローム粒子僅か含む
 - 7 黒褐色土 ローム粒子僅か、炭化物粒子多く含む
 - 8 褐色土 炭化物僅か含む

- SK 2 7 1
- 1 黒褐色土 ローム粒子僅かに含む
 - 2 黒褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物粒子含む
 - 3 黒褐色土 焼土粒子・ローム粒子多く含む
 - 4 暗褐色土 ローム粒子多量含む
 - 5 暗褐色土 ローム粒子僅かに含む
 - 6 褐色土 ローム粒子多量含む

- SK 2 7 3
- 1 黒褐色土 ローム粒子・焼土若干含む
 - 2 褐色土 焼土粒子若干含む
 - 3 黒色土 焼土粒子若干含む
 - 4 黒褐色土 ローム粒子多く、焼土・炭化物粒子含む
 - 5 褐色土 焼土・炭化物若干含む 粘りあり
 - 6 褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物粒子僅か含む
 - 7 褐色土 ローム粒子・炭化物多く含む
 - 8 褐色土 ローム粒子多く含む
 - 9 黄褐色土 ロームブロック・焼土多く含む
 - 10 黒褐色土 ローム粒子僅か、炭化物粒子若干含む
 - 11 褐灰色土 ローム粒子多く含む
 - 12 暗褐色土 ローム粒子多く、焼土・炭化物粒子僅か含む
 - 13 暗褐色土 ロームブロック、焼土・炭化物粒子多く含む
 - 14 灰黄褐色土 ローム粒子僅か、炭化物粒子微量含む
 - 15 明黄褐色土 炭化物粒子僅か含む 粘りあり 粘性有り
 - 16 黄褐色土 黒色土粒子含む 粘性有り
 - 17 褐色土 黒褐色土粒子多く含む
 - 18 明褐色土 炭化物含む 粘性有り

第215図 C区土坑(6)



SK 274

- 1 暗褐色土 橙色土粒子・黄褐色土粒子含む 締まり強い
- 2 黒褐色土 黄褐色土・黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 3 暗赤褐色土 黄褐色土粒子極多く含む
- 4 暗褐色土
- 5 褐色土 黄褐色土極多く、橙色土粒子微量含む

SK 276

- 1 暗褐色土 黄褐色土微粒子多く含む 締まり極強い
- 2 暗褐色土
- 3 暗褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土含む 締まりややあり
- 4 暗褐色土 黄褐色土若干含む 締まり強い

SK 277

- 1 暗赤褐色土 焼土粒子含む
- 2 極暗赤褐色土
- 3 褐色土
- 4 極暗赤褐色土
- 5 極暗赤褐色土 褐色土多く含む
- 6 黒褐色土
- 7 暗赤褐色土 褐色土多く含む
- 8 暗赤褐色土・ロームブロック混合土

SK 278

- 1 暗褐色土 焼土多く含む 締まり強い
- 2 黒褐色土
- 3 黒褐色土 砂質 締まり極強い
- 4 明褐色土 締まり強い
- 5 極暗褐色土
- 6 暗褐色土 焼土多く含む
- 7 暗褐色土
- 8 暗褐色土
- 9 暗褐色土 黄褐色土・焼土粒子若干含む
- 10 暗褐色土 黄褐色土極多く含む
- 11 褐色土
- 12 暗褐色土・黄褐色土混合土

SK 279

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む やや締まりあり
- 2 黒褐色土 黄褐色土粒子・橙色土粒子微量含む
- 3 鈍い黄褐色土 黄褐色土含む
- 4 暗褐色土 締まり極強い
- 5 黒褐色土
- 6 鈍い黄褐色土

SK 280

- 1 褐色土 白色砂粒子多く含む 締まり極強い
- 2 褐色土 やや締まりあり
- 3 暗褐色土

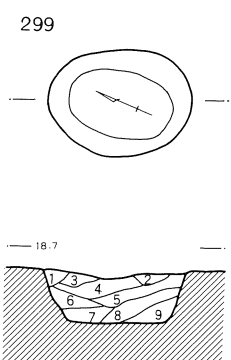
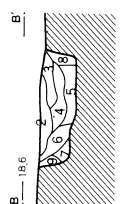
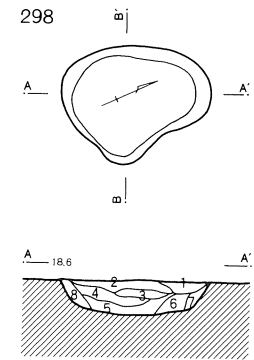
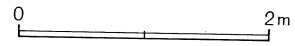
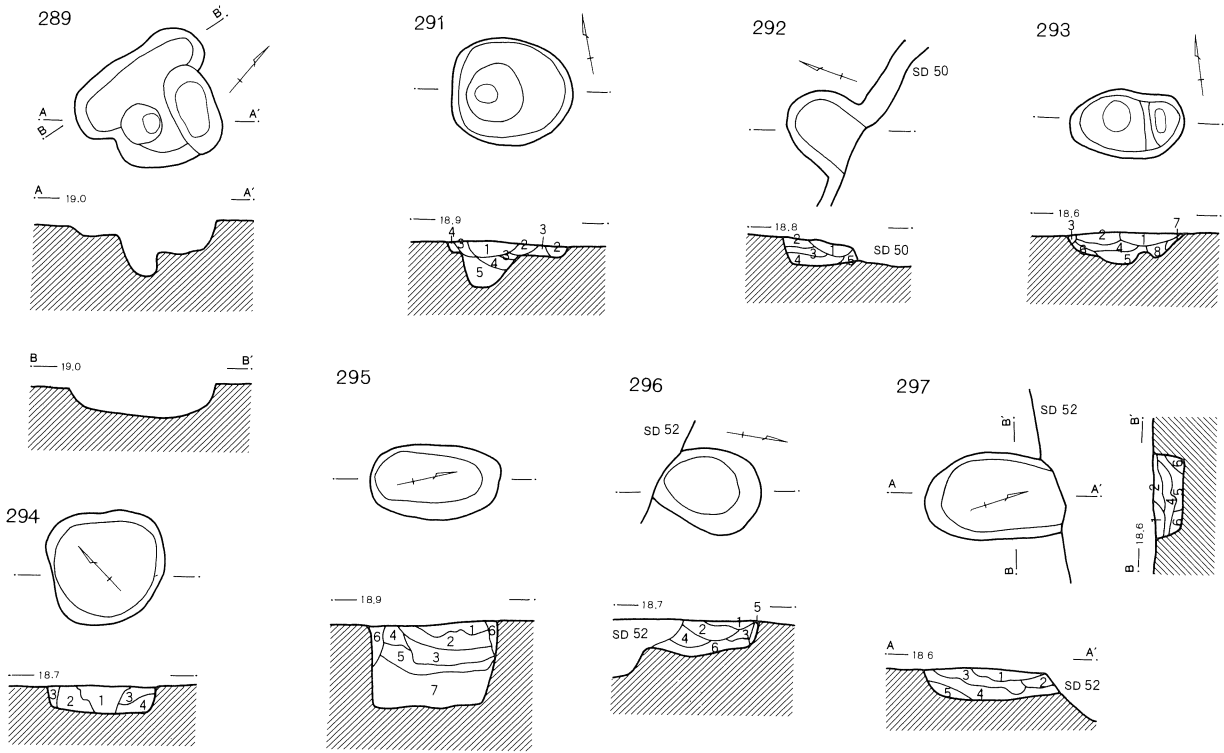
SK 281

- 1 灰褐色土
- 2 黒褐色土 炭化材若干含む
- 3 暗褐色土
- 4 黒褐色土 黄褐色土微粒子多く含む 砂質土

SK 287

- 1 暗褐色土
- 2 褐色土
- 3 褐色土 黄褐色土若干含む 締まり強い
- 4 灰褐色土 締まり強い
- 5 褐色土 締まりなし

第216図 C区土坑(7)



- SK 297
- 1 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多く含む
 - 2 黒色土 灰色粘土粒子僅か含む
 - 3 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒子僅か含む
 - 4 黒褐色土 焼土粒子多く含む
 - 5 黒褐色土 焼土粒子僅か含む

- SK 291
- 1 黒褐色土 炭化物多く含む
 - 2 黒褐色土 ローム粒子多く含む
 - 3 黒褐色土 ローム粒子多く含む
 - 4 暗褐色土 炭化物僅か含む
 - 5 極暗褐色土 ローム粒子・炭化物若干含む
 - 6 暗褐色土 ローム粒子僅か含む

- SK 292
- 1 黒褐色土 焼土・炭化物若干含む 締まりなし
 - 2 黒褐色土 締まりあり
 - 3 黒褐色土 ローム粒子・焼土含む 締まりあり
 - 4 黒色土 ロームブロック多く含む
 - 5 褐色土

- SK 293
- 1 黒褐色土 ローム粒子多く、炭化物若干含む
 - 2 黒褐色土 ローム粒子多く含む
 - 3 褐灰色土 黒褐色土粒子含む 粘性有り
 - 4 黒褐色土 ローム粒子多く、炭化物若干含む
 - 5 暗褐色土 ロームブロック多く含む
 - 6 褐色土 ローム粒子多く、炭化物若干含む
 - 7 褐灰色土 ローム粒子多く含む やや粘性有り
 - 8 黒色土 ローム粒子僅か含む

- SK 294
- 1 黒褐色土 焼土粒子・灰色粘土ブロック含む
 - 2 黒褐色土 ローム粒子多く含む
 - 3 暗褐色土 炭化物僅か含む
 - 4 褐色土 焼土粒子僅か含む

- SK 295
- 1 暗褐色土 焼土・炭化物僅か含む
 - 2 暗褐色土 焼土・炭化物多く含む ローム粒子混じる
 - 3 黒褐色土 焼土・炭化物僅か含む
 - 4 黒褐色土 炭化物多く含む 焼土僅か含む
 - 5 褐色土 炭化物僅か含む
 - 6 灰黄褐色土 焼土・炭化物僅か含む
 - 7 褐色土 焼土含む

- SK 296
- 1 黒褐色土 焼土僅か含む
 - 2 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多く含む
 - 3 灰黄褐色土 焼土粒子僅か含む
 - 4 黒褐色土 焼土・炭化物粒子僅か含む
 - 5 暗褐色土 ローム粒子若干、焼土粒子僅か含む
 - 6 褐灰色土 焼土粒子僅か含む

- SK 298
- 1 灰黄褐色土 焼土粒子僅か、灰色粘土多く含む
 - 2 褐灰色土 焼土粒子・炭化物粒子多く含む
 - 3 黒褐色土 焼土・炭化物粒子・灰色粘土多く含む
 - 4 黒褐色土 焼土・炭化物多く含む
 - 5 黒褐色土 炭化物粒子僅か含む
 - 6 暗褐色土 炭化物粒子僅か、灰色粘土多く含む
 - 7 暗褐色土 焼土粒子若干含む
 - 8 黒褐色土 焼土・炭化物多く含む
 - 9 暗褐色土 焼土粒子・炭化物粒子多く、灰色粘土僅か含む

- SK 299
- 1 灰黄褐色土 橙色粘土粒子若干含む やや粘性有り
 - 2 鈍い黄褐色土 橙色粘土粒子多く含む
 - 3 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多く含む
 - 4 黒褐色土 焼土・炭化物粒子若干、橙色粘土ブロック含む
 - 5 黒褐色土 焼土粒子僅か含む
 - 6 黒褐色土 橙色粘土粒子僅か含む 締まり強い 粘性有り
 - 7 黒褐色土 橙色粘土多く含む 締まり強い 粘性有り
 - 8 黒褐色土 焼土・橙色粘土若干含む
 - 9 黒色土 橙色粘土粒子僅か含む

第298号土坑(第216図)

CD・CE-7グリッドに位置する。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸1.19m、短軸0.93m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

覆土中より、須恵器坏・蓋の破片が出土した。

第299号土坑(第216図)

CD・CE-6グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.16m、短軸0.84m、深さ42cmを測る。主軸方位はN-25°-Wを指す。

覆土中より、須恵器坏・蓋、土師器破片が出土した。

第300号土坑(第217図)

CD-6グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.42m、短軸0.65m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-74°-Eを指す。

覆土中より、須恵器坏の破片が出土した。

第301号土坑(第217図)

CE-6グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.02m、短軸0.66m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-26°-Wを指す。

覆土中より、須恵器坏・蓋、土師器坏の破片が出土した。

第302号土坑(第217図)

CE-6グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.95m、短軸0.64m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-24°-Wを指す。

出土遺物(第221図2)

須恵器碗の底部が出土した。

第303号土坑(第217図)

CE-6グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.28m、短軸0.89m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-17°-Wを指す。

出土遺物(第221図3～5・18)

須恵器坏・蓋、土師器の他に、土師器破片が出土した。

第304号土坑(第217図)

CE-6グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.19m、短軸0.69m、深さ27cmを測る。主軸方位はN-52°-Wを指す。

覆土中より、須恵器坏・蓋の破片が出土した。

第305号土坑(第217図)

CE-7グリッドに位置する。第55号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.63m、短径0.56m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-70°-Eを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片が出土した。

第306号土坑(第217図)

CE-7グリッドに位置する。第55号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.20m、短軸0.68m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-50°-Eを指す。

覆土中より、須恵器坏・蓋、土師器坏の破片が出土した。

第307号土坑(第217図)

CF-7・8グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.33m、短軸0.57m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-65°-Eを指す。

第308号土坑(第217図)

CF-7グリッドに位置する。第309号土坑及び第5号竪穴状遺構と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.83m以上、短軸0.65m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-68°-Eを指す。

第309号土坑(第217図)

CF-7グリッドに位置する。第308号土坑及び第5号竪穴状遺構と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.77m、短軸0.43m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-43°-Wを指す。

覆土中より、須恵器坏、土師器の破片が出土した。

第311号土坑

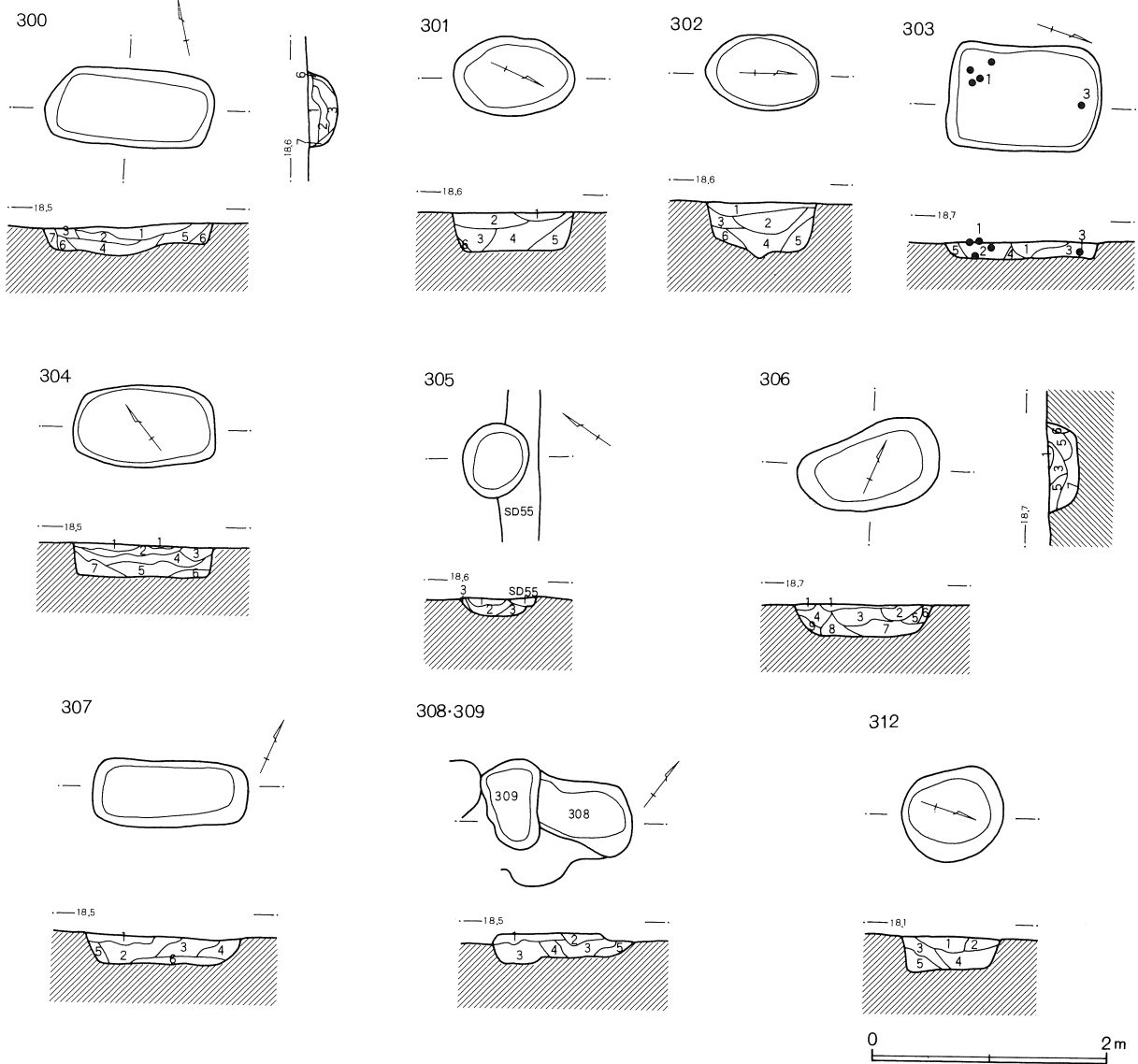
CF-7グリッドに位置する。第5号竪穴状遺構と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.73m、短軸0.59m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-67°-Wを指す。

覆土中より、須恵器蓋片が出土した。

第312号土坑(第217図)

CG・CH-6グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.87m、短径0.77m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-24°-Wを指す。

第217図 C区土坑(8)



SK300

- 1 黒褐色土 焼土・灰色粘土含む
- 2 黒褐色土 焼土粒子多く含む
- 3 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒子僅か含む
- 4 黒褐色土 焼土粒子僅か含む
- 5 黒褐色土 炭化物多く含む
- 6 暗褐色土 灰色粘土多く含む
- 7 褐灰色土 焼土・灰色粘土多く含む

SK301

- 1 黒褐色土 焼土多く含む
- 2 黒褐色土 焼土・炭化物多く含む
- 3 黒褐色土 焼土多く含む
- 4 黒褐色土 焼土僅か含む
- 5 暗褐色土
- 6 暗褐色土 炭化物僅か含む

SK302

- 1 黒褐色土 焼土粒子多く、黄色粘土ブロック含む
- 2 黒褐色土 焼土・炭化物僅か含む
- 3 黒褐色土 黄色粘土粒子多く含む
- 4 黒褐色土 焼土粒子僅か、黄色粘土多く含む
- 5 暗褐色土 炭化物粒子多く含む
- 6 暗褐色土 炭化物僅か含む

SK303

- 1 黒褐色土 橙色土粒子多く含む 締まり強い
- 2 黒褐色土 橙色土・黄褐色土粒子若干含む 締まり極強い
- 3 黒褐色土 橙色土・炭化物多く含む
- 4 灰褐色土
- 5 黒褐色土

SK304

- 1 灰褐色土 焼土粒子多く含む
- 2 褐灰色土 焼土粒子・炭化物若干含む
- 3 黒褐色土 焼土粒子・炭化物多く、灰色粘土含む
- 4 黒褐色土 焼土粒子多量、炭化物若干含む
- 5 黒褐色土 炭化物粒子若干、灰色粘土多く含む
- 6 黒褐色土 炭化物粒子若干含む
- 7 暗褐色土 焼土粒子多く含む

SK305

- 1 褐灰色土 焼土若干含む 粘性有り
- 2 黒褐色土 焼土多く、褐色灰色土ブロック若干含む
- 3 黒褐色土 炭化物若干含む

SK306

- 1 黒褐色土 灰色粘土粒子僅か含む
- 2 灰黄褐色土 褐色土含む 粘土質
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多く含む
- 4 褐灰色土 焼土粒子僅か、褐灰色粘土粒子若干含む
- 5 褐灰色土 褐灰色粘土粒子多く、焼土僅か含む
- 6 黒褐色土 褐灰色粘土粒子極多く含む
- 7 黒褐色土 焼土・炭化物粒子若干含む
- 8 黒褐色土 褐灰色粘土粒子僅か含む
- 9 鈍い黄褐色土 ローム粒子・焼土粒子僅か含む

SK307

- 1 黒褐色土 焼土・炭化物僅か含む
- 2 暗褐色土 焼土多く含む 粘性有り
- 3 極暗褐色土 粘性有り
- 4 黒褐色土 焼土若干含む
- 5 黒褐色土 焼土・炭化物多く含む
- 6 灰褐色土 砂質土

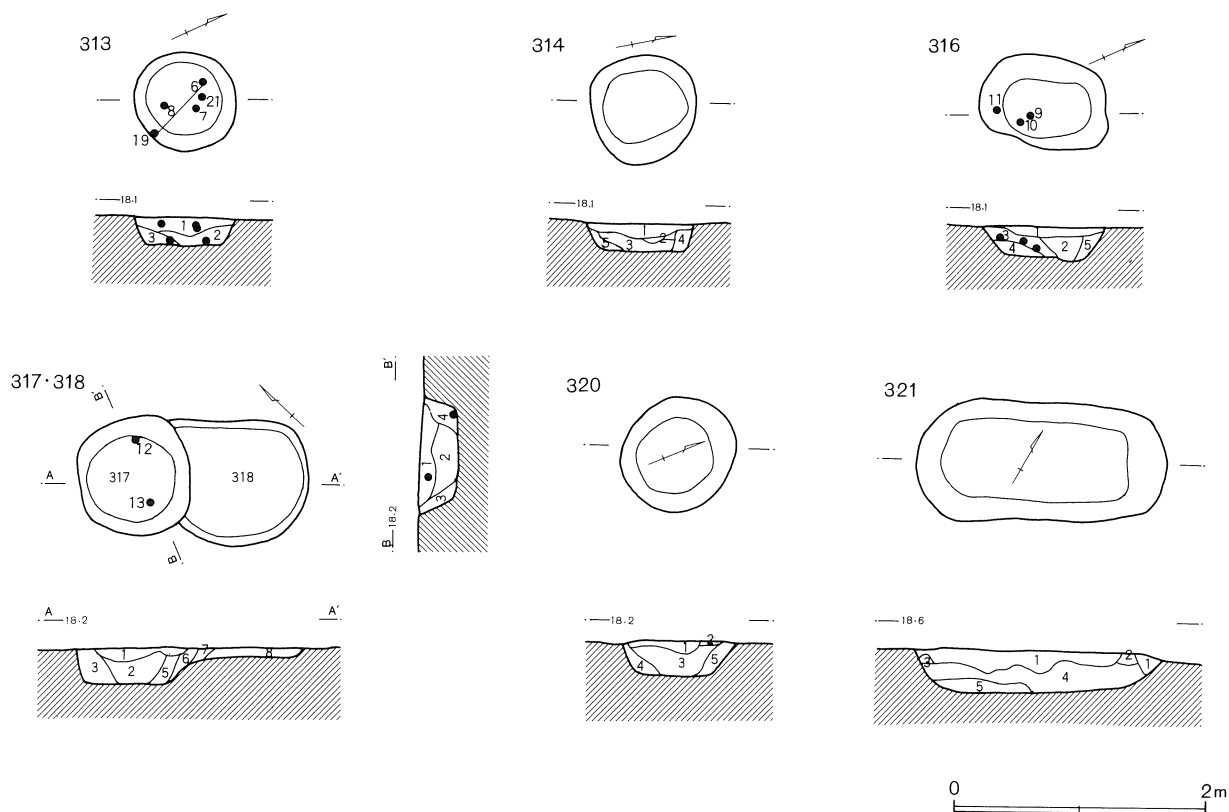
SK308・309

- 1 暗褐色土 橙色土粒子・酸化橙色土・黄褐色土粒子若干含む 締まり強い
- 2 暗褐色土 橙色土粒子微量含む
- 3 暗褐色土 橙色土粒子多く、黒色土若干含む 粘土質 締まり強い
- 4 灰褐色土 粘土質
- 5 灰褐色土 黄褐色土多く含む

SK312

- 1 黒褐色土 締まり強い
- 2 黒褐色土 焼土・炭化材含む
- 3 黒褐色土 締まり強い
- 4 黒褐色土
- 5 黒褐色土 粘性強い 締まり強い

第218図 C区土坑(9)



SK313

- 1 黒褐色土 焼土粒子・炭化材若干含む 締まり強い
2 黒褐色土
3 黒褐色土

SK314

- 1 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒子多く含む
2 黒褐色土 焼土僅かに含む
3 黒褐色土 焼土粒子若干、炭化物僅かに含む
4 褐灰色土 焼土粒子若干含む
5 灰黄褐色土 焼土・炭化物粒子若干含む

SK316

- 1 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多く含む
2 黒褐色土 炭化物多く、焼土僅かに含む
3 黒褐色土 焼土・炭化物若干含む
4 黒色土 焼土若干、炭化物僅かに含む
5 黒褐色土 炭化物若干含む

SK317・318

- 1 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多く含む
2 黒褐色土 焼土多く、炭化物若干含む
3 黒褐色土 焼土若干含む
4 黒褐色土 焼土・炭化物若干含む
5 黒色土 焼土・炭化物若干含む
6 暗褐色土 焼土・炭化物若干含む
7 褐灰色土 炭化物僅かに含む やや粘性有り
8 灰黄褐色土 焼土若干含む やや粘性有り

SK320

- 1 黒褐色土 焼土粒子多く、炭化物僅かに含む
2 褐灰色土 焼土僅かに含む
3 黒褐色土 炭化物粒子
4 黒褐色土 焼土僅か、炭化物多く含む
5 灰黄褐色土 炭化物若干含む 粘性有り

SK321

- 1 黒褐色土 ローム粒子若干、焼土・炭化物含む
2 黒褐色土 ローム粒子僅かに含む
3 褐色土 ロームブロック・黒褐色土僅かに混入
4 黒褐色土 ローム粒子・ロームブロック多く、炭化物若干含む
5 黒褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物多く含む

覆土中より、須恵器坏・蓋・高台付坏の破片が出土した。

第313号土坑(第218図)

CG・CH-6グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.80m、短径0.77m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-24°-Eを指す。

出土遺物(第221図6~8・19~21)

須恵器椀・高台付椀・蓋、土錘の他に、須恵器坏の破片が出土した。

第314号土坑(第218図)

CH-7グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.88m、短径0.86m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-57°-Wを指す。

出土遺物(第221図22・23)

土錘の他に、須恵器坏片、土師器片の他、弥生土器片が出土した。

第316号土坑(第218図)

CH-6・7グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.02m、短軸0.74m、深さ24cmを

測る。主軸方位はN-30°-Eを指す。

出土遺物(第221図9~11)

須恵器坏・蓋が出土した。

第317号土坑(第218図)

CH-6グリッドに位置する。第318号土坑と重複し、切っている。平面形は円形を呈し、規模は長径0.98m、短径0.88m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

出土遺物(第221図12~15・24・25)

須恵器坏・高台付坏、土錘の他に、須恵器蓋の破片が出土した。

第318号土坑(第218図)

CH-6・7グリッドに位置する。第317号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.99m、短軸0.96m以上、深さ8cmを測る。主軸方位はN-44°-Wを指す。

覆土中より、須恵器蓋破片が出土した。

第319号土坑

CH-7グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.91m、短径0.75m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

覆土中より、須恵器坏の破片が出土した。

第320号土坑(第218図)

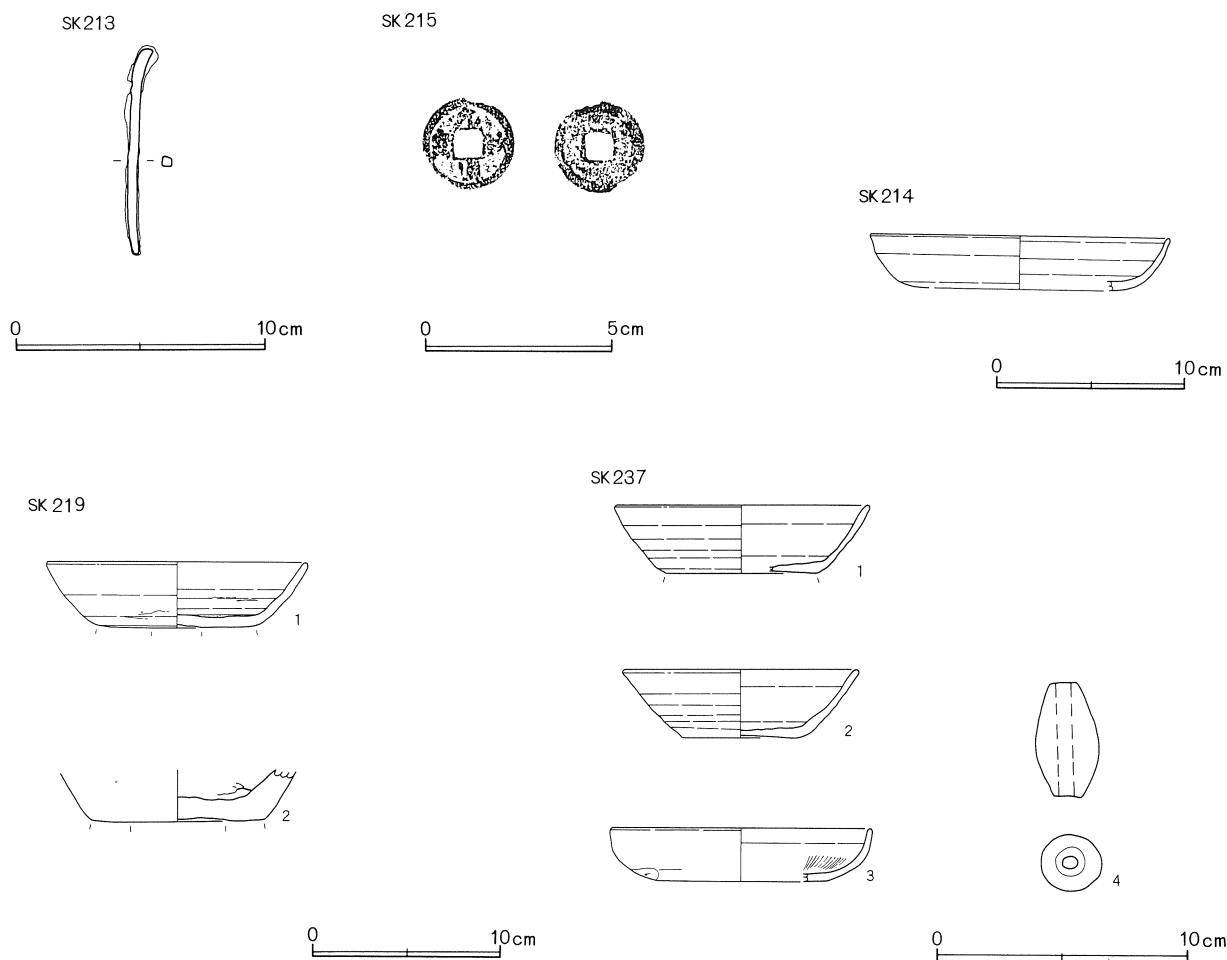
CH-6グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.95m、短径0.84m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

覆土中より、須恵器坏・蓋・高台付坏の破片が出土した。

第321号土坑(第218図)

CI-5・6グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.00m、短軸0.98m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-60°-Eを指す。

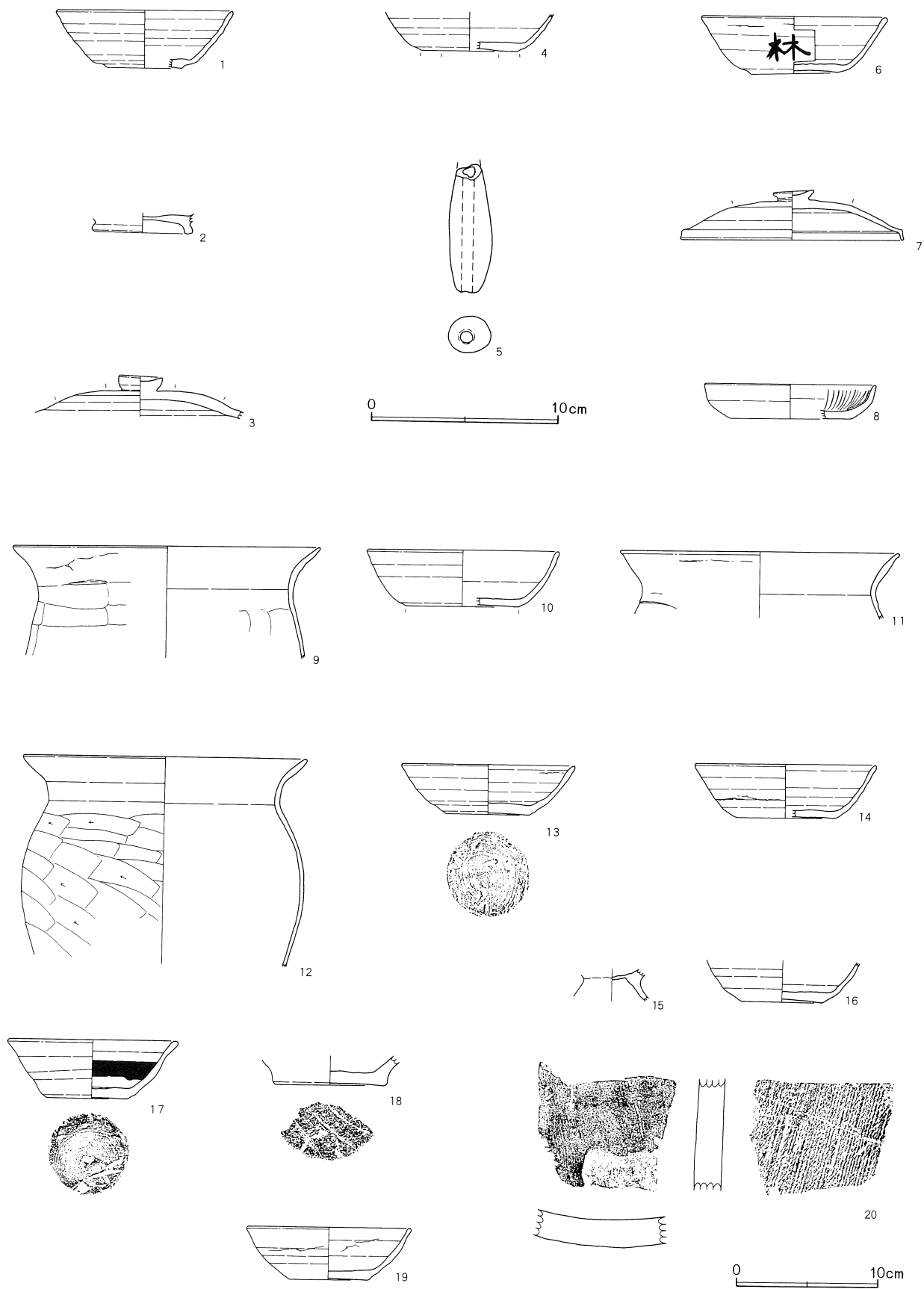
第219図 C区土坑出土遺物(1)



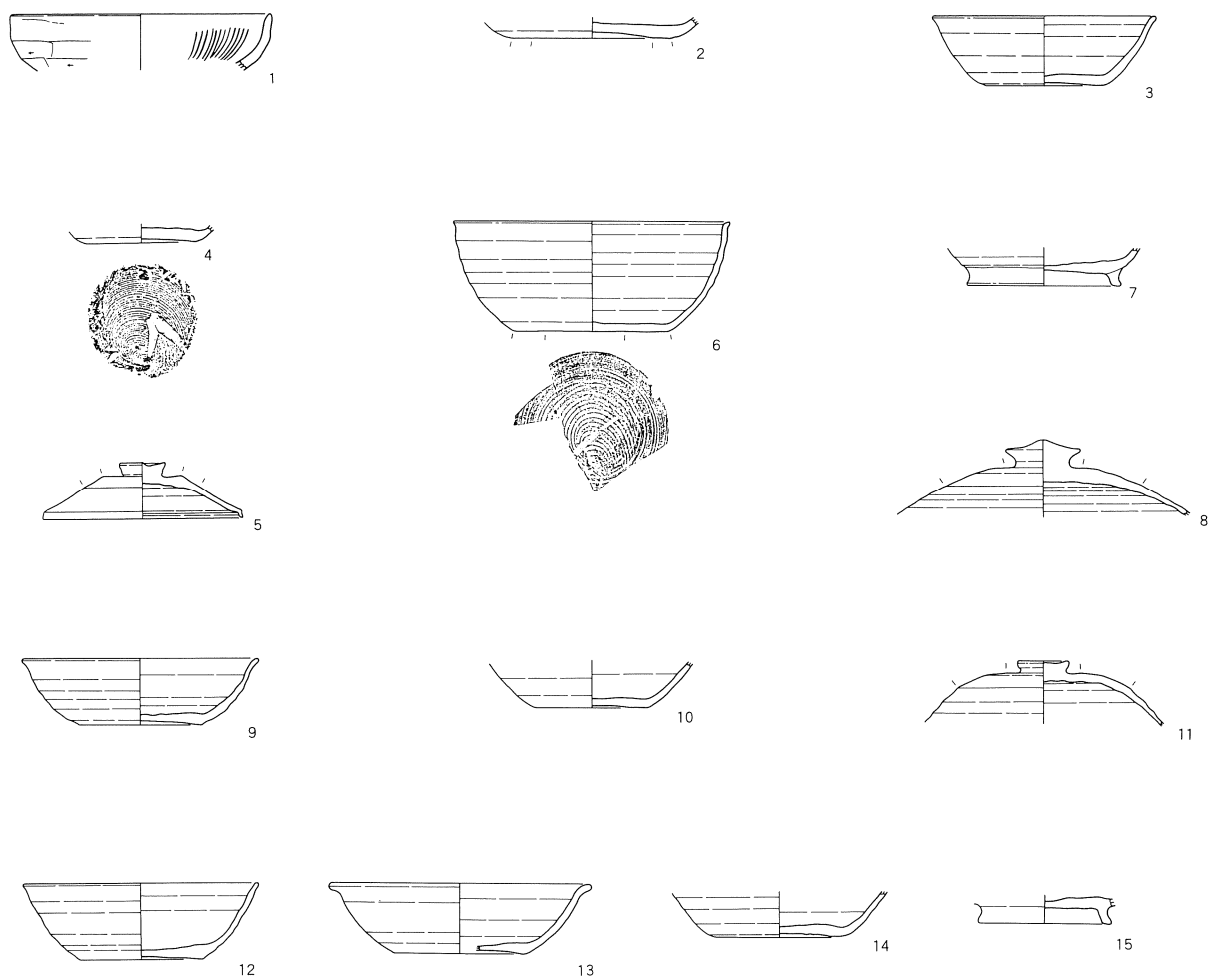
土坑出土遺物観察表(第219図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
5	須恵器坏	(16.0)			S	II	灰黄	15	SK214 体部ロクロ痕顕著
6	坏	(14.0)	3.5	(8.4)	ABS	I	灰	30	SK219 RBa 火襷痕あり
7	甕			(9.2)	AS	I	鈍い褐	25	SK219 底部外周静止篋削り 中央工具ナデ
8	須恵器坏	(13.6)	3.6	(8.0)	ABS	I	灰白	30	SK237 RA
9	坏	12.6	3.6	6.3	ABCRS	I	灰	100	SK237 RC 糸引き抜き痕体部に及ぶ
10	土師器坏	(14.0)			BES	III	橙	10	SK237 内面放射状暗文

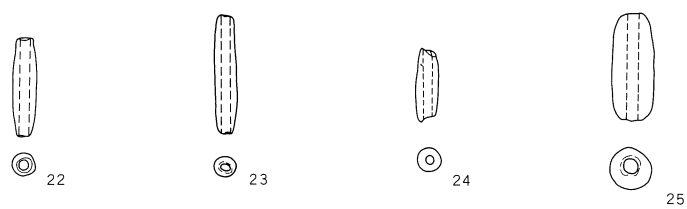
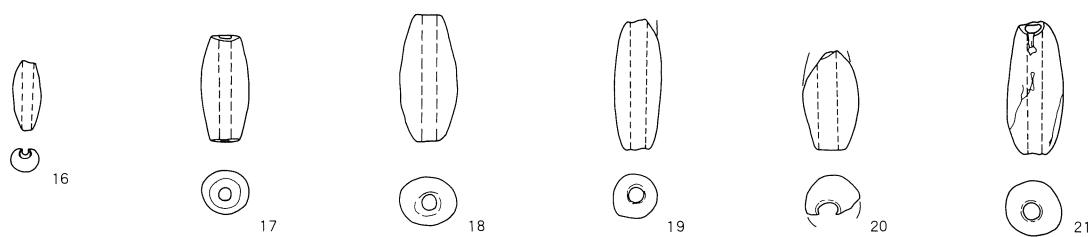
第220图 C区土坑出土遗物(2)



第221図 C区土坑出土遺物(3)



0 10cm



0 10cm

土坑出土遺物観察表(第220図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他	
1	須恵器坏	(12.6)	4.1	(5.4)	AS	II	鈍い褐	30	SK238 RC	
2	高台付坏			7.2	ABS	I	褐灰	50	SK238 RC 高台貼付	
3	蓋				ABRS	I	灰	30	SK238 天井部右回転鏡削り 鈕径3.2cm	
4	須恵器坏			(7.0)	ABS	I	灰	25	SK239 RBb	
6	坏	13.3	4.1	6.3	ABS	II	灰黄	100	SK244 RC 体部外面墨書「林」	
7	蓋	(16.0)	3.5		AS	I	灰白	60	SK244 天井部右回転鏡削り(鈕基部まで) 鈕径2.9cm	
8	土師器坏	(12.3)	2.4	(8.6)	BES	II	橙	10	SK252 内面放射状暗文	
9	土師器甕	(22.0)			BEKS	II	明赤褐	10	SK245 体部外面横方向鏡削り 内面指ナデ	
10	須恵器坏	(13.8)	4.0	(8.0)	S	I	灰	15	SK257 RA	
11	土師器甕	(20.0)			BEJS	II	鈍い橙	10	SK257 体部外面横方向鏡削り	
12	土師器甕	(20.2)			BHS	II	橙	40	SK262 体部外面横方向鏡削り	
13	須恵器坏	(12.4)	3.5	6.1	AS	I	灰白	70	SK265 RC	
14	坏	(13.0)	3.8	(7.0)	ABS	I	灰白	30	SK265 RC	
15	坏			5.8	ABS	I	鈍い褐	35	SK266 RC	
16	土師器 台付甕				EJS	II	橙	100	SK266 胴部←方向の鏡削り	
17	須恵器坏	12.2	4.2	5.7	ABCRS	III	灰黄	60	SK270 RC 体部内面中央付近油煙付着	
18	甕			8.0	BRS	I	橙	底部のみ	SK270 底部木葉痕	
19	須恵器坏	(11.8)	3.7	5.6	ABS	I	灰	45	SK273 LC 糸引き抜き痕あり	

第287号土坑出土瓦観察表(第220図)

番号	凹 面			凸 面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特 徴	叩き	特 徴					
20			ヘラナデ	叩き 1.1cm/5本	細かい縄叩き ヘラナデ		1.9	BS	I	黄灰

土坑出土遺物観察表(第221図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他	
1	土師器坏	(14.0)			BJS	II	橙	10	SK297 内面放射状暗文	
2	須恵器椀			8.5	ABS	I	灰白	55	SK302 RBb	
3	須恵器坏	(12.0)	3.7	6.3	ARS	I	灰黄	60	SK303 RC	
4	坏			5.8	ABRS	I	灰	100	SK303 RC 鏡記号「ハ」	
5	蓋	(10.7)	3.0		ABS	I	灰	35	SK303 天井部丁寧なロクロナデ 肩部右回転鏡削り	
6	須恵器椀	(14.8)	5.8	(8.4)	ABRS	I	灰	30	SK313 RBb 鏡記号「一」 器形やや歪みあり	
7	高台付椀			8.2	AS	I	灰	50	SK313 回転糸切り後右回転鏡削り 高台貼付	
8	蓋				ACS	I	灰	30	SK313 天井部右回転鏡削り 鈕径4.0cm	
9	須恵器坏	(12.6)	3.5	6.5	ABS	I	灰	50	SK316 RC	
10	坏			6.0	ABRS	I	灰	80	SK316 RC	
11	蓋				ABRS	I	灰	30	SK316 天井部右回転鏡削り 鈕径2.8cm	
12	須恵器坏	(12.6)	4.0	6.6	ARS	II	灰白	40	SK317 RC	
13	坏	(14.0)	3.7	(7.2)	ABS	I	灰	25	SK317 RC	
14	坏			6.4	ABRS	II	灰	60	SK317 RC 糸引き抜き痕あり	
15	高台付坏			7.1	ABRS	I	灰	100	SK317 RC 高台貼付	

土坑出土土錘計測表(第221図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
16	2.7	1.1	3.5	1.88
17	4.2	1.9	4.5~5	14.32
18	5.1	2.3	5.5~6	20.58
19	5.1	1.8	5.5~6	14.83
20	(3.9)	2.2	5	(10.96)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
21	5.2	2.2	6	21.53
22	3.9	1	4~4.5	2.96
23	4.8	0.9	3~4	3.12
24	(2.9)	0.9	3~3.5	(2.38)
25	4.3	1.6	6	10.6

(4) 井戸跡

第1号井戸跡(第222図)

AS・AT-25グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.92m、短径1.75mを測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-33°-Wを指す。

第2号井戸跡(第222図)

AW・AX-23グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長径3.04m、短径2.71mを測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-27°-Wを指す。

出土遺物(第225図)

覆土中より、須恵器坏と土錘が出土した。2の土錘は、長さ3.2cm、最大径0.9cm、孔径2.5mm、重さ1.73g。

第3号井戸跡(第222図)

BA-24グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.92m、短軸1.40を測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-19°-Eを指す。

第4号井戸跡(第223図)

BE-20グリッドに位置する。第68号土坑に西辺を切られる。平面形は隅丸方形を呈し、規模は東西2.17m、南北1.86mを測る。断面形は筒状である。主軸方位はN-75°-Wを指す。

出土遺物(第225図)

覆土上層に集中するが、大小2種類のかかわりか出土した。

第5号井戸跡(第222・225図)

BF-20グリッドに位置する。第78・79・80号土坑と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸2.33m、短径1.43mを測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-80°-Wを指す。

覆土中より、刀子と中世土器片が出土した。

第6号井戸跡(第223図)

BK・BL-18グリッドに位置する。第139・141号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.14m、短径1.33mを測る。断面形はロート状で、深さは1.2m以上を測る。主軸方位はN-25°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第7号井戸跡(第223図)

BL-18グリッドに位置する。東側は調査区域外にかかり、西側では第156・157号土坑と重複している。平面形は円形を呈するものと思われ、規模は長径2.30m、短径1.62m以上を測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-63°-Wを指す。

出土遺物(第225図)

覆土上層から、かわらけが大小2種類、甕の他に、須恵器破片、土師器破片が出土した。

第8号井戸跡(第224図)

BX-11グリッドに位置する。第39・40号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.05m、短径0.96mを測る。断面形は筒状である。主軸方位はN-19°-Wを指す。

第9号井戸跡(第224図)

CA-8グリッドに位置する。第16・18号住居跡を切っている。平面形は円形を呈し、規模は長径1.87m、短径1.66mを測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-20°-Eを指す。

出土遺物(第225図)

覆土中より、須恵器坏・椀、土師器台付甕が出土した。

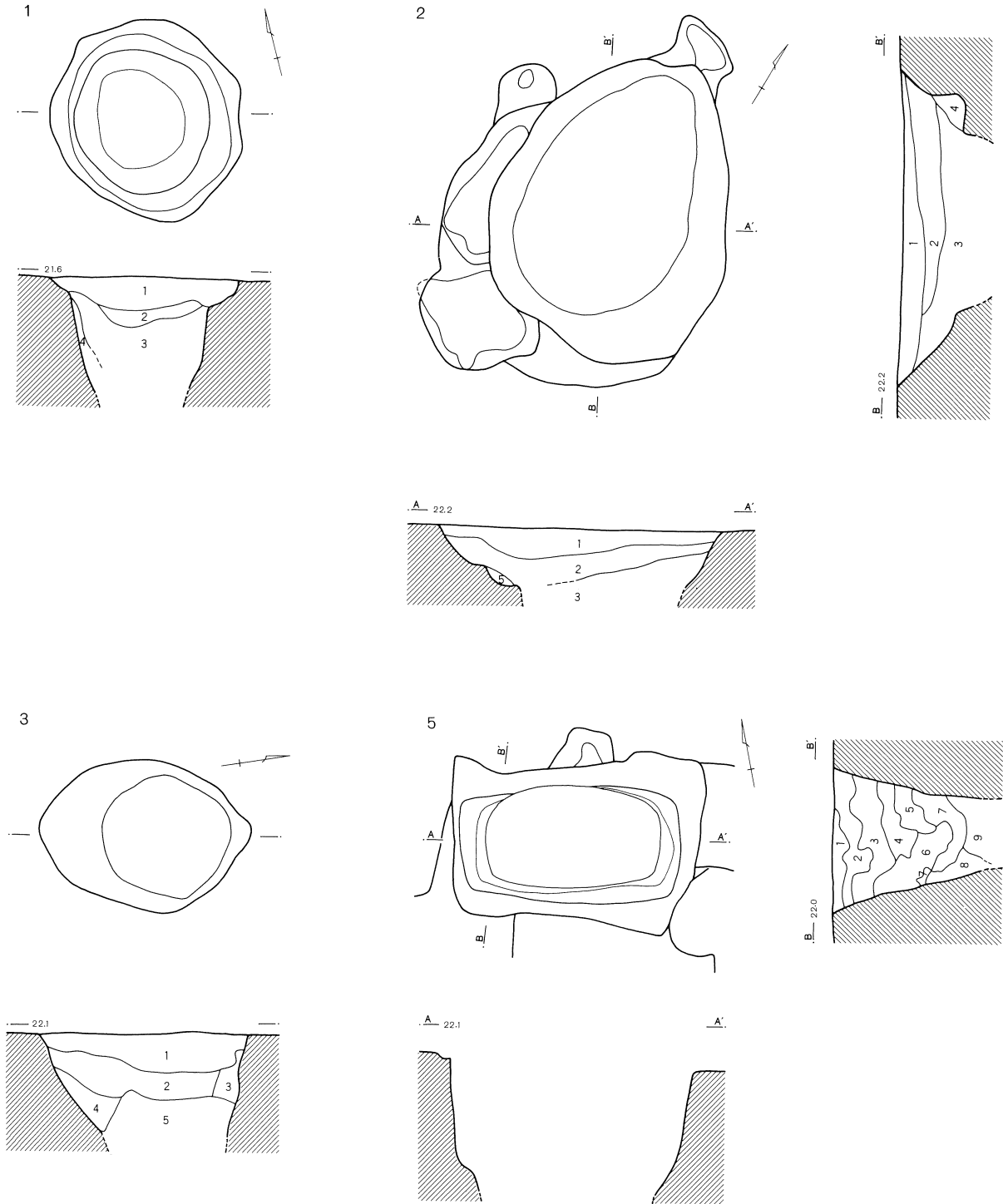
第10号井戸跡(第224図)

CD-6グリッドに位置する。第50号溝と重複し、切っている。平面形は円形を呈し、規模は長径1.27m、短径1.26mを測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-23°-Eを指す。

出土遺物(第225図)

覆土中より、甕の他に、須恵器坏・蓋、土師器甕の破片が出土した。

第222図 井戸跡(1)



SE 1

- 1 黒色土 ロームブロック多く含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子・橙色土含む
- 3 黒褐色土 橙色土含む
- 4 黒色土 ローム粒子含む

SE 2

- 1 暗褐色土 橙色土粒子・黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 2 暗赤褐色土 橙色土粒子・黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 3 黒褐色土 橙色土粒子・黄褐色土粒子若干含む
- 4 暗赤褐色土
- 5 暗赤褐色土 黄褐色土粒子多く含む

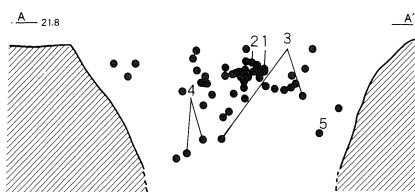
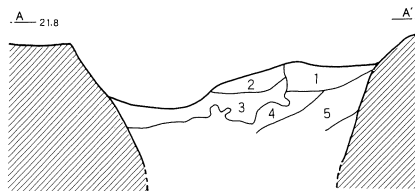
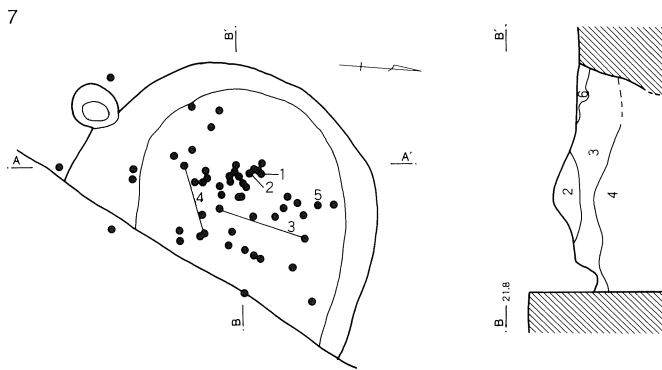
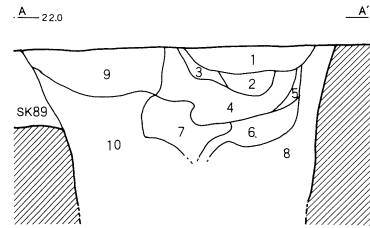
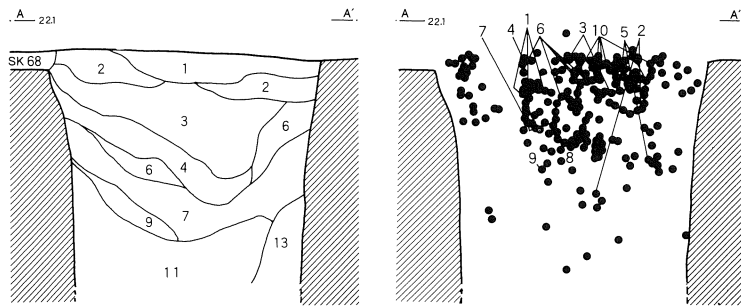
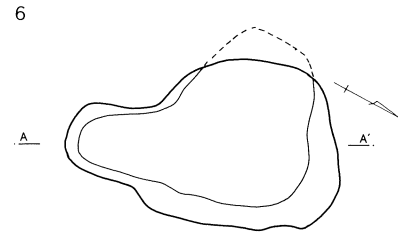
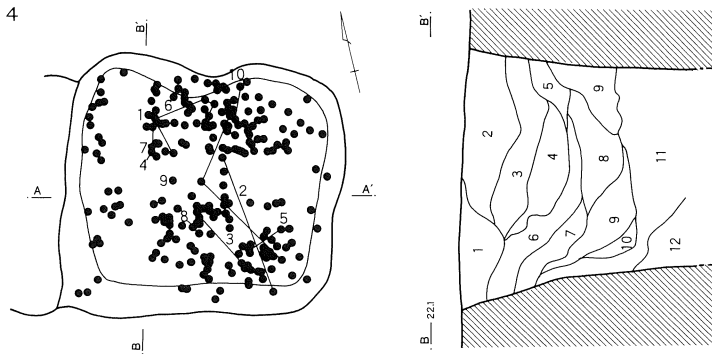
SE 3

- 1 黒褐色土 ローム粒子多く含む やや締まる
- 2 黒褐色土 ロームブロック多く含む やや締まる
- 3 黒褐色土 ローム粒子若干含む
- 4 黒褐色土 粘性若干あり
- 5 黒褐色土 ローム粒子若干含む 粗粒

SE 5

- 1 黒褐色土 ローム粒子・砂粒子・炭化物若干含む やや締まりあり
- 2 黒褐色土 ロームブロック・小礫多く含む やや締まりあり
- 3 黒褐色土 ロームブロック・炭化物粒子多く、小礫含む やや締まりあり
- 4 鈍黄褐色土 ロームブロック多量、炭化物・小礫含む 締まりなし
- 5 黒褐色土 ロームブロック少し含む 締まり弱い
- 6 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子若干、小礫少し含む やや締まり弱い
- 7 褐色土 ロームブロック・小礫多く含む やや締まり弱い
- 8 黒褐色土 ローム粒子・砂礫少し含む やや締まり弱い
- 9 褐色土

第223図 井戸跡(2)



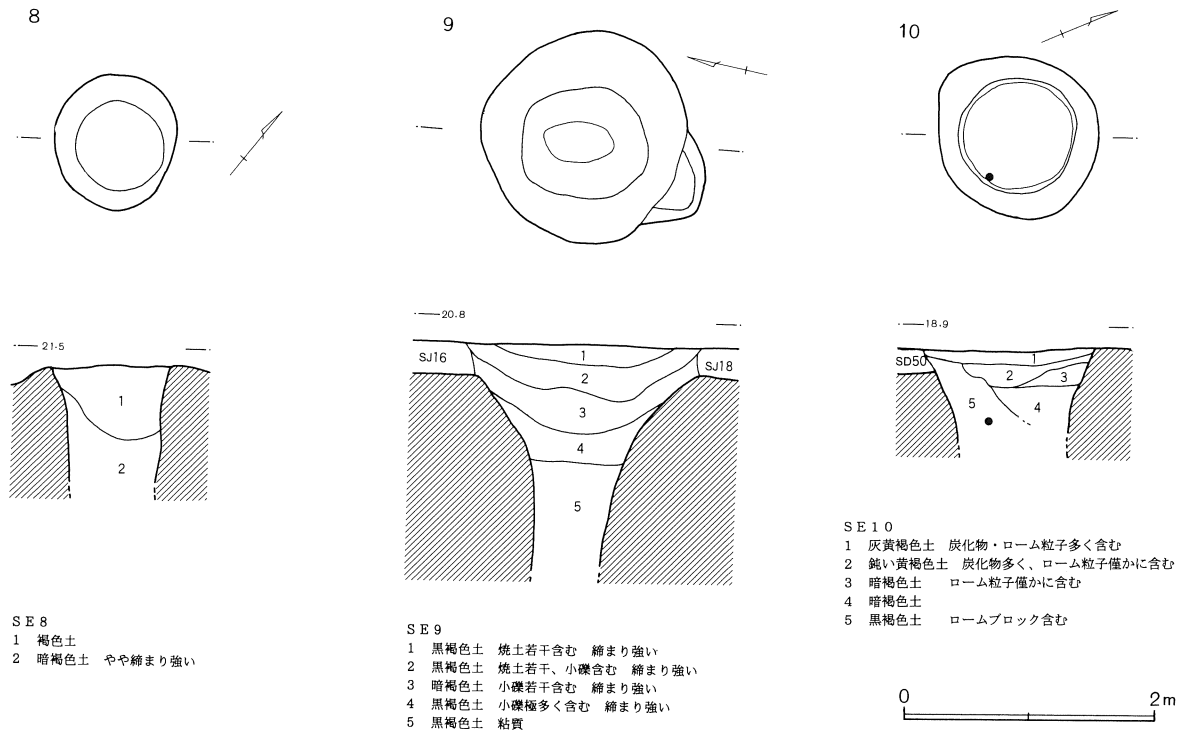
- SE 4
- 1 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子・礫含む 締まりあり
 - 2 黒褐色土
 - 3 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子・小礫含む やや締まり弱い
 - 4 黒褐色土 小礫少し含む 締まり弱い
 - 5 黒褐色土 小礫・礫若干含む
 - 6 黒褐色土 ローム粒子・小礫・礫含む やや締まりあり
 - 7 黒褐色土 ローム・礫含む やや締まりあり
 - 8 黒褐色土 礫含む
 - 9 黒色土 ローム粒子多く含む 締まり弱い
 - 10 黒褐色土 ロームブロック含む 締まりあり
 - 11 黒色土 ローム少し含む 締まり弱い
 - 12 黒色土 ローム少し含む 締まり弱い
 - 13 黒色土 ローム多く含む やや締まりあり

- SE 6
- 1 暗黄褐色土
 - 2 黄褐色土 砂礫多く含む 極締まりあり
 - 3 暗褐色土 砂礫若干含む 極締まりあり
 - 4 暗褐色土
 - 5 褐色土
 - 6 黒褐色土
 - 7 暗褐色土 黒褐色土若干含む
 - 8 褐色土
 - 9 暗褐色土 褐色土粒子・炭化物粒子若干含む 締まりあり
 - 10 暗褐色土 褐色土若干含む 締まりあり

- SE 7
- 1 明褐色土 小礫含む
 - 2 黒褐色土 焼土多量含む
 - 3 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
 - 4 黒色土 炭化物多量、ローム粒子含む
 - 5 黒褐色土 焼土・ローム粒子含む
 - 6 黒褐色土 ローム粒子多く含む

0 2m

第224図 井戸跡(3)



第2号井戸跡出土遺物観察表(第225図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器環	(12.0)	3.9	(7.2)	S	I	灰	30	RC

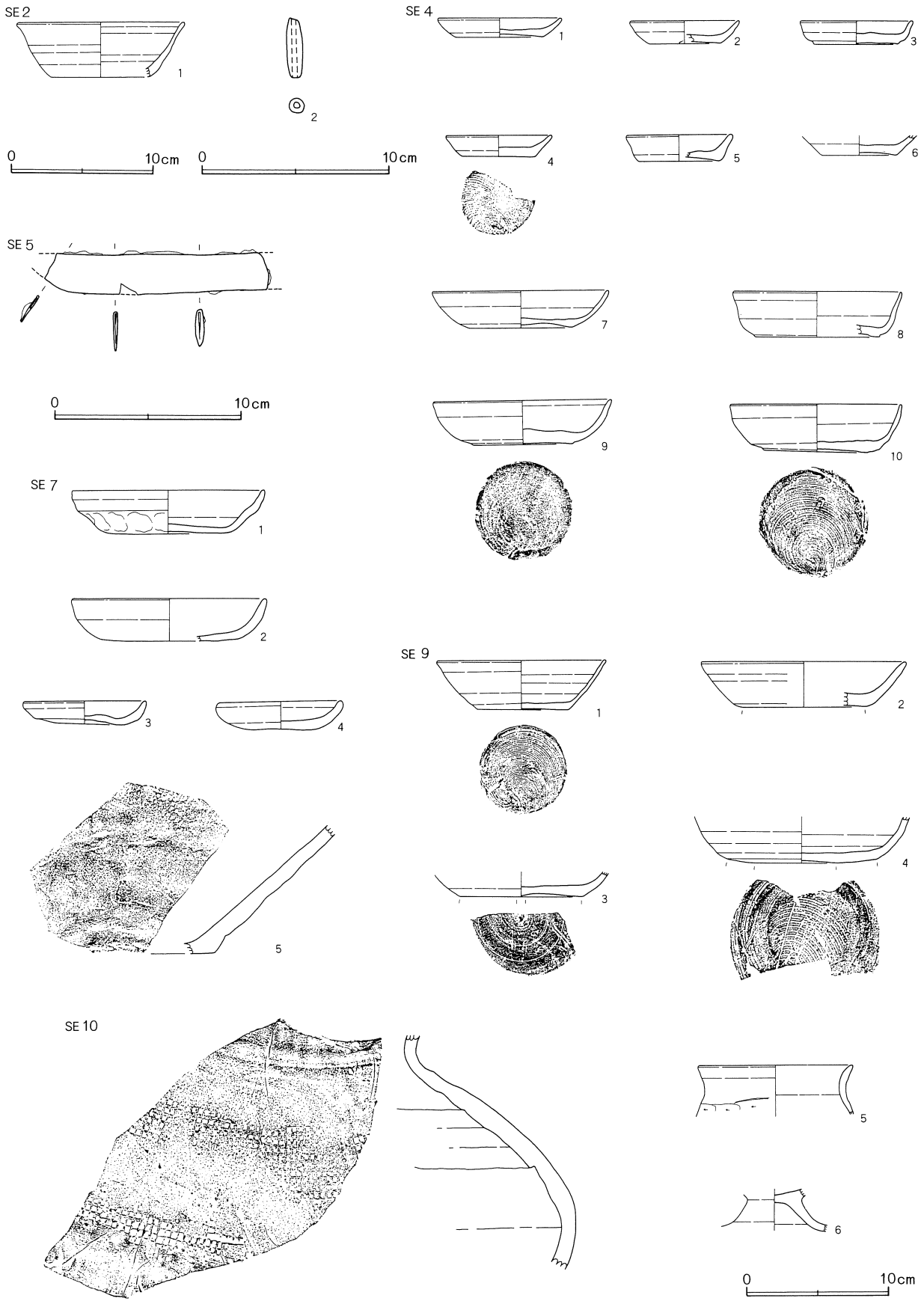
第4号井戸跡出土遺物観察表(第225図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	かわらけ	(8.8)	1.3	6.2	BS	II	鈍い橙	40	RC 底部内面工具ナデ痕
2	かわらけ	(7.8)	1.6	(5.0)	BS	I	橙	45	RC ロクロ水挽き痕顯著 底部内面工具ナデ痕
3	かわらけ	(8.0)	1.6	(6.0)	BS	III	浅黄橙	60	右回転糸切り後一方向筥ナデ
4	かわらけ	7.6	1.5	5.2	BS	I	橙	55	LC ロクロ水挽き痕顯著 体部内面ナデ痕
5	かわらけ	7.6	1.9	5.8	AS	II	橙	50	回転糸切り
6	かわらけ			5.3	BS	I	鈍い黄橙	60	LC 底部内面工具ナデ痕
7	かわらけ	(12.6)	2.6	(7.2)	BS	II	浅黄橙	40	RC ロクロ水挽き痕顯著 底部内面指ナデ
8	かわらけ	(12.0)	3.2	(8.8)	B	II	橙	25	底部調整不明瞭
9	かわらけ	(12.6)	3.1	7.0	AS	II	橙	60	RC 底部糸切り後一方向筥ナデ
10	かわらけ	12.3	3.5	7.5	BS	II	鈍い橙	85	RC ロクロ水挽き痕顯著 底部内面外周工具ナデ痕

第7号井戸跡出土遺物観察表(第225図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	かわらけ	(13.8)	3.0	(8.0)	BS	II	橙	40	底部外面一方向指ナデ 体部外面指頭整形
2	かわらけ	(14.0)	3.0	(10.0)	AJ	III	鈍い橙	10	整形不明
3	かわらけ	8.8	1.7	4.8	ABS	I	橙	80	底部外面指ナデ 内面のみロクロ痕顯著
4	かわらけ	8.7	2.0		S	III	橙	80	
5	甕				BRS	I	灰白	破片	体部外面格子叩き

第225図 井戸跡出土遺物



第9号井戸跡出土遺物観察表(第225図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器 坏	12.1	3.5	6.4	ABS	I	鈍い黄橙	80	RC
2	坏	(14.6)	3.3	8.2	AB	I	黄灰	15	LA 体部下端筥調整
3	坏			(8.6)	AS	I	灰白	40	LBa 中央部削り残し
4	椀			10.6	ABS	I	灰白	45	RBb 筥記号「ㄥ」
5	土師器 台付甕	(11.0)			CEJS	II	鈍い赤褐	10	
6	台付甕				BCEFJ	II	鈍い橙	85	外面煤付着

第10号井戸跡出土遺物観察表(第225図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
	甕				HS	I	灰白	破片	肩部外面格子叩き後横方向ナデ消し 内面横ナデ 頸部・胸部下半鈍い赤褐色を呈する

4 その他の遺構と遺物

(1) 溝

第1号溝(第226・227図)

AP・AQ-26グリッドに位置する。溝北端は調査区域外に延び、また南端は確認できなかつた。第2号溝とはほぼ平行に延びている。確認できた長さは約11m、幅約1.2~2.0m、深さ約36cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第2号溝(第226・227図)

AP・AQ-26グリッドに位置する。溝北端は調査区域外に延び、また南端は確認できなかつた。第1号溝とはほぼ平行に延びている。確認できた長さは約11m、幅約0.5~1.2m、深さ約22cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第3号溝(第226・227図)

AQ-27グリッドに位置する。溝南端は第5号溝と重複する。確認できた長さは約7m、幅約0.5~0.9m、深さ約10cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第4号溝(第226・227図)

AQ・AR-28グリッドに位置する。溝北端は第4・5号土坑に切られ、第6・7・9号土坑及び第5・6・7・8・10号溝と重複している。確認できた長さは約19m、幅約0.4~2.4m、深さ約22cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第5号溝(第226・227図)

AQ-27・28、AR-27グリッドに位置する。第3・4号溝と重複する。確認できた長さは約7.5m、幅約

0.5m、深さ約14cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第6号溝(第226・227図)

AQ-27、AR-27・28グリッドに位置する。溝東端で第4号溝と重複する。確認できた長さは約8m、幅約0.7m、深さ約14cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第7号溝(第226・227図)

AR-27・28グリッドに位置する。第4・10号溝及び第8号土坑と重複する。確認できた長さは約9.5m、幅約0.8m、深さ約10cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第8号溝(第226・227図)

AR-26・27・28、AS-26グリッドに位置する。第4・7・10号溝と重複する。確認できた長さは約22m、幅約1.3~1.8m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

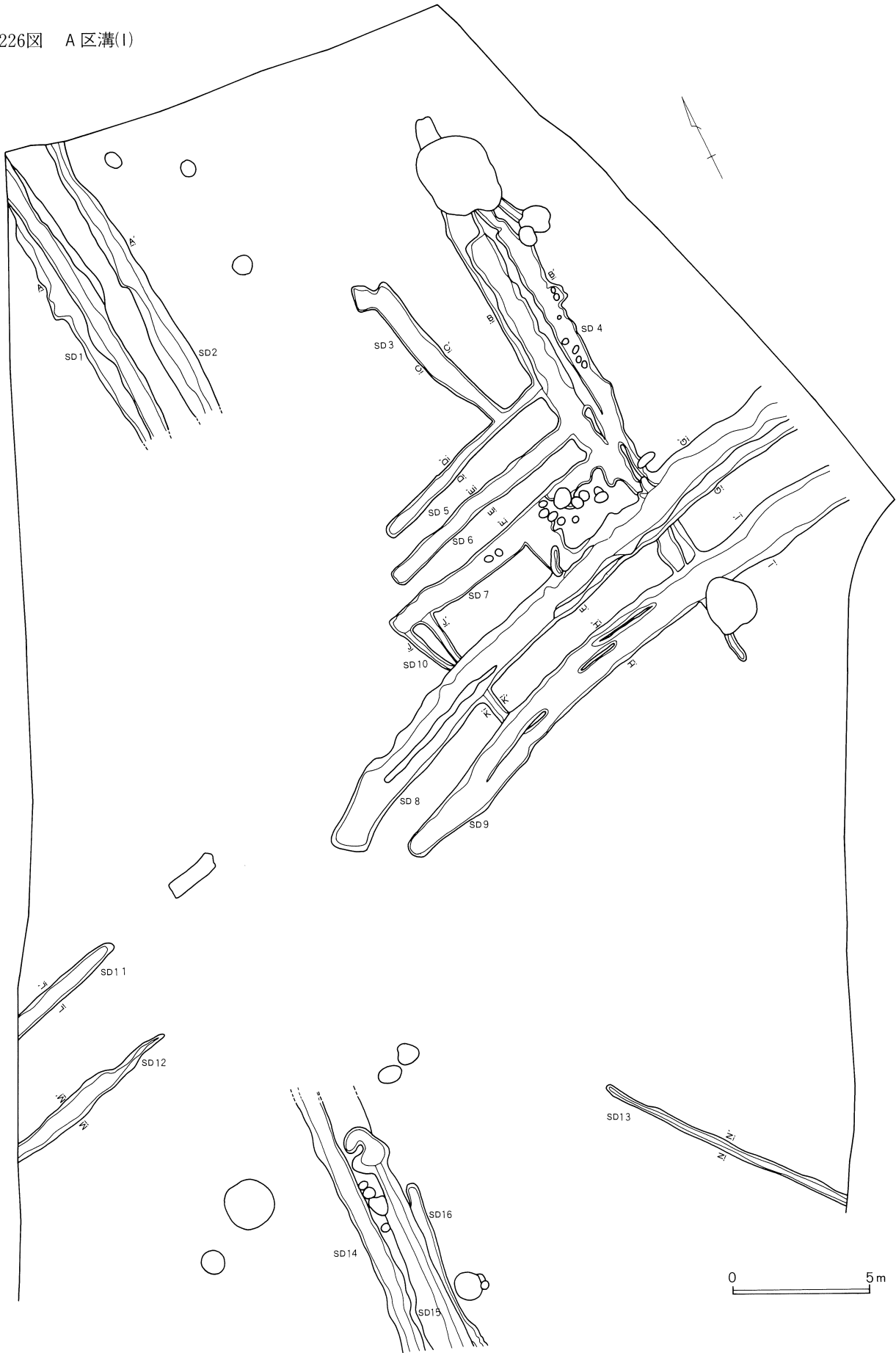
第9号溝(第226・227図)

AR-27・28、AS-26・27グリッドに位置する。第4・10号溝及び第9号土坑と重複する。確認できた長さは約20.5m、幅約1.3~1.8m、深さ約26cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

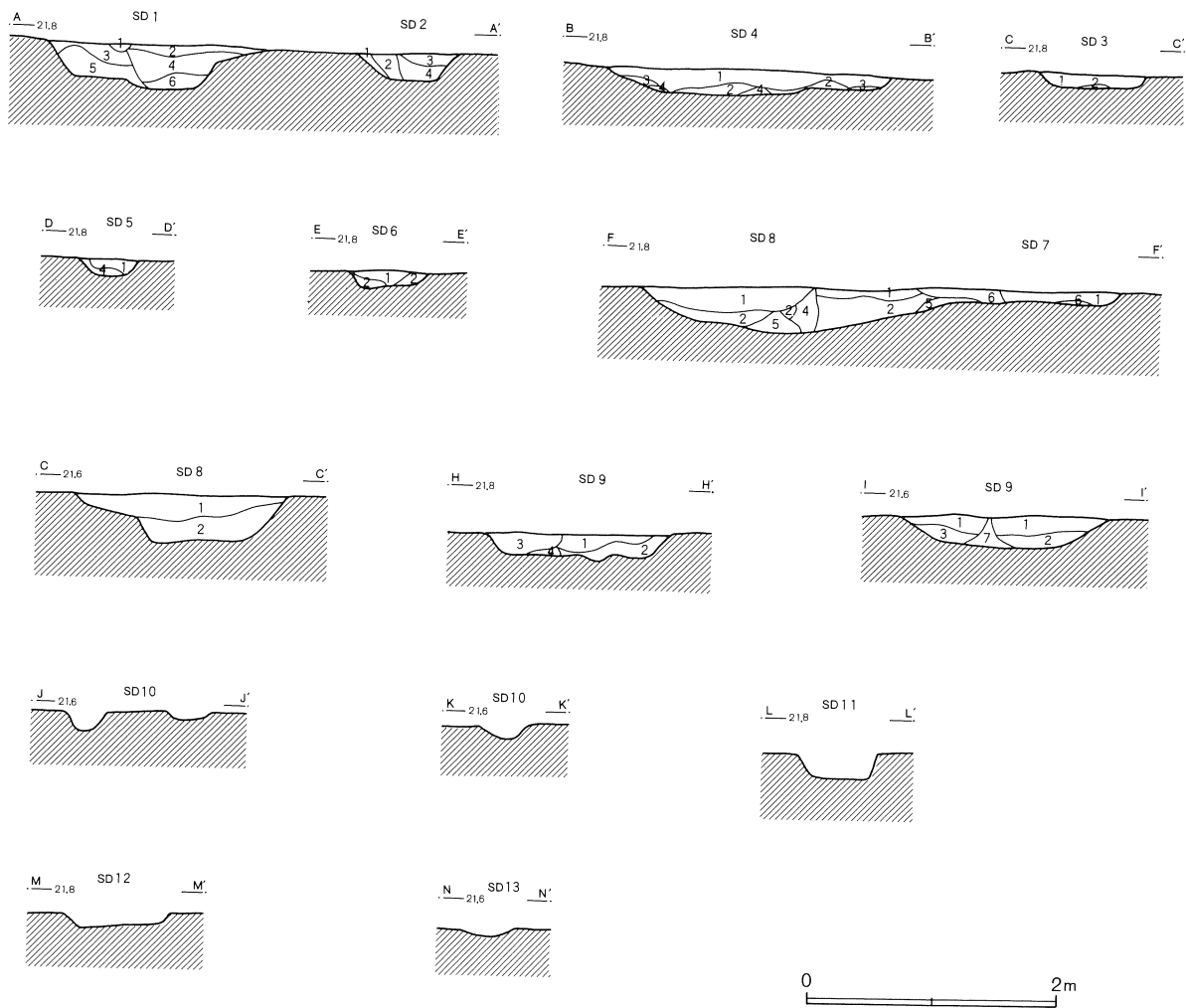
第10号溝(第226・227図)

AR-27グリッドに位置する。第7・8・9号溝と重複する。確認できた長さは約4.5m、幅約0.4m、深さ約12cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第226図 A区溝(1)



第227図 A区溝(2)



SD 1 (A-A')

- 1 灰黄褐色土 粘土質
- 2 灰褐色土 締まり弱い
- 3 黒色土 締まりあり
- 4 黒褐色土 橙色土含む やや締まりあり
- 5 黒褐色土 締まりあり
- 6 黒褐色土

SD 2 A-A'

- 1 暗褐色土 ロームブロック含む
- 2 黒褐色土 橙色土・黄色土含む やや粗粒
- 3 黒褐色土 橙色土多く含む
- 4 黒褐色土 橙色土・小礫少量含む

SD 4

- 1 極暗褐色土 黄褐色土粒子極多く含む 締まり極強い
- 2 黒褐色土 暗褐色・褐色土含む 締まり強い
- 3 黒色土 橙色土・黄褐色土若干含む 締まり強い
- 4 褐色土 粘土質

SD 3

- 1 極暗褐色土 黄褐色土粒子極多く含む 締まり極強い
- 2 褐色土 粘土質

SD 5~9

- 1 黒色土 橙色土粒子若干含む 締まり極強い
- 2 黒褐色土 橙色土・黄褐色土微量含む 粘性強い
- 3 極暗褐色土 締まり強い
- 4 暗褐色土 粘土質
- 5 褐色土 粘土質
- 6 黒色土 砂質 締まり強い
- 7 黒色土 粘土質

第11号溝(第226・227図)

AR・AS-25グリッドに位置する。溝西端は調査区域外にあり、第12号溝とほぼ平行に延びている。確認できた長さは約4.5m、幅約0.6m、深さ約24cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第12号溝(第226・227図)

AS-25グリッドに位置する。溝西端は調査区域外にあり、第12号溝とほぼ平行に延びている。確認できた長さは約7m、幅約0.3~0.9m、深さ約12cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第13号溝(第226・227図)

AT-27グリッドに位置する。溝東南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約9.5m、幅約0.4m、深さ約8cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第14号溝(第228～230図)

AS・AT-26、AU・AU-25・26、AW・AX・AY・AZ・BA・BB-25グリッドに位置する。溝北端は確認できず、南端は調査区域外に延びている。溝の北側では第15・16号溝と平行しており、第17号溝を切っている。溝の南側では第15・21・22号溝と平行して延びている。確認できた長さは約83m、幅約0.9m、深さ約28～65cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第15号溝(第228～230図)

AS・AT・AU-26、AU・AW-25・26、AX・AY・AZ・BA・BB-25グリッドに位置する。溝北端は確認できず、南端は調査区域外に延びている。溝の北側では第14・16号溝と平行し、AW-25グリッドで二股に分かれ、東端は調査区域外に延びている。溝の南側では第14・21・22号溝と平行して延びている。確認できた長さは約81m、幅約1.5m、深さ約35～60cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第16号溝(第228・229図)

AT・AU・AU-26・AW-25・26グリッドに位置する。第14・15号溝と平行し、溝南端は確認できなかった。確認できた長さは約31m、幅約0.5m、深さ約14cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第17号溝(第228・229図)

AU-24～26グリッドに位置する。溝西端は調査区域外に延び、東端は第14号溝に切られている。確認できた長さは約17.5m、幅約0.8m、深さ約28cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第18号溝(第228・229図)

AW-26グリッドに位置する。溝東端は調査区域外に延び、西端は第22号土坑を切って調査区域外に延びている。確認できた長さは約4m、幅約0.6m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第19号溝(第228・229図)

AU-24、AW-23～25、AX-23グリッドに位置する。溝南端は第20号溝及び第26号土坑と重複する。緩やかな弧状に延びており、東端は確認できなかった。確認できた長さは約16m幅は約0.6～0.8m、深さ約30cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第20号溝(第228・229図)

AW・AX-23グリッドに位置する。溝北端は調査区域外に延び、南端は第19号溝及び第26号土坑と重複している。確認できた長さは約12m、幅約0.8～1.0m、深さ約15cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第21号溝(第230図)

AY・AZ・BA-25、BB-24・25グリッドに位置する。第14・15・22号溝と平行し、溝両端は調査区域外に延び、第14号溝に切られている。確認できた長さは約27m、幅約0.8m、深さ約36cmを測る。

第22号溝(第230図)

AY・AZ・BA-25グリッドに位置する。第14・15・21号溝と平行する。確認できた長さは約18m、幅約0.4～0.8m、深さ約12cmを測る。

第23号溝(第230図)

AZ・BA-21グリッドに位置する。溝両端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約4m、幅約0.9m、深さ約50cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

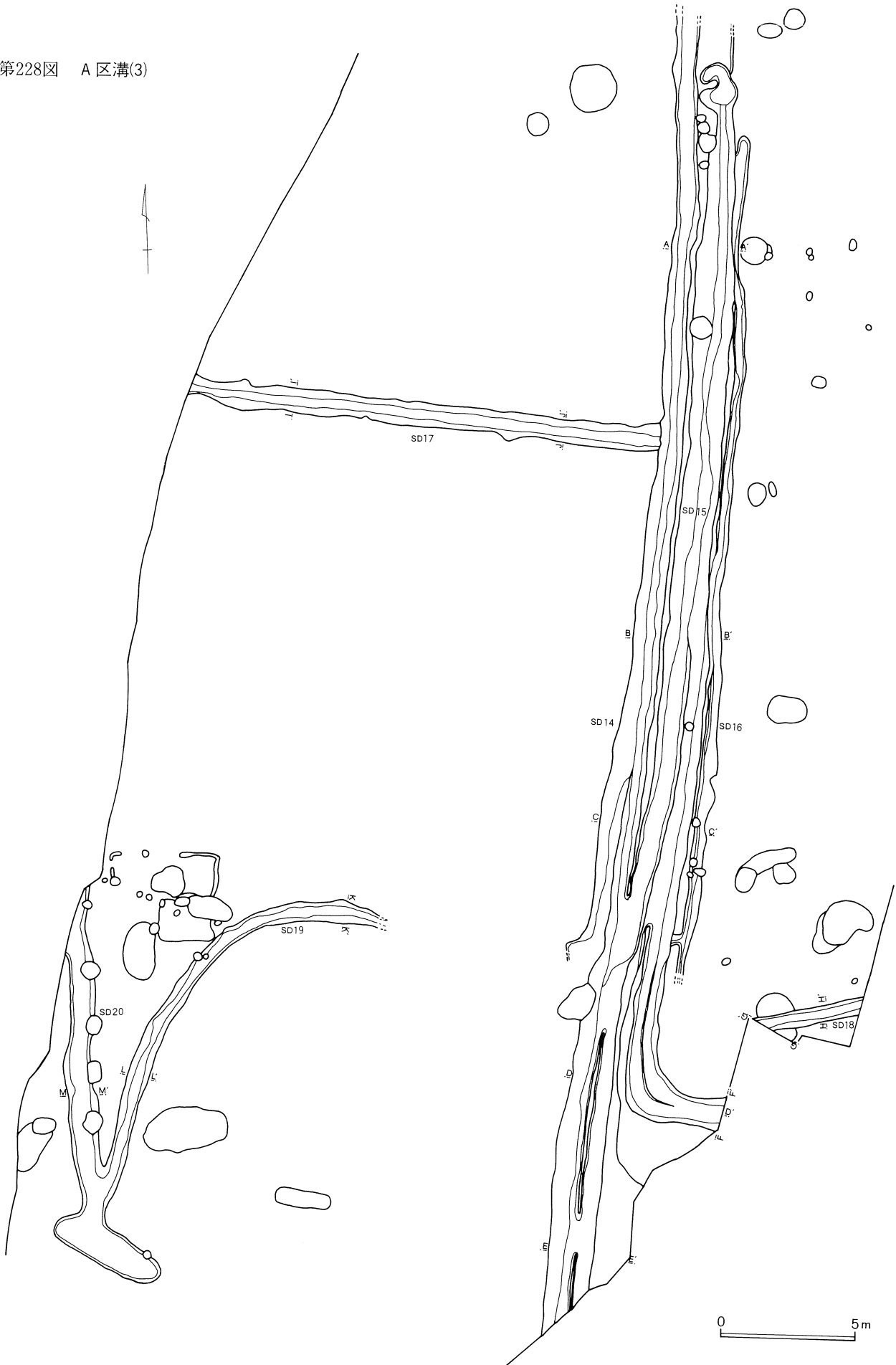
第24号溝(第231・232図)

BB-20・21、BC-20～23グリッドに位置する。第25号溝と平行し、東端付近ではこれと重複している。また、第26・27号溝とそれぞれ直交する。溝両端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約31m、幅約2.0～2.4m、深さ約40cmを測る。

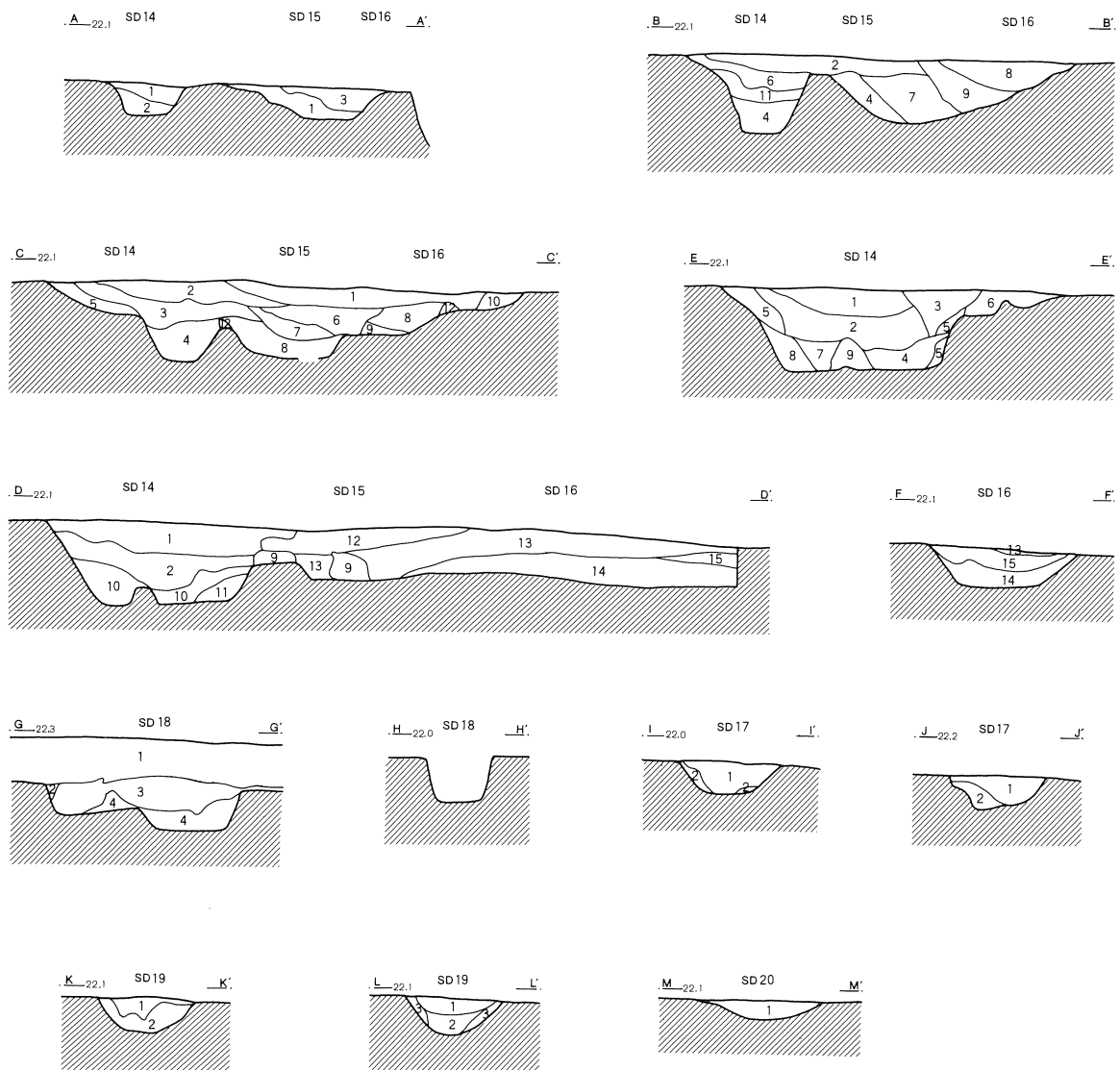
第25号溝(第231・232図)

BC-20～23グリッドに位置する。第24号溝と平行し、東端付近ではこれと重複している。また、第26・27号溝とそれぞれ直交する。溝両端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約31.5m、幅約1.1～2.4m、深さ約30cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第228图 A区沟(3)



第229図 A区溝(4)



- SD 14~16 (A-A')
- 1 黒色土 黄褐色土粒子若干含む 締まり強い
 - 2 黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
 - 3 黒褐色土

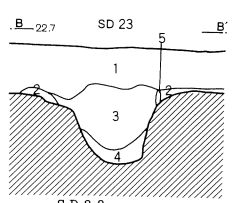
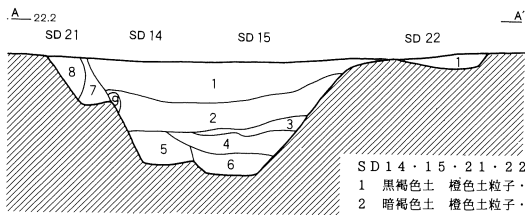
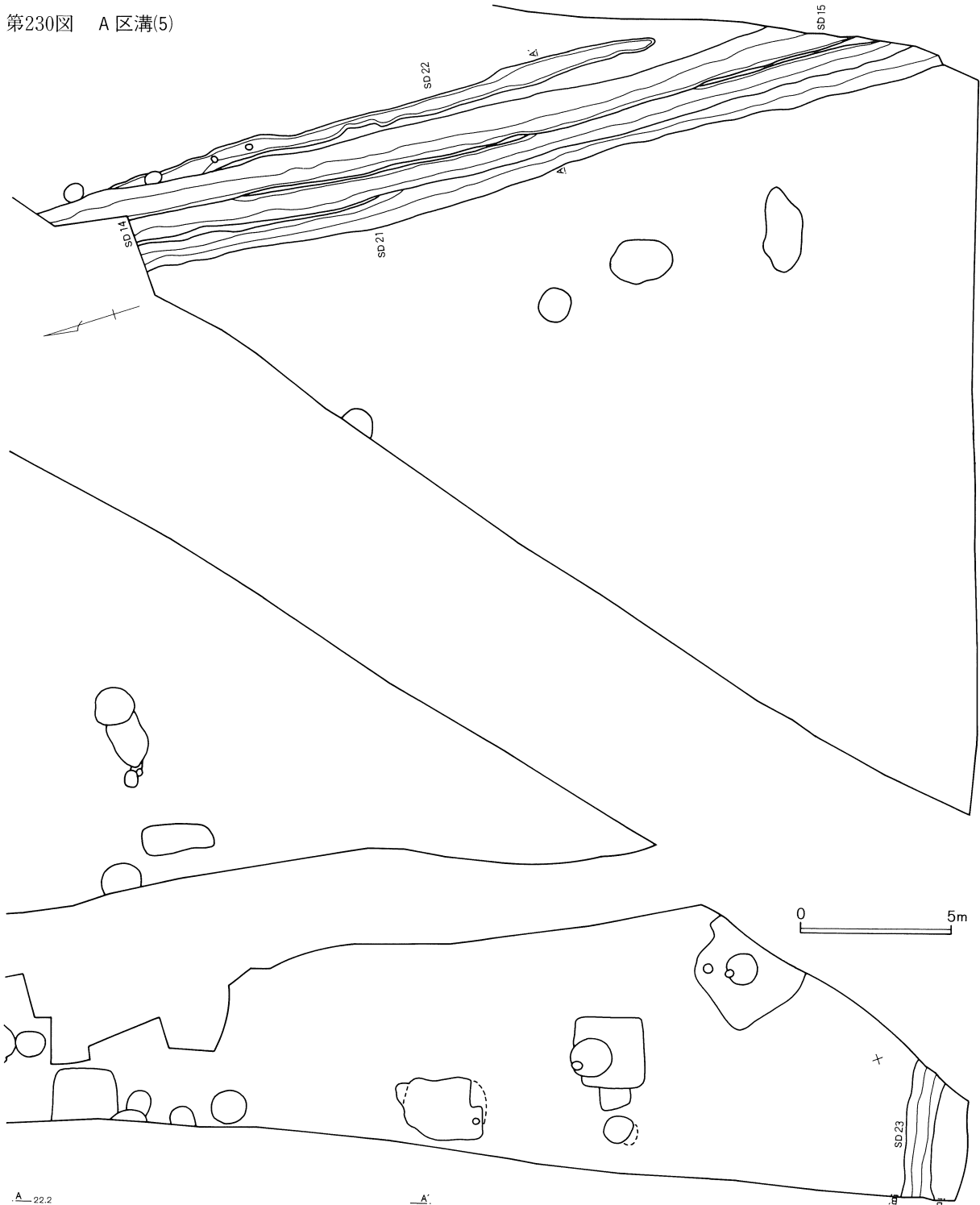
- SD 14~16 (B-B'・C-C')
- 1 灰褐色土 黄褐色土粒子含む
 - 2 淡黒褐色土 黄褐色土粒子・カーボン粒子微量含む
 - 3 淡黒褐色土 黄褐色土若干含む やや締まり強い
 - 4 黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む 砂質
 - 5 淡黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む
 - 6 濃褐色土
 - 7 黒褐色土
 - 8 暗灰色土
 - 9 暗褐色土
 - 10 灰褐色土 黄褐色土粒子多く含む
 - 11 黒褐色土 黄褐色土・黄褐色土粒子含む
 - 12 ローム・粘土混合層

- SD 14~16 (D-D'・E-E'・F-F')
- 1 暗赤褐色土
 - 2 黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
 - 3 黒褐色土 締まりなし
 - 4 黒褐色土 締まり強い
 - 5 黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む
 - 6 暗赤褐色土 黄褐色土極多く含む
 - 7 極暗赤褐色土 黄褐色土粒子若干含む 締まり強い
 - 8 灰褐色土 黄褐色土粒子若干含む 締まり強い
 - 9 黒褐色土 粗粒 締まりあり
 - 10 極暗赤褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
 - 11 極暗赤褐色土 黄褐色土ブロック極多く含む
 - 12 鈍赤褐色土 黄褐色土粒子微量含む 極締まり強い
 - 13 鈍褐色土 黄褐色土粒子微量含む 極締まり強い 砂質土
 - 14 褐灰色土 粘土質
 - 15 褐灰色土 粘土

- SD 18
- 1 赤褐色土 表土
 - 2 暗茶褐色土 赤褐色土含む
 - 3 黒褐色土 ローム粒子含む やや粘質
 - 4 黒褐色土 ロームブロック多く含む やや粘質 締まりあり

- SD 17 (I-I')
- 1 黄褐色土 ロームに褐色土少量混入 粗粒
 - 2 暗黄褐色土
- SD 17 (J-J')
- 1 青灰褐色土 やや締まりあり 粘質
 - 2 黒褐色土 ローム粒子・ブロック含む 締まりあり
- SD 19 (K-K')
- 1 黒褐色土 ロームブロック含む
 - 2 茶褐色土 ロームブロック含む 黒褐色土斑状に含む
- SD 19 (L-L')
- 1 黒褐色土 締まり強い
 - 2 黒褐色土 極締まり強い
 - 3 褐色土
- SD 20
- 1 暗褐色土 締まり強い

第230図 A区溝(5)



SD 14・15・21・22

- 1 黒褐色土 橙色土粒子・カーボン粒子若干含む 締まり強い
- 2 暗褐色土 橙色土粒子・カーボン粒子多く含む 締まり強い
- 3 暗褐色土 黄褐色土極多く含む
- 4 暗褐色土 黄褐色土・橙色土・黄褐色土粒子多く含む
- 5 暗褐色土 黄褐色土多く含む 粗粒
- 6 暗褐色土 砂質
- 7 黒褐色土 橙色土粒子・暗褐色土多く含む
- 8 黒褐色土 締まりなし
- 9 褐色土

SD 23

- 1 暗褐色土 表土
- 2 暗赤褐色土
- 3 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む 粗粒
- 4 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む 粗粒 やや締まり強い
- 5 暗赤褐色土 黄褐色土・褐色土多く含む

第231図 B区溝(I)



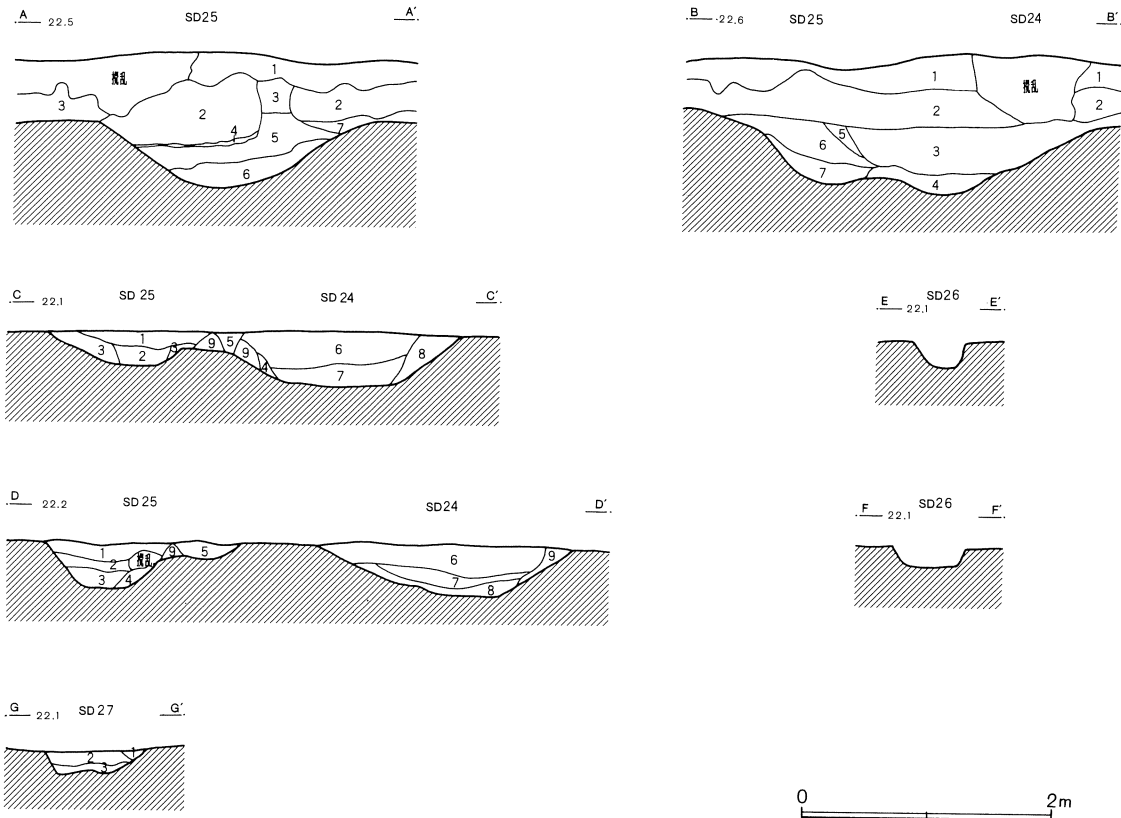
第26号溝(第231・232図)

BB・BC・BD-21グリッドに位置する。溝北端は調査区域外へ延び、BC-21グリッドで第24・25号溝と重複する。第27号溝と平行している。確認できた長さは約25m、幅約0.6m、深さ約20cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第27号溝(第231・232図)

BB-21、BC・BD-20・21グリッドに位置する。溝北端は調査区域外へ延び、BC-22グリッドで第24・25号溝と重複し、第26号溝と平行している。南端は東側へほぼ直角に屈曲し、第51号土坑に切られている。確認できた長さは約20m、幅約0.5m、深さ約16cmを

第232図 B区溝(2)



SD 25 (A-A')

- 1 耕作土
- 2 黒褐色土 小砂利・ローム粒子・粘土多く含む 締まりあり
- 3 黒褐色土 小砂利・炭化物若干含む 締まりあり
- 4 灰色粘土
- 5 黒褐色土 小砂利・炭化物・ローム粒子含む やや締まりあり
- 6 黒褐色土 ローム粒子含む やや締まりあり
- 7 明褐色土 締まりなし

SD 24・25 (B-B')

- 1 盛土
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子・橙色土粒子・カーボン粒子多く含む 白色粒子若干含む 締まり強い
- 3 暗褐色土 黄褐色土粒子・橙色土粒子若干含む
- 4 黒褐色土 黄褐色土粒子若干含む
- 5 暗褐色土 褐色土多く含む 締まりやや強い
- 6 黒褐色土 黄褐色土粒子若干含む
- 7 暗褐色土 黄褐色土粒子極多く含む 粗粒

SD 24・25 (C-C')

- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む
- 3 褐色土 黄褐色土多く含む
- 4 褐色土 黄褐色土極多く含む
- 5 暗褐色土 やや粗粒
- 6 黒褐色土
- 7 極暗褐色土
- 8 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む 粗粒
- 9 暗黄色土

SD 24・25 (D-D')

- 1 黒褐色土 黄褐色土粒子若干含む
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子多量含む 締まりやや強い
- 3 黒褐色土 黄褐色土粒子・同土多く含む 粗粒 締まりやや強い
- 4 暗褐色土
- 5 黒褐色土
- 6 黒褐色土 締まり強い
- 7 極暗褐色土 締まり極強い
- 8 極暗褐色土 褐色土・黄褐色土含む 締まり強い
- 9 黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む

SD 27 (G-G')

- 1 暗褐色土 ローム粒子若干含む 締まりなし
- 2 黒褐色土 小砂利僅かに含む
- 3 黒褐色土 ロームブロック多く含む

測る。断面形は逆台形を呈する。

第28号溝(第233・234図)

BG・BH-19~21グリッドに位置する。溝両端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約15m、幅約1.7~2.4m、深さ約0.4~0.5cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第235図)

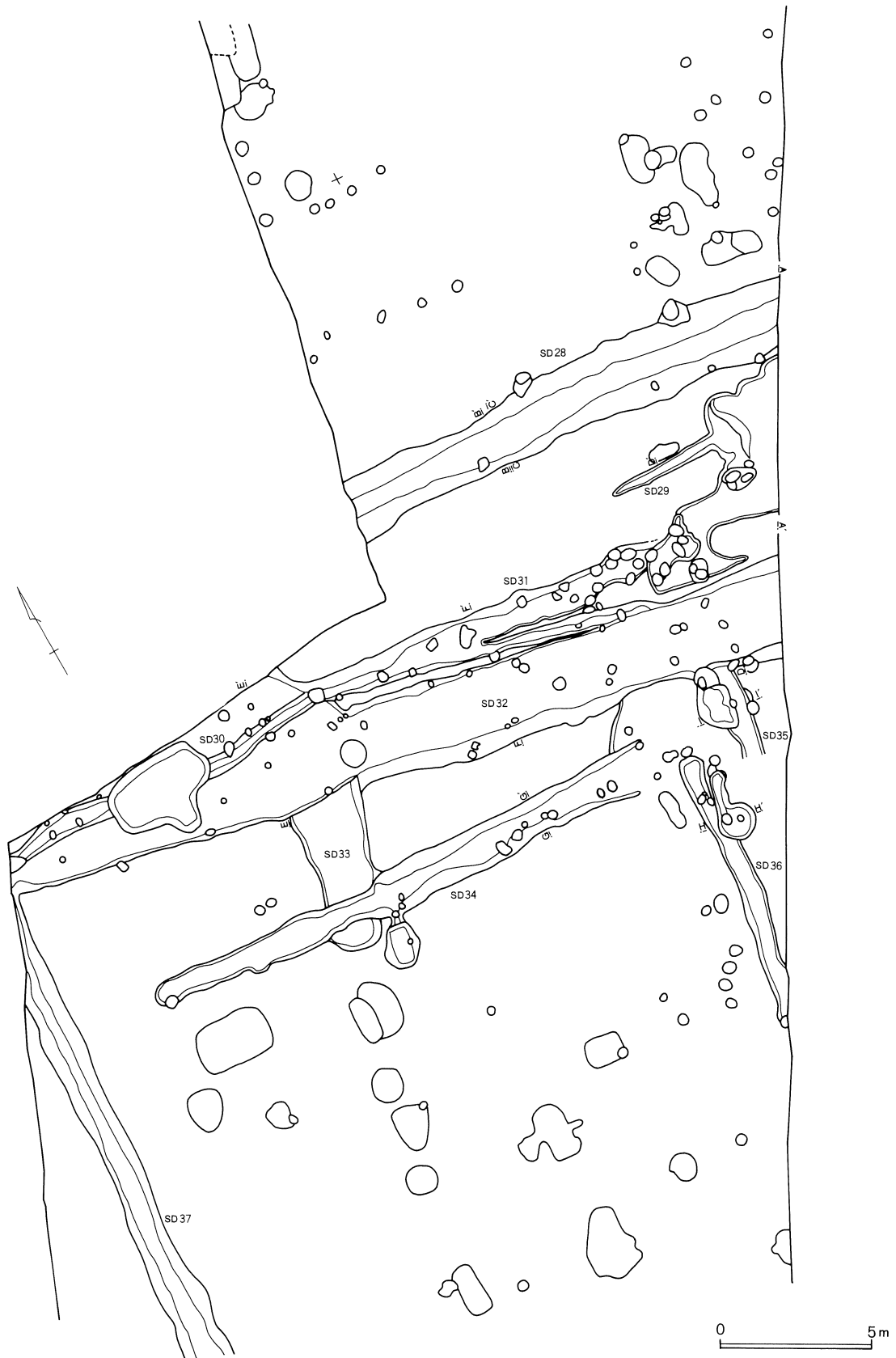
板碑が、溝北壁より伏せた状態で出土した。上部は欠損しているが、基部までの遺存全長72cm、幅26.5~

27.0cm、厚さ3.0cm、基部は長さ22cm、幅17cmを測る。

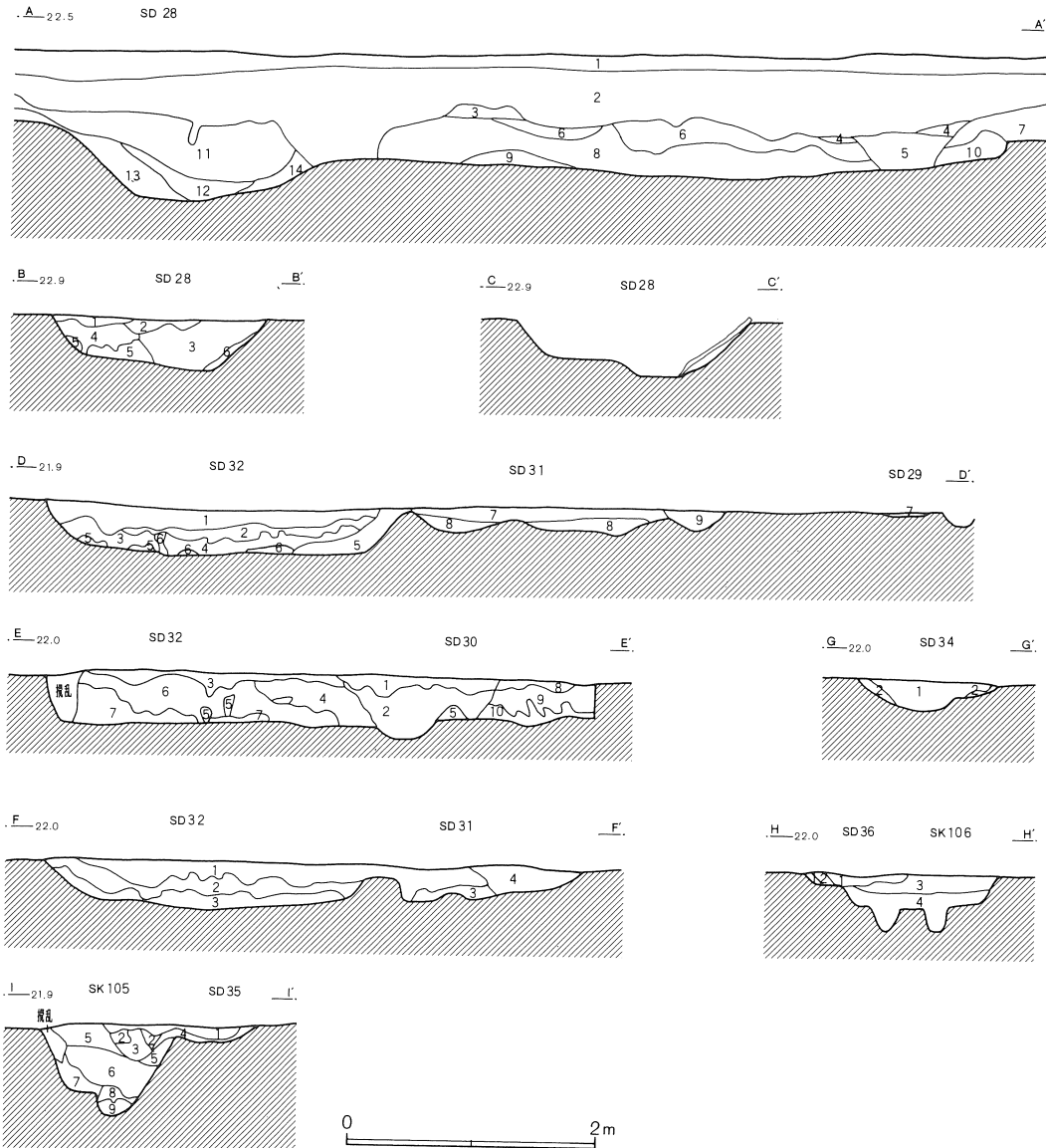
主尊種子はキリーク(阿弥陀)で、独尊形式で、月輪と蓮座を持つ。銘文は中央に「應永二年(「乙」、「亥」)十月日」、右側の二行と左側の二行に分かれて、光明真言が記され、右側の二行の梵字の下に「法因禪門」、左側の二行の梵字の下に「逆修敬白」と刻まれている。枠線が施され、割付線が残る。

應永二年は、1395年にあたる。

第233図 B区溝(3)



第234図 B区溝(4)



SD 28 (A-A')

- 1 碎石
- 2 表土
- 3 褐色土 砂利・砂粒子多く含む 締まり強い
- 4 黒褐色土
- 5 黒褐色土 ローム粒子・炭化物若干含む 締まり強い
- 6 褐色土 ローム粒子多量、小砂利・赤色土粒子含む 締まりあり
- 7 黒褐色土 ローム粒子僅かに含む
- 8 褐色土 ローム少し含む 締まり弱い
- 9 褐色土 ローム粒子多く、白色粒子含む 締まりあり
- 10 黄褐色土
- 11 黒褐色土 締まり強い
- 12 黒褐色土 締まり強い
- 13 黒褐色土 締まり強い
- 14 褐色土 ローム・砂粒子含む 締まり強い

SD 28 (B-B')

- 1 黒褐色土 小石・炭化物粒子含む やや締まりあり
- 2 黒褐色土 小石少量含む やや締まりあり
- 3 黒褐色土 礫多く含む 締まりなし
- 4 黒褐色土 炭化物粒子、礫若干含む やや締まりあり
- 5 褐色土 白色粒子多く含む 締まり強い
- 6 黒褐色土 締まりなし

SD 29・31・32 (D-D')

- 1 極暗褐色土
- 2 極暗褐色土 焼土極多く含む
- 3 黒褐色土
- 4 黒褐色土 やや締まりあり
- 5 褐色土 黒褐色土若干含む
- 6 暗褐色土 褐色土極多く含む
- 7 褐色土 褐色土土粒若干含む 締まり強い
- 8 暗褐色土 締まり強い
- 9 極暗赤褐色土 締まり強い

SD 30・32 (E-E')

- 1 黒褐色土 ローム粒子・白色粒子多く含む 締まりあり
- 2 黒褐色土 小石多く含む やや締まり弱い
- 3 黒褐色土 小石若干含む
- 4 黒褐色土 炭化物・ローム粒子若干含む 締まり弱い
- 5 暗褐色土 ローム崩土・黒褐色土含む 締まり弱い
- 6 黒褐色土 炭化物・ローム粒子若干含む 締まりあり
- 7 暗褐色土 ローム粒子多く含む 締まりあり
- 8 黒褐色土 ローム粒子僅かに含む やや締まりあり
- 9 黒色土 ローム粒子僅かに含む 極細粒 やや締まりあり
- 10 暗褐色土 粘性あり

SD 31・32 (F-F')

- 1 黒褐色土 ロームブロック・灰黒色土ブロック含む
- 2 黒褐色土 ロームブロック若干含む
- 3 極暗褐色土 赤色粒層状に含む やや締まりあり
- 4 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子含む

SD 34 (G-G')

- 1 暗褐色土 ローム粒子・炭化物粒子含む
- 2 褐色土

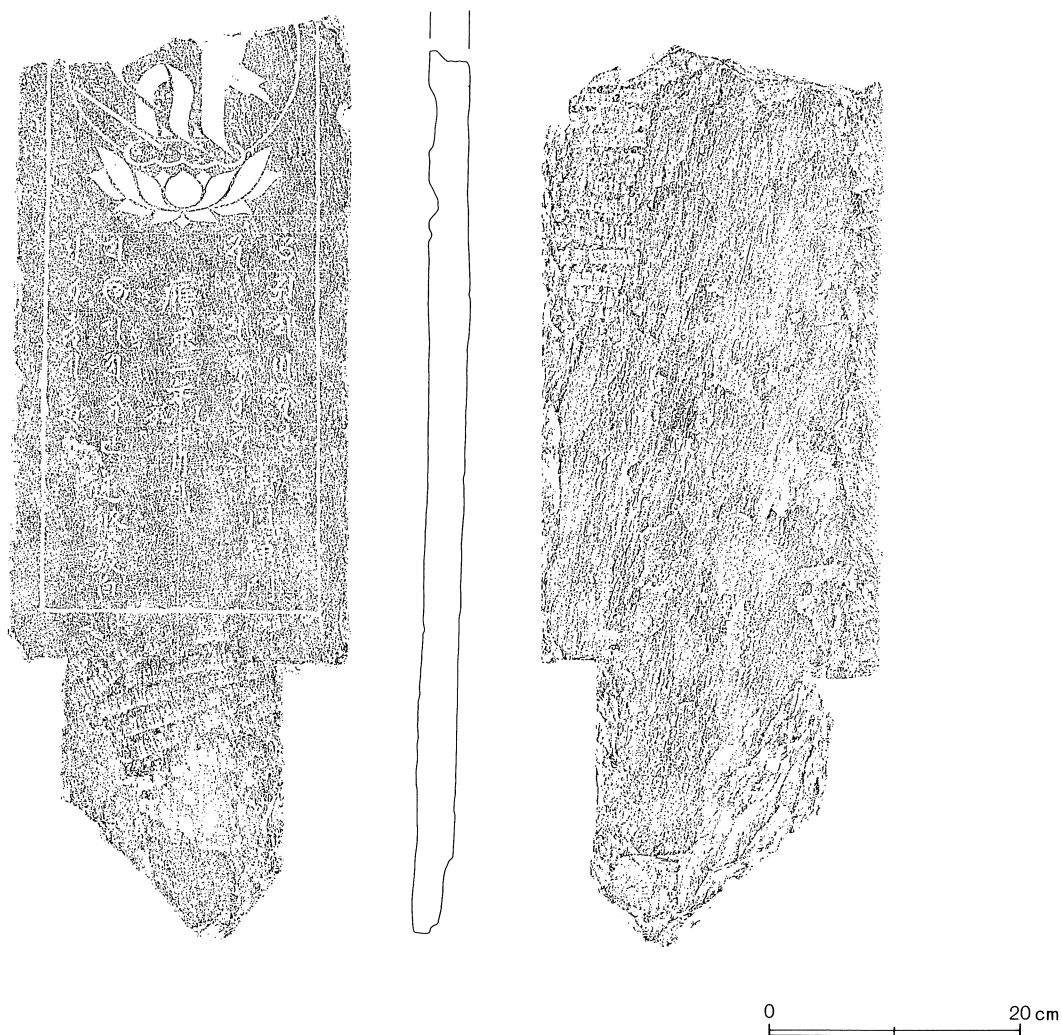
SD 36・SK106 (H-H')

- 1 暗赤褐色土 締まりやや弱い
- 2 黒褐色土
- 3 暗赤褐色土 締まりやや強い
- 4 暗赤褐色土 黄褐色土若干含む

SD 35・SK105 (I-I')

- 1 黒褐色土 ローム粒子若干含む
- 2 褐色土 ローム粒子多量含む
- 3 暗褐色土 黒色土粒子若干含む やや締まりあり
- 4 黄褐色土
- 5 暗褐色土
- 6 褐色土
- 7 暗褐色土
- 8 褐色土
- 9 極暗褐色土

第235図 第28号溝出土板碑

**第29号溝(第233・234図)**

BH-20グリッドに位置する。溝東端は攪乱されているが、調査区域外へ延びているものと思われる。確認できた長さは約3.8m、幅約0.3m、深さ約4cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第30号溝(第233・234図)

BH-17~20グリッドに位置する。第31・32号溝及び第103号土坑と重複する。溝西端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約11m、幅約0.5m、深さ約50cmを測る。

第31号溝(第233・234図)

BH-19・20グリッドに位置する。第30・32号溝及び第103号土坑と重複する。溝西端は調査区域外へ延びている。東端は攪乱されているが、調査区域外へ延

びているものと思われる。確認できた長さは約23m、幅約1.1m、深さ約20cmを測る。

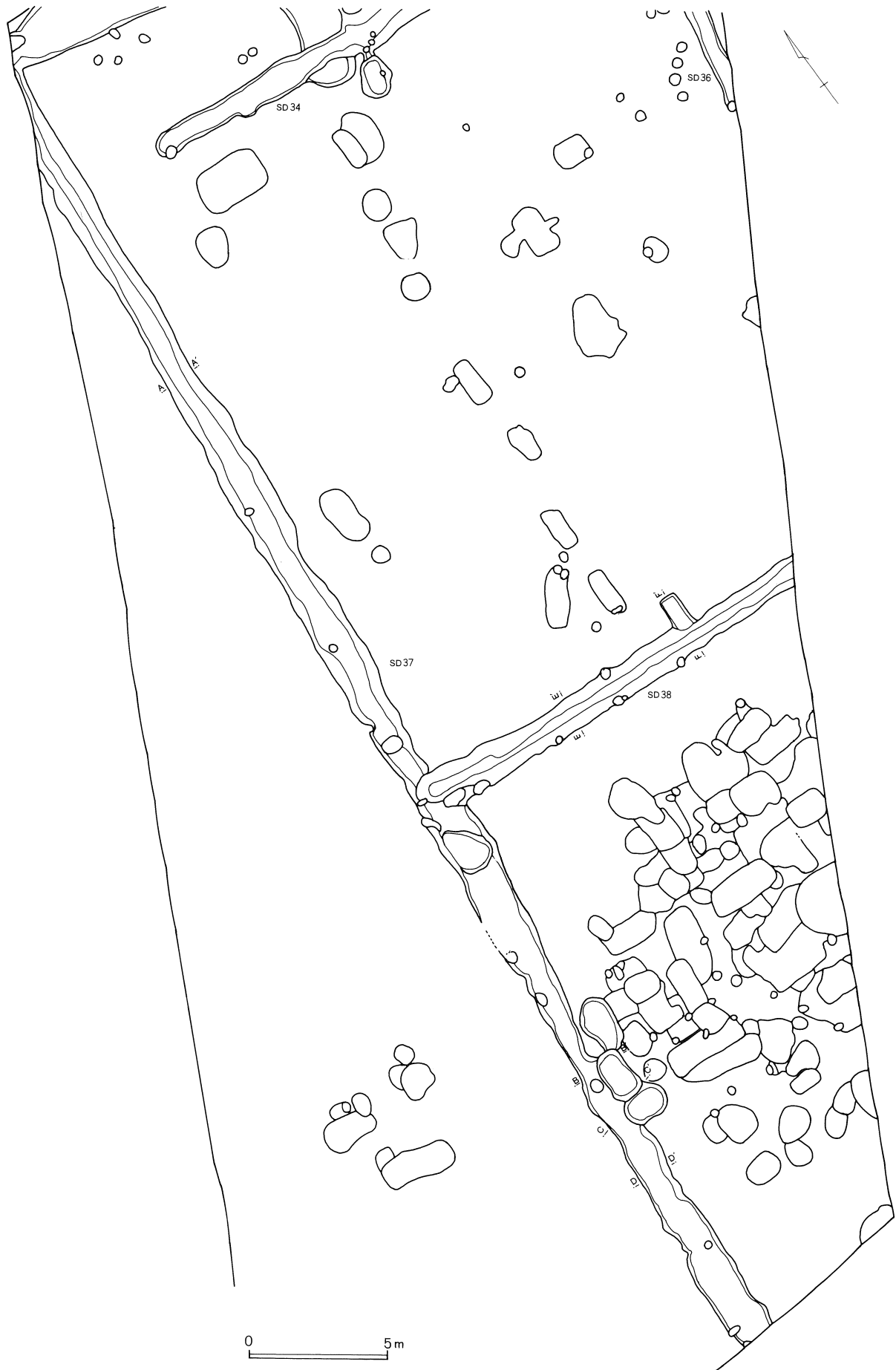
第32号溝(第233・234図)

BH-17~20、BI-20グリッドに位置する。第30・31・33・35号溝及び第103号土坑と重複する。溝両端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約27m、幅約3.0m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

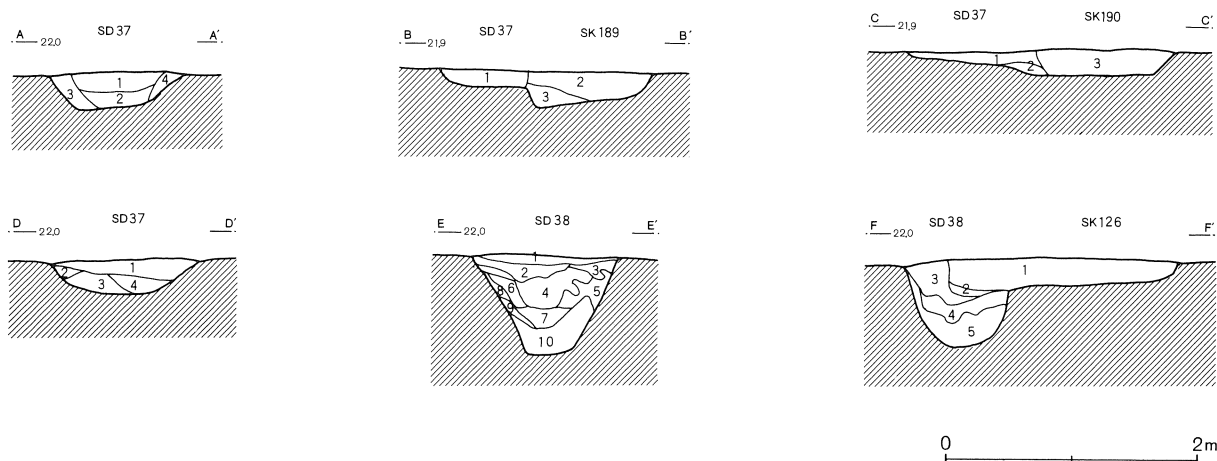
第33号溝(第233図)

BH・BI-18・19グリッドに位置する。溝北端を第32号溝に切れ、南端付近を第34号溝に切られている。確認できた長さは約5m、幅約2.4m、深さ約16cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第236图 B区沟(5)



第237図 B区溝(6)



SD 37 (A-A')

- 1 暗褐色土 粗粒
- 2 暗褐色土 締まり強い
- 3 暗褐色土 褐色土若干含む
- 4 暗褐色土 締まりなし

SD 37・SK 189 (B-B')

- 1 褐色土 白色粒子若干含む 締まり強い
- 2 暗褐色土 褐色土粒子含む
- 3 褐色土 やや締まり強い

SD 37・SK 190 (C-C')

- 1 暗褐色土 白色粒子含む 締まり強い
- 2 褐色土 白色粒子含む 締まり極強い
- 3 暗褐色土 褐色土粒子含む

SD 37 (D-D')

- 1 暗褐色土 締まり極強い
- 2 褐色土
- 3 暗褐色土 白色粒子含む 締まり極強い
- 4 褐色土 白色粒子含む 締まり極強い

SD 38 (E-E')

- 1 暗褐色土 ローム・炭化物粒子・赤色土粒子多く含む
- 2 暗褐色土 ローム含む
- 3 黒褐色土 ロームブロック・白色鉱物微粒子含む
- 4 黒褐色土 炭化物・ローム粒子含む やや締まり弱い
- 5 褐色土 ローム多く含む 締まり弱い
- 6 黒褐色土 ローム粒子少ない
- 7 暗褐色土 ローム・炭化物・赤色土粒子多く含む 締まり強い
- 8 暗褐色土
- 9 暗褐色土 ローム含む
- 10 褐色土 ロームブロック多く含む 締まり強い

SD 38・SK 126 (F-F')

- 1 黒褐色土 ローム粒子含む やや締まり弱い
- 2 黄褐色土
- 3 黒褐色土 ローム粒子少量含む やや締まり弱い
- 4 黒褐色土 ローム粒子少量含む やや締まりあり
- 5 暗褐色土 ローム・黒褐色土含む やや締まりあり

第34号溝(第233・234図)

BH-18、BI-18・19グリッドに位置する。第33号溝と重複する。溝東端は確認できなかった。確認できた長さは約17.5m、幅約0.8~1.3m、深さ約24cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第35号溝(第233・234図)

BH・BI-20グリッドに位置する。溝北端で第32号溝に切られ、また第105号土坑とも重複している。南端は確認できなかった。確認できた長さは約3m、幅約0.8m、深さ約10cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第36号溝(第233・234図)

BI-19・20、BJ-19グリッドに位置する。溝南端は調査区域外に延びている。第106号土坑に切られている。確認できた長さは約8.5m、幅約0.8m、深さ約10cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第37号溝(第236・237図)

BH・BI・BJ・BK・BL・BM-17グリッドに位置する。溝北端は第32号溝と重複して調査区域外に延び、中央付近では第38号溝と直交する。第189・190号土坑とも重複し、溝南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約52m、幅約0.6~1.4m、深さ約14~30cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

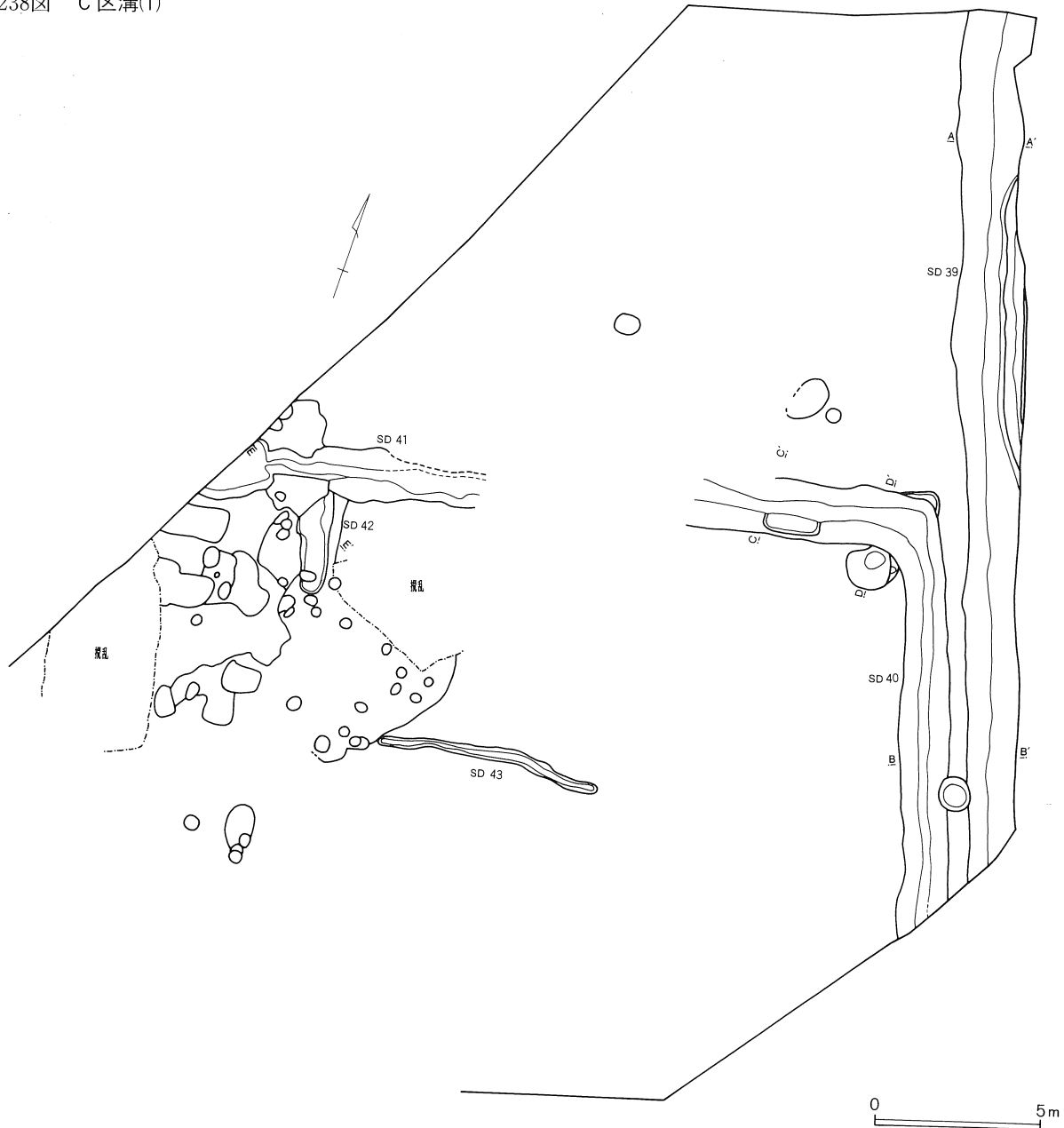
第38号溝(第236・237図)

BK-17~19グリッドに位置する。溝東端は調査区域外に延びており、西端では第37号溝と直交する。また、第126号土坑とも重複する。確認できた長さは約16m、幅約0.9~1.4m、深さ約80cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第39号溝(第238・239図)

BV・BW-11、BX-11・12グリッドに位置する。溝両端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは

第238図 C区溝(1)



約25m、幅約2.3m、深さ約0.3~0.5mを測る。断面形は逆台形を呈する。

第40号溝(第238・239図)

BW・BX-10・11、BY-11グリッドに位置する。溝西端は攪乱を受けており確認できなかった。南北方向から西に屈曲している。南端は調査区域外へ延びている。幅約1.2~1.8m、深さ約40~50cmを測る。断面形は薬研堀状を呈する。

出土遺物(第242図)

覆土中より、器台と甕底部が出土した。

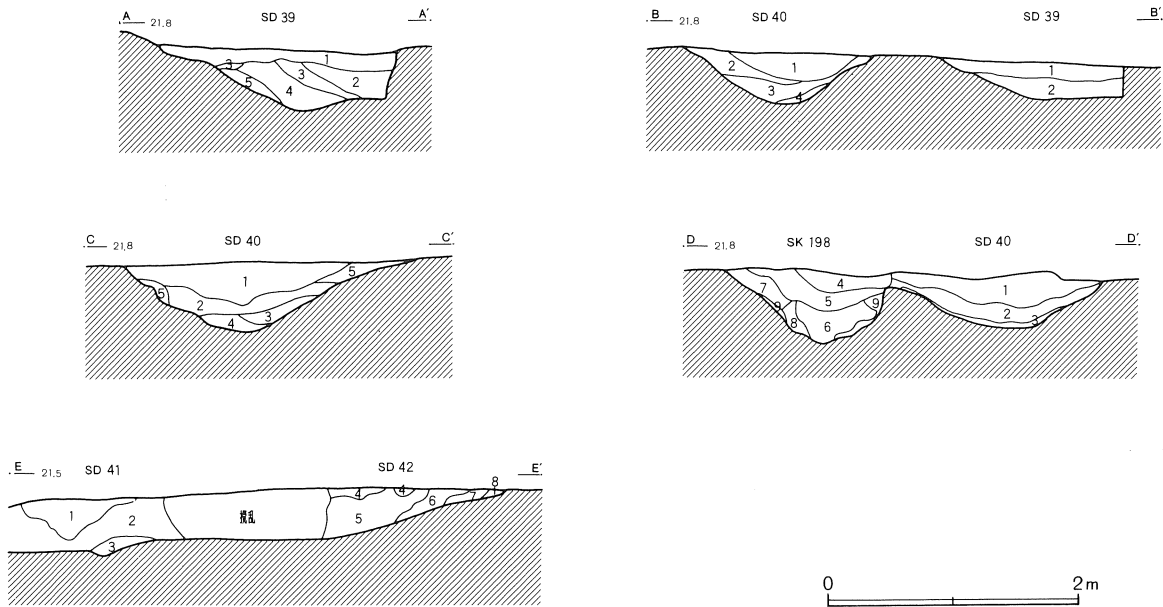
第41号溝(第238図)

BX-9・10グリッドに位置する。西端は調査区域外に延び、東端は確認できなかった。第42号溝と重複している。確認できた長さは約8m、幅約0.7~1.6m、深さ約45cmを測る。

出土遺物(第242図)

覆土中より、須恵器小型短頸壺、弥生時代の甌・甕が出土した。4・5は甕の口縁部で、口唇部内面に刻み目が施され、4は内面に横刷毛が認められた。

第239図 C区溝(2)



SD 39 (A-A')

- 1 褐色土
- 2 褐色土 ロームブロック微量含む 締まり強い
- 3 鈍黄褐色土
- 4 暗褐色土 黄褐色土粒子多量含む 締まり強い
- 5 褐色土 締まり強い

SD 39 (B-B')

- 1 褐色土 微小礫粒子含む
- 2 褐色土 微小礫粒子・小礫若干含む 締まり極強い

SD 40 (B-B')

- 1 暗褐色土 黄褐色土・黄褐色土粒子多く含む
- 2 黒褐色土
- 3 暗褐色土 極締まり強い
- 4 黒褐色土 黄褐色土若干含む やや締まり強い

SD 40 (C-C')

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土多く含む
- 2 黒褐色土 黄褐色土若干含む
- 3 暗褐色土 やや締まりあり
- 4 褐色土 粗粒 やや締まりあり
- 5 暗褐色土 黄褐色土若干含む 締まり極強い

SD 40・SK 198 (D-D')

- 1 黒褐色土 炭化物僅か、ロームブロック含む
- 2 黒褐色土 ローム僅かに含む
- 3 黒褐色土 ロームブロック含む
- 4 黒褐色土 焼土粒子若干含む
- 5 黒褐色土 焼土粒子・ローム粒子やや多く、小砂利含む 締まりあり
- 6 黒褐色土 ローム僅か、小砂利多く含む やや締まりあり
- 7 黒褐色土 焼土粒・小砂利若干含む 締まり弱い
- 8 黒褐色土
- 9 黒褐色土 ローム粒子若干、小砂利含む

SD 41・42 (E-E')

- 1 鈍黄褐色土 白色鉱物粒子・砂利・ローム粒子多く含む 締まりあり
- 2 褐色土 小砂利若干、ローム粒子多く含む 締まりあり
- 3 暗褐色土 締まりあり
- 4 暗褐色土 小砂利・白色鉱物粒子若干含む 締まりあり
- 5 黒褐色土 白色鉱物粒子・ローム粒子若干含む 締まりあり
- 6 褐色土 ロームブロック多く含む 締まりあり
- 7 黄褐色土 ロームブロック多く含む
- 8 鈍黄褐色土 ロームブロック多く含む 締まり弱い

第42号溝(第238・239図)

BX-9グリッドに位置する。北端で第41号溝と重複している。確認できた長さは約3m、幅約1.0m、深さ約40cmを測る。

出土遺物(第242図)

甕の口縁部で、復元口径20.0cmを測る。折り返し口縁で一部に小突起が見られる。胎土には、白色針状物質が認められた。

第43号溝(第238図)

BX・BY-10グリッドに位置する。規模は約6.5m、幅約0.4m、深さ約10cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第44号溝(第240・241図)

BZ・CA-7・8、CB-8~10グリッドに位置する。東西から北へ屈曲し、溝北端は調査区域外へ延び

る。規模は長さ約33m、幅約0.6~1.1m、深さ約40cmを測り、断面形は薬研堀状を呈する。

第45号溝(第240図)

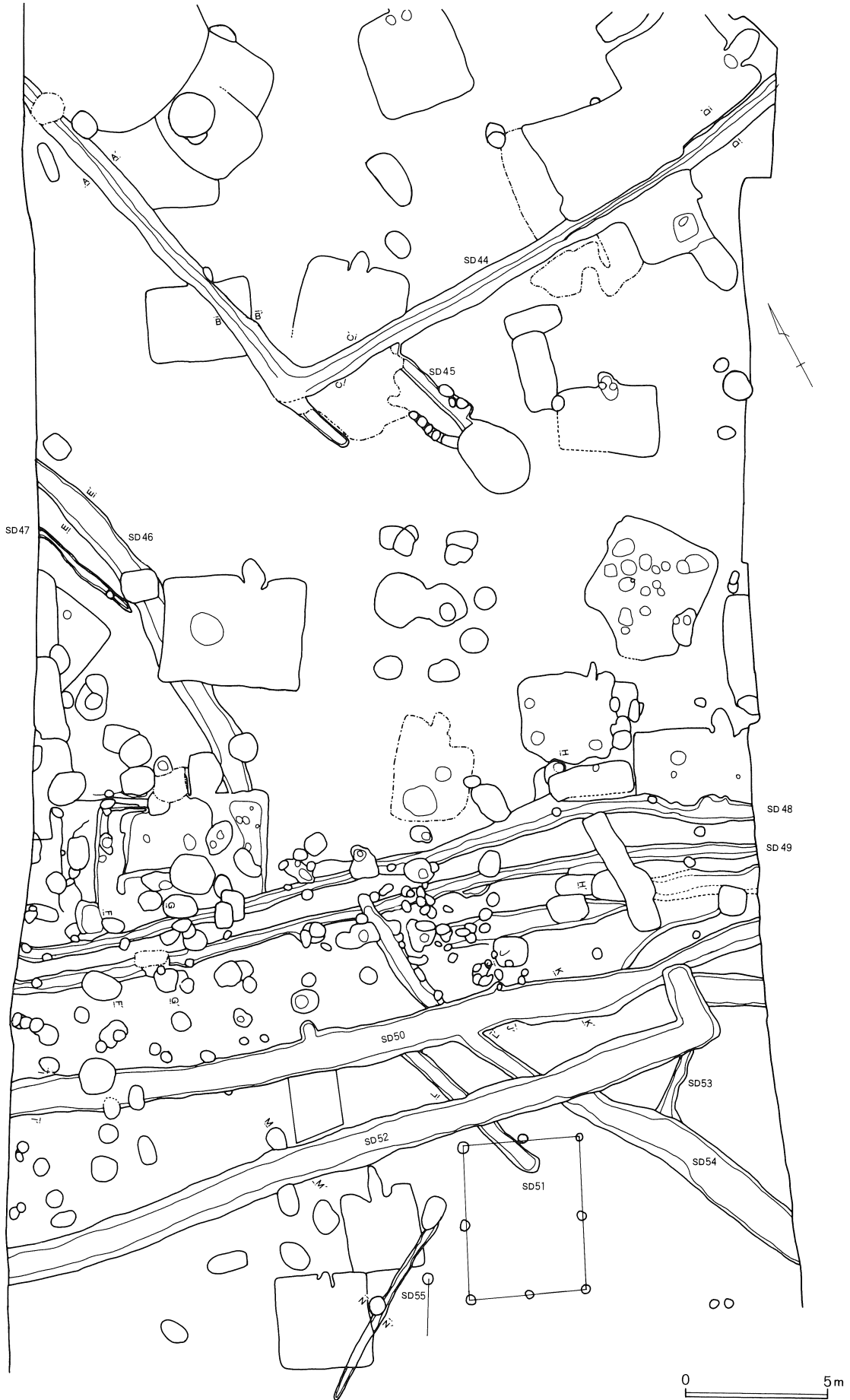
CB-8グリッドに位置する。第1号地下式壙と重複している。確認できた長さは約3m、幅約0.5m、深さ約16cmを測り、断面形は皿状を呈する。

第46号溝(第240・241図)

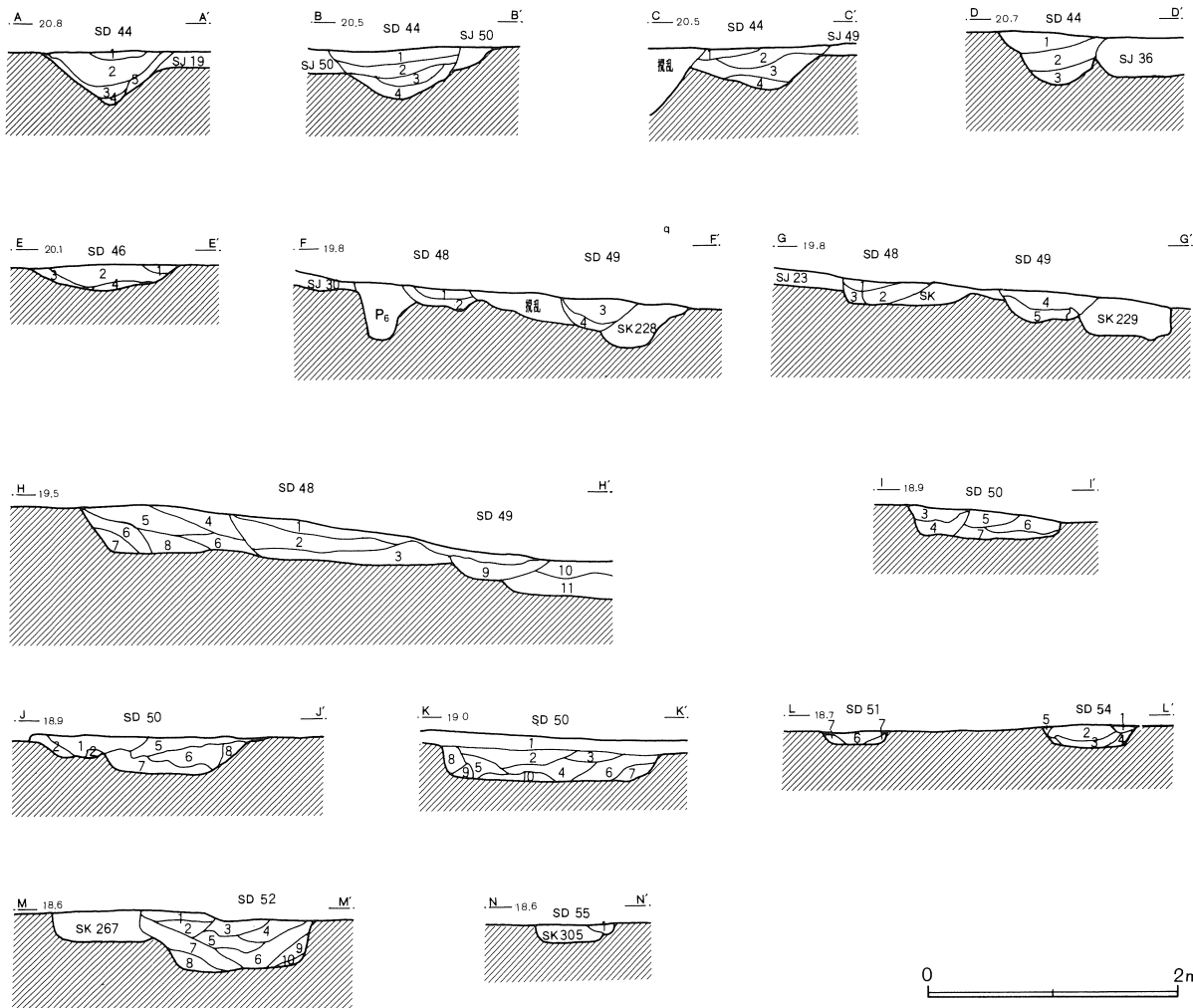
CB・CC-7グリッドに位置する。第30・40号住居跡及び第253・254号土坑と重複し、溝北端は調査区域外へ延びている。幅約1.1m、深さ約20cmを測る。断面形は皿状を呈する。

覆土中より、弥生時代の土器片、中世土器片が出土した。

第240图 C区沟(3)



第241図 C区溝(4)



- SD 4 4 (A-A')
- 1 黒褐色土 ローム粒子多く、焼土・炭化物僅かに含む
 - 2 黒褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物僅かに含む
 - 3 黒褐色土 ローム粒子含む
 - 4 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
 - 5 黒褐色土 ロームブロック僅か、炭化物若干含む

- SD 4 4 (B-B')
- 1 黒褐色土 ローム粒子・焼土粒子若干含む
 - 2 黒褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物僅かに含む
 - 3 褐色土 ローム粒子・ロームブロック多く、炭化物僅かに含む
 - 4 暗褐色土 ロームブロック若干含む

- SD 4 4 (C-C')
- 1 黒褐色土 黄褐色土粒子若干含む
 - 2 黒褐色土 ロームブロック多く含む
 - 3 黒褐色土 ローム粒子多く含む
 - 4 暗褐色土 ロームブロック・炭化物粒子若干含む

- SD 4 4 (D-D')
- 1 灰褐色土 小礫若干含む
 - 2 暗赤褐色土 黄褐色土粒子・焼土粒子若干含む
 - 3 暗赤褐色土 黄褐色土多く含む

- SD 4 6 (E-E')
- 1 黒褐色土 ローム粒子多く含む 後世の攪乱
 - 2 黒褐色土 ローム粒子僅かに含む
 - 3 黒褐色土 ローム粒子・焼土粒子僅かに含む
 - 4 褐色土 ローム粒子僅かに含む

- SD 4 8・4 9 (F-F')
- 1 黒色土 焼土・ローム粒子僅かに含む
 - 2 黒褐色土 焼土・ローム粒子多く含む
 - 3 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
 - 4 灰黄褐色土 ローム粒子・炭化物僅かに含む

- SD 4 8・4 9 (G-G')
- 1 黒色土 焼土・ローム粒子僅かに含む
 - 2 黒褐色土 焼土・ローム粒子多く含む
 - 3 褐色土 焼土粒子多く含む
 - 4 黒褐色土 焼土・炭化物・ローム粒子僅かに含む
 - 5 灰黄褐色土 ローム粒子多い 炭化物僅かに含む
 - 6 黄褐色土 ロームブロック・炭化物・黒褐色土粒子若干含む

- SD 4 8・4 9 (H-H')
- 1 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
 - 2 黒褐色土 ローム粒子多く含む 炭化物若干含む
 - 3 黒褐色土 ローム粒子多く含む 焼土・炭化物若干含む
 - 4 暗褐色土 焼土多く含む
 - 5 褐色土 ローム粒子多く含む 炭化物若干含む
 - 6 暗褐色土 ローム粒子僅かに含む 焼土・炭化物若干含む
 - 7 褐色土 ローム粒子多く含む 焼土・炭化物多く含む
 - 8 灰黄褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
 - 9 鈍黄褐色土 ローム粒子・炭化物僅かに含む
 - 10 暗褐色土 焼土僅かに含む
 - 11 暗褐色土 焼土・炭化物多く含む

- SD 5 0 (I-I'・J-J')
- 1 黒褐色土
 - 2 明黄褐色土
 - 3 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む
 - 4 灰黄褐色土 黒色土粒子多く含む 鉄分含む
 - 5 暗褐色土
 - 6 黒褐色土
 - 7 褐色土
 - 8 黒褐色土

- SD 5 0 (K-K')
- 1 灰黄褐色土 表土 焼土粒子僅かに含む
 - 2 鈍黄褐色土 焼土粒子若干含む
 - 3 暗褐色土 灰黄褐色土ブロック若干含む
 - 4 黒褐色土 ローム粒子・ロームブロック若干含む
 - 5 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子若干含む
 - 6 黒褐色土 焼土・炭化物若干含む
 - 7 黒褐色土 ローム粒子僅かに含む
 - 8 褐灰色土 焼土・炭化物粒子若干含む やや粘性有り
 - 9 褐色土 ロームブロック 粘性有り
 - 10 黄褐色土 炭化物若干含む 粘性有り

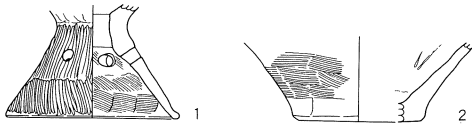
- SD 5 1・5 4 (L-L')
- 1 黒褐色土 ローム粒子・炭化物含む
 - 2 灰黄褐色土 炭化物若干含む
 - 3 灰黄褐色土 炭化物若干含む 鉄分多く含む
 - 4 鈍黄褐色土 ローム粒子多く含む
 - 5 黒褐色土 ローム粒子若干含む
 - 6 灰黄褐色土 炭化物若干含む
 - 7 黒褐色土 焼土粒子若干含む

- SD 5 2 (M-M')
- 1 灰黄褐色土 焼土・ローム粒子多く含む
 - 2 黒褐色土 焼土粒子多く含む
 - 3 鈍黄褐色土 ロームブロック含む
 - 4 暗褐色土 焼土粒子僅かに含む
 - 5 黒褐色土 ロームブロック含む 焼土・炭化物粒子若干含む
 - 6 黒褐色土 ローム粒子若干含む 焼土粒子多く含む
 - 7 黒褐色土 焼土粒子若干含む
 - 8 褐色土 砂礫多く含む 粘性有り
 - 9 暗褐色土 焼土僅かに含む
 - 10 褐色土 炭化物僅かに含む 粘性有り

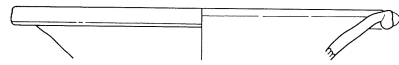
- SD 5 5 (N-N')
- 1 灰黄褐色土 炭化物僅かに含む

第242図 溝出土遺物

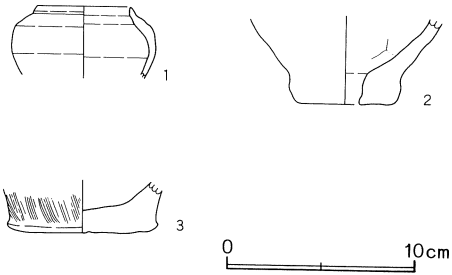
SD 40



SD 42



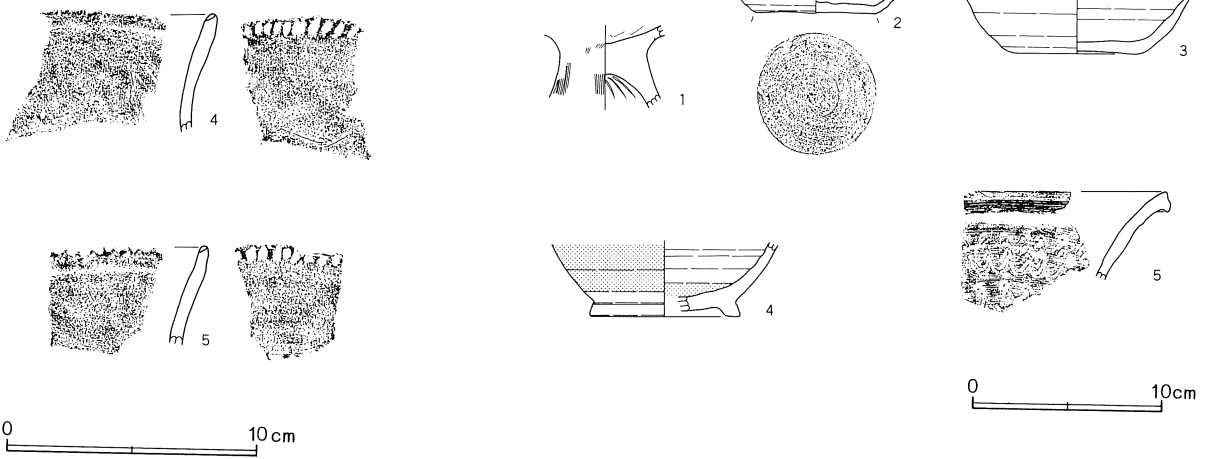
SD 41



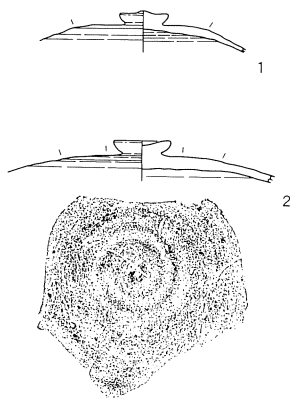
SD 48



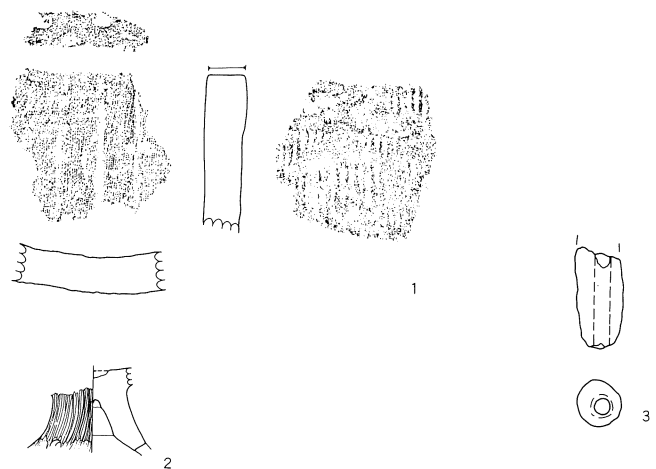
SD 49



SD 50



SD 52



0 10cm

0 10cm

第40号溝出土遺物観察表(第242図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	器台			9.2	AS	II	橙	90	円形透孔4カ所 外面縦方向磨き 内面刷毛目 外面横方向刷毛目 下端篋ナデ
2	甕			(7.0)	ABS	II	黄灰	10	

第41号溝出土遺物観察表(第242図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	短頸壺	(5.0)			A	I	灰	20	ロクロ整形 外面横ナデ 内面木口状工具ナデ 外面縦方向刷毛目 口縁部内面に横刷毛 内面に刻み目 口縁部破片 内面に刻み目
2	甌			5.0	BS	II	橙	70	
3	甕			(8.0)	ABS	II	橙	30	
4	甕				AS	III	橙	破片	
5	甕				AS	III	橙	破片	

第42号溝出土遺物観察表(第242図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
	甕	(20.0)			AS	II	鈍い黄橙	10	口縁部破片 端部に突起あり

第49号溝出土遺物観察表(第242図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	高坏	(12.0)	3.1		AS	II	橙	80	脚部外面刷毛目 RA 磨滅のため整形等不明瞭 高台部篋起こし痕 口縁部破片 外面に波状文
2	須恵器坏			6.5	AS	I	灰	100	
3	坏			(6.5)	K	III	浅黄橙	15	
4	灰釉陶器 高台付椀			8.0	-	I	灰白	15	
5	須恵器甕				B	I	褐灰	破片	

第50号溝出土遺物観察表(第242図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器蓋				AB	I	灰	45	天井部右回転篋削り 鈕径2.6cm 天井部右回転篋削り 鈕径3.0cm 内面中央付近篋記号「×」
2	蓋				AB	I	灰白	90	

第52号溝出土瓦観察表(第242図)

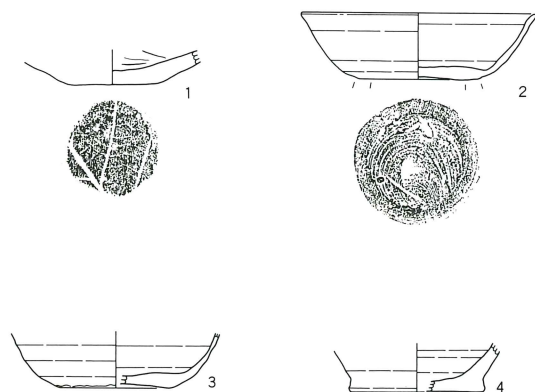
番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
1	23×25	2.5	布目痕	平行叩き 2.2cm/5本	平行叩き後横方向ナデ	ヘラ整形	2.2	S	II	浅黄

第52号溝出土遺物観察表(第242図)

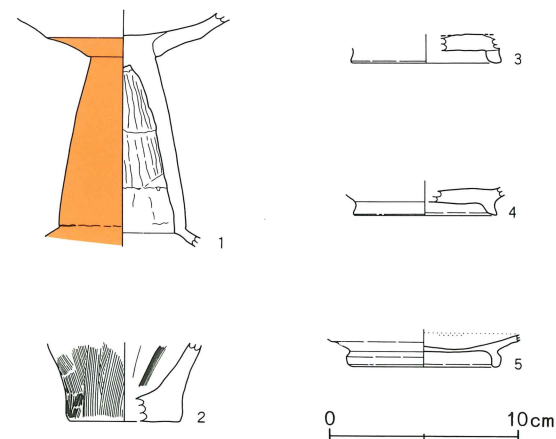
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
2	高坏				AS	II	橙	90	外面縦方向磨き 円形透孔4カ所

第243図 第53・54号溝出土遺物

SD 53



SD 54



第53号溝出土遺物観察表(第243図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	甕	(12.6)	3.5	4.8	S	II	橙	80	底部木葉痕
2	須恵器坏			6.6	ABS	I	灰	60	RBb
3	坏			(6.0)	AS	I	灰	50	RC 底部周縁篋起こし痕
4	鉢			(7.0)	—	I	褐灰	20	RC

第54号溝出土遺物観察表(第243図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	高坏			(6.0)	EJS	II	鈍い橙	40	外面脚部・坏部下半赤彩
2	甕				II	鈍い橙	45	外面縦方向刷毛目	
3	高台付坏				I	灰	40	底部右回転篋削り 高台貼付	
4	高台付坏				I	灰	40	底部回転糸切後右回転篋削り	
5	灰釉陶器 高台付皿				I	淡黄	50	内面上半施釉	

第47号溝(第240図)

CB-7グリッドに位置する。溝北端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約4m、幅約0.2~0.4m、深さ約5cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第48号溝(第240・241図)

CC-6・7、CD-7~9グリッドに位置する。溝両端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約26m、幅約0.5~1.0m、深さ約20~40cmを測る。

出土遺物(第242図)

覆土中より、軒平瓦と須恵器片が出土した。瓦は唐草文瓦で、C字状の対葉花文から連続する渦巻き状の文様が連なり、各渦巻き文ごとに外区側で棘状の文様がつく。

第49号溝(第240・241図)

CC-6・7、CD-7~9グリッドに位置する。溝両端は調査区域外へ延びている。第54号溝と重複する。確認できた長さは約26.5m、幅約0.4~0.7m、深さ約25cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第242図)

土師器高坏、須恵器坏・甕、灰釉陶器の他に、中近世陶器、古墳時代の土師器片が出土した。

第50号溝(第240・241図)

CD-6~8グリッドに位置する。調査区を横断し、確認できた長さは約27m、幅約0.7~1.5m、深さ約24cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第242図)

須恵器蓋が出土した。

第51号溝(第240・241図)

CD・CE-7グリッドに位置する。長さは約6m、幅約0.5m、深さ約10cmを測る。

覆土中より、須恵器片が出土した。

第52号溝(第240・241図)

CD-5~8、CE-7・8グリッドに位置する。長さは約29mで、東端の一部が屈曲している。幅約1.4m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第242図)

高坏、土鍾、奈良時代の瓦の他に、須恵器蓋片が出土した。土鍾は遺存長3.9cm、最大径1.8cm、孔径6mm、重量11.71gを計る。

第53号溝(第240図)

CE-8グリッドに位置する。長さは約2.5m、幅約0.4m、深さ約5cmを測る。

出土遺物(第243図)

甕底部の他に、須恵器坏・鉢が出土した。

第54号溝(第240・241図)

CD-7、CE-7・8グリッドに位置する。長さは約20m、幅約0.7~1.5m、深さ約18cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第243図)

高坏・甕底部、須恵器高台付坏、灰釉陶器皿等が出土した。

土した。

第55号溝(第240・241図)

CE-6・7グリッドに位置する。長さは7m、幅約0.3m、深さ約10cmを測る。

第56・57号溝(第244図)

CF-5・6、CG-5～7グリッドに位置する。調査区で最も低く、東から入ってくる谷状の地形である。遺物包含層状の下面で溝として確認された遺構である。溝西端で重複し、東端は調査区域外へ延びている。第56号溝の確認できた長さは19.5m、幅約0.8～1.6m、深さ約10～15cmを測る。第57号溝の確認できた長さは約25m、幅約0.2～1.1m、深さ約5cmを測る。

出土遺物(第245～254図)

すべての遺物が谷状の地形に流入したもので、第56号溝に多いことから北側から谷に向かって下る緩斜面から流入したものであると考えられる。

須恵器坏・高台付坏・蓋・椀・長頸瓶・鉢・甕・甑・甑底部、円面硯、瓦、土師器台付甕・甕、高坏、土錘、紡錘車等が多量に出土した。

第58号溝(第255図)

CI-5・6グリッドに位置する。規模は長さ5.3m、幅0.7～1.2m、深さ約18cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第59号溝(第255図)

CI-3・4グリッドに位置する。第1号方形周溝墓に隣接する。規模は長さ7m、幅0.9～1.6m、深さ約30cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第60号溝(第255図)

CI・CJ-4グリッドに位置する。南端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは4.5m、幅1.7m、深さ約18cmを測る。

第61号溝(第255図)

CI・CJ-4グリッドに位置する。南端は攪乱を受けており、確認できなかった。確認できた長さは2.5m、幅0.6m、深さ約14cmを測る。断面形は皿状を呈する。

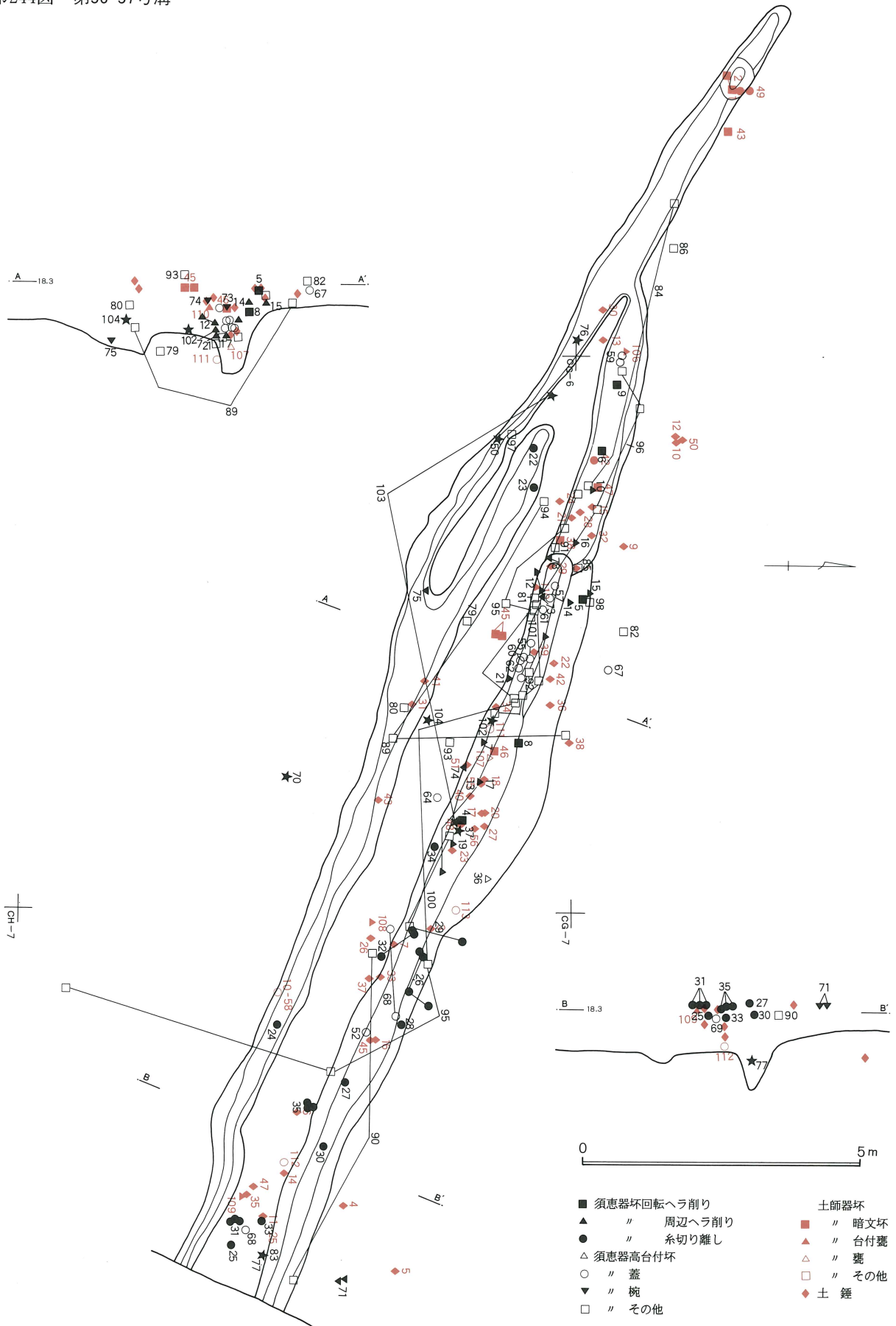
第62号溝(第255図)

CJ・CK-6グリッドに位置する。南端は調査区域外へ延びている。第3号方形周溝墓に隣接する。確認できた長さは約1.5m、幅約1.5m、深さ約10cmを測る。断面形は皿状を呈する。

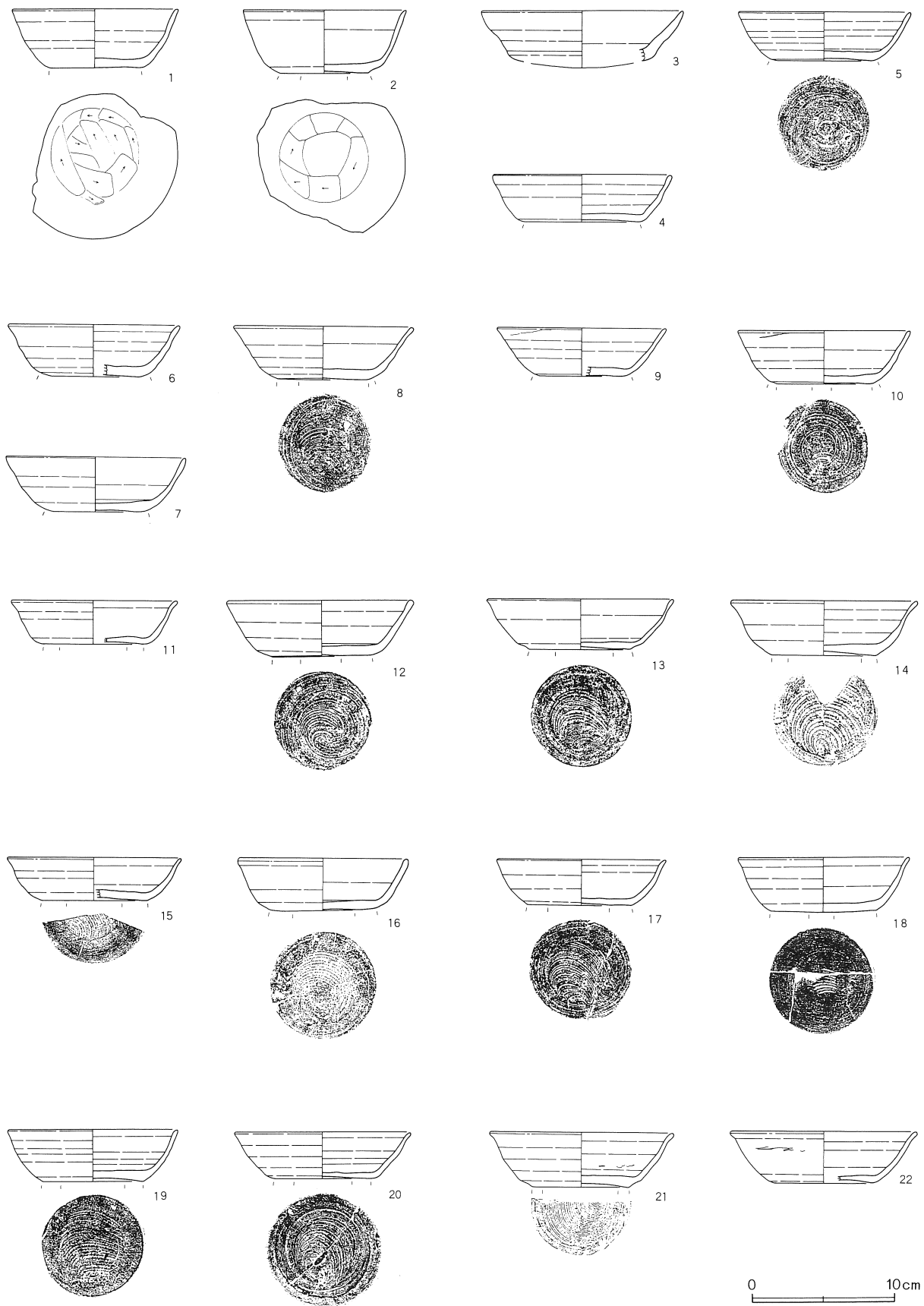
第63号溝(第255図)

CJ・CK-7グリッドに位置する。南東端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは4.5m、幅1.8～2.0m、深さ約25cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

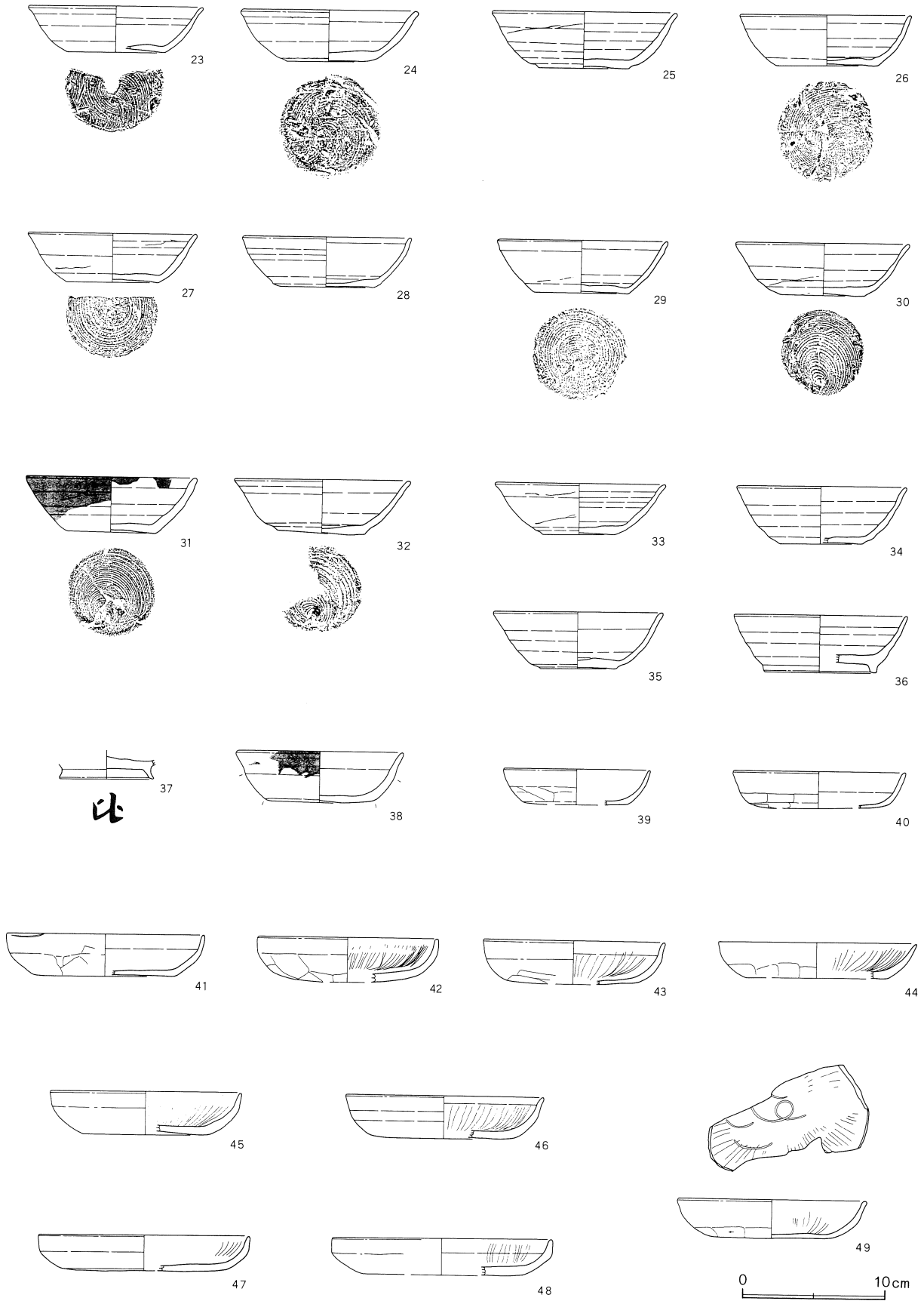
第244図 第56・57号溝



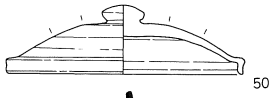
第245図 第56・57号溝出土遺物(I)



第246图 第56·57号沟出土遺物(2)

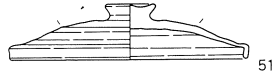


第247図 第56・57号溝出土遺物(3)

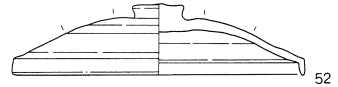


50

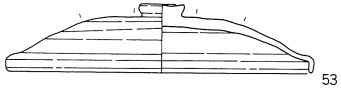
山



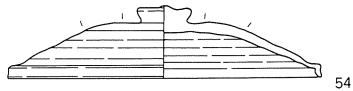
51



52



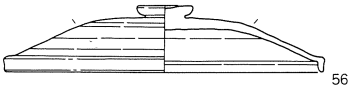
53



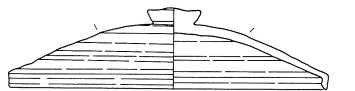
54



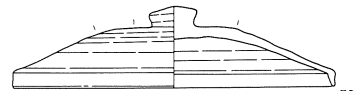
55



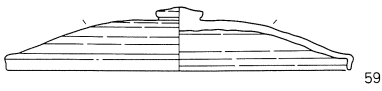
56



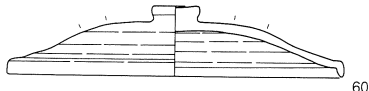
57



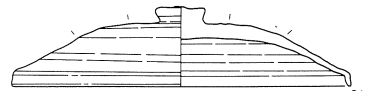
58



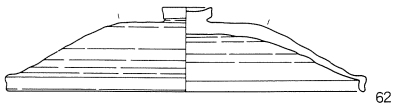
59



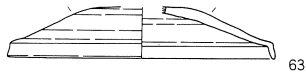
60



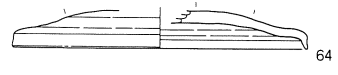
61



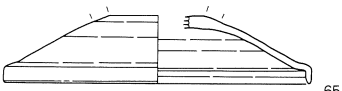
62



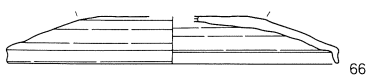
63



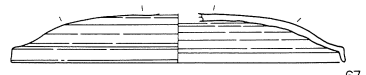
64



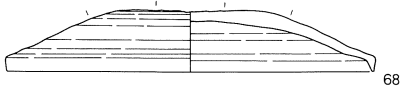
65



66



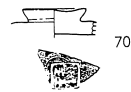
67



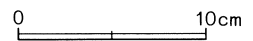
68



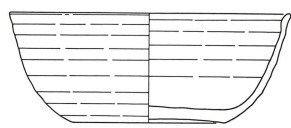
69



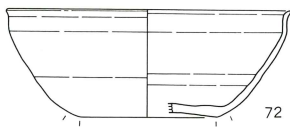
70



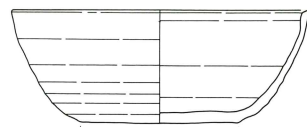
第248图 第56・57号溝出土遺物(4)



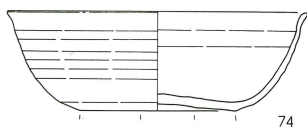
71



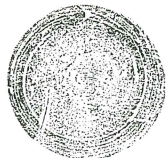
72



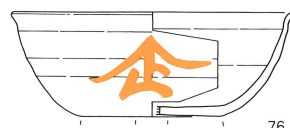
73



74



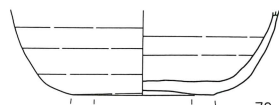
75



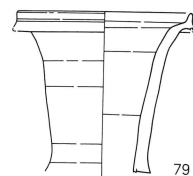
76



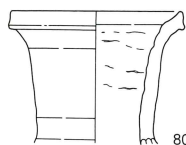
77



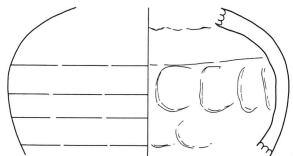
78



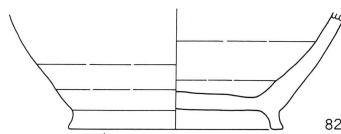
79



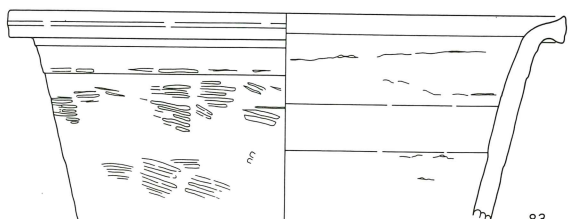
80



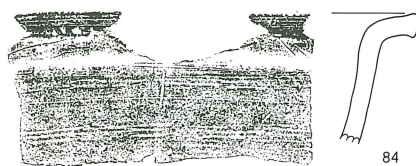
81



82



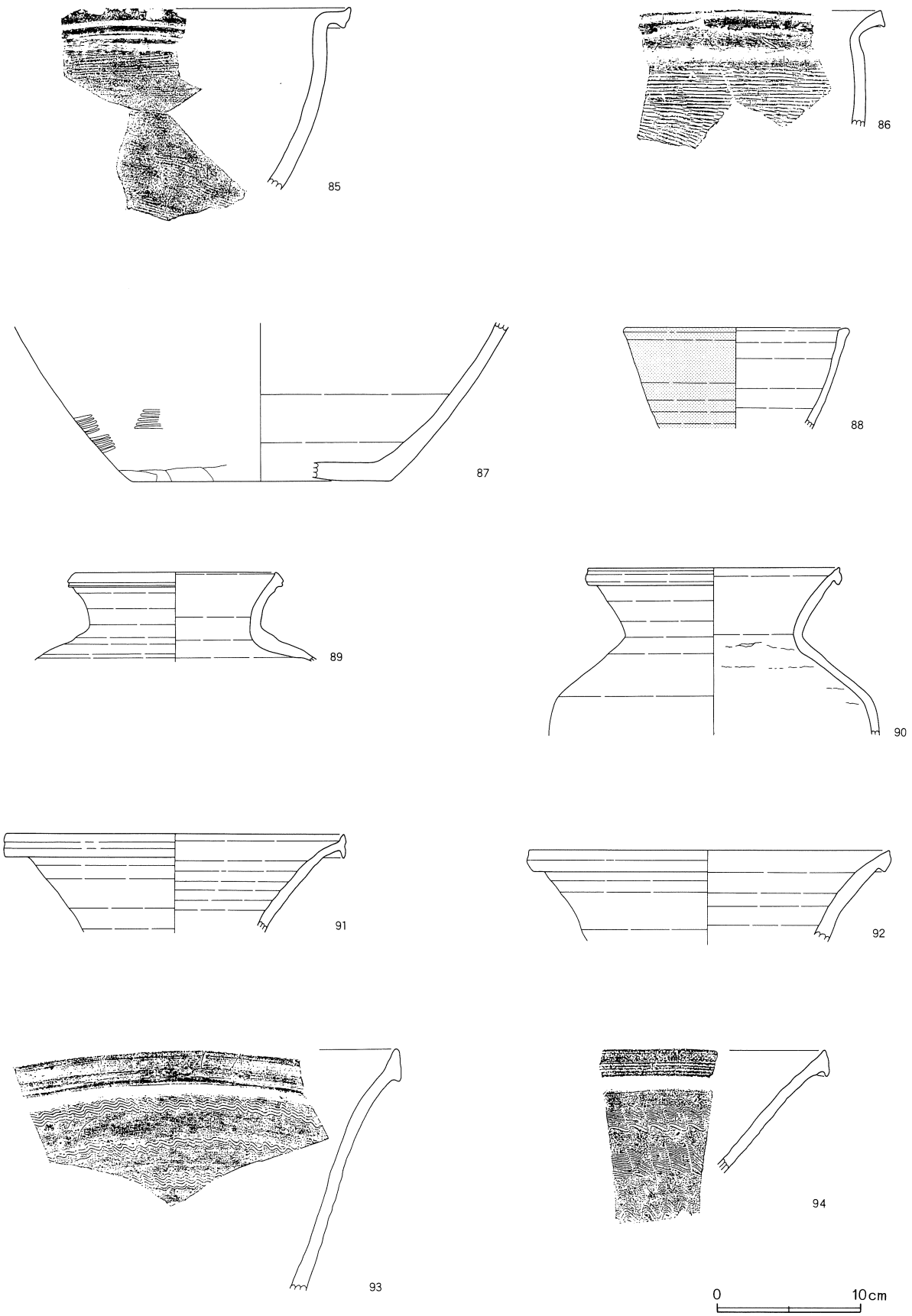
83



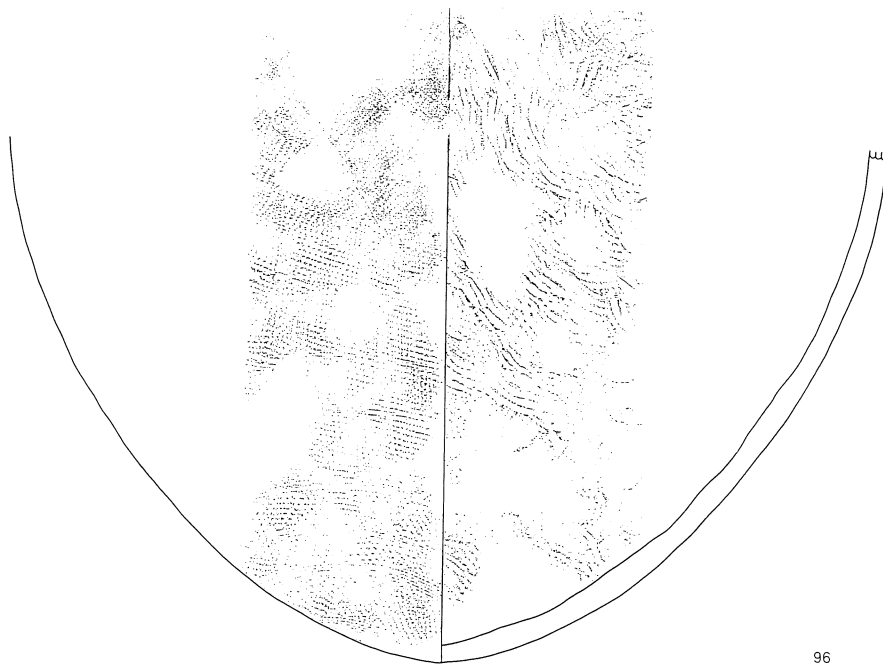
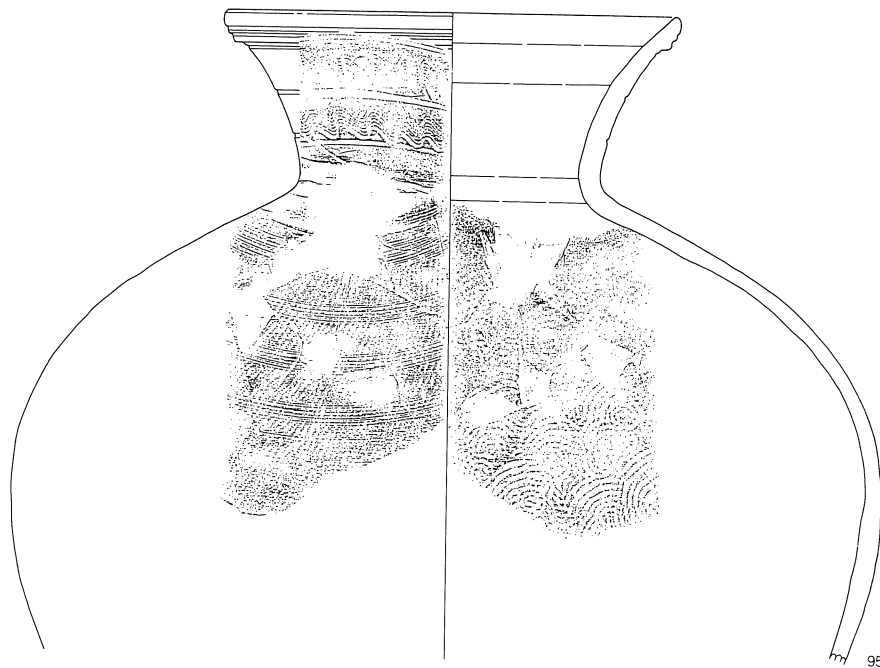
84



第249図 第56・57号溝出土遺物(5)



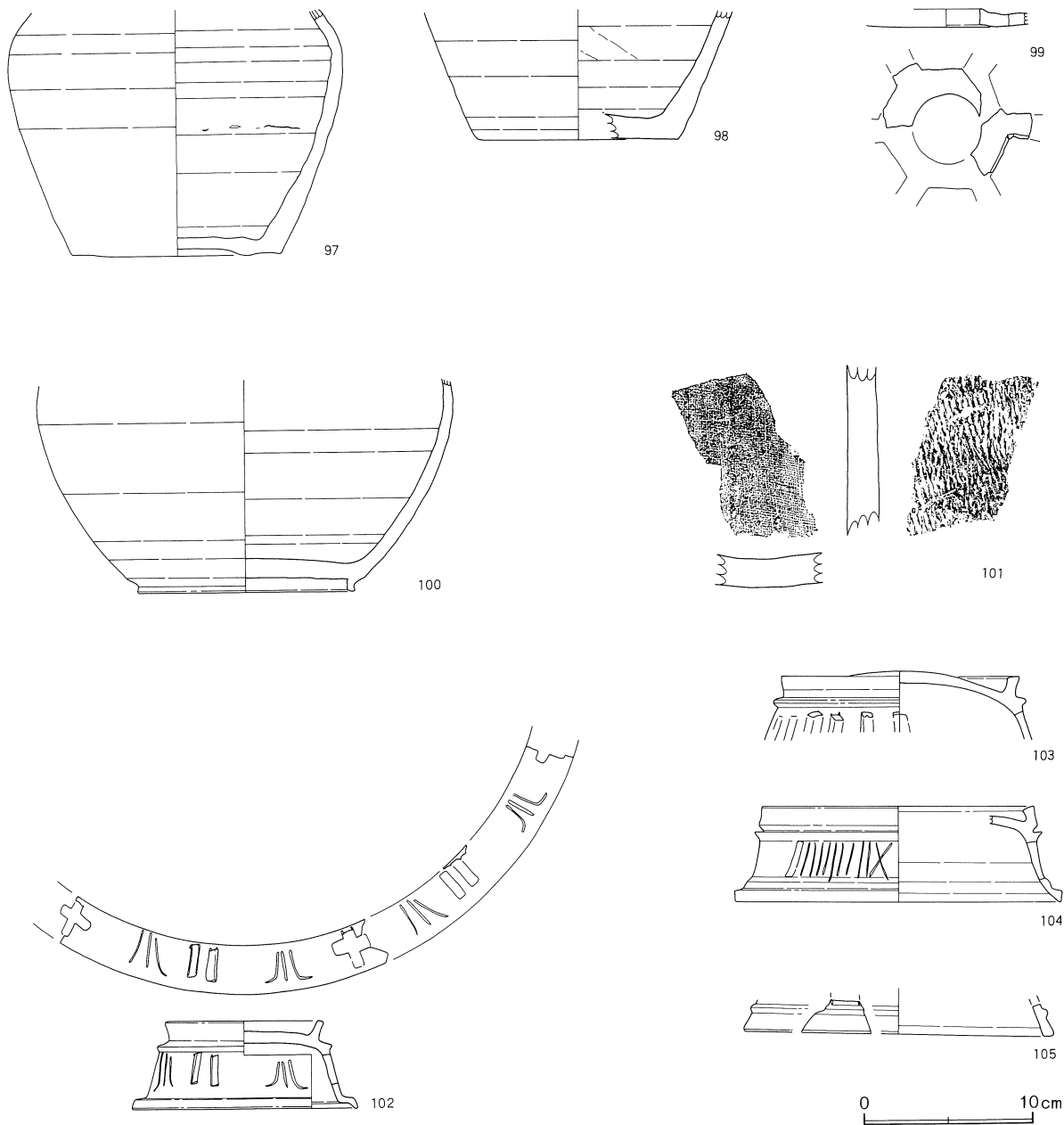
第250図 第56・57号溝出土遺物(6)



96

0 10cm

第251図 第56・57号溝出土遺物(7)



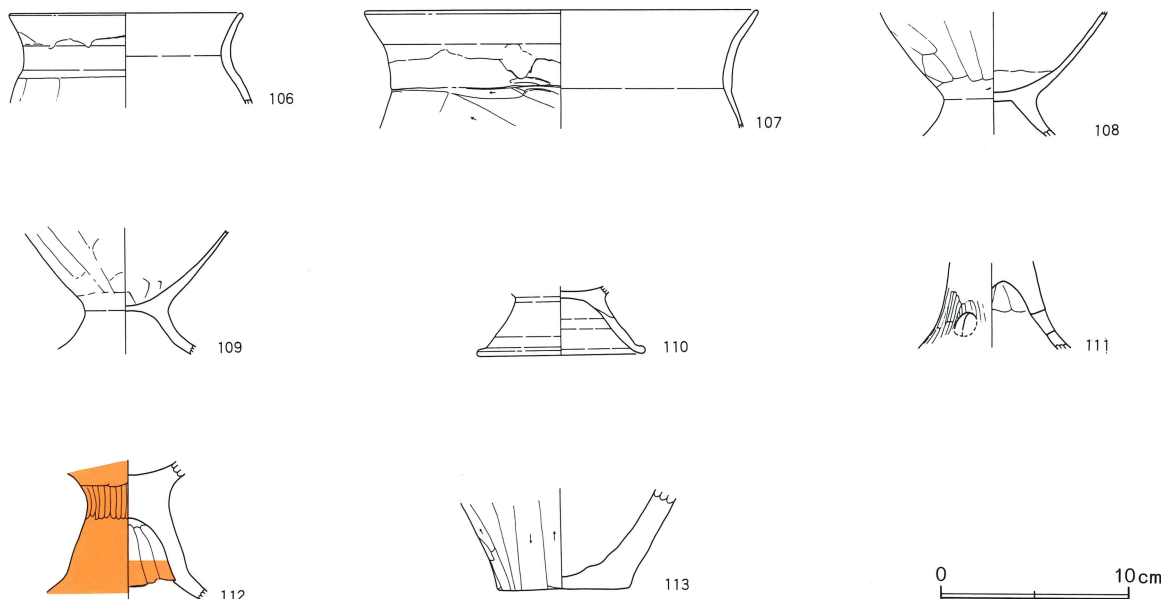
第56・57号溝出土遺物観察表(第245~252図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器坏	(11.8)	4.1	6.4	BS	II	橙	55	酸化焰焼成 底部全面手持ち篋削り
2	坏	(11.4)	4.4	7.2	BCEF	III	橙	45	酸化焰焼成 底部回転糸切り後周辺手持ち篋削り
3	坏	(14.2)		(10.2)	ABS	I	灰	20	RA
4	坏	(12.6)	3.3	(8.0)	ABRS	II	灰白	40	RA
5	坏	(12.1)	3.4	6.6	ABRS	I	灰	40	RA 体部下端回転篋削り
6	坏	(12.1)	3.6	(6.1)	ABS	I	灰	25	RA 体部下端回転篋削り
7	坏	(12.7)	3.7	6.5	ABS	I	灰白	55	RBb 体部下端一部篋削り
8	坏	(12.7)	3.8	6.0	ABS	I	灰	40	RA 体部下端回転篋削り
9	坏	(12.0)	3.4	(5.8)	ABS	I	灰	15	RA 体部下端回転篋削り 外面火襷痕明瞭
10	坏	(12.1)	3.7	6.5	ABS	I	灰白	65	RBa 体部下端篋削り
11	坏	(11.6)	3.0	(7.0)	FS	III	淡黄	50	RBb
12	坏	13.2	3.4	7.0	ABS	I	灰	75	RBb

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
13	坏	(13.0)	3.5	7.1	ABRS	II	灰	35	RBb
14	坏	(13.1)	3.8	7.2	ABCRS	I	灰	50	RBb
15	坏	(12.2)	3.0	(7.4)	AB	I	灰	25	RBb
16	坏	(12.0)	3.6	7.5	ABS	I	灰	40	LBb
17	坏	11.9	3.2	7.3	AB	I	灰	90	RBb
18	坏	(12.0)	3.7	7.4	ABRS	I	灰白	45	RBa 僅かに丸底
19	坏	(12.0)	3.6	7.0	ABS	I	灰白	50	RBb
20	坏	(12.4)	3.2	6.8	ABS	II	鈍い赤褐	35	RBb
21	坏	(13.0)	3.8	6.8	ABCS	I	灰白	50	RBb
22	坏	(13.2)	3.6	(7.0)	AB	I	灰	30	RC
23	坏	(12.4)	3.2	(7.0)	ABCS	I	灰白	45	RC 糸切り2回 筥起こし
24	坏	12.6	3.6	6.5	ABRS	II	灰	85	RC 糸切り2回で一度はやりかけてやめる
25	坏	13.1	4.0	6.4	ABCRS	I	灰白	70	RC 底部外面筥記号「\ /」
26	坏	12.1	3.6	7.1	ABRS	I	灰	80	RC 底部一部に筥起こし痕
27	坏	(12.0)	3.4	6.5	ABS	I	灰	45	RC
28	坏	(12.0)	3.5	6.6	AB	II	灰	20	RC
29	坏	(12.0)	3.7	6.7	AS	I	灰白	40	RC
30	坏	12.3	3.7	6.0	AS	II	鈍い橙	100	RC
31	坏	12.2	3.9	6.2	ABKS	II	鈍い褐	100	RC 体部外面・口縁部内面に油煙付着 灯明皿
32	坏	12.4	3.8	6.2	ARS	I	灰白	55	RC
33	坏	12.0	3.6	5.2	ABC	I	灰白	85	RC 口縁部内面一部に油煙付着
34	坏	(12.0)	4.0	(5.8)	ACRS	II	淡黄	25	RC
35	坏	12.0	4.0	5.3	ABS	I	灰白	75	RC 底部外面筥記号
36	高台付坏	(12.2)	4.0	(8.0)	AB	I	灰	25	底部右回転筥削り後高台貼付
37	高台付坏			6.7	ABCS	I	灰	85	底部外面墨書「比」
38	土師器坏	11.9	3.6	7.8	K	III	浅黄橙	95	底部外面位置方向手持ち筥削り 底部内面布痕 口縁部外面油煙付着
39	坏	(10.4)	2.5	(7.4)	BEJS	II	鈍い橙	10	体部下半筥削り
40	坏	(12.2)	2.6	(9.7)	BJ	II	鈍い橙	10	体部下半横方向筥削り
41	坏	(14.0)	2.9	(10.0)	BJS	II	橙	10	底部外面一方向の筥削り
42	坏	(12.8)	3.1		B	I	灰褐	10	内面放射状暗文
43	坏	(12.8)	3.1		BKS	I	橙	10	内面放射状暗文
44	坏	(14.0)	2.5	(9.8)	B	I	橙	10	内面放射状暗文
45	坏	(13.6)	3.0	(8.8)	BCJS	I	鈍い橙	25	内面放射状暗文 底部一方向の筥削り
46	坏	(14.0)	3.0	9.8	BJ	I	鈍い橙	30	内面放射状暗文 底部一方向の筥削り
47	坏	(15.0)	2.5	(11.8)	BJS	II	橙	20	内面放射状暗文 底部筥削り
48	坏	(15.6)	2.6	(11.2)	BCJ	I	橙	10	内面放射状暗文 底部筥削り
49	坏	(13.4)	2.7	(8.6)	S	I	明赤褐	20	内面放射状暗文 内面底部へラ描き痕
50	須恵器蓋	12.5	3.6		ABS	I	灰	80	天井部右回転筥削り 内面墨書
51	蓋	(12.6)	2.9		ABRS	I	灰	30	天井部右回転筥削り 鈕径2.6cm
52	蓋	(15.6)	3.9		A	I	灰白	15	天井部左回転筥削り 鈕径2.8cm
53	蓋	(16.2)	3.6		ABS	I	灰	40	天井部右回転筥削り
54	蓋	(16.6)	3.8		ABS	I	灰白	20	天井部右回転筥削り 鈕径2.9cm
55	蓋	16.6	4.1		AB	I	鈍い褐	50	鈕径2.7cm
56	蓋	(16.8)	3.5		ABS	I	灰	20	天井部右回転筥削り 鈕径3.0cm
57	蓋	17.0	4.3		ABRS	II	鈍い赤褐	95	天井部右回転筥削り 鈕径2.8cm
58	蓋	(17.0)	4.3		ABS	I	灰	20	天井部右回転筥削り
59	蓋	(18.2)	3.4		ABRS	I	黄灰	30	天井部右回転筥削り 鈕径2.5cm
60	蓋	18.0	3.7		ABRS	I	灰白	75	天井部右回転筥削り 鈕径2.5cm
61	蓋	18.0	4.2		ABS	II	灰白	70	天井部右回転筥削り後一部ロクロナデ 鈕径2.7cm
62	蓋	(19.0)	4.4		AB	I	灰	30	天井部右回転筥削り 鈕径2.8cm
63	蓋	(14.2)			AB	I	灰白	25	天井部右回転筥削り
64	蓋	(15.7)			ABRS	I	灰	95	天井部右回転筥削り
65	蓋	(16.4)			AB	I	灰	20	天井部回転糸切り後右回転筥削り
66	蓋	(17.6)			ABRS	I	灰白	20	天井部右回転筥削り
67	蓋	(17.8)			AB	I	灰	30	天井部右回転筥削り
68	蓋	(19.6)			ABRS	I	灰	40	天井部右回転筥削り 内面焼成時降灰による荒れ
69	蓋				ABS	I	灰	90	天井部右回転筥削り 鈕径2.6cm
70	蓋				BS	I	灰白	破片	内面中央付近に押印 鈕径3.4cm
71	椀	(15.0)	5.8	8.0	A	I	灰	40	RBa 体部下端右回転筥削り
72	椀	(15.2)	5.7	(7.2)	BS	I	灰	40	RA 体部下端筥削り 外面上半自然釉
73	椀	(15.8)	6.0	8.3	ABCRS	I	褐灰	50	RBa 体部内面一部筥調整

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
74	椀	(16.0)	5.3	8.3	ABRS	I	灰	60	RBa
75	椀	(15.0)	6.0	7.4	ABRS	I	灰	40	RBb ロクロ痕顕著 体部下半一部に指紋
76	椀	(15.0)	5.5	(7.6)	ABCS	I	灰黄	40	RBa 体部外面朱書「企」
77	椀			8.0	ABS	I	灰	80	RBb 底部外面墨書
78	椀			7.6	ABS	I	灰	40	RBb
79	長頸瓶	9.4			ABRS	I	青灰	95	内外面ロクロ整形 頸部接合面篋ナデ
80	長頸瓶	(10.0)			AB	I	灰	20	外面自然釉 内面輪積痕明瞭
81	瓶				B	I	灰	40	胴部破片 外面自然釉 外面ロクロ整形 内面指頭痕
82	長頸瓶			(11.4)	ABS	I	灰	25	外面自然釉 底部左回転篋削り後高台部ナデ 外面体部下端篋削り
83	鉢	(29.6)			AB	I	灰	10	外面平行叩き後ナデ
84	鉢				BS	I	灰	破片	外面横方向平行叩き
85	鉢				ABS	I	灰	破片	外面横方向平行叩き
86	鉢				BS	I	灰	破片	外面横方向平行叩き
87	鉢			(18.0)	ARS	I	灰	20	外面平行叩き後ナデ 体部下端篋削り
88	鉢	(15.8)			ABH	I	灰オリーブ	20	外面自然釉
89	壺	(14.0)			ABRS	I	灰	25	内外面ロクロ整形
90	壺	(17.6)			ABS	I	黒	25	口縁部内面・肩部外面焼成時降灰 口縁部外面自然釉 内外面ロクロ整形
91	甕	(23.6)			ABS	I	灰	10	内外面ロクロ整形
92	甕	(25.0)			ABS	I	灰	10	内外面ロクロ整形
93	甕				ABS	I	オリーブ黒	破片	外面波状文
94	甕				ABRS	I	灰	破片	外面波状文
95	甕	(24.0)			S	I	灰	30	頸部櫛描波状文2段、各段沈線区画 胴部外面格子叩き後ナデ及び櫛状工具による条線 胴部内面同心円当て具痕
96	甕				BS	I	灰	60	胴部外面格子叩き後ナデ及び櫛状工具による条線 胴部内面同心円当て具痕 底部外面一部酸化焙焼成
97	甕			12.6	ABRS	I	灰	30	内外面ロクロ整形
98	甕			(12.0)	AB	I	灰	15	底部篋削り 胴部内外面ロクロ横ナデ 内面一部指ナデ
99	甗				AB	I	青灰	破片	底部篋削り 方形孔篋削り 円形孔側面ナデ
100	甗			(13.0)	ABRS	I	灰	35	内面降灰等附着物 外面一部自然釉

第252図 第56・57号溝出土遺物(8)



番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
102	円面硯	9.4	5.2	(13.5)	ABH	I	灰	65	十字透かしと二本一対の長方形透かし、3本の沈線が対称位置にある 硯面は使用痕がほとんど認められない
103	円面硯	14.2			AB	I	灰	75	脚部に長方形透かし 硯面部使用痕顕著 内面ロクロナデ
104	円面硯	(16.2)	5.6	(19.6)	AB	I	灰	15	脚部に長方形透かしと縦・「×」沈線 脚部外面自然釉
105	円面硯			(18.6)	AB	I	灰	破片	脚部外面に沈線
106	土師器 台付甕	(12.5)			BEJS	II	橙	45	胴部外面横方向篋削り
107	甕	(20.5)			EJS	II	明黄褐	20	胴部篋削り
108	台付甕				BEJS	II	灰赤	60	胴部外面下から上へ篋削り 脚部内外面横ナデ
109	台付甕				BJS	II	鈍い橙	60	胴部篋削り、下端篋ナデ 脚部内外面横ナデ
110	台付甕			(9.0)	EJ	II	明赤褐	40	胴部内面工具による調整 脚部内面横ナデ
111	高坏				BCS	II	灰白	60	円形透孔 外面篋磨き 内面指頭・篋押さえ
112	高坏				RS	I	明赤褐	65	外面・坏部内面・脚裾部内面赤彩 脚部外面上半縦方向篋磨き
113	甕			7.0	EFKS	II	浅黄橙	70	外面縦方向篋削り 底部一方向篋削り

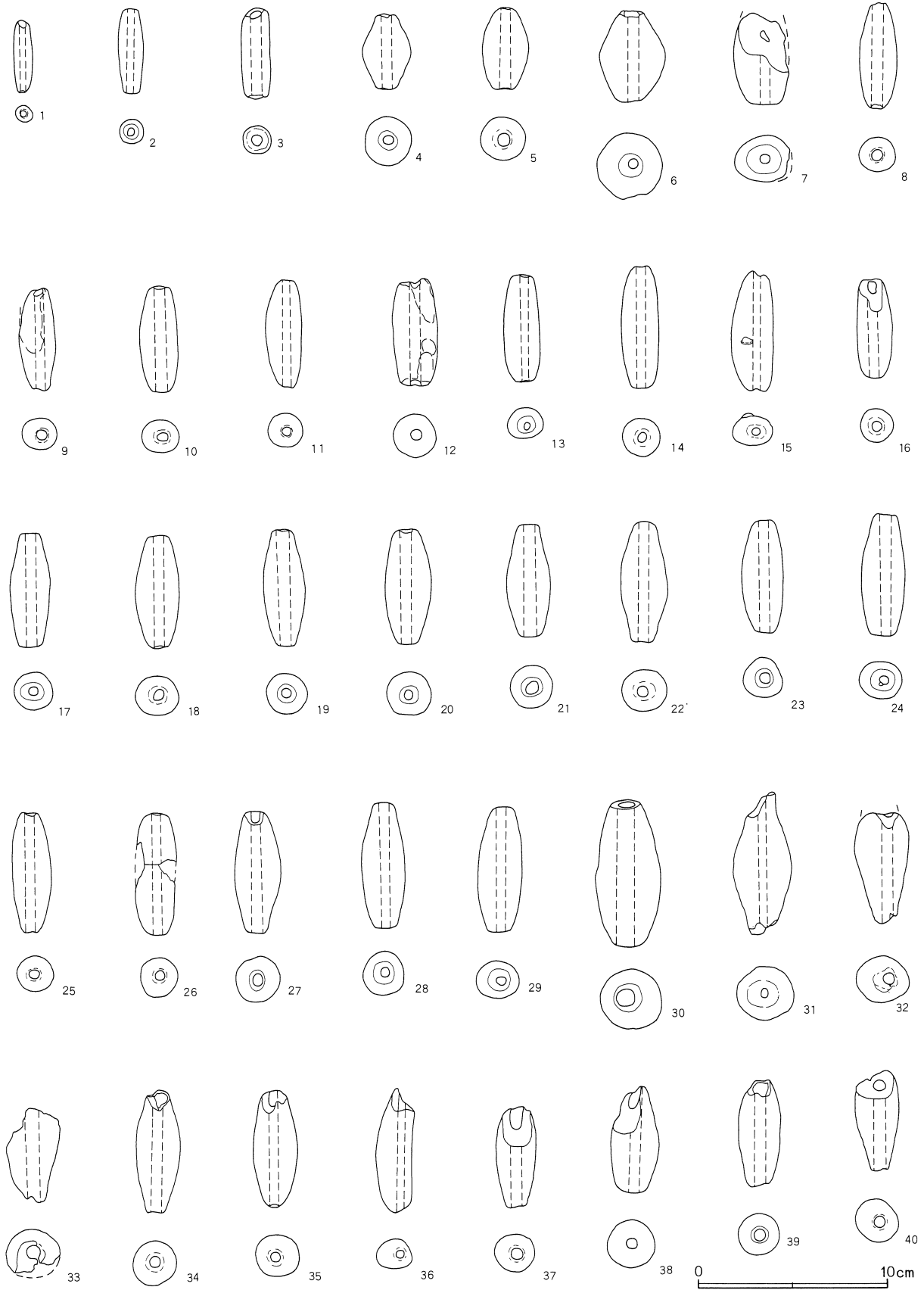
第56・57号溝出土瓦観察表(第251図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
101	26×21	2.8	布目痕	縄叩き 1.8cm/5本	縦方向縄叩き		1.9	S	I	灰

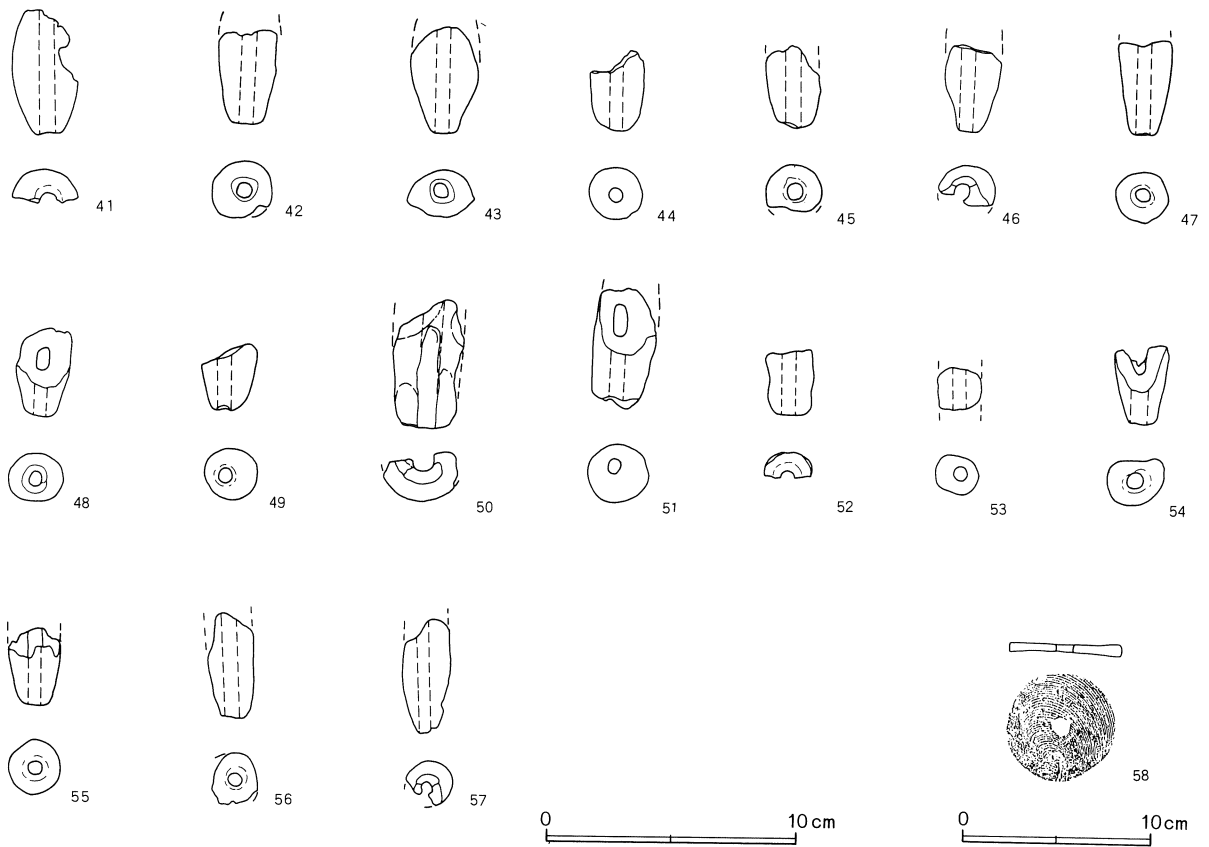
第56・57号溝出土土錘計測表(第253・254図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)	番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
1	3.8	0.9	2.5~3	3.03	30	7.7	3.4	8	68.89
2	4.4	1.3	3~3.5	7.89	31	7.4	3.0	3~4	46.50
3	4.8	1.5	6~6.5	10.42	32	(5.8)	2.8	6.5	(34.57)
4	3.9	2.55	4~5.5	19.75	33	(4.9)	2.7	7	(17.01)
5	4.3	2.4	6~7	21.77	34	6.3	2.3	5~5.5	28.88
6	4.8	3.5	5~7	44.57	35	(6.1)	2.3	4.5~5	(2.29)
7	(4.7)	2.8	4.5~5	(28.58)	36	6.4	1.9	3.5~4	19.10
8	5.5	1.9	4.5~5	18.58	37	(5.2)	2.1	6	(18.28)
9	5.3	1.9	5~5.5	14.69	38	5.6	2.5	5	27.95
10	5.5	2.0	4.5~5.5	19.20	39	5.6	2.2	7	23.63
11	5.6	1.9	4~4.5	19.19	40	(5.2)	2.2	5	(20.00)
12	5.6	2.3	5.5~6.5	30.30	41	(5.0)	2.6	5	(12.75)
13	5.6	1.9	4~4.5	19.43	42	(3.8)	2.4	5~5.5	(14.07)
14	6.3	2.0	4~4.5	27.82	43	(4.2)	2.6	5.5~6	(15.99)
15	6.3	2.1	3~3.5	21.17	44	(3.2)	2.2	5~5.5	(9.18)
16	5.1	1.8	4.5~5	16.42	45	(3.3)	2.1	6~6.5	(8.19)
17	5.9	2.1	4~4.5	24.15	46	(3.4)	2.1	6	(6.95)
18	5.9	2.3	4	24.97	47	(3.7)	2.1	5	(13.64)
19	6.0	2.2	4~4.5	24.44	48	(3.5)	2.2	4~4.5	(9.74)
20	5.9	2.4	5~5.5	31.62	49	(2.7)	2.2	5	(8.02)
21	5.9	2.3	5.5	26.83	50	(5.1)	(2.6)	7	(19.27)
22	6.3	2.4	5.5~6	29.74	51	(4.8)	2.5	5~5.5	(24.54)
23	5.9	2.2	4.5~5	26.23	52	(2.6)	1.9	4.5	(4.88)
24	6.3	2.25	4.5~5	28.70	53	(1.6)	1.8	5.5	(3.83)
25	6.3	2.05	3.5~4.5	24.74	54	(3.1)	2.3	5.5~6.5	(8.44)
26	6.3	(2.1)	3.5~4	(22.08)	55	(3.1)	2.1	4.5~5	(8.14)
27	6.3	2.4	4.5~5	33.37	56	(4.1)	1.8	5.5~6	(9.66)
28	6.5	2.2	4.5~5	35.39	57	(4.4)	1.9	4.5	(9.15)
29	6.5	2.3	3.5~4	33.03					

第253図 第56・57号溝出土遺物(9)



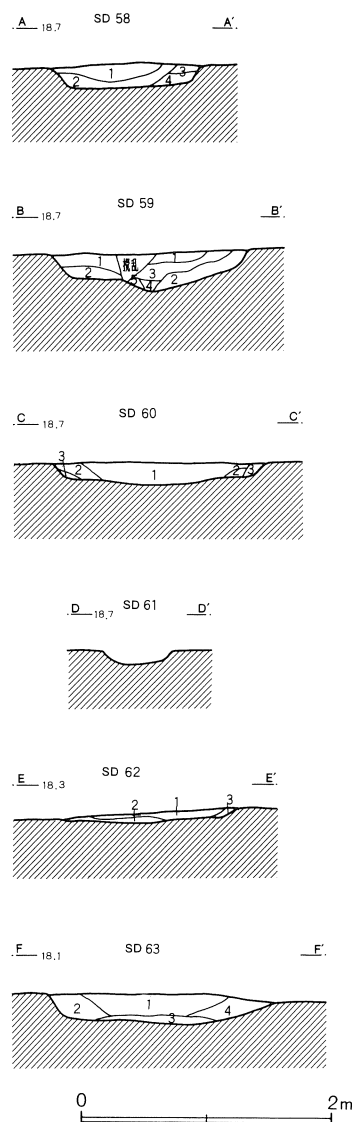
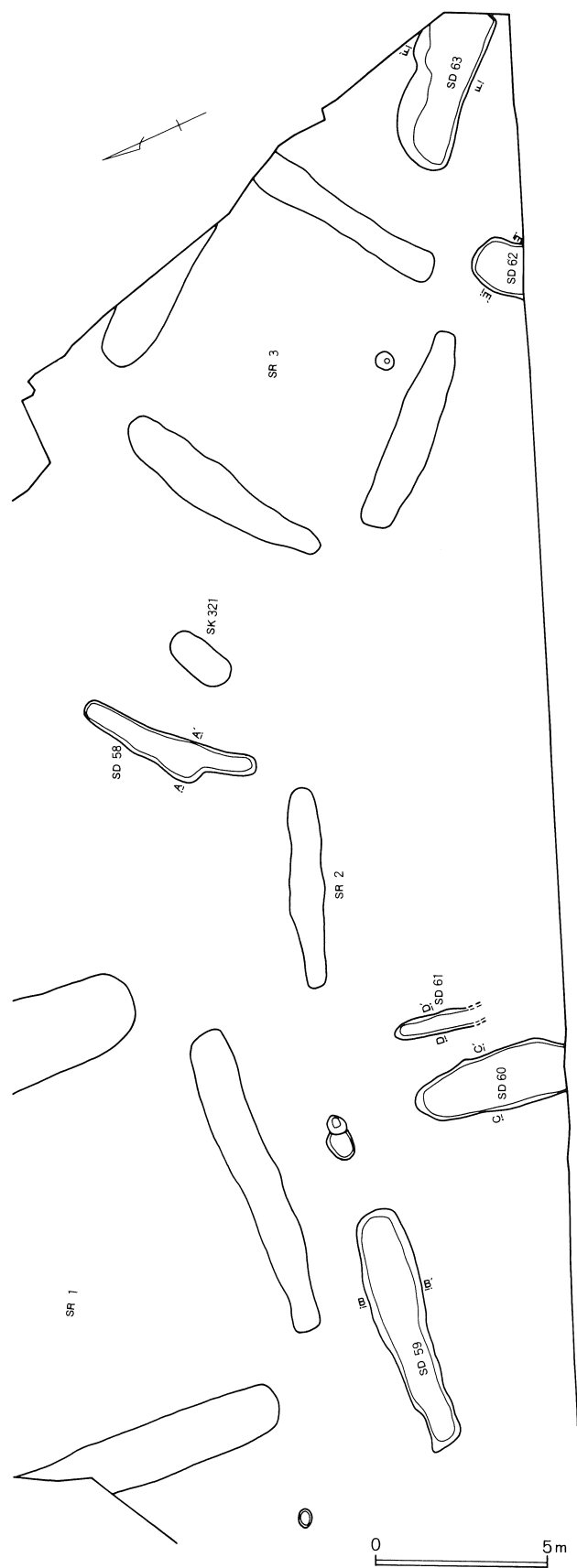
第254図 第56・57号溝出土遺物(10)



第56・57号溝出土遺物観察表 (第254図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
58	紡錘車			6.0	ABS	I	黄灰褐	—	RC 坏底部の転用 外周筥整形

第255図 C区溝(5)



- SD 58 (A-A')
- 1 灰黄褐色土 炭化物僅かに含む
 - 2 褐灰色土 焼土若干含む 粘性有り
 - 3 黒褐色土 焼土多く含む 褐灰色土ブロック若干含む
 - 4 黒褐色土 炭化物若干含む

- SD 59 (B-B')
- 1 鈍黄褐色土
 - 2 褐色土 黄褐色土粒子若干含む
 - 3 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む
 - 4 暗褐色土 黄褐色土多く含む
 - 5 鈍黄褐色土ブロック

- SD 60 (C-C')
- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む
 - 2 鈍黄褐色土
 - 3 鈍黄褐色土

- SD 62 (E-E')
- 1 黒褐色土
 - 2 暗褐色土 黄褐色土・黄褐色土粒子若干含む 締まり強い
 - 3 暗褐色土 やや締まり強い

- SD 63 (F-F')
- 1 黒褐色土 粘性強い
 - 2 暗褐色土 黄褐色土微粒子多く含む
 - 3 暗褐色土 黄褐色土多く含む
 - 4 黒褐色土 黄褐色土微粒子微量含む 粘性強い

(2) 竪穴状遺構

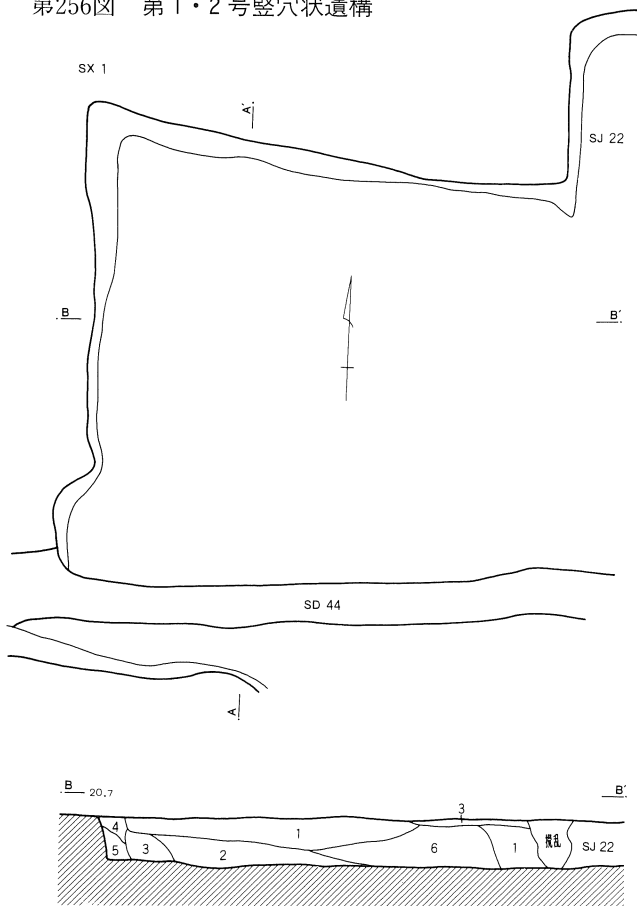
第1号竪穴状遺構(第256図)

CA・CB-9グリッドに位置する。第22号住居跡及び第232号土坑、第44号溝と重複する。平面形は方形を呈するものと推定され、規模は東西3.80m以上、南北3.78m以上、深さ36cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

出土遺物(第257図)

覆土中より、弥生土器片が出土した。1は折り返し口縁で刷毛目。2~4は刷毛目が施され、4はやや粗い。5は楕円文が施されている。6・7は縄文が施文されている。8は甕底部で外面が赤彩されている。

第256図 第1・2号竪穴状遺構



- SX 1
- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む
 - 2 褐色土 黄褐色土ブロック含む
 - 3 褐色土
 - 4 暗赤褐色土
 - 5 暗褐色土
 - 6 暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む 締まりなし
 - 7 暗褐色土 やや粘質
 - 8 褐色土 黄褐色土粒子若干含む

第2号竪穴状遺構(第256図)

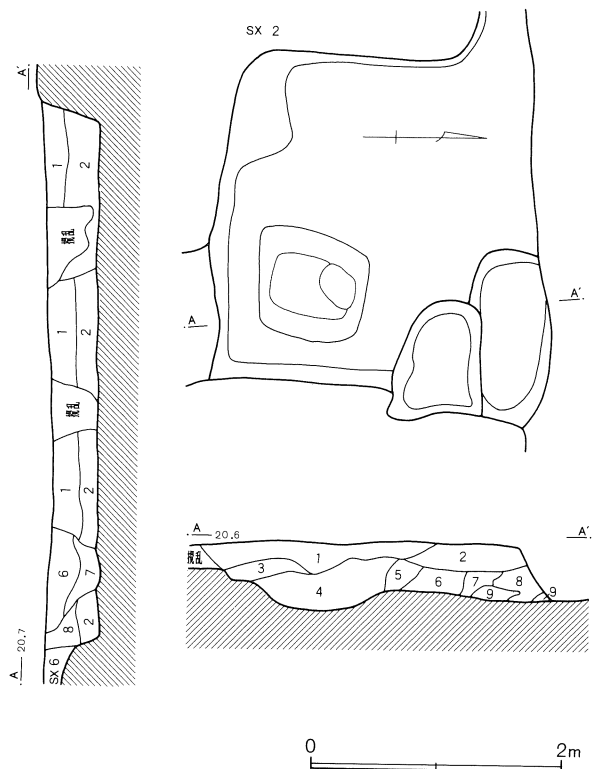
CB-9グリッドに位置する。第232・233号土坑及び第44号溝と重複する。平面形は方形を呈するものと推定され、規模は東西2.60m以上、南北2.56m以上、深さ52cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

出土遺物(第257図)

覆土中より、土師器坏・甕と瓦が出土した。

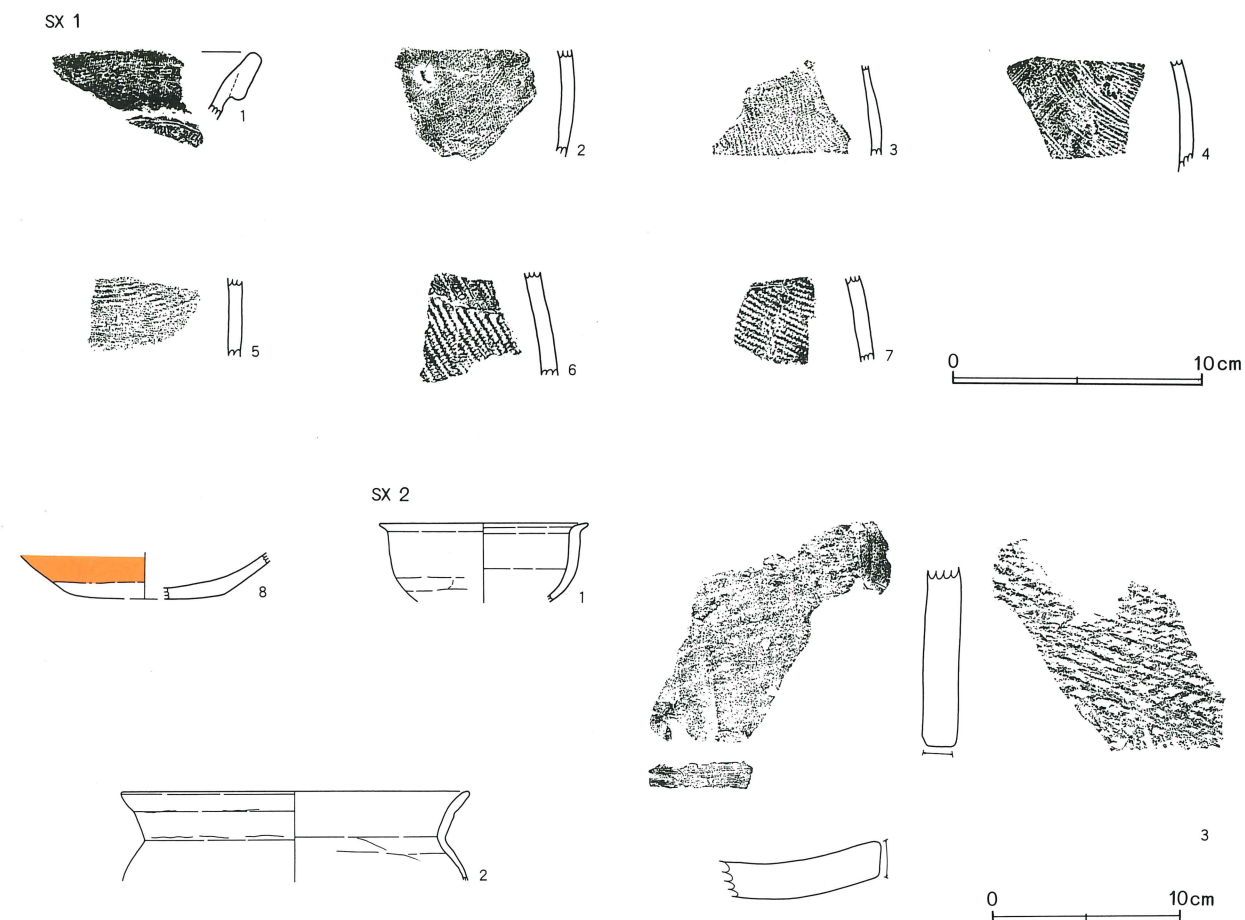
第3号竪穴状遺構(第258・259図)

CF-7グリッドに位置する。第308・309・310号土坑及び第1号掘立柱建物跡、第4号竪穴状遺構と重複する。規模は東西約2.90m、南北約2.20m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-14°-Wを指す。



- SX 2
- 1 褐色土 白色微粒子若干含む
 - 2 褐色土 黒褐色土・焼土粒子若干含む 締まり強い
 - 3 褐色土 褐色土微粒子微量含む 締まり強い
 - 4 褐色土 褐色土粒子・褐色土塊多く含む
 - 5 暗褐色土 焼土粒子微量含む
 - 6 褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まりあり
 - 7 褐色土 白色微粒子微量含む 粘性あり 締まり強い
 - 8 褐色土 焼土粒子微量含む 極粘性あり 締まり強い
 - 9 褐色土 焼土・焼土塊多く含む 粘性あり 締まり強い

第257図 第1・2号竪穴状遺構出土遺物



第2号竪穴状遺構出土遺物観察表(第257図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	土師器 坏	(11.1)			BS	III	橙	10	口縁端部外反 底部外面鏡削り
2	甕	(18.6)			BS	II	褐	15	体部内面工具横ナデ

第2号竪穴状遺構出土瓦観察表(第257図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
3			工具による縦方向ナデ 一部横方向ナデ	斜格子叩き		へら整形	1.9	ABS	I	灰

出土遺物は、須恵器坏が出土した。

第4号竪穴状遺構(第258図)

CF-7グリッドに位置する。第310号土坑及び第3・5号竪穴状遺構と重複する。規模は東西1.70m以上、南北2.50m以上、深さ10cmを測る。

出土遺物(第259図)

高坏脚部と土師器坏・台付甕、須恵器坏・蓋・椀・鉢の他に、土錘が出土した。椀の底部に「厨」と墨書されたものが1点出土した。

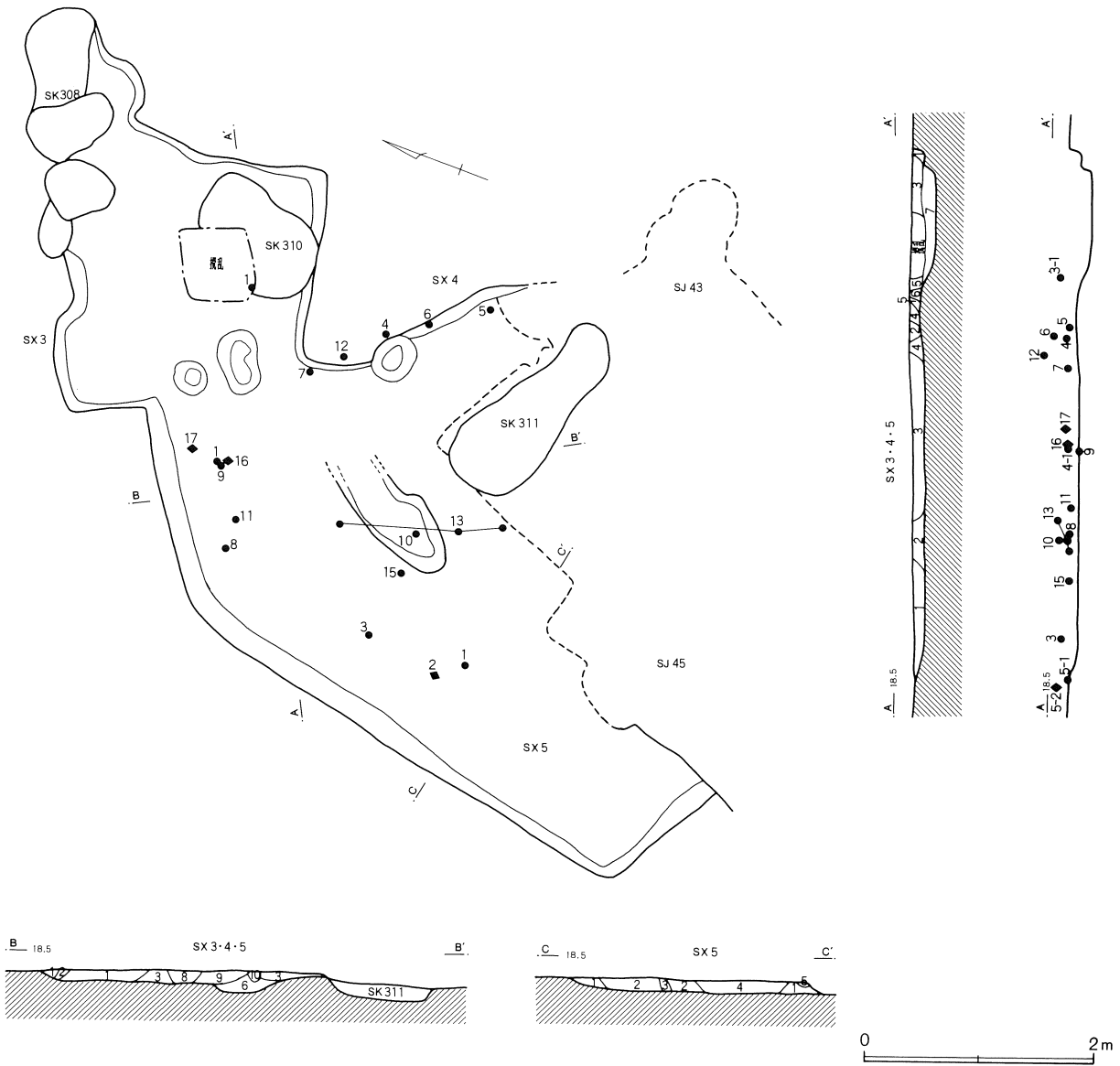
第5号竪穴状遺構(第258図)

CF-7グリッドに位置する。第43・45号住居跡及び第311号土坑、第4号竪穴状遺構と重複する。平面形は方形を呈するものと思われ、規模は東西2.20m以上、南北4.20m以上、深さ12cmを測る。主軸方位はN-13°-Eを指す。

出土遺物(第259図)

覆土中より、須恵器坏、土錘が出土した。

第258図 第3・4・5号竪穴状遺構



(A-A'・B-B')

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1 黒褐色土 締まり強い | 6 黒色土 |
| 2 暗褐色土 黄褐色土微量含む 締まり強い | 7 黒色土 橙色土微量含む 締まり強い |
| 3 黒褐色土 橙色土粒子多く含む 締まり強い | 8 黒褐色土 橙色土粒子極多く含む 酸化赤色土含む |
| 4 黒色土 橙色土微量含む | 9 黒褐色土 黄褐色土多く含む |
| 5 黒褐色土 | 10 黒褐色土 暗褐色土多く含む |

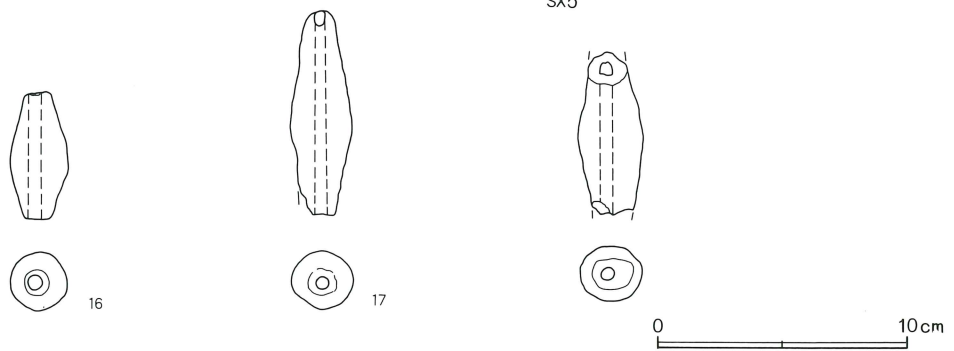
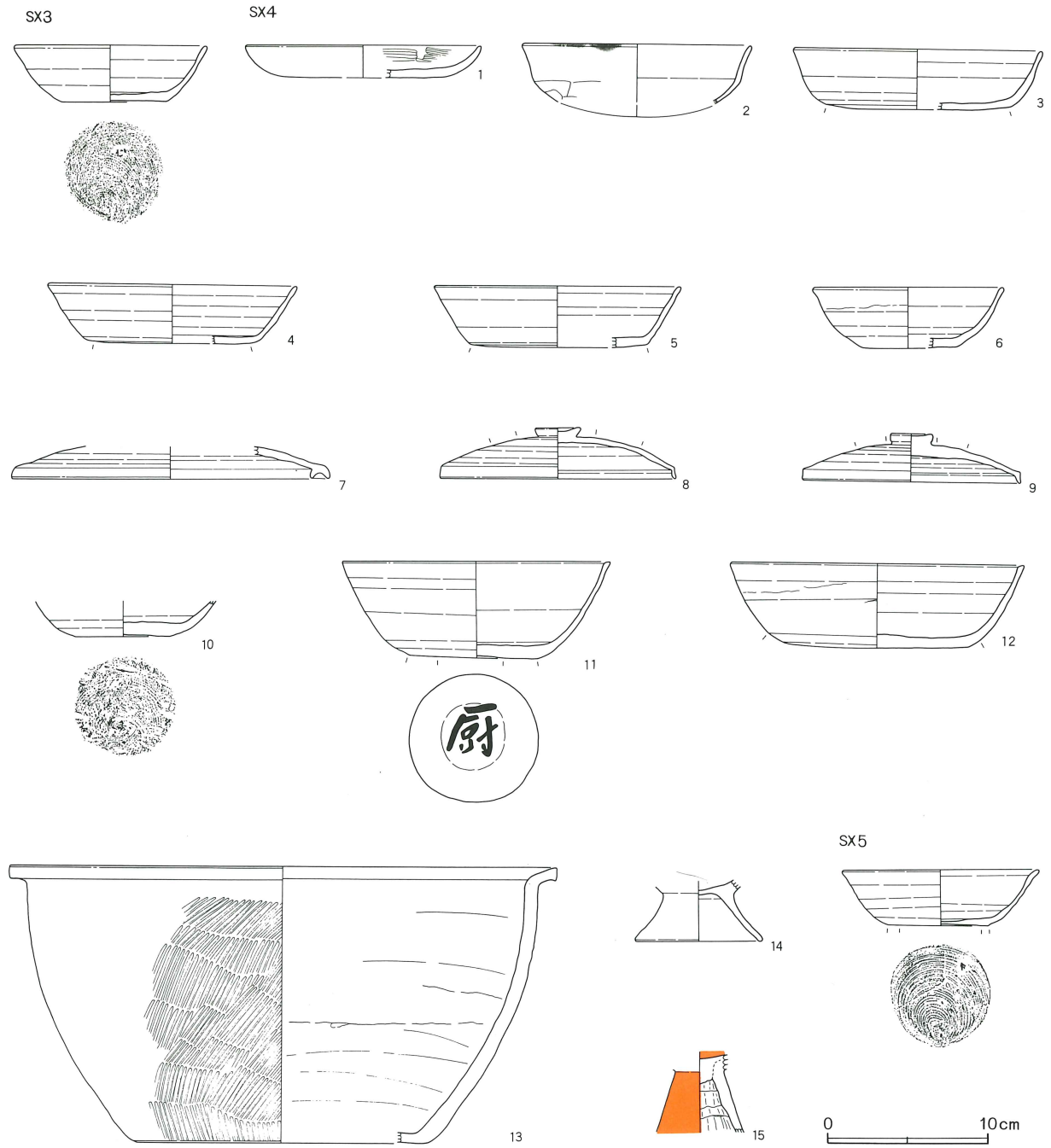
(C-C')

- | |
|-------------------------|
| 1 暗赤褐色土 橙色土粒子微量含む 締まりあり |
| 2 黒褐色土 橙色土粒子若干含む |
| 3 暗褐色土 締まり強い |
| 4 黒褐色土 橙色土粒子微量含む 締まり強い |
| 5 暗赤褐色土 橙色土多く含む |

第3号竪穴状遺構出土遺物観察表(第259図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器坏	12.1	3.5	6.5	ABRS	I	褐灰	80	RC

第259図 第3・4・5号竪穴状遺構出土遺物



第4号竪穴状遺構出土遺物観察表(第259図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	土師器 坏	(14.8)	2.0	(10.8)	BEJ	II	橙	15	内面横方向匏磨き 底部内面器面荒れる
2	坏	(14.4)			BS	III	鈍い橙	20	口唇一部内外面に油煙
3	須恵器 坏	(15.6)	3.7	(11.4)	ABRS	I	褐灰	40	RA
4	坏	(15.6)	3.6	9.8	ABRS	I	灰	25	RA
5	坏	(15.5)	3.8	(10.9)	ARS	I	灰白	20	LA 内面酸化焙焼成
6	坏	(12.0)	3.7	(5.8)	AS	I	灰白	40	RC
7	蓋	(20.0)			ABRS	I	灰	15	かえりを有する
8	蓋	14.8	3.2		BS	I	灰	50	天井部右回転篋削り 鈕径2.8cm
9	蓋	(13.6)	3.0		AS	I	灰	40	天井部右回転篋削り 鈕径2.7cm
10	椀			6.0	AS	I	黄灰	80	RC 糸引き抜き痕あり 外周篋起こし痕
11	椀	16.8	6.0	8.1	ABRS	I	灰白	80	RBb 底部墨書「厨」
12	椀	18.4	5.2	11.7	ABS	I	灰	85	RA 体部下端に篋削り及ぶ
13	鉢	(34.2)	17.0	(18.6)	AS	II	橙	15	外面平行叩き後横ナデ 内面横ナデ
14	土師器 台付甕			(8.0)	BES	II	灰褐	60	台部外面ロクロナデ
15	高坏				S	II	赤	40	脚部外面・坏部内面赤彩

第5号竪穴状遺構出土遺物観察表(第259図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器 坏	12.4	3.5	6.3	AS	I	灰	60	RBb

第4号竪穴状遺構出土土錘計測表(第260図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
15	5.0	2.3	5.0	21.60
16	8.0	2.5	4.5~5	34.77

第5号竪穴状遺構出土土錘計測表(第261図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
17	(6.4)	2.5	5~5.5	(30.81)

(3) 地下式壙

第1号地下式壙(第260図)

CB・CC-8グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は上面長軸2.85m、短軸2.00m、壙底長軸3.37m、短軸2.35m、深さ1.4m測る。主軸方位はN-10°-Wを指す。

覆土上層には、焼土や炭化材を含んでいる。

出土遺物(第261図)

覆土中より、かわらけ・鉢の他に、瓦片が出土した。

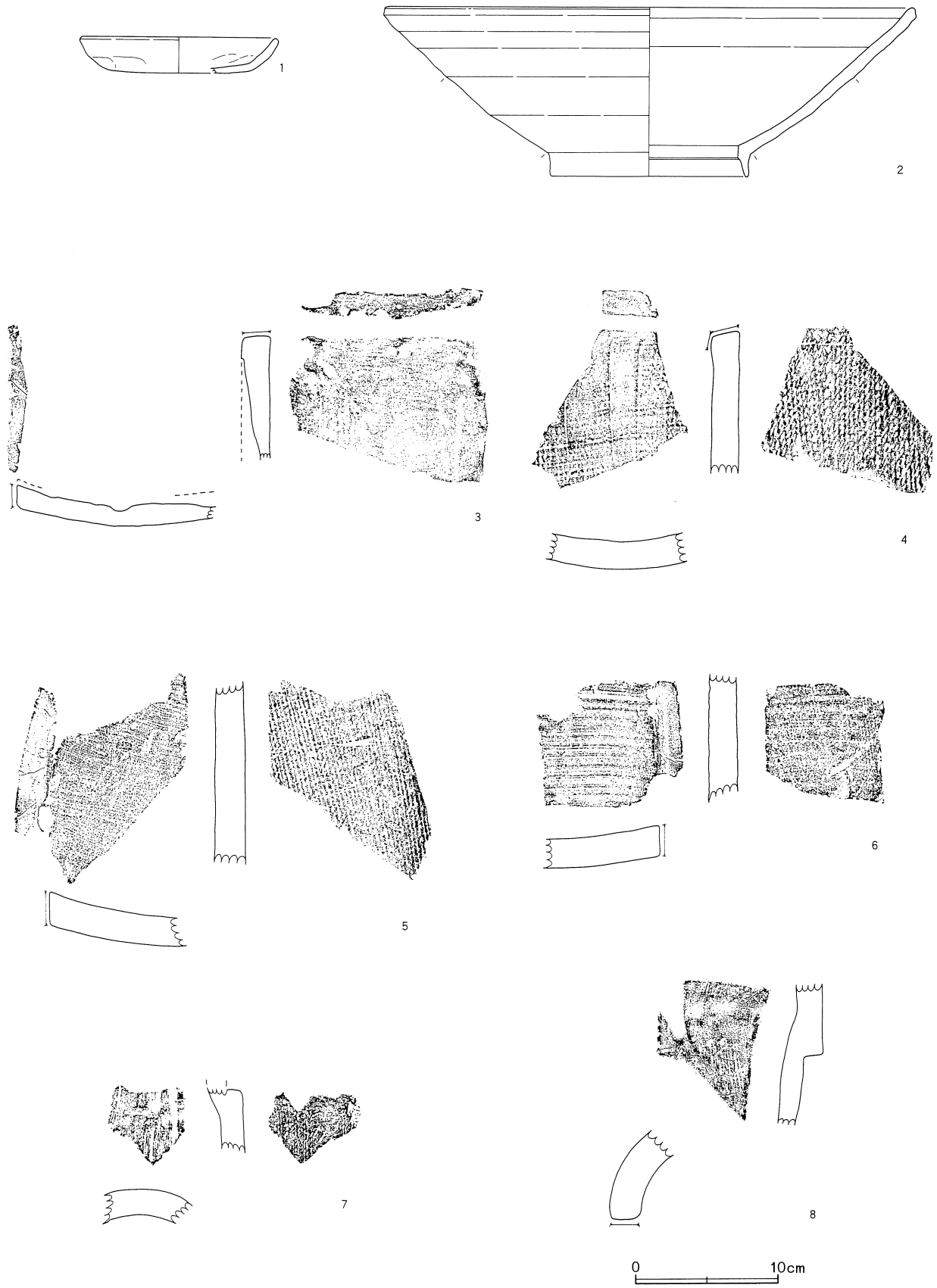
第1号地下式壙出土遺物観察表(第261図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	坏	(14.0)	2.5		S	III	浅黄橙	10	体部ロクロ痕 底部内外面指押さえ
2	鉢	(37.4)	11.8	(14.0)	BS	I	灰	10	体部外面←方向ヘラ削り 底部を欠き断面ヘラ整形

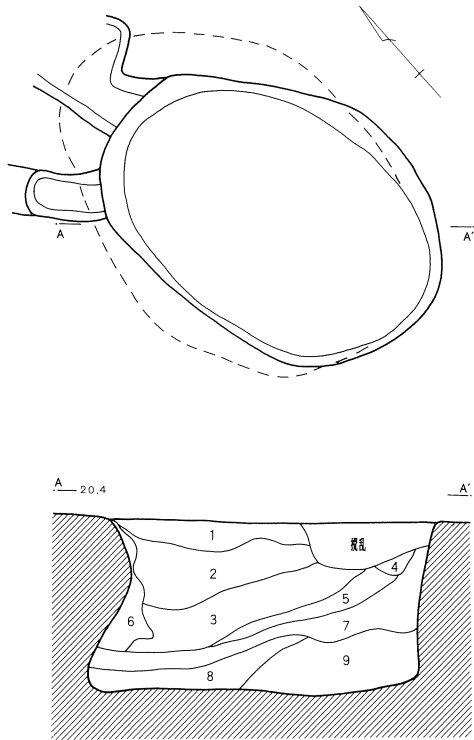
第1号地下式壙出土瓦観察表(第261図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
3			剥離	縄叩き	縄叩き後横ナデ	ヘラ整形	1.9	BEJ	III	灰白
4			横方向布綴じ痕 一部糸切り痕 狭端縁ヘラ整形	縄叩き 1.3cm/5本	縄叩き後ナデ	ヘラ整形	1.9	JS	I	灰白
5	26×20		布目痕 一部縦方向ナデ	縄叩き 1.4cm/5本	縄叩き後ナデ	ヘラ整形	2.1	BS	I	灰
6			糸切り痕	縄叩き	縄叩き後ナデ	ヘラ整形	1.9	BS	I	灰白
7				縄叩き	縄叩き後横ナデ		1.8	HJS	II	鈍い黄橙
8			糸切り痕		工具による横ナデ	ヘラ整形	2.3	S	I	灰白

第260図 第1号地下式墳出土遺物



第261図 第1号地下式墳



- 1 黒褐色土 焼土・炭化物若干含む 締まり強い
- 2 黒褐色土 焼土・炭化物僅かに含む 締まり強い
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物・ローム粒子多く含む
- 4 暗褐色土 焼土僅か、小礫含む
- 5 褐色土 小礫含む
- 6 鈍い黄褐色土 褐色土・黒褐色土含む 締まりなし
- 7 黒褐色土 ロームブロック・小礫含む
- 8 褐色土 褐色土・黒褐色土含む 締まりなし
- 9 黒褐色土 小礫含む やや粘質

0 2m

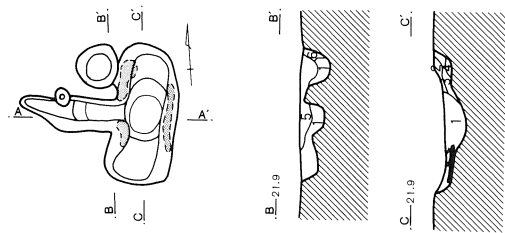
(4) 火葬墓

火葬墓(第262図)

BG-20グリッドに位置する。平面形は土壌から西に煙道状に溝が延び、T字形を呈し、規模は南北1.12m、東西0.5m、深さ24cmを測る。

土壌内はよく焼けて赤変箇所もあり、骨片も確認できた。

第262図 火葬墓



(5) ピット

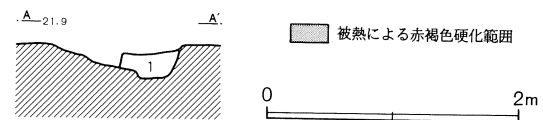
ピット (BY-9 g) (第263図)

BY-9グリッドに位置する。第212号土坑と重複する。平面形はピットが重複した不整形を呈し、規模は長軸0.99m以上、短軸0.85m、深さ39cmを測る。

覆土には、焼土・炭化物が含まれていた。

ピット (CA-9 g) (第263図)

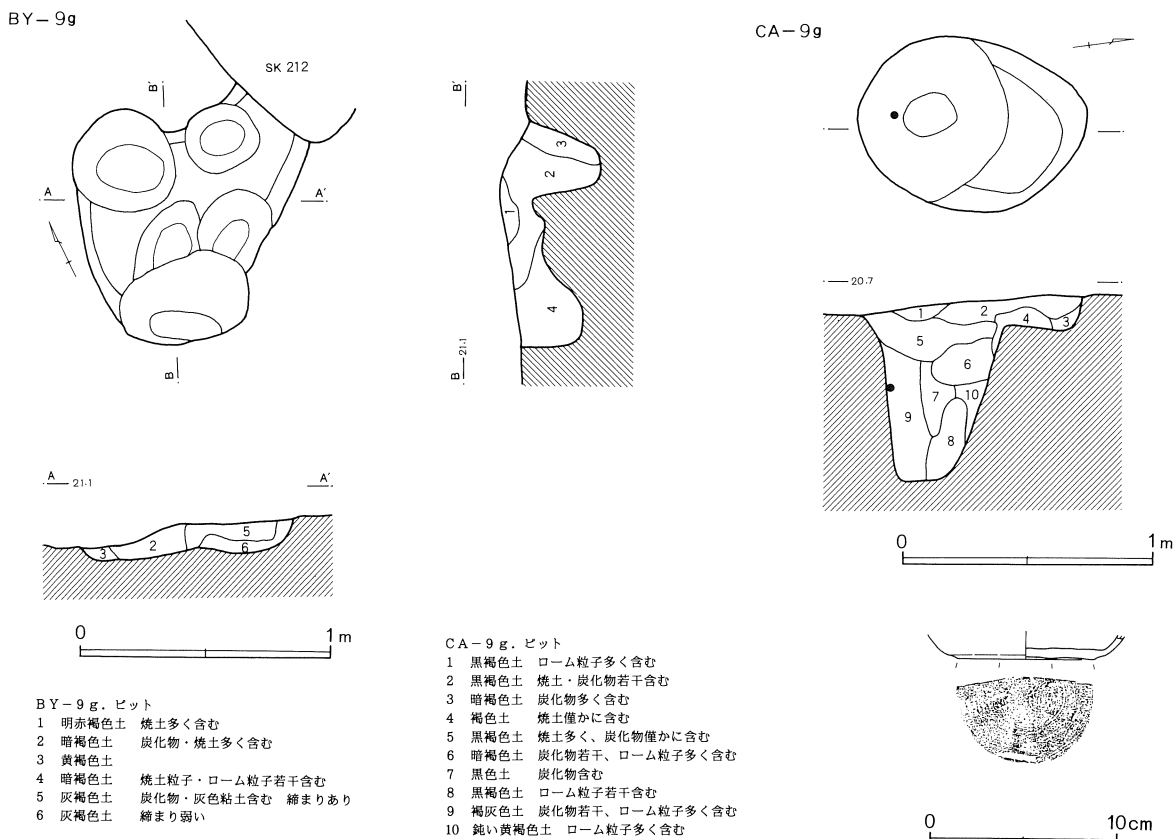
CA-9グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.91m、短軸0.70m、最深部70cmを測る。主軸方位はN-14° -Eを指す。



- 1 極暗褐色土 骨片・焼土・炭化物多く含む
- 2 褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物・小礫若干含む
- 3 暗褐色土 小礫多く含む
- 4 暗赤褐色土 焼土多く含む
- 5 暗褐色土 炭化物・焼土多く含む
- 6 褐色土

覆土中より、須恵器坏底部が出土した。底部調整は、右回転周辺ヘラ削りで、底部外面に「×」の筈記号がある。

第263図 ピット



(6) グリッド出土の遺物

グリッド出土の遺物は、弥生・古墳時代から奈良・平安時代にわたる時期の遺物が出土した。

CCグリッドから南に向かって傾斜し、第56・57号溝が位置するCG-6・7グリッドが最も低い。また、

溝に沿って周辺は黒色土に覆われ、CF-6・7グリッド、CG-6・7グリッドからは特に多くの遺物が出土した。

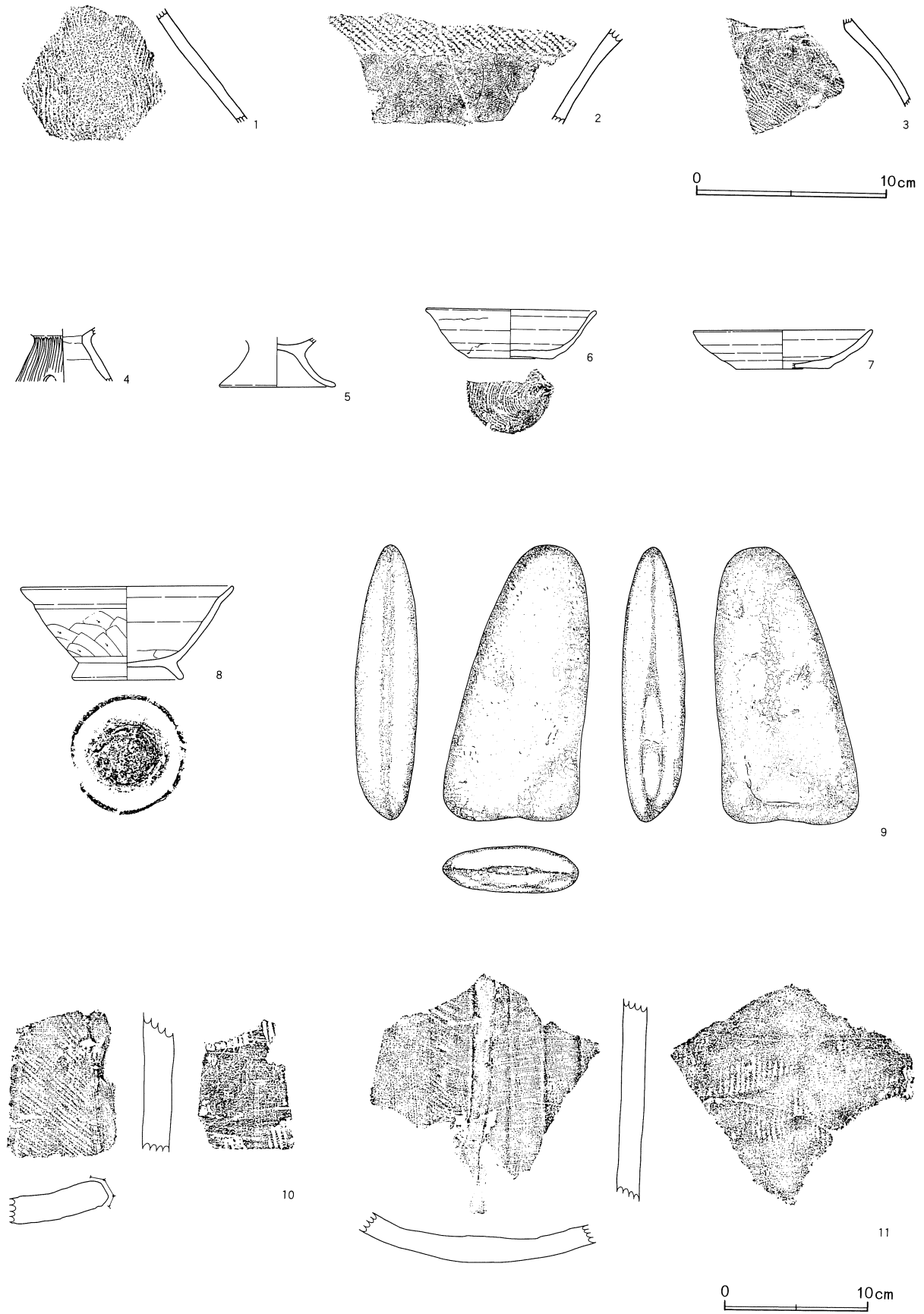
グリッド出土遺物観察表(第264図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	甕				BS	II	鈍い橙	破片	CA-10g. 外面刷毛目
2	弥生土器				CS	I	浅黄橙	破片	CC-7g. 内外面赤彩 外面縄文施文
3	弥生土器				CKS	II	鈍い橙	破片	CC-7g. 外面刷毛目
4	器台				BJS	II	橙	15	CC-7g. 外面縦方向篋磨き 内面横方向篋ナデ 脚部円形孔
5	土師器 台付甕			8.2	BES	II	鈍い橙	75	CC-9g. 台部横ナデ
6	須恵器 坏	(12.0)	3.4	5.8	ABS	I	灰白	35	CC-9g. RC
7	坏	(12.6)	2.7	(6.6)	CJS	II	鈍い黄橙	20	BY-9g. RC 在地土器 ロクロ痕顕著
8	高台付椀	(15.0)	6.5	7.8	CJS	II	鈍い黄橙	70	CA-9g. 口縁部内外面横ナデ 体部外面篋削り

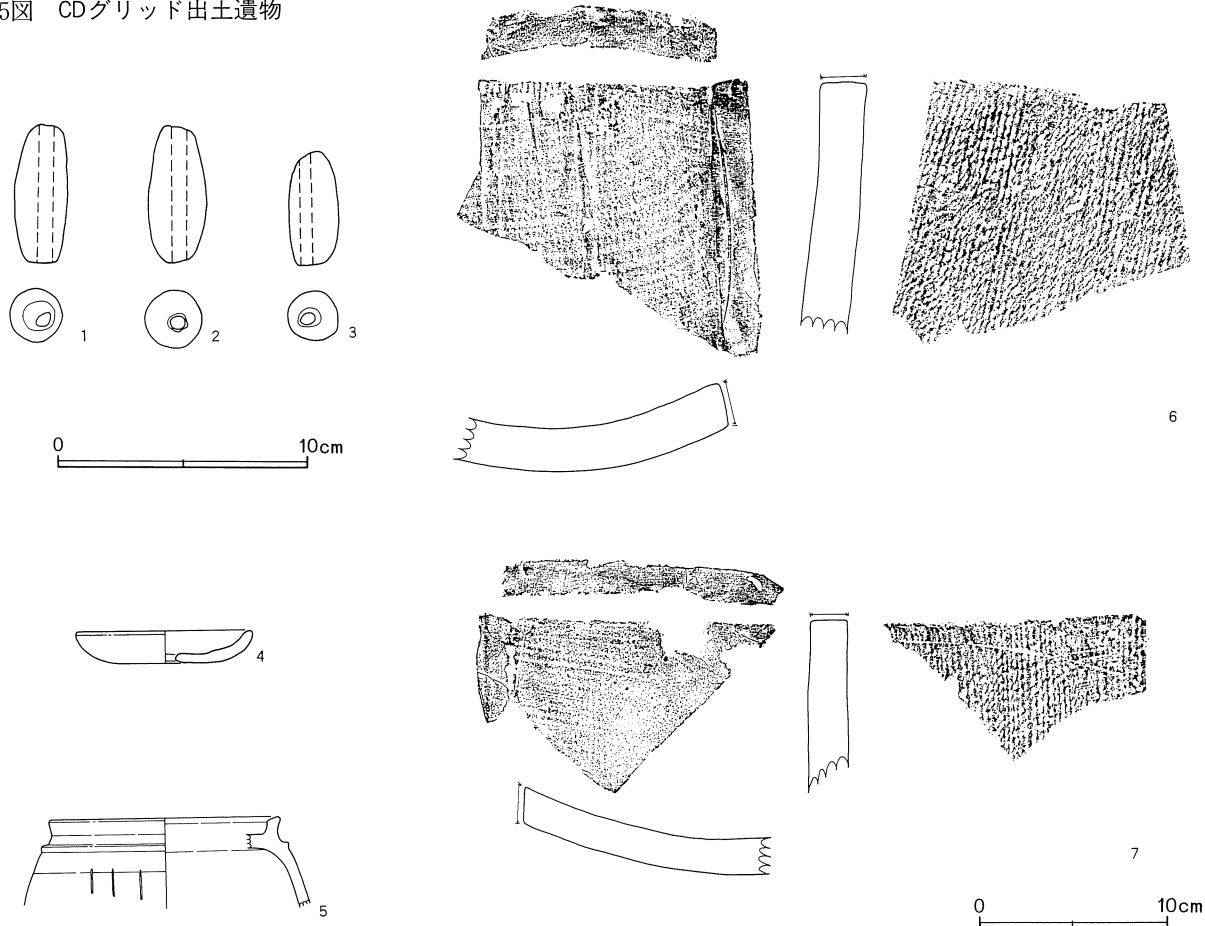
グリッド出土瓦観察表(第264図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
10		2.8	糸切り痕 布目痕 布綴じ痕	平行叩き	平行叩き後横方向ナデ	ヘラ整形 両面面取り	2.1	ABHS	II	鈍い黄橙
11	23×23	2.5	布目痕 縦方向ナデあり	平行叩き	平行叩き後横方向ナデ		1.6	AS	II	鈍い黄橙

第264図 グリッド出土遺物



第265図 CDグリッド出土遺物



CDグリッド出土土錘計測表(第265図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
1	5.6	2.2	4~4.5	23.95
2	5.4	2.3	5~6	25.12

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
3	4.5	2.0	4~5	16.81

CDグリッド出土遺物観察表(第265図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
4	燭台	(11.4)	1.7			II	鈍い橙	30	CD-8g. 底部中央に円形孔 孔径1.0cm 粘土紐巻き上げ整形
5	円面硯	(12.4)			AB	I	灰	10	CD-6-2g. 脚部外面沈線

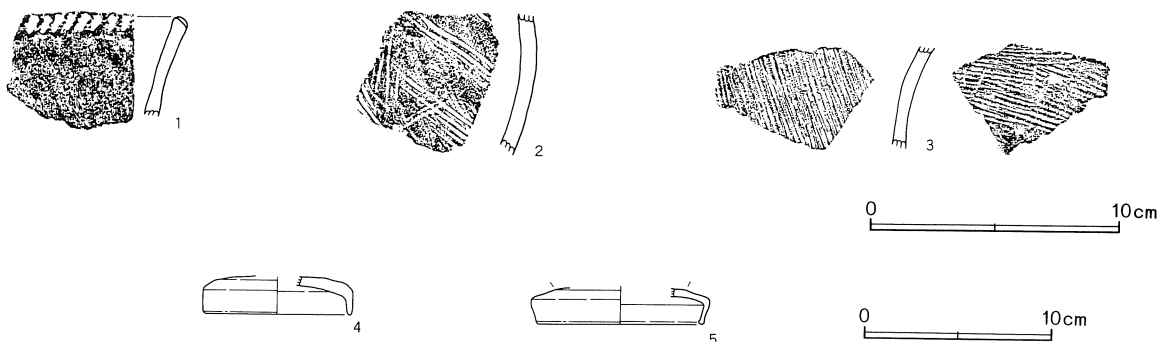
CE-8グリッド出土瓦観察表(第265図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
6			布目痕	叩き	縦方向縄叩き	磨き	2.5	BS	I	灰
7			布目痕	叩き	縦方向縄叩き	磨き	2.1	BS	I	灰

磨製石斧(第264図8)

BD-21グリッド出土で、長さ19.0cm、刃部幅9.6cm、厚さ4.6cmを測る。刃部に使用痕が認められる。

第266図 CE-5 グリッド出土遺物



CE-5 グリッド出土遺物観察表(第266図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
4	須恵器蓋	(8.0)			ABH	I	灰白	10	天井部篋ナデ
5	蓋	(9.0)			ABS	I	灰	10	天井部回転篋削り

CE-6 グリッド出土遺物観察表(第267図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	甕	(12.8)			KS	I	浅黄橙	20	外面縦方向・頸部内面横方向刷毛目
2	小型壺				BS	II	灰	10	頸部外面縦方向刷毛目
3	高坏				S	II	鈍い黄橙	脚部	外面縦方向刷毛目
4	甕			(8.0)	BRS	II	鈍い橙	45	外面篋ナデ及び刷毛目 底部篋ナデ
5	甕			(10.2)	BS	II	浅黄橙	10	外面赤彩・篋磨き 内面工具ナデ 底部工具ナデ 木葉痕一部残存
6	甕				S	II	褐	破片	外面刷毛目
7	甕				ABS	II	黒褐	破片	荒い刷毛目
8	須恵器坏			7.0	ABRS	I	灰褐	70	RBb
9	坏	(12.0)	3.6	6.0	ABS	I	灰	40	RBb 底部外面篋記号「□」
10	坏	(12.2)	3.6	6.0	ABS	I	灰	40	RC 火嚢痕あり
11	高台付坏			7.5	BS	II	灰白	50	回転糸切り後高台貼付ナデ
12	蓋	(12.8)	2.8		ABRS	I	灰	50	天井部右回転篋削り つまみ径2.4cm
13	蓋				ABS	I	灰白	60	天井部右回転篋削り つまみ径2.5cm
14	土師器 台付甕			(10.0)	BS	II	鈍い赤褐	50	台部内外面横ナデ 甕部内面木口状工具ナデ
15	甕	18.0			BKS	II	鈍い赤褐	10	胴部外面←方向篋削り
16	須恵器 円面硯	(14.9)			S	I	灰白	10	硯面部を除き全面自然釉・降灰付着 脚部方形透しと沈線

CE-6 グリッド出土土錘計測表(第267図)

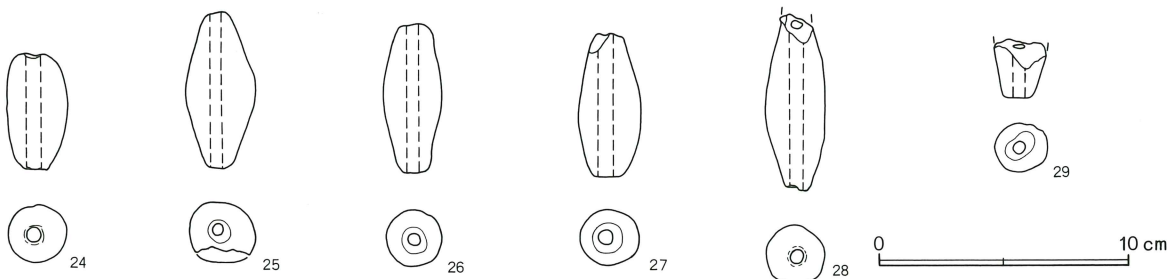
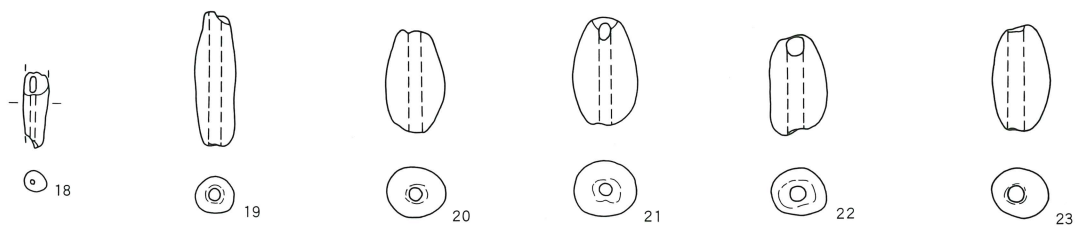
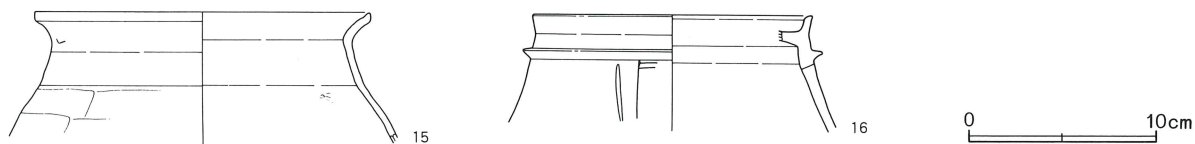
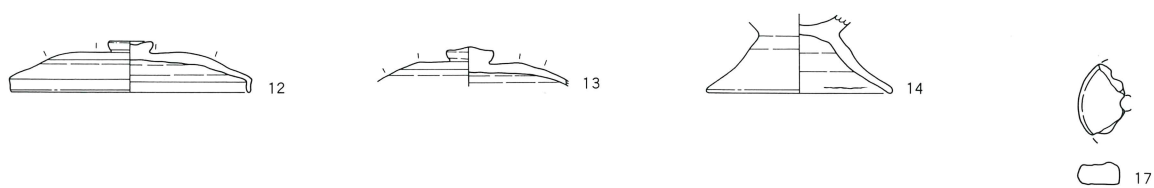
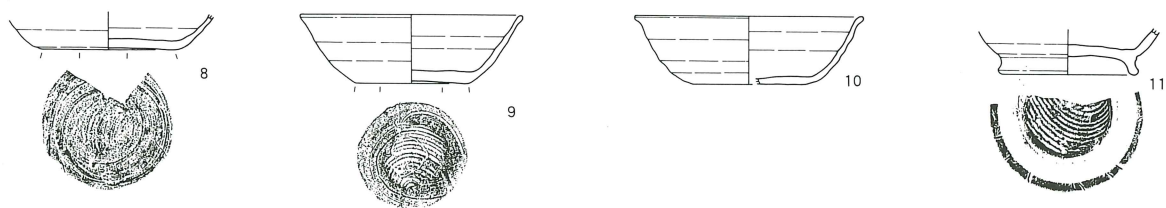
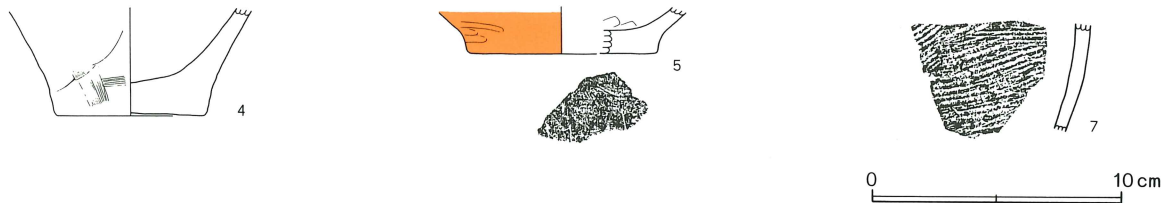
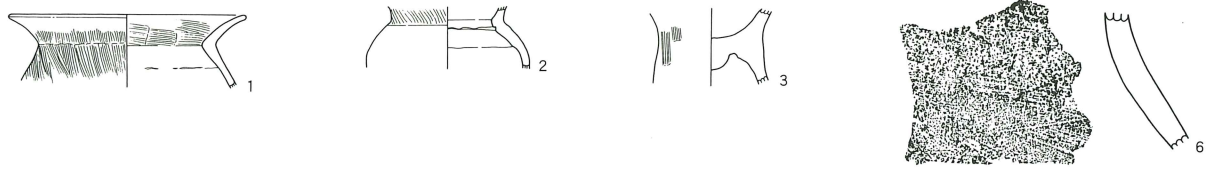
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
18	(2.9)	0.9	2	(1.35)
19	5.2	1.6	5	12.63
20	4.0	2.4	5~5.5	17.95
21	4.3	2.6	6~6.5	23.03
22	3.9	2.2	6.5~7	15.4
23	4.2	2.3	6~6.5	16.14

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
24	4.0	2.4	6~6.5	22.90
25	6.2	2.7	4.5~5	26.81
26	5.8	2.3	5	26.79
27	5.6	2.5	5.5~6	27.72
28	(6.8)	2.4	5.5~6	(31.20)
29	(2.3)	(2.1)	4~5	(6.77)

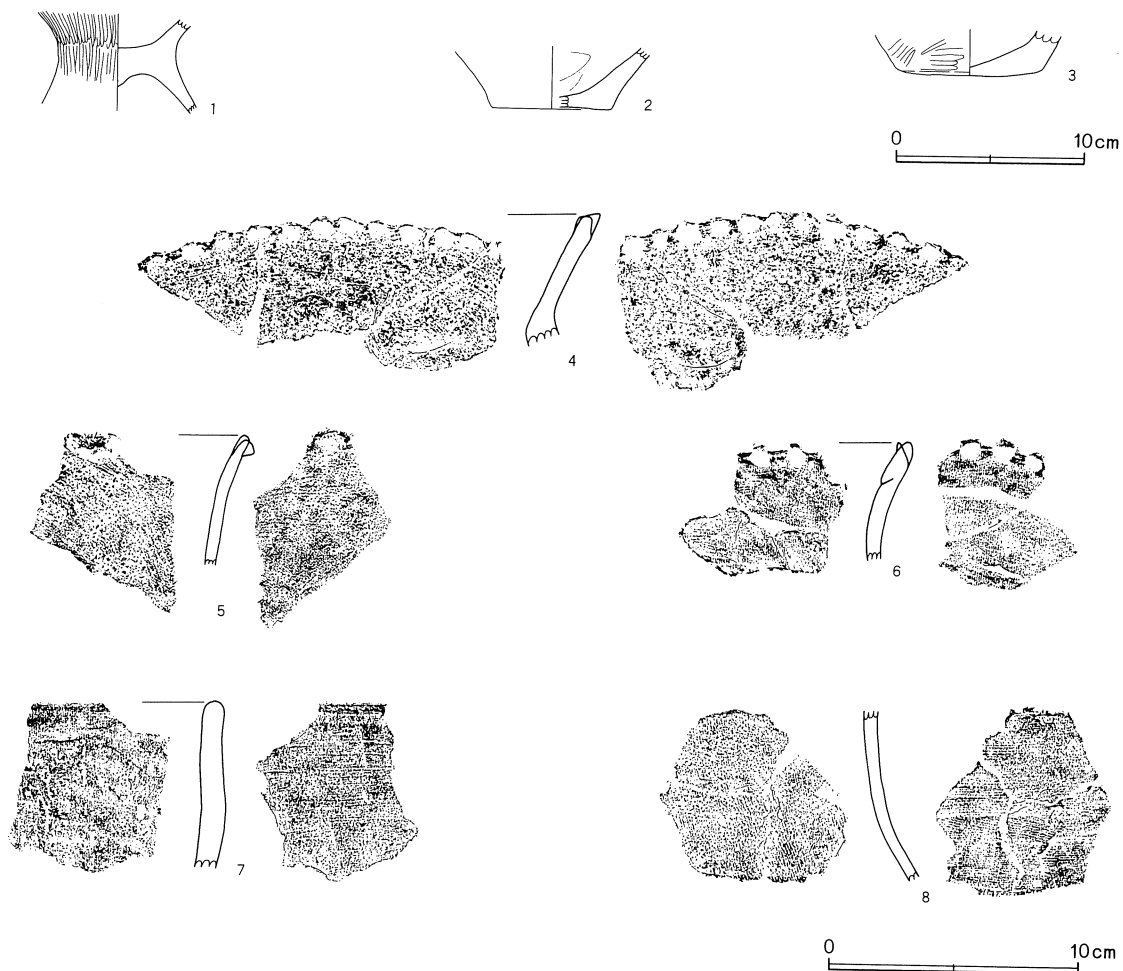
紡錘車(第267図17)

土製で、片面一部が剝離している。面と外周は丁寧なへら整形が施されている。

第267図 CE-6 グリッド出土遺物



第268図 CE-7グリッド出土遺物



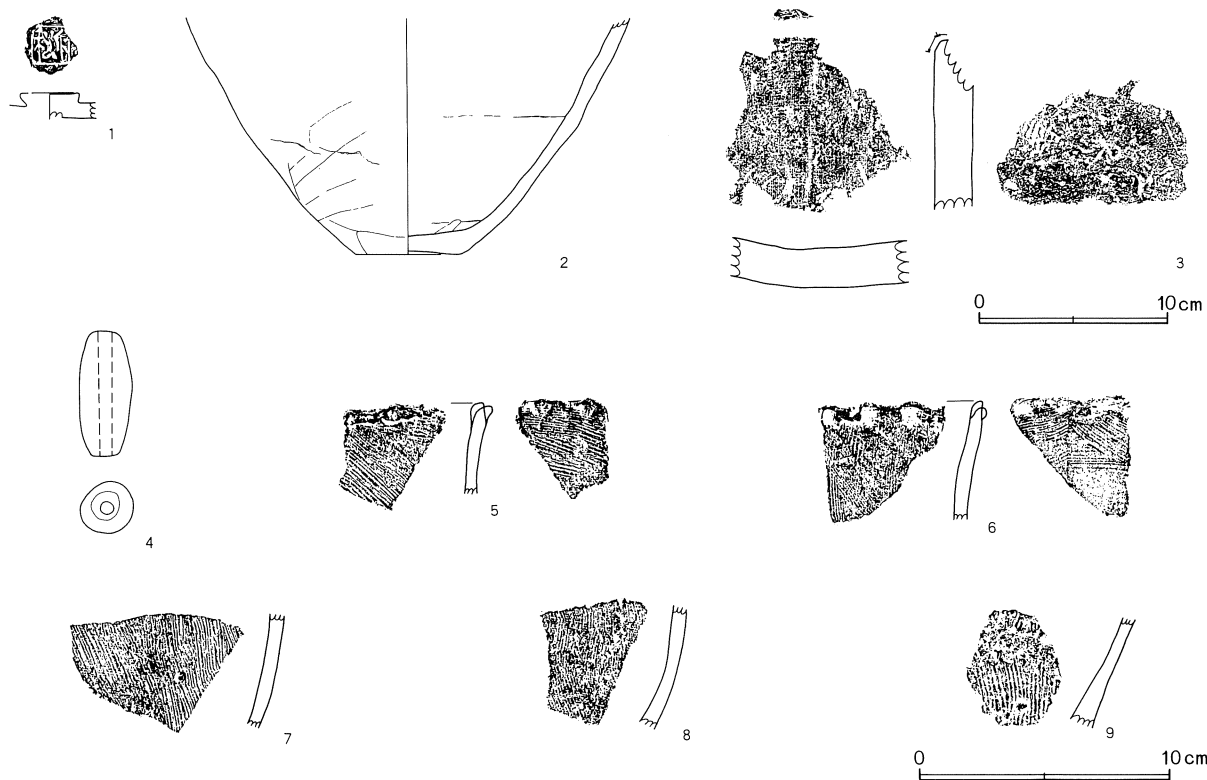
CE-7グリッド出土遺物観察表(第268図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	台付甕				AS	II	鈍い黄橙	90	外面縦方向篋磨き
2	甕			6.4	BS	II	鈍い橙	90	内面工具ナデ
3	甕			7.8	BS	II	橙	80	外面横・斜方向篋磨き 底部篋磨き
4	甕				AS	II	鈍い赤褐	破片	口縁端部指頭押捺により波状 内外面横刷毛
5	甕				S	II	鈍い橙	破片	口縁端部指頭押捺により波状 内外面横刷毛
6	甕				AS	II	鈍い褐	破片	折り返し口縁 口縁端部指頭押捺により波状 口縁外面横刷毛、以下縦刷毛
7	甕				S	II	鈍い橙	破片	口縁部横ナデ 外面縦方向篋削り 内面横方向刷毛目
8	甕				S	II	灰黄褐	破片	外面縦方向刷毛目 内面横方向刷毛目

CE-8グリッド出土遺物観察表(第269図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器蓋				AS	I	鈍い黄橙	破片	鈕部外面押印「榊」 鈕径(3.2)cm
2	甕			(5.6)	KS	II	橙	30	外面斜方向篋削り 底部寄り横方向篋削り 内外面底部工具ナデ
5	甕				AS	II	鈍い黄橙	破片	口縁端部指頭押捺により波状を呈す
6	甕				AS	II	鈍い黄褐	破片	口縁端部指頭押捺により波状を呈す
7	甕				S	II	黒褐	破片	外面斜方向刷毛目
8	甕				S	II	灰黄褐	破片	外面縦方向刷毛目
9	甕				S	II	鈍い黄橙	破片	外面縦方向刷毛目

第269図 CE-8グリッド出土遺物



CE-8グリッド出土瓦観察表(第269図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
3	25×25	3.0	布目痕	平行叩き 1.7cm/5本	平行叩き後横方向の ナゲ消し	へら整形 凹面側面取り	2.0	ABS	I	灰

CE-8グリッド出土土錘計測表(第269図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
4	4.9	2.1	4.5	20.19

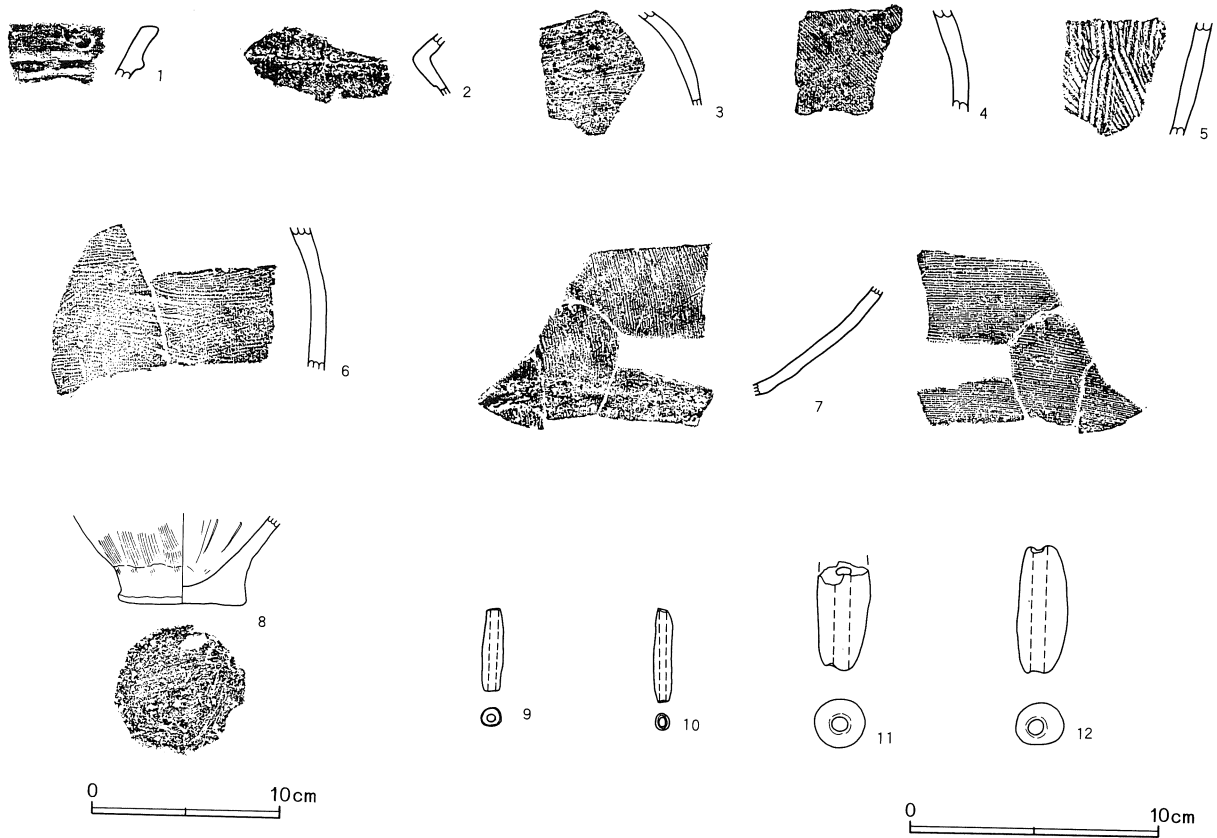
CF-5グリッド出土遺物観察表(第270図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	甕				S	II	赤	破片	口縁端部・内面赤彩
2	甕				BS	II	橙	破片	外面縦方向刷毛目
3	甕				BS	II	鈍い黄橙	破片	外面横方向刷毛目
4	甕				ABS	II	黒	破片	外面刷毛目
6	甕				ABS	II	鈍い黄橙	破片	外面横方向刷毛目
5	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面縦方向刷毛目
7	甕				S	II	橙	破片	外面縦方向刷毛目 内面横方向刷毛目
8	甕			6.8	BS	II	鈍い黄橙	70	外面縦方向刷毛目 底部篋削り

CF-5グリッド出土土錘計測表(第270図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)	番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
9	3.3	0.8	2~3	2.10	11	(4.3)	2.1	5.5~6	(15.21)
10	3.6	0.7	2.5~3	1.43	12	5.1	2.0	5~5.5	15.89

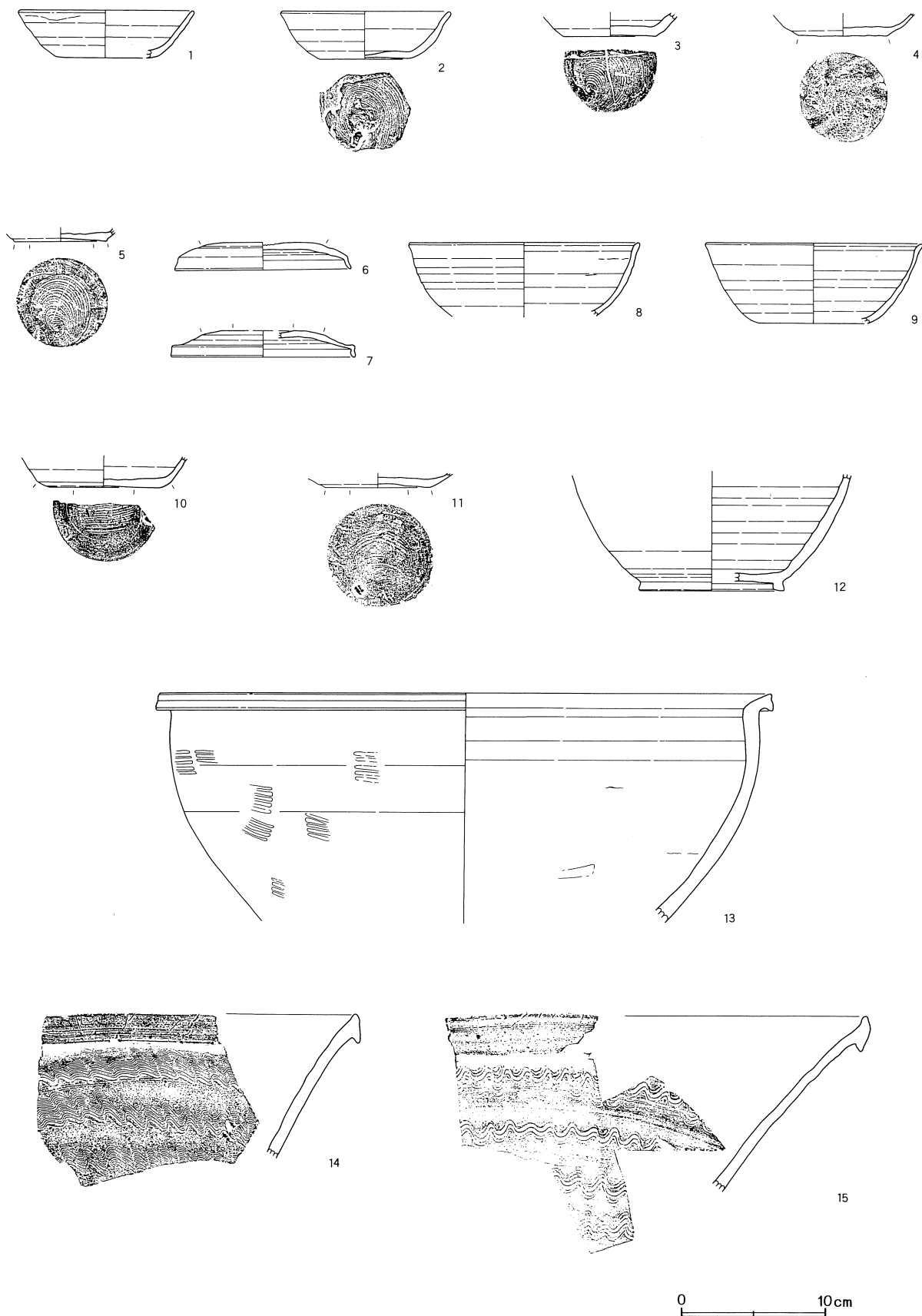
第270図 CF-5グリッド出土遺物(I)



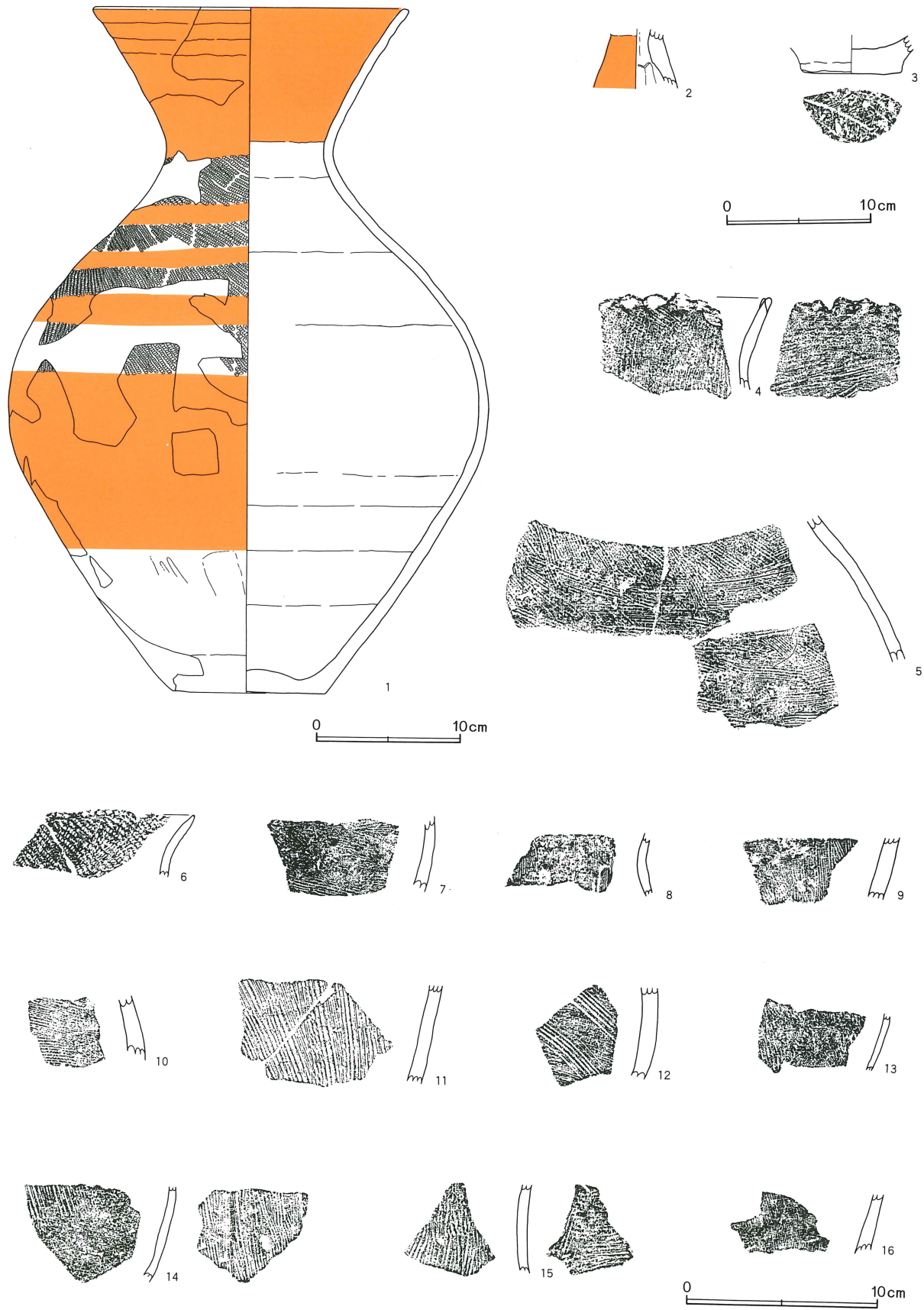
CF-5グリッド出土遺物観察表(2)(第271図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器 坏	(12.2)	3.3	(7.0)	ARS	I	鈍い橙	20	RC
2	坏	(12.8)	2.5	(6.4)	ABRS	I	灰	30	RC 糸切りやり直しの痕跡
3	坏			6.4	AS	III	淡黄	60	RC 底部外面鏡記号「×」
4	坏			6.2	ABRS	I	灰	100	底部全面手持ち鏡削り
5	坏			6.4	ABS	I	灰黄	100	RBb 底部外面鏡記号「×」 内面油煙付着 灯明皿
6	蓋	(12.3)			ABS	I	灰	10	天井部右回転鏡削り 紐接合部鏡渦卷文
7	蓋	(12.8)			AS	I	灰	40	天井部回転糸切り後右回転鏡削り
8	椀	(16.0)			ABS	I	灰	15	底部整形不明
9	椀	(15.0)			ABS	I	灰	15	底部整形不明
10	椀			(7.6)	ABS	I	灰	45	静止糸切り後左回転鏡削りが体部下端に及ぶ
11	鉢			7.2	ABRS	I	黄灰	100	RBb
12	鉢			(10.0)	ABRS	I	灰	20	内外面ロクロナデ
13	鉢	(42.5)			ABS	I	灰	10	外面平行叩き後ナデ調整
14	甕				ABRS	I	暗灰	破片	外面波状文
15	甕				AS	I	灰	破片	外面波状文

第271図 CF-5グリッド出土遺物(2)



第272図 CF-6 グリッド出土遺物(I)



CF-6 グリッド出土遺物観察表(1)(第272図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	壺				FS	I	鈍い橙	60	口縁部外面輪積痕明瞭 肩部外面縄文4段 肩部外面無文部・胴部中央付近赤彩 外面胴部下半無彩 内面口縁～頸部赤彩
2	高坏			(7.0)	BS	II	赤	50	外面赤彩
3	甕				ABS	II	鈍い橙	35	底部外面木葉痕
4	甕				S	I	鈍い褐色	破片	口縁端部指頭押捺により波状を呈す
5	甕				ABS	II	鈍い黄橙	破片	外面斜・横方向刷毛目
6	甕				BS	II	浅黄橙	破片	口縁部破片 外面縄文施文
7	甕				ABS	II	灰黄褐	破片	外面刷毛目
8	甕				ABS	II	鈍い黄橙	破片	外面縦方向刷毛目
9	甕				ABS	II	鈍い黄橙	破片	外面刷毛目
10	甕				BS	II	鈍い橙	破片	外面横方向刷毛目
11	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面縦方向刷毛目
12	甕				BS	II	鈍い橙	破片	外面縦方向刷毛目後櫛描文
13	甕				ABS	II	褐灰	破片	外面縦方向刷毛目
14	甕				BS	II	鈍い黄橙	破片	内外面刷毛目
15	甕				BS	II	浅黄橙	破片	外面縦方向刷毛目 内面横方向刷毛目
16	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面刷毛目

CF-6 グリッド出土遺物観察表(2)(第273図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	土師器坏	(13.4)			BHS	II	鈍い橙	10	底部外面篋削り
2	坏	(14.4)	2.9	(10.8)	BJS	II	橙	10	内面放射状暗文
3	須恵器坏	(14.0)	3.0	9.4	ABS	I	灰	10	RA 底部・体部内面油煙
4	坏	(14.0)	3.2	(8.6)	AS	I	灰	10	RA
5	坏	(11.6)	3.3	(6.2)	AB	I	黄灰	25	RBb 体部下端回転篋削り
6	坏	(12.2)	3.4	6.1	AB	I	灰	50	RC
7	坏	(11.9)	3.3	5.6	AB	I	灰黄	30	RC
8	坏	(12.0)	3.6	5.7	AB	I	灰	30	RC
9	坏			(6.2)	A	I	灰黄	40	RC
10	須恵器蓋	(16.0)	4.2		AB	I	灰	30	天井部右回転篋削り 鈕径2.7cm
11	椀			7.9	ABS	I	灰	40	RA ロクロ痕顕著
12	甕				ABS	I	灰白	15	外面下半木口状工具による横方向ナデ 内面指ナデ
13	鉢				ACS	I	灰	10	内外面ロクロナデ
14	土師器甕			(6.6)	B	II	黒褐	25	外面篋削り 内面木口状工具ナデ
16	円面硯	(13.4)			AB	I	灰	10	脚部十字透かし(?)と弧状沈線 堤貼り付け部裾外面に竹管文状刺突
17	円面硯			(15.6)	AB	I	灰	10	脚部長方形透かしと縦方向沈線

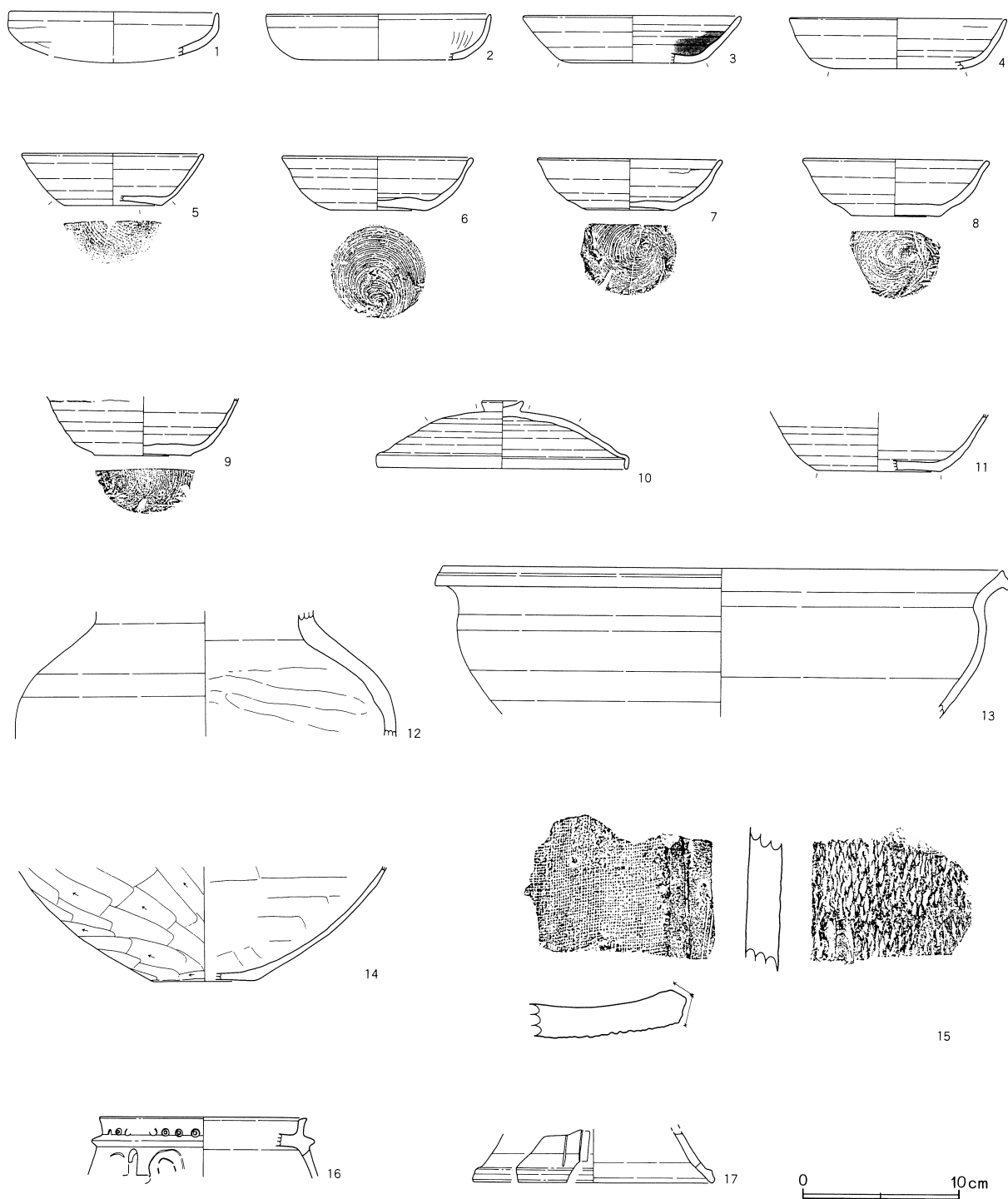
CF-6グリッド出土瓦観察表(第273図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
15	24×21		布目痕	縄叩き	縦方向縄叩き	へら整形 凹面側面取り	1.6	BS	I	灰

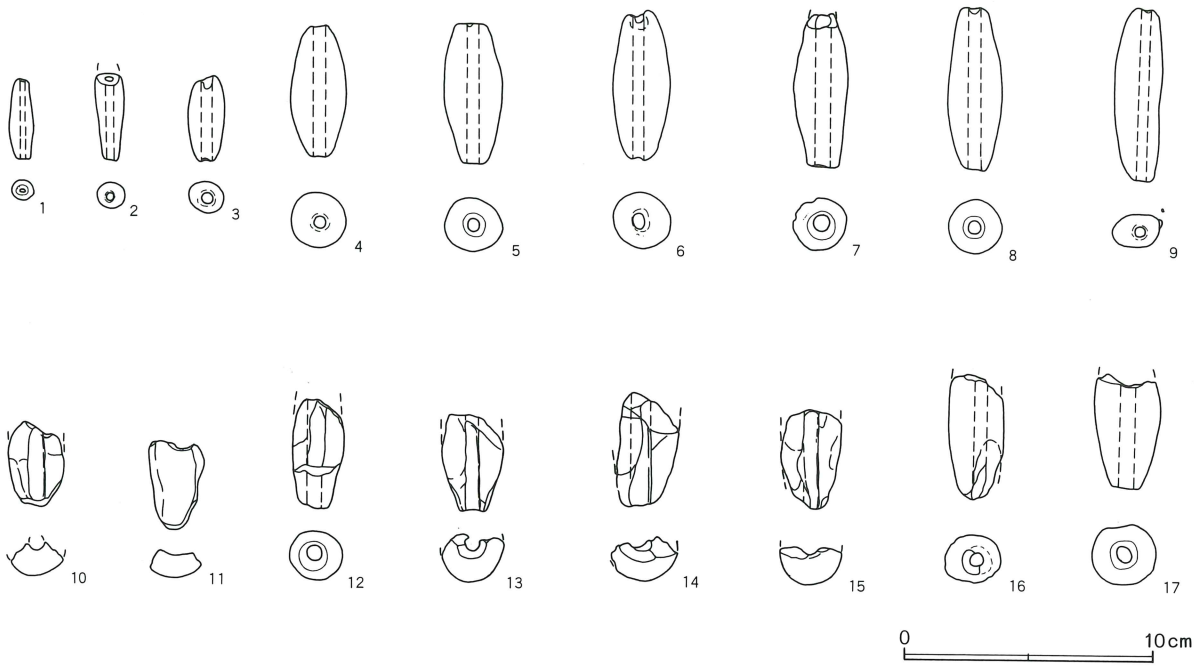
CF-6 グリッド出土土錘計測表(第274図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)	番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
1	3.2	0.9	1.5~2	1.98	10	(3.2)	(2.2)	5.5	(9.42)
2	(3.4)	1.1	2.5~3	(3.37)	11	(3.4)	(2.1)	10	(7.54)
3	3.4	1.4	4	5.14	12	(4.3)	2.0	5~5.5	(9.43)
4	5.2	2.2	4~4.5	23.38	13	(3.7)	2.5	5	(11.28)
5	5.5	2.3	5~5.5	25.22	14	(4.4)	(2.3)	8	(10.98)
6	6.0	2.3	4.5~5	26.34	15	(4.0)	(2.3)	5	(10.33)
7	(6.1)	2.2	6	(22.48)	16	(4.9)	2.2	5	(17.85)
8	6.5	2.1	4.5~5	25.99	17	(4.5)	2.6	5.5~6	(24.15)
9	6.9	1.9	3~3.5	19.80					

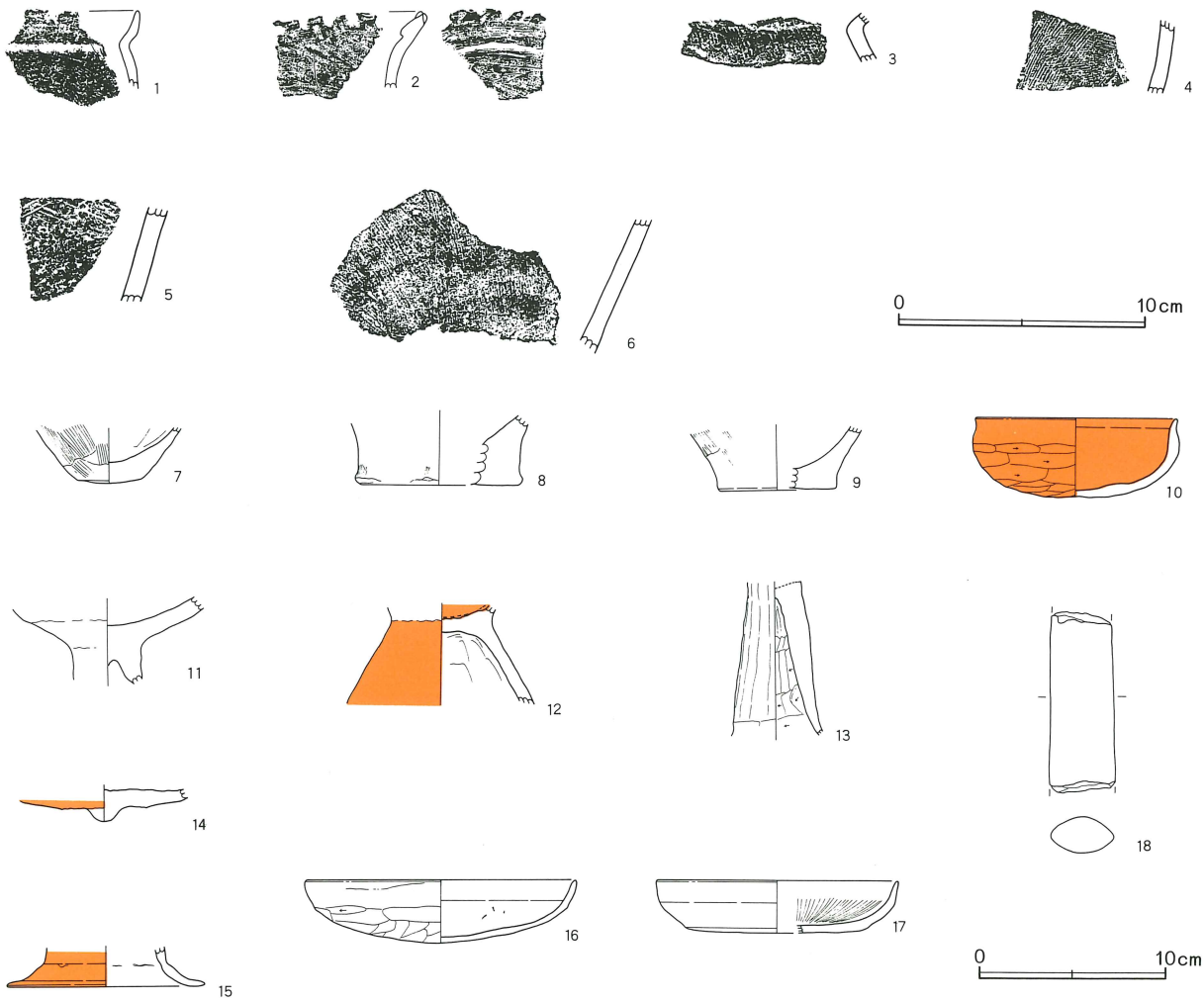
第273図 CF-6 グリッド出土遺物(2)



第274図 CF-6 グリッド出土遺物(3)



第275図 CF-7 グリッド出土遺物(1)



CF-7グリッド出土遺物観察表(1)(第275図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	弥生甕				BS	II	橙	破片	口縁部破片 外面刷毛目
2	甕				BS	II	鈍い橙	破片	口縁端部指頭押捺により波状を呈す 外面斜方向刷毛目
3	甕				BS	II	橙	破片	外面刷毛目
4	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面斜方向刷毛目
5	甕				BS	II	鈍い褐	破片	外面斜方向櫛描文か 調整やや不明瞭
6	甕				ABS	II	鈍い黄橙	破片	外面縦方向刷毛目
7	甕			(3.4)	ARS	II	灰黄	75	外面縦方向刷毛目
8	甕			(9.0)	BRS	II	鈍い橙	15	外面刷毛目
9	甕			(6.4)	ABRS	II	鈍い橙	20	外面刷毛目 底部外面丁寧な工具ナデ
10	土師器環	(10.8)	4.2		BS	I	赤	20	内外面赤彩
11	高環				S	II	橙	80	内面工具ナデ 外面粘土接合痕明瞭
12	台付甕				S	II	灰白	90	台部外面・甕部内面赤彩
13	高環				CJS	II	橙	95	脚柱部外面縦方向篋ナデ 脚端部横方向篋ナデ
14	高環				JS	II	赤橙	60	外面赤彩 内面剝離痕
15	高環			(10.6)	BS	II	赤	15	外面赤彩
16	土師器環	(14.6)	3.4		JS	II	橙	60	底部外面篋削り 底部内面ナデ
17	環	(13.0)	2.8	(9.8)	JS	II	橙	25	内面放射状暗文

CF-7グリッド出土遺物観察表(2)(第276図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	環	(12.8)	3.4	7.2	ABCRS	I	灰白	45	底部全面手持ち篋削り
2	環			(6.8)	ABS	I	灰白	15	底部全面手持ち篋削り
3	須恵器環	(16.2)	4.1	(9.8)	ABS	II	灰白	20	RA
4	環	(16.0)	3.9	9.2	ABS	I	褐灰	60	RBa
5	環	(15.6)		(10.0)	ABRS	I	灰	20	RA
6	環	(16.0)	3.1	(11.4)	ABRS	I	灰	20	RA体部外面陰押印「内」 押印部の内外面押さえ痕
7	環	12.3	4.0	5.6	ABS	I	灰	60	RA
8	環			7.6	ABS	I	灰	90	RBb 火襷痕あり
9	環	(12.8)	3.4	(6.6)	ABS	I	灰白	30	RC 火襷痕あり
10	環	(12.0)	3.7	(6.6)	ARS	I	灰	35	RC
11	環	12.7	4.0	5.7	ABS	I	灰	60	RC やや歪みあり
12	高台付環			(7.6)	ABHS	I	灰	40	底部右回転篋削り後高台貼付ナデ
13	須恵器蓋	(16.6)	4.1		ABCRS	I	灰	25	天井部右回転篋削り 鈕径2.9cm
14	蓋				ABRS	I	灰	25	天井部右回転篋削り 鈕径3.8cm
15	鉢	(28.0)	13.4	(14.4)	ABRS	I	灰	40	体部外面縦方向平行叩き後横方向篋ナデ消し 体部下端・底部←方向篋削り
16	灰釉陶器瓶				H	I	オリーブ灰	10	瓶類肩部破片 外面緑色釉
17	甕				BHS	I	暗灰	破片	頸部刷毛状工具で横方向にナデ 体部→方向篋削り 外面不明 内面篋横ナデ
18	円面硯			(16.7)	AB	I	灰	破片	内外面自然釉 脚部縦方向沈線

CF-7グリッド出土土錘計測表(第276図)

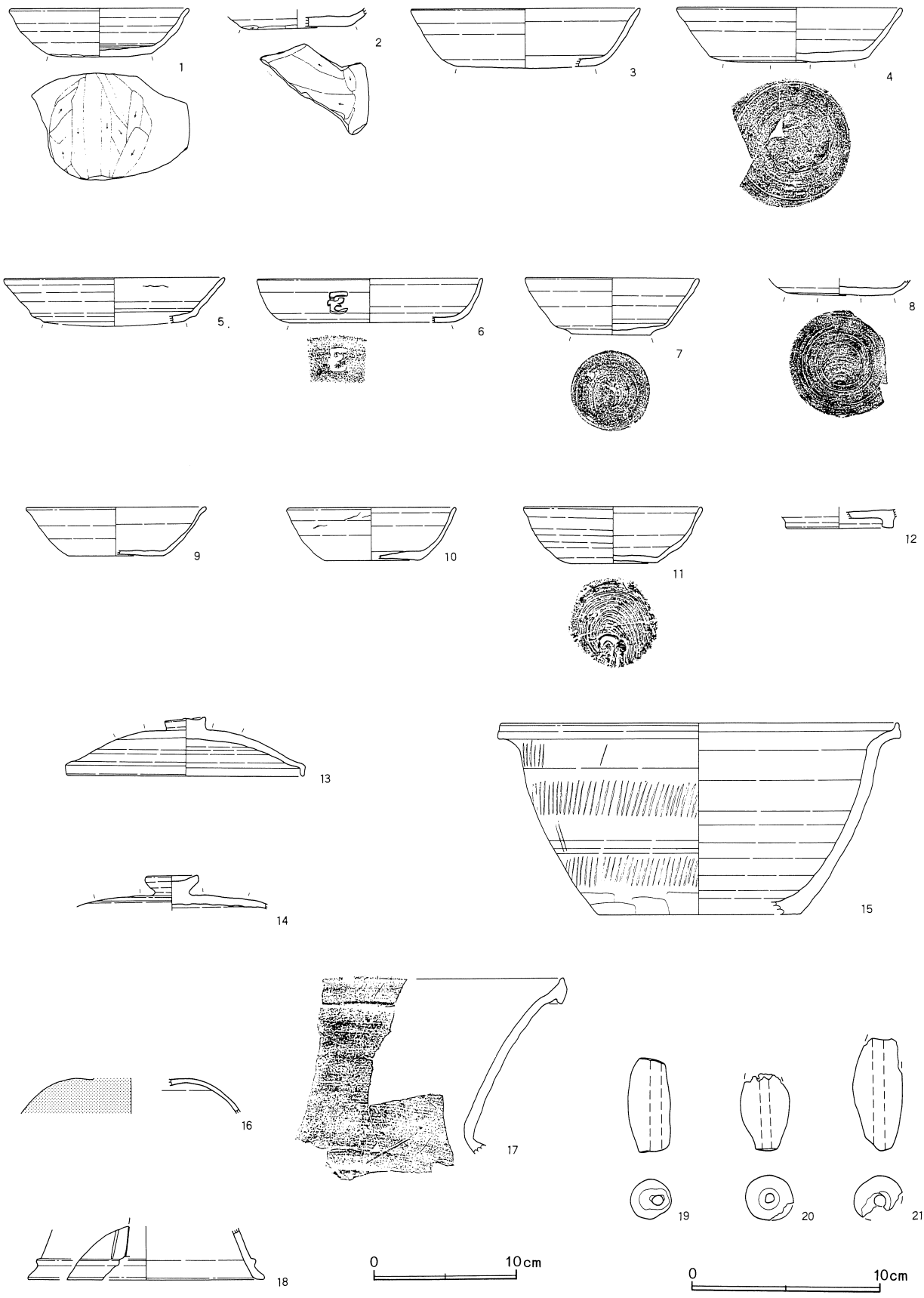
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
19	4.9	2.2	4.5~5.5	21.69
20	(4.1)	2.5	4.5~5	(19.47)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
21	(5.9)	2.5	5	(22.45)

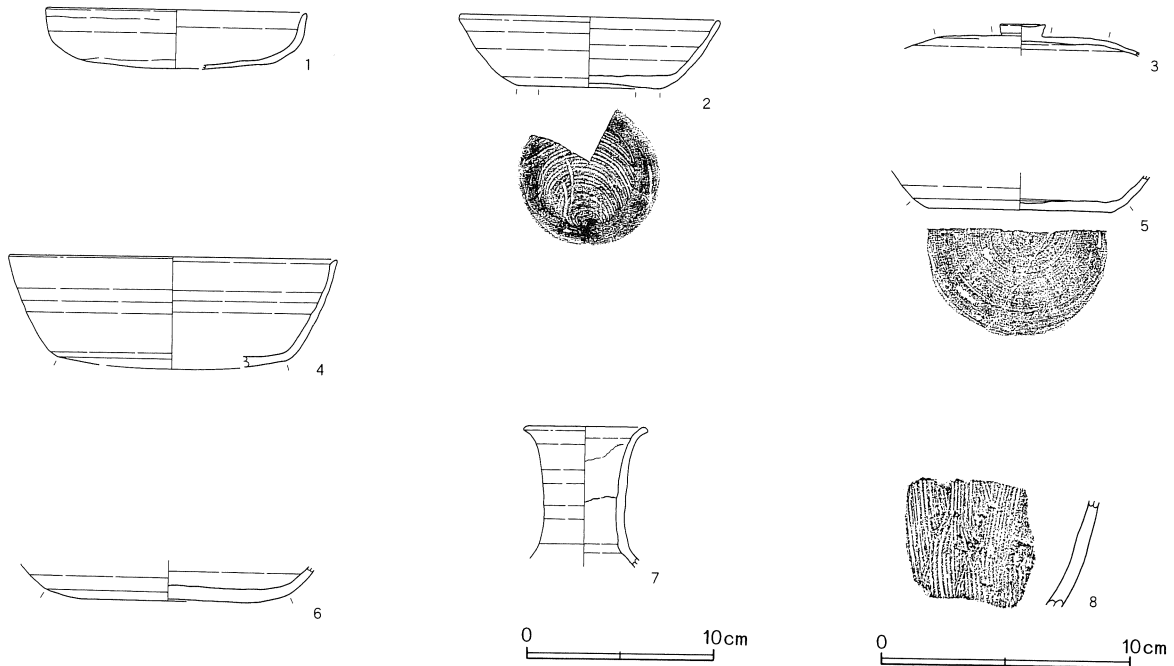
石剣(第275図18)

両端は欠損し、幅3.5cm、厚さ2.2cmを測る。被熱し
橙色に変色している。

第276図 CF-7グリッド出土遺物(2)



第277図 CF-8 グリッド出土遺物



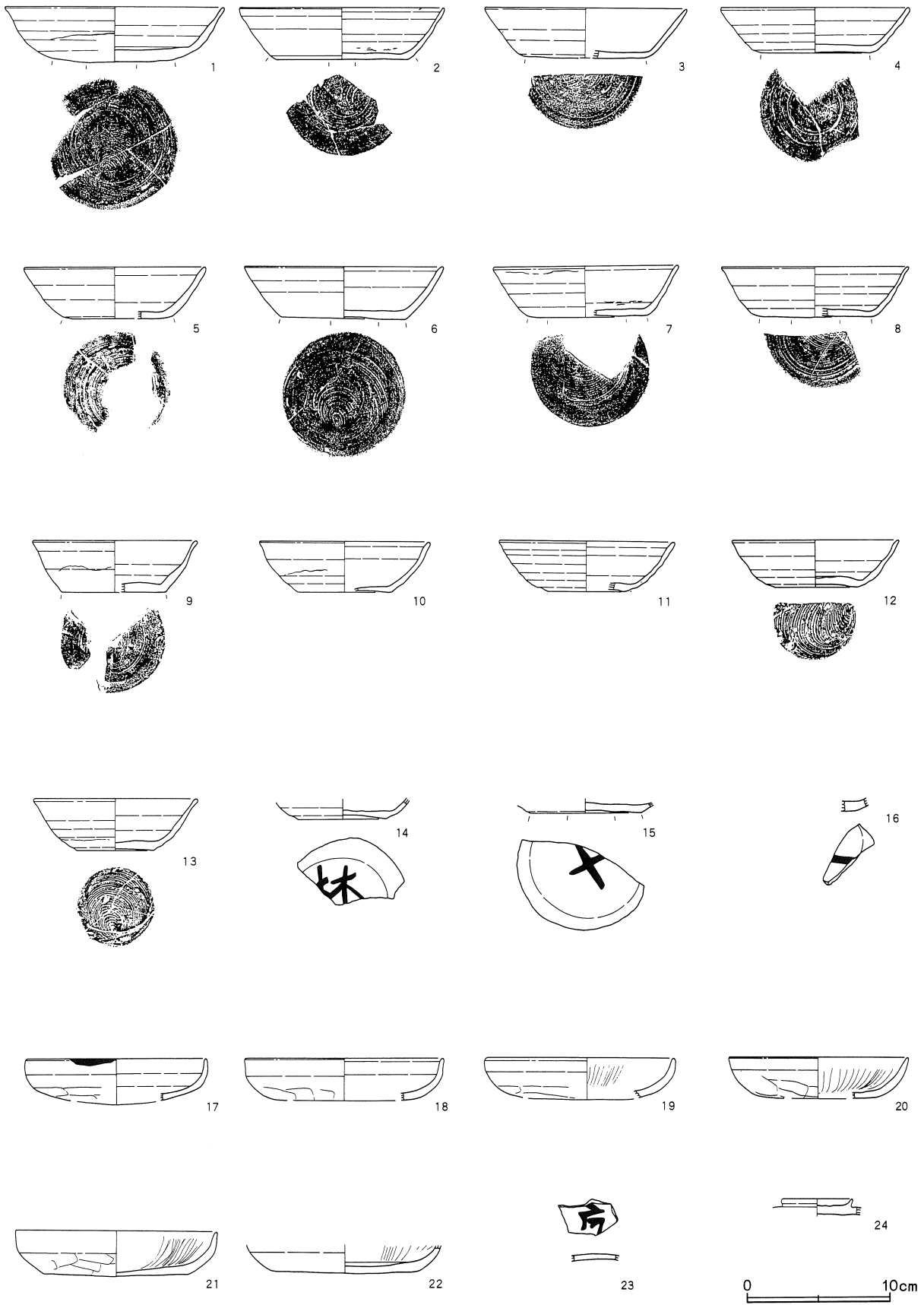
CF-8 グリッド出土遺物観察表(第277図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	土師器 坏	(14.0)	3.1	(10.6)	BS	II	橙	15	底部外面篋削り 口縁部内外面ロクロナデ
2	須恵器 坏	(14.0)	3.7	7.6	ABS	I	褐灰	40	RBb 底部外面篋削り「 」
3	蓋				ABRS	I	灰	15	天井部右回転篋削り つまみ径2.5cm
4	椀	(17.6)	5.7	(12.2)	ABRS	I	灰褐	25	RA 底部僅かに丸味を帯びる
5	椀			9.8	ABRS	I	灰白	50	RA 体部下端に篋削り及ぶ
6	椀			(9.2)	ABCS	I	灰	40	RA 体部下端に篋削り及ぶ
7	長頸瓶	(6.6)			BHS	II	灰白	45	ロクロ整形
8	甕				S	II	褐	破片	外面縦方向刷毛目

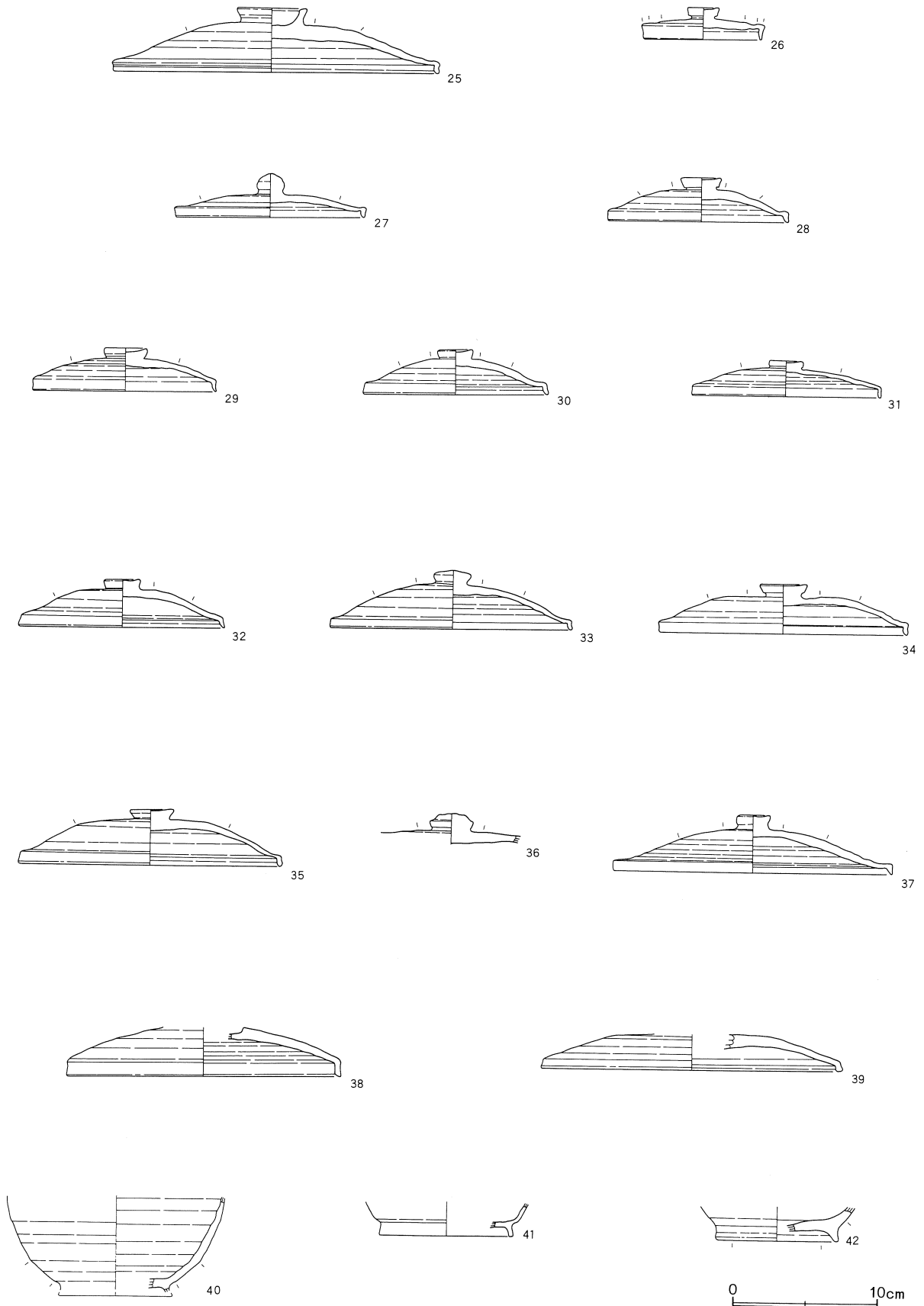
CG-6 グリッド出土遺物観察表(第278図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器 坏	(15.5)	3.9	8.5	ABS	I	灰	50	RBb 丸底
2	坏	(14.4)	3.6	(9.2)	ABRS	I	灰	25	RBa 体部下端回転篋削り 体部外面自然釉
3	坏	(14.2)	3.5	(8.4)	ABS	III	鈍い黄橙	40	RA
4	坏	(13.2)	3.1	(7.6)	ABCRS	II	灰白	40	RA
5	坏	(12.8)	3.6	6.1	ABS	II	鈍い褐	40	RA 体部下端に回転篋削り及ぶ
6	坏	(14.1)	3.6	8.7	ABRS	I	灰	70	LBa
7	坏	13.1	3.5	8.4	ABRS	I	灰	70	RBb
8	坏	(13.2)	3.5	(7.8)	ABS	I	灰	30	RBb 篋削りあり「×」
9	坏	(11.6)	3.6	7.3	AB	I	灰	60	RA 底部篋削り面の段差内側に糸切り痕
10	坏	(12.0)	3.5	(6.4)	A	I	黄灰	25	RC
11	坏	(12.4)	3.5	(5.4)	ABS	I	灰	35	RC ロクロ痕顕著
12	坏	(11.8)	3.3	(5.8)	ABCRS	I	灰	40	RC
13	坏	(11.6)	3.6	5.5	ABRS	I	灰白	50	LC 底部に糸引き抜き痕
14	坏			(6.2)	ABCS	III	灰白	25	RC 底部外面墨書「林」
15	坏			(7.8)	ABS	I	灰	50	RBb 底部外面墨書「×」(タール状に濃い)
16	坏				AS	I	灰白	破片	RC 底部外面墨書
17	土師器 坏	(12.8)		(11.8)	BS	II	鈍い橙	10	口縁部内外面一部に油煙 灯明皿
18	坏	(14.0)	2.9	(9.9)	BEJ	I	灰褐	15	底部外面一方向篋削り
19	坏	(13.4)			BS	I	橙	15	内面放射状暗文 器壁荒れる
20	坏	(13.6)	2.9	(8.6)	JS	I	鈍い橙	30	内面放射状暗文 底部一方向の篋削り
21	坏	(14.2)	3.2	(10.2)	JS	I	橙	20	口縁部内外面一部に煤付着 内面放射状暗文 底部一方向の篋削り

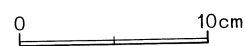
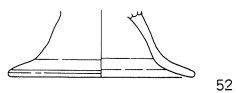
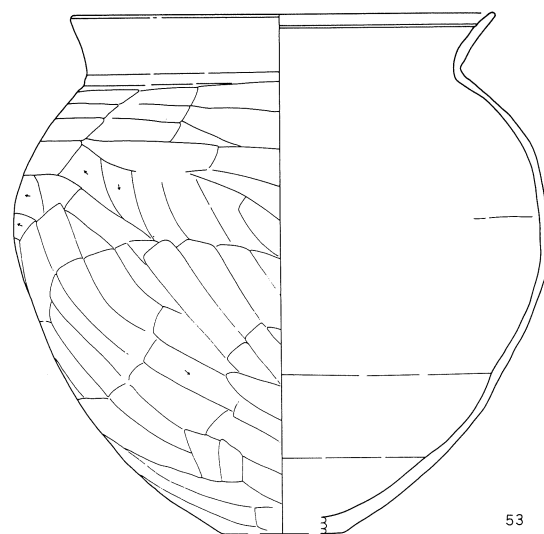
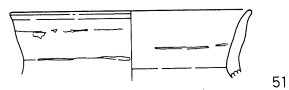
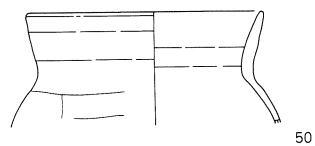
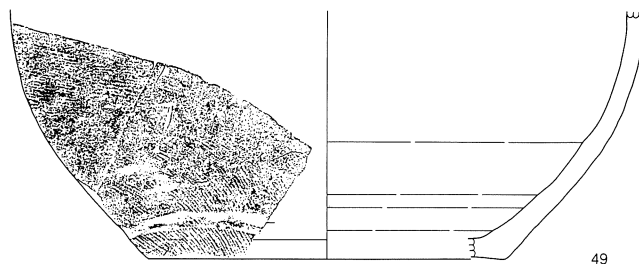
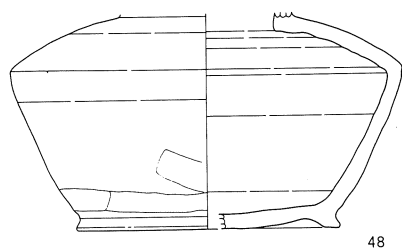
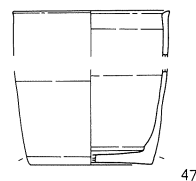
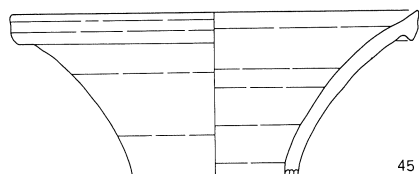
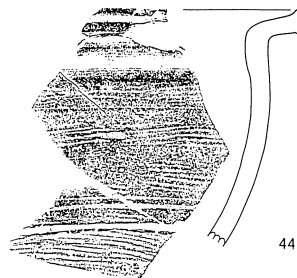
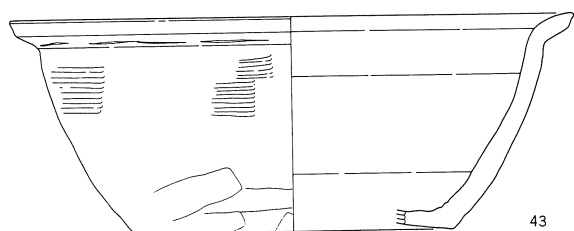
第278図 CG-6 グリッド出土遺物(I)



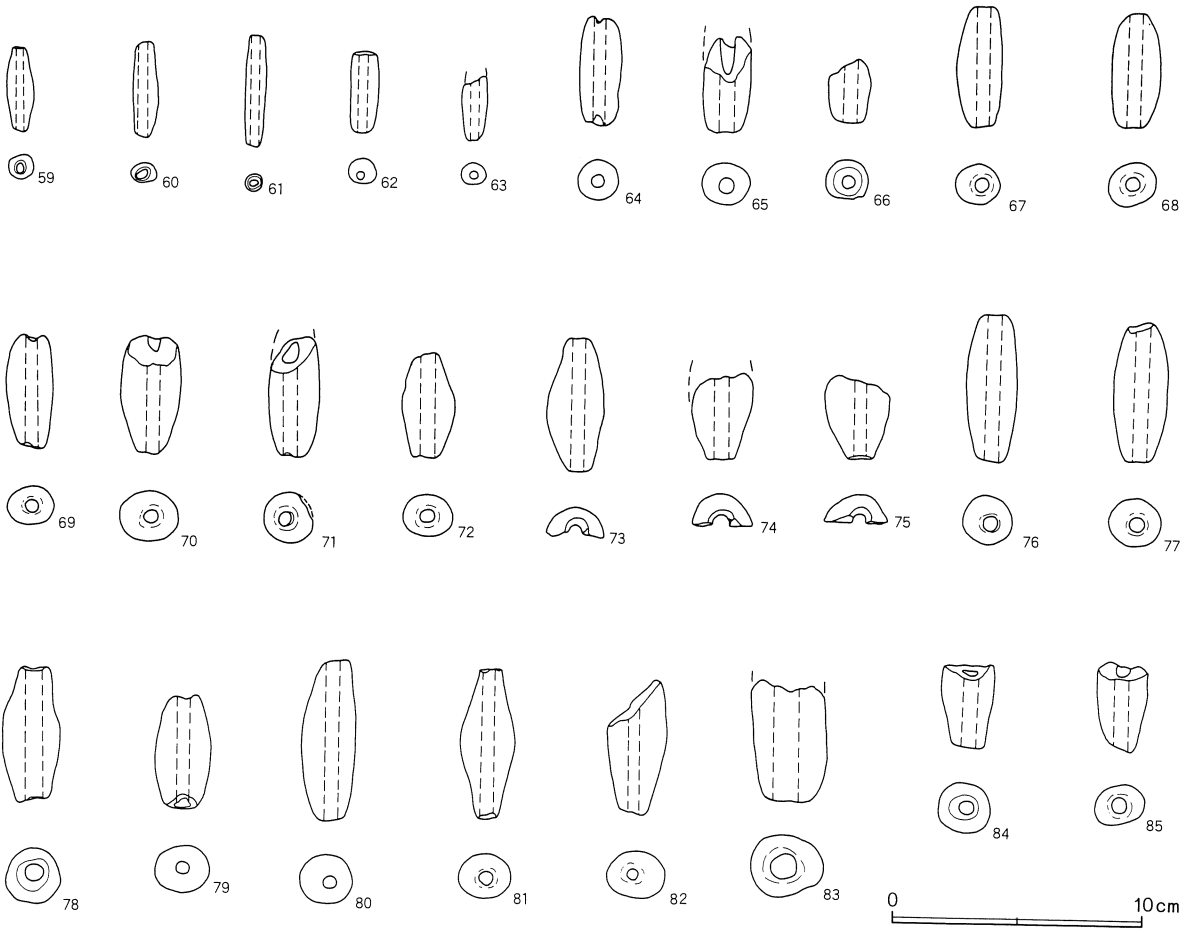
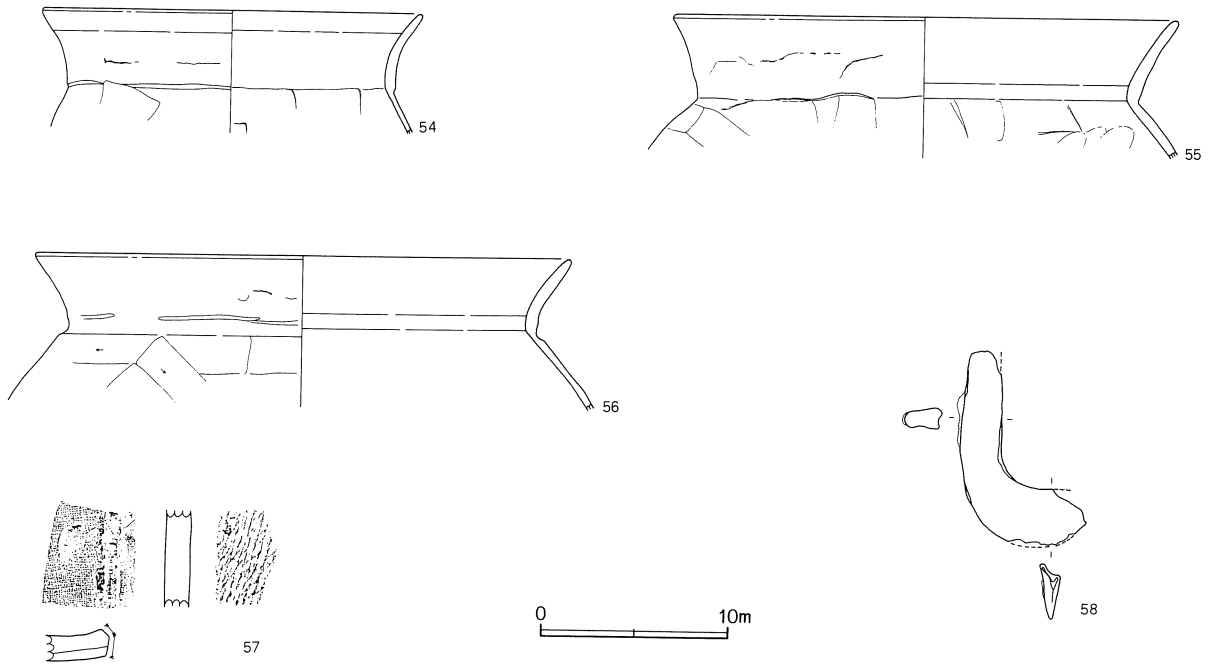
第279図 CG-6 グリッド出土遺物(2)



第280図 CG-6 グリッド出土遺物(3)



第281図 CG-6 グリッド出土遺物(4)



CG-6 グリッド出土遺物観察表(第278~281図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他	
22	坏			(10.4)	BS	I	鈍い橙	90	内面放射状暗文 底部一方・両側外方向の筥削り	
23	須恵器蓋				AB	I	黄灰	破片	天井部外面に墨書	
24	蓋				ABS	I	灰	100	環状鈕 径5.0cm	
25	蓋	(22.8)	4.5		ABS	I	灰	20	天井部右回転筥削り 環状鈕 径4.9cm	
26	蓋	(8.3)	2.2		AB	I	灰白	30	天井部及び肩部右回転筥削り 鈕径2.2cm	
27	蓋	(13.0)	2.1		AB	I	灰	10	天井部右回転筥削り 擬宝珠鈕径1.9cm	
28	蓋	12.7	3.0		AB	I	灰白	50	天井部右回転筥削り 鈕径2.8cm	
29	蓋	(12.8)	3.0		ABS	I	灰白	30	天井部右回転筥削り 鈕径3.0cm	
30	蓋	(13.0)	3.1		AB	I	灰白	15	天井部右回転筥削り 鈕径2.5cm	
31	蓋	13.2	2.5		ABS	I	灰	90	天井部右回転筥削り 鈕径2.4cm 口縁部の一部に自然釉	
32	蓋	(14.2)	3.3		ABS	I	灰	65	天井部右回転筥削り 鈕径(2.7)cm 口縁部一部に自然釉	
33	蓋	(16.8)	4.1		AB	I	灰	40	天井部右回転筥削り 内面ロクロ痕顕著 擬宝珠鈕径2.6cm	
34	蓋	(17.4)	3.4		AB	I	灰	25	天井部右回転筥削り 紐周辺糸切り痕 鈕径3.3cm	
35	蓋	(18.2)	3.9		ABRS	I	灰白	60	天井部右回転筥削り 鈕径3.2cm	
36	蓋				ABS	II	灰	80	天井部左回転筥削り 鈕径3.0cm	
37	蓋	(19.4)	4.0		AB	I	灰	30	天井部右回転筥削り 鈕径(2.4)cm	
38	蓋	(19.0)			ABRS	I	暗灰	15	天井部外面筥記号	
39	蓋	(21.0)			AB	I	暗灰	40	内外面自然釉	
40	高台付椀				ABCRS	III	灰白	15	体部外面下端筥削り 外面黒色処理	
41	高台付椀			(9.4)	ABRS	I	灰	10		
42	高台付椀			(8.6)	ABRS	III	灰白	15	底部・体部下方筥削り	
43	鉢	(30.0)	11.4	(17.0)	ABRS	I	灰	25	外面上半横方向平行叩き後ナデ消し 下半←方向筥削り 内面口縁部・底部横ナデ 内面中央部縦方向ナデ 底部外面筥調整	
44	鉢				ABS	I	灰白	破片	外面平行叩き後ナデ	
45	甕	(21.6)			AB	I	暗青灰	20	ロクロ整形	
46	甕			10.2	AB	I	灰	40	体部下端→方向筥削り 底部外面周縁左回転筥削り	
47	コップ形	(8.3)	(8.2)	6.5	AB	I	灰	30	RA 体部下端筥削り 外面自然釉	
48	瓶			(14.0)	BS	I	灰	40	肩部外面自然釉 胴部筥状工具横ナデ	
49	甕			(19.0)	AS	I	灰	15	外面櫛状工具によるナデ 底部へら整形	
50	土師器 台付甕	(13.8)			BS	II	明赤褐	30	口縁部内面工具ナデ 外面指ナデ 胴部←方向筥削り	
51	台付甕	(13.0)			BJ	II	明赤褐	35	口縁部内外面工具ナデ	
52	台付甕			(10.0)	BES	II	鈍い橙	45		
53	甕	20.6	27.6	(6.5)	BEJKS	II	鈍い橙	90	外面上半横方向・下半斜方向筥削り 口縁部内面沈線巡る 内面工具による横ナデ	
54	甕	(20.4)			BCEJS	II	鈍い橙	20	口縁部内外面工具横ナデ 外面←方向筥削り	
55	甕	(26.8)			BJS	II	鈍い橙	30	外面←方向筥削り 内面筥ナデ・指ナデ	
56	甕	(28.6)			AKS	II	鈍い橙	35	外面←方向筥削り 一部斜方向筥削り	

CG-6 グリッド出土瓦観察表(第281図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
57	24×21		布目痕 へらナデ	縄叩き 1.7cm/5本	斜方向縄叩き	へら整形 凹面側面取り	1.4	ABS	I	灰

鋸先(第281図58)

一部欠損しているが、鍛造品で内縁には装着できるように「く」の字状の抉りが作り出されている。

CG-6 グリッド出土土錘計測表(第281図)

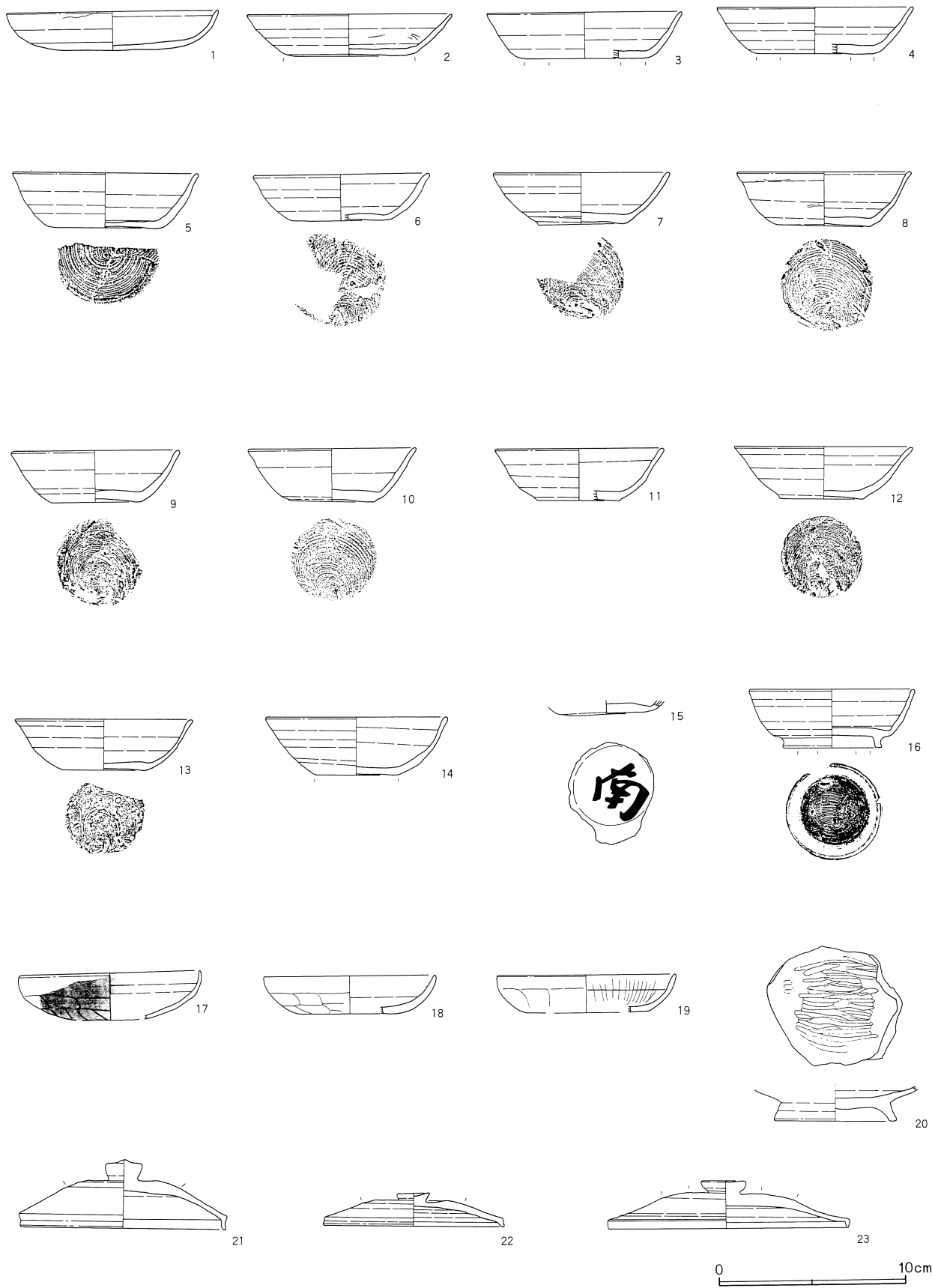
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
59	3.4	1.1	2~3	2.58
60	3.8	1.0	3~4	3.05
61	4.5	0.8	2~3	2.31
62	(3.3)	1.1	3~3.5	(4.22)
63	(2.5)	1.0	2~2.5	(2.05)
64	4.4	1.7	4.5~5.5	11.69
65	(3.8)	1.9	6	(10.82)
66	(2.5)	1.7	5~5.5	(4.97)
67	4.8	1.8	4.5~5	13.46
68	4.5	1.9	5~5.5	13.31
69	4.6	1.8	4~4.5	11.95
70	(4.7)	2.4	6	(21.17)
71	(4.8)	2.0	5~5.5	(16.73)
72	4.2	2.1	5.5~6	11.71

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
73	5.2	2.3	4.5	12.88
74	(3.4)	2.4	6	(8.19)
75	(3.3)	2.5	4.5	(9.97)
76	5.8	2.0	5.5~6	22.02
77	5.6	2.1	5~5.5	21.39
78	5.4	2.3	6.5~7	24.03
79	4.6	2.2	4~4.5	19.73
80	6.3	2.1	4~5	28.34
81	6.0	2.1	4.5~5	18.00
82	(5.3)	2.3	4~4.5	(18.53)
83	(4.8)	3.0	10~10.5	(32.63)
84	(3.3)	2.1	6~7	(11.64)
85	(3.6)	1.9	5.5~6	(9.53)

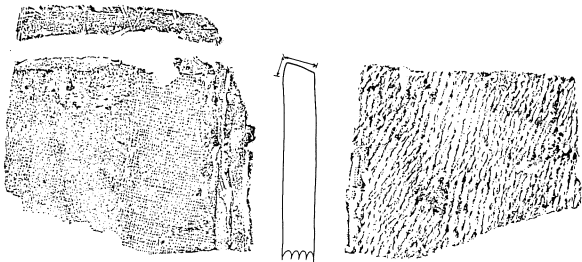
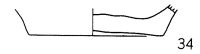
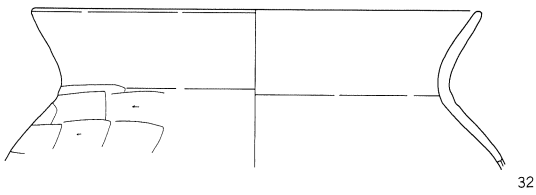
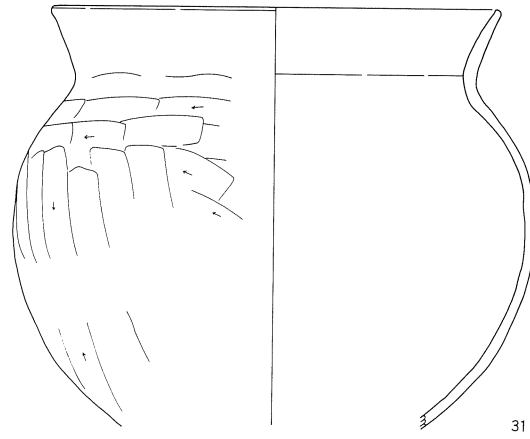
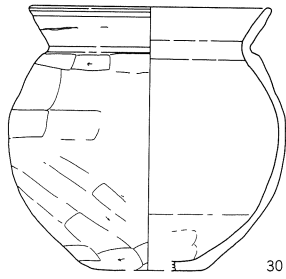
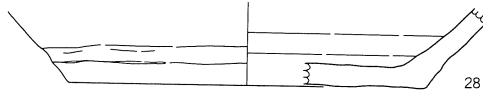
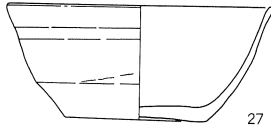
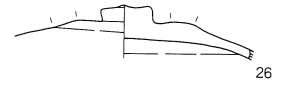
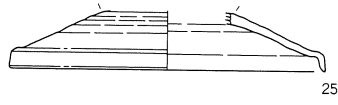
CG-7 グリッド出土遺物観察表(第282・283図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器坏	(15.0)	2.8		ABRS	I	灰	30	RA 丸底
2	坏	(14.6)	3.0	(7.8)	ABS	II	灰白	20	RA 体部下端回転篋削り
3	坏	(13.8)	3.3	(8.4)	AB	I	灰白	10	RBb
4	坏	(14.0)	3.3	(8.2)	ABRS	I	灰	35	RBb
5	坏	(13.2)	3.9	(7.1)	ABS	II	鈍い橙	25	RC
6	坏	(12.6)	3.3	7.0	AB	II	灰	25	RC
7	坏	(12.6)	3.7	6.1	AB	I	灰	30	RC
8	坏	12.4	3.9	6.5	AS	I	オリーブ灰	70	RC 火襷痕あり
9	坏	(12.0)	3.6	6.5	ABRS	I	灰	60	RC
10	坏	(12.0)	3.7	6.1	AB	I	灰	70	RC 口縁部外面自然釉
11	坏	12.1	3.7	(5.9)	ABS	I	灰	40	RC
12	坏	(12.7)	3.7	5.8	ABS	I	灰	30	RC
13	坏	(12.7)	3.6	5.2	AS	I	灰白	30	RC
14	坏	13.0	4.1	5.7	ACS	III	鈍い黄橙	60	LA 磨耗のため不鮮明
15	坏			5.6	ABRS	I	灰白	70	RC 底部外面墨書「南」
16	高台付坏	(11.8)	4.1	7.0	A	I	灰	40	回転糸切り後右回転篋削り 高台貼付
17	土師器坏	(13.0)			BJ	I	鈍い橙	30	精製 内外面煤付着
18	坏	(12.3)	2.7	(7.3)	BCJ	I	鈍い橙	15	底部一方向篋削り
19	坏	(12.8)	2.7	(9.1)	BJ	I	橙	15	内面放射状暗文
20	高台付椀			(8.7)	KS	II	鈍い橙	80	内黒土器 内面篋磨き
21	須恵器蓋	(14.6)	4.9		AB	I	灰	20	天井部右回転篋削り 鈕径2.6cm
22	蓋	(12.8)	2.3		ABS	I	灰白	30	天井部右回転篋削り 鈕径2.3cm
23	蓋	17.0	3.4		AB	I	明青灰	80	天井部右回転篋削り 鈕径3.2cm 内面焼成時付着物あり
24	蓋	(19.0)			AB	I	灰	20	天井部右回転篋削り
25	蓋				ABRS	I	灰	80	天井部右回転篋削り 鈕径2.8cm
26	蓋	(16.8)			ABRS	III	浅黄橙	20	天井部右回転篋削り
27	椀	14.3	6.1	7.6	ABS	I	黄灰	70	RC
28	甕			(19.0)	AS	I	灰	15	底部へら整形 体部外面櫛状工具によるナデ
29	土師器 台付甕				BEJ	I	鈍い橙	80	内黒土器(脚台内面) 外面縦方向篋削り
30	小型甕	13.0	19.0	(6.0)	BEK	II	橙	40	器壁やや磨滅
31	甕	(24.0)			BKS	II	橙	30	外面篋削り 内面不明瞭
32	甕	(24.0)			BKS	III	橙	15	外面横方向篋削り
33	甕			9.2	BKS	III	明黄褐	70	外面縦方向篋削り 下端横方向篋削り
34	甕			(7.2)	BS	III	橙	40	底部木葉痕
36	円面硯	(12.4)	(8.5)	(19.9)	ABRS	I	灰白	10	脚部のみ残存 外縁欠損 使用痕顕著 脚部沈線・方形透し

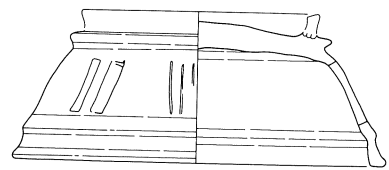
第282図 CG-7グリッド出土遺物(I)



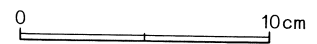
第283図 CG-7グリッド出土遺物(2)



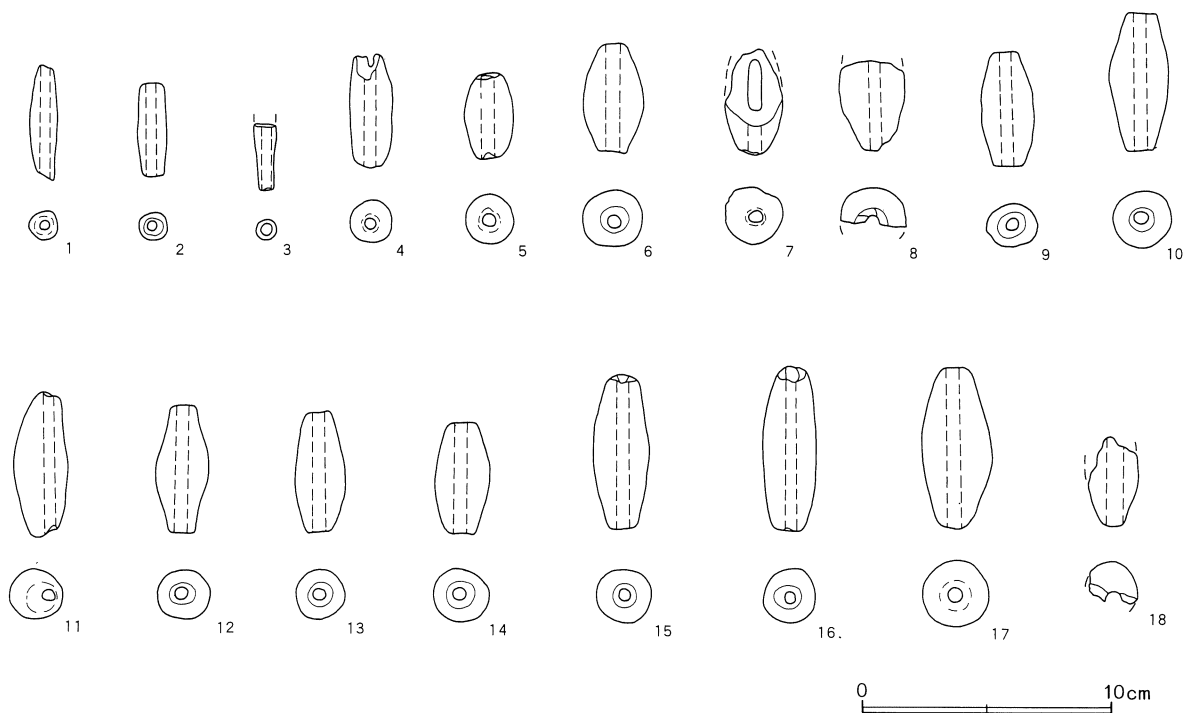
35



36



第284図 CG-7グリッド出土遺物(3)



CG-7グリッド出土瓦観察表(第283図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
35	22×19		布目痕 一部ナデ	縄叩き 1.7cm/5本	斜方向縄叩き	ヘラ整形 凹面側面取り	1.8	ABS	I	黄灰

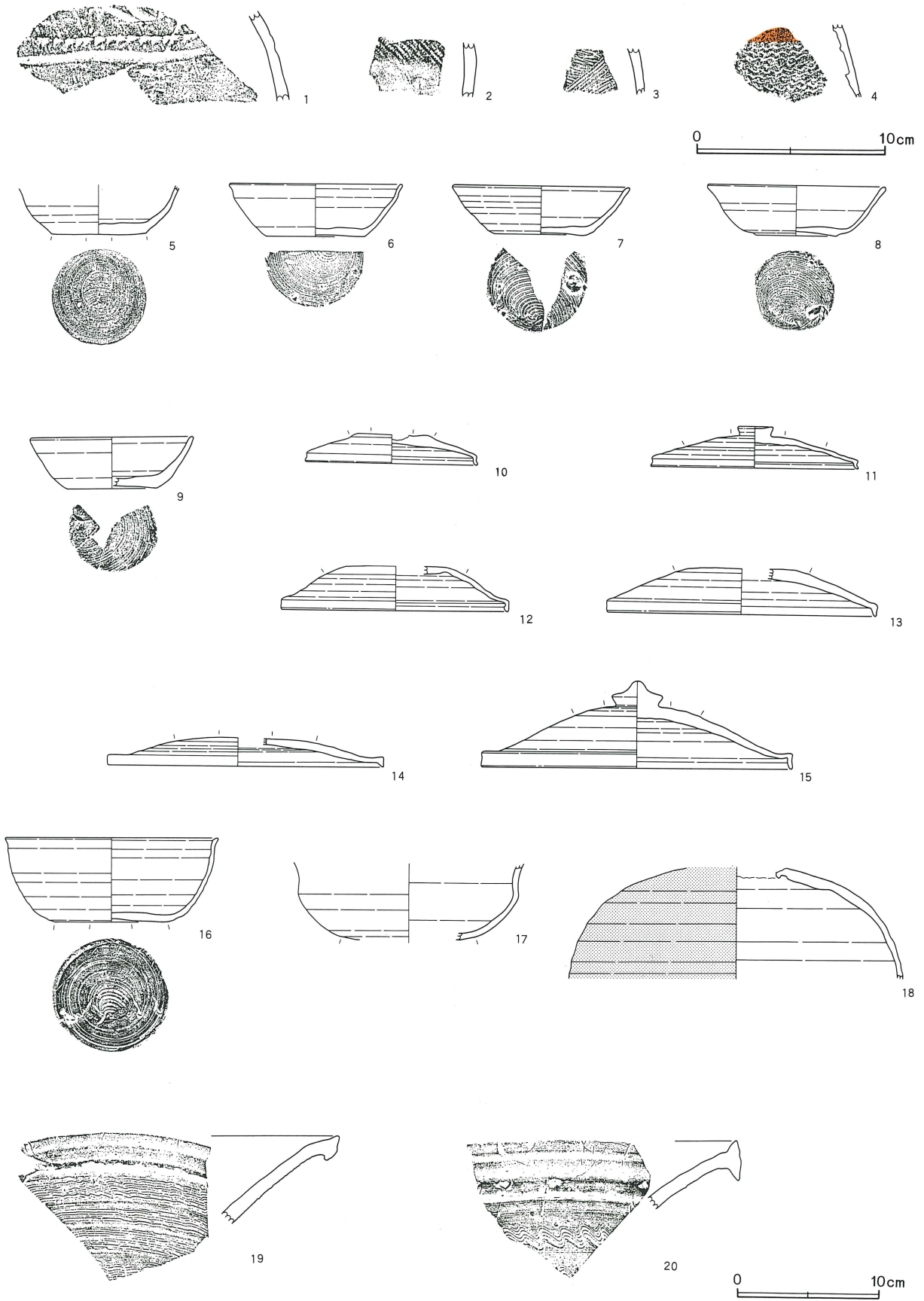
CG-7グリッド出土土錘計測表(第284図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)	番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
1	4.6	1.1	3~3.5	3.96	10	5.5	2.4	5.5	24.49
2	3.7	1.1	3	4.69	11	5.7	2.2	4.5~5	20.38
3	(2.6)	0.9	3~4	(1.38)	12	5.0	2.1	5~5.5	17.74
4	(4.5)	1.7	4.5~5	(10.63)	13	4.8	2.0	5~5.5	16.02
5	3.4	1.9	4~6	11.35	14	4.4	2.1	5	20.06
6	4.4	2.5	5.5	20.98	15	6.1	2.2	4	26.91
7	(4.1)	2.3	5~5.5	(13.44)	16	6.5	2.1	4~5	31.10
8	3.6	2.6	4	(12.28)	17	6.3	2.8	5~5.5	37.00
9	4.6	2.1	4~4.5	17.31	18	(3.55)	2.0	5	(6.43)

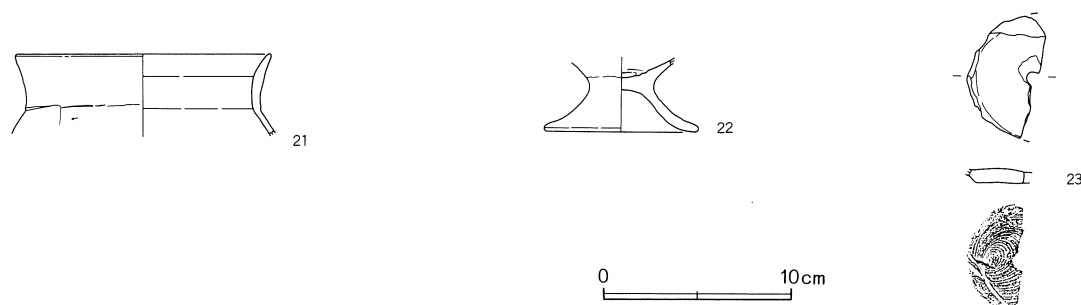
CH-5・6グリッド出土遺物観察表(第285図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他	
1	甕				BS	II	鈍い黄橙	破片	CH-5 g	横方向に半円形刺突文が巡り、直下に平行沈線
2	甕				BS	II	灰黄褐	破片	CH-6 g	外面縄文・ナデ 内面ナデ
3	甕				ABS	II	橙	破片	CH-6 g	外面斜・横方向刷毛目 内面ナデ
4	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	CH-6 g	外面S字結節文 無文部赤彩 内面剝離
5	須恵器坏			6.7	ABS	I	灰白	100	CH-6 g	RBa 火襷痕あり
6	坏	(12.2)	3.7	(7.0)	ABRS	I	灰	50	CH-6 g	RC
7	坏	(12.6)	3.4	(6.6)	ABS	I	褐灰	40	CH-6 g	RC
8	坏	(12.6)	3.5	5.8	ARS	I	灰	60	CH-6 g	RC
9	坏	(11.6)	3.6	(6.4)	ABRS	I	灰	40	CH-6 g	RC
10	蓋	(12.2)			ARS	I	灰	65	CH-6 g	天井部右回転筥削り 鈕部剝離

第285図 CH-5・6グリッド出土遺物(I)



第286図 CH-6グリッド出土遺物(2)



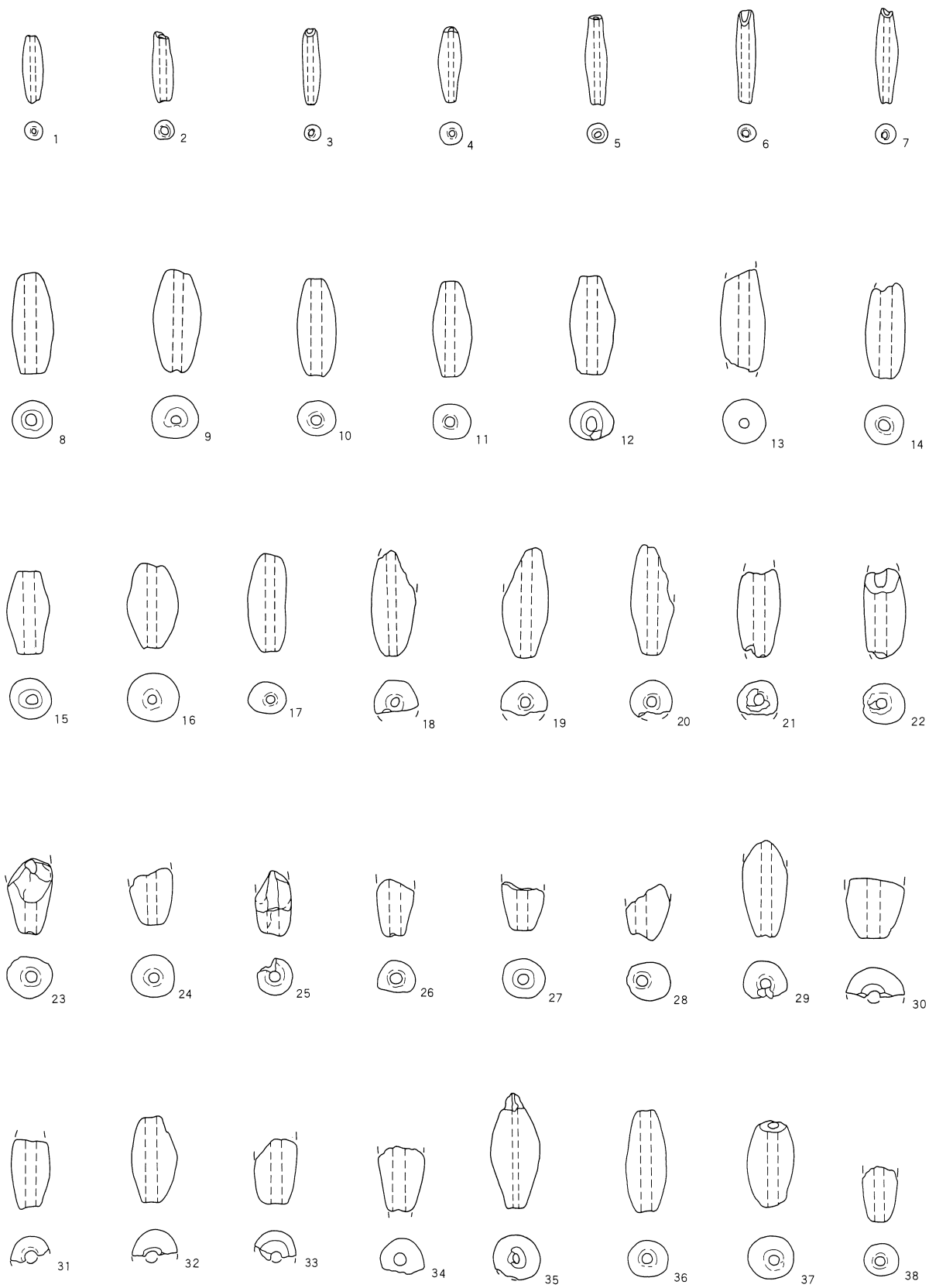
CH-5・6グリッド出土遺物観察表(第285・286図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
11	蓋	(14.6)	2.9		AS	I	灰白	60	CH-6g 天井部右回転篋削り 鈕径2.5cm
12	蓋	(16.0)			ABRS	I	灰	40	CH-6g 天井部右回転篋削り 歪みあり
13	蓋	(19.0)			ABRS	I	灰	15	CH-6g 天井部右回転篋削り 内面焼成時降灰・砂付着
14	蓋	(19.5)			ABS	I	灰	10	CH-6g 天井部右回転篋削り
15	蓋	(22.0)	6.1		ABRS	I	灰	40	CH-6g 天井部右回転篋削り 擬宝珠鈕径3.6cm
16	椀	(15.0)	5.9	8.0	ABRS	I	灰	40	CH-6g RBa 底部篋痕あり
17	椀				ABRS	I	褐灰	15	CH-6g 佐波理椀
18	瓶				-	I	灰オリーブ	60	CH-6g 外面灰オリーブ色施釉
19	甕				BS	I	灰白	破片	CH-6g 外面櫛描波状文
20	甕				ABS	I	灰	破片	CH-6g 外面櫛描波状文
21	土師器甕	(13.6)			BS	III	橙	10	CH-6g 口縁部横ナデ 胴部上半横方向篋削り
22	台付甕			(8.2)	ABES	II	鈍い橙	45	CH-6g 台部内外面横ナデ
23	紡錘車				ABS	I	灰	50	CH-6g 須恵器坏底部転用 RC

CH-6グリッド出土土錘計測表(第287図)

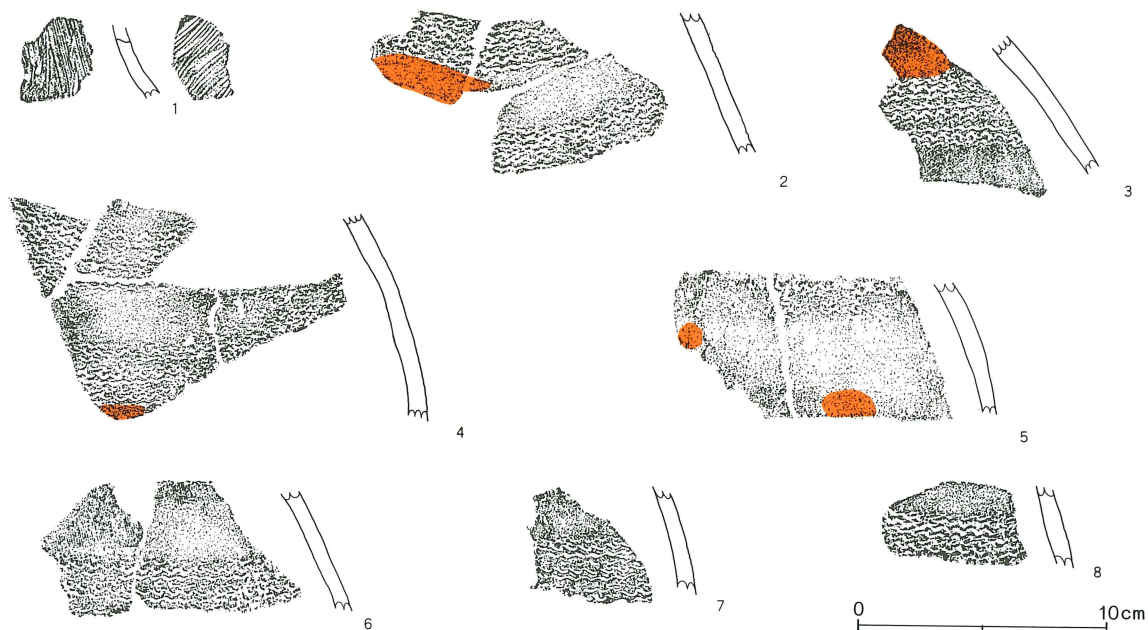
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)	番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
1	3.5	1.0	2~3	3.00	20	5.6	2.2	5.5~6	14.86
2	3.6	1.1	3.5~4	2.85	21	(4.3)	2.1	5.5~6	(15.82)
3	3.9	0.9	2~3	2.51	22	(4.5)	2.1	6~6.5	(17.14)
4	4.0	1.2	2~2.5	4.39	23	(3.9)	2.2	5.5	(13.89)
5	4.7	1.1	2~3	4.33	24	(2.9)	2.2	4.5~5	(10.17)
6	4.8	0.95	3~4	3.40	25	(3.3)	1.8	6	(6.70)
7	4.9	1.1	2.5~3.5	4.37	26	(2.9)	1.9	6	(6.54)
8	5.1	2.1	5.5	19.80	27	(2.4)	2.1	4.5~5.5	(8.48)
9	5.2	2.4	4.5~5	25.60	28	(2.9)	2.2	6~7	(8.02)
10	4.9	2.0	5.5	17.52	29	(5.0)	2.3	4.5~5.5	(14.10)
11	4.9	2.0	5~6	16.39	30	(3.0)	2.9	7	(10.92)
12	5.0	2.2	6~7	20.41	31	(3.3)	1.9	6	(6.98)
13	(5.2)	2.3	6~7	(24.62)	32	4.4	2.2	5	10.95
14	4.9	2.0	7~8	17.88	33	(3.3)	2.1	5	(8.76)
15	4.2	2.2	5~6	17.62	34	3.3	2.3	6~6.5	11.54
16	4.3	2.6	5~6	24.45	35	5.8	2.5	4~5	26.56
17	5.1	1.9	5.5~6	15.65	36	5.1	2.1	5~6	18.04
18	(5.5)	2.2	4~5	(17.15)	37	4.4	2.4	5~6	19.90
19	5.6	2.3	5~6.5	15.77	38	(2.9)	1.8	6~6.5	(6.27)

第287図 CH-6 グリッド出土遺物(3)



0 10cm

第288図 CH-7グリッド出土遺物(1)



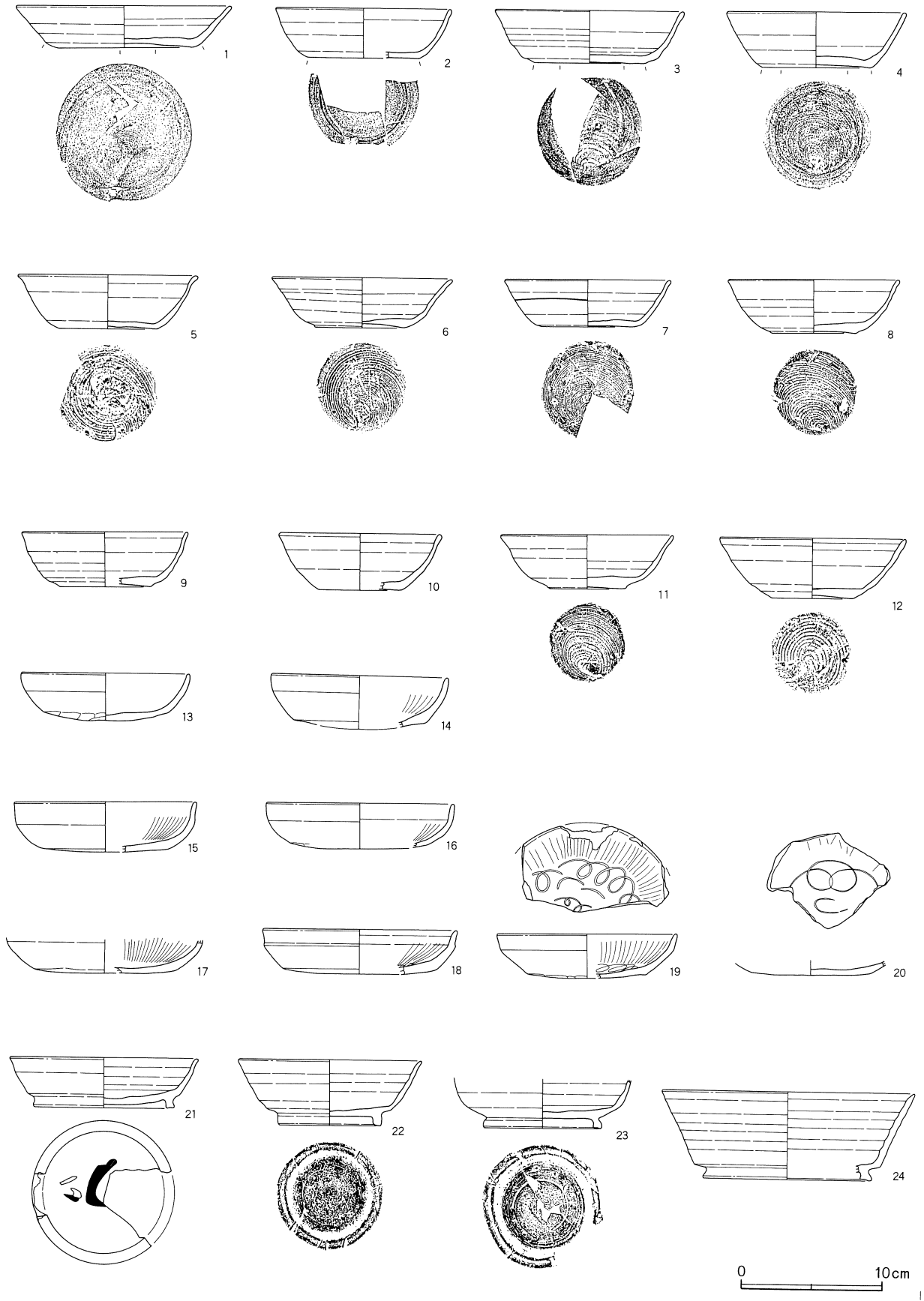
CH-7グリッド出土遺物観察表(第288図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	高坏				S	II	橙	破片	脚部破片 凹形透孔 外面縦方向刷毛目 内面横方向刷毛目
2	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面S字結節文 無文部の一部が赤彩 内面ナデ
3	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面S字結節文 無文部赤彩 内面ナデ
4	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面S字結節文 無文部の一部が赤彩 内面ナデ
5	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面S字結節文 無文部の一部が赤彩 内面ナデ
6	甕				ABS	II	褐灰	破片	外面S字結節文 内面ナデ
7	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面S字結節文 内面工具ナデ
8	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面S字結節文 内面ナデ

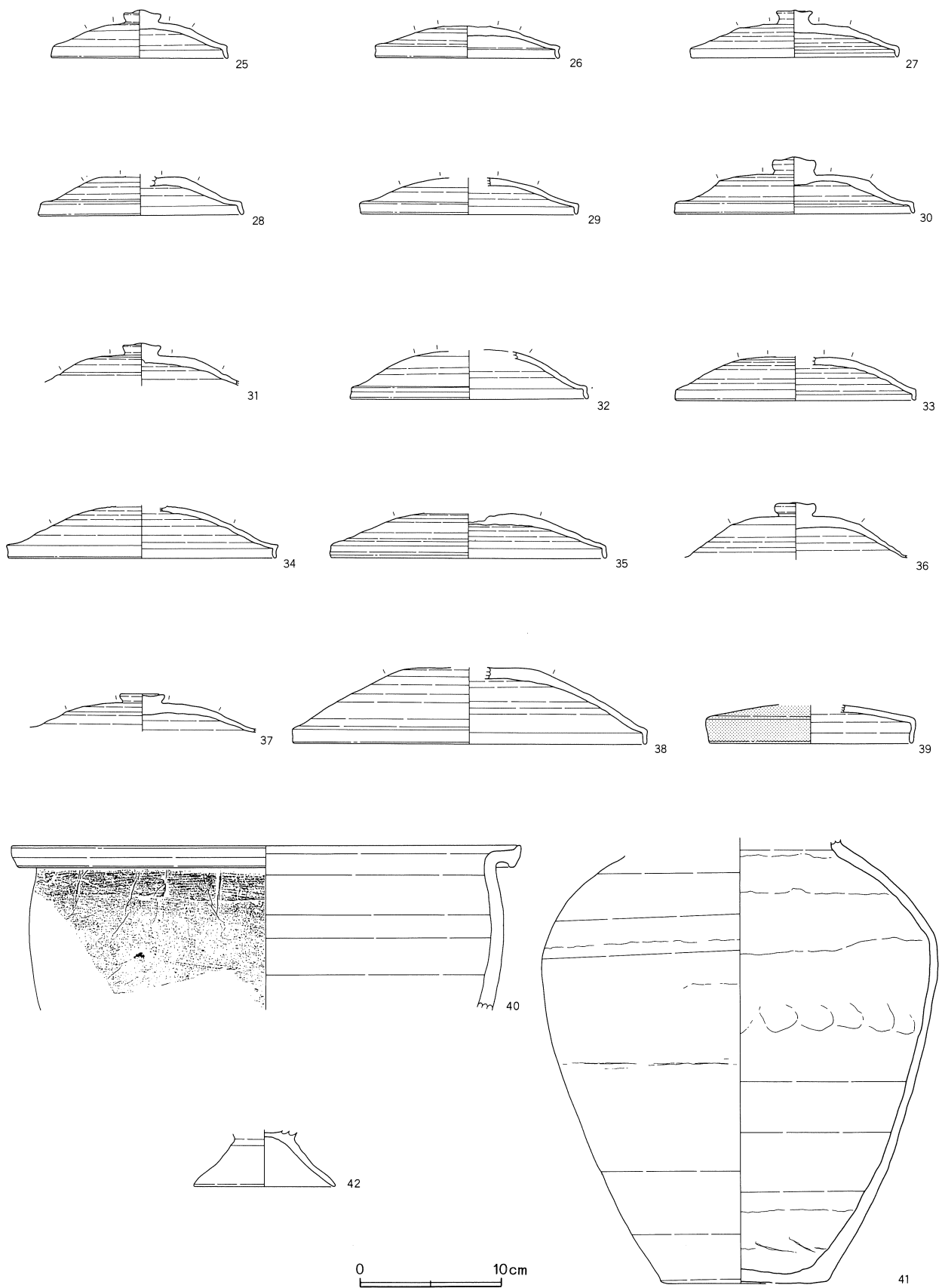
CH-7グリッド出土遺物観察表(3)(第289図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器坏	15.3	3.0	9.6	ABRS	I	灰	90	RBa 体部下端に回転篋削り及ぶ 火樫痕あり
2	坏	(12.3)	3.5	7.9	ABS	I	灰	30	RA
3	坏	(13.4)	3.7	7.9	ABS	I	灰褐	60	RBb
4	坏	(12.8)	3.9	7.7	ABS	I	灰白	40	RBb
5	坏	(12.8)	3.8	7.0	AS	I	灰白	35	RC 底部外面篋記号 火樫痕あり
6	坏	12.9	3.5	6.4	ABS	I	灰白	80	RC 底部外面篋記号
7	坏	(11.8)	3.3	6.6	ABS	I	灰	60	RC 体部外面細沈線あり
8	坏	(12.2)	3.8	6.0	ABRS	I	灰	60	RC
9	坏	(11.8)	3.9	(6.4)	ABCS	I	灰	15	RC 歪みあり
10	坏	(11.6)	4.0	(5.9)	ABS	I	灰	25	RC 火樫痕あり
11	坏	(12.3)	3.8	5.4	ABS	I	鈍い橙	40	RC 底部周縁篋起こし痕あり
12	坏	(13.2)	4.2	5.8	ABRS	I	灰	50	RC 底部外面篋記号
13	土師器坏	(12.0)	3.3	(8.8)	CES	II	鈍い橙	20	底部外面篋削り
14	坏	(12.6)		(9.4)	EJS	II	橙	10	内面放射状暗文
15	坏	(13.0)	3.5	(9.0)	JS	II	橙	15	内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文
16	坏	(13.4)		(10.0)	BJS	I	橙	10	内面放射状暗文
17	坏			(10.0)	S	II	鈍い橙	30	内面放射状暗文
18	坏	(13.8)	3.1	(11.0)	BS	I	鈍い橙	10	内面放射状暗文・弧状暗文

第289図 CH-7グリッド出土遺物(2)



第290図 CH-7グリッド出土遺物(3)



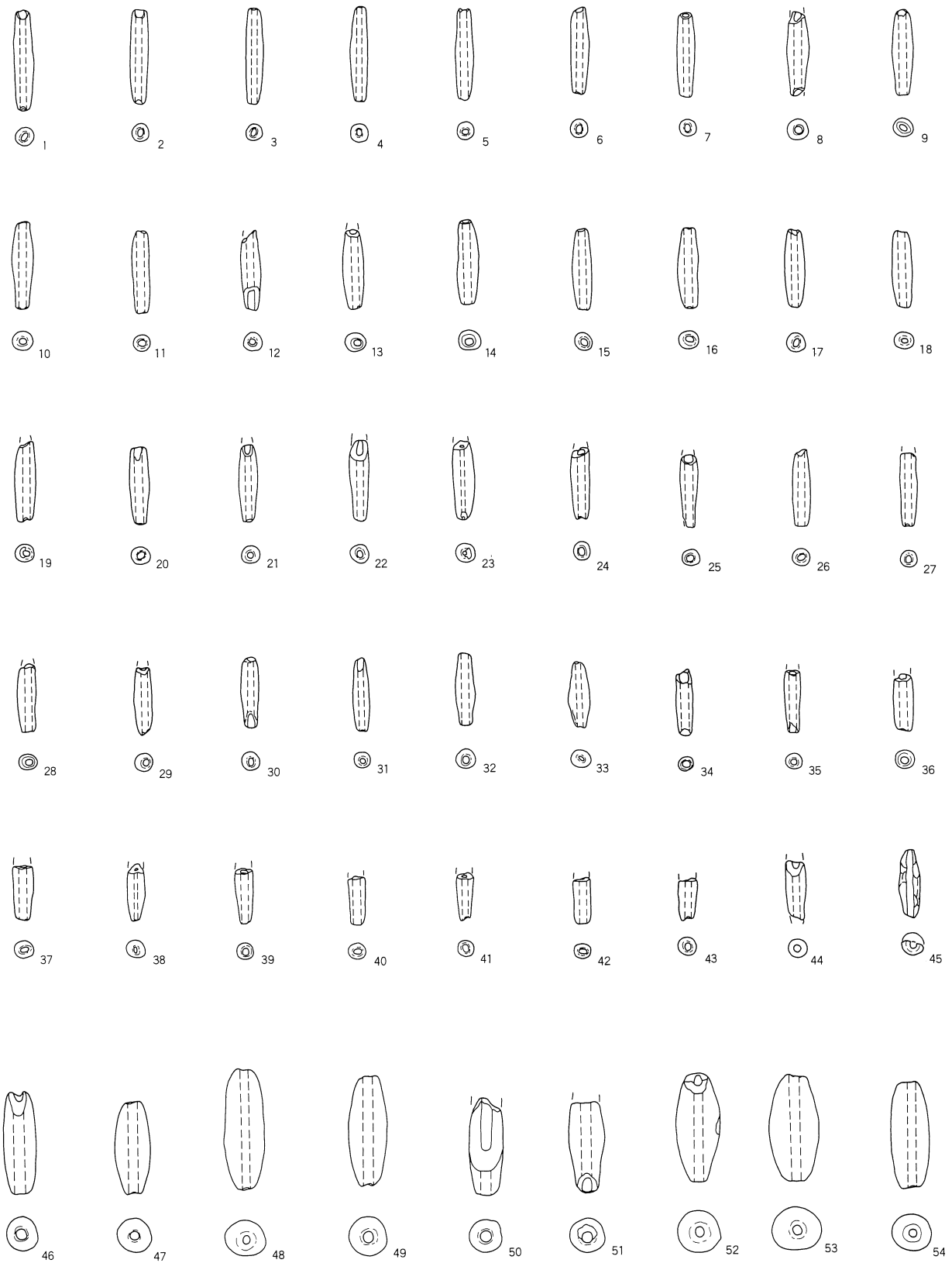
CH-7 グリッド出土遺物観察表(第289・290図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
19	坏	(12.8)	3.1	(8.4)	BS	II	鈍い橙	30	内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文
20	坏			(8.4)	S	II	鈍い橙	15	内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文
21	須恵器 高台付坏	(15.4)	3.5	10.0	BRS	II	灰白	70	底部外面墨書
22	高台付坏	(15.0)	4.6	7.3	ACS	I	灰	60	底部右回転篋削り後高台貼付
23	高台付坏			8.4	ABS	II	灰褐	80	底部回転糸切り後右回転篋削り 高台貼付
24	高台付坏	(18.0)	6.2	(12.0)	-	I	灰	20	ロクロ痕顕著
25	蓋	12.5	3.4		AGS	I	灰褐	70	天井部右回転篋削り 擬宝珠鈕径2.6cm
26	蓋	(13.0)			ABS	I	灰	20	天井部右回転篋削り 鈕部剥離
27	蓋	(14.4)	3.3		ABS	I	灰	30	天井部右回転篋削り 鈕径2.5cm
28	蓋	(14.6)			ABS	I	灰	25	天井部右回転篋削り
29	蓋	(15.4)			ABS	I	灰	15	天井部右回転篋削り
30	蓋	(17.0)	4.0		ABS	I	灰	40	天井部回転糸切り後右回転篋削り 紐基部篋ナデ 擬宝珠鈕径3.0cm
31	蓋				AS	I	灰白	30	天井部右回転篋削り 鈕径2.7cm
32	蓋	(16.8)			AS	I	灰	40	天井部右回転篋削り 歪みあり
33	蓋	(17.0)			ABS	I	灰	25	天井部右回転篋削り
34	蓋	(19.0)			ARS	I	灰白	60	天井部右回転篋削り 紐基部剥離痕
35	蓋	(19.6)			ABS	I	灰白	60	天井部右回転篋削り 紐基部剥離痕
36	蓋				ABHS	I	灰白	40	天井部右回転篋削り 鈕径2.8cm
37	蓋				AS	I	灰	70	天井部右回転篋削り 鈕径3.2cm
38	蓋	(25.0)			AS	I	灰	15	天井部右回転篋削り
39	灰釉陶器蓋	(14.4)			S	I	灰オリーブ	45	外面灰オリーブ色施釉
40	須恵器鉢	(36.0)			ABS	I	灰	20	外面櫛状工具による横ナデ 内面ロクロ横ナデ
41	甕			11.8	AS	I	灰	80	外面工具による横ナデ 肩部降灰 内面胴部中央付近指頭痕 胴部最大径27.9cm
42	土師器 台付甕			(10.0)	BJS	II	鈍い橙	60	台部内面工具横ナデ

CH-7 グリッド出土土錘計測表(第291図)

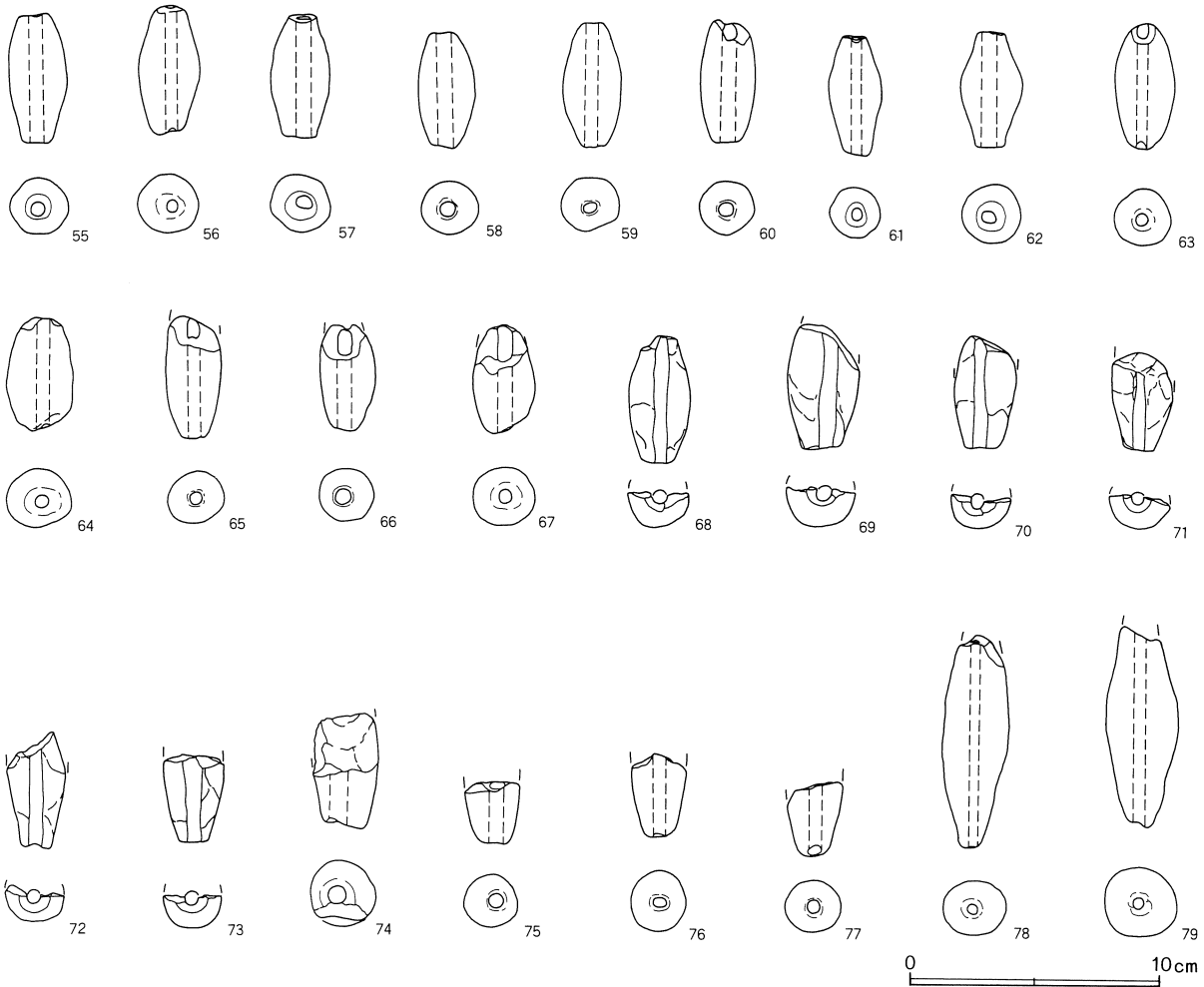
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)	番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
1	5.2	0.95	3.5~4.5	4.23	27	(3.8)	0.9	3~4	(2.59)
2	4.8	0.9	3~4.5	3.42	28	(3.5)	1.0	3~4	(2.51)
3	4.9	0.9	3~4	3.00	29	(3.4)	0.95	3~3.5	(2.30)
4	4.9	0.9	3~4	3.11	30	3.7	0.9	3~4	2.40
5	4.7	0.9	3~4	2.92	31	3.7	0.85	2.5~3	2.03
6	4.5	0.95	3~4	3.43	32	3.8	1.05	3~3.5	3.24
7	4.3	0.9	3~4	2.78	33	3.3	1.1	2~3	2.74
8	(4.4)	1.15	3~4	(3.51)	34	3.4	0.8	3~3.5	1.53
9	4.3	1.05	3~4	3.98	35	(3.2)	0.85	3.5~4	(1.49)
10	4.5	1.05	3~4	3.24	36	(2.9)	1.0	3.5~4	(2.65)
11	4.2	0.85	3~4	2.56	37	(2.8)	1.0	3~4	(2.39)
12	4.2	1.0	3~4	2.74	38	(2.9)	0.9	2~3	(2.17)
13	(4.1)	1.05	2.5~3	(3.70)	39	(2.9)	0.9	3.5~4	(1.73)
14	4.4	1.1	3~3.5	4.03	40	(2.5)	0.85	3~3.5	(1.46)
15	4.1	1.0	3.5~4	3.35	41	(2.4)	0.85	3.5~4	(1.29)
16	4.1	1.0	3~3.5	3.19	42	(2.4)	0.85	3.5~4	(1.40)
17	4.0	1.0	3~3.5	3.37	43	(2.0)	0.9	3.5~4	(1.46)
18	3.9	1.05	3~3.5	3.47	44	(3.0)	1.05	3.5~4	(2.45)
19	(4.0)	1.0	3~3.5	(3.36)	45	3.5	1.1	3	2.08
20	4.0	1.0	3.5~4	2.96	46	5.3	1.6	4.5~5	14.16
21	(3.9)	0.95	3~3.5	(2.64)	47	4.7	1.8	5~5.5	13.05
22	(4.1)	1.1	3~4	(2.65)	48	6.1	2.0	3	21.43
23	(4.1)	1.1	2	(4.14)	49	5.7	2.0	5.5	19.86
24	(3.7)	0.9	3.5~4	(2.86)	50	(5.0)	1.7	5.5	(10.69)
25	(3.7)	0.9	3~3.5	(2.03)	51	(4.6)	1.8	5~5.5	(13.29)
26	4.0	0.9	3~3.5	2.63	52	5.6	2.2	4~5	22.39

第291図 CH-7グリッド出土遺物(4)



0 10cm

第292図 CH-7グリッド出土遺物(5)

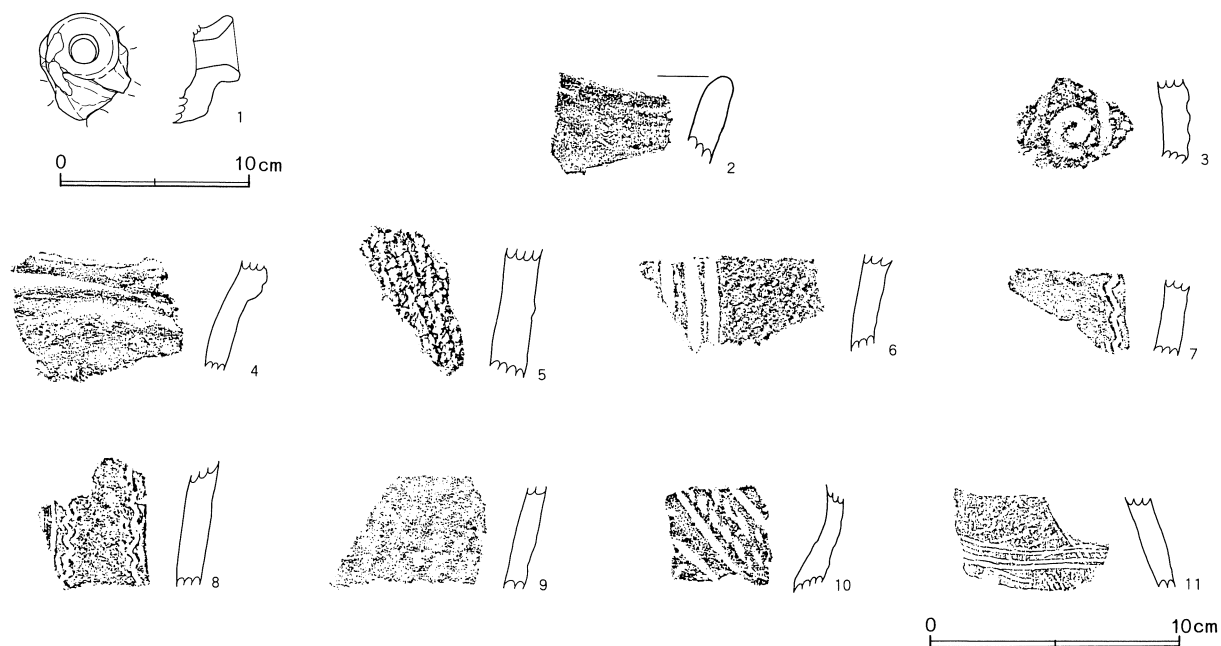


CH-7グリッド出土土錘計測表(第291・292図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
53	5.5	2.55	5~6	28.29
54	5.4	1.9	4~4.5	21.15
55	5.1	2.3	5~6	22.02
56	5.2	2.45	4	24.94
57	4.9	2.3	4~5	24.46
58	4.6	2.2	5~5.5	19.79
59	4.9	2.3	4~4.5	20.19
60	5.0	2.2	6	19.80
61	4.7	2.1	4~4.5	16.35
62	4.6	2.4	5.5~6	21.00
63	5.0	2.3	4.5~5	21.74
64	4.4	2.6	5.5~6	23.06
65	(4.9)	2.1	5.5~6	(18.68)
66	(4.2)	2.2	7	(15.79)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
67	4.2	2.5	6~6.5	19.89
68	5.0	2.4	4.5	16.18
69	(4.8)	2.8	7	(19.14)
70	(4.5)	2.4	5	(11.70)
71	(3.9)	2.3	5	(9.26)
72	(4.6)	2.3	4	(10.55)
73	(3.5)	2.3	5	(9.74)
74	(4.6)	2.5	7.5~8	(20.20)
75	(2.5)	2.2	6~6.5	(9.64)
76	(3.3)	2.2	5~5.5	(13.28)
77	(2.9)	2.1	4.5~5	(9.44)
78	(8.4)	2.6	4.5~5	(41.78)
79	(7.9)	2.8	5.5	(50.61)

第293図 C-III区出土遺物



C-III区出土遺物(第293図)

1は口縁部の突起である。2は波状で無文の口縁部。

3は地文が縄文で渦巻きの沈線文が施されている。

4は口縁部下端から胴部の土器。6は地文に縄文が施され、3本の沈線が垂下する。

7・8は波状と直線の沈線が垂下する。

9は無文で、外面に粘土巻き上げ痕が見られる。

10は沈線文の間に刺突文が施される。

11は櫛描文と撚り糸の押圧が施されている。

VI 野本氏館跡の調査

1 遺跡の概要

野本氏館跡は、都幾川に面する低台地上に位置し、南北約300m、東西約200mの範囲で南東隅には野本將軍塚古墳が占地している。

『新編武蔵野風土記稿』の野本村無量寿寺の条には「寺領の外境内一万四千坪、境の廻り四方に堤を築き堀の跡残れり」とあるが、現況では無量寿寺の本堂西側の一部に土塁が認められるが、それより南側は墓地となっており、痕跡も認められない。

今回の調査では、野本氏館跡の北東隅の一部の調査

であったが、堀跡1条、土坑40基、溝22条が検出された。調査区北端に溝6条と堀跡が並行して検出され、いずれも東西方向に延びている。主に中世の遺物の他に近世及び弥生時代の土器も検出した。

弥生土器は第18号溝の一部に集中して検出したもので、櫛描文系土器を主体としている。

堀跡・溝から出土の遺物は中世のもので、石臼、甕片・かわらけ、板碑片が出土した。

2 検出された遺構と遺物

(1) 土坑

第1号土坑(第295図)

BP・BQ-14グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.75m、短軸1.44m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-55°-Wを指す。覆土中より、縄文土器片が出土した。

第2号土坑(第295図)

BQ-14グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.04m、短軸0.74m、深さ45cmを測る。主軸方位はN-78°-Wを指す。

第3号土坑(第295図)

BP・BQ-13・14グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.29m、短軸0.72m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-46°-Eを指す。

第4号土坑

BQ-13・14グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.82m、短軸0.98m、深さ58cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。

第5号土坑(第295図)

BQ-13グリッドに位置する。第9号土坑及び第17

号溝と重複している。平面形は長方形を呈し、規模は長軸2.38m、短軸1.16m以上、深さ25cmを測る。主軸方位はN-0°-Wを指す。

第6号土坑

BQ-13グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.24m、短軸0.68m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-2°-Wを指す。

第7号土坑

BQ-13グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.14m、短軸1.42m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-38°-Wを指す。

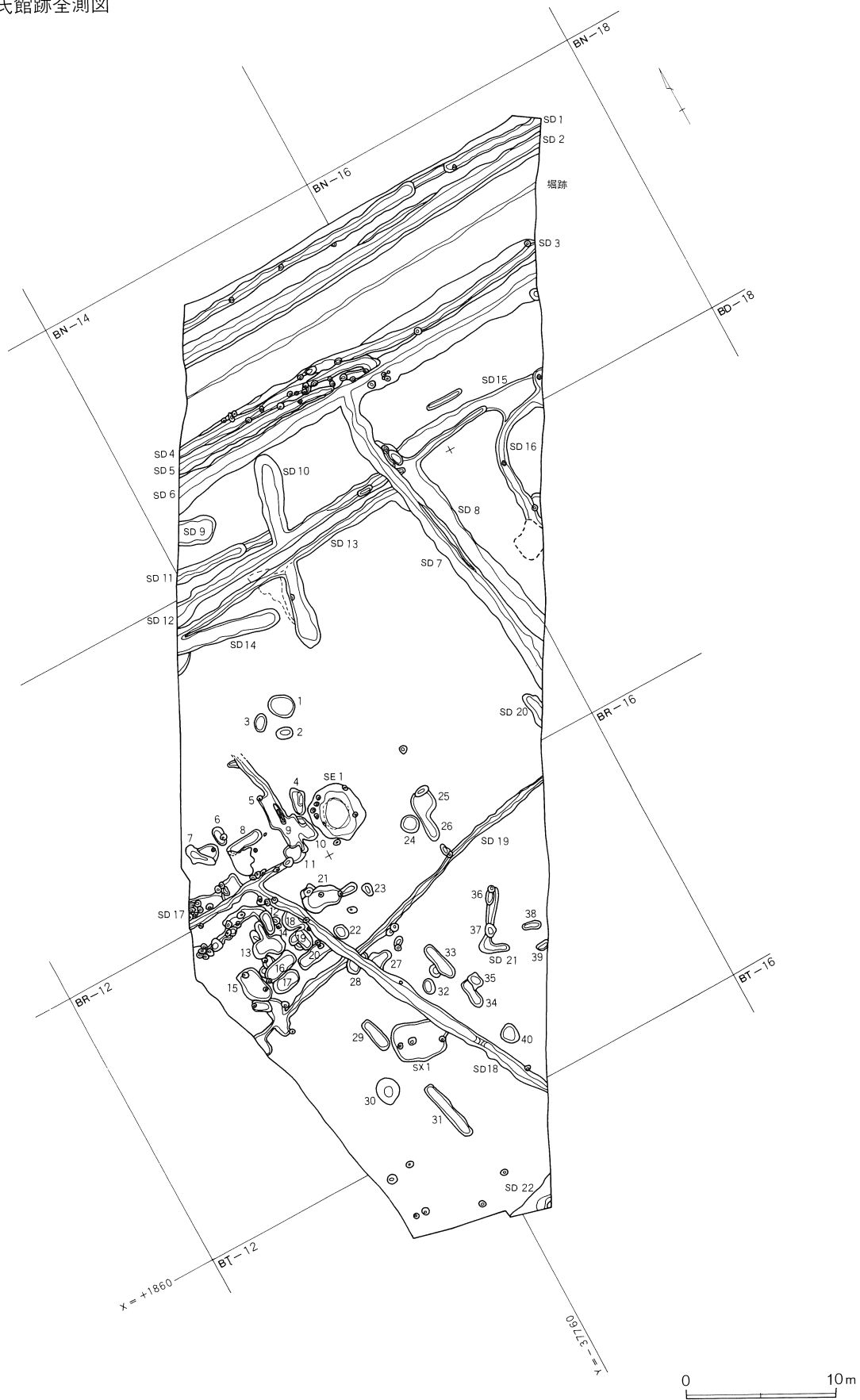
第8号土坑(第295図)

BQ-13グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.46m、短軸0.71m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。覆土中より、中世土器片が出土した。

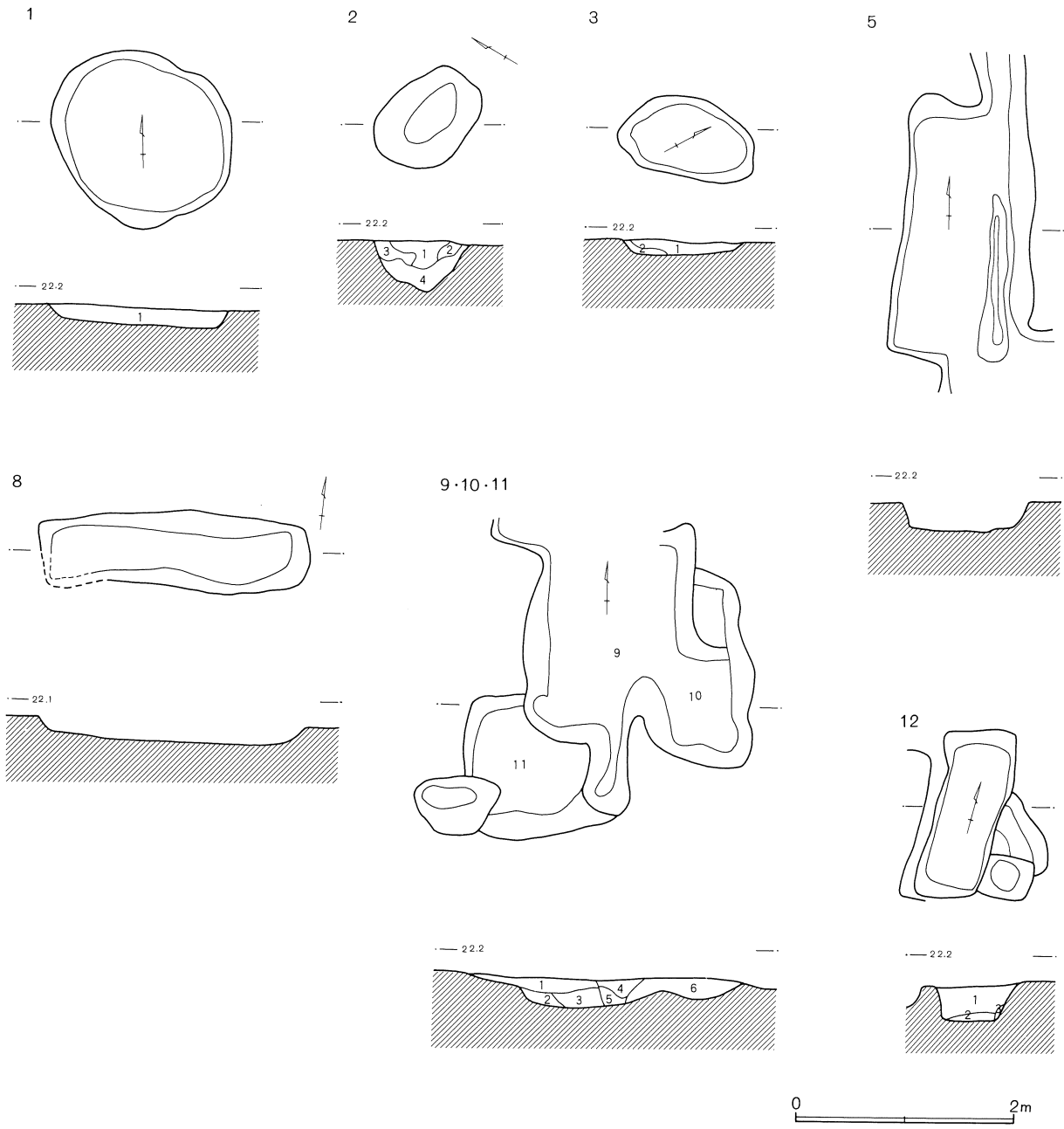
第9号土坑(第295図)

BQ-13グリッドに位置し、第5・10・11号土坑及び第17号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模

第294図 野本氏館跡全測図



第295図 土坑(I)



SK1
1 暗褐色土 締まりあり

SK2
1 暗褐色土 締まりあり
2 暗褐色土 ローム粒子含む
3 暗褐色土 黒色土・ローム粒子含む
4 褐色土 ロームブロック多く含む

SK3
1 暗褐色土 締まりあり
2 褐色土 ロームブロック多く含む

SK9・10・11
1 黒褐色土 ローム粒子・黒色土粒子少量含む
2 褐色土 ローム粒子・黒色土粒子含む 締まりなし
3 褐色土 ローム粒子含む
4 黒褐色土 ロームブロック含む
5 黒褐色土 やや締まりあり
6 黒褐色土 ローム粒子含む やや締まりあり

SK12
1 褐色土
2 暗褐色土 締まりあり
3 褐色土

は長軸2.0m以上、短軸1.53m以上、深さ25cmを測る。

第10号土坑(第295図)

BQ-13グリッドに位置し、第9号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.74m以上、短軸1.05m以上、深さ19cmを測る。

第11号土坑(第295図)

BQ-13グリッドに位置し、第9号土坑及び第17号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.33m以上、深さ6cmを測る。

第12号土坑(第295図)

BR-13グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.56m、短軸0.56m以上、深さ32cmを測る。主軸方位はN-0°-Wを指す。

第13号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置し、第14号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.24m、短軸0.96m以上、深さ34cmを測る。主軸方位はN-28°-Eを指す。覆土中より、弥生土器片が出土した。

第14号土坑

BR-13グリッドに位置し、第13号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.34m、短軸0.95m以上、深さ9cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

第15号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置する。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸2.6m、短軸1.57m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-15°-Wを指す。

第16号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置し、第17号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.6m、短軸1.1m、深さ47cmを測る。主軸方位はN-78°-Eを指す。

第17号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置し、第16号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.89m、短軸1.07m以上、深さ35cmを測る。主軸方位はN-87°-Eを指す。覆土中より、弥生土器片が出土した。

第18号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置し、第18号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.36m以上、短軸1.08m以上、深さ18cmを測る。覆土中より、中世土器片が出土した。

第19号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.52m以上、短軸1.19m以上、深さ22cmを測る。主軸方位はN-5°-Wを指す。

第20号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置し、第18号溝と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.17m以上、短軸1.0m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-78°-Eを指す。覆土中より、緑泥片岩片が出土した。

第21号土坑(第297図)

BR-13グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.7m以上、短軸1.98m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-87°-Wを指す。覆土中より、弥生土器片が出土した。

第22号土坑(第297図)

BR-13グリッドに位置し、第18号溝と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.04m、短軸0.81m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-0°-Wを指す。

第23号土坑(第297図)

BR-14グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.88m、短軸0.64m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。覆土中より、縄文土器片が出土した。

第24号土坑(第297図)

BR-14グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は直径1.25m、深さ42cmを測る。覆土中より、弥生土器片、土師器片が出土した。

第25号土坑(第297図)

BQ・BR-14グリッドに位置し、第26号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.56m以

上、短軸1.56m、深さ20cmを測る。

第26号土坑(第297図)

BR-14グリッドに位置し、第25号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.75m以上、短軸0.8m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-0°-Wを指す。

第27号土坑(第297図)

BR-13・14グリッドに位置し、第18号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.21m以上、短軸1.0m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-74°-Eを指す。覆土中より、弥生土器片、中世土器片が出土した。

第28号土坑

BR-13グリッドに位置し、第18号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.81m、短軸0.75m以上、深さ10cmを測る。主軸方位はN-37°-Eを指す。

第29号土坑

BS-13グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.36m、短軸0.9m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-14°-Wを指す。

第30号土坑(第297図)

BS-13グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長径1.69m、短径1.41m、深さ58cmを測る。主軸方位はN-7°-Eを指す。

第31号土坑(第298図)

BS・BT-13グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸4.38m、短軸0.76m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-16°-Wを指す。覆土中より、中世土器片が出土した。

第32号土坑(第298図)

BS-14グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.95m、短軸0.74m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-30°-Eを指す。

第33号土坑(第298図)

BR・BS-14グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.68m、短軸1.41m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-14°-Wを指す。覆土中

より、中世土器片が出土した。

第34号土坑(第298図)

BS-14グリッドに位置し、第35号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.0m、短軸0.71m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-0°-Wを指す。

第35号土坑(第298図)

BS-14グリッドに位置し、第34号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.07m、短軸0.82m以上、深さ24cmを測る。主軸方位はN-0°-Wを指す。

第36号土坑(第298図)

BR-14グリッドに位置し、第21号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.24m以上、短軸0.8m、深さ40cmを測る。主軸方位はN-35°-Eを指す。覆土中より、弥生土器片が出土した。

第37号土坑(第298図)

BR-14グリッドに位置し、第21号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.88m以上、短軸0.66m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-24°-Eを指す。

第38号土坑

BS-14・15グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.27m、短軸0.51m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-75°-Wを指す。

第39号土坑

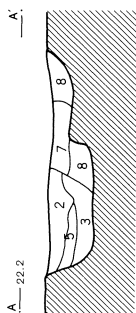
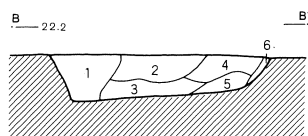
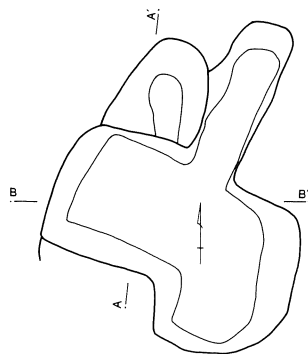
BS-14・15グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.8m、短軸0.43m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第40号土坑(第298図)

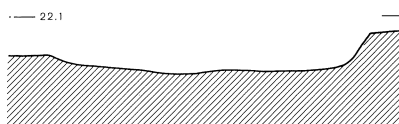
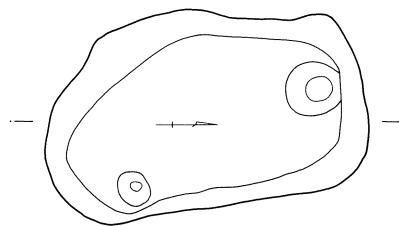
BS-14グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長径1.3m、短径1.16m、深さ22cmを測る。

第296図 土坑(2)

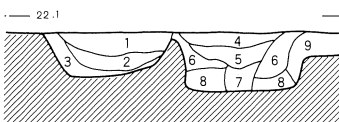
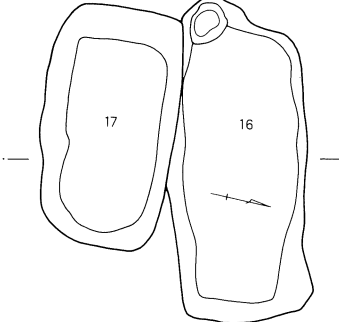
13



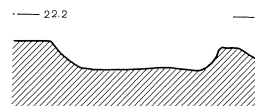
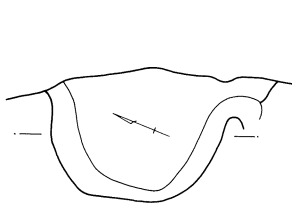
15



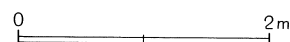
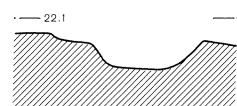
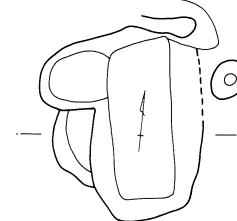
16・17



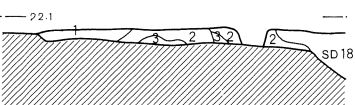
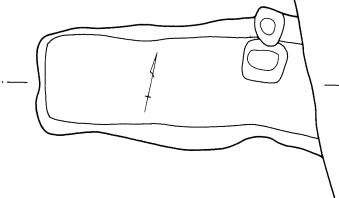
18



19



20



SK13

- 1 暗褐色土 褐色土粒子多量含む 縮まりなし
- 2 暗褐色土
- 3 鈍い黄褐色土 やや縮まりあり
- 4 暗褐色土 炭化材若干含む
- 5 暗褐色土 炭化材多く含む
- 6 褐色土
- 7 暗褐色土
- 8 褐色土

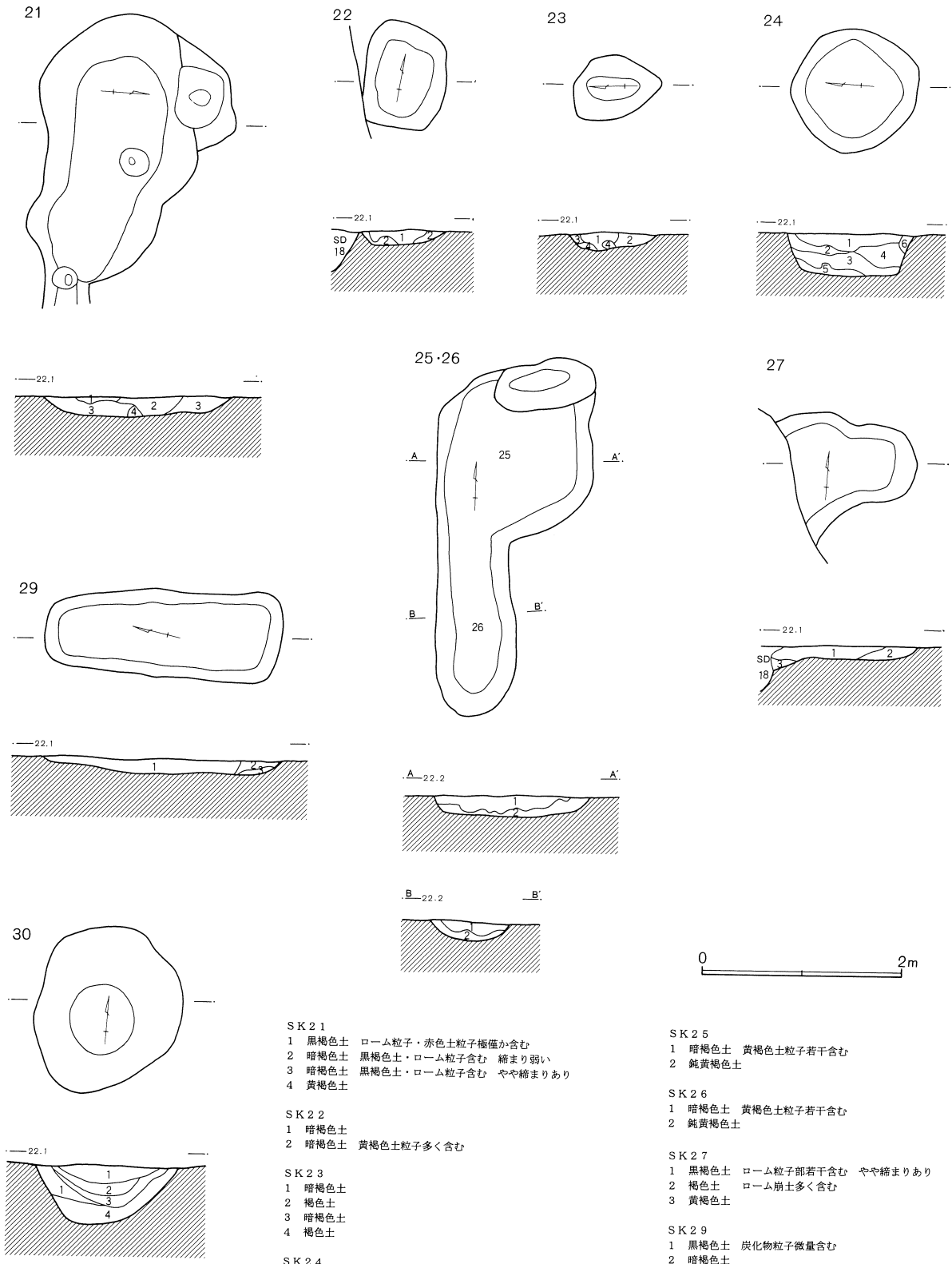
SK16・17

- 1 暗褐色土 縮まりなし
- 2 暗褐色土 褐色土粒子若干含む
- 3 褐色土
- 4 褐色土 縮まり強い
- 5 暗褐色土 縮まり強い
- 6 暗褐色土 褐色土粒子多く含む 縮まりなし
- 7 褐色土 縮まり強い
- 8 暗褐色土 やや縮まりあり
- 9 褐色土 縮まりなし

SK20

- 1 褐色土 黄褐色土粒子含む
- 2 褐色土
- 3 褐色土

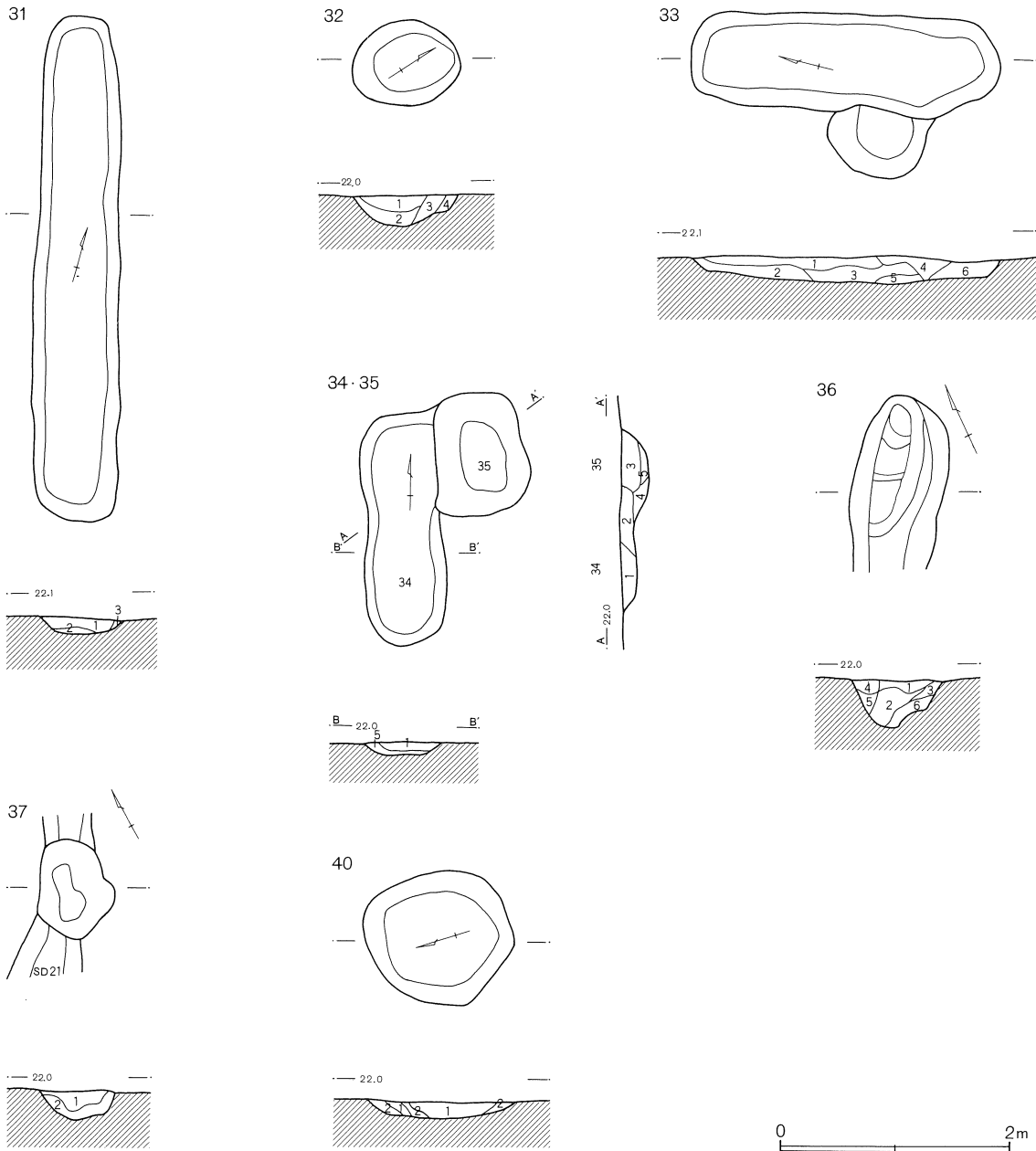
第297図 土坑(3)



- SK 2 1
 1 黒褐色土 ローム粒子・赤色土粒子極僅か含む
 2 暗褐色土 黒褐色土・ローム粒子含む 締まり弱い
 3 暗褐色土 黒褐色土・ローム粒子含む やや締まりあり
 4 黄褐色土
- SK 2 2
 1 暗褐色土
 2 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- SK 2 3
 1 暗褐色土
 2 褐色土
 3 暗褐色土
 4 褐色土
- SK 2 4
 1 暗褐色土
 2 暗褐色土 黄褐色土若干含む
 3 黒褐色土
 4 黒褐色土 黄褐色土極多く含む
 5 黒褐色土 黄褐色土若干含む
 6 暗褐色土

- SK 2 5
 1 暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む
 2 鈍黄褐色土
- SK 2 6
 1 暗褐色土 黄褐色土粒子若干含む
 2 鈍黄褐色土
- SK 2 7
 1 黒褐色土 ローム粒子部若干含む やや締まりあり
 2 褐色土 ローム崩土多く含む
 3 黄褐色土
- SK 2 9
 1 黒褐色土 炭化物粒子微量含む
 2 暗褐色土
 3 褐色土
- SK 3 0
 1 暗褐色土
 2 暗褐色土 褐色土極多く含む
 3 黄褐色土
 4 黄褐色土 粗粒 暗褐色土極多く含む

第298図 土坑(4)



- SK 3 1
 1 黒褐色土
 2 暗褐色土 締め強い
 3 黒褐色土 褐色土含む

- SK 3 2
 1 黒褐色土 締めなし
 2 暗褐色土
 3 黒褐色土
 4 褐色土

- SK 3 3
 1 暗褐色土 やや締めあり
 2 黒褐色土
 3 暗褐色土
 4 暗褐色土 炭化材含む
 5 鈍い黄褐色土 締め極強い
 6 黄褐色土 暗褐色土含む

- SK 3 4・3 5
 1 暗褐色土 ローム粒子極僅か含む
 2 黒褐色土 ローム粒子少量含む やや締めあり
 3 黒褐色土 ローム粒子少量含む 締め弱い
 4 黒褐色土 ローム粒子多く含む
 5 明黄褐色土 ローム崩土多く含む

- SK 3 6
 1 黒褐色土
 2 暗褐色土
 3 暗褐色土 黒褐色土含む
 4 黒褐色土
 5 褐色土
 6 褐色土

- SK 3 7
 1 暗褐色土
 2 褐色土

- SK 4 0
 1 黒褐色土
 2 褐色土

(2) 井戸跡

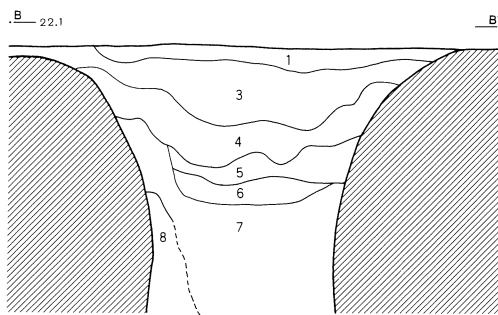
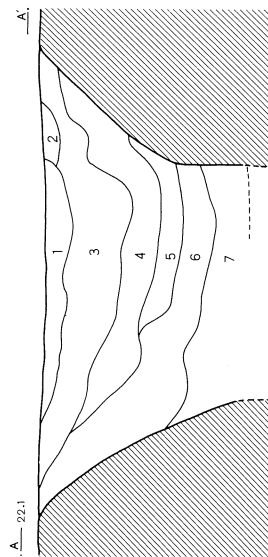
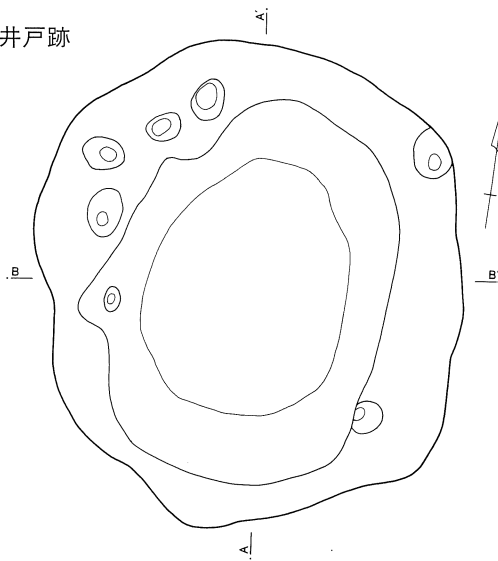
第1号井戸跡(第299図)

BQ-14グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径3.85m、短径3.48m、深さ2.0m以上を測る。断面形はロート状を呈する。主軸方位はN

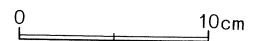
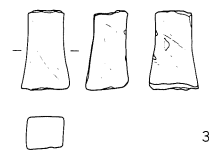
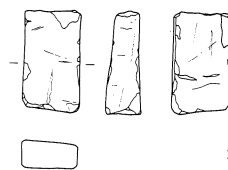
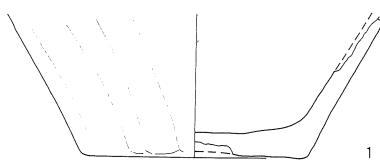
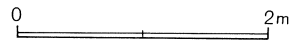
-0°-Eを指す。

覆土中より、甕底部、砥石2点が出土した。

第299図 第1号井戸跡



- 1 黒褐色土 砂利含む 縮まりあり
- 2 黒褐色土 砂利多く含む 縮まりあり
- 3 黒褐色土 砂利少量含む 炭化物僅か含む 縮まりあり
- 4 黒褐色土 砂利やや多く含む 縮まりあり
- 5 黒褐色土 砂利若干含む 縮まりあり
- 6 黒褐色土 砂利極多く含む 縮まりあり
- 7 褐色土 砂利多く含む 縮まりあり
- 8 暗褐色土 砂利多く含む 縮まりあり



(3) 堀跡・溝**堀跡(第300・301図)**

BN・BO-14~17グリッドに位置し、第1~6号溝とほぼ平行に延びている。また堀の両端は調査区域外に及び、第3・4号溝と重複する。確認できた長さは約27m、幅約4.0m、深さ140~220cmを測る。断面形は薬研堀を呈する。

出土遺物(第303図1~7)

覆土中より、土鍋・甕、石臼、銭、緑泥片岩片を出土した。

1は土鍋で、復元口径29.0cm、口縁外面から内面はロクロナデで、外面は煤の付着により整形は不明。2は甕底部で復元底径11.0cm、外面は粘土接合痕が顕著で、木口状工具によるナデ、胎土に小礫を含む。3・4は石臼の破片。5は甕の破片で幾何学的な文様の叩きが施されている。

古銭は2点とも「寛永通寶」で、6はBN-14グリッドからの出土で径2.35cm、方形孔7.5mm、厚さ2.5mmを測る。7は径2.55cm、方形孔7.5mm、厚さ3.0mmを測る。

第1号溝(第300・301図)

BN-14~17グリッドに位置し、第2~6号溝及び堀跡とほぼ平行に延びている。また両端は調査区域外に及ぶ。確認できた長さは約27.8m、幅約0.7m、深さ20~100cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第303図8・9)

大型と小型のかわらけが出土した。

第2号溝(第300・301図)

BN-14~17グリッドに位置し、両端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約27.7m、幅1.2~1.7m、深さ約110cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第303図10・11)

覆土中より、甕の破片、かわらけを出土した。

第3号溝(第300・301図)

BO-14~17グリッドに位置する。第4号溝及び堀跡と重複し、東端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約23m、幅約0.7m、深さ140cmを測る。

第4号溝(第300・301図)

BO-14・15グリッドに位置する。第3・5・6号溝及び堀跡と重複し、西端は調査区域外に延びている。また東端は南へ鈍角に屈曲している。確認できた長さは約14.5m、幅約0.6m、深さ約50cmを測る。

出土遺物(第303図12)

覆土中より、甕底部の他に、かわらけ片を出土した。

第5号溝(第300・301図)

BO-14・15グリッドに位置する。第6号溝と重複する。西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約11.5m、幅0.6~1.0m、深さ約60cmを測る。覆土中より、かわらけ片を出土した。

第6号溝(第300・301図)

BO-14~17グリッドに位置する。第4・5・7号溝と重複し、両端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約27.7m、幅1.2~2.0m、深さ90cmを測る。断面形は逆台形を呈する。覆土中より、中世甕片を出土した。

第7号溝(第300・302図)

BO・BP・BQ-15グリッドに位置し、南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約24m、幅0.9~1.5m、深さ約65cmを測る。断面形は箱薬研堀を呈する。

出土遺物(第303図13)

覆土中より、かわらけが出土した。

第8号溝(第300・302図)

BO・BP-15、BQ-15・16グリッドに位置する。南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約15.5m、幅約1.5m、深さ約20cmを測る。

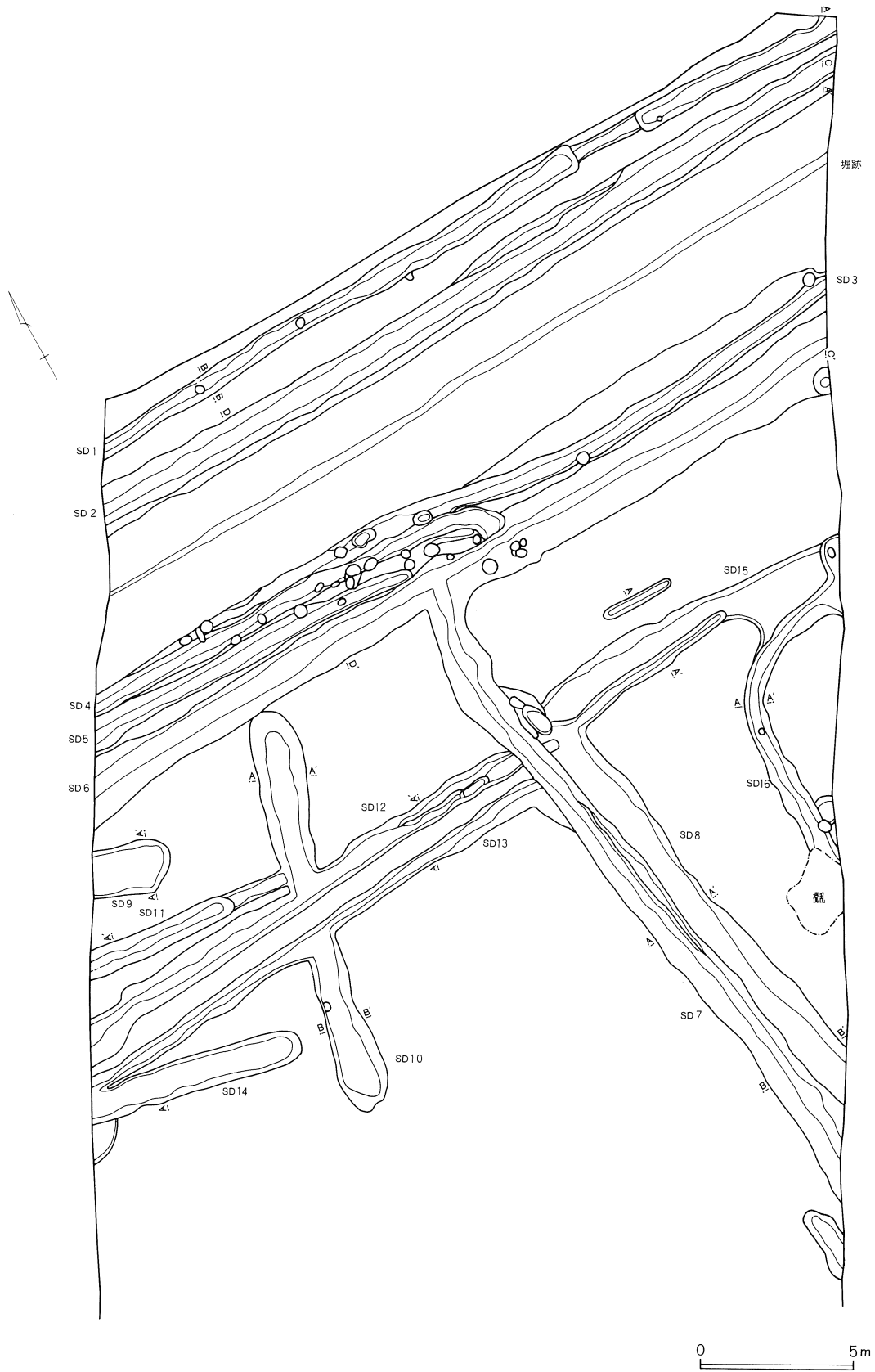
第9号溝(第300・302図)

BO-14グリッドに位置する。西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約2.5m、幅1.5~1.7m、深さ20cmを測る。断面形は皿状を呈する。

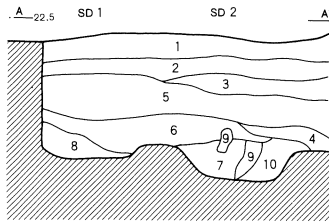
第10号溝(第300・302図)

BO・BP-14グリッドに位置する。規模は長さ約13.5m、幅1.1~1.5m、深さ約60cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第300図 溝(1)・堀跡



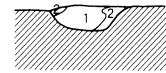
第301図 溝(2)・堀跡



SD 1・2 (A-A')

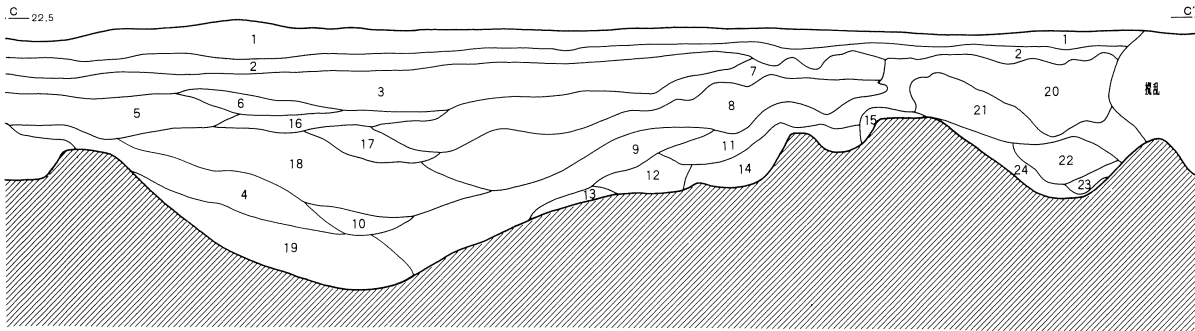
- 1 耕作土 小砂利多く含む
- 2 整地土 小砂利・礫多く、炭化物値を含む 締まり強い
- 3 褐色土 ローム斑状に、礫僅か含む 締まりあり
- 4 黒褐色土 礫僅か含む 締まりあり
- 5 黒褐色土 ローム僅か含む やや締まり弱い
- 6 黒褐色土 ローム斑状に含む
- 7 黒褐色土 ローム粒子・ロームブロック多く含む
- 8 黒褐色土 ローム・灰粘土塊状に含む
- 9 灰黄褐色土
- 10 明黄褐色土 ローム崩土

B-B' SD 1



SD 1 (B-B')

- 1 黒褐色土 ローム粒子・ロームブロック多く含む
- 2 明黄褐色土 ローム崩土

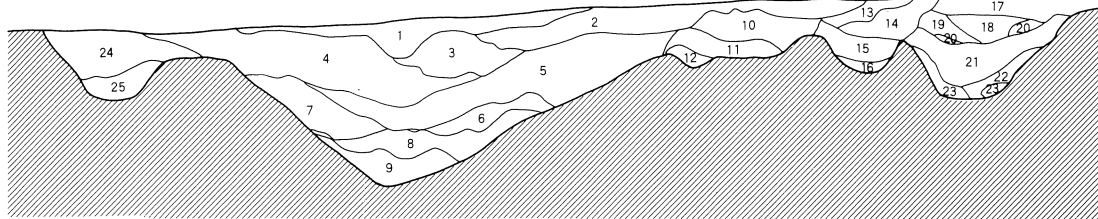


堀跡・SD 3

- 1 耕作土
- 2 整地土 小砂利多く含む
- 3 褐色土 小砂利・礫多く、炭化物値を含む 締まり強い
- 4 黒褐色土 ローム斑状に、礫僅か含む 締まりあり
- 5 黒褐色土 礫僅か含む 締まりあり
- 6 褐色土 3層よりやや色が暗い
- 7 褐色土 小砂利・礫多く含む 締まり強い
- 8 鈍黄褐色土 小砂利少量含む 締まり弱い
- 9 鈍黄褐色土 砂利・礫含む やや締まりあり
- 10 鈍黄褐色土 9層よりやや色が明るい
- 11 暗褐色土 砂利少量含む やや締まりあり
- 12 暗褐色土 白色鉱物粒子多く含む 締まり強い

- 13 鈍黄褐色土 ローム崩土が 粘性あり 締まりあり
- 14 暗褐色土 12層よりやや暗い
- 15 明黄褐色土 ローム崩土
- 16 黒褐色土 礫僅か含む
- 17 暗褐色土 礫僅か含む
- 18 黒褐色土 ローム斑状に、礫僅か含む 締まりあり
- 19 黒褐色土 礫多く含む 締まりあり
- 20 黄褐色土 ローム粒子・小砂利、炭化物粒子若干含む やや締まりあり
- 21 暗褐色土 ローム粒子・小砂利含む
- 22 黒褐色土 小砂利僅か含む やや締まり弱い
- 23 暗褐色土 ローム粒子・黒褐色土粒子含む 締まり弱い
- 24 黒褐色土 ローム粒子・微小砂利僅か含む

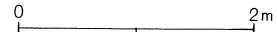
D-D' SD 2 SD 4 SD 5 SD 6



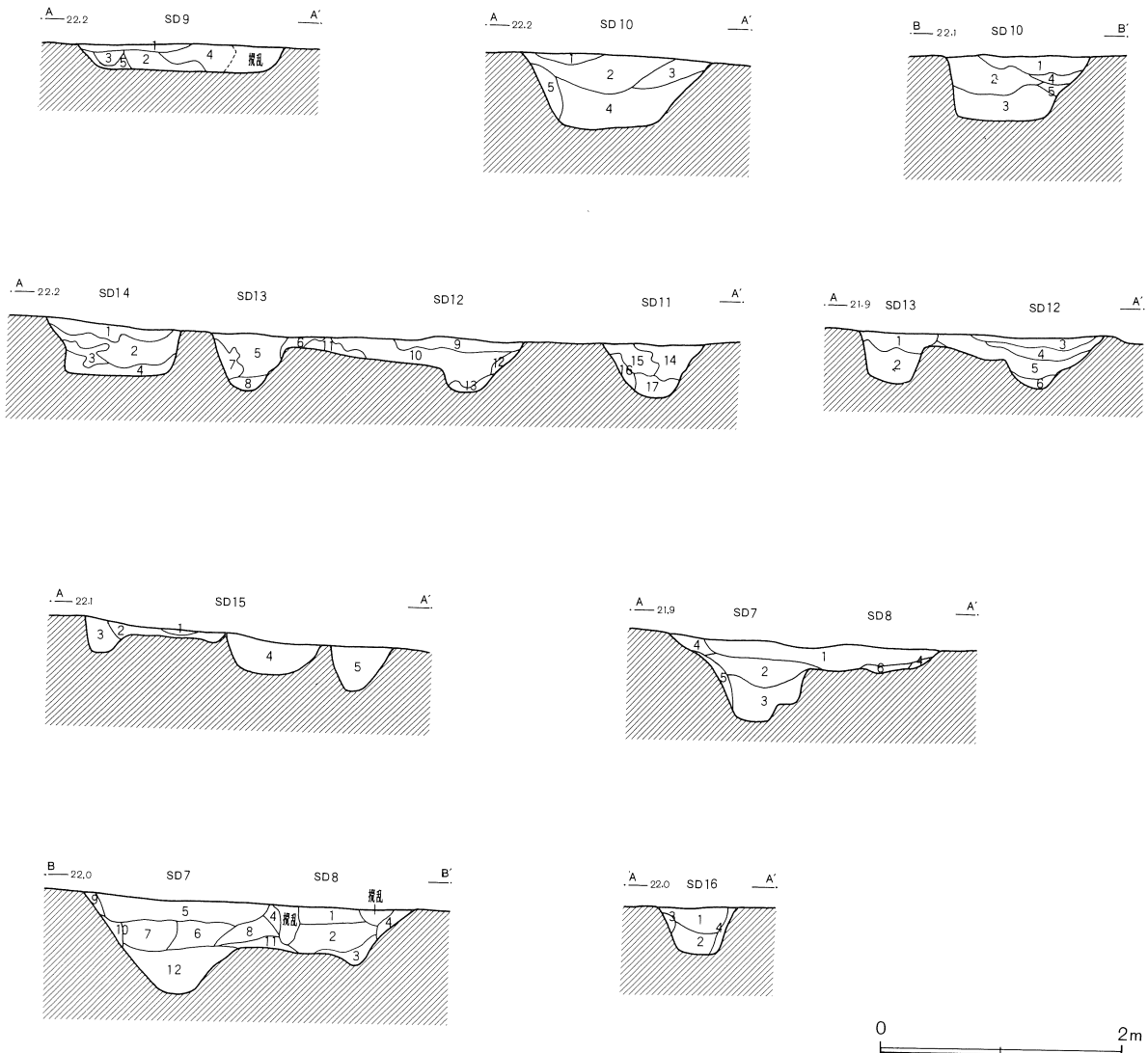
SD 2・4・5・6・堀跡

- 1 褐色土 小砂利・礫多く含む 締まり強い
- 2 褐色土 小砂利・礫少量含む 締まり強い
- 3 暗褐色土 礫僅か含む
- 4 黒褐色土 ローム斑状に、礫僅か含む 締まりあり
- 5 鈍黄褐色土 小砂利少量含む 締まり弱い
- 6 鈍黄褐色土 砂利・礫含む やや締まりあり
- 7 黒褐色土 ローム斑状に、礫僅か含む 締まりあり
- 8 鈍黄褐色土 やや色が明るい
- 9 黒褐色土 礫多く含む 締まりあり
- 10 暗褐色土 ローム粒子若干含む やや締まり弱い
- 11 暗褐色土 黒褐色土斑状に含む
- 12 明黄褐色土 ローム崩土

- 13 黒褐色土 炭化物粒子含む
- 14 暗褐色土 ローム斑状に含む
- 15 黒褐色土 微砂粒若干含む
- 16 黒褐色土 ロームブロック若干含む
- 17 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック・白色鉱物粒子含む
- 18 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子・小礫含む
- 19 黒褐色土 ローム・炭化物多く含む
- 20 褐色土 ローム多く、炭化物若干含む
- 21 黒褐色土 小砂利僅か含む やや締まり弱い
- 22 暗褐色土 ローム粒子・黒褐色土粒子含む 締まり弱い
- 23 褐色土 ローム・黒褐色土含む
- 24 黒褐色土 ローム僅か含む やや締まり弱い
- 25 褐色土 ローム粒子多く、ローム崩土・黒褐色土含む



第302図 溝(3)



SD 9

- 1 暗褐色土
- 2 褐色土
- 3 暗褐色土
- 4 褐色土
- 5 褐色土

SD 10 (A-A')

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 褐色土微粒子若干含む 締まりあり
- 3 黒褐色土
- 4 暗赤褐色土 褐色土微粒子若干含む 締まり強い
- 5 黒褐色土 褐色土極多く含む

SD 10 (B-B')

- 1 赤黒色土
- 2 黒褐色土 褐色土微粒子若干含む やや締まりあり
- 3 暗赤褐色土 褐色土微粒子若干含む 締まり強い
- 4 褐色土
- 5 極暗赤褐色土 締まり強い

SD 11~14

- 1 黒褐色土 ローム粒子・黒色土粒子含む
- 2 褐色土 ローム斑状に多く含む
- 3 黒色土 ローム粒子若干含む やや粘質
- 4 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子若干含む やや締まりあり

- 5 暗褐色土 ローム粒子・微小礫含む
- 6 暗褐色土 ローム粒子多く、微小礫含む
- 7 暗褐色土 ローム粒子・微小礫含む 締まり弱い
- 8 暗褐色土 ロームブロック若干含む
- 9 暗褐色土 炭化物・小砂利多く含む
- 10 暗褐色土 ローム粒子・小砂利多く含む
- 11 褐色土 ローム・暗褐色土含む
- 12 褐色土 ローム少量、暗褐色土含む
- 13 暗褐色土 ローム粒子・小砂利多く含む やや締まりあり
- 14 暗褐色土 ローム多く含む
- 15 褐色土 ローム崩土多く含む やや締まりあり
- 16 暗褐色土 ローム少量含む
- 17 黒褐色土 締まり弱い

SD 12・13

- 1 黒褐色土 白色鉱物粒子多く含む
- 2 黒褐色土 白色鉱物粒子少量含む やや粘質
- 3 暗褐色土 白色鉱物粒子・小砂利若干含む
- 4 暗褐色土 礫多く含む
- 5 暗褐色土 ローム粒子多く含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子少量含む やや粘質

SD 15

- 1 褐色土 ローム崩土 締まりなし
- 2 鈍黄褐色土 ローム粒子、小砂利僅か含む
- 3 黒褐色土 炭化物粒子僅か含む
- 4 暗褐色土 ロームブロック若干、ローム粒子多く含む やや締まりあり
- 5 暗褐色土 ロームブロック多く含む やや締まりあり

SD 7・8 (A-A')

- 1 褐色土 締まりなし
- 2 暗褐色土 やや締まりあり 粗粒
- 3 暗褐色土 締まり強い 粗粒
- 4 褐色土 締まりなし
- 5 暗褐色土 粘質 やや粗粒
- 6 暗褐色土 極締まり強い

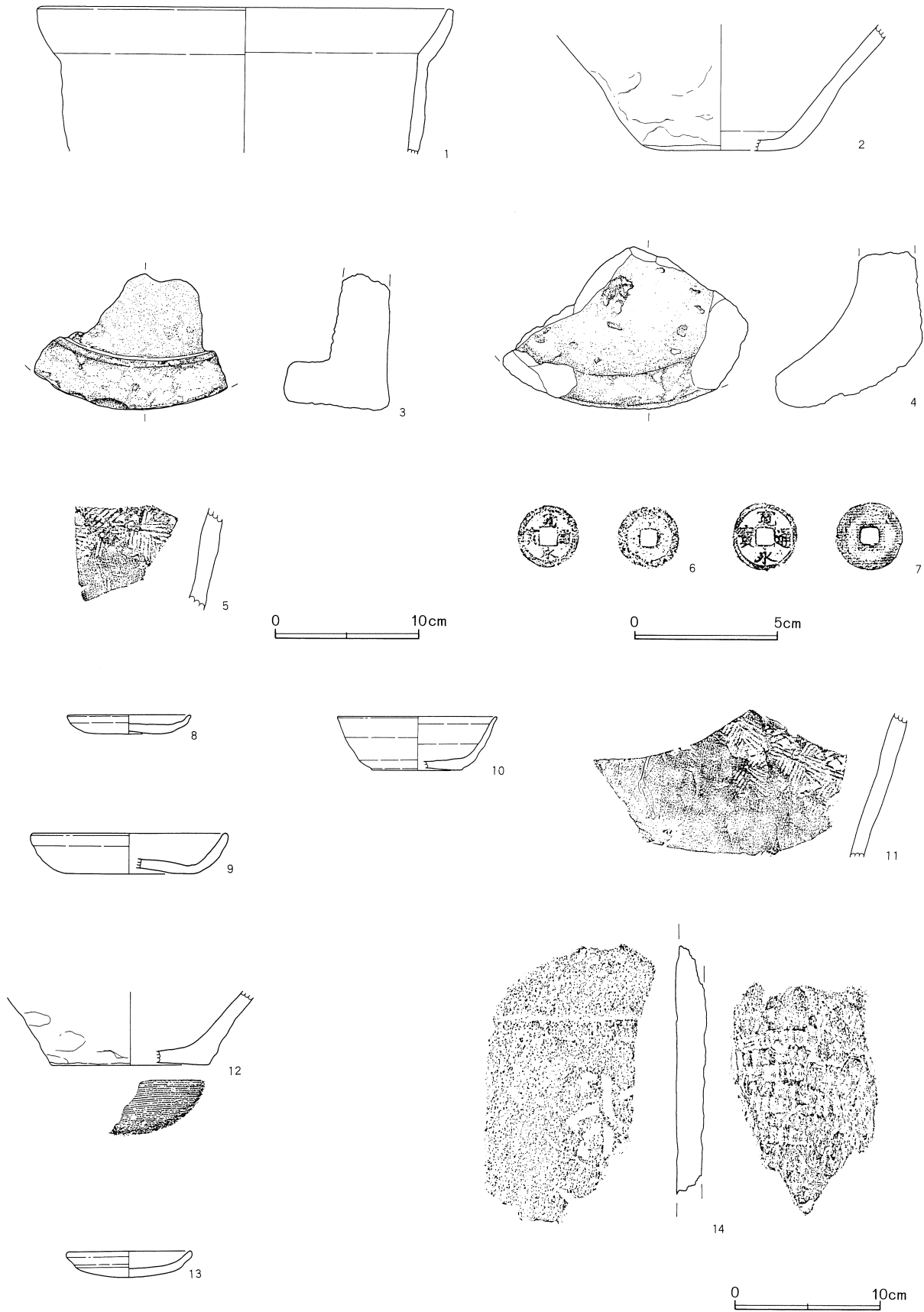
SD 7・8 (B-B')

- 1 暗褐色土 締まり強い
- 2 鈍黄褐色土 締まり強い
- 3 褐色土
- 4 褐色土 締まりなし
- 5 褐色土 締まりなし
- 6 暗褐色土 やや締まりあり 粗粒
- 7 黒褐色土
- 8 褐色土 やや締まりあり
- 9 褐色土 締まりなし
- 10 黄褐色土
- 11 褐色土 締まり強い
- 12 暗褐色土 締まり強い 粗粒

SD 16

- 1 黒褐色土 やや締まりあり
- 2 暗褐色土 褐色土粒子多く含む
- 3 褐色土 締まりなし
- 4 黄褐色土

第303図 堀跡・溝出土遺物



堀跡・溝出土遺物観察表(第303図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
8	かわらけ	(8.6)	1.3	(6.2)	AK	II	橙	70	SD1 口縁部内外面ロクロナデ その他ナデ
9	かわらけ	(13.8)	2.8	(9.6)	K	III	橙	25	SD1 体部外面ロクロ工具ナデ 底部工具ナデ
10	かわらけ	(11.2)	3.7	(6.4)	BSR	II	橙	40	SD2 RC 内外面ロクロ痕顕著 体部外面に指頭痕
11	甕				BS	I		破片	SD2 幾何学的様の文様の叩きが施されている
12	甕			(11.0)	B	III		15	SD4 外面指頭圧痕
13	かわらけ	(8.8)	1.8	(7.4)		III	にぶい橙	60	SD7 底部外面ナデ

出土遺物(第303図I4)

板碑と甕の破片を出土した。板碑は破片で、主尊種子はキリーク(阿弥陀)で独尊形式で、杵線が見られる。厚さは1.0cmを測る。

第11号溝(第300・302図)

BO-13・14グリッドに位置する。溝東端は第10号溝と重複し、西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約7.0m、幅0.6~0.8m、深さ約45cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第12号溝(第300・302図)

BO-14・15、BP-13~15グリッドに位置する。第7・10号溝と重複し、西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約17.0m、幅約0.7m、深さ約45cmを測る。覆土中より、甕の破片と緑泥片岩片を出土した。

第13号溝(第300・302図)

BO-14・15、BP-13~15グリッドに位置する。第7・10・14号溝と重複し、西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約17.5m、幅約0.6m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第14号溝(第300・302図)

BP-13・14グリッドに位置する。第13号溝と重複し、西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約7.0m、幅約1.1m、深さ約45cmを測る。

出土遺物(第304図)

覆土中より、弥生土器片を出土した。ヘラ描き沈線文系の土器で、平行2条線の上はヘラ描き沈線文、下は地文縄文と波状の撚り糸文で、横方向にナデ消されている。

第15号溝(第300・302・304図)

BO-15・16グリッドに位置する。西端では第8号溝と重複し、東端は第16号溝と重複し、さらに調査区域外に延びている。確認できた長さは約11.0m、幅1.0~1.6m、深さ約30cmを測る。覆土中より、縄文土器片、須恵器甕片、古銭を出土した。

出土遺物(第304図)

古銭は「天□元寶」で、径2.6cm、方形孔8.3mm、厚さ3.2mmを測る。中国銭と考えられる。

第16号溝(第300・302図)

BO・BP-16グリッドに位置する。北端で第15号

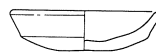
第304図 溝出土遺物

SD14



0 10cm

SD16



0 10cm

SD15



SD17

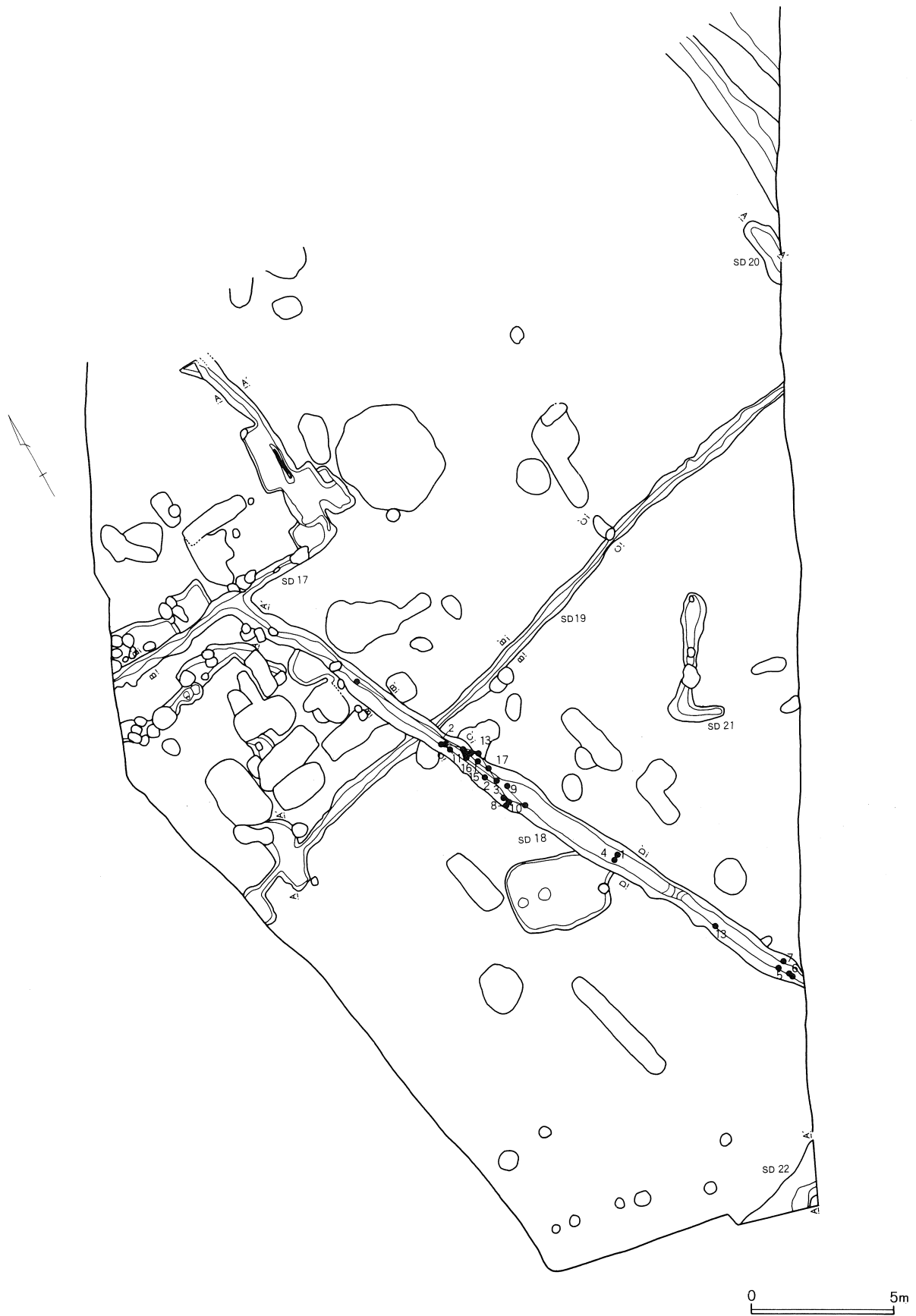


0 5cm

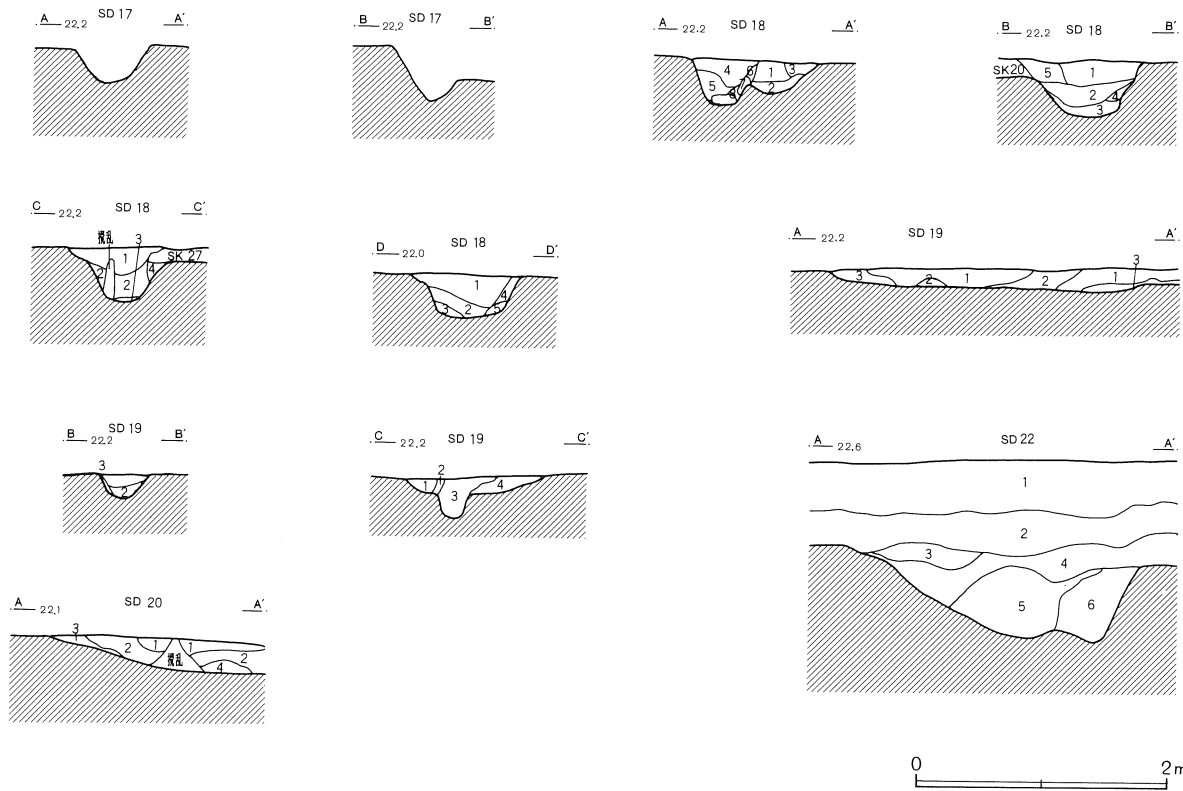
溝出土遺物観察表(第304図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
SD16	かわらけ	(8.0)	2.1	(6.8)	J	II	にぶい橙	20	内面・体部外面ロクロナデ

第305図 溝(4)



第306図 溝(5)



SD 18 (A-A')

- 1 暗褐色土
- 2 鈍黄褐色土
- 3 暗褐色土 褐色土若干含む やや締まりあり
- 4 暗褐色土
- 5 暗褐色土 褐色土粒子若干含む
- 6 褐色土 褐色土ブロック
- 7 暗褐色土 褐色土ブロック含む
- 8 暗褐色土 締まりなし

SD 18 (B-B')

- 1 黒褐色土 やや締まりあり
- 2 暗褐色土 やや締まりあり
- 3 褐色土 やや締まりあり
- 4 暗褐色土 黄褐色土多く含む
- 5 黒褐色土 締まりなし

SD 18 (C-C')

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ローム粒子多く含む
- 3 暗褐色土 ローム崩れ多く含む やや締まりあり
- 4 黒褐色土 ローム粒子部分的に含む 締まり弱い

SD 18 (D-D')

- 1 黒褐色土 褐色土粒子含む 締まり弱い
- 2 暗褐色土 やや締まりあり
- 3 褐色土 締まり強い
- 4 黒褐色土 褐色土多く含む 締まり弱い
- 5 暗褐色土 褐色土多く含む 締まり弱い

SD 19 (A-A')

- 1 暗褐色土 ローム粒子・黒色土粒子含む 締まり弱い
- 2 暗褐色土 ローム粒子少量、黒色土粒子含む 極締まり弱い
- 3 褐色土 ローム崩れ

SD 19 (B-B')

- 1 暗褐色土
- 2 褐色土
- 3 鈍黄褐色土

SD 19 (C-C')

- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土 ロームブロック若干含む
- 3 鈍黄褐色土
- 4 暗褐色土

SD 20

- 1 黒褐色土 やや締まりあり
- 2 黒褐色土 締まりなし
- 3 褐色土
- 4 暗褐色土

SD 22

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土
- 3 黒褐色土 ローム微粒子・炭化物・赤色土微粒子僅か含む
- 4 黒褐色土 礫若干、ローム僅か含む
- 5 黒褐色土 ロームブロック含む 締まりあり
- 6 黄褐色土 ローム崩れ

溝と重複しながら東方向へ湾曲し、調査区域外に延びている。南端は攪乱を受けている。確認できた長さは約10m、幅約0.6m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第304図)

かわらけの他に甕の破片を出土した。

第17号溝(第305・306図)

BQ-12・13グリッドに位置する。BQ-13グリッド付近でほぼ直角に屈曲している。西端は調査区域外に延び、北端は攪乱を受けている。確認できた長さは

約17m、幅約0.6m、深さ30cmを測る。

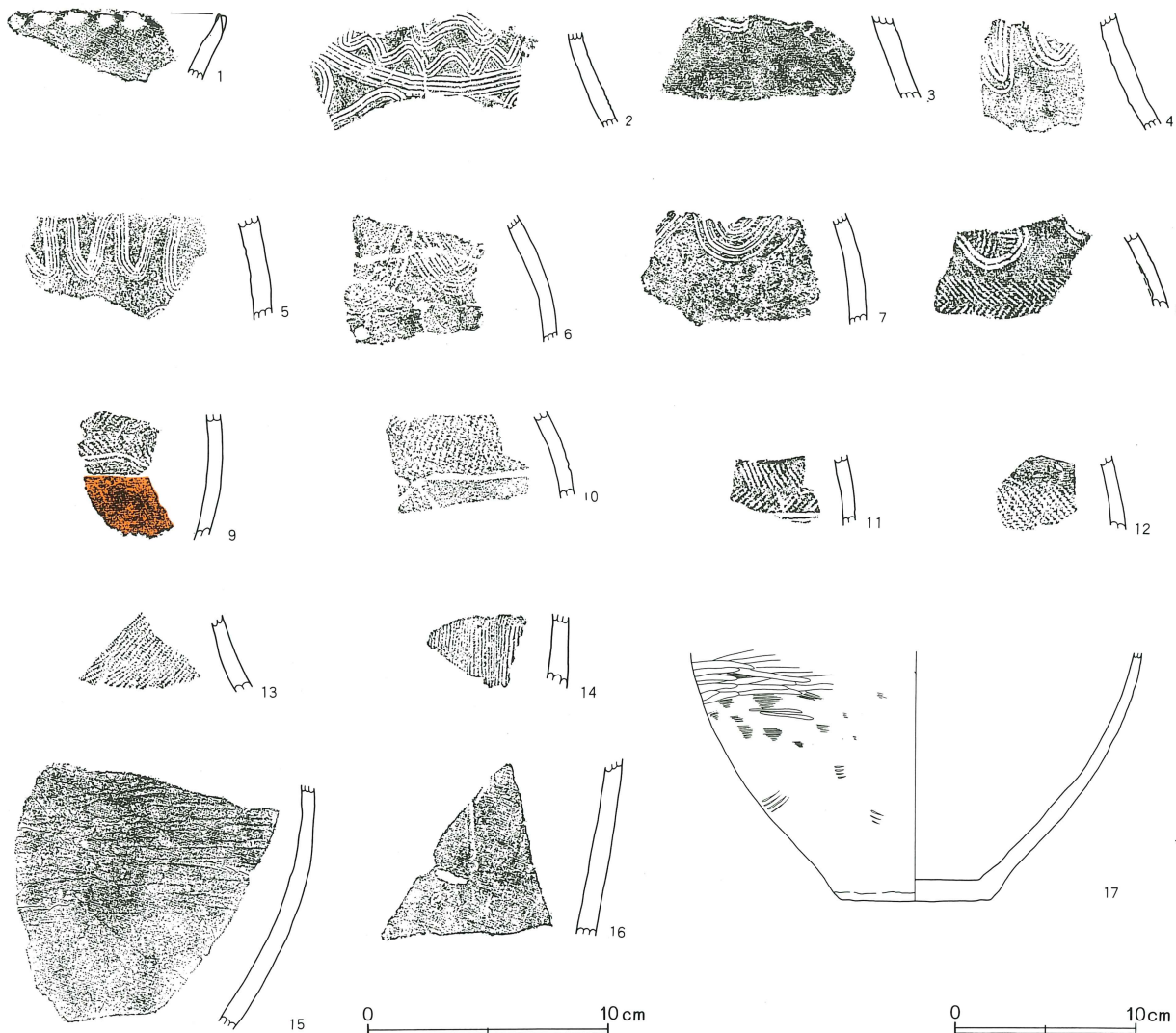
出土遺物(第304図)

覆土中より、昭和18年製の十銭硬貨が出土し、径2.38cm、厚さ3.0mmを測る。

第18号溝(第305・306図)

BQ-13、BR・BS-13・14、BT-14グリッドに位置する。また南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約24.0m、幅約1.0m、深さ約45cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第307図 第18号溝出土遺物



出土遺物(第307図)

弥生土器が出土し、BR-13グリッド南東隅に集中していた。

1は口縁部で指頭押捺による波状口縁。

2は甕頸部で、櫛描波状文と平行沈線文、更にその下に大きめの波状文が施されている。

3～7は2の横線文下の大きめの波状文であるが、6では波状文の両端が交叉している。

8は篋描沈線文の区画による「ハ」の字状文を施文、その下に縄文帯施文。

9～11は地文縄文に篋描沈線文による区画。9は無文帯に赤彩が施されている。

12は地文は縄文で無文帯をもつ。13は地文縄文。

14は縦方向の刷毛目が施されている。

第19号溝(第305・306図)

BR-13～15グリッドに位置する。第18号溝及び第28号土坑と重複し、両端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約25.5m、幅約0.4m、深さ約20cmを測る

第20号溝(第305・306図)

BQ-15グリッドに位置する。南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約2.0m、幅約0.8m、深さ約20cmを測る。

第21号溝(第305図)

BR・BS-14グリッドに位置する。第36・37号土坑と重複し、また南端は東方向へ屈曲している。規模は長さ約6m、幅約0.6m、深さ約30cmを測る。

第22号溝(第305・306図)

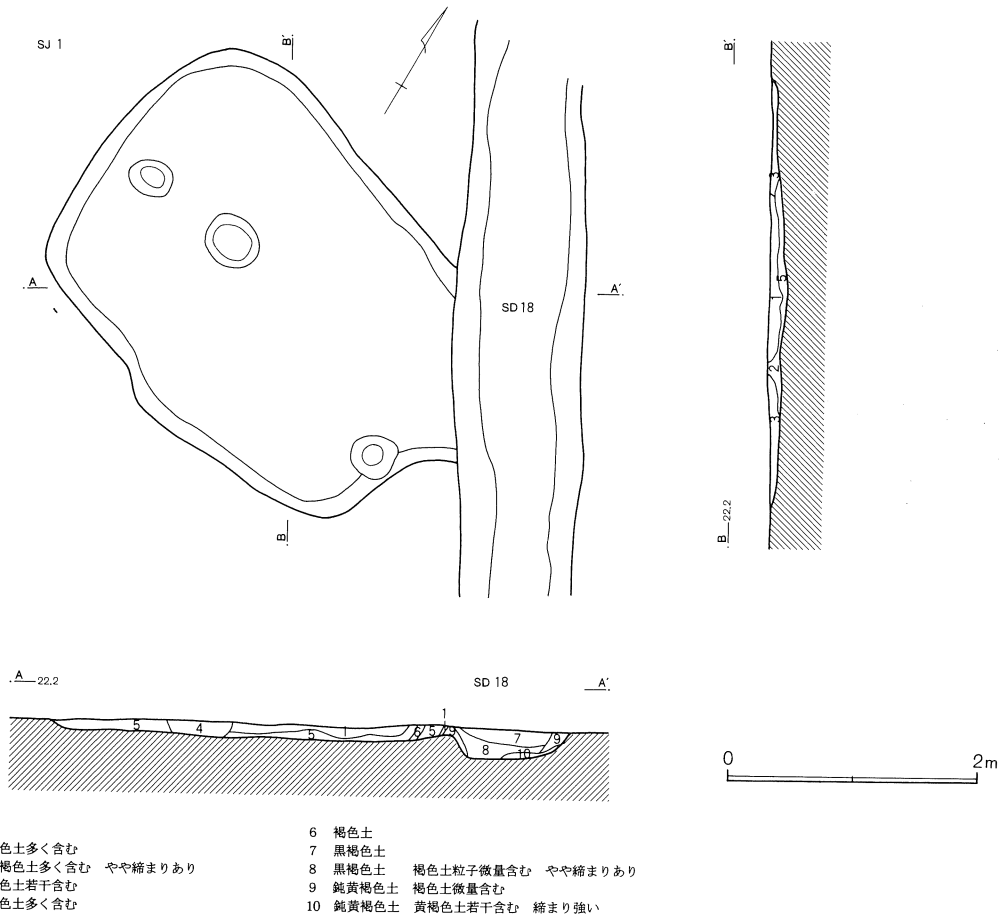
BT-13・14グリッドに位置する。確認できたのは溝の一部で、長さは約4.0m、幅約1.5m、深さ約140cmを測る。

(4) 竪穴状遺構

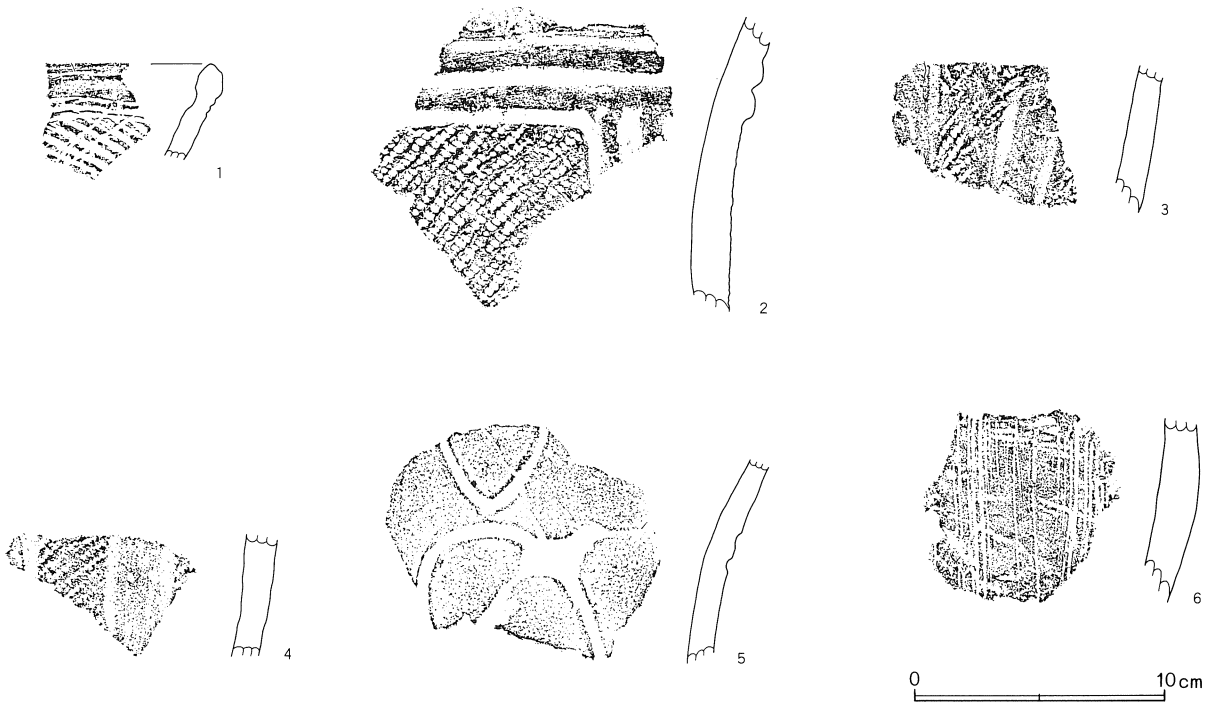
第1号竪穴状遺構(第308図)

BS-13・14グリッドに位置する。第18号溝に遺構の東隅を切られている。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸約3.60m、短軸約2.15m、深さ約10cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。

第308図 第1号竪穴状遺構



第309図 グリッド出土遺物(1)



グリッド出土遺物観察表(第310図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
2	かわらけ	7.9	1.4~1.8	5.5	BR	I	橙	95	BP-13 g LC 口唇部に油煙附着

(5)グリッド出土の遺物

縄文土器(第309図)

- 1は口縁部で、横方向の沈線文と格子目文が施される。
- 2は、口縁部は無文で隆帯により区画され、胴部では地文に縄文が施文され、2本の隆帯による懸垂文。
- 3・4は沈線による懸垂文で、磨り消し部をもつ。
- 5は沈線文のみで、U字状の沈線文が上下から向き合うように施されている。
- 6は楕状条線文が施されている。

丸瓦(第310図1)

BD-15グリッド出土。凸面は、側縁部は側縁に沿ったナデ、その他は横ナデされている。凹面は粗い布目痕と横ナデ、2条の凹線がある。釘穴2箇所。

全長25.1cm、体長23.4cm、幅13.7cm、高さ6.3cm、玉縁長外面側1.8cm、同内面側2.0cm、玉縁高さ4.2cm、玉縁体部接合部高さ4.7cm、玉縁幅10.7cmを測る。

古銭(第310図3)

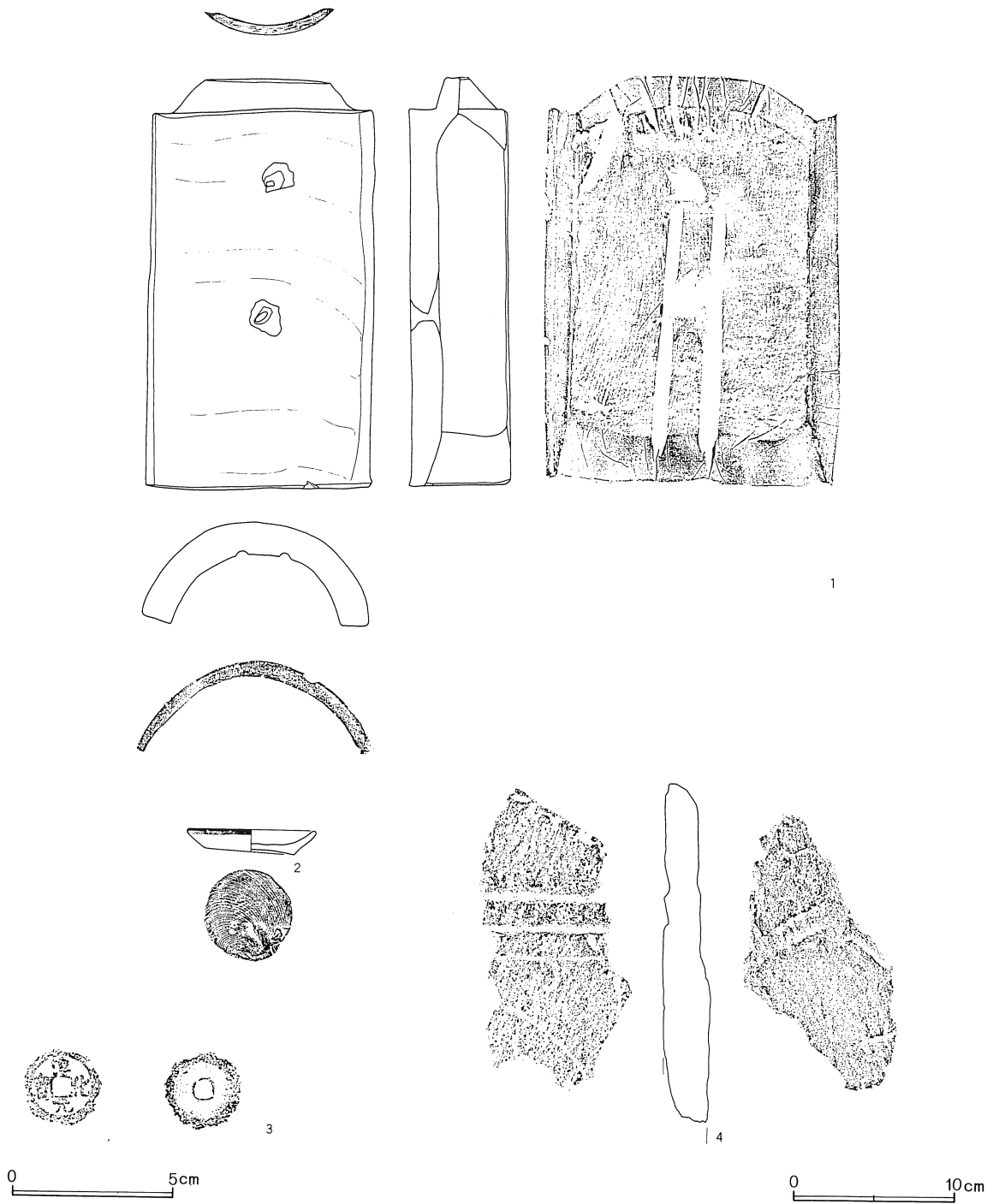
BR-12グリッド出土。宋銭の「淳化元寶」で時計廻りに文字が配列されている。外周は風化しており径2.6cm以上、方形孔7.4mm、厚さ3.3mmを測る。

「淳化」は中国の年号で、西暦990~994年にあたる。

板碑(第307図5)

BQ-15グリッド出土。月輪の一部、片葉研彫りの2条線と杵線が施されている。厚さは1.9~2.8cmを測る。

第310図 グリッド出土遺物(2)



第1表 山王裏遺跡遺構番号新旧対照表

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第1号土坑	SK 1	第32号土坑	SK36	第1号溝	SD16
第2号土坑	SK 2	第33号土坑	SK37	第2号溝	SD17
第3号土坑	H・I-45g.内	第34号土坑	SK31	第3号溝	SD 6 西側
第4号土坑	SK46	第35号土坑	SK32	第4号溝	SD 6 東側
第5号土坑	J-43g.内	第36号土坑	SK33	第5号溝	SD 7
第6号土坑	SK47	第37号土坑	SK34	第6号溝	SD 8
第7号土坑	K-43g.内	第38号土坑	SK43	第7号溝	SD 2
第8号土坑	K-43g.内	第39号土坑	SK27	第8号溝	SD 3
第9号土坑	SK48	第40号土坑	SK28	第9号溝	SD 4
第10号土坑	SK49	第41号土坑	SK29	第10号溝	SD 5
第11号土坑	L-47g.内	第42号土坑	SK30	第11号溝	SD 6
第12号土坑	SK45	第43号土坑	SK42	第12号溝	SD10
第13号土坑	SK15	第44号土坑	SK41	第13号溝	SD12
第14号土坑	SK 4	第45号土坑	SK39	第14号溝	SD13
第15号土坑	SK 5	第46号土坑	SK38	第15号溝	J-42・43g.内 SD
第16号土坑	SK 7	第47号土坑	SK40	第16号溝	K-42・43g.内 SD
第17号土坑	SK44	第48号土坑	SK53	第17号溝	K-42・43g.内 SD
第18号土坑	SK 8	第49号土坑	SK52	第18号溝	SD14
第19号土坑	SK 9	第50号土坑	SK51	第19号溝	K-43・L-44g.内 SD
第20号土坑	SK10	第51号土坑	SK55	第20号溝	SD11
第21号土坑	SK11	第52号土坑	SK56	第21号溝	SD15
第22号土坑	SK13	第53号土坑	SK57	第22号溝	SD18
第23号土坑	SK14	第54号土坑	SK58	第23号溝	SD19
第24号土坑	SK26	第55号土坑	SK59	第24号溝	SD20
第25号土坑	SK25	第56号土坑	SK60	第25号溝	SD21
第26号土坑	SK24	第57号土坑	SK61	第26号溝	SD22
第27号土坑	SK22	第58号土坑	SK62	第27号溝	SD23
第28号土坑	SK23	第59号土坑	SK64	第28号溝	SD24
第29号土坑	SK19	第60号土坑	SK65	第29号溝	SD25
第30号土坑	SK20	第61号土坑	SK66	第30号溝	SD26
第31号土坑	SK35			第1号竖穴状遺構	SX 3

第2表 上川入遺跡遺構番号新旧対照表

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第1号土坑	SK33	第16号土坑	SK21	第31号土坑	AI-32g.内 SK
第2号土坑	SK 1	第17号土坑	SK17	第32号土坑	AI-32g.内 SK
第3号土坑	SK 2	第18号土坑	SK24	第33号土坑	SK88
第4号土坑	SK16	第19号土坑	SK25	第34号土坑	SD19
第5号土坑	SK20	第20号土坑	SK28	第35号土坑	SK49
第6号土坑	SK 5	第21号土坑	SK26	第36号土坑	AJ-33・34g.内 SK56
第7号土坑	SK 3	第22号土坑	SK29	第37号土坑	SK50
第8号土坑	SK 4	第23号土坑	SK30	第38号土坑	SK43
第9号土坑	SK 6	第24号土坑	SK31	第39号土坑	SK51
第10号土坑	SK13	第25号土坑	SK31	第40号土坑	SK42
第11号土坑	SK 7	第26号土坑	SK32	第41号土坑	SK63
第12号土坑	SK 9	第27号土坑	SK35	第42号土坑	SK65
第13号土坑	SK23	第28号土坑	SK36	第43号土坑	SK59
第14号土坑	SK10	第29号土坑	SK44	第44号土坑	SK60
第15号土坑	SK12	第30号土坑	SK38	第45号土坑	SK61

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第46号土坑	SK73	第72号土坑	SK78	第6号溝	AH-33・38g.内SD
第47号土坑	SK53	第73号土坑	SK77	第7号溝	SD 4
第48号土坑	SK52	第74号土坑	AN-28g.内	第8号溝	SD 5
第49号土坑	SK54	第75号土坑	SK89	第9号溝	SD 6
第50号土坑	SK60	第76号土坑	SK85	第10号溝	SD10
第51号土坑	SK55	第77号土坑	SK84	第11号溝	SD11
第52号土坑	SK75	第78号土坑	SK86	第12号溝	SD12
第53号土坑	SK75	第79号土坑	SK92	第13号溝	SD 9
第54号土坑	SK74	第80号土坑	SK90	第14号溝	AI・AJ-33g.内SD
第55号土坑	SK76	第81号土坑	SK91	第15号溝	SD13
第56号土坑	SK46	第82号土坑	SK93	第16号溝	SD15
第57号土坑	SK47	第1号井戸跡	SE 1	第17号溝	SD16
第58号土坑	AK-33g.内SK56	第2号井戸跡	SE 4	第18号溝	SD17
第59号土坑	SK57	第3号井戸跡	SE 3	第19号溝	SD18
第60号土坑	SK67	第4号井戸跡	SE 2	第20号溝	SD20
第61号土坑	SK68	第5号井戸跡	SE 5	第21号溝	SD21
第62号土坑	SK82	第6号井戸跡	SK58	第22号溝	AL-31g.内SD22
第63号土坑	SK82	第7号井戸跡	SK62	第23号溝	SD23
第64号土坑	SK83	第8号井戸跡	SK64	第24号溝	SD24
第65号土坑	SK70	第9号井戸跡	SE 7	第25号溝	SD25
第66号土坑	SK63	第10号井戸跡	SE 6	第26号溝	SD26
第67号土坑	SK72	第1号溝	SD 1	第27号溝	SD27
第68号土坑	SK71	第2号溝	SD 2	第28号溝	AP-30g.内SD
第69号土坑	SK81	第3号溝	SD 3	第29号溝	AM・AN-31g.内SD22
第70号土坑	SK80	第4号溝	SD 7		
第71号土坑	SK79	第5号溝	SD 8		

第3表 西浦遺跡遺構番号新旧対照表

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第1号住居跡	SJ 1	第22号住居跡	SJ36	第43号住居跡	SJ40
第2号住居跡	SJ14	第23号住居跡	SJ49	第44号住居跡	SJ32
第3号住居跡	SJ15	第24号住居跡	SJ50	第45号住居跡	SJ33
第4号住居跡	SJ16	第25号住居跡	SJ35	第46号住居跡	SJ34
第5号住居跡	SJ 2	第26号住居跡	SJ21	第1号土坑	AP-27g.内SK 7
第6号住居跡	SJ 3	第27号住居跡	SJ20	第2号土坑	SK 8
第7号住居跡	SJ12	第28号住居跡	SJ18	第3号土坑	SK 9
第8号住居跡	SJ13	第29号住居跡	SJ19	第4号土坑	SK10
第9号住居跡	SJ 9	第30号住居跡	SJ22	第5号土坑	SK11
第10号住居跡	SJ 7	第31号住居跡	SJ38	第6号土坑	AQ-28g.内SK
第11号住居跡	SJ11	第32号住居跡	SJ39	第7号土坑	AQ-28g.内SK
第12号住居跡	SJ52	第33号住居跡	SJ37	第8号土坑	SK12
第13号住居跡	SJ10	第34号住居跡	SJ29	第9号土坑	SK13
第14号住居跡	SJ 5	第35号住居跡	SJ25	第10号土坑	SK18
第15号住居跡	SJ 6	第36号住居跡	SJ28	第11号土坑	SK15
第16号住居跡	SJ 4・SJ46	第37号住居跡	SJ30	第12号土坑	SK14
第17号住居跡	SJ45	第38号住居跡	SJ31	第13号土坑	SK16
第18号住居跡	SJ44	第39号住居跡	SJ23	第14号土坑	SK17
第19号住居跡	SJ43	第40号住居跡	SJ27	第15号土坑	AT-26g.内SK
第20号住居跡	SJ48	第41号住居跡	SJ26	第16号土坑	AU-26g.内SK 7
第21号住居跡	SJ51	第42号住居跡	SJ42	第17号土坑	SK 1

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第18号土坑	SK 2	第71号土坑	SK39	第124号土坑	SK76
第19号土坑	SK 3	第72号土坑	SK40	第125号土坑	SK77
第20号土坑	SK 4	第73号土坑	SK41	第126号土坑	SK78
第21号土坑	SK 5	第74号土坑	BF-19g.内 SK	第127号土坑	SK87
第22号土坑	SK 6	第75号土坑	SK49	第128号土坑	SK86
第23号土坑	SK191	第76号土坑	SK48	第129号土坑	SK134
第24号土坑	SK192	第77号土坑	SK47	第130号土坑	SK80
第25号土坑	SK195	第78号土坑	SK46	第131号土坑	SK81
第26号土坑	SK194	第79号土坑	SK43	第132号土坑	SK82
第27号土坑	SK193	第80号土坑	SK44	第133号土坑	SK83
第28号土坑	SK198	第81号土坑	SK50	第134号土坑	SK84
第29号土坑	SK196	第82号土坑	SK51	第135号土坑	SK85西側
第30号土坑	SK197	第83号土坑	SK52	第136号土坑	SK85東側
第31号土坑	SK206A	第84号土坑	SK53	第137号土坑	BL-18g.内 SK
第32号土坑	SJ17	第85号土坑	SK54	第138号土坑	BK・BL-18g.内 SK
第33号土坑	SK199	第86号土坑	SK55	第139号土坑	SK89
第34号土坑	SK200	第87号土坑	SK56	第140号土坑	SK90
第35号土坑	SK201	第88号土坑	SK161	第141号土坑	SK137
第36号土坑	SK203	第89号土坑	SK148	第142号土坑	BL-18g.内 SK
第37号土坑	SK204	第90号土坑	SK149	第143号土坑	SK136
第38号土坑	SK202	第91号土坑	SK146	第144号土坑	SK91
第39号土坑	SK205	第92号土坑	SK160	第145号土坑	SK135
第40号土坑	SK206B	第93号土坑	SK147	第146号土坑	SK129
第41号土坑	SK207	第94号土坑	SK150	第147号土坑	SK119
第42号土坑	SK208	第95号土坑	SK162	第148号土坑	SK92
第43号土坑	SK140	第96号土坑	SK151	第149号土坑	SK93
第44号土坑	SK141	第97号土坑	SK153A	第150号土坑	SK94
第45号土坑	SK142	第98号土坑	SK153B	第151号土坑	SK96
第46号土坑	SK19	第99号土坑	SK152	第152号土坑	SK97
第47号土坑	SK20	第100号土坑	SK155	第153号土坑	SK95A
第48号土坑	SK21	第101号土坑	SK156	第154号土坑	SK95B
第49号土坑	SK22	第102号土坑	SK157	第155号土坑	SK100
第50号土坑	SK23	第103号土坑	SK58	第156号土坑	SK99A
第51号土坑	SK24	第104号土坑	SK59	第157号土坑	SK99B
第52号土坑	SK26	第105号土坑	SK163	第158号土坑	SK99C
第53号土坑	SK25	第106号土坑	BI-20g.内 SK	第159号土坑	SK101
第54号土坑	SK143	第107号土坑	SK60	第160号土坑	SK130
第55号土坑	SK144	第108号土坑	SK64	第161号土坑	SK102
第56号土坑	SK35	第109号土坑	SK139	第162号土坑	SK131
第57号土坑	SK158	第110号土坑	SK61	第163号土坑	SK106
第58号土坑	SK159	第111号土坑	SK62	第164号土坑	SK107B
第59号土坑	SK145	第112号土坑	SK65	第165号土坑	SK107A
第60号土坑	SK27	第113号土坑	SK66	第166号土坑	SK113
第61号土坑	SK28	第114号土坑	SK67	第167号土坑	SK111
第62号土坑	SK29	第115号土坑	SK68	第168号土坑	SK112
第63号土坑	SK32	第116号土坑	SK69	第169号土坑	SK110
第64号土坑	SK33	第117号土坑	SK70	第170号土坑	SK109
第65号土坑	SK34	第118号土坑	SK79	第171号土坑	SK108
第66号土坑	BE-20g.内 SK	第119号土坑	SK71	第172号土坑	SK132
第67号土坑	SK30	第120号土坑	SK72	第173号土坑	SK103
第68号土坑	SK38西側	第121号土坑	SK73	第174号土坑	SK104
第69号土坑	SK37	第122号土坑	SK74	第175号土坑	SK105
第70号土坑	SK36	第123号土坑	SK75	第176号土坑	SK114

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第177号土坑	BL-17g.内SK	第230号土坑	SK295	第283号土坑	SK274A
第178号土坑	SK115	第231号土坑	SK278	第284号土坑	SK274B
第179号土坑	SK118	第232号土坑	SK292	第285号土坑	SK274C
第180号土坑	SK128	第233号土坑	SK293	第286号土坑	SK302
第181号土坑	SK134A	第234号土坑	SK235	第287号土坑	SK276
第182号土坑	BL-17g.内SK	第235号土坑	SK234	第288号土坑	SK304
第183号土坑	SK117	第236号土坑	SK233	第289号土坑	SK217
第184号土坑	SK116	第237号土坑	SK299	第290号土坑	SK216
第185号土坑	SK133	第238号土坑	SK287	第291号土坑	SK258
第186号土坑	SK120	第239号土坑	SK286	第292号土坑	SK250
第187号土坑	SK121	第240号土坑	SK285	第293号土坑	SK262
第188号土坑	SK122	第241号土坑	SK284	第294号土坑	SK214
第189号土坑	SK138	第242号土坑	SK283	第295号土坑	SK213
第190号土坑	SK123	第243号土坑	SK282	第296号土坑	SK267
第191号土坑	SK127	第244号土坑	SK281	第297号土坑	SK269
第192号土坑	SK126	第245号土坑	SK236	第298号土坑	SK268
第193号土坑	SK125	第246号土坑	SK248	第299号土坑	SK265
第194号土坑	SK124西側	第247号土坑	SK253	第300号土坑	SK270
第195号土坑	SK124東側	第248号土坑	SK222	第301号土坑	SK272
第196号土坑	SK185	第249号土坑	SK223	第302号土坑	SK273
第197号土坑	SK187	第250号土坑	SK246	第303号土坑	SK255
第198号土坑	SK184	第251号土坑	SK247	第304号土坑	SK275
第199号土坑	SK176	第252号土坑	SK231	第305号土坑	SK264
第200号土坑	SK174	第253号土坑	SK224	第306号土坑	SK266
第201号土坑	SK175	第254号土坑	SK225	第307号土坑	SK277
第202号土坑	SK188西側	第255号土坑	SK219	第308号土坑	SK259
第203号土坑	SK188東側	第256号土坑	SK245	第309号土坑	SK263
第204号土坑	SK173	第257号土坑	SK227	第310号土坑	SK260
第205号土坑	SK172	第258号土坑	SK254	第311号土坑	SK261
第206号土坑	SK167	第259号土坑	SK244	第312号土坑	SK315
第207号土坑	SK190	第260号土坑	SK239	第313号土坑	SK314
第208号土坑	SK177	第261号土坑	SK237	第314号土坑	SK312
第209号土坑	SK189	第262号土坑	SK240	第315号土坑	SK313
第210号土坑	SK180	第263号土坑	SK238	第316号土坑	SK311
第211号土坑	SK171	第264号土坑	SK243	第317号土坑	SK308
第212号土坑	SK170	第265号土坑	SK242	第318号土坑	SK309
第213号土坑	SK179	第266号土坑	SK241	第319号土坑	SK310
第214号土坑	SK178	第267号土坑	SK226	第320号土坑	SK307
第215号土坑	SK181	第268号土坑	SK230	第321号土坑	SK306
第216号土坑	SK169	第269号土坑	SK249	第1号井戸跡	SE 1
第217号土坑	BY-8・9g.内SK	第270号土坑	SK228	第2号井戸跡	SE 4
第218号土坑	SK168	第271号土坑	SK229	第3号井戸跡	SE 3
第219号土坑	SK186	第272号土坑	SK251	第4号井戸跡	SK38東側
第220号土坑	SK166	第273号土坑	SK257	第5号井戸跡	SK45
第221号土坑	SK291	第274号土坑	SK218	第6号井戸跡	SK88
第222号土坑	SK290	第275号土坑	SK221	第7号井戸跡	SK98
第223号土坑	SK289	第276号土坑	SK220	第8号井戸跡	SE 2
第224号土坑	SK288	第277号土坑	SK280	第9号井戸跡	SE 6
第225号土坑	SK300	第278号土坑	SK279	第10号井戸跡	SK212
第226号土坑	SK301	第279号土坑	SK209	第1号溝	SE 7
第227号土坑	SK294	第280号土坑	SK210	第2号溝	SE 8
第228号土坑	SK296	第281号土坑	SK232	第3号溝	SE 9
第229号土坑	SK297	第282号土坑	SK303	第4号溝	SE10

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第5号溝	SD11	第27号溝	SD23	第49号溝	SD47
第6号溝	SD12	第28号溝	SD24	第50号溝	SD45
第7号溝	SD13	第29号溝	BH-20g.内SD35	第51号溝	SD52
第8号溝	SD14	第30号溝	SD27	第52号溝	SD53
第9号溝	SD15	第31号溝	SD26	第53号溝	SD50
第10号溝	SD16	第32号溝	SD25	第54号溝	SD48
第11号溝	SD17	第33号溝	SD28	第55号溝	SD54
第12号溝	SD18	第34号溝	SD29	第56号溝	SX4北側
第13号溝	SD19	第35号溝	BI-20g.内SD34	第57号溝	SX4南側
第14号溝	SD2	第36号溝	SD30	第58号溝	SK305
第15号溝	SD5・SD43	第37号溝	SD31	第59号溝	SD57
第16号溝	SD 6	第38号溝	SD32	第60号溝	SD58
第17号溝	SD 1	第39号溝	BW・BX-11g.SD34	第61号溝	SD59
第18号溝	SD 4	第40号溝	BW・BX-11g.内SD35	第62号溝	SD60
第19号溝	SD 3	第41号溝	SD36	第63号溝	SD61
第20号溝	SD39	第42号溝	SD37	第1号竪穴状遺構	SX 5
第21号溝	SD42	第43号溝	SD38	第2号竪穴状遺構	SK 6
第22号溝	SD44	第44号溝	CB-8・9g.内SD50	第3号竪穴状遺構	SX 1
第23号溝	SD40	第45号溝	SD56	第4号竪穴状遺構	SX 2
第24号溝	SD20	第46号溝	SD49	第5号竪穴状遺構	SX 3
第25号溝	SD21	第47号溝	SD51		
第26号溝	SD22	第48号溝	SD46	火葬墓	SK154

第4表 野本氏館跡遺構番号新旧対照表

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第1号土坑	SK44	第24号土坑	SK21	第1号溝	SD20
第2号土坑	SK36	第25号土坑	SK20	第2号溝	SD19
第3号土坑	SK37	第26号土坑	SK19	第3号溝	SD21
第4号土坑	SK42	第27号土坑	SK17	第4号溝	SD17
第5号土坑	SK43	第28号土坑	SK18	第5号溝	SD16
第6号土坑	BQ-13g.内SK	第29号土坑	SK 3	第6号溝	SD15
第7号土坑	BQ-13g.内SK	第30号土坑	SK 4	第7号溝	SD 6西側
第8号土坑	SK40	第31号土坑	SK 1	第8号溝	SD 6東側
第9号土坑	SK41西側	第32号土坑	SK 8	第9号溝	SD11
第10号土坑	SK41東側	第33号土坑	SK 9	第10号溝	SD12
第11号土坑	SK41南側	第34号土坑	SK 7	第11号溝	SD10
第12号土坑	SK32	第35号土坑	SK 6	第12号溝	SD 9
第13号土坑	SK31	第36号土坑	SK11	第13号溝	SD 8
第14号土坑	SK30	第37号土坑	SK10	第14号溝	SD 7
第15号土坑	SK28	第38号土坑	SK12	第15号溝	SD14
第16号土坑	SK27	第39号土坑	SK13	第16号溝	SD13
第17号土坑	SK26	第40号土坑	SK 5	第17号溝	SD 5
第18号土坑	SK33			第18号溝	SD 2
第19号土坑	SK24	第1号竪穴状遺構	SJ 1	第19号溝	SD 3
第20号土坑	SK22			第20号溝	SK35
第21号土坑	SK29			第21号溝	BR・BS-14g.内SD
第22号土坑	SK23			第22号溝	SD 1
第23号土坑	SK25			堀跡	SD18

Ⅶ 結 語

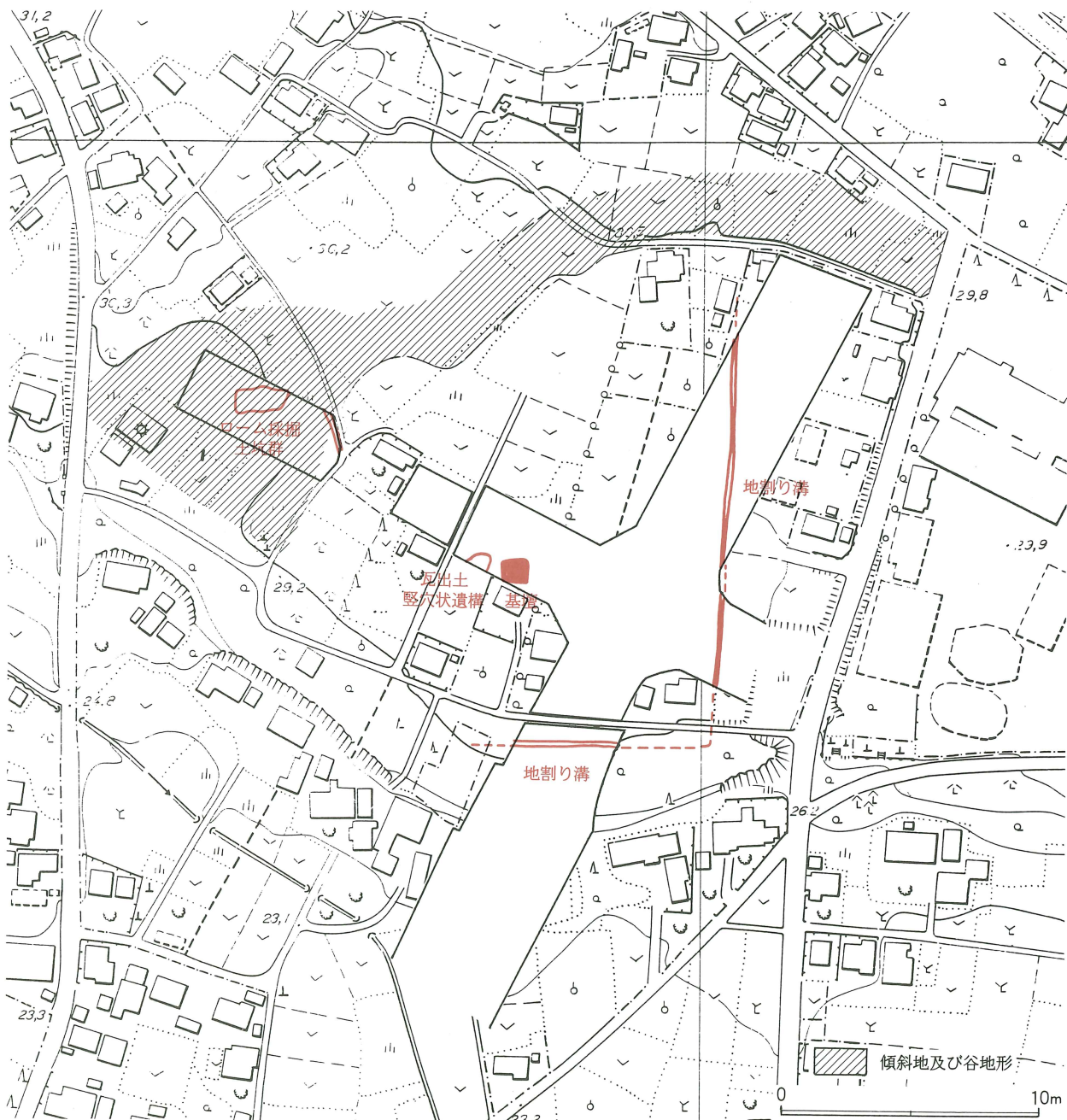
1. 寺院跡関連遺構

山王裏遺跡は、一般国道254号線と一般国道407号線建設により、十字形にトレンチを入れられたような状況で発掘調査が行われ、少なからずある程度の遺跡の内容が明らかにされつつある。

国道254号線は遺跡を東西に貫き、その調査では古

墳時代の2基の円墳跡、奈良・平安時代の集落が検出された。そのほか、掘り込み地業の基壇、基壇の西に隣接して瓦が投棄された竪穴状遺構、東方には南北方向に延びる薬研堀の溝、基壇の西方にはローム採掘坑群が検出された。

第311図 寺院跡関連遺構分布図



国道407号線は遺跡を南北に貫き、調査で国道254号線の調査で検出された基壇の東方にある南北方向の溝がさらに北に延びることが確認された。

さらに、南に隣接する上川入遺跡では、東西方向の溝が検出され、断面形は薬研堀で山王裏遺跡の南北方向の溝につながるものとして捉えることができる。

また、山王裏遺跡の基壇周辺及び竪穴状遺構から出土したものと同種の奈良時代の瓦は、上川入遺跡でも破片が出土しており、山王裏遺跡出土のものと合わせれば相当数にのぼるが、ほとんど平瓦で丸瓦は僅かに1点だけでもあり、基壇上の建物の屋根全体に瓦を葺く程の数ではない。

基壇・竪穴状遺構と溝との関連は、基壇周囲にはガラス質微粒子を含んだ堅く締まった黒色土があり、基壇はこの黒色土を掘り込んで構築されている。この黒色土は隣接する竪穴状遺構の覆土の上層にもあり、この土層より瓦が出土していた。また、東方の溝の覆土及び上川入遺跡遺の東西方向の溝にもこの黒色土が確認された。

以上のことから、同時期に廃絶されたものと考えら

2. 円面硯について

西浦遺跡では円面硯が出土し図示した10点のほかに小破片を含むと22点を数える。

硯面部が確認できるものは6点で、いずれも内堤を持たず、海と陸の区分はなく陸から緩やかに下降して海になる形態のものである。また、陸中央が縁より高く盛り上がるものもある。

脚台部は透しを有するものが主体で、透しの形は長方形が主体で十字形もある。透しとともにへら描き沈線が施され、主体は縦位の直線を用いるが、ほかに八の字状の中央に縦位直線文、または円弧文を描いたものがある。小破片ではあるが、透しがなくへら描き沈線のみのものである。さらに、脚台部と硯面部の境に円形刺突文が施されたものもある。

県内で円面硯の出土例は、20遺跡81点で、出土点数が多いものは消費遺跡である若葉台遺跡17例、生産遺

跡、検出された溝は基壇を取り囲む地割りの溝と考えられる。

しかし、確認された溝は東辺と南辺の一部であり、西辺の溝は東辺と同様に南北に延びるものは確認できなかった。また、東辺の溝がどこまで北に延びるのか、また、北辺についても不明である。

北辺の溝については、本報告で山王裏遺跡のB区として調査した地区は、南に隣接する地割り溝が確認できた地区とは異なり、水に浸かっていたような特異なローム面をしており、谷状の地形をしていたと考えられる。付近の人によると、以前は東西方向に水が流れていたという。現地形からも、30mの等高線をみると南東から入ってくる谷状の地形となっている。

また、西辺の溝については、国道254号線関係で調査されたC区は平坦部がなく西に向かって傾斜しており、ローム採掘土坑群は、南から入る谷地形の最も低いところにある。

つまり、北辺・西辺ともに、地形により区画されるため、溝による区画は必要がなかったと考えられる。

跡である窯跡では鳩山窯跡群で23例があげられる。

これらの分類を行う上で様々な分類法が提示されているので、その分類法を見ておきたい。

陶硯の分類は内藤政恒氏によって(1)円面硯、(2)風字硯、(3)特殊硯、(4)転用硯の4分類(1944)がなされている。

今里幾次氏の分類(1950)では、円面硯を三形式に分け、第一形式を透脚式とし、A類は脚台が外反し端部で膨張するもの、B類は脚台が直上のむしろ内反気味のものとし、第二形式は無脚式・短脚式、第三形式は有脚式に分類している。しかし、資料の増加に伴って分類が変化してきている。

檜崎彰一氏は、円面硯、風字硯、宝珠硯、変形硯に分け(1960)、円面硯を台をつけたもの(第1類)と多数の足をつけたもの(第2類)の二種に、第1類をAの直径に比して台の低いものと、Bの直径に比して台の高

第5表 円面視出土遺跡一覧

番号	遺跡名	遺構名	遺跡の種類	分類	備考	所在地
1	西浦	第56号溝	集落	ⅢCアイ-2 b	沈線(・×)	東松山市
2		CG-7-2グリッド		ⅢCア-2 b		
3		第57号溝		ⅢCア-2 b		
4		第56・57号溝		ⅢA-2 b		
5		CE-6-2グリッド		ⅢCア-2 b		
6		CF-6-1グリッド		ⅢCイ-2 b		
7		CD-6-2グリッド		ⅢD-2 b		
8		CF-6-2グリッド		ⅢCア		
9		CF-7-3グリッド		ⅢCア		
10		第56・57号溝		Ⅲ?ア		
11	CH-6-2グリッド	ⅢCイ				
12	CH-7-1グリッド	Ⅲ				
13	沼下	4号住居跡	集落	ⅢCア-2 b	12点出土	寄居町
14	北坂	5号住居跡	集落	ⅢD-2 b		岡部町
15	熊野		集落	Ⅲ-2		〃
16	栗谷瀬	4号住居跡	集落	Ⅲ		皆野町
17	小池3次	包含層	集落	ⅢBア-2 a		〃
18	築道下	A区第21号溝		ⅢD-1 a		行田市
19	岩比田	第19号住居跡		ⅢD-1 a		江南町
20	立野	3号住居跡		ⅢBア-1 b		東松山市
21		グリッド		ⅢBア-1 b		
22	若葉台	B-6号住居跡	郡衙?	ⅢCアイ-2 b		透し丸味帯びる
23				ⅢCイ-2 b		
24				Ⅲ?-1 a		
25				ⅢCア-?		
26				ⅢD-?		
27		B-7号住居跡		Ⅲ?-1 a		
28				ⅢD-?		
29		B-8号住居跡		ⅢD-?		
30				ⅢD-?		
31				ⅢCア-?		
32		C-複合住居跡		Ⅲ		
33				ⅢD-1 b		
34				ⅢD-2		
35		D-表土層		ⅢBア-?		
36				1 a		
37	若葉台	1号住居跡	集落	ⅢBア-2 b	沈線(・×)	坂戸市
38	稲荷前A区	第1号住居跡	集落	ⅢD-1 a		〃
39	八幡前・若宮遺跡	粘土採掘坑				川越市
40	今宿	第6号住居跡	集落	ⅢCイ-2 b		狭山市
41	高岡寺院跡	第3建物遺構	寺院跡	ⅢA-1 b		日高市
42	末野遺跡	灰原	窯跡	I	沈線(×+ 4)	寄居町
43	虫草山窯跡	粘土溜め	窯跡	ⅢA-?		鳩山町
44	鳩山窯跡群	小谷B8号窯	窯跡	ⅢCア-?		〃
45		小谷B14号窯				
46				ⅢCア-1 b		
47		広町B第6B号窯		ⅢCア-1 b		
48				ⅢBア-1 a		
49				ⅢCア-1 a		
50				ⅢCイ-1 a		
51		広町B第11号窯		ⅢCア-1 a		
52		広町B第6号窯状		ⅢBイ-?		
53		広町B灰原		ⅢA-1 b		
54				ⅢA-1 b		
55				ⅢCア-1 a		
56				ⅢCア-1 a		
57				ⅢCイ-1 a		
58				ⅢA-1 b		
59				ⅢA-1 a		
60				ⅢD-1 a		
60	赤沼第14支群	第1号窯跡	窯跡	ⅢBア-1 b	沈線(格子目)	嵐山町
61	将軍沢第1支群	A-2号窯	窯跡	ⅢCア-?		
62	新久窯跡	D地点第1号跡	窯跡	ⅢCア-?		

い多数の透しを有するものに分類した。

石井則孝氏は、円面硯・風字硯・形象硯・その他に大別した(1973)。円面硯を第一類の蹄脚硯、第二類の透脚硯とし二類に大きく分け、第一類のAが獣足に似たもの、Bは器形が大型で脚が三角錘状になり蹄の部分が丸味をもつものに、第二類はAが器高が低く陸が海より高いもの、Bが短冊形の透しを有するもの、Cがいろいろの形に透しに変化したものやへら描きの施されたものに分類した。

新たに榑崎氏は大きく水平硯と傾斜硯、転用硯に分類し(1979)、水平硯の一形態として円面硯を分類し、さらに有透台脚・多足・特殊に細分し、多足に蹄脚と獣足を、特殊に低脚を含めた。

山中敏史氏は平面形態の差異によって円面硯・円形硯・楕円硯・風字硯・形象硯・方形硯・その他・転用硯の8群に大別した(1983)。さらに円面硯を8類に細別し、一類の圈足硯は輪状の台脚を有するもので、台脚が高く、透かしをもつものともたないものがある。さらに、陸の周縁に幅の狭い堤を設けて陸と海を区画する有堤式と無堤式に分け、無堤式は溝状の海を有するものと陸から緩やかに下降して海になるものがあるとしている。

横田賢次郎氏は、円面硯、風字硯、方形硯、特殊円形硯、猿面硯、転用硯の6類に大きく分類し(1983)、円面硯ではA類が獣脚硯、B類が蹄脚硯、C類が圈足硯の3類に細分し、C類を硯面部の内堤の有無によって分け、さらに圈台の成形手法の差異によって4種に細分した。

竹花宏之氏は、一地域の検討と断って該当する形態だけを提示し、平面形を基準として円面硯・風字硯・楕円形硯の三形態に分類した(1984)。円面硯は4類に分け、Aは台脚部に透し窓を施し、その間隔が均等あるいは狭いもの、Bは台脚部の透しが少なく、その間隔が広いもの、Cは台脚部の装飾が沈線によって施されたもの、Dは台脚部の装飾が沈線と透しの組み合わせでなされているものに分類した。

以上の各分類から、円面硯についての分類基準とし

て、脚台部に関しては大別すれば獣脚硯・蹄脚硯・圈足硯に分類することができる。獣脚と蹄脚は明らかに異なり大別した方が明解であろう。圈足硯の中ではさらに細分が必要で、脚台部の装飾によって分類できる。まず、短冊形の透しを有し間隔が均等あるいは狭いもの、透しが少なく間隔が広いもの、沈線と透しがあるもの、沈線のみものものに細分できる。

硯面部に関しては、陸の周縁に幅の狭い堤を設けて陸と海を区画する有堤式と無堤式に別れる。有堤式は堤が明確なものと僅かな突起のものがある。無堤式は溝状の海を有するものと陸から緩やかに下降して海になるものがある。

以上のことをまとめると、円面硯は

脚台部

I類 獣脚硯

II類 蹄脚硯

III類 圈足硯

A類 短冊形の透しを有し間隔が均等あるいは狭いもの

B類 透しが少なく間隔が広いもの

透しの形 ア. 長方形 イ. 十字形

C類 沈線と透しがあるもの

透しの形 ア. 長方形 イ. 十字形

D類 沈線のみもの

硯面部

1類 有堤式 a. 堤が明確なもの

b. 微隆起伏のもの

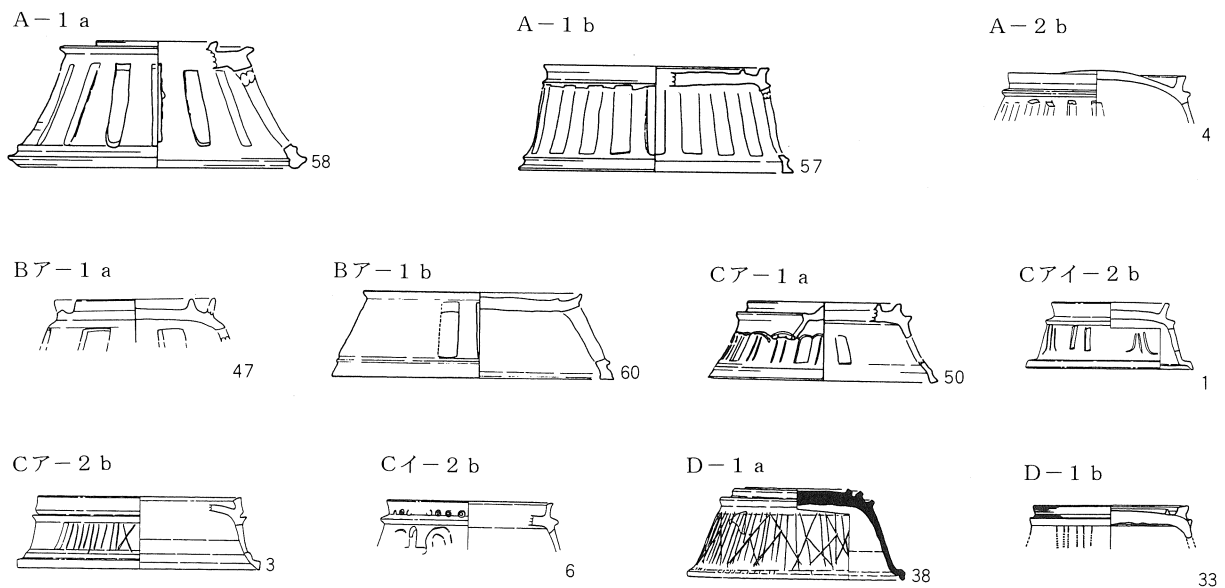
2類 無堤式 a. 溝状の海を有するもの

b. 陸から緩やかに下降して海になるもの

以上の分類が考えられる。

県内出土の円面硯は、獣脚硯が末野遺跡の灰原より出土した1点だけで、蹄脚硯は出土しておらず、圈足硯の出土が一般的である。出土遺跡は集落跡・窯跡・寺院跡であり、集落跡出土例が最も多く、窯跡出土例の2倍弱を占める。寺院跡は、高岡寺院跡1例のみである。

第312図 円面硯分類図



末野遺跡の獣脚硯は多脚のもので、7世紀末にあたる灰原からの出土である。8世紀にはいと、圈足硯へと変遷し、8世紀代に主流となってくる。

圈足硯ⅢA-1類（8世紀初頭から中葉）は大型で、硯面においては内堤をもつもので、広町B灰原出土例のほか高岡寺院跡・虫草山窯跡がある。西浦遺跡出土例にもA-2 b類があり小型で無堤のものである。供伴遺物を限定できないが8世紀後半でも第3四半期の後半以降のものと考えられる。

ⅢBア-1、2類（8世紀前半中頃から8世紀中葉）は、赤沼第14支群第1号窯出土のものが大型のほかは小型化する傾向にある。

ⅢC-1 a類（8世紀前半の後期から8世紀中葉前後）は鳩山窯跡出土例に限られている。ⅢC-1 b類（8世紀末後半から9世紀初頭）は小谷B第14号窯跡出土例がある。ⅢC-2 b類の硯面径12cm程の小型品は南比企窯跡群内の將軍沢第1支群A-2号窯（8世紀後半の後期から9世紀初頭）と東金子窯跡群の新久窯跡D地点第1号窯跡（9世紀後半）と窯跡群によって異なる。

窯跡以外では、ⅢC-2 b類は硯面径15cm程の中型とそれ以下の小型の2種に分けられ、中型（8世紀中葉前後）ものは若葉台遺跡と今宿遺跡第6号住居跡か

らの出土例³がある。径15cm以下のもの（9世紀後半）は沼下遺跡第4号住居跡と北坂遺跡第5号住居跡の例がある。

ⅢD類を出土する若葉台遺跡では一遺跡という関係からか8世紀中葉前後に限られており、ほかの遺跡は8世紀後半の後期から9世紀前半にかけての稲荷前A区第1号住居跡・岩比田遺跡第19号住居跡の出土例が見られる。

西浦遺跡出土の円面硯は、確認できるものではすべて硯面部に内堤を持たない無堤式（2 b類）であるが、鳩山窯跡群の円面硯は確認できるものではすべて有堤式（1 a・1 b類）である。西浦遺跡出土の円面硯の胎土には南比企窯跡群産の特徴である白色針状物質³が含まれていることから、南比企窯跡群内産ではあるが鳩山窯跡群以外の窯跡群のもの³と捉えることができる。

※ 県内円面硯出土遺跡には、他に川越市龍光新田遺跡があり、溝からの出土であるが詳細は不明である。

※ 行田市築道下遺跡については、本年度刊行の吉田稔『築道下遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第189集を参照されたい。

※ 紙面の都合で、引用・参考文献は省略させていただいた。

付編

上川入遺跡および西浦遺跡出土須恵器の蛍光X線分析

奈良教育大学

三 辻 利 一

1) はじめに

須恵器の窯跡は全国各地に残されている。これらの窯跡から出土した大量の須恵器を分析した結果、K、Ca、Rb、Srの4因子が有効に地域差を示すことが判明した。すなわち、これらの4因子は1基の窯跡から出土する須恵器片についてのみならず、その周辺の多数の窯跡から出土した須恵器片についても高い集中度を示し、まとまって分布することが判明した。そして、異なる地域の窯跡から出土した須恵器片とは明らかに地域差を示した。他の因子はこれら4因子ほど有効に地域差を示さなかったため、筆者はこれら4因子を主体として、遺跡出土須恵器の産地推定を行うことにしている。

本報告では、東松山市の上川入遺跡、および、西浦遺跡から出土須恵器のうち、考古学的にみて、近隣の生産地である鳩山窯群の製品とは言えないものを選択して、胎土分析によって、果して外部地域からの搬入品といえるかどうかを検討した結果について報告する。

2) 分析結果

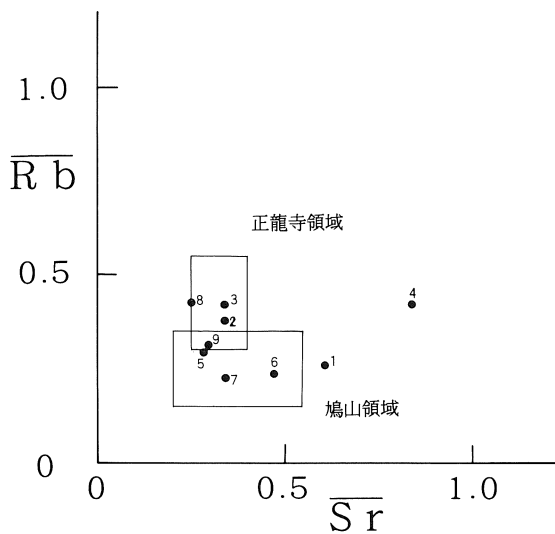
第1表には分析データがまとめられている。全分析値は岩石標準試料JG-1の各元素の蛍光X線強度を使って標準化した値で表示された。

はじめに、上川入遺跡出土須恵器について述べる。第1図にはRb-Sr分布図を示す。この分布図には、鳩山窯群の多数の試料を包含するようにして鳩山領域を描いてある。埼玉県内にはいくつかの窯群があり、化学特性は少しずつ異なる。その中の一つ、正龍寺窯の領域も同様にして描いてある。これらの領域は95%以上の試料を包含するようにして手書きで描いたものであり、したがって、定性的にしか領界を示さないが、他の窯群の領域と比較する上には十分役に立つ。本来、

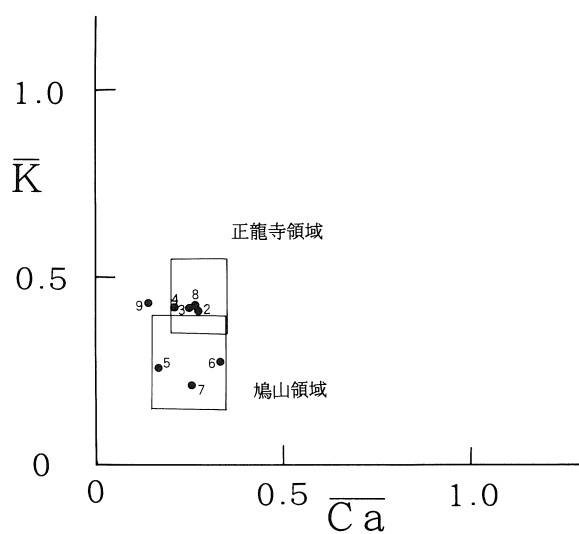
Rb-Sr分布図やK-Ca分布図のもつ意味はそのようなものである。これらの分布図である程度の目安をつけておいて、考古学的な年代観から同時期の窯群同志の相互識別を行う上に、統計学の2群間判別分析法が適用される訳である。Rb-Sr分布図ではいくつもの窯(群)について、分布の比較をすることができる。ただし、Rb、Srの2因子しか使えないし、相互識別も定性的にしかできない。いくつもの因子を同時に使用し、定量的に相互識別を行うとすれば、2群に限定しなればならなくなる。産地候補地が2つ以上ある場合には、組み合わせを変えて何回も2群間判別分析をくり返さなければならない。面倒ではあるが、仕方がない。今回の場合、産地候補地をしぼっている段階なので、分布図上での定性的な対応に止どめた。

第1図にはRb-Sr分布図、第2図にはK-Ca分布図を示してある。両図で鳩山領域に分布するのはNo.5、6、7の3点のみであり、他の試料は鳩山領域には対応しない。したがって、No.1、2、3、4、8、9の6点の試料は肉眼観察からの予想通り、鳩山窯群産である可能性はないとみてよい。No.5、6、7の3点は全因子で類似しており、同一産地の製品とみられる。第1図、第2図をみる限り、鳩山窯群産の可能性が高いとみられるが、Fe量がやや多い点が気になる。鳩山窯群の製品の中にも、Feの分析値がJG-1による標準化値にして3程度のものはない訳ではないがごく少数である。No.5、6、7の試料には3~3.5程度のFeが含まれており、この点が少し気にかかる訳である。ただし、第1図、第2図ではこれら3点は鳩山領域によく対応しているため、鳩山窯群産と推定しておく。一方、No.2、3、8の3点は全因子で類似しており、同一産地の製品とみられる。第1図、第2図では

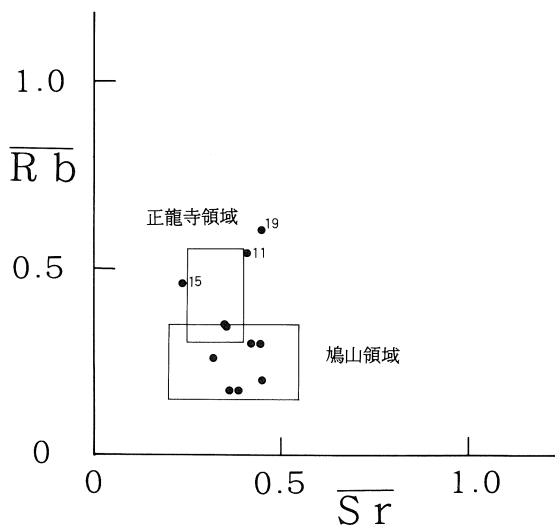
第1図 Rb-Sr分布図



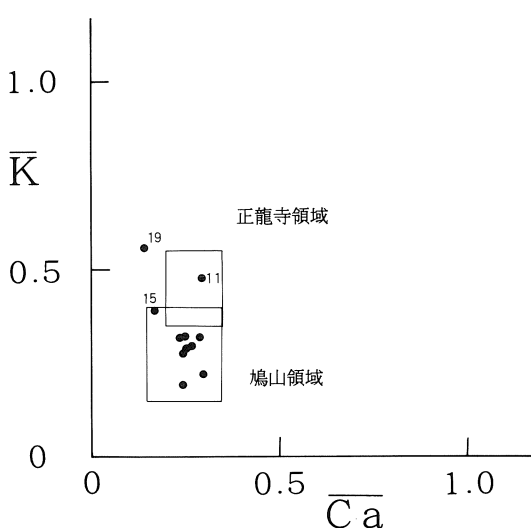
第2図 K-Ca分布図



第3図 Rb-Sr分布図



第4図 K-Ca分布図



正龍寺領域に対応しており、Fe因子でも正龍寺領域に対応するところから、正龍寺窯産の須恵器である可能性をもつ。No.1、4、9はどこの窯に対応するか、目下のところ不明であるが、鳩山窯群の製品ではないことは確かである。

次に、西浦遺跡出土須恵器について述べる。第3図にRb-Sr分布図を、第4図にK-Ca分布図を示す。大部分のものが鳩山領域によく対応するので、鳩山窯群産の可能性は高い。しかも、Fe因子、Na因子でもよく対応している。型式上はとも角、胎土からみる限り、鳩山窯群産である。しかし、No.11、15、19の3点は鳩

山窯群産ではあり得ない。したがって、西浦遺跡にとっては外部からの搬入品である。問題は埼玉県内の別の箇所からの搬入品か、埼玉県外からの搬入品かという点である。今回は埼玉県内の全窯群との対応はできなかったが、No.19の長頸瓶は県外からの搬入品である可能性が高い。K、Rb量が高いからである。もしかしたら、湖西地域からの搬入品かもしれない。No.11、15については埼玉県内の別の地域からの搬入品の可能性もあり、県外からの搬入品である可能性ももつので、ここでは不明としておいた。推定結果は第1表に示してある。

第1表 分析データ

遺跡名	番号	器種	K	Ca	Fe	Rb	Sr	Na	推定産地	出土遺構	図版番号
上川入遺跡	1	坏	0.352	1.18	3.26	0.262	0.607	0.352		SJ 1	第37図4
	2	坏	0.406	0.267	3.51	0.382	0.339	0.268	正龍寺窯	SJ 1	第37図6
	3	坏	0.416	0.250	3.64	0.416	0.336	0.265	正龍寺窯	SJ 1	第37図7
	4	坏	0.424	0.214	1.73	0.416	0.839	0.152		SJ 1	第37図8
	5	坏	0.260	0.172	3.02	0.289	0.277	0.170	鳩山窯群	SJ 2	第42図1
	6	坏	0.275	0.344	3.22	0.226	0.466	0.215	鳩山窯群	SJ 4	第45図1
	7	坏	0.217	0.255	3.44	0.219	0.339	0.212	鳩山窯群	SJ 4	第45図6
	8	高台付坏	0.428	0.259	2.62	0.431	0.248	0.313	正龍寺窯	SJ 4	第45図8
	9	坏	0.432	0.136	2.85	0.319	0.301	0.185		SJ 7	第48図1
西浦遺跡	10	長頸瓶	0.188	0.248	1.99	0.169	0.364	0.202	鳩山窯群	SD56	第248図81
	11	坏	0.483	0.292	2.32	0.543	0.412	0.284	不明	SD56	第245図4
	12	椀	0.319	0.226	2.57	0.337	0.349	0.255	鳩山窯群	SD56・57	第248図72
	13	鉢	0.301	0.274	1.92	0.168	0.385	0.115	鳩山窯群	SD56	第249図86
	14	カメ	0.220	0.302	2.51	0.202	0.454	0.246	鳩山窯群	SD56	第249図92
	15	カメ	0.394	0.167	2.48	0.458	0.235	0.311	不明	SD56	第250図95
	16	硯	0.293	0.249	2.12	0.302	0.446	0.277	鳩山窯群	CE-6グリッド	第267図16
	17	坏	0.274	0.245	2.30	0.262	0.321	0.259	鳩山窯群	SD56	第246図32
	18	坏	0.319	0.251	2.50	0.346	0.344	0.191	鳩山窯群	CG-7グリッド	第282図13
	19	長頸瓶	0.562	0.139	1.69	0.602	0.448	0.434	搬入品	SJ45	第182図7
	20	カメ	0.318	0.292	2.46	0.297	0.422	0.279	鳩山窯群	SJ46	なし